

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

大 谷 貝 塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書 2

上 巻

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

大谷貝塚
上巻

財団法人茨城県教育財団

平成 21 年 3 月

茨城県竜ヶ崎土木事務所
財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

おお や かい づか
大 谷 貝 塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書 2

上 巻

平成 21 年 3 月

茨城県竜ヶ崎土木事務所
財団法人茨城県教育財団

序

茨城県では、21世紀の社会を展望し、県全域にわたる調和のとれた発展を図るために、県内の交通体系の整備を積極的に進めています。

このような中、茨城県竜ヶ崎土木事務所は、千葉県から茨城県、そして埼玉県へとびる広域な幹線道路であり、産業や経済活動を支える動脈として極めて重要な役割を果たしている国道125号線について、近年市街地区域で発生している交通渋滞の解消と、周辺環境の向上等を目的に、大谷バイパスの建設が計画されました。

しかしながら、この事業予定地内には埋蔵文化財包蔵地である大谷貝塚が所在することから、これを記録保存の方法により保護する必要があるため、当財団が茨城県竜ヶ崎土木事務所から委託を受け、平成18年4月から平成19年12月までの1年9か月間にわたって、埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

本書は、その成果を収録したものです。学術的な研究資料としてはもちろんのこと、郷土の歴史に対する理解を深めるために活用されることによりまして、教育・文化の向上の一助となれば幸いです。

最後になりますが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、委託者であります茨城県竜ヶ崎土木事務所から多大な御協力を賜りましたことに対し、厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、美浦村教育委員会をはじめ、関係各位からいただいた御指導、御協力に対しまして深く感謝申し上げます。

平成21年3月

財団法人茨城県教育財団
理事長 稲葉節生

例 言

1 本書は、茨城県竜ヶ崎土木事務所の委託により、財団法人茨城県教育財団が平成18年度及び平成19年度に発掘調査を実施した、茨城県稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在する大谷貝塚^{おほやかいづか}の発掘調査報告書である。

2 発掘調査期間及び整理期間は、以下のとおりである。

調査 平成18年4月1日～平成19年3月31日，平成19年4月1日～12月31日

整理 平成19年6月1日～平成20年3月31日，平成20年4月1日～平成21年3月31日

3 発掘調査は、平成18年度が調査課長川井正一，平成19年度が調査課長瓦吹堅のもと、以下の者が担当した。

平成18年度

首席調査員兼班長 川又 清明

主任調査員 駒澤 悦郎

調査員 越川 欣和

平成19年度

首席調査員兼班長 藤田 哲也

主任調査員 駒澤 悦郎 平成19年4月1日～5月31日

主任調査員 奥沢 哲也

主任調査員 小室 弘毅

4 整理及び本書の作成は、整理課長村上和彦のもと、執筆は主任調査員駒澤悦郎，編集は首席調査員兼班長成島一也，主任調査員駒澤悦郎，調査員作山智彦が担当した。

5 出土遺物のうち、人骨、動物遺存体、貝類遺存体、魚類遺存体の鑑定及び分析に当たっては、次の各氏に依頼し、その結果を付章として掲載した。

人 骨..... 明治大学・NPO法人スケルトン研究機構 谷畑 美帆氏

人骨年代測定..... 東京大学総合研究博物館 吉田 邦夫氏

動物遺存体..... 早稲田大学 金子 浩昌氏

貝類遺存体..... 千葉県立中央博物館 黒住 剛二氏

魚類・貝類・動物遺存体..... 早稲田大学 橘泉 岳二氏

6 発掘調査から報告書作成に至るまで、茨城県竜ヶ崎土木事務所，茨城県教育庁文化課，美浦村教育委員会，明治大学学術フロンティア，西野雅人氏，上守秀明氏，村田六郎太氏の御指導，御協力を得た。

凡 例

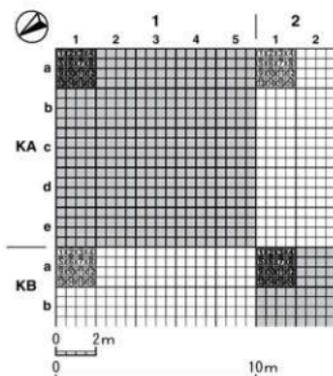
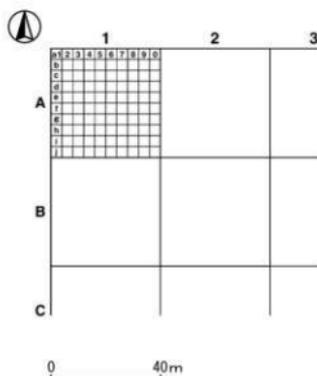
1 地区設定については、次の通りである。

- (1) 台地部の地区設定は、日本平面直角座標第Ⅱ系座標に準拠し、X軸 = +240m, Y軸 = +43,200mの交点を基準点(A 1 a1)とした。なお、この原点は、世界測地系による基準点である。地区設定にあたっては事業予定地内の遺跡全体を包括できるようにした。調査区は、この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北40m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々10等分し、4m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA, B, C..., 西から東へ1, 2, 3...とし、「A 1区」、「B 2区」のように呼称した。さらに、小調査区は、北から南へa, b, c...j, 西から東へ1, 2, 3...0とし、名称は大調査区の名称を冠して「A 1 a1区」、「B 2 b2区」のように呼称した。

- (2) 斜面貝塚の地区設定は、その範囲と地形の傾斜に合わせて任意の調査区を設定した。調査区は、10m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を各々5等分して、2m四方の中調査区を設定した。さらに、この中調査区内を各々16等分して、0.5m四方の小調査区を設定した。

調査区の名称は、台地部の調査区と区別するために、貝層を示す「K」を付した。大調査区は、アルファベットと算用数字を用い、斜面高位から低位へA, B, C, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4とし、「KA 1区」、「KB 2区」のように呼称した。中調査区は、斜面高位から低位へa, b, c, d, e, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4, 5とし、名称は大調査区の名称を冠して「KA 1 a1区」、「KB 2 b2区」のように呼称した。さらに、中調査区内の0.5m四方の小調査区については、斜面高位左上から斜面低位右下へ①~⑯までに分割し、「KA 1 a1①区」、「KB 2 b2①区」のように呼称した。



- 2 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次の通りである。

遺構 SI- 住居跡 ST- 建物跡 SK- 土坑 SD- 溝跡 SF- 道路跡 FP- 炉穴
F- 炉跡 P- ビット

遺物 TP- 拓本で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器 DP- 土製品
Q- 石器・石製品 B- 骨角歯牙製品 S- 貝製品 M- 金属製品
BA(獣)・BB(鳥)・BH(人)- 骨角歯牙

※ 数字のみは、実測で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器である。

土層 K- 攪乱

- 3 遺構・遺物の実測図の作成方法については、次のとおりである。

- (1) 遺跡全体図は縮尺400分の1、遺構実測図は原則として60分の1で掲載した。
- (2) 遺物実測図は原則として3分の1で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。
- (3) 遺構及び遺物の実測図中の表示は次のとおりである。なお、区別・分類を図示する場合は、図中に表示した。

 焼土・赤彩・研磨痕・施釉

 炉・火床面・繊維土器断面

 竈部材・粘土範囲・炭化物範囲・黑色処理

 油煙・煤・硬化面

● 土器 ○ 土製品 □ 石器・石製品 ■ 骨角歯牙製品 ▲ 貝製品 △ 金属製品
----- 硬化面範囲

- 4 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社)を使用した。

- 5 遺構一覧表・遺物観察表の表記については、次のとおりである。

- (1) 計測値の単位は、m・cm、kg・gである。なお、現存値は()で、推定値は[]を付して示した。
 - (2) 備考の欄は、残存率や写真図版番号など、その他必要と思われる事項を記した。
 - (3) 遺物番号については、実測で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器、拓本で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器、土製品、石器・石製品、骨角歯牙製品、貝製品、金属製品ごとに通し番号とし、本文・挿図・写真図版に記した番号も同一である。
 - (4) 文字資料のうち、焼成前に線刻されたものを「麗書」、焼成後に線刻されたものを「刻書」と分けて記述した。
- 6 竈穴住居跡の主軸は、炉あるいは竈を通る軸線あるいは南北の柱穴を結ぶ軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸(径)方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で示した(例N-10°-E)。

目 次

- 上 巻 -

| | |
|--------------|-----|
| 序 | |
| 例言 | |
| 凡例 | |
| 目次 | |
| 概要 | |
| 第1章 調査経緯 | 5 |
| 第1節 調査に至る経緯 | 5 |
| 第2節 調査経過 | 5 |
| 第2章 位置と環境 | 7 |
| 第1節 地理的環境 | 7 |
| 第2節 歴史的環境 | 7 |
| 第3章 調査の成果 | 12 |
| 第1節 調査の概要 | 12 |
| 第2節 基本層序 | 12 |
| 第3節 遺構と遺物 | 15 |
| 1 縄文時代の遺構と遺物 | 15 |
| (1) 竪穴住居跡 | 15 |
| (2) 炉跡 | 30 |
| (3) 炉穴 | 31 |
| (4) 土坑 | 32 |
| (5) 斜面貝層 | 164 |
| (6) 土坑墓 | 422 |

- 下 巻 -

| | |
|-----------------------------|-----|
| 2 弥生時代の遺構と遺物 | 425 |
| (1) 竪穴住居跡 | 425 |
| (2) 土坑 | 448 |
| 3 古墳時代の遺構と遺物 | 450 |
| (1) 竪穴住居跡 | 450 |
| (2) 古墳 | 479 |
| (3) 土坑 | 486 |
| 4 平安時代の遺構と遺物 | 490 |
| (1) 竪穴住居跡 | 490 |
| (2) 竪穴建物跡 | 494 |
| (3) 火葬墓 | 507 |
| (4) 土坑 | 508 |
| (5) 周溝跡 | 512 |
| (6) 溝跡 | 514 |
| 5 中世・近世の遺構と遺物 | 516 |
| (1) 土坑墓 | 516 |
| (2) 周溝跡 | 517 |
| (3) 塚 | 519 |
| (4) 溝跡 | 521 |
| (5) 道路跡 | 528 |
| 6 その他の遺構と遺物 | 532 |
| (1) 土坑 | 532 |
| (2) 遺構外出土遺物 | 539 |
| 第4節 まとめ | 562 |
| 付 章 | |
| 1 大谷貝塚出土の縄文時代前期人骨について | 571 |
| 2 大谷貝塚出土の縄文時代人骨の自然科学分析について | 576 |
| 3 大谷貝塚の土壌サンプルから得られた貝類遺体(予報) | 578 |
| 4 大谷貝塚の貝層サンプルから得られた動物遺体 | 591 |

【調査のあらまし】



大谷貝塚は、美浦村のほぼ中央を流れる高橋川左岸の標高19～25mの斜面と台地上にあります。今回の発掘調査は、平成18年4月から平成19年3月、平成19年4月から12月までの2回にわたって、一般国道125号大谷バイパス建設に先だって実施しました。村域には、縄文時代の貝塚が数多く残されており、国指定史跡の陸平貝塚をはじめとして、興津貝塚などの著名な貝塚も点在しています。調査の結果、大谷貝塚も縄文時代を中心とした過去の人々の生活の舞台であったことが明らかになりました。

台地部からは縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代の住居跡、縄文時代の土坑、古墳時代の方墳、平安時代の溝、中世・近世の塚や溝、道路の跡などを確認しました。また、斜面の小さな谷からは、縄文時代前期（今から5,500年前）と中期（今から4,500年前）の貝塚が発見されました。



【調査の内容】



貝塚は、南北約22m、東西約24mの範囲に形成されていました。中央部の厚さは約1.5mで、時期は前期中頃と中期終わり頃です。

また、貝塚の基底部の黒色土の中からは、さらに古い早期や前期初め頃（今から9,000～7,000年前）の土器片も出土しました。



貝塚は、斜面の小さな谷を埋めつくしていました。土層や貝層がどのように形成していったか調べるために、一边2mの正方形の範囲を互い違いに掘り下げていきました。



貝塚からは、ハイガイ・アサリ・ハマグリ・シオフキ・オキシジミ・アカニシ・カガミガイ・マガキなどの貝が出土しました。時期により貝の種類が異なっていました。



膨大な量の縄文土器片に混じって、割れた土器を網のおもりに再利用した土器片錘などもたくさん出土しました。ほとんどの土器片は貝が混じった土層から出土しました。



縄文時代前期の貝層を掘り込んで、脚を抱えた姿勢で葬られたと考えられる人骨が出土しました。大人の男性で、当時の人がどのように埋葬されたのがよく分かります。



シカやイノシシの骨や角を加工した刺突具やツキノワグマ、オオカミ、イノシシ、イルカ、アオザメなどの歯牙を加工した垂飾りなどが出土しました。



縄文時代中期の集落は、台地の全体に広がっていました。貝塚が形成された時期の住居跡と、円筒形の土坑を確認しました。竪穴住居の中央部に石囲い炉が作られていました。



一辺約30mの方墳が台地の中央部に造られていました。周溝が長方形に巡っています。造られた時代は古墳時代後期（今から約1,400年前）と考えられます。



方墳には遺骸を安置するための石室が2か所に設けられていました。遺骸や副葬品は発見できませんでしたが、周溝の底面から石室で使われた石材が数多く出土しました。



古墳時代中期（今から約1,500年前）の竪穴住居の竈は、壁を掘り込まずに作られていました。これは竈が取り入れられた初期の形態で、土師器の高杯を支脚に利用していました。



平安時代（今から約1,000年前）の竪穴住居は、簡素な竈や炉を持っていました。床から土師器の小皿や高台付坏が出土しました。竈は雲母片岩の板石で作られていました。

【調査で分ったこと】

当貝塚で最初の貝が捨てられた時期は、縄文海進と呼ばれる地球の温暖化による海面の上昇で、内陸にも海水が侵入し、霞ヶ浦周辺地域に広大な内海が形成された縄文時代前期中頃です。これは、内海の形成と時を同じくして、貝塚もつくられ始め、縄文人と海の密接な関わりが始まったことを物語っています。調査の結果、貝が捨てられたピークは、縄文時代中期終わり頃になります。

貝塚からは、膨大な縄文土器をはじめ、スプーン形土製品やミニチュア土器、打製石斧、磨製石斧、石皿、敲石、磨石、土製耳飾り、土器片錘、土器片円盤、貝輪や貝製の装飾品、シカ・イノシシ・タイ・スズギ・ウナギなどの獣骨や魚骨が大量に出土しています。ツキノワグマ・オオカミ・イノシシ・イルカ・アオザメなどの歯牙を加工した垂飾り、シカやイノシシの骨や角を加工した刺突具などもたくさん出土しています。また、埋葬された様子がかかる人骨も出土しています。当時の生業や暮らし、身を飾る風習などに深く関係する遺物がたくさん発見され、貝塚の地点毎に時期や貝層の様子、遺物などに特色があります。貝塚の調査は、当時の漁労を中心に生活を営む人々の様子や、当時の自然環境を復元していく上で、大きな役割を果たすと考えられます。

台地部からは、縄文時代から平安時代の竪穴住居跡をはじめ、古墳時代後期の方墳や平安時代の火葬土坑、近世の土坑墓などの生と死の世界にまつわるさまざまな遺構が発見できました。そして、遺物は、日常生活で使う食器や道具をはじめ、お祭りや漁に使用された多様なものが出土しています。

【難しい用語の説明】

貝塚... 食料とした貝殻などを捨てて、それが堆積した跡。

土坑... 地面を掘りくぼめた穴。

方墳... 古墳の一種で、墳丘の形が方形の墳墓。

刺突具... モリやヤスなど、刺したり、つついたりする道具で、主に漁で使用される。

垂飾り... 身を飾る品の一種。石や粘土、動物の骨や角、牙や歯を加工して作られる。

炉... 火をたいて、煮炊きをしたり、暖房や灯りの役割をする施設。

周溝... 古墳の周囲に巡らされた溝。

副葬品... 古墳に遺骸とともに埋納された鏡や剣、装飾品などで、埋葬された人物の権威や権力を表す。

竈... 火を焚いて煮炊きをするための調理施設。

土師器... 古墳時代から使用された、野外で焼かれた素焼きの赤い色をした土器。

支脚... 炉や竈にすえて、その上に土器をのせ、火のまわりをよくするための道具。

打製石斧... 石を打ち欠いて作られた斧形の道具。

磨製石斧... 石を磨いて仕上げられた斧形の道具。

石皿... 種や実などをすりつぶす時に用いた、くぼみをもった道具。

敲石... 食料などをつぶすための道具。

磨石... 種や実などを磨りつぶすための道具。

土器片円盤... 割れた土器を再利用した、用途不明の土製品。

貝輪... 貝で作った腕輪。

遺物... 昔の生活で使われた道具。

遺構... 台地を掘り込んだり、台地に残された昔の生活の跡。

第1章 調査経緯

第1節 調査に至る経緯

茨城県電ヶ崎土木事務所は、首都圏全体の発展と交通の円滑化を図るため、一般国道125号大谷バイパスの建設を進めている。

平成16年7月20日、茨城県電ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長あて、国道125号大谷バイパス建設事業における埋蔵文化財の所在の有無及び取扱いについて照会があった。これを受けて茨城県教育委員会は平成17年7月19日に現地踏査を、平成17年11月30日～12月2日及び12月7日に試掘調査を実施し、遺跡の所在を確認した。平成17年12月22日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県電ヶ崎土木事務所長あてに、事業地内に大谷貝塚が所在すること及びその取扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

（平成18年度）

平成18年1月27日、茨城県電ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、文化財保護法第94条に基づく土木工事の通知が提出された。茨城県教育委員会教育長は、現状保存が困難であることから記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、平成18年2月10日、茨城県電ヶ崎土木事務所長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成18年2月14日、茨城県電ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書が提出された。平成18年2月22日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県電ヶ崎土木事務所長あてに、大谷貝塚について発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、茨城県電ヶ崎土木事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成18年4月1日から平成19年3月31日まで発掘調査を実施した。

（平成19年度）

平成19年2月22日、茨城県電ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書が提出された。平成19年2月26日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県電ヶ崎土木事務所長あてに、大谷貝塚について発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、茨城県電ヶ崎土木事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成19年4月1日から平成19年12月31日まで発掘調査を実施した。

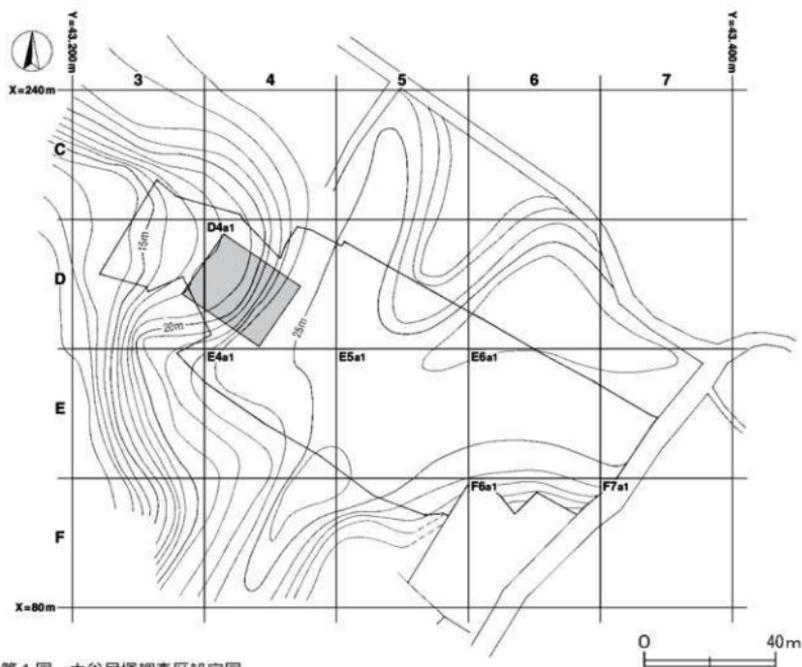
第2節 調査経過

大谷貝塚の調査は、平成18年4月1日から平成19年3月31日、平成19年4月1日から平成19年12月31日まで実施した。以下、その概要を表で記載する。

なお、平成18年度に実施した表土除去は、台地部については重機を使用して慎重に行い、斜面貝塚については、調査前に地形測量を実施し、貝層への影響を考慮して人力による表土除去を行った。

| 平成十八年度 | 工程 | | | 期間 | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 調査 | 準備 | 撤去 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 調査 | 遺構 | 調査 | 準備 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | | | | |
| 撤去 | 準備 | 撤去 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | | | | | |
| 調査 | 遺構 | 調査 | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 撤去 | 準備 | 撤去 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 調査 | 遺構 | 調査 | | | | | | | | | | | | | ■ |

| 平成十九年度 | 工程 | | | 期間 | | | | | | | | | | | |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 調査 | 準備 | 撤去 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 調査 | 遺構 | 調査 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | | | | | |
| 撤去 | 準備 | 撤去 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | | | | | | | | |
| 調査 | 遺構 | 調査 | | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 撤去 | 準備 | 撤去 | | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| 調査 | 遺構 | 調査 | | | | | | | | | | | | | ■ |



第1図 大谷貝塚調査区設定図

第2章 位置と環境

第1節 地理的環境

大谷貝塚は、茨城県の南部、霞ヶ浦南西岸の稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在している。

美浦村は東西約10.2km、南北約5.4kmで、北西に筑波山を、北に霞ヶ浦を望む標高30m以下の比較的低い台地と低地からなっている。台地は筑波・稲敷台地と呼ばれ、千葉県北部から茨城県南部に広がる常総台地の一部を形成している。この台地は数多くの河川によって開析され、樹枝状の入り組んだ複雑な地形を形づくっている。低地は河川流域に発達したものと、霞ヶ浦沿岸の標高1～3mほどの低湿地帯からなっている。主な河川は、阿見町1区北域を水源とし、南東に流れて美浦村舟子で霞ヶ浦に注ぐ清明川と、美浦村興津さんげ池を水源とし、周囲の谷戸地からの湧水を集めて霞ヶ浦に注ぐ高橋川である。これらの河川に沿って発達している沖積低地は、標高10～20mほどで、ほとんどが谷津田となっている。

台地の地質は、下部から第四紀洪積世下総層群下部の地蔵堂層・藪層（15～80万年前）、最終間氷期に形成された古東京湾を埋積した下総層群上部の成田（青灰色シルト）層（12～13万年前）、これを覆う常総層下部の竜ヶ崎層、常総層上部の箱根山の噴火による常総粘土層、その上部には関東ローム層が堆積し、最上部は沖積世沖積層となっている¹⁾。

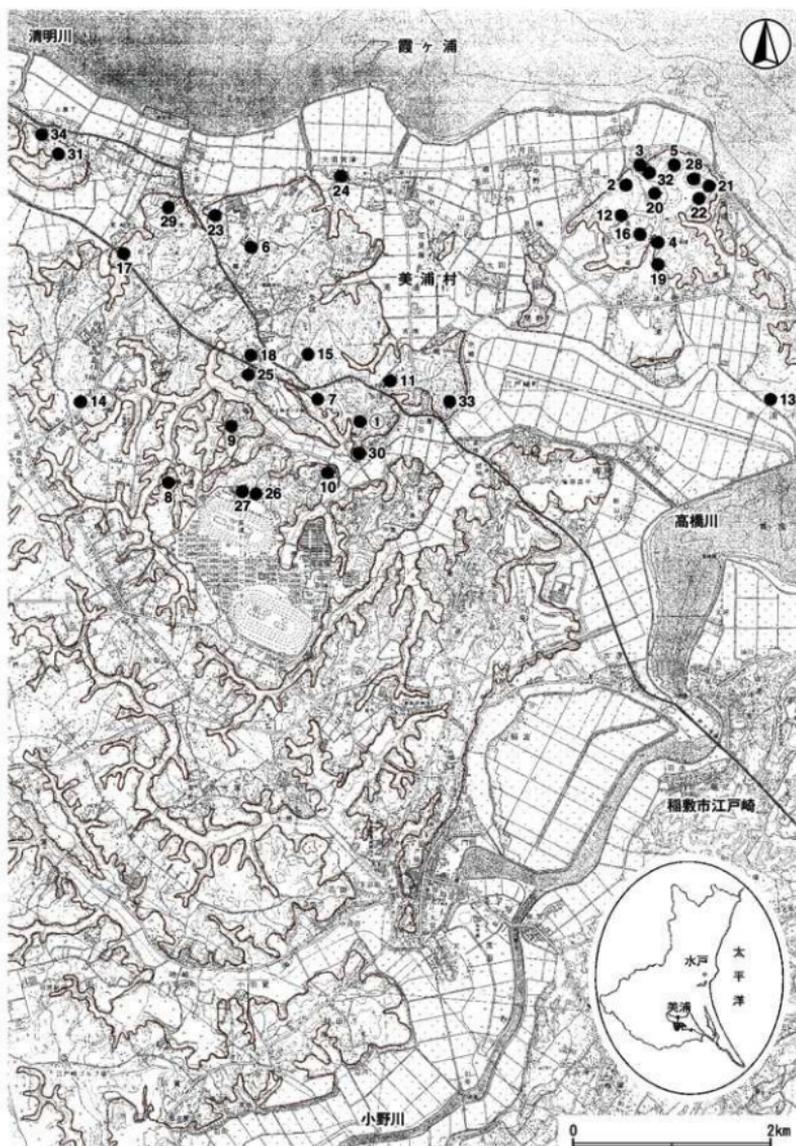
当貝塚は、村域のほぼ中央部、村立大谷小学校から北に約800mの地点に所在し、高橋川左岸の標高20～24mの台地縁辺部から台地上にかけて立地している。この台地は南北約240m、東西約160mで、北側と南側は沖積低地で、西側には南側の沖積低地から分岐した小規模ながら急傾斜の埋没谷が、中央部には南側の沖積低地から分岐した緩傾斜の埋没谷が北に入り込んでいる。その結果、台地は幅の広い馬蹄形を呈し、河川の後背湿地や谷津田に面した高燥の土地となっている。また、台地周辺は、高橋川によって開析された標高10～20mの沖積低地に囲繞され、台地との比高は5～10mである。

第2節 歴史的環境

当貝塚（1）は、縄文時代から近世に至るまで断続的に土地利用された複合遺跡である。霞ヶ浦をはじめ、河川、低地、台地といった変化に富んだ自然環境の美浦村は、水利の便に富み、樹枝状に入り込んだ低地と台地が織りなす複雑な地形により、人々の生活や生業、交通の要所となってきた。それを裏付けるように当貝塚の周辺には、旧石器時代から近世までの遺跡が数多く確認されている。ここでは、当貝塚に関連する遺跡を中心に、時代ごとに概観する²⁾。

旧石器時代の遺跡は、北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地上に数多く存在している。代表的な遺跡としては、陣屋敷遺跡³⁾（2）と根本遺跡⁴⁾（3）で小規模な石器集中地点が確認されている。その他、ナイフ形石器文化から有舌尖頭器文化までの各時期の石器群が、当貝塚をはじめ、陸平貝塚⁵⁾（4）、花立遺跡⁶⁾（5）、御茶園遺跡⁷⁾（6）、沢田古墳群⁸⁾（7）、興津白井遺跡⁹⁾（8）などから出土している。

縄文時代の遺跡と貝塚は、北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地周辺部と、かつて霞ヶ浦の入り江であった余郷入から続く主谷の兩岸に数多く点在している。陸平貝塚や陣屋敷遺跡からは、早期の炉穴や地点貝塚が発見されている。前期の貝塚としては、前期後葉の「興津式」土器の標識遺跡である興津貝塚¹⁰⁾（9）や前期前葉の虚空蔵貝塚¹¹⁾（10）、前期中葉の当貝塚をはじめ、縄文海進時（約5,500年前）には、当時海域であった



第2図 大谷貝塚周辺遺跡位置図

表1 大谷貝塚周辺遺跡一覧表

| 番号 | 遺跡名 | 時代 | | | | | | 番号 | 遺跡名 | 時代 | | | | | |
|----|----------|-----|----|----|----|-----|-----|----|---------|-----|----|----|----|-----|-----|
| | | 旧石器 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈・平 | 中・近 | | | 旧石器 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈・平 | 中・近 |
| ① | 大谷貝塚 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 18 | 野中遺跡 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 2 | 陣屋敷遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 19 | 池端遺跡 | | | | ○ | ○ | |
| 3 | 根本遺跡 | ○ | | | ○ | ○ | | 20 | 御堂平遺跡 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 4 | 陸平貝塚 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 21 | 天神平Ⅰ遺跡 | | | | ○ | ○ | |
| 5 | 花立遺跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 22 | 天神平Ⅱ遺跡 | | | | ○ | ○ | |
| 6 | 御茶園遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 23 | 木原白幡古墳群 | | | | ○ | | |
| 7 | 沢田古墳群 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 24 | 大塚古墳群 | | | | ○ | | |
| 8 | 興津白井遺跡 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | 25 | 庚申古墳 | | | | ○ | | |
| 9 | 興津貝塚 | | ○ | | | | | 26 | 原畑遺跡 | | | | | ○ | |
| 10 | 虚空蔵貝塚 | ○ | ○ | | ○ | | | 27 | 稲荷山遺跡 | | | | | ○ | |
| 11 | 平木貝塚 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 28 | 多古山Ⅱ遺跡 | ○ | ○ | | ○ | | |
| 12 | 陣屋敷低湿地遺跡 | | ○ | ○ | | | | 29 | 木原城跡 | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| 13 | 法堂遺跡 | | ○ | | | | | 30 | 根古屋城跡 | | | | | | ○ |
| 14 | 常陸笹山遺跡 | | | ○ | ○ | | | 31 | 舟子城跡 | | | | | | ○ |
| 15 | 請領妙山遺跡 | | | ○ | ○ | | | 32 | 根本台城跡 | | | | | | ○ |
| 16 | 宮脇遺跡 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | 33 | 大谷城跡 | | | | | | ○ |
| 17 | 下り内遺跡 | | ○ | | ○ | ○ | | 34 | 城ノ内遺跡 | | | ○ | ○ | | ○ |

露ヶ浦に浮かぶ島や半島状に突き出た台地の斜面部に、多くの貝塚が形成されたと考えられる。中期の貝塚は、国指定史跡の陸平貝塚、中期初頭の虚空蔵貝塚など、考古学史上において著名な貝塚はあるが、その集落跡については不明点が多い。後・晩期の貝塚としては、露ヶ浦に半島状に突き出た台地の斜面部に形成された平木貝塚(11)や陸平貝塚が知られ、また、特定の生業などの痕跡を示す遺跡が、低地の周辺部から確認されている。中でも谷津底から後期の粗製土器が大量に出土した陣屋敷低湿地遺跡¹²⁾(12)や晩期の製塩遺跡である法堂遺跡¹³⁾(13)はその代表である。

弥生時代の遺跡は極めて少ない。余郷人から続く主谷の谷奥部には、常陸世山遺跡¹⁴が位置し、中期末葉の竪穴住居跡が発見されている。また、その主谷から派生した支谷を望む沢田古墳群からは、後期前葉の竪穴住居跡3軒が確認されている。北部の霧ヶ浦を望む鳥状に独立した台地上では、陣屋敷遺跡と根本遺跡という谷を一つ隔てただけの隣接した遺跡群で、後期中葉から後葉の竪穴住居跡が、計27軒発見されている。両遺跡は同一地域、同一時期に属しながら、土器の様相が異なる点などから、多くの研究者の注目を集めている¹⁵。

古墳時代の遺跡は、当遺跡をはじめ、興津白井遺跡、御領山遺跡¹⁵などが余郷人から続く主谷の両岸に位置している。北部の霧ヶ浦を望む鳥状に独立した台地上では、陣屋敷遺跡、根本遺跡、宮脇遺跡¹⁶、下り内遺跡¹⁷、野中遺跡¹⁸などで、中期を主とする集落跡が確認されている。前期に属する遺跡としては池端遺跡¹⁹で土器集積遺構が発見されているが、それらの性格を含め、村域の前期の集落の様相は不明である。後期を主とする遺跡は、陸平貝塚、御堂平遺跡²⁰、天神平Ⅰ遺跡²¹、天神平Ⅱ遺跡²²など、広い平坦面を有する台地上に形成される傾向が指摘されている²³。また、古墳については、霧ヶ浦を望む台地上に築造された100mを超える中期の前方後円墳である愛宕山古墳と、それを主墳とする木原白幡古墳群²³、霧ヶ浦に面した砂丘上の微高地には、国学者色川三中の『常陸国風土記』逸文にみる「黒坂命」の論考でも知られる大塚古墳群²⁴などの多くの古墳群が存在している。余郷人から続く主谷の周辺には、中期の円墳2基からなる沢田古墳群が築造されており、隣接する八枚原古墳群内の庚申古墳²⁵では、後期の箱形石棺の中から人骨、金環、青銅環、ガラス小玉などが出土している。

奈良・平安時代になると、北部の霧ヶ浦を望む鳥状に独立した台地上では、台地全体に集落が営まれるようになる。余郷人から続く主谷の周辺では、原畑遺跡²⁶、稲荷山遺跡²⁷で平安時代の竪穴住居跡や擬立柱建物跡などが発見されている²⁸。墓域については、陸平貝塚、陣屋敷遺跡、池端遺跡、多古山Ⅱ遺跡²⁸、沢田古墳群²⁹などの台地縁辺部から、火葬墓が単独で発見されている。県域で火葬墓が盛行するのは、8世紀後半から9世紀後半のほぼ1世紀とみられ、この時期は村落内寺院が多く営まれる時期でもある。当地域でも仏教の一般集落への浸透とともに、火葬の風習も広く受け入れられていったと考えられる。なお、古代の村域は「信太郎」に属し、その郡域はおよそ現在の稲敷郡に相当する。そして、大谷周辺は「大野郷」の一部に比定されている。

中世の村域は常陸平氏の勢力下に入り、「信太荘」として成立したと考えられている。その後の東寺による支配も南北朝の動乱によって終焉を迎えると、高氏や上杉氏、土岐氏や小田氏の支配下に入り、佐竹氏が常陸統一を目前にした16世紀後半頃には、江戸崎城主の土岐氏が信太荘一円を支配するようになったと考えられる。城郭としては、土岐氏が霧ヶ浦を一望できる要衝の地に連郭式の木原城³⁰を築き、信太の各地に土塁や空堀から構成される防衛施設を数多く設けている。また、根古屋城跡³⁰、舟子城跡³¹、根本台城跡³²、大谷城跡³³など、霧ヶ浦北岸や大きな入り江を強く意識した防衛拠点が幾つも築かれている³⁴。この他にも、陣屋敷遺跡、城ノ内遺跡³⁴、御茶園遺跡など、多くの城跡や館跡、砦跡が確認されている。

近世以降は、天正18(1590)年、北条方に組みした土岐氏が、佐竹氏に江戸崎城を攻められて滅び、旧土岐氏領土の信太、河内の地は芦名氏に与えられた。慶長7(1602)年、佐竹氏の秋田移封後は、複数の幕藩領主による複雑な支配変遷をとげている。

※ 文中の()内の番号は、表1及び第2図の該当遺跡番号と同じである。

註

- 1) 大森昌衛ほか「茨城の地質をめぐって」『日曜の地質』8 築地書館 1979年9月
日本の地質『関東地方』編集委員会『日本の地質3 関東地方』共立出版 1986年10月
- 2) 茨城県教育庁文化課『茨城県遺跡地図(地名表編・地図編)』茨城県教育委員会 2001年3月
美浦村教育委員会『茨城県稲敷郡美浦村 美浦村遺跡分布調査報告書および美浦村遺跡分布図』2001年3月
- 3) 中村哲也ほか「茨城県稲敷郡美浦村 陣屋遺跡」『陸平研究所報告』1 茨城県美浦村・陸平調査会 1992年12月
- 4) 中村哲也ほか「茨城県稲敷郡美浦村 根本遺跡」『陸平研究所報告』2 茨城県美浦村・陸平調査会 1996年3月
- 5) 美浦村史編さん委員会『美浦村誌-美浦村誕生40周年記念-』美浦村 1995年7月
- 6) 註5)と同じ
- 7) 高橋憲朗ほか『御茶園遺跡』茨城県美浦村教育委員会 御茶園遺跡発掘調査会 1994年3月
- 8) 本橋弘巳「沢田古墳群 国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財調査報告書1」『茨城県教育財団文化財調査報告』第276集
2007年3月
- 9) 川村勝「茨城県稲敷郡美浦村 興津白井遺跡-美浦村水処理センター建設に伴う埋蔵文化財の調査-」『美浦村教育委員会埋蔵文化財
発掘調査報告』9 美浦村教育委員会・美浦村興津白井遺跡調査会 2000年3月
- 10) 西村正衛「茨城県稲敷郡興津貝塚(第1次調査)」『学術研究』17 早稲田大学教育学部 1968年3月
西村正衛「茨城県稲敷郡興津貝塚-縄文時代前期後半文化の研究-」『石器時代における利根川下流域の研究-貝塚を中心として-』
早稲田大学出版部 1984年3月
- 11) 大川清ほか『茨城県美浦村 虚空貝塚』美浦村教育委員会 1977年3月
- 12) 戸沢克則ほか「1988年度陸平貝塚周辺遺跡発掘調査報告および概要」『陸平調査会報告』2 陸平調査会 1990年3月
- 13) 戸沢克則ほか「茨城県法堂遺跡の調査」『駿台史学』18 1966年3月
- 14) 大竹房雄ほか『常陸笹山』稲敷郡美浦村教育委員会・笹山遺跡発掘調査会 1986年3月
- 15) 註4)と同じ
- 16) 高木園男ほか『下り内遺跡』茨城県美浦村教育委員会・下り内遺跡発掘調査会 1986年12月
- 17) 中村哲也「茨城県稲敷郡美浦村 野中遺跡-第2次発掘調査報告書-」『美浦村教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告』8 美浦村教育
委員会 2000年3月
- 18) 中村哲也ほか「茨城県稲敷郡美浦村 泡盛遺跡-発掘調査報告書-」『陸平研究所報告』2 美浦村教育委員会 2004年3月
- 19) 註3)と同じ
- 20) 大竹房雄ほか「庚申古墳(緊急発掘調査報告書)」。美浦村教育委員会・庚申古墳発掘調査会 1988年3月
- 21) 奥富雅之ほか「興津地区遺跡群 高野台遺跡 原畑遺跡 稲荷山遺跡 日本中央競馬会美浦トレーニングセンター森林調施設建設に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」『美浦村教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告』7 美浦村教育委員会 1996年3月
- 22) 沢田古墳群第2号墳の周溝覆土の最上層から、8世紀後半の須恵器短頸甕が破砕された状態で出土している。周囲から火葬骨などは検出
されていないが、本来は火葬墓の容器に利用されていたものが、何らかの理由により掘り出され、2次的に廃棄された可能性が考えられ
る。
- 23) 後藤和民ほか『木原城址Ⅰ-平成5年度 予備発掘調査概報』木原城址調査団 1994年3月
『木原城址Ⅱ-平成6年度 予備発掘調査概報』木原城址調査団 1995年3月
- 24) 註5)と同じ

第3章 調査の成果

第1節 調査の概要

当遺跡は、茨城県の南部、霞ヶ浦南西岸の稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在し、高橋川左岸の標高20～24mの台地縁辺部から台地上にかけて立地している。調査面積は7.664㎡で、調査前の現況は畑地及び平地林である。

調査は平成18年4月1日から平成19年3月31日までの1年間と、平成19年4月1日から平成19年12月31日までの9か月間の計1年9か月間実施し、縄文時代の竪穴住居跡7軒、炉穴2基、炉跡2基、土坑43基、斜面貝塚1か所、土坑墓1基、弥生時代の竪穴住居跡14軒、土坑9基、古墳時代の竪穴住居跡8軒、古墳1基、土坑5基、平安時代の竪穴住居跡2軒、竪穴建物跡6棟、火葬墓1基、土坑6基、周溝跡1基、溝跡1条、中世から近世の塚1基、土坑墓2基、周溝跡1基、溝跡5条、道路跡3条、その他、時期不明の土坑46基を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ(60×40×20cm)に484箱出土している。旧石器時代の遺物は、石器(ナイフ形石器・石刃)、縄文時代の遺物は、縄文土器(深鉢・浅鉢・蓋・器台・有孔鍔付土器・瓢箪形土器・小形土器・特殊土器)、石器(石鏃・石匙・搔器・削器・尖頭器・楔形石器・石錐・石核・剥片・打製石斧・磨製石斧・磨石・敲石・凹石・石皿)、石製品(石棒・石錘・浮子・砥石・研磨器・軽石製品・垂飾り・小玉)、骨角歯牙製品(返刺付刺突具・刺突具・釣り針・磨製刃器・端平頭棒状角製品・弦形角器・歯牙製垂飾り・針・札状加工品・椎状加工品・ヘラ状加工品・線刻を有する骨・切断痕を有する骨角)、貝製品(貝輪・貝輪素材・貝刃・タカラガイ加工品・ツノガイ加工品・貝器)、土製品(土器片鉢・土器片円盤・耳栓・大珠形土製品・土製垂飾り・スプーン形土製品・土製杖状耳飾り・環状土製品)、人骨、動物・魚類・貝類遺存体、弥生時代の遺物は、弥生土器(壺・甕)、土製品(紡錘車)、石器(敲石・石皿)、古墳時代の遺物は、土師器(椀・杯・高杯・壺・甕・鉢・甌)、須恵器(杯・蓋・壺・甕)、石製品(剣形模造品・双孔円板・勾玉)、土製品(支脚・球状土錘・管状土錘)、平安時代の遺物は、土師器(杯・高台付杯・皿・高台付皿・小皿・壺・甕・鉢・甌)、須恵器(杯・高台付杯・壺・甕・鉢・甌)、土製品(球状土錘・管状土錘・紡錘車)、金属製品(刀子)、中世から近世の遺物は、陶器(碗・鉢・播り鉢・甕)、磁器(碗・皿)、土師質土器(カワラケ・内耳鍋)、瓦質土器(鉢)、金属製品(銭貨・小柄・釘・火皿)、土製品(泥面子)、陶製品(転用砥)、石製品(砥石)、人骨である。

第2節 基本層序

調査区北西部(D4g5)に試掘坑を設定し、深さ2.3mまで掘り下げて基本層序の確認を行った。土層は13層に別けられ、第1層が表土、第2a層が黒色土、第2b層が黒褐色土で縄文時代前期後葉の遺物包含層、第2c層が黒褐色土で縄文時代早期後葉の遺物包含層、第4層以下が関東ローム層、第11層以下が常総粘土層である。以下、各層の特徴を述べる。

第1層はローム小ブロックを少量含む暗褐色の耕作土で、粘性及び締まりは弱い。層厚は40cmである。

第2a層は焼土粒・貝殻(貝殻から溶解した成分が土中で再凝固したと推測できる白色粉状の物質)を多量、ローム粒を少量含む黒色土で、粘性は普通で、締まりは弱い。層厚は10～20cmである。

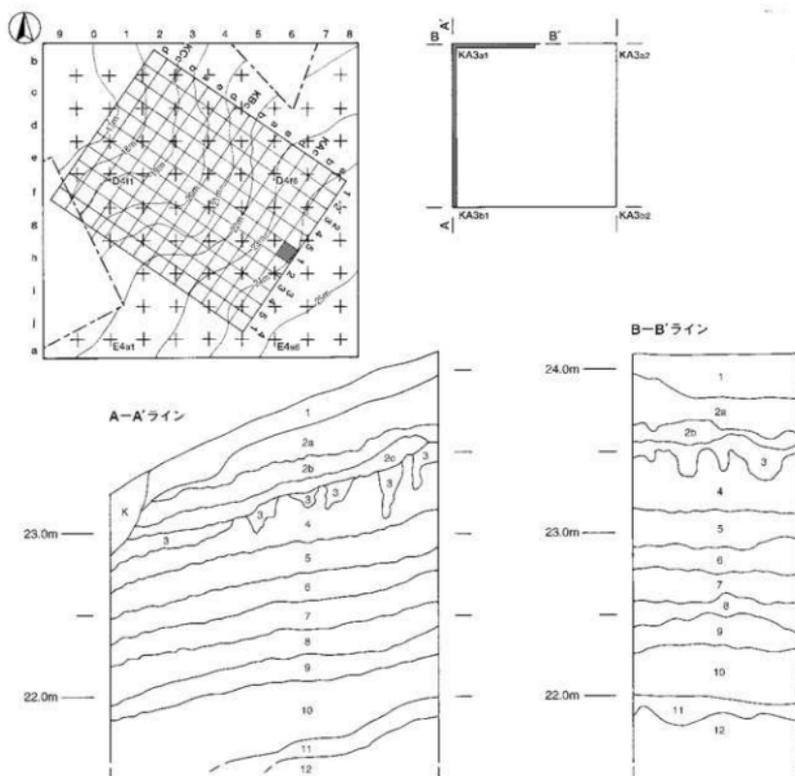
第2b層はローム粒を多量、貝粉を少量含む黒褐色土で、粘性は普通で、締まりは弱い。層厚は5～15cmである。

第2c層はローム小ブロックを多量、貝粉を微量含む暗褐色土で、粘性は普通で、締まりは弱い。層厚は20～30cmである。

第3層は黄褐色のソフトローム層で、ローム小ブロックを少量、貝粉を微量含んでいる。下位にクラックが発達している。粘性は強く、締まりは弱い。層厚は5～20cmである。立川ローム層に相当する。

第4層は黄褐色のハードローム層で、黒色粒子を微量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第3層よりも暗い。層厚は20～40cmである。立川ローム層に相当する。

第5層は黄褐色のハードローム層で、黒色粒子・赤色粒子を極少量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第4層よりも暗い。層厚は15～25cmである。以下、第10層まで武蔵野ローム層に相当する。



第3図 基本土層図

第6層は明黄褐色のハードローム層で、黒色粒子を少量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第5層よりも白みがかっている。層厚は10～25cmである。

第7層はにぶい黄褐色のハードローム層で、黒色粒子・白色粒子を微量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第6層よりも暗い。層厚は10～20cmである。

第8層はにぶい黄褐色のハードローム層で、黒色粒子・白色粒子を微量含んでいる。粘性及び締まりは極めて強い。第7層よりも暗い。層厚は5～20cmである。

第9層は灰黄褐色のハードローム層で、細礫を微量含んでいる。粘性及び締まりは強い。第8層よりも暗く、やや柔らかい。層厚は10～20cmである。

第10層は暗褐色のハードローム層で、砂及び細礫を含んでいる。粘性は極めて強く、締まりは強い。断面を削ると粗粒の感触がある。第9層よりも暗い。層厚は10～20cmである。

第11層は浅黄橙色の粘土層で、砂を中量含んでいる。粘性は極めて強く、締まりは強い。断面を削ると粗粒の感触がある。層厚は30～35cmである。

第12層は灰白色の粘土層で、砂を多量、細礫を微量含んでいる。粘性は弱く、締まりは普通である。断面を削ると粗粒の感触が強くある。第11層よりも灰白色が強い。層厚は下層が未掘のために不明である。

なお、遺構の多くは、第2層下部及び第3層上面で確認され、第4～6層にかけて掘り込まれている。



写真① 斜面貝層の調査（掘り込み作業）



写真② 斜面貝層の調査（貝層剥ぎ取り作業）



写真③ 斜面貝層の調査（発掘体験活動）



写真④ 斜面貝層の調査（一般公開）

第3節 遺構と遺物

1 縄文時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、台地で竪穴住居跡7軒、炉穴2基、炉跡2基、土坑435基、斜面部で斜面貝層1か所、土坑墓1基である。以下、それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。なお、台地で確認した435基の土坑の内、出土した遺物が少なく、時期を判断できない土坑330基については、出土遺物、形状、重複関係、覆土の様相などの総合的な所見から、当時代に属すると判断し、断面形がフラスコ状のものをA類、長径150cm以上のものをB類、長径100cm以上150cm未満のものをC類、長径100cm未満のものをD類、長径100cm未満の柱穴状のものをE類、方形及び長方形のものをF類と6類に分類した。これらの土坑については、実測図と土層解説だけを掲載する。

(1) 竪穴住居跡

第5号住居跡(第4図)

位置 調査区北部のD4b9区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 西部を第1号溝に掘り込まれている。北半分は調査区域外に延びているため、確認できた北西・南東径は3.62m、確認できた北東・南西径は1.82mで、本来は長径4.40mほど、短径3.70mほどの楕円形と推測できる。壁高は5～19cmで、外傾して立ち上がっている。

床 やや凹凸がある。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 中央部から西に偏った壁際位置する地床炉である。長径83cm、現存する短径43cmで、不整楕円形と推測され、床面を皿状に10cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

- 1 濃い赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子微量 2 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子微量

ピット 3か所。P1～P3の深さは27～52cmで、柱穴と考えられる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 色 ロームブロック中量

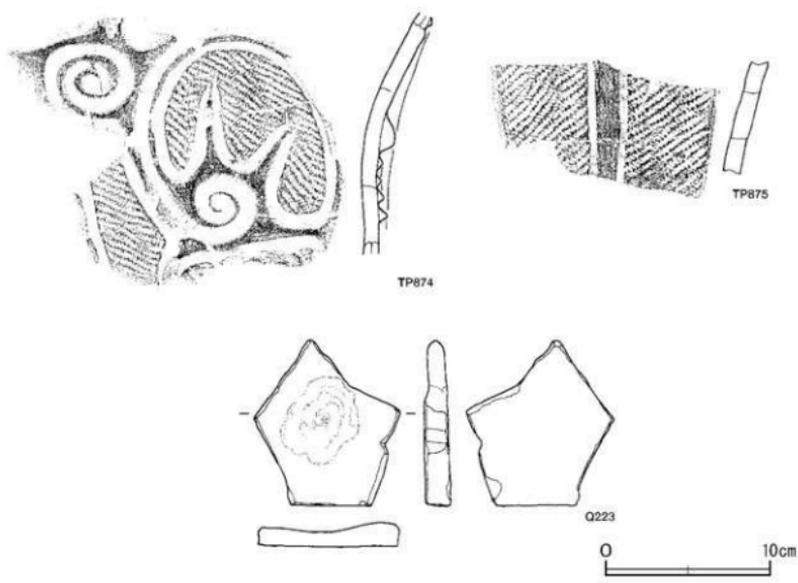
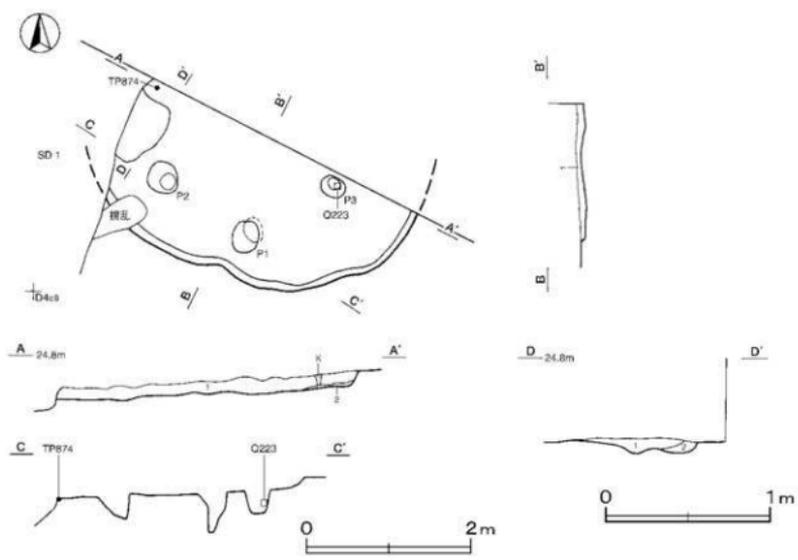
遺物出土状況 縄文土器片176点(深鉢)が、覆土中から散在した状態で、石器1点(石皿)が、P3の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。

第5号住居跡出土遺物観察表(第4図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|----------|----|----|---|------|----|
| TP874 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 14.7 } | - | 石英・長石・霞母 | 橙 | 普通 | 遺跡と沈線によって鉢状のモチーフを有する漆器文を呈下。縦位印紙の2段L単語縄文を施文。 | 覆土下層 | |
| TP875 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 6.9 } | - | 石英・長石・霞母 | 橙 | 普通 | 縦位印紙の2段L単語縄文を施文後、沈線を伴う裏打ち層を呈下 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|------|-----|-----|-------|-----|-------------------|------|----|
| Q223 | 石皿 | 10.2 | 8.9 | 1.6 | 146.7 | 凝灰岩 | 素材は板状の礫 片面に皿状の摺り面 | P3覆土 | |



第4图 第5号住居跡・出土遺物実測図

第23号住居跡（第5図）

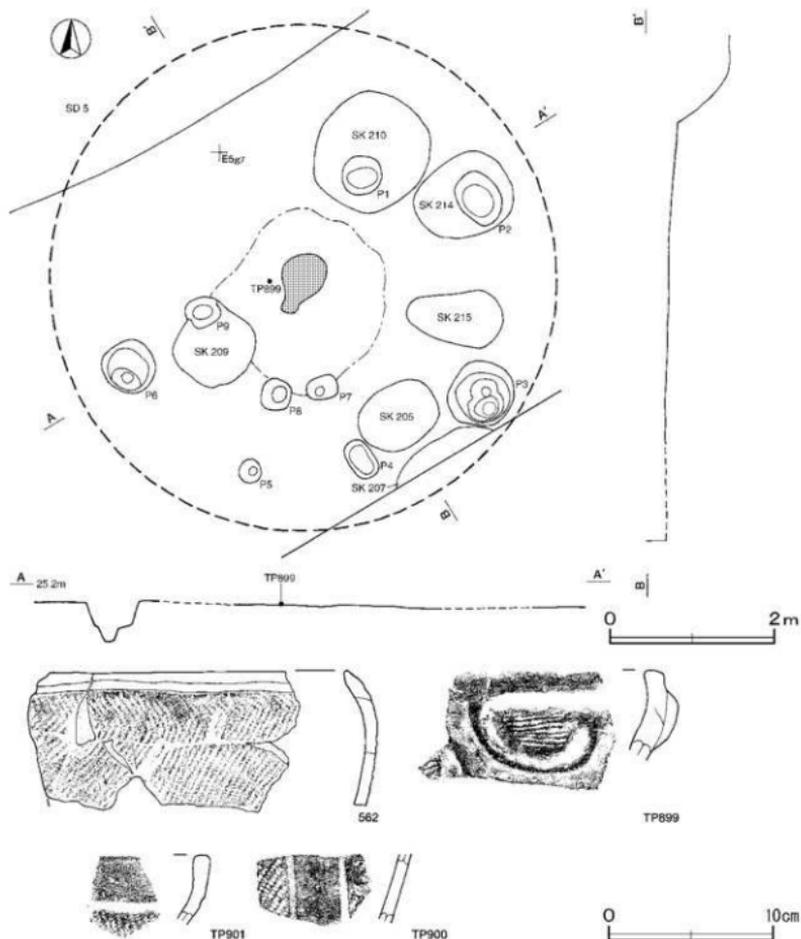
位置 調査区南部のE5j7区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 南東側の一部は調査区域外に延びていると推測できる。壁は削平を受けており、床の一部と炉及びピットを確認した。

規模と形状 不明である。第5図には炉を中心とした円形の推定線を表したが、あくまでも参考である。

重複関係 第212号土坑を掘り込み、第205・207・209・210・214・215号土坑、第5号溝に掘り込まれている。

床 ほぼ平坦で、炉の周囲で硬化面を確認した。



第5図 第23号住居跡・出土遺物実測図

炉 長径78cm, 短径50cmの不整楕円形で地床炉である。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。

ピット 9か所。P1 - P9の深さは25 - 62cmで、性格は不明である。

遺物出土状況 縄文土器片146点(深鉢), 土製品3点(土器片鏝)が, 炉の周囲の硬化面直上から出土している。その他, 混入した土器片1点も出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ(新)式期である。

第23号住居跡出土遺物観察表(第5図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------|-------|----|----------|-----|----|---------------------------------------|------|-----|
| 562 | 縄文土器 | 深鉢 | 18.2 | (8.1) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 無文の口縁部下に凹線を描らす。以下に縦・横位回転の2段LR単部縄文を焼文 | 覆土 | 10% |
| TP899 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 石英・長石 | に灰漬 | 普通 | 焼締と沈線によって楕円形区画を形成。区画内に斜位回転の1段L単部縄文を焼文 | 覆土 | |
| TP900 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 石英・長石 | 暗褐 | 普通 | 縦位回転の2段L単部縄文を焼文後、沈線を描き消し跡を遺す | 覆土 | |
| TP901 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 石英・長石 | 暗褐 | 普通 | 無文の口縁部下に凹線を描らす。以下に単部縄文を焼文 | 覆土 | |

第35号住居跡(第6 - 8図)

位置 調査区東部のE6f0区で、標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 両側の壁は斜面によって削平されている。複数の炉やピットの配置などから、少なくとも3回の建て替えが推測できる。最古段階を第35A号住居跡、中段階を第35B号住居跡、最新段階を第35C号住居跡として区別した。遺存状況はいずれも不良である。

規模と形状 第35A号住居跡は、形状が不明であるが、ピットの配置から楕円形と推測できる。第35B号住居跡は、長軸5.46m、現存する短軸4.50mで、楕円形と推測できる。主軸方向はN-3°-Eである。壁高は11cmで、外傾して立ち上がっている。第35C号住居跡は、現存する長軸6.38m、短軸5.64mで、楕円形と推測できる。主軸方向はN-3°-Eである。壁高は5 - 8cmで、外傾して立ち上がっている。

床 第35A号住居跡は不明である。第35B号住居跡は、壁直下には幅10 - 25cm、深さ5cm、断面形がU字状の壁溝が断続的に巡っている。第35C号住居跡はやや凹凸がある。炉を中心に壁際を除いて踏み固められている。壁直下には幅8 - 25cm、深さ2 - 5cm、断面形がU字状の壁溝が巡っているが、削平を受けている両側の状況は不明である。

炉 地床炉2か所、石囲い炉1か所。炉1は、第35A号住居跡に伴う地床炉と考えられる。ピットで囲まれた範囲のほぼ中央部に位置し、炉3によって東半分が失われている。長径44cm、現存する短径24cm、楕円形と推測できる。床面を血状に11cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。炉2は、第35B号住居跡に伴う地床炉と考えられる。中央部から北寄りに位置し、長径83cm、短径52cmの不整楕円形で、床面を血状に10cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。炉3は、第35C号住居跡に伴う石囲い炉と考えられる。長径89cm、短径48cmの楕円形で、床面を血状に10cm掘りくぼめている。石囲いは東側と西側の一部に認められ、長楕円形の礎を埋め込んでいる。本来、全周していた炉縁石の大半が抜き取られたと推測できる。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。

炉2・3土層解説

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 赤褐色 焼土ブロック多量、炭化物微量 | 3 暗褐色 焼土ブロック・炭化物中量、ローム粒子少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |

ピット 36か所。P1 - P8は深さ39 - 90cmで、第35A号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P9 - P15は深さ

46～66cmで、第35B号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P16～P32は深さ10～90cmで、第35C号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P33～P36は深さ12～32cmで、帰属及び性格は不明である。

ビツ土層解説

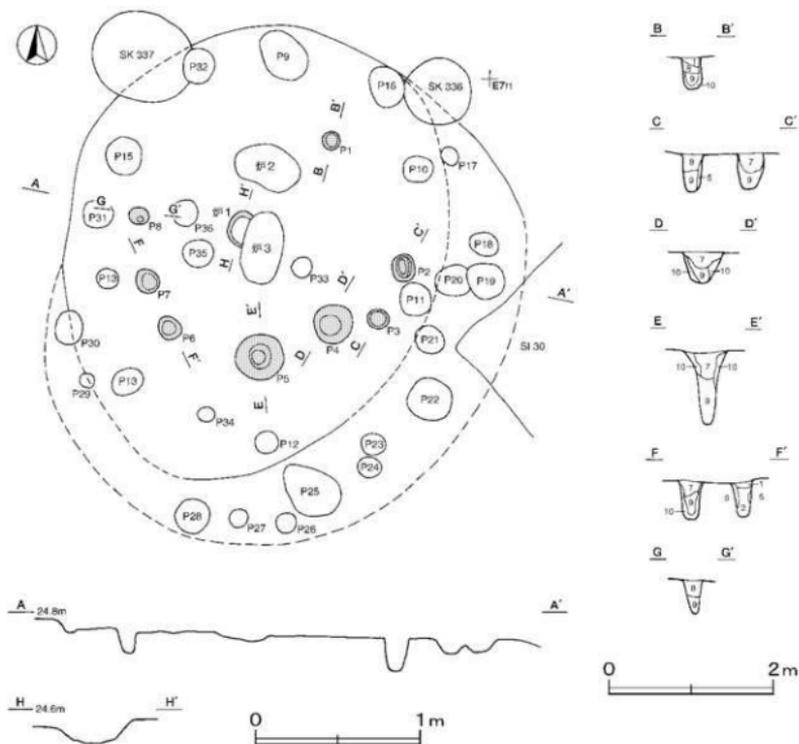
- | | | | |
|--------|-------------------|---------|------------------------|
| 1 稀 褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 7 稀 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化物微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量, 炭化粒子微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子微量 |
| 4 稀 褐色 | ローム粒子中量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 11 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック少量 |
| 6 稀 褐色 | ローム粒子多量 | 12 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

覆土 7層に分けられ、いずれも第35C号住居跡の覆土である。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

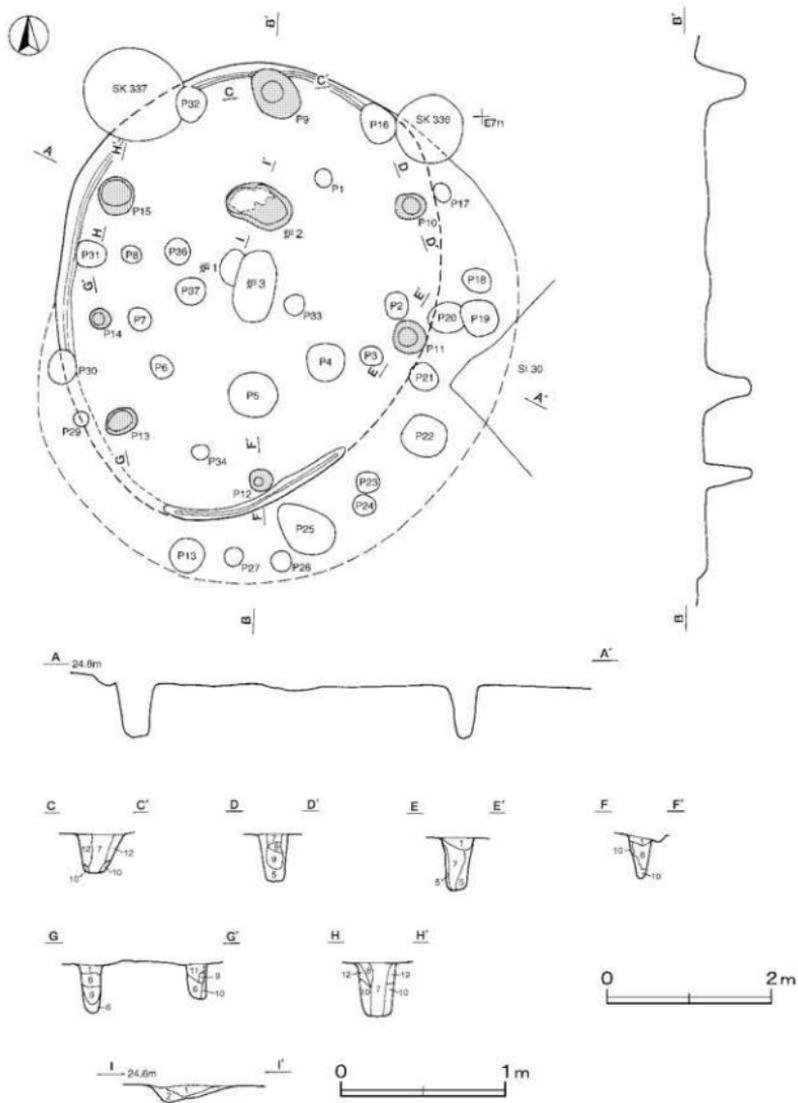
土層解説

- | | | | |
|---------|-----------------|--------|----------------------------|
| 1 稀 暗褐色 | ローム粒子少量, 焼土粒子微量 | 5 暗赤褐色 | 焼土ブロック多量, ロームブロック中量, 炭化物微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子中量, 炭化粒子微量 | 6 暗赤褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 稀 褐色 | ロームブロック中量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 暗褐色 | ローム粒子多量, 炭化粒子微量 | | |

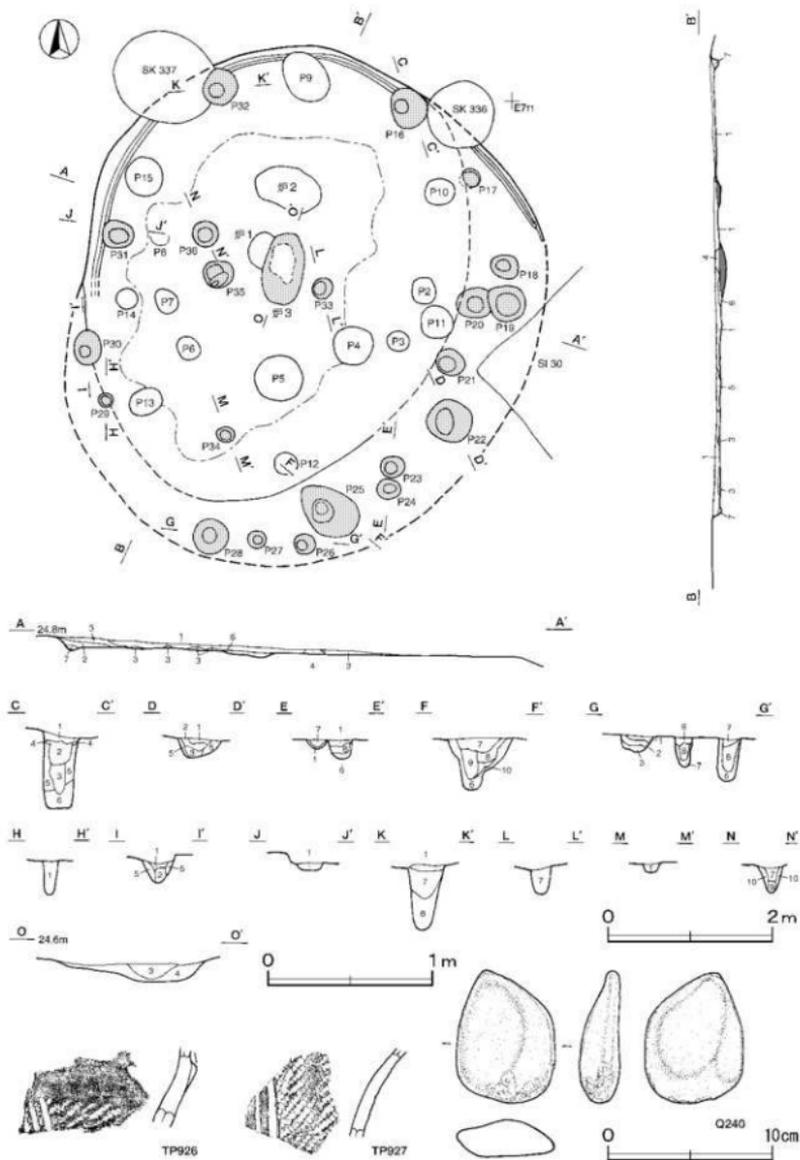
遺物出土状況 縄文土器片116点(深鉢), 石器1点(敲石)が、覆土中から散在した状態で出土している。



第6図 第35A号住居跡実測図



第7图 第35B号住居跡実測图



第8图 第35C号住居跡・出土遺物実測図

所見 複数の炉やピットの配置などから、少なくとも3回の建て替えが認められる。最終段階の時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。最古段階の第35A号住居跡は地床炉とピットしか確認できなかったため、建て替えではなく重複の可能性もある。中段階の第35B号住居跡と最終段階の第35C号住居跡は、周溝の一部を共有しているために拡張と考えられる。炉は地床炉から石囲い炉へ変化している。

第35C号住居跡出土遺物観察表(第8図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|---------------------------------|------|----|
| TP926 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 石英・長石 | 橘 | 普通 | 遺物を直らし、3本単位の沈線を右下 横位回転の筋を反折しを施文 | 覆土 | |
| TP927 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 縦位回転の2段R L単線縄文を施文後、沈線を伴う裏取り筋を直下 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|----|-------------------------|------|----|
| Q240 | 敲石 | 8.1 | 6.0 | 2.5 | 146.1 | 砂岩 | 素材は扁平な礫 下端部に敲打による歯痕状の凹み | 覆土 | |

第37号住居跡(第9～11図)

位置 調査区東部のE6ⅰ9区で、標高24.5mの台地縁辺部に位置している。南側の壁は斜面によって削平されている。

重複関係 第38号住居・第484号土坑を掘り込み、第346・380・389・397・398・399号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸5.91m、短軸5.02mの隅丸長方形で、主軸方向はN-10°-Wである。壁高は6～40cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほぼ平坦で、全体的に南側に傾斜している。壁直下には幅9～18cm、深さ8～10cm、断面形がU字状の壁溝が巡っている。壁際を除いて踏み固められている。

炉 中央部から北寄りに位置する地床炉である。長径65cm、短径51cmの楕円形で、床面を皿状に10cm掘りくぼめている。火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 2 赤 褐 色 焼土ブロック多量、炭化物微量

ピット 14か所。P1～P6は深さ35～49cmで、柱穴と考えられる。P7～P12は深さ14～30cmで、補助的な柱穴と考えられる。P13は深さ18cm、P14は深さ25cmで、性格は不明である。

ピット土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量 3 暗 褐 色 ローム粒子中量
2 暗 褐 色 ローム粒子少量

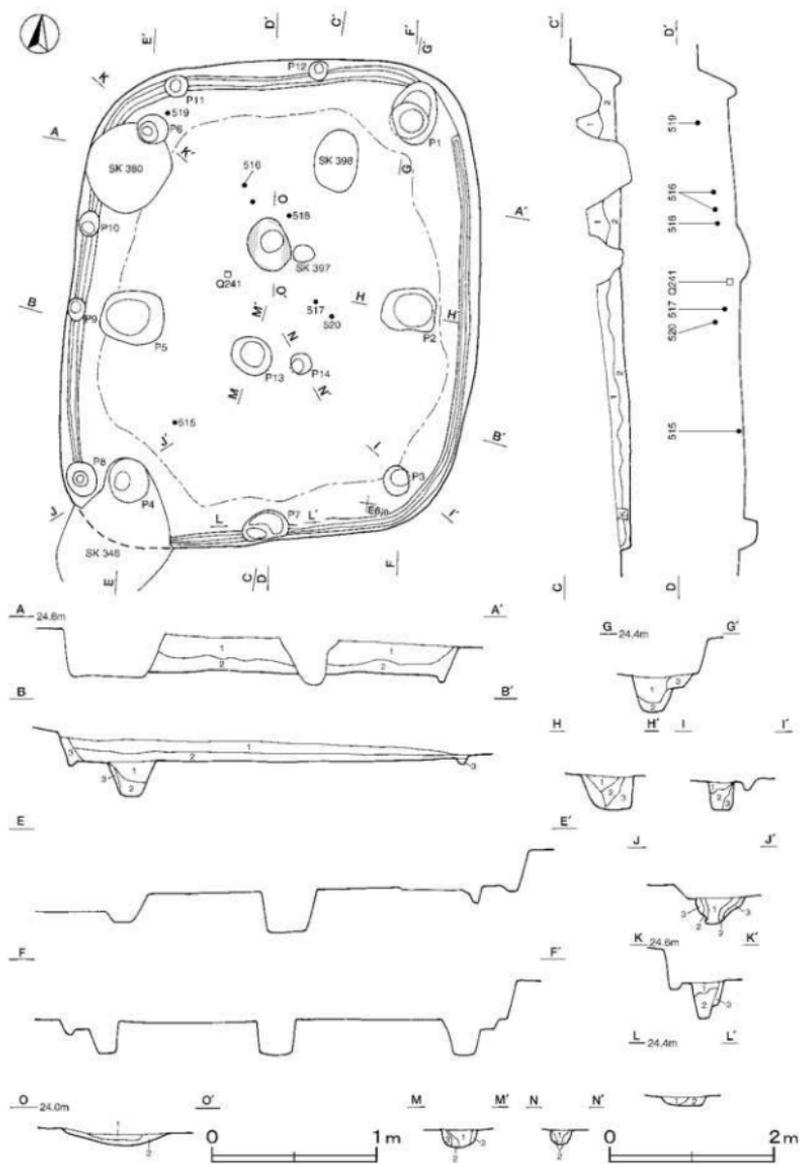
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

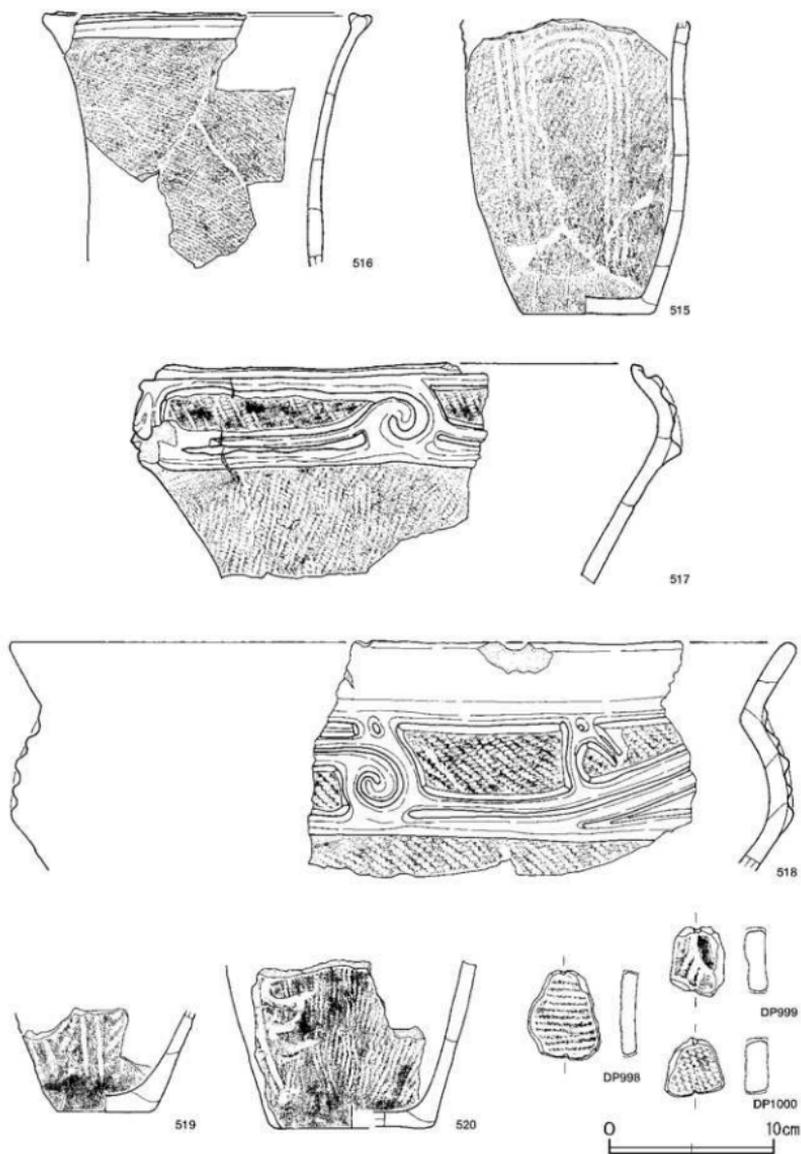
- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 3 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 暗 褐 色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片1381点(深鉢)、土製品6点(土器片鏟)、石器10点(石鏃1、石皿1、磨石2、剥片6)が、第1層から散在した状態で出土している。住居廃絶後しばらくしてから廃棄された遺物と考えられる。その他、混入した土器器片11点と須恵器片3点も出土している。

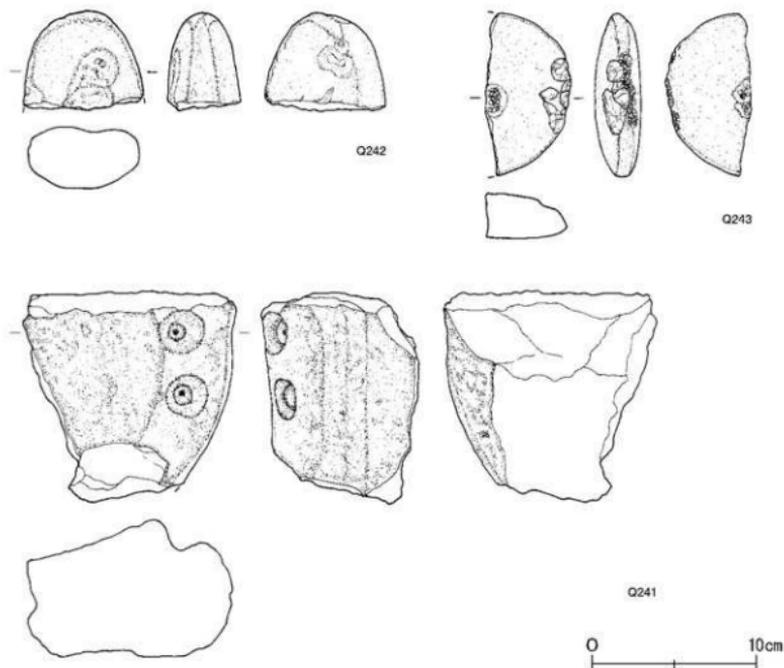
所見 覆土中の縄文土器片に大きな時期差は認められない。中期後葉の加曾利EⅡ式期には廃絶されていたと考えられる。時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅠ(新)式期と推測できる。



第9图 第37号住居跡实测图



第10图 第37号住居跡出土遺物実測図1)



第11図 第37号住居跡出土遺物実測図²⁾

第37号住居跡出土遺物観察表 (第10・11図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|-----|----------|-------|----|--|------|-----|
| 515 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 18.0 | 7.8 | 長石・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線を書き下し、h字状のモチーフを描出し、縁部は斜位回転の2段L R単位縄文を施文 | 覆土下層 | 45% |
| 516 | 縄文土器 | 深鉢 | 18.2 | 15.4 | - | 長石・雲母 | に濃い褐色 | 普通 | 口縁部に薄線を施す。斜位回転の直線部多量に施文 | 覆土中層 | 20% |
| 517 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.9 | 13.5 | - | 石英・長石・雲母 | 褐色 | 普通 | 薄線と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出し、縁部は斜位回転の2段L R単位縄文を施文 | 覆土中層 | 10% |
| 518 | 縄文土器 | 鉢 | 48.0 | 14.0 | - | 石英・長石・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 薄線と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出し、縁部は斜位回転の2段L R単位縄文を施文 | 覆土中層 | 10% |
| 519 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 6.4 | 5.5 | 長石・雲母 | 褐色 | 普通 | 斜位回転の2段L R単位縄文を施文後、沈線を伴う磨り直し痕を呈す | 覆土上層 | 10% |
| 520 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.1 | 9.0 | 石英・長石・雲母 | 褐色 | 普通 | 斜位回転の2段L R単位縄文を施文後、斜行沈線を描いた2・3本単位の沈線を書き下す | 覆土中層 | 10% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP998 | 土器片鏢 | 5.4 | 4.4 | 1.0 | 27.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.1cm | 覆土 | PL56 |
| DP999 | 土器片鏢 | 4.3 | 3.3 | 1.2 | 20.5 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm | 覆土 | PL56 |
| DP1000 | 土器片鏢 | 3.6 | 3.6 | 1.4 | 21.9 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm | 覆土 | PL56 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|------|------|-----|-------|-----|---------------------------------|------|----|
| Q241 | 石皿 | 12.8 | 12.9 | 9.2 | 135.9 | 安山岩 | 片面に皿状の磨り面 縁辺部に複数の断面がV字状の凹み | 覆土中層 | |
| Q242 | 磨石 | 6.1 | 4.4 | 7.4 | 211.5 | 安山岩 | 全面磨り面 両面に浅い凹み | 覆土 | |
| Q243 | 磨石 | 10.1 | 5.2 | 2.8 | 193.4 | 安山岩 | 全面磨り面 両面に浅い凹み 側面の一部に射打による指痕状の凹み | 覆土 | |

第38号住居跡（第12図）

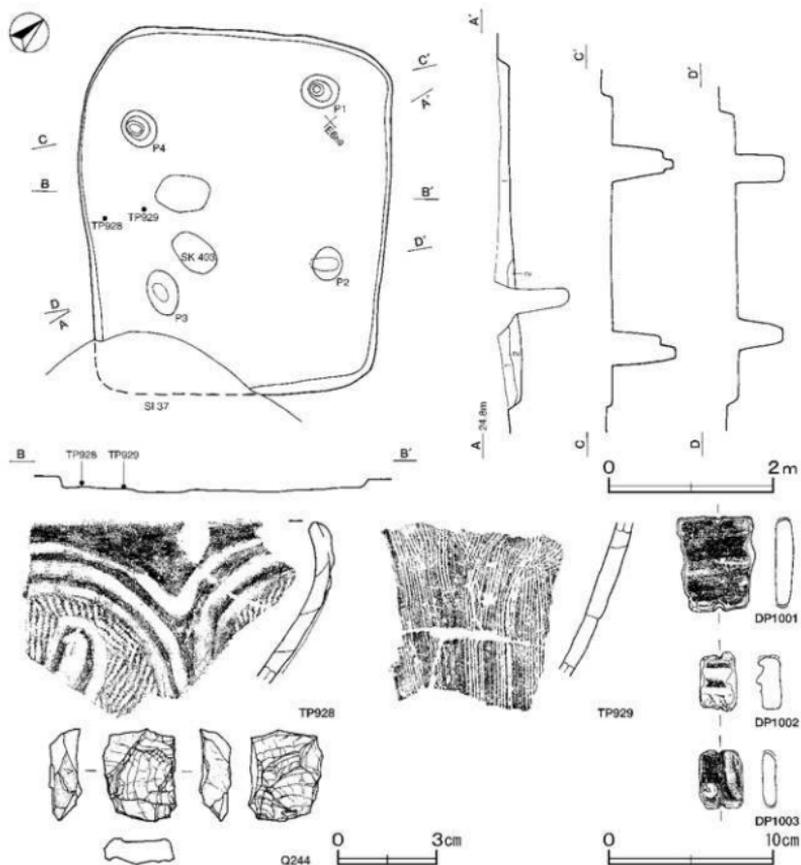
位置 調査区東部のE 6 h 8区で、標高24.5mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第333・445・469・484号土坑を掘り込み、第37号住居、第403号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸4.41m、短軸3.68mの隅丸長方形で、主軸方向はN-45°-Wである。壁高は7-20cmで、直立している。

床 ほぼ平坦で、全体的に南東側に傾斜している。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 中央部から南西寄りに位置する地床炉である。長径67cm、短径45cmの楕円形である。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。



第12図 第38号住居跡・出土遺物実測図

ビット 4か所。P1 - P4は深さ47-76cmで、柱穴と考えられる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 2 暗 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片286点（深鉢）、石器5点（敲石1、剥片4）、土製品3点（土器片鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅢ（新）式期と推測できる。

第38号住居跡出土遺物観察表（第12図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|--|------|----|
| TP928 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 遺骨と炭粒によってV字状のモチーフを描出 糸・横・斜位回転の2段Rし単筋縄文を施文 | 覆土下層 | |
| TP929 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 4本単位の赤線を縦位に施文 | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | | | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|-----------------|----------|------------|------|------|
| DP1001 | 土器片鉢 | 5.6 | 4.2 | 1.1 | 38.4 | 縄文土器 | 3側縁研磨・1側縁打ち欠き調整 | 1方向の切り込み | 切り込み幅5.3cm | 覆土 | PL56 |
| DP1002 | 土器片鉢 | 3.5 | 2.3 | 1.4 | 13.3 | 縄文土器 | 3側縁研磨・1側縁打ち欠き調整 | 1方向の切り込み | 切り込み幅3.0cm | 覆土 | PL56 |
| DP1003 | 土器片鉢 | 3.5 | 2.2 | 0.8 | 9.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み幅2.9cm | 覆土 | PL56 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | | | 出土位置 | 備考 | |
|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------------------|------|--------------|-----------|----|--|
| Q244 | 楕円石器 | 2.7 | 2.3 | 0.9 | 7.2 | チャート | 両面に上下方向からの新磨面が交錯 | 再種打法 | 両面に硬面を 残す | 楕円形は不整な変形 | 覆土 | |

第40号住居跡（第13図）

位置 調査区東部のE7e2区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第317号土坑を掘り込み、第30号住居に掘り込まれている。北半分は調査区域外に延びている。壁及び床は削平を受けており、炉とビットだけを確認した。

炉 長径64cm、短径55cmの楕円形で床炉である。確認面から皿状に12cm掘り込んでいる。火床面は第2層上面で、火熱を受けて赤変硬化している。第3層は掘り方への埋土である。

炉土層解説

- 1 濃い赤褐色 焼土ブロック中量、炭化粒子少量、ローム粒子微量 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子微量
2 暗 褐色 焼土ブロック多量、ロームブロック少量、炭化物微量

ビット 8か所。P1 - P8の深さは13-55cmで、性格は不明である。P8は炉の下から確認されている。

ビット土層解説

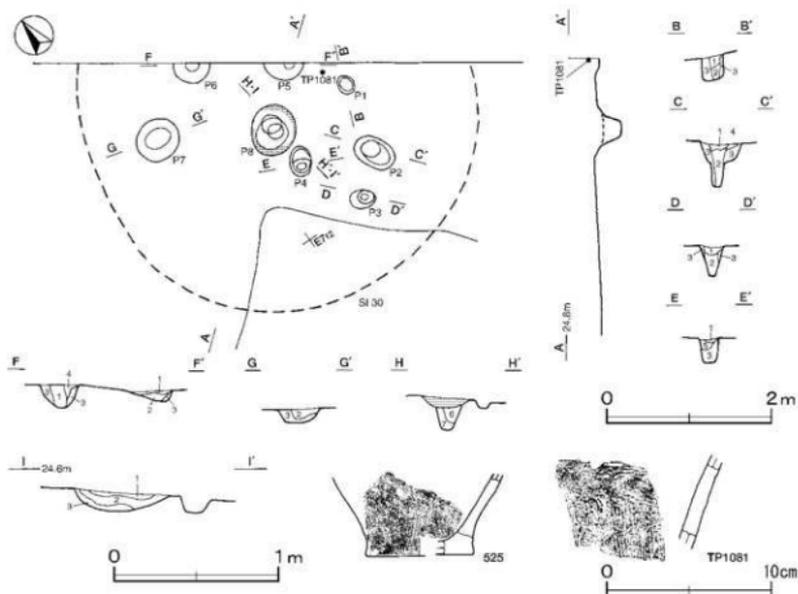
- 1 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量 5 暗 褐色 ロームブロック少量
2 暗 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 6 暗 褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量
3 褐色 ローム粒中量、焼土粒子・炭化粒子微量 7 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
4 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片5点（深鉢）が、炉の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅢ（新）式期である。

第40号住居跡出土遺物観察表（第13図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|-------|-------|------|----|----------|------|-----|
| 525 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | (6.5) | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 無文 | 覆土 | 10% |
| TP1081 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 赤線を縦位に施文 | 覆土下層 | |



第13図 第40号住居跡・出土遺物実測図

第41号住居跡 (第14図)

位置 調査区東部のE 6 e4区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第24号住居に掘り込まれている。壁は削平を受けており、床の一部と炉及びビットを確認した。第269・350・458・459・501号土坑と平面的に重複しているが、先後関係は不明である。

床 ほぼ平坦で、全体的に南東側に傾斜している。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 長径89cm、短径80cmの楕円形で地床炉である。確認面から皿状に35cm掘り込んでいる。火床面は第5層上面で、火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 褐色 焼土ブロック・ローム粒子少量 | 4 極暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 5 に近い赤褐色 焼土ブロック中量、炭化物少量、ローム粒子微量 |
| 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック少量、炭化物微量 | |

ビット 11か所。P1 - P11の深さは25 - 64cmで、性格は不明である。

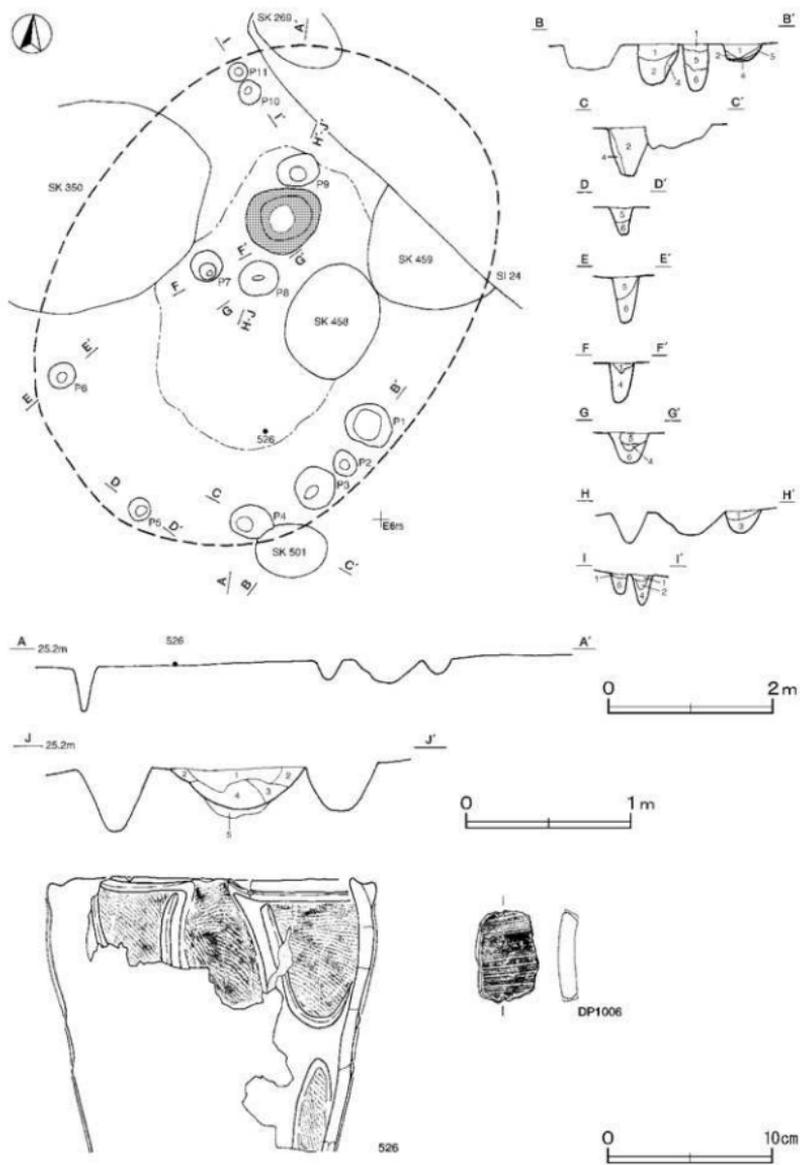
ビット土層解説

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 明褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量 | 6 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片192点(深鉢)、土製品1点(土器片鏟)が、炉の周囲の床面直上から出土している。

その他、混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ(古)式期である。



第14图 第41号住居跡・出土遺物実測図

第41号住居跡出土遺物観察表（第14図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|-------|-------|----|---|------|-----|
| 526 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.4 | 16.7 | - | 石英・雲母 | オリーブ褐 | 普通 | 口部には数文で磨擦帯を施す 胴部は磨擦帯によって楕円形や近三角形区画を形成 履位回転の1層し縞部縄文を施文 磨擦帯間は磨り消す | 床直上 | 30% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1006 | 土器片鏝 | 5.6 | 3.8 | 1.0 | 29.5 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.1cm | 覆土 | PL56 |

表2 縄文時代竪穴住居跡一覧表

| 番号 | 位置 | 主軸方向 | 平面形 | 規模(m) (長軸・短軸) | 壁高 (cm) | 床面 | 壁溝 | 内部施設 | | | | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 重複関係 (古→新) | |
|-----|--------|---------|-------|------------------|------------|--------|----|----------------------|---|----|----------|----|--------|--------------------------|---------------------|--------------------------------------|
| | | | | | | | | ピット 主柱穴 柱穴 土人孔 不明 | 竈 | 炉 | 貯蔵 | | | | | |
| 5 | D 4 b9 | - | 【楕円形】 | 3.62m × (1.82) | 5-19 | 凹凸 | - | 3 | - | - | 地床 炉1 | - | 自然 | 縄文土器・石 臼 | 中期後葉 | 本跡→S01 |
| 23 | E 5 j7 | - | - | - | - | 平坦 | - | - | - | 9 | - | - | 自然 | 縄文土器・土 器片鏝 | 中期後葉 | SK21・48・SK22・207 209・210・215・225 |
| 35a | E 6 f0 | N-3°-E | - | - | - | - | - | 8 | - | - | 地床 炉1 | - | - | - | 中期後葉 | - |
| 35b | E 6 f0 | N-3°-E | 【楕円形】 | 5.46 × (4.50) | 11 | 凹凸一部 | - | 7 | - | - | 地床 炉1 | - | - | - | 中期後葉 | 本跡→SK336・ 337 |
| 35c | E 6 f0 | N-3°-E | 【楕円形】 | 6.38 × 5.64 | 5-8 | 凹凸一部 | - | 17 | - | - | 石面 炉1 | - | 自然 | 縄文土器・磨 石 | 中期後葉 | 本跡→SK336・ 337・S130 |
| 37 | E 6 i9 | N-10°-W | 楕丸長方形 | 5.91 × 5.02 | 6-40 | 平坦(全周) | 6 | - | - | 8 | 地床 炉1 | - | 自然 | 縄文土器・磨石 片鏝・石臼・貯蔵 器 | 中期後葉 | SK44・S18・本跡→SK 46・305・309・317・329 |
| 38 | E 6 h8 | N-45°-W | 楕丸長方形 | 4.41 × 3.68 | 7-20 | 平坦 | 4 | - | - | - | 地床 炉1 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片鏝・磨石・石片 | 中期後葉 | SK333・445・469・484 +本跡→SK403・S137 |
| 40 | E 7 e2 | - | - | - | - | - | - | - | - | 8 | 地床 炉1 | - | - | 縄文土器 | 中期後葉 | SK317→本跡→ S130 |
| 41 | E 6 e4 | - | - | - | - | - | - | - | - | 11 | 地床 炉1 | - | - | 縄文土器・土 器片鏝 | 中期後葉 | 本跡→S124 |

(2) 炉跡

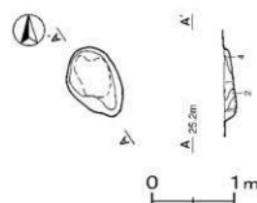
第1号炉跡（第15図）

位置 調査区東部のE 6 c8区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 周辺に本跡に伴う施設は認められず、遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.91m、短径0.55mの不整楕円形で、皿状に14cm掘り込んでいる。壁は緩やかに立ち上がっている。長径方向はN-29°-Wである。

覆土 4層に分かれ、第1・2層上面が火床面で、第3・4層は掘り方への埋土である。



第15図 第1号炉跡実測図

土層解説

- 1 赤褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック・ロームブロック少量、炭化物微量
- 3 稀暗赤褐色 焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、ローム粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片10点（深鉢）が、覆土中から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II式期と推測できる。

第2号炉跡（第16図）

位置 調査区東部のE 6 g9区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 周辺に本跡に伴う施設は認められず、遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.14m、短径1.00mの楕円形で、皿状に15cm掘り込んでいる。壁は緩やかに立ち上がっている。

る。長径方向はN-47°-Wである。

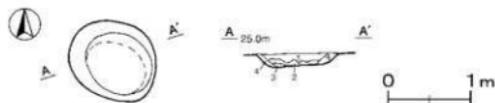
覆土 4層に分かれ、第2層上面が火床面で、第3・4層は掘り方への埋土である。

土層解説

- | | | | | | |
|---|------|-------------------------|---|-------|------------------------|
| 1 | 暗赤褐色 | 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化粒子微量 | 3 | 極暗赤褐色 | 焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 赤褐色 | 焼土ブロック・ロームブロック中量、炭化物微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、ローム粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片2点(深鉢)が、覆土中から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第16図 第2号炉跡実測図

表3 縄文時代炉跡一覧表

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピット | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 重複関係 (古→新) |
|----|---------|-------|--------------|----------------------|------------|----|----|-----|----|--------|------|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | |
| 1 | E 6 c 8 | 不整形円形 | N-29°-W | 0.91 × 0.55 | 14 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | - | 中期後葉 | - |
| 2 | E 6 g 9 | 横円形 | N-47°-W | 1.14 × 1.00 | 15 | 緩斜 | 平坦 | - | 自然 | - | 中期後葉 | - |

(3) 炉穴

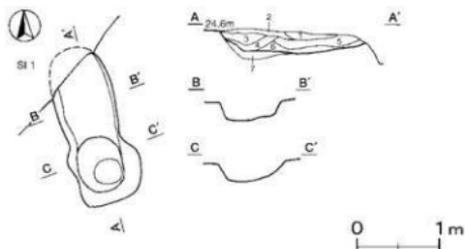
第1号炉穴(第17図)

位置 調査区北部のD 4 g 8区で、標高24.5mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号住居に掘り込まれている。

規模と形状 北側は第1号住居に掘り込まれているため、確認できた長径は1.74mで、本来は長径2.00mほど、短径0.84mの不整形円形と推測され、長径方向はN-16°-Wである。南側が火焚部で、北側に足場が付設されている。深さは火焚部が39cm、足場が25cmである。壁は外傾して立ち上がっている。火焚部は皿状で、底面は火熱を受けて赤変硬化している。足場は火焚部に向かって緩やかに傾斜している。

覆土 7層に分かれ、第2～4層は焼土ブロックを多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第1・5・6層は、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第7層は火床面の焼土である。



第17図 第1号炉穴実測図

土層解説

- | | | | |
|-----------|--------------------|-----------|-------------|
| 1 黒 褐 色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 黒 褐 色 | ローム粒子・炭化物微量 |
| 2 暗 赤 褐 色 | 焼土ブロック少量、ロームブロック微量 | 6 暗 褐 色 | ロームブロック少量 |
| 3 赤 褐 色 | 焼土ブロック中量、ローム粒微量 | 7 暗 赤 褐 色 | 焼土ブロック多量 |
| 4 暗 赤 褐 色 | 焼土ブロック少量、ローム粒微量 | | |

所見 時期は、出土遺物がないので、遺構の形状から、早期から前期と推測できる。

第2号炉穴（第18図）

位置 調査区北部のD4g8区で、標高24.5mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第25号土坑に掘り込まれている。

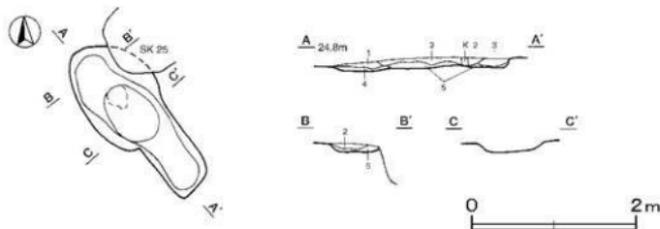
規模と形状 北東側が第25号土坑に掘り込まれているため、長径2.20m、確認できた短径は0.96mで、本来は短径1.00mほどの不整形円形と推測され、長径方向はN-40°-Wである。北西側が火焚部で、南東側に足場が付設されている。深さは火焚部が12cm、足場が10cmである。壁は外傾して立ち上がっている。火焚部は皿状を呈し、底面のほぼ中央部が火熱を受けて赤変硬化している。足場は火焚部に向かって緩やかに傾斜している。

覆土 5層に分かれ、全体的に焼土ブロックを含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-----------|--------------------|---------|--------------------|
| 1 黒 褐 色 | 焼土ブロック少量、ロームブロック微量 | 4 黒 褐 色 | ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |
| 2 暗 赤 褐 色 | 焼土ブロック中量 | 5 暗 褐 色 | ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |
| 3 赤 褐 色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | | |

所見 時期は、出土遺物がないので、遺構の形状から、早期から前期と推測できる。



第18図 第2号炉穴実測図

表4 縄文時代炉穴一覧表

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピオ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 備考 重複関係 (古→新) |
|----|------|---------|--------------|---------------|------------|----|----|----|----------|--------|-------|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) | 深さ (cm) | | | | | | | |
| 1 | D4g8 | [不整形円形] | N-16°-W | 1.74 × 0.84 | 23 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 人為 | - | 早期-前期 | 本跡→S11 |
| 2 | D4g8 | [不整形円形] | N-40°-W | 2.20 × (0.96) | 12 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | - | 早期-前期 | 本跡→SK25 |

(4) 土坑

第2号土坑（第19図）

位置 調査区北部のD4f8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1・4号住居に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第1・4号住居に掘り込まれているため、確認できた長径は1.58mで、本来は長径1.70m

ほど、短径1.62mの円形と推測できる。深さは57cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

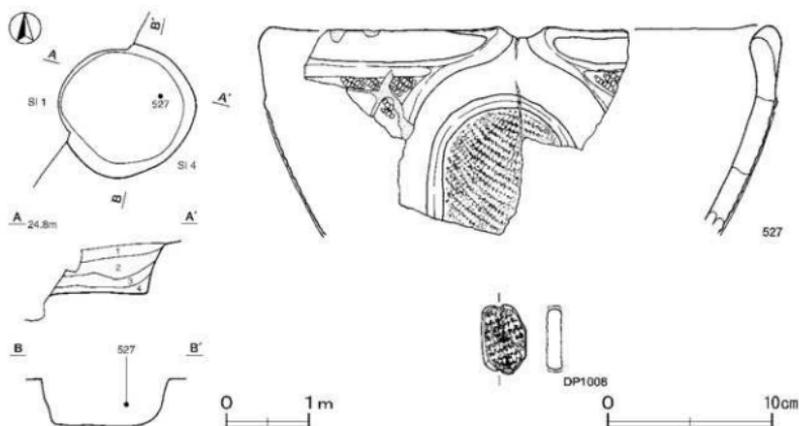
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片141点（深鉢）、土製品3点（土器片錘）、石器1点（剥片）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。その他、混入した土師器片2点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ（古）式期である。



第19図 第2号土坑・出土遺物実測図

第2号土坑出土遺物観察表（第19図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|----------|----|----|---|------|-----|
| 527 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.1 | 12.7 | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口唇部は無文で陶理帯を巡らす。胴部は陶理帯によって横方向の線が形成。肩位回転の2段LR単筋線文を施文。陶理帯は磨り消す | 覆土中層 | 10% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | | | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|----------|----------|------------|------|------|
| DP1008 | 土器片錘 | 4.2 | 2.7 | 0.9 | 14.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み間3.7cm | 覆土 | PL56 |

第3号土坑（第20図）

位置 調査区北部のD 5 d1区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.21m、短径1.12mの円形で、深さは13cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

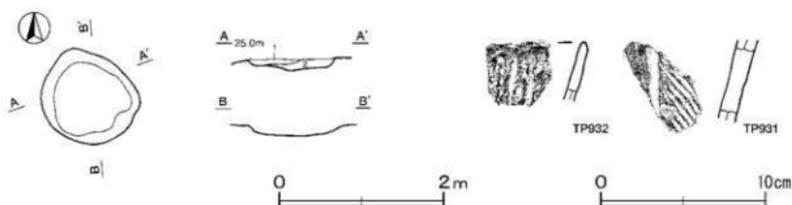
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量 2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片26点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。



第20図 第3号土坑・出土遺物実測図

第3号土坑出土遺物観察表（第20図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|----------------------------------|------|----|
| TP931 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 石英・長石 | にびれ褐 | 普通 | 縦位回転の2段L R単節縄文を施文後、沈線に伴う横り消し線を施す | 覆土 | |
| TP932 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.6) | - | 石英・長石・雲母 | 褐 | 普通 | 斜位回転の2段L R単節縄文を施文 | 覆土 | |

第5号土坑（第21図）

位置 調査区北部のD5 d1区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.95m、短径0.82mの楕円形で、長径方向はN-45°-Eである。深さは18cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

2 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片8点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から縄文時代中期後葉の加曽利EⅠ式期である。



第21図 第5号土坑・出土遺物実測図

第5号土坑出土遺物観察表（第21図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|-----|----|---------------------------------|------|----|
| TP933 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 石英・長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 斜位回転の2段L R単節縄文を施文後、2・3本単位の沈線を施す | 覆土 | |

第6号土坑（第22図）

位置 調査区北部のD5c2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.96m、短径0.76mの楕円形で、長径方向はN-38°-Wである。深さは20cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

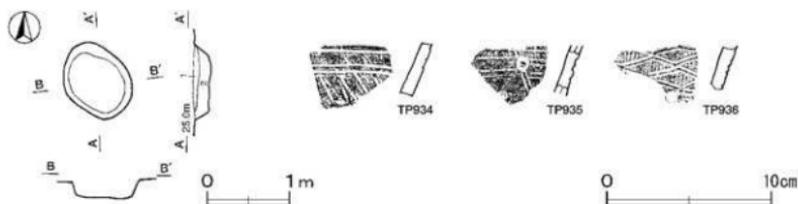
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から前期後葉の浮島Ⅰa式期である。



第22図 第6号土坑・出土遺物実測図

第6号土坑出土遺物観察表（第22図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|-----|----|-------------------------------|------|----|
| TP934 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.2) | - | 石英・長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 半截竹篋による平行沈線を横位に施文 地文は付加線を施文 | 覆土 | |
| TP935 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.1) | - | 石英・長石 | 浅黄橙 | 普通 | 半截竹篋による肋骨文と円形刺突文を施文 | 覆土 | |
| TP936 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.7) | - | 石英・長石・雲母 | 黒褐 | 普通 | 半截竹篋による扇目状文を施文 地文は2段1反半截縄文を施文 | 覆土 | |

第7号土坑（第23図）

位置 調査区北部のD5c1区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 北西・北東側は調査区域外に延びている。遺存状況は良好である。

規模と形状 北西・北東側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.89m、確認できた短径は1.02mで、本来は径1.30mほどの円形と推測できる。深さは38cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

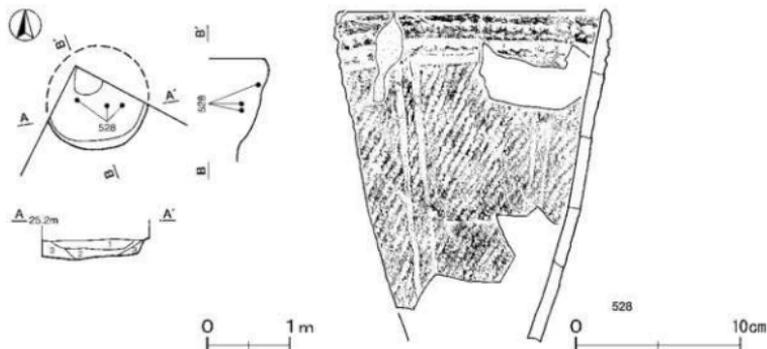
1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

3 暗褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片30点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。その他、混入した須恵器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅠ（新）-EⅡ（古）式期である。



第23図 第7号土坑・出土遺物実測図

第7号土坑出土遺物観察表（第23図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|-------|----|----|---|------|-----|
| 528 | 縄文土器 | 深鉢 | 15.8 | 20.2 | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部に2種の連続する円形刻突と1本の沈線を施す。以下に方位回転の2段LR半部縄文を施した後、2本単位の沈線を垂下 | 覆土下層 | 20% |

第8号土坑（第24図）

位置 調査区北部のD5c2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 第9号土坑と接しているが、先後関係は不明である。

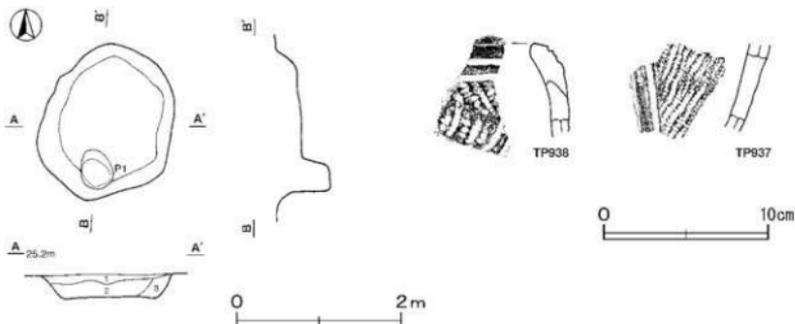
規模と形状 長径1.89m、短径1.57mの楕円形で、長径方向はN-24°-Eである。深さは30cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは32cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量、炭化物微量

- 3 暗褐色 ロームブロック少量



第24図 第8号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片65点（深鉢），石器1点（剥片）が，覆土下層から散在した状態で出土している。
 所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期と推測できる。

第8号土坑出土遺物観察表（第24図）

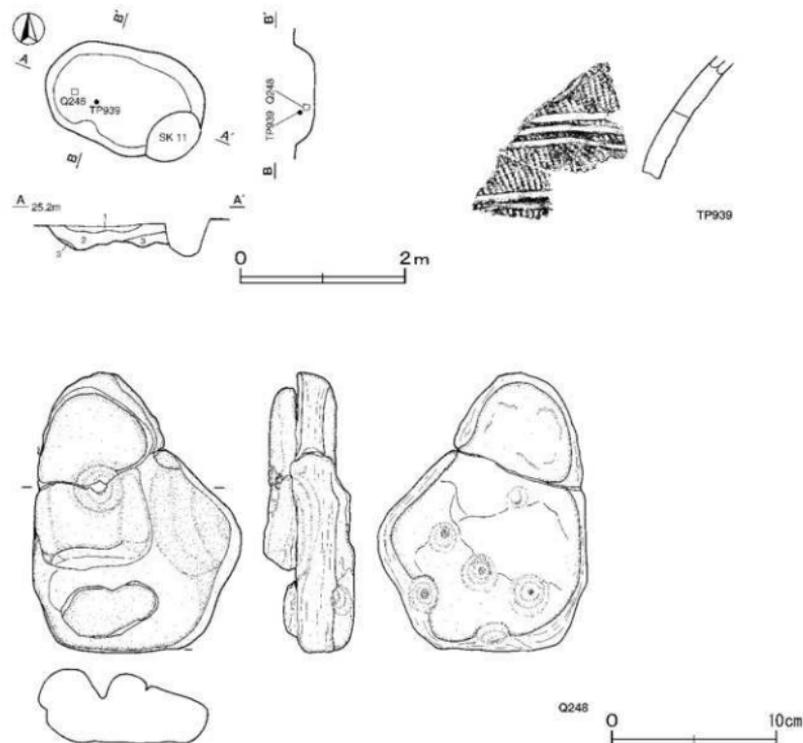
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|-----|----|-------------------------------------|------|----|
| TP937 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 石英・長石 | 暗褐色 | 普通 | 縦位回転の2段Rし単部縄文を施文後、沈線に伴う磨り消し層を掘下 | 覆土 | |
| TP938 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 石英・長石 | 暗褐色 | 普通 | 口頸部に2条の沈線を掘らす 以下に縦位・横位回転の2段し単部縄文を施文 | 覆土 | |

第10号土坑（第25図）

位置 調査区北部のD5 d2区で，標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第11号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第11号土坑に掘り込まれているため，確認できた長径は1.50mで，本来は長径2.00mほど，短径1.34mで，長径方向はN-70°-Wの楕円形と推測できる。深さは24cmで，壁は緩やかに立ち上がった。



第25図 第10号土坑・出土遺物実測図

ている。底面は波板状の凹凸を有している。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 褐色 ロームブロック中量
2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片30点（深鉢）、石器5点（石皿）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅠ式期である。

第10号土坑出土遺物観察表（第25図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|------------------------------------|------|----|
| T P939 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 石英・長石・雲母 | に54焼 | 普通 | 斜位回転の2段LR単筋縄文を施す。2・3本単位の波線を横位2段に施す | 覆土中層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|--------|-------|--------|------|-----------------------------|------|----|
| Q248 | 石皿 | (17.0) | (12.6) | (5.1) | 113g.5 | 雲母片岩 | 片面に血状の擦り面 縁辺部に複数の断面形がV字状の凹み | 覆土中層 | |

第11号土坑（第26図）

位置 調査区北部のD5d2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第10号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.77m、短径0.60mの楕円形で、長径方向はN-45°-Eである。深さは60cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

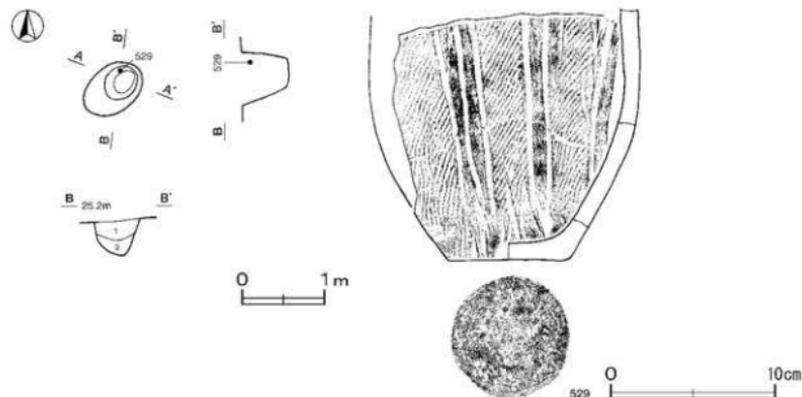
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片21点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期である。



第26図 第11号土坑・出土遺物実測図

第11号土坑出土遺物観察表 (第26図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|----------|-----|----------|----|----|---|------|-----|
| 529 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 15.2 } | 7.2 | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 縦位・斜位回転の2段R L単筋縄文を焼文後、2・3本単位の沈線を含む裏返し線を垂下 底筋線代埋 | 覆土上層 | 30% |

第13号土坑 (第27図)

位置 調査区北部のD 5 c1区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.65m, 短径0.60mの不整形円で、深さは37cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

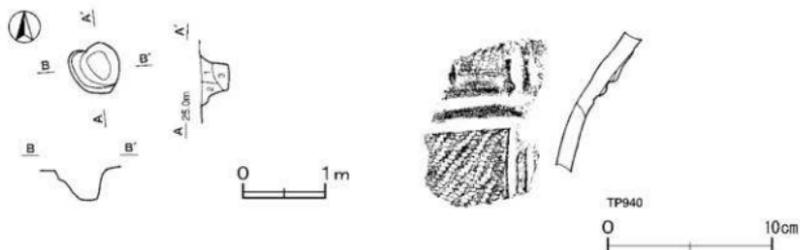
覆土 3層からなる。不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 3 暗 褐色 ロームブロック中量
2 暗 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片11点(深鉢)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利E I (古) 式期である。



第27図 第13号土坑・出土遺物実測図

第13号土坑出土遺物観察表 (第27図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|---------|----|----------|-------|----|--|------|----|
| TP940 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 石英・長石・雲母 | にがれ 褐 | 普通 | 2本単位の沈線を垂下させた沈線を沿わせた2本単位の沈線を単位に垂らす 2本単位の沈線を垂下 下文は縦位回転の2段R L単筋縄文を焼文 | 覆土 | |

第14号土坑 (第28図)

位置 調査区北部のD 5 e4区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.10m, 短径1.60mの楕円形で、長径方向はN- 21°- Eである。深さは20cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側にピットが存在し、P1の深さは16cm, P2の深さは38cmである。

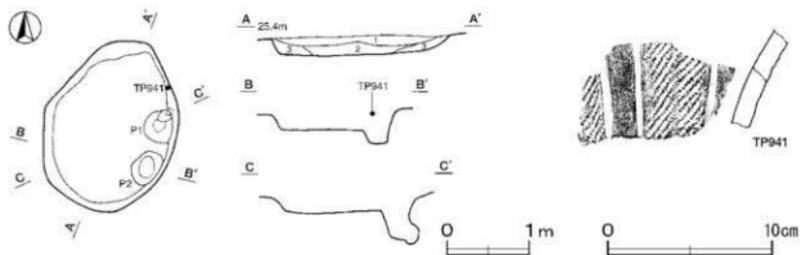
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック・焼土粒子少量 3 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化物少量
2 暗 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片18点(深鉢)が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利E II 式期である。



第28図 第14号土坑・出土遺物実測図

第14号土坑出土遺物観察表(第28図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|---------------------------------|------|----|
| TP941 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 石英・長石・雲母 | に灰い塊 | 普通 | 縦位置転の2段Rし単回縄文を施した後、沈線を経て裏返し線を施す | 覆土上層 | |

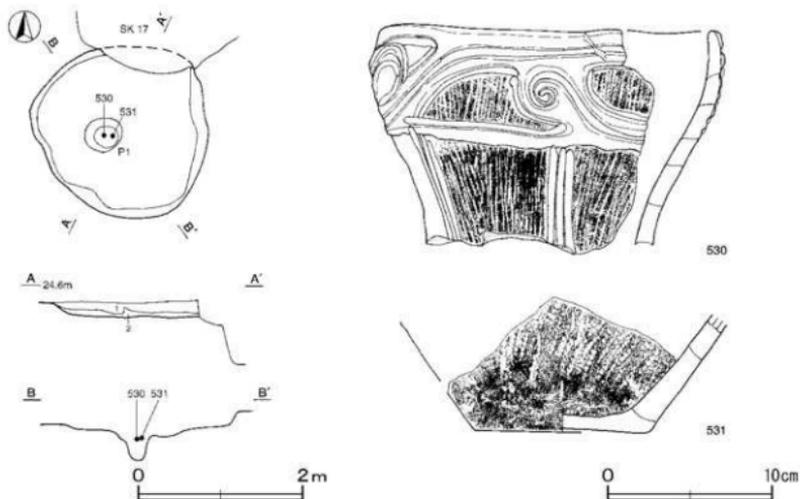
第16号土坑(第29図)

位置 調査区北部のD4e8区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第17号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.18m, 短径2.11mの円形で、深さは28cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。中央部西寄りにP1が存在し、深さは32cmである。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。



第29図 第16号土坑・出土遺物実測図

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片39点（深鉢）、石器2点（剥片）が、覆土下層から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。

第16号土坑出土遺物観察表（第29図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|-------|------|----------|-----|----|--|------|-----|
| 530 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.2 | 13.9 | - | 石英・長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 口縁部は焼成と立線によって高巻目・特殊のモチーフを呈出。胎土は3本単位の立線を呈出。区画内は黒赤土を施文 | P1覆土 | 10% |
| 531 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | 10.4 | 石英・長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 縦位・斜位回転の2段R.L.単部縄文を施文 | P1覆土 | 10% |

第17号土坑（第30図）

位置 調査区北部のD4e8区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第16号土坑を掘り込み、第22号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.07m、短径2.00mの円形で、深さは35cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

3 暗褐色 ロームブロック微量

2 黒褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片90点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。532は西側の底面直上から横転した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期である。

第18号土坑（第31図）

位置 調査区北部のD4h8区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第31号土坑を掘り込み、第20・21号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.19m、短径2.18mの円形で、深さは30cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁際にP1が存在し、深さは16cmである。

覆土 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片105点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

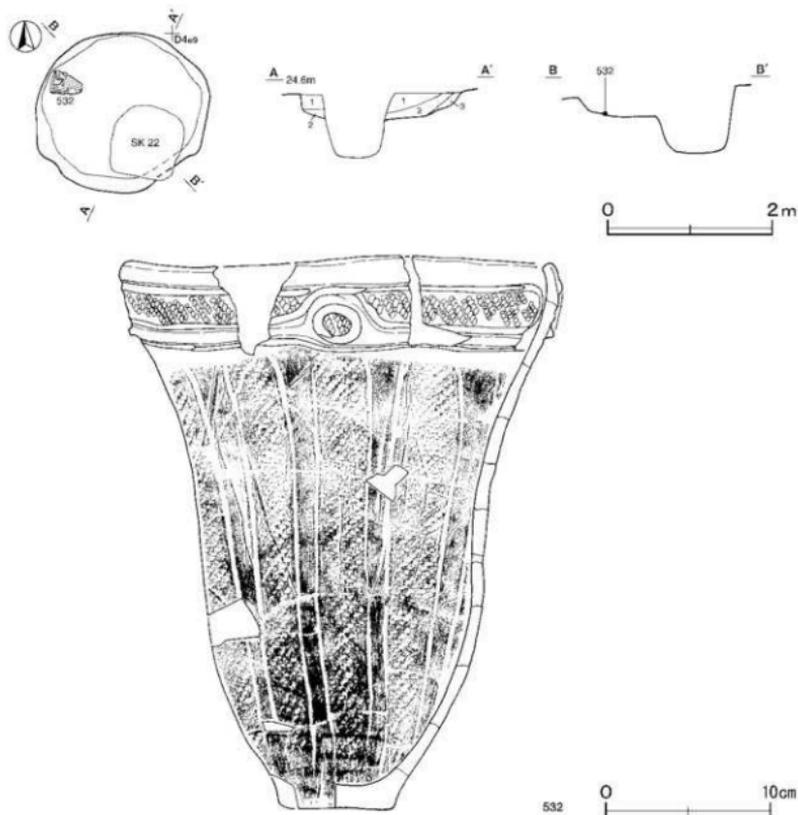
所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期である。

第19号土坑（第32図）

位置 調査区北部のD4i8区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

確認状況 第31号土坑と接しているが、先後関係は不明である。

規模と形状 長径1.07m、短径0.93mの楕円形で、長径方向はN-44°-Wである。深さは28cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。



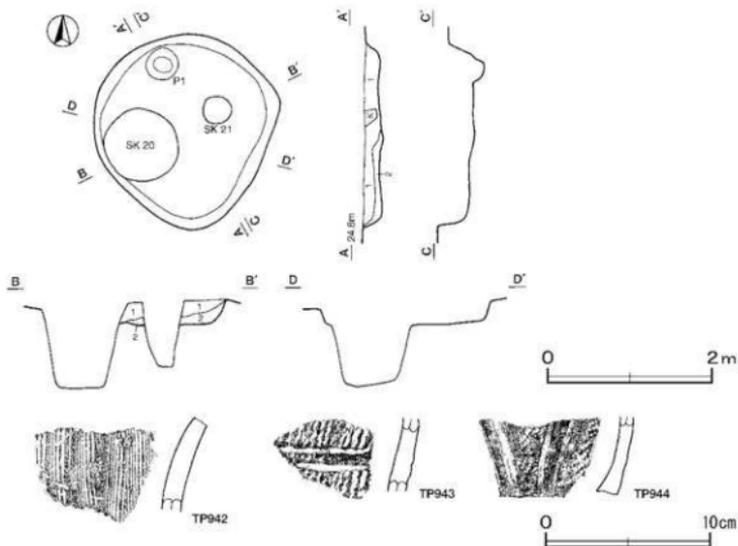
第30図 第17号土坑・出土遺物実測図

第17号土坑出土遺物観察表 (第30図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|-----|-------|-------|----|---|------|----------|
| 532 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.8 | 33.9 | 6.8 | 長石・雲母 | こげ赤褐色 | 普通 | 口縁部は薄輪と文様によって内面や外面のモチーフを描き、胴部は文様を伴う磨り出し帯を帯下。地文は口縁部が横位回転、胴部が縦位回転の2段階の単回転文を焼成 | 底面 | 90% PL43 |

第18号土坑出土遺物観察表 (第31図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|-----------------------------------|------|----|
| TP942 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 石英・長石 | 褐 | 普通 | 6本単位の糸線を縦位に施文 | 覆土 | |
| TP943 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | - | 石英・長石 | 明褐 | 普通 | 沈降を伴う磨り出し帯を横位に施らす。地文は磨り出し帯を焼成 | 覆土 | |
| TP944 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.8) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 沈降を伴う磨り出し帯を帯下。地文は縦位回転の1段階の単回転文を焼成 | 覆土 | |



第31図 第18号土坑・出土遺物実測図

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

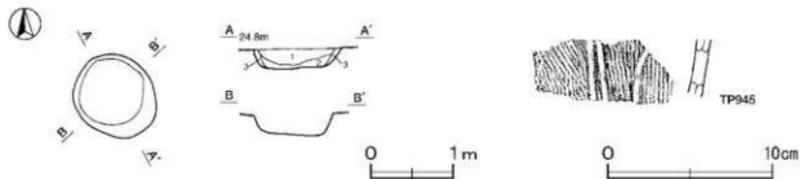
1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量

3 暗褐色 ロームブロック中量

2 黒褐色 ローム粒子少量

遺物出土状況 縄文土器片47点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第32図 第19号土坑・出土遺物実測図

第19号土坑出土遺物観察表（第32図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|-------------------------------|------|----|
| TP945 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.4) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 1・2本単位の沈線を描下 地文は照系文を 除文 | 覆土 | |

第20号土坑（第33図）

位置 調査区北部のD4h8区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第18号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.12m、短径1.04mの円形で、深さは75cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

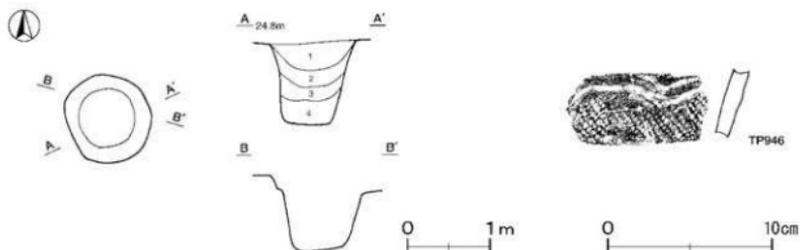
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片42点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第33図 第20号土坑・出土遺物実測図

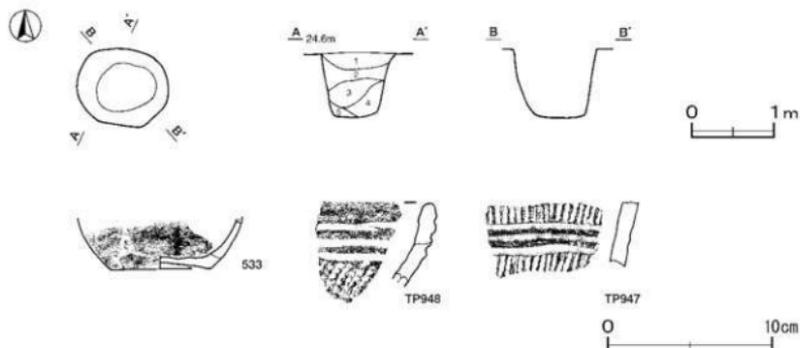
第20号土坑出土遺物観察表（第33図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|--|----------|----|
| TP946 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.0) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 2本単位の道状の沈線を種位に遡らす 位階位回転の2段LR単部縄文を施文 | 地文 覆土 | |

第22号土坑（第34図）

位置 調査区北部のD 4 e8区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第17号土坑を掘り込んでいる。



第34図 第22号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径1.10m, 短径0.93mの円形で、深さは83cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 5層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片10点(深鉢)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。

第22号土坑出土遺物観察表(第34図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|-----|----------|------|----|---------------------------------------|------|-----|
| 533 | 縄文土器 | 鉢 | - | (3.3) | 6.0 | 石英・長石・雲母 | 黄橙 | 普通 | 無文 | 覆土 | 10% |
| TP947 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | - | 石英・長石 | に強い橙 | 普通 | 照糸文を施した後、3本の沈線に伴う磨り消し線を横位に施らす | 覆土 | |
| TP948 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部は無文で3本の沈線を施らす 以下に縦位回転の2段RとR後部縄文系施文 | 覆土 | |

第23号土坑(第35図)

位置 調査区北部のD4h8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

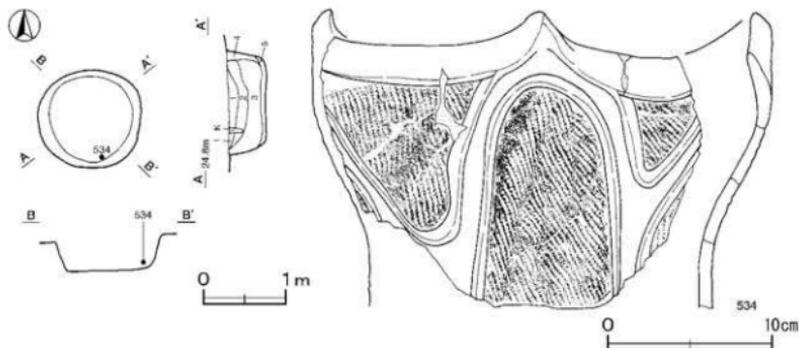
確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.23m, 短径1.18mの円形で、深さは40cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | 5 褐色 | ロームブロック多量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量 | | |



第35図 第23号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片23点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ（古）式期である。

第23号土坑出土遺物観察表（第35図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|----------|----|----|---|------|-----|
| 534 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.2 | 18.1 | - | 石英・長石・雲母 | 黄橙 | 普通 | 口唇部は紫文で磨擦帯を巡らす 胴部は磨擦帯によって楕円形やほぼ三角形の痕を形成 腹位回転の2段L状単部縄文を施文 磨擦帯は磨り消す | 覆土下層 | 15% |

第24号土坑（第36図）

位置 調査区北部のD5e2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第30号土坑を掘り込み、第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号溝に掘り込まれているため、確認できた長径は1.04mで、本来は長径1.70mほど、短径1.02mで、長径方向はN-33°-Eの楕円形と推測できる。深さは27cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

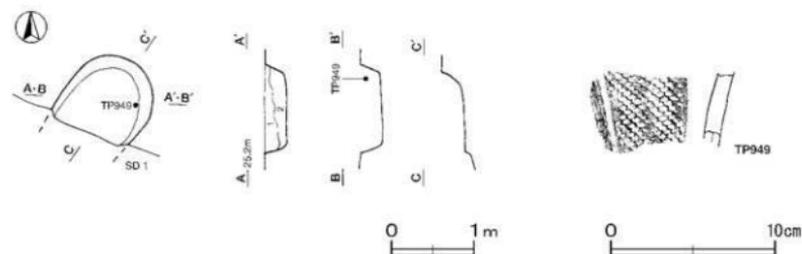
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片9点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第36図 第24号土坑・出土遺物実測図

第24号土坑出土遺物観察表（第36図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|-----------------------------------|------|----|
| TP949 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 沈積を伴う磨り消し帯を露下 埴文は腹位回転の2段L状単部縄文を施文 | 覆土上層 | |

第25号土坑（第37図）

位置 調査区北部のD4g8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号炉穴、第26号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.05m、短径0.94mの楕円形で、長径方向はN-64°-Eである。深さは19cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

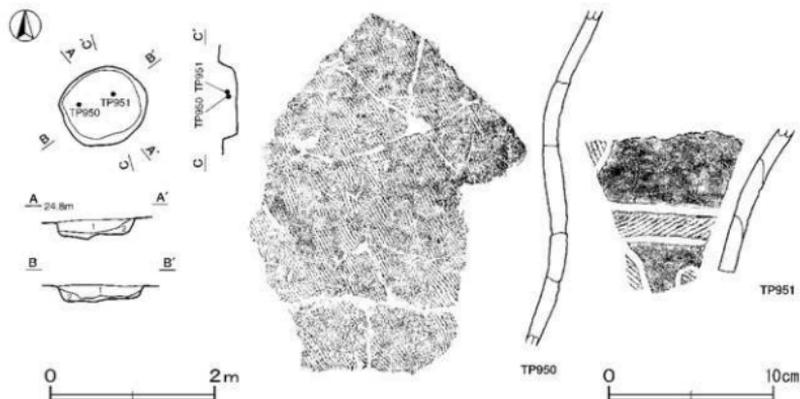
覆土 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 黒 褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐 色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉から後期前葉の加曽利EⅣ（新）-称名寺（古）式期である。



第37図 第25号土坑・出土遺物実測図

第25号土坑出土遺物観察表（第37図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|----------|-----|----|---|------|------|
| TP950 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.5) | - | 石英・長石 | にび褐 | 普通 | 地文は縦位回転の1段L無部縄文を施文 | 覆土中層 | |
| TP951 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 式線で「J」字状ないしその変形したモチーフを演出。次線部を1段L無部縄文で充填 | 覆土中層 | PL52 |

第26号土坑（第38図）

位置 調査区北部のD4g8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

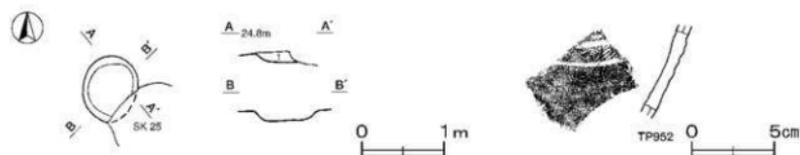
重複関係 第25号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径0.82m、短径0.64mの楕円形で、長径方向はN-6°-Eである。深さは13cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量



第38図 第26号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片17点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉から後期前葉の加曽利EⅣ（新）- 称名寺（古）式期である。

第26号土坑出土遺物観察表（第38図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|------|----|---------------------------|------|----|
| TP952 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 石英・長石 | に灰褐色 | 普通 | 沈線でモチーフを描出 沈線間を1段し黒部縄文で充填 | 覆土 | |

第28号土坑（第39図）

位置 調査区北部のD5e3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第29号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.30m、短径1.10mの楕円形で、長径方向はN-50°-Wである。深さは22cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

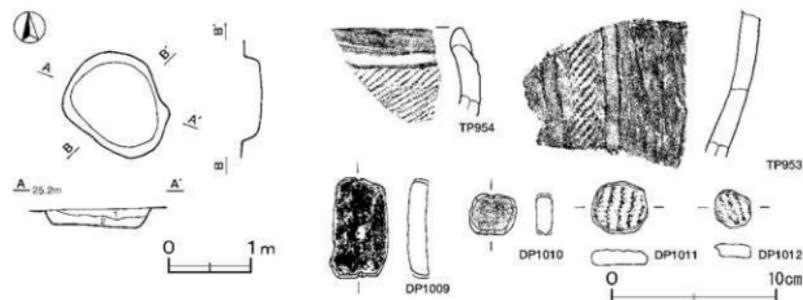
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 褐色 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片89点（深鉢）、土製品4点（土器片鉢2、土器片円盤2）、礫1点が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅢ-Ⅳ式期と推測できる。



第39図 第28号土坑・出土遺物実測図

第28号土坑出土遺物観察表（第39図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|------|----|--|------|----|
| TP953 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 石英・長石 | に灰褐色 | 普通 | 2本の太い凹線を壁下、凹線間を縦位回転の2段をし黒部縄文で充填 縄文の口周部下に凹線を沿らす 以下に2段し黒部縄文を施文 | 覆土 | |
| TP954 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.2) | - | 石英・長石 | に灰褐色 | 普通 | | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1009 | 土器片鉢 | 6.2 | 3.5 | 1.1 | 33.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.8cm | 覆土 | PL56 |
| DP1010 | 土器片鉢 | 2.5 | 2.8 | 0.9 | 9.6 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.3cm | 覆土 | PL56 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|------|------|--------|------|------|
| DP1011 | 土器片円盤 | 3.1 | 3.3 | 0.9 | 13.1 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 | 覆土 | PL56 |
| DP1012 | 土器片円盤 | 2.3 | 2.2 | 0.9 | 5.4 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 | 覆土 | PL56 |

第29号土坑（第40図）

位置 調査区北部のD 5 e3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第28号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 東側が第28号土坑に掘り込まれているため、長径0.85m、確認できた短径は0.47mで、本来は短径0.70mほどで、長径方向はN-38°-Eの楕円形と推測できる。深さは10cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

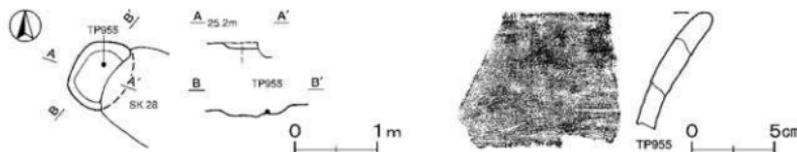
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。



第40図 第29号土坑・出土遺物実測図

第29号土坑出土遺物観察表（第40図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|---------|------|----|
| TP955 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 | 底面 | |

第30号土坑（第41図）

位置 調査区北部のD 5 e2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第24号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第24号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.44m、確認できた短径は0.93mで、本来は長径1.30m、短径1.00mほどで、長径方向はN-70°-Eの楕円形と推測できる。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

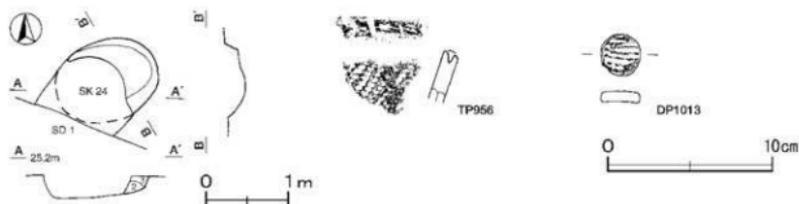
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒微量

2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片17点（深鉢）、土製品1点（土器片円盤）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ-Ⅲ式期と推測できる。



第41図 第30号土坑・出土遺物実測図

第30号土坑出土遺物観察表（第41図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|------|----|--------------------------|------|----|
| TP956 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.2) | - | 石英・長石 | に灰褐色 | 普通 | 2段R L単部縄文を施文 破断面の粘土粒に剥突痕 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|------|--------|------|------|
| DP1013 | 土器片片莚 | 2.5 | 2.5 | 0.7 | 6.2 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 | 覆土 | PL56 |

第32号土坑（第42図）

位置 調査区北部のD 4 h9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号住居、第34号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第2号住居に掘り込まれているため、確認できた長径は1.20m、確認できた短径は1.08mで、本来は長径1.20m、短径1.10mほどの円形と推測できる。深さは29cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁際にP1が存在し、深さは13cmである。

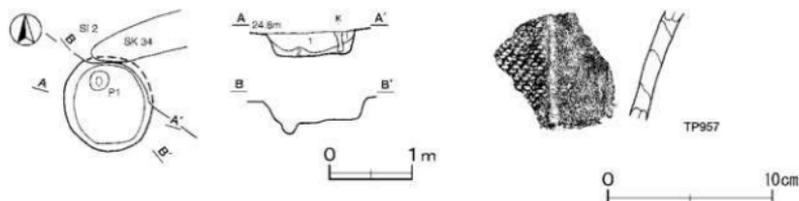
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片15点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E III - IV式期と推測できる。



第42図 第32号土坑・出土遺物実測図

第32号土坑出土遺物観察表（第42図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|--------------------------|------|----|
| TP957 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.6) | - | 石英・長石・霞母 | に灰褐色 | 普通 | 磨り消し帯を帯下 地文は2段R L単部縄文を施文 | 覆土 | |

第33号土坑（第43図）

位置 調査区北部のD5h1区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.15m、短径1.10mの円形で、深さは10cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

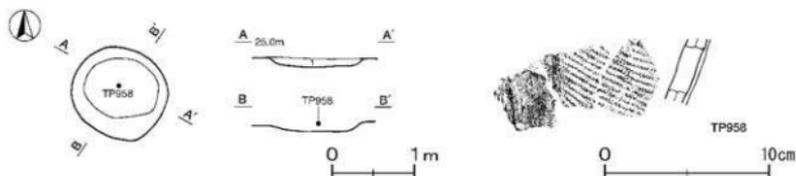
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片15点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ式期である。



第43図 第33号土坑・出土遺物実測図

第33号土坑出土遺物観察表（第43図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|--------------------------------|------|----|
| TP958 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | - | 石英・長石 | 褐 | 普通 | 表層を覆下 敷層層間は磨り消す 地文は2段LR単部縄文を器文 | 覆土層 | |

第37号土坑（第44図）

位置 調査区北部のD4j9区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第38号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.46m、短径1.56mの楕円形で、長径方向はN-76°-Wである。深さは31cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側から南側にかけてピットが存在し、P1～P5の深さは10～49cmである。

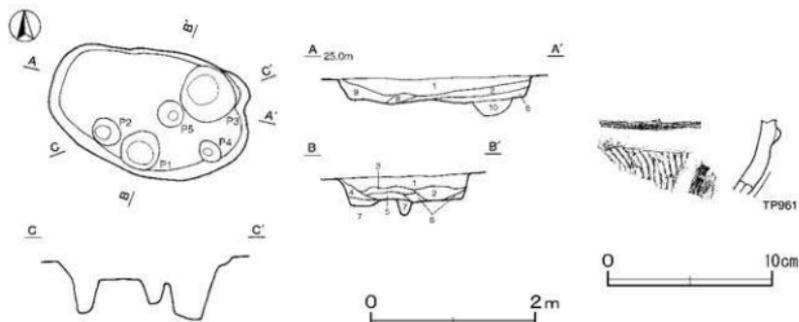
覆土 10層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量
 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
 3 暗褐色 ロームブロック少量
 4 褐色 ロームブロック少量
 5 褐色 ロームブロック中量
 6 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
 7 暗褐色 ロームブロック中量
 8 黒褐色 ロームブロック中量
 9 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
 10 褐色 ロームブロック多量

遺物出土状況 縄文土器片71点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第44図 第37号土坑・出土遺物実測図

第37号土坑出土遺物観察表 (第44図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|-------|----|---|------|----|
| TP961 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 石英・長石・雲母 | に5.1焼 | 普通 | 縦位・斜位部転の2段LR単線縄文を施文後、式種を混むせた横帯を横位及び曲線的に施文 | 覆土 | |

第41号土坑 (第45図)

位置 調査区北部のD4j7区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.52m、短径0.42mの楕円形で、長径方向はN-4°-Wである。深さは21cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

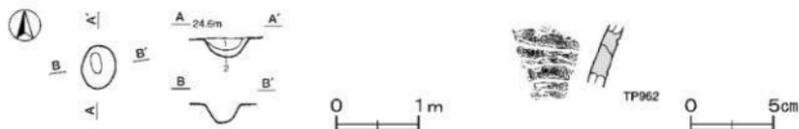
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片6点(深鉢)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から前期中葉の植房式期である。



第45図 第41号土坑・出土遺物実測図

第41号土坑出土遺物観察表 (第45図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|-------------------|------|----|
| TP962 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.6) | - | 石英・長石・繊維 | 橙 | 普通 | 半截竹管による横位の櫛歯状文を施文 | 覆土 | |

第43号土坑（第46図）

位置 調査区北部のD4h7区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.46m、短径0.42mの円形で、深さは32cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

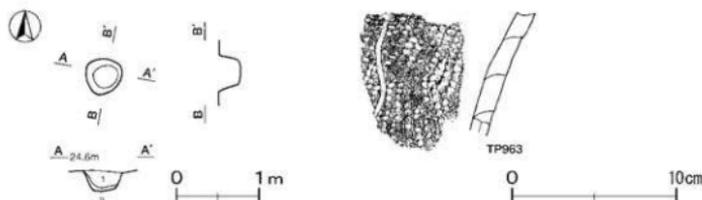
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 2 褐 色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片5点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅠ式期である。



第46図 第43号土坑・出土遺物実測図

第43号土坑出土遺物観察表（第46図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|-----|----|---|------|----|
| TP963 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 石英・長石 | にがれ | 普通 | 文様の特徴ほか 転行する沈線を器下 段人車副縄文を施文 地文は斜位回転の2段 | 覆土 | |

第44号土坑（第47図）

位置 調査区北部のD4j9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径1.06m、短径1.04mの円形である。深さは51cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径1.27m、短径1.11mの楕円形で、ほぼ平坦である。

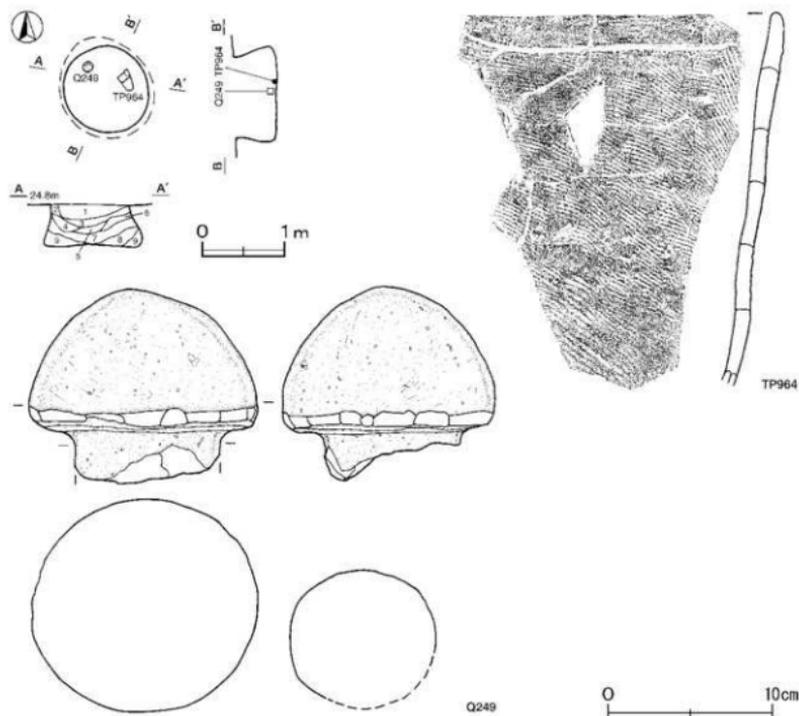
覆土 9層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子微量 6 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
2 褐 色 ロームブロック中量 7 黒 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 8 黒 褐 色 ロームブロック中量
4 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 9 褐 色 ロームブロック多量
5 褐 色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片115点（深鉢）、石器2点（石棒、剥片）が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。Q249は、北西側の底面直上から立位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅢ（新）式期である。形状から、フラスコ状土坑である。



第47図 第44号土坑・出土遺物実測図

第44号土坑出土遺物観察表（第47図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------|-----|----|---------------------------------------|------|----|
| TP964 | 埴文土器 | 深鉢 | - | { 22.7 } | - | 石英・長石 | 淡黄橙 | 普通 | 黒文の口周部下に1条の波線を隔らす た斜位回影の1段し黒部埴文系黒文 | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|----------|----------|----------|--------|-----|-----------------------------|------|------|
| Q249 | 石棒 | { 11.9 } | { 13.9 } | { 12.9 } | 2294.4 | 花崗岩 | 丁寧な研磨・敲打調整 頭部下端は横長の割離痕が連続する | 覆土下層 | PL55 |

第45号土坑（第48図）

位置 調査区北部のD4 d8区で、標高24.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.60m、短径1.88mの楕円形で、長径方向はN-51°-Eである。深さは25cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北東壁際、中央部の南西寄りにピットが存在し、P1の深さは24cm、P2の深さは46cmである。

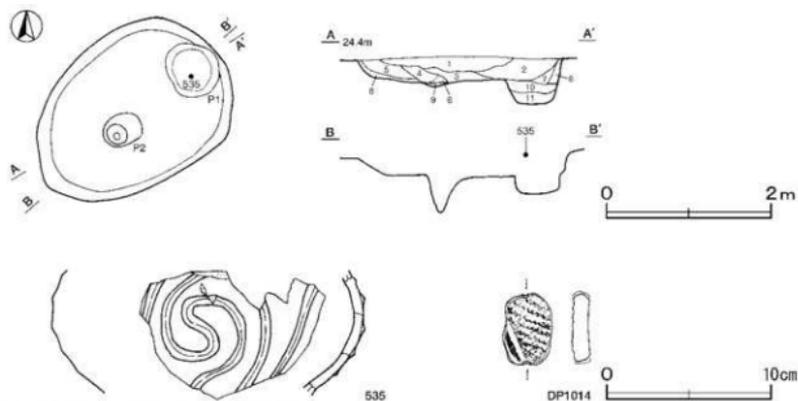
覆土 11層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|--------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 8 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量, 炭化物微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック多量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量 | 11 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量 |
| 6 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片92点(深鉢), 土製品2点(土器片鏟)が, 覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。その他, 混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ~Ⅳ式期と推測できる。



第48図 第45号土坑・出土遺物実測図

第45号土坑出土遺物観察表(第48図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|----|-----------------|-----|----|-----------------|-------|----------|
| 535 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 535-535-535-535 | に濃い | 普通 | 微隆帯で渦巻状のモチーフを提出 | 丁寧なナデ | 覆土上層 10% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1014 | 土器片鏟 | 4.3 | 3.0 | 1.1 | 18.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.1cm | 覆土 | PL56 |

第46号土坑(第49図)

位置 調査区北部のD4e0区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径2.08m, 短径1.71mの不整形円形である。深さは65cm, 壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径2.19m, 短径2.02mの円形で, ほぼ平坦である。

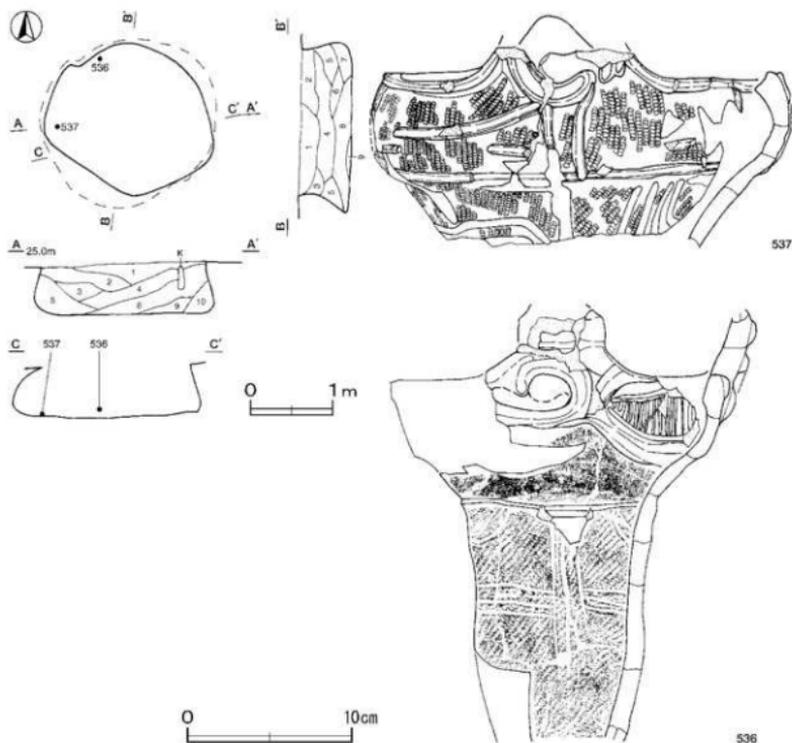
覆土 10層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|----------|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 6 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 に濃い黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 | 7 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量 | 9 褐色 | ロームブロック多量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 10 褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片298点(深鉢)が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。537は、西側の底面直上から逆位の状態では出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅠ(古)式期である。形状から、フラスコ状土坑である。



第49図 第46号土坑・出土遺物実測図

第46号土坑出土遺物観察表(第49図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|--------|----|----------|-----|----|---|------|-----|
| 536 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (26.0) | - | 石英・長石・霞母 | 橙 | 普通 | 口縁部は隆帯によって渦巻状・クラシク球・棒状のモチーフを露出。胴部は次線を描線的に魚文・地文は縦・斜位回転の2段R.L.単線縄文を施文 | 覆土下層 | 35% |
| 537 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.2 | 13.9 | - | 石英・長石・霞母 | に灰増 | 普通 | 口縁部は隆帯と次線によって渦巻状・棒状のモチーフを露出。胴部内には渦巻状を露出。胴部は縄文・原厚は2・3本単位の次線で半球状・棒状のモチーフを露出。地文は縦位回転の2段R.L.単線縄文を施文 | 底面 | 20% |

第47号土坑(第50図)

位置 調査区北部のD4f0区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第48号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.02m, 短径1.63mの不整楕円形で, 長径方向はN-23°-Wである。深さは32cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 東壁際にP1が存在し, 深さは60cmである。

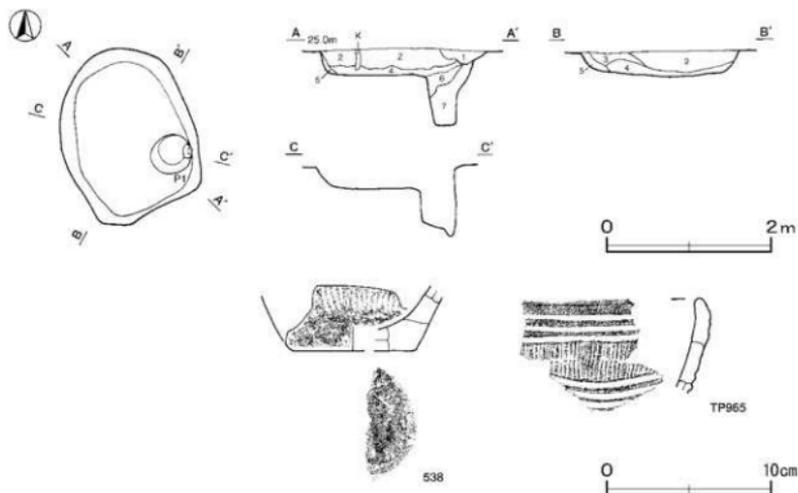
覆土 7層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量 | 5 褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片124点(深鉢)が, 覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。



第50図 第47号土坑・出土遺物実測図

第47号土坑出土遺物観察表(第50図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|-------|----------|----|----|---|------|-----|
| 538 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | [7.5] | 石英・長石・管母 | 橙 | 普通 | 照糸文を施文 底部網代痕 | 覆土 | 10% |
| TP965 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部は焼文で3本の次線を示らす 口縁部は次線を示す層の1層目まで連続的にキープを認め 焼文は照糸文を施文 | 覆土 | |

第49号土坑(第51図)

位置 調査区北部のD4 e9区で, 標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第50号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.39m, 短径1.35mの円形で, 深さは34cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 南西壁際にP1が存在し, 深さは19cmである。

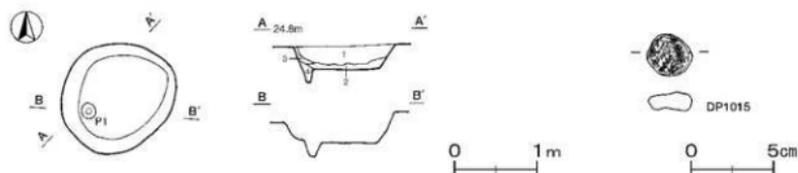
覆土 4層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量
 2 黒 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
 3 褐 色 ロームブロック微量
 4 暗 褐色 ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片53点（深鉢）、土製品2点（土器片錘、土器片円盤）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相からから中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第51図 第49号土坑・出土遺物実測図

第49号土坑出土遺物観察表（第51図）

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|------|--------|------|------|
| DP1015 | 土器片円盤 | 2.6 | 2.8 | 1.2 | 8.5 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 | 覆土 | PL56 |

第50号土坑（第52図）

位置 調査区北部のD4e9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第49・53号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第53号土坑に掘り込まれているため、長径2.07m、確認できた短径は1.90mで、本来の短径は2.00mほどの円形と推測できる。深さは28cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北側から中央部にかけてピットが存在し、P1～P4の深さは38～46cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量
 2 暗 褐色 ロームブロック中量
 3 褐 色 ロームブロック多量

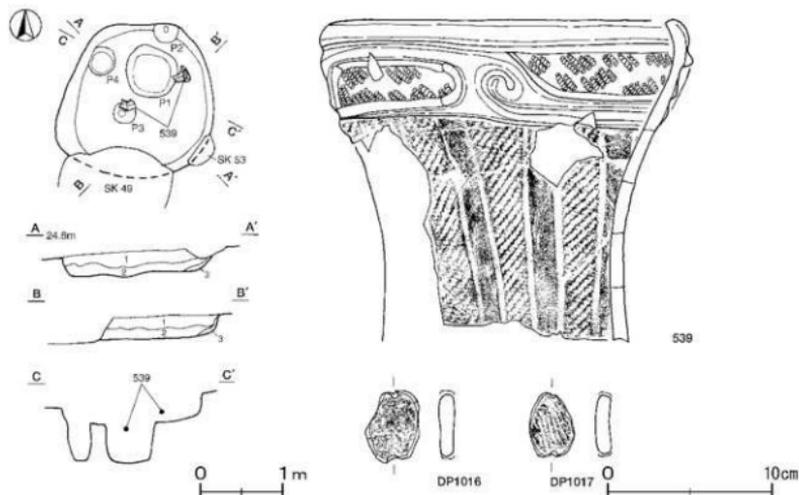
遺物出土状況 縄文土器片160点（深鉢）、土製品2点（土器片錘）が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。

第50号土坑出土遺物観察表（第52図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|-------|----|----|--|------|-----|
| 539 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.4 | 19.6 | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部は堆積と次第によって異なるモチーフと幾何円区画を有し、胴部は次第を中大振り流し等を有す。地文は口縁部が稜位彫刻、胴部が稜位彫刻の2層あり、稜部焼文を有す。 | 覆土下層 | 40% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1016 | 土器片錘 | 4.4 | 3.2 | 1.0 | 15.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.8cm | 覆土 | PL56 |
| DP1017 | 土器片錘 | 3.9 | 2.8 | 0.9 | 11.1 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.6cm | 覆土 | PL56 |



第52図 第50号土坑・出土遺物実測図

第59号土坑 (第53図)

位置 調査区北部のD4h6区で、標高24.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.85m, 短径1.76mの円形で、深さは30cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 6層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化物・焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |

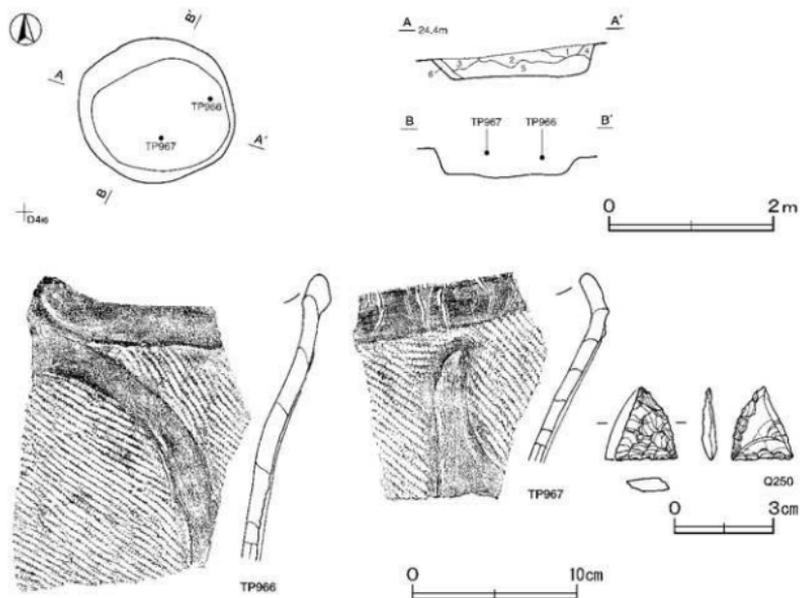
遺物出土状況 縄文土器片371点(深鉢), 石器1点(石鏃), 土製品4点(土器片鐘2, 焼粘土塊2), 獣骨1点(イノシシ・歯)が、覆土中層から上層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ(古)式期である。

第59号土坑出土遺物観察表 (第53図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------|-------|----|--|------|-----------------|
| TP966 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.5) | - | 石英・長石 | に灰黄褐色 | 普通 | 口縁部は黒文で焼成帯を知らず。胴部は焼成帯によって横円形や近三角形区画を形成。縦位置軸の2段しR単部縄文を焼文。焼成帯は取り消す | 覆土上層 | TP967と同一個体 PL52 |
| TP967 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 石英・長石 | 灰黄褐色 | 普通 | 口縁部は黒文で焼成帯を知らず。胴部は焼成帯によって横円形や近三角形区画を形成。縦位置軸の2段しR単部縄文を焼文。焼成帯は取り消す | 覆土上層 | TP966と同一個体 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-------|-------|-------|-------|------|---------------------------|------|----|
| Q250 | 石鏃 | (2.2) | (1.8) | (0.4) | (1.4) | チャート | 両面調整 背面に素材の主要割離面を残す 1側縁欠損 | 覆土 | |



第53図 第59号土坑・出土遺物実測図

第63号土坑（第54図）

位置 調査区北部のD4f9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第4号住居に掘り込まれている。第60号土坑と接しているが、先後関係は不明である。

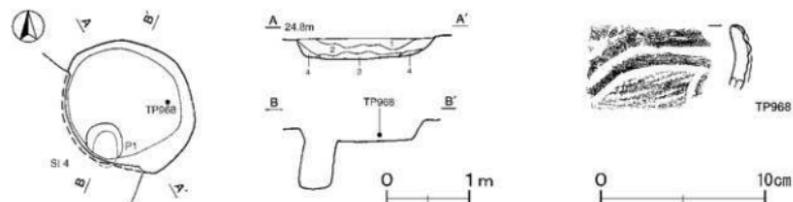
規模と形状 長径1.70m、短径1.55mの円形で、深さは28cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは59cmである。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 4 褐色 ロームブロック少量 |

遺物出土状況 縄文土器片38点（深鉢）、石器1点（敲石）が、覆土中から散在した状態で出土している。



第54図 第63号土坑・出土遺物実測図

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。

第63号土坑出土遺物観察表(第54図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|-----|----|---|------|----|
| TP968 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | - | 石英・長石 | 明赤褐 | 普通 | 遺構と次第によって稀状のモチーフを露出 区画内は総位順前の2段LR単縦縄文を施文 | 覆土下層 | |

第67号土坑(第55図)

位置 調査区北部のD5e1区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 開口部は、北側が第1号溝に掘り込まれているため、確認できた長径は1.38mで、本来は、長径1.40mほど、短径1.20mの楕円形と推測できる。深さは72cmで、壁は若干内傾して立ち上がっている。底面は長径1.28m、短径1.22mの円形で、ほぼ平坦である。

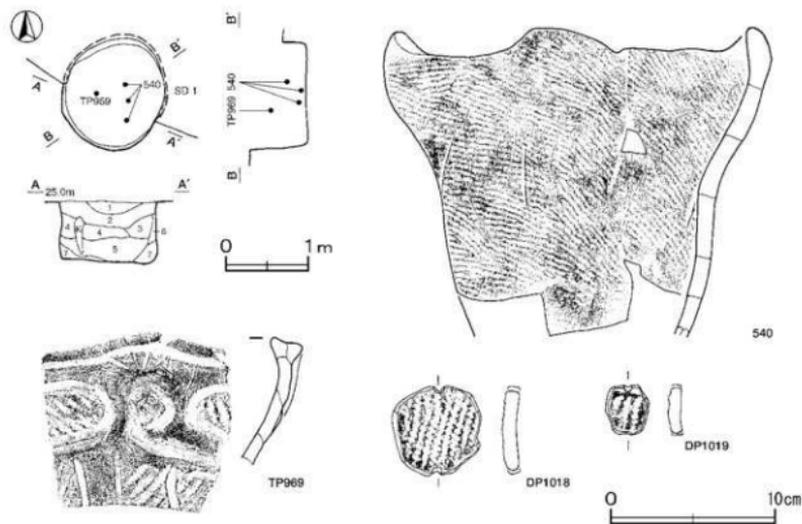
覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|----------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化物微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化物微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片224点(深鉢)、土製品3点(土器片錘)、礫2点が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ(新)式期である。



第55図 第67号土坑・出土遺物実測図

第67号土坑出土遺物観察表 (第55図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------|--------|----|----------|------|----|--|------|-----|
| 540 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.7 | (18.9) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 縦位・斜位回転の1段し無部縄文を施文 | 覆土下層 | 20% |
| TP969 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 石英・長石・雲母 | 灰白・桃 | 普通 | 口縁部は横帯と立線によって渦巻状のモチーフと横内帯区画を形成。腹部は立線を得う筋り消し帯を帯下。底文は口縁部が横位回転。腹部が縦位回転の帯・筋り帯を施文 | 覆土中層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | | 出土位置 | 備考 | |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|----------|----------|------------|----|------|
| DP1018 | 土器片鏝 | 5.5 | 5.4 | 0.9 | 37.5 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み間4.9cm | 覆土 | PL56 |
| DP1019 | 土器片鏝 | 3.1 | 2.7 | 0.7 | 8.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み間2.9cm | 覆土 | PL56 |

第68号土坑 (第56図)

位置 調査区北部のD5f2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.25m、短径1.07mの楕円形で、長径方向はN-72°-Wである。深さは34cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

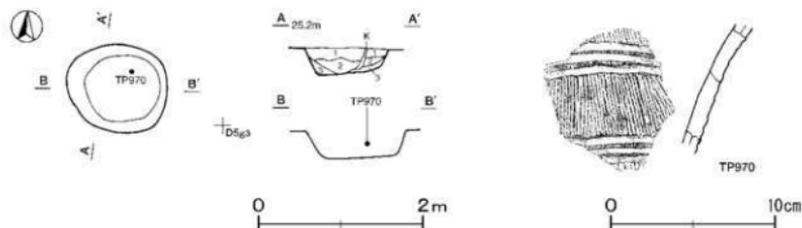
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 暗褐色 ロームブロック中量
2 黒褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片24点(深鉢)が、覆土中層から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第56図 第68号土坑・出土遺物実測図

第68号土坑出土遺物観察表 (第56図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|-------------------------------|------|----|
| TP970 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 3本の次線に伴う筋り消し帯を2段に亘らす底文は断片文を施文 | 覆土中層 | |

第69号土坑 (第57図)

位置 調査区北部のD5g2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.20m、短径2.00mの円形で、深さは18cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。北東側、南西壁際、中央部の南寄りにヒットが存在し、P1～P3の深さは52～62cmである。

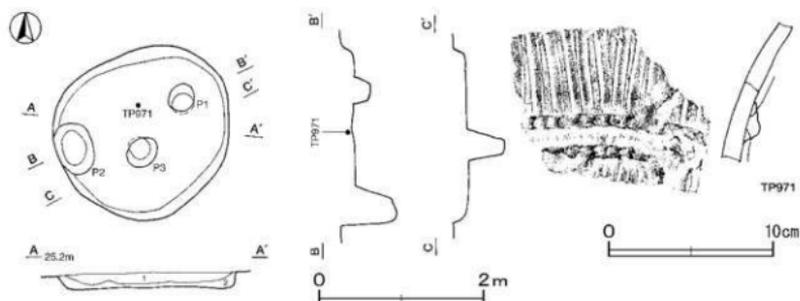
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量 2 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片157点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第57図 第69号土坑・出土遺物実測図

第69号土坑出土遺物観察表（第57図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|--|------|----|
| TP971 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 連続して押押された2本の溝帯を横位に配付。地文は平衝竹筥による平行波線文位中に垂線文を織く。 | 覆土下層 | |

第70号土坑（第58図）

位置 調査区北部のD5f2区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.01m、短径1.63mの楕円形で、長径方向はN-10°-Wである。深さは15cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

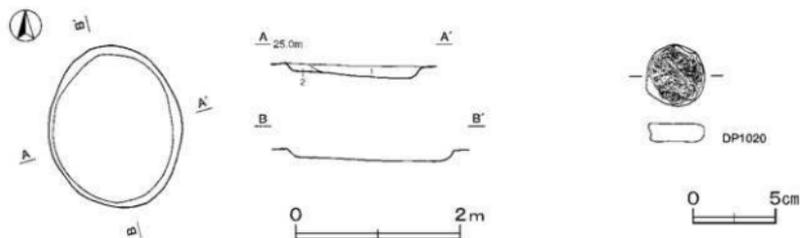
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

2 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片34点（深鉢）、土製品1点（土器片円盤）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第58図 第70号土坑・出土遺物実測図

第70号土坑出土遺物観察表 (第58図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|------|------|--------|------|------|
| DP1020 | 土器片円盤 | 3.9 | 3.5 | 1.1 | 19.1 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 | 覆土 | PL56 |

第73号土坑 (第59図)

位置 調査区北部のD5g1区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.85m、短径1.73mの不整形円で、深さは23cmである。壁は南側の一部で内傾し、全体的には外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際と南東壁際にピットが存在し、P1の深さは33cm、P2の深さは57cmである。

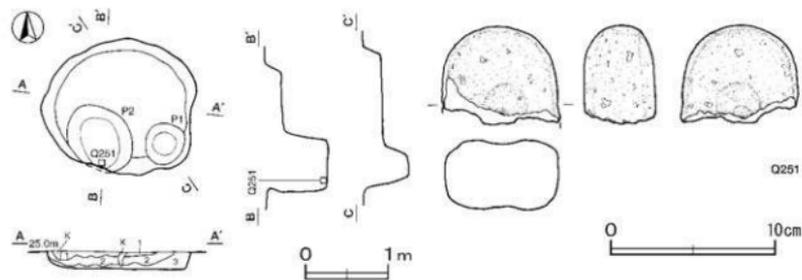
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 3 褐色 ロームブロック中量
2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片21点(深鉢)、石器1点(磨石)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第59図 第73号土坑・出土遺物実測図

第73号土坑出土遺物観察表 (第59図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-------|-------|-------|---------|-----|------------------------|------|----|
| Q251 | 磨石 | (6.0) | (7.1) | (4.3) | (276.7) | 安山岩 | 全面研磨 両面中央部に皿状の凹み 約半分欠損 | P1覆土 | |

第74号土坑 (第60図)

位置 調査区北部のD5g2区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第6号住居に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第6号住居に掘り込まれているため、長径1.95m、確認できた短径は1.73mで、本来の短径は1.80mほどの円形と推測できる。深さは34cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際、北西壁際、南東壁際にピットが存在し、P1～P3の深さは8～17cmである。

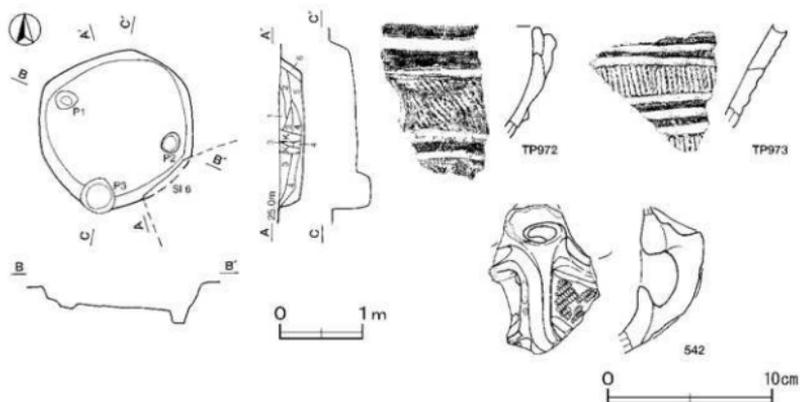
覆土 6層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量 | 6 褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 縄文土器片219点(深鉢)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。



第60図 第74号土坑・出土遺物実測図

第74号土坑出土遺物観察表(第60図)

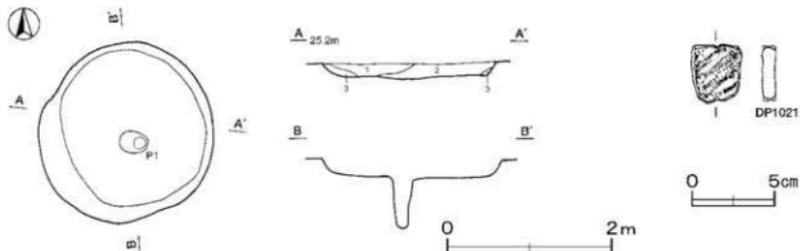
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|--|------|-----|
| 542 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 頂部に渦巻状のモチーフを描いた薄帯が横状に覆した把手が付される。内孔を有する。地文は横位回転の2段目1単部縄文を施文。薄帯と次第によって縁状のモチーフを描出。地文は横位回転の1段目無節縄文を施文。 | 覆土 | 10% |
| TP972 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | | 覆土 | |
| TP973 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 石英・長石・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 3本の次第を伴う磨り消し帯を2段に覆らす。地文は断片文を施文。 | 覆土 | |

第75号土坑(第61図)

位置 調査区北部のD5g2区で, 標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.22m, 短径2.14mの円形で, 深さは24cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は



第61図 第75号土坑・出土遺物実測図

ほぼ平坦で、中央部にP1が存在し、深さは61cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 褐色 ロームブロック中量
2 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片40点(深鉢)、土製品1点(土器片鏝)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。

第75号土坑出土遺物観察表(第61図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1021 | 土器片鏝 | 3.5 | 3.0 | 1.0 | 12.9 | 縄文土器 | 主に角縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.2cm | 覆土 | PL56 |

第76号土坑(第62図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第72号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 開口部は長径1.08m、短径0.91mの楕円形で、長径方向はN-58°-Wである。深さは78cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径1.07m、短径0.98mの円形で、ほぼ平坦である。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 3 暗褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片201点(深鉢)、石器4点(石棒1、刺片3)が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。Q252は、第3層から横位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ-Ⅳ式期と推測できる。形状から、フラスコ状土坑である。

第79号土坑(第63図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第72・80号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 東側と西側が第72・80号土坑に掘り込まれているため、長径1.95m、確認できた短径は1.06mで、本来は短径1.50mほどで、長径方向はN-2°-Eの楕円形と推測できる。深さは28cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁にP1が存在し、深さは10cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

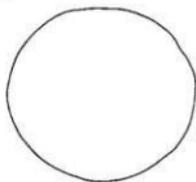
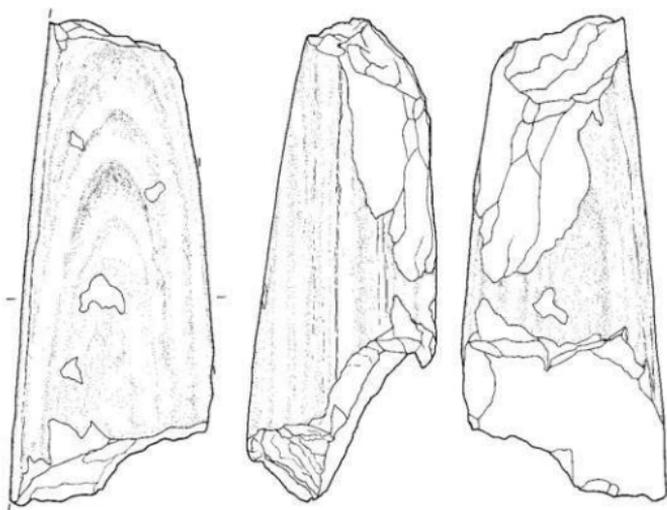
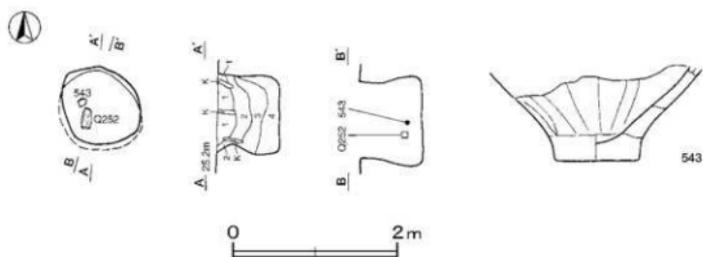
- 1 暗褐色 ロームブロック少量 3 褐色 ロームブロック中量
2 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片221点(深鉢)、石器1点(凹石)が、覆土中層から下層にかけてから散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅠ式期である。

第80号土坑(第64図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。



Q252

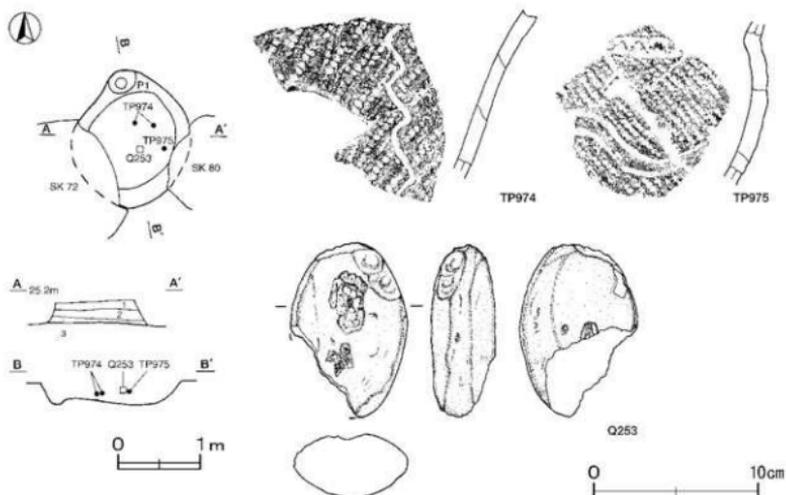


第62図 第76号土坑・出土遺物実測図

第76号土坑出土遺物観察表 (第62図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-----|-------------|----|----|---------|------|-----|
| 543 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | 5.0 | 石英・長石・雲母に灰燼 | 普通 | 無文 | 丁寧なナデ | 覆土中層 | 10% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|--------|--------|---------|------|--------------|------|------|
| Q252 | 石棒 | (29.5) | (12.5) | (11.6) | (540.2) | 緑泥片岩 | 研磨・敲打調整 両端欠損 | 覆土中層 | PL55 |



第63図 第79号土坑・出土遺物実測図

第79号土坑出土遺物観察表 (第63図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------|----|----|---|------|----|
| TP974 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 10.4 } | - | 石英・長石 | 褐 | 普通 | 蛇行する沈線を下下 地文は2段R L半部縄文を施文 | 覆土下層 | |
| TP975 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 9.7 } | - | 石英・長石 | 赤褐 | 普通 | 球状に内湾する斜部破片 上部に通横「コ」の字状文を施らす 地文は輪状回転の2段R半部縄文を施文 | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|----------|-----|-----|-----------|------|--------------------------|------|----|
| Q253 | 磨石 | { 10.6 } | 6.9 | 3.9 | { 314.5 } | 石英珉岩 | 全面研磨 両面中央部に複数の皿状の凹み 一部欠損 | 覆土下層 | |

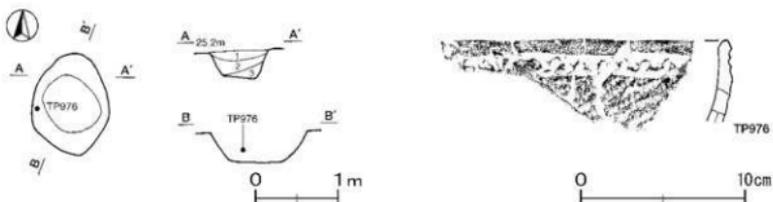
重複関係 第79号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.26m, 短径0.95mの楕円形で, 長径方向はN-3°-Wである。深さは38cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である

覆土 3層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量



第64図 第80号土坑・出土遺物実測図

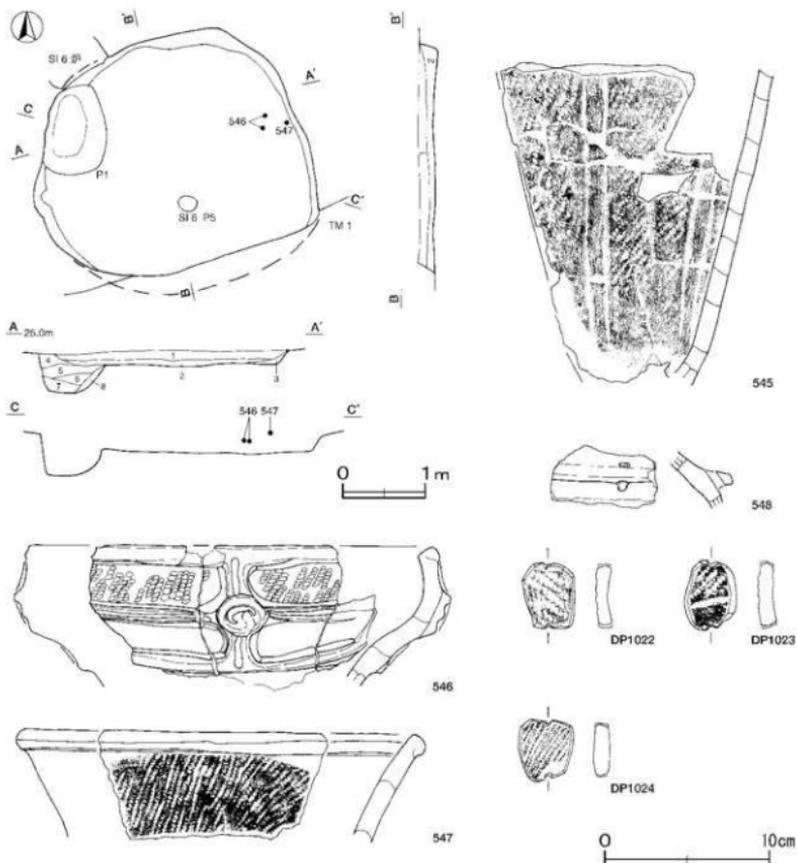
遺物出土状況 縄文土器片98点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。
 所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。

第80号土坑出土遺物観察表（第64図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|--------------|----|----|---------------------------------------|------|----|
| TP976 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 石英・長石・雲母に灰燼質 | 普通 | 普通 | 口唇部直下に連続「コ」の字状を巡らす珠文は単位回転の2段Rし単節縄文を施文 | 覆土中層 | |

第87号土坑（第65図）

位置 調査区北部のD5h3区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。



第65図 第87号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第6号住居，第1号墳に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号墳に掘り込まれているため，長径3.42m，確認できた短径は2.82mで，本来は短径3.10mほどで，長径方向がN-77°-Eの楕円形と推測できる。深さは23cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，西壁際にP1が存在し，深さは36cmである。

覆土 8層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

第5～8層はP1の覆土である。

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|--------------------------|---|-----|------------------------|
| 1 | 暗褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物微量 | 5 | 暗褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック・炭化物微量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量，焼土ブロック微量 | 6 | 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土ブロック微量 |
| 3 | 褐色 | ロームブロック中量，炭化物微量 | 7 | 暗褐色 | ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化物微量 |
| 4 | 黒褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック少量 | 8 | 黒褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック微量 |

遺物出土状況 縄文土器片256点（深鉢），石器4点（石皿1，剥片3），土製品3点（土器片鏝）が，覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。その他，混入した土師器片3点も出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曽利E I - II 式期と推測できる。

第87号土坑出土遺物観察表（第65図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|-----|------|--------|----|--------------|-----|----|--|------|-----|
| 545 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.4) | - | 石英・長石・雲母に灰砂質 | 黄褐色 | 普通 | 沈積を伴う磨り消し層を帯びた2段R L 単段縄文を焼文 | 覆土 | 20% |
| 546 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.6 | (8.7) | - | 石英・長石 | 黄褐色 | 普通 | 焼害と沈積によって透視状・棒状のモチーフを描出した層内に縦位回転の2段R L 単段縄文を焼文 | 覆土上層 | 10% |
| 547 | 縄文土器 | 深鉢 | 23.4 | (6.7) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部に磨層を帯びる。焼文は縦位・斜位回転の2段R L 単段縄文を焼文 | 覆土上層 | 10% |
| 548 | 縄文土器 | 粗形鉢 | - | (3.1) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 文様状の網を帯びる。丁寧な調整 孔径0.6cm | 覆土 | 5% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1023 | 土器片鏝 | 4.1 | 3.2 | 1.1 | 15.6 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm | 覆土 | PL56 |
| DP1023 | 土器片鏝 | 4.2 | 3.2 | 1.2 | 16.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm | 覆土 | PL56 |
| DP1024 | 土器片鏝 | 3.8 | 3.3 | 1.0 | 15.4 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm | 覆土 | PL56 |

第88号土坑（第66図）

位置 調査区北部のD 5 f 5区で，標高25.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.78m，短径1.92mの不整楕円形で，長径方向はN-42°-Wである。深さは20cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，北西側P1が存在し，深さは40cmである。

覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

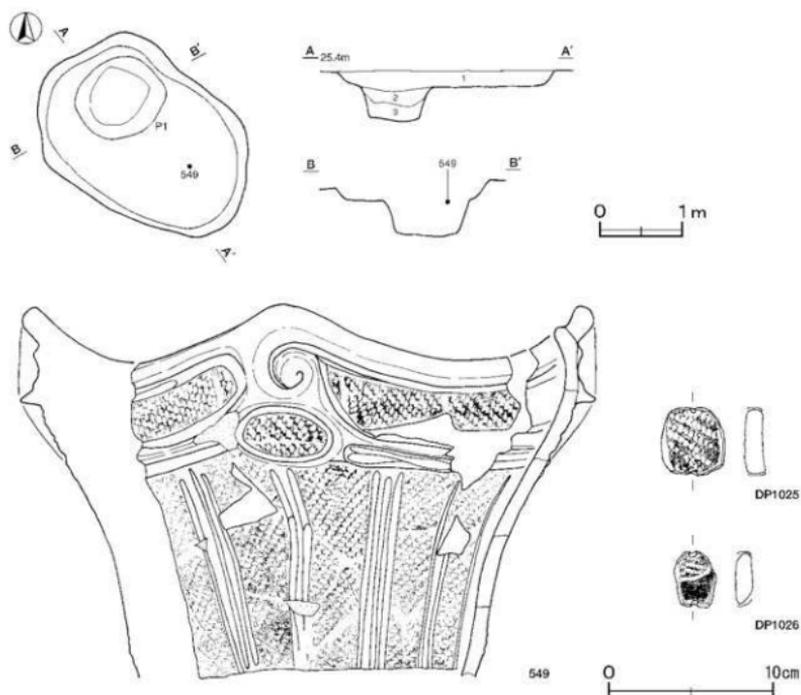
第2・3層はP1の覆土である。

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|--------------------------|---|-----|------------------|
| 1 | 暗褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物微量 | 2 | 褐色 | ロームブロック中量 |
| | | | 3 | 黒褐色 | ロームブロック中量，炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片216点（深鉢），土製品2点（土器片鏝）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曽利E II 式期である。



第66図 第88号土坑・出土遺物実測図

第88号土坑出土遺物観察表（第66図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|-------------|----|----|---|------|-----|
| 549 | 縄文土器 | 深鉢 | 33.4 | 22.3 | - | 石英・長石・雲母に多い | 普通 | | 口縁部は焼成と意識によって身部のモチーフと対称的模様の連続を形成。縁部は、3本の凸線を中心取り出し磨き出す。本文は口縁部が単位図柄、胴部が単位図柄の2段×1単位模文を散文 | 覆土下層 | 30% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1025 | 土器片鏢 | 4.1 | 3.8 | 1.2 | 23.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm | 覆土 | PL56 |
| DP1026 | 土器片鏢 | 3.4 | 2.5 | 1.0 | 9.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm | 覆土 | PL56 |

第99号土坑（第67図）

位置 調査区北部のD 5 f6区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第98号土坑を掘り込み、第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第1号溝に掘り込まれているため、長径1.29m、確認できた短径は0.84mで、本来は短径1.00mほどで、長径方向がN-60°-Wの楕円形と推測できる。深さは40cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

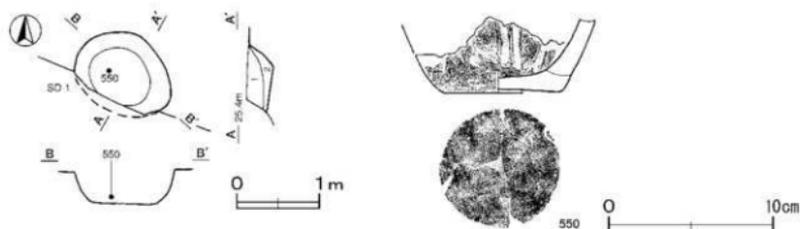
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 2 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片136点(深鉢), 石器1点(剥片)が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曽利E II 式期である。



第67図 第99号土坑・出土遺物実測図

第99号土坑出土遺物観察表 (第67図)

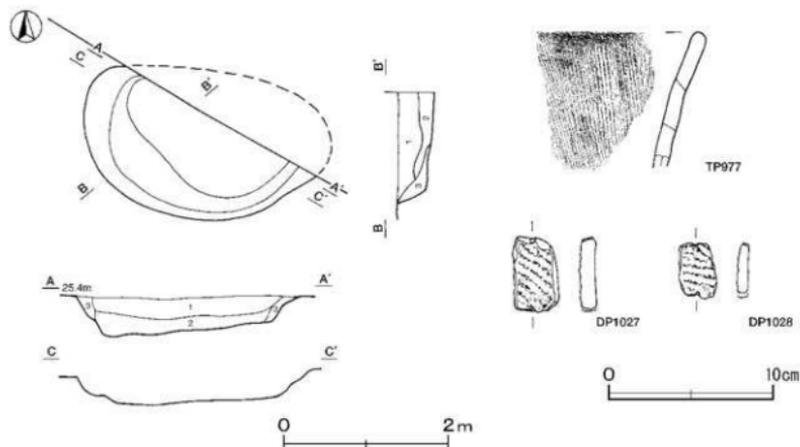
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-----|-------------|----|--------------|---------|------|-----|
| 550 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | 7.3 | 長石・赤色粒子に灰い煙 | 普通 | 1・2本単位の沈線を垂下 | 底部網代痕 | 覆土下層 | 10% |

第100号土坑 (第68図)

位置 調査区北部のD 5 f 6区で, 標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第101号土坑を掘り込んでいる。北東側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北東側が調査区域外に延びているため, 確認できた長径は1.90m, 確認できた短径は1.30mで, 本来は長径3.10m, 短径1.80mほどで, 長径方向がN-83°-Wの楕円形と推測できる。深さは44cmで, 壁は



第68図 第100号土坑・出土遺物実測図

緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量 3 暗褐色 ロームブロック中量
 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片180点（深鉢）、土製品2点（土器片鏝）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。

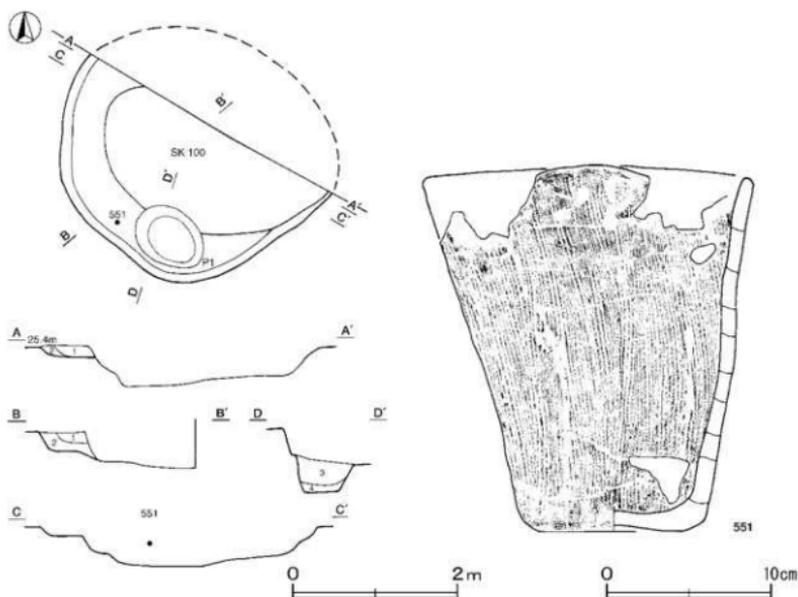
第100号土坑出土遺物観察表（第68図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|--------------|----|----|----------|------|----|
| TP977 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 石英・長石・雲母に灰赤褐 | 色調 | 普通 | 縦に条線文を施文 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | | | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|----------|----------|------------|------|------|
| DP1027 | 土器片鏝 | 4.7 | 2.8 | 1.0 | 17.1 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み間4.3cm | 覆土 | PL56 |
| DP1028 | 土器片鏝 | 3.5 | 2.3 | 0.7 | 7.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 | 1方向の切り込み | 切り込み間2.9cm | 覆土 | PL56 |

第101号土坑（第69図）

位置 調査区北部のD5f6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。



第69図 第101号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第100号土坑に掘り込まれている。北東側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北東側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は2.21m、確認できた短径は1.99mで、本来は長径3.40m、短径3.10mほどで、長径方向がN-74°-Wの楕円形と推測できる。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは56cmである。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

第3・4層はP1の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片82点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。551は、南部の底面直上から横位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅢ式期である。

第101号土坑出土遺物観察表（第69図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|-----|-------|-------|----|-----------|------|-----|
| 551 | 縄文土器 | 深鉢 | 19.8 | 22.4 | 8.7 | 石英・長石 | にんげん色 | 普通 | 縦位に条線文を施文 | 覆土下層 | 85% |

第106号土坑（第70図）

位置 調査区東部のE6d1区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第104・105号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第104・105号土坑に掘り込まれているため、長径3.00m、確認できた短径は2.34mで、本来は短径2.40mほどで、長径方向がN-30°-Eの楕円形と推測できる。深さは56cmで、壁は西側の一部で内傾し、全体的には緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁際、西壁下、南東壁下及び中央部にピットが存在し、P1～P4の深さは20～46cmである。

覆土 7層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第6層はP3の覆土である。

土層解説

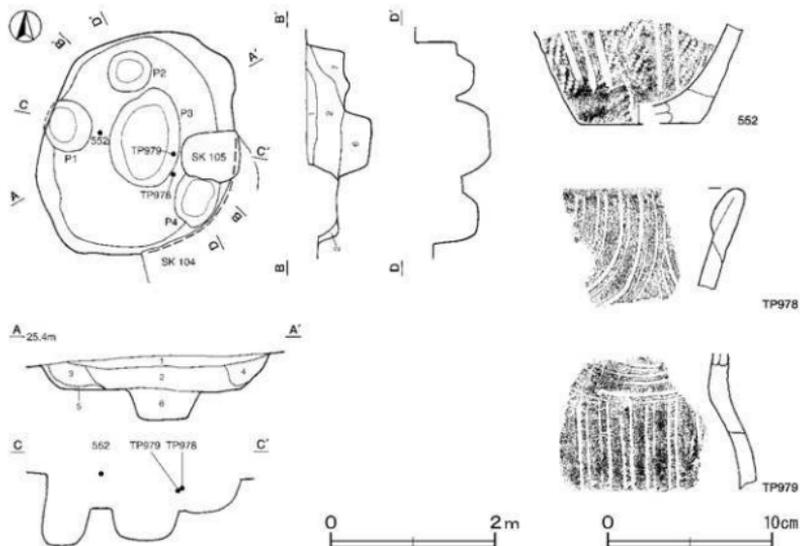
- | | | | |
|-------|--------------------------|---------|--------------------|
| 1 褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 4 赤褐色 | 焼土ブロック中量、ロームブロック少量 |
| 2 灰褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 6 にんげん色 | ロームブロック中量 |
| | | 7 暗褐色 | 焼土ブロック多量、炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片4点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。その他、混入した土器片3点、須恵器片1点、磁器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。

第106号土坑出土遺物観察表（第70図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|-------|----------|-----|----|--|------|-------------|
| 552 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | [7.2] | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の瓦礫を伴う磨り滑し面を帯びた横文は縦位回転の2段出し単筋横文を施文 | 覆土上層 | 10% |
| T P978 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口部内側に交差を帯びる半靨竹筥による平行波線で壺状の条線文を施文 | 覆土中層 | T P979と同一個体 |
| T P979 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 石英・長石・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 半靨竹筥による平行波線で、頸部は壺状状況、口部は縦位に条線文を施文 | 覆土中層 | T P978と同一個体 |



第70図 第106号土坑・出土遺物実測図

第108号土坑（第71図）

位置 調査区東部のE c3区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第111・157号土坑を掘り込み、第117号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.40m、短径0.91mの楕円形で、長径方向はN-60°-Eである。深さは38cmで、壁は東側の一内部で内傾し、全体的には直立している。底面はほぼ平坦で、東側にP1が存在し、深さは70cmである。

覆土 5層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第5層はP1の覆土である。

土層解説

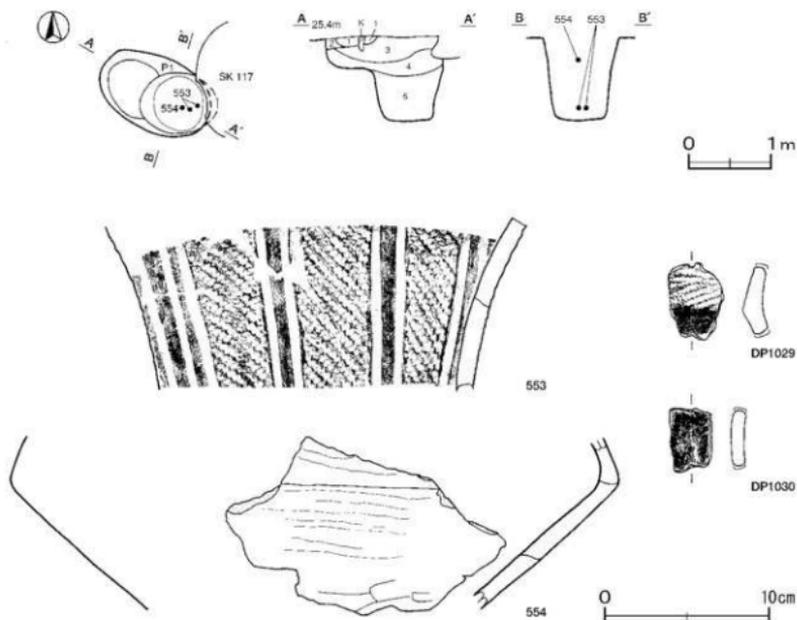
- | | | | |
|-------|-------------------------|------|--------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片309点（深鉢）、石器2点（石皿、剥片）、土製品4点（土器片鏢）、礫1点だが、覆土下層から散在した状態で出土している。その他、混入した土器器片2点、須恵器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第108号土坑出土遺物観察表（第71図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 | |
|-----|------|----|----|--------|----|-------------|----|----|---|---------|------|-----|
| 553 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 〔10.8〕 | - | 石英・長石・雲母に染み | 普通 | 普通 | 2・3本単位の沈線を作る磨り消し線を垂下 捲文は腕位開始の2段し、片断縄文を施文 | 覆土下層 | 10% | |
| 554 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | 〔10.6〕 | - | 石英・長石・雲母に染み | 普通 | 普通 | 無文 | 丁字なナゲ調整 | 覆土中層 | 10% |



第71図 第108号土坑・出土遺物実測図

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1029 | 土器片鏢 | 4.7 | 3.4 | 1.2 | 17.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み幅4.1cm | 覆土 | PL56 |
| DP1030 | 土器片鏢 | 3.9 | 2.5 | 0.8 | 12.1 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み幅3.4cm | 覆土 | PL56 |

第112号土坑 (第72図)

位置 調査区東部のE 6 d3区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第111号土坑を掘り込み、第113・117・118号土坑に掘り込まれている。

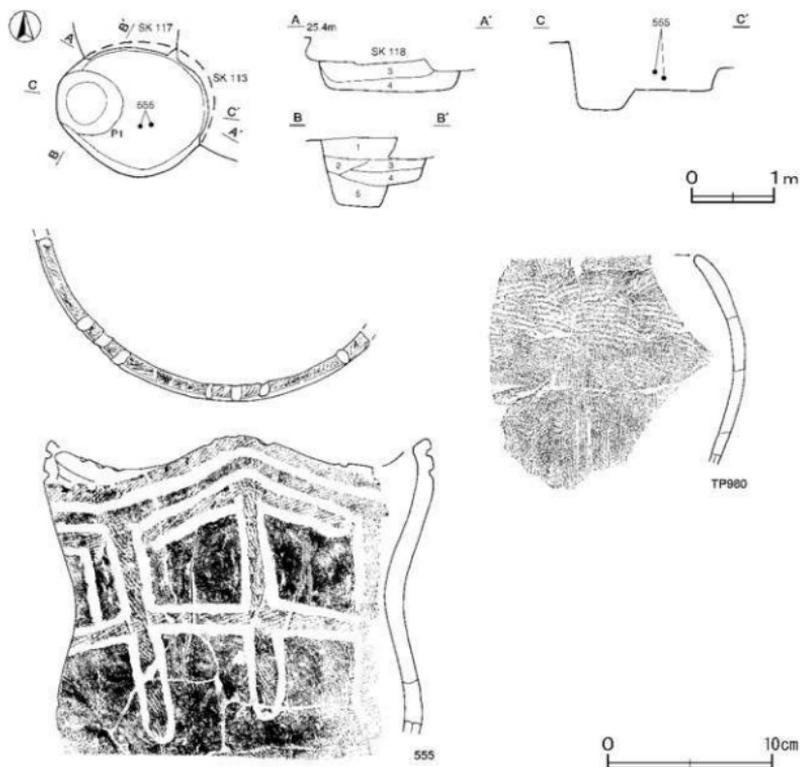
規模と形状 北側及び東側が第113・117号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.85m、確認できた短径は1.56mで、本来は長径1.90m、短径1.70mほどで、長径方向がN-78°-Wの楕円形と推測できる。深さは64cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、西壁際にP1が存在し、深さは29cmである。覆土 5層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第5層は西壁際のP1の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片64点(深鉢)、石器2点(磨石、剥片)が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉から後期前葉の加曾利EⅣ(新)-称名寺(古)式期である。



第72図 第112号土坑・出土遺物実測図

第112号土坑出土遺物観察表（第72図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------|------|----|--------------|-----|----|---|------|----------|
| 555 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.8 | 17.2 | - | 石英・長石・雲母に灰砂質 | 普通 | 普通 | 2本の沈線で窓枠状のモチーフを描出。沈線間・口唇部に1段L無節縄文を充填。口唇部に3節単位の列み筋。4単位の波状口縁。口縁部は斜位回転の1段L無節縄文。以下に副位の系統文を描文。 | 覆土下層 | 25% PL46 |
| TP980 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.8 | - | 石英・長石・雲母 | 暗褐色 | 普通 | 口縁部は斜位回転の1段L無節縄文。以下に副位の系統文を描文。 | 覆土下層 | |

第120号土坑（第73図）

位置 調査区東部のD6j2区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第278・288・290・292号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.40m、短径1.13mの楕円形で、長径方向はN-40°-Eである。深さは33cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

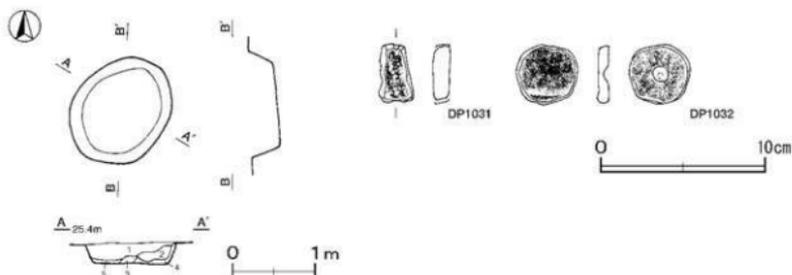
覆土 5層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|--------|-----------|---------------|------|-----------|--------|
| 1 黒 褐色 | ロームブロック少量 | 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック多量 | 炭化粒子微量 |
| 2 黒 褐色 | ロームブロック少量 | 炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 | 炭化粒子少量 |
| 3 暗 褐色 | ロームブロック中量 | 焼土粒子微量 | | | |

遺物出土状況 縄文土器片151点（深鉢）、土製品3点（土器片鏟）が、覆土中から散在した状態で出土している。その他、混入した弥生土器片1点、須恵器片2点も出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第73図 第120号土坑・出土遺物実測図

第120号土坑出土遺物観察表（第73図）

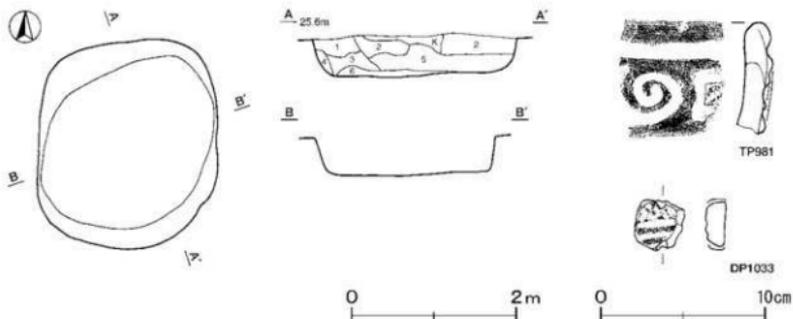
| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1031 | 土器片鏟 | 3.6 | 2.2 | 1.0 | 9.6 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み幅3.3cm | 覆土 | PL56 |
| DP1032 | 土器片円盤 | 3.6 | 3.7 | 0.7 | 12.1 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 片面中央部に研磨による凹み | 覆土 | PL56 |

第123号土坑（第74図）

位置 調査区東部のD6j1区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第124・280号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.54m、短径2.17mの楕円形で、長径方向はN-3°-Eである。深さは50cmで、壁は緩や



第74図 第123号土坑・出土遺物実測図

かに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 6層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|-------------------------|---|-----|-----------------------|
| 1 | 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 | 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化物少量 |
| 3 | 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量 | 6 | 褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子少量 |

遺物出土状況 縄文土器片128点（深鉢）、石器（剥片1）、土製品1点（土器片鏟）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第123号土坑出土遺物観察表（第74図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|-------------------------|------|----|
| T P981 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 縄文と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを演出 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|--------------------------------|------|------|
| DP1033 | 土器片鏟 | 3.1 | 3.0 | 1.3 | 11.4 | 縄文土器 | 主に周縁打ち欠き調整 1方向の切り込み 切り込み間2.7cm | 覆土 | PL56 |

第124号土坑（第75図）

位置 調査区東部のD611区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第121・123・125・128号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側、東側、南側が第123・125・128号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.70m、確認できた短径は2.35mで、本来は長径3.00m、短径2.40mほどで、長径方向がN-20°-Eの楕円形と推測できる。深さは64cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼみ、中央部の北寄りと南壁際にピットが存在し、P1の深さは50cm、P2の深さは79cmである。

覆土 13層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第9～13層はP1の覆土である。

土層解説

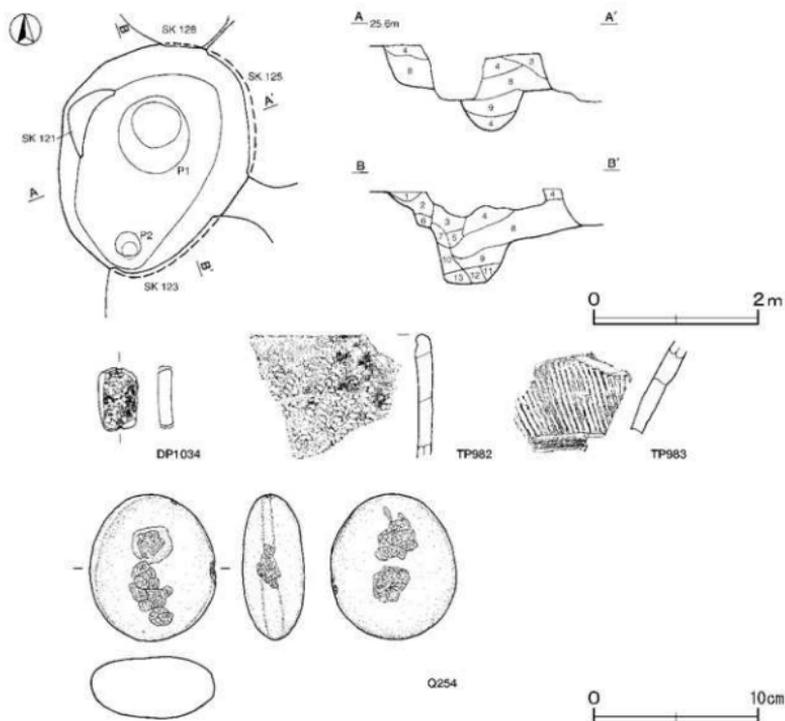
| | | | | | |
|---|-----|--------------------------|----|-----|------------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック少量 | 7 | 褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 | 褐色 | 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化粒子微量 | 8 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 | 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 | 9 | 黒褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 | 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量 |
| 5 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 11 | 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量 |
| 6 | 暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量、焼土ブロック微量 | 12 | 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック・炭化物微量 |
| | | | 13 | 暗褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片151点（深鉢）、石器1点（磨石）、土製品1点（土器片鏟）が、覆土中から散在した状態で出土している。T P982は、後期後葉の加曾利B式の粗製土器であるが、覆土中から出土しており、混入した可能性がある。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期と推測できる。

第124号土坑出土遺物観察表（第75図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|----------|------|----|----------------------------------|------|----|
| T P982 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 石英・長石・雲母 | 浅黄橙 | 普通 | 地文は横位回転の2段LR単筋縄文を施文 | 覆土 | |
| T P983 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 石英・長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 1・2本単位の沈線を横位・斜線的に施文 地文は断片文を施文 | 覆土 | |



第75図 第124号土坑・出土遺物実測図

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1034 | 土器片錘 | 3.9 | 2.4 | 0.9 | 11.5 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み幅3.5cm | 覆土 | PL56 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|-----|----------------------------|------|----|
| Q254 | 磨石 | 8.9 | 7.7 | 3.8 | 373.0 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央付近と側縁の一部に疤痕状の敲打痕 | 覆土 | |

第125号土坑（第76図）

位置 調査区東部のD 6 11区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第124号土坑を掘り込み、第122・129・151号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.10m、短径2.02mの円形で、深さは74cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、中央部の西寄りにP1が存在し、深さは54cmである。

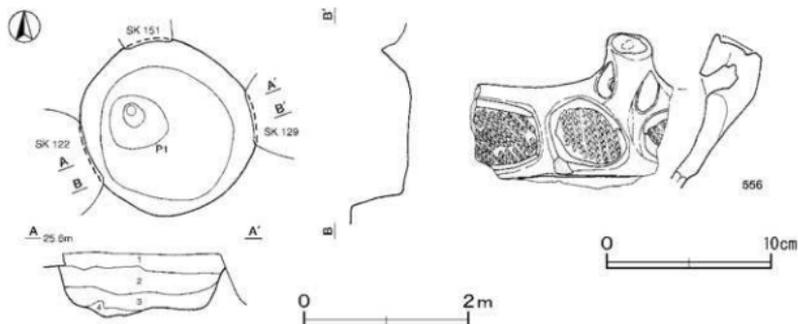
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片48点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第76図 第125号土坑・出土遺物実測図

第125号土坑出土遺物観察表(第76図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|----|-------|------|----|---|------|-----|
| 556 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 石英・長石 | にんげん | 普通 | 頂部に円形のモチーフを強い隆帯が横状に垂下した把手が付される。円孔を有する。地文は横位・斜位回転の3段押し目種部縄文を無文 | 覆土 | 10% |

第141号土坑(第77図)

位置 調査区中央部のE 4 c0区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.52m、短径0.45mの楕円形で、長径方向は、N-73°-Eである。深さは42cmで、壁は直立している。底面はほぼ平坦である。

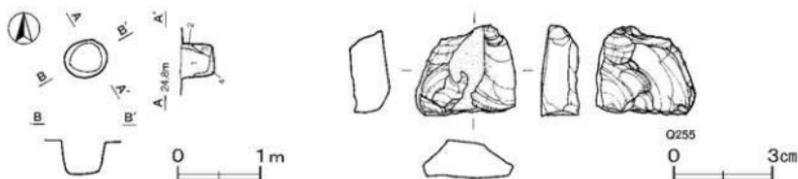
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
 2 褐色 ロームブロック少量
 3 暗褐色 ロームブロック中量
 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片1点(深鉢)、石器1点(楔形石器)が、覆土中から出土している。

所見 出土石器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曽利EⅡ式期と推測できる。



第77図 第141号土坑・出土遺物実測図

第141号土坑出土遺物観察表(第77図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|-----|-----|-----|------|------|---|------|----|
| Q255 | 楔形石器 | 2.7 | 3.0 | 1.2 | 11.4 | チャート | 両面上下方向からの剥離面が交錯。両種打法。背面に横面を残す。断面形状は不規則な菱形 | 覆土 | |

第165号土坑（第78図）

位置 調査区中央部のE 4 f 9区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号道路に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第2号道路に掘り込まれているため、確認できた長径は1.40mで、本来は長径1.50mほど、短径1.26mで、長径方向がN-42°-Eの楕円形と推測できる。深さは30cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

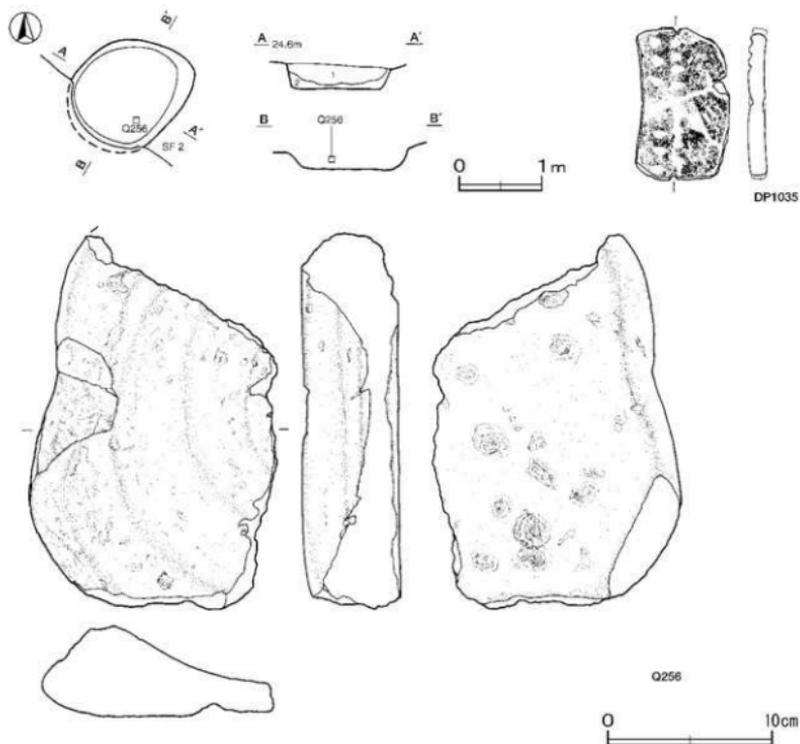
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片42点（深鉢）、石器2点（石皿）、土製品4点（土器片鏟）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第78図 第165号土坑・出土遺物実測図

第165号土坑出土遺物観察表（第78図）

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1035 | 土器片鏢 | 9.3 | 5.7 | 1.0 | 74.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間8.7cm | 覆土 | PL56 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|------|------|-----|--------|-----|----------------------------|------|------|
| Q256 | 石皿 | 22.9 | 15.1 | 6.0 | 2130.4 | 安山岩 | 片面に皿状の摺り面 裏面に複数の断面形がV字状の凹み | 覆土中層 | PL54 |

第179号土坑（第79図）

位置 調査区中央部のE 5 c3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第177号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.01m、短径1.44mの楕円形で、長径方向はN-29°-Eである。深さは40cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

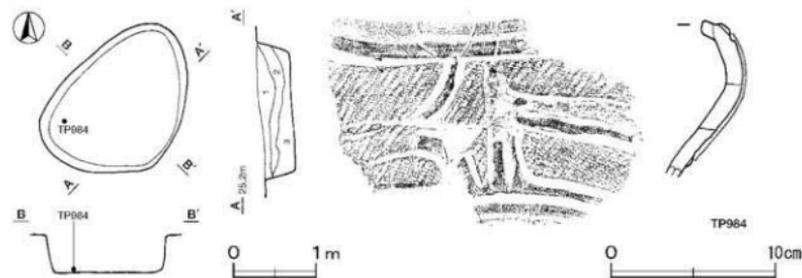
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化物微量 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E1式期である。



第79図 第179号土坑・出土遺物実測図

第179号土坑出土遺物観察表（第79図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|---|------|----|
| TP984 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 遺棄と洗練によってクラック状・粒状のモチーフを露出。地文は縦向回転の2段出し車削線文を構文 | 覆土下層 | |

第184号土坑（第80図）

位置 調査区中央部のE 5 c3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第185号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第185号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.85mで、本来は長径2.20mほど、短径1.61mで、長径方向がN-57°-Eの楕円形と推測できる。深さは37cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

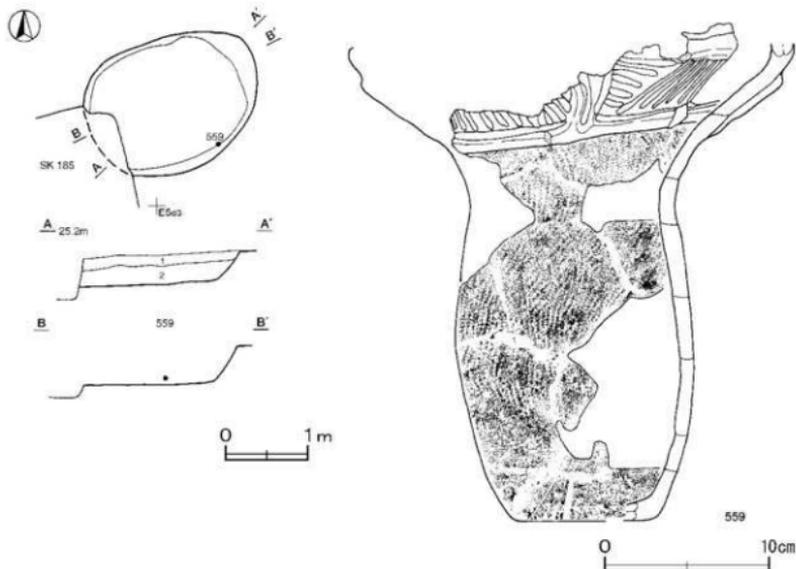
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片56点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。



第80図 第184号土坑・出土遺物実測図

第184号土坑出土遺物観察表（第80図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|--------|-------|----------|------|----|--|------|-----|
| 559 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [29.0] | [7.8] | 石灰・長石・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 地帯と沈線によって稜状のモチーフを抽出 区内に縦位・斜位の沈線を密に施文 地文は縦位・横位・斜位回転の2段階し準部縞文を施文 | 覆土下層 | 40% |

第185号土坑（第81図）

位置 調査区中央部のE 5 d2区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第183・184号土坑を掘り込み、第186・195・196・522号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西側が第522号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.64mで、本来は長径2.70mほど、短径2.44mで、長径方向はN-70°-Eの不整長方形と推測できる。深さは55cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 明褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

2 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

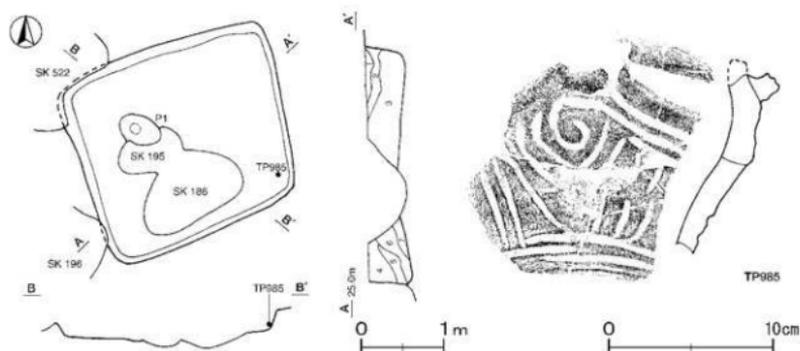
6 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

3 暗褐色 ロームブロック少量

7 褐色 ロームブロック少量

4 明褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片30点（深鉢）、石器2点（剥片）が、覆土中から散在した状態で出土している。
 所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅠ（新）式期である。形状から、後世に構築された可能性もあるが、出土遺物と覆土の様相などから、当該期に位置づけた。



第81図 第185号土坑・出土遺物実測図

第185号土坑出土遺物観察表（第81図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------|----|----|----------------------------------|------|------|
| TP985 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 11.0 } | - | 石英・長石 | 褐 | 普通 | 口唇部に隆帯を巡らす 沈線によって渦巻状・重渦状のモチーフを演出 | 覆土下層 | PL52 |

第200号土坑（第82図）

位置 調査区南部のF 5 a5区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第201・531号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第201号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.88mで、本来は長径2.10mほど、短径1.50mで、長径方向がN-51°-Eの不整楕円形と推測できる。深さは42cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

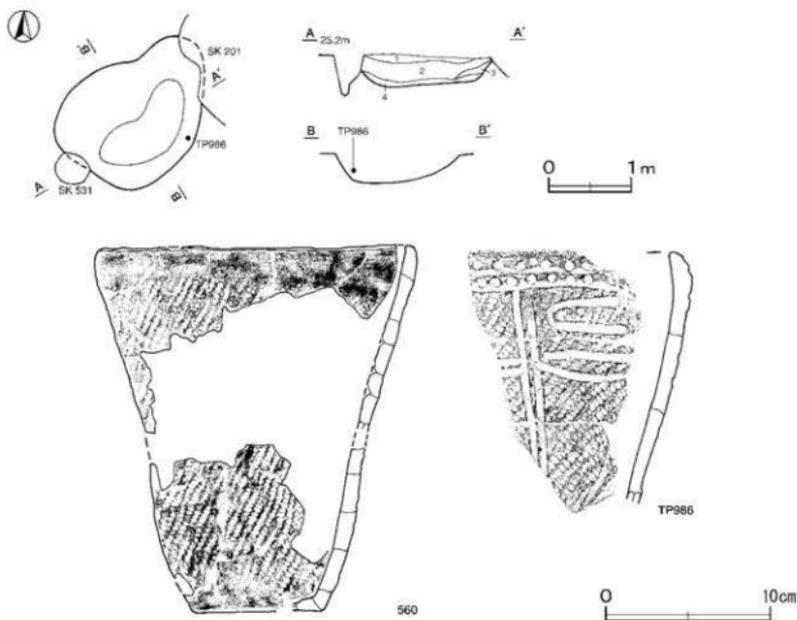
- 1 黒 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 3 暗 褐色 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化物微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 4 褐 色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片199点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期と考えられる。

第200号土坑出土遺物観察表（第82図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----------|----------|-----|-------|------|----|---|------|-----|
| 560 | 縄文土器 | 深鉢 | { 18.5 } | { 22.3 } | 7.6 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口唇部は無文 地文は縦位回転の2段R L 単 部横文を横文 | 覆土 | 30% |
| TP986 | 縄文土器 | 深鉢 | - | { 15.2 } | - | 石英・長石 | 明赤褐 | 普通 | 口唇部直下に2本の沈線と連続する内折刺突文を 巡らす 胴部は2本の沈線を巻下、横位にも巡ら す 地文は縦位回転の2段R L 単部横文を横文 | 覆土下層 | |



第82図 第200号土坑・出土遺物実測図

第203号土坑（第83図）

位置 調査区南部のF 5 a6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第204号土坑に掘り込まれている。南側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北側が第204号土坑に掘り込まれ、南側が調査区域外に延びているため、長径0.80m、確認できた短径は0.45mで、本来は短径0.70mほどで、長径方向がN-74°-Eの楕円形と推測できる。深さは58cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

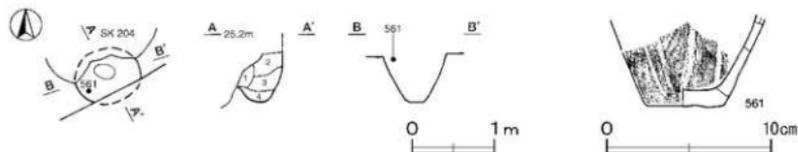
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|--------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片76点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期と考えられる。



第83図 第203号土坑・出土遺物実測図

第203号土坑出土遺物観察表（第83図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-----|----------|----|----|--|------|-----|
| 561 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | 4.7 | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 文様の特徴ほか 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は横位回転の2段R単筋縷文を施文 | 覆土上層 | 10% |

第204号土坑（第84図）

位置 調査区南部のF 5 a6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第203・246号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.54m、短径1.08mの楕円形で、長径方向はN-56°-Eである。深さは65cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側にテラス状の段を有している。

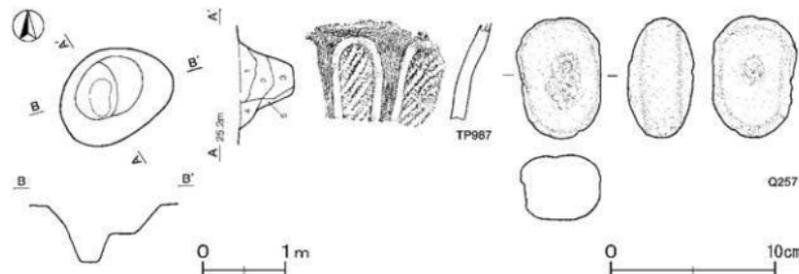
覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|-------------------------|---|-----|--------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 4 | 黒褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 5 | 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | | | |

遺物出土状況 縄文土器片78点（深鉢）、石器1点（凹石）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期と考えられる。



第84図 第204号土坑・出土遺物実測図

第204号土坑出土遺物観察表（第84図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|---------------------------------|------|----|
| T P987 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 沈線で長楕円形のモチーフを描き、縦位回転の2段R単筋縷文を施す | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|----|-------------------|------|----|
| Q257 | 磨石 | 7.4 | 5.1 | 4.0 | 194.6 | 砂岩 | 全面研磨 両面の中央部に血状の凹み | 覆土 | |

第205号土坑（第85図）

位置 調査区南部のE 5 j7区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第23号住居跡と平面的に重複しているが、先後関係は不明である。

規模と形状 長径1.01m、短径0.79mの楕円形で、長径方向はN-59°-Eである。深さは30cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は血状にくぼんでいる。

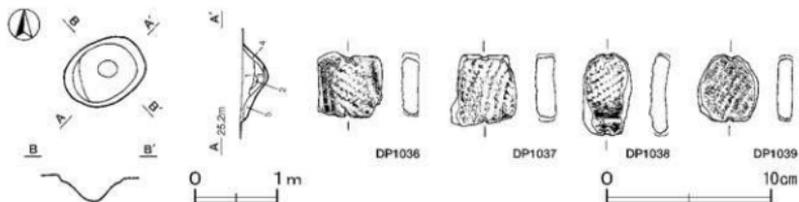
覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック少量
 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 5 褐色 ローム粒子微量
 3 暗褐色 焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片32点(深鉢)、土製品4点(土器片鏝)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第85図 第205号土坑・出土遺物実測図

第205号土坑出土遺物観察表(第85図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1036 | 土器片鏝 | 4.0 | 3.9 | 1.0 | 23.6 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.4cm | 覆土 | PL56 |
| DP1037 | 土器片鏝 | 4.5 | 3.9 | 1.1 | 27.1 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm | 覆土 | PL56 |
| DP1038 | 土器片鏝 | 5.0 | 2.9 | 0.9 | 18.0 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.7cm | 覆土 | PL56 |
| DP1039 | 土器片鏝 | 4.0 | 3.6 | 0.9 | 13.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm | 覆土 | PL56 |

第222号土坑(第86図)

位置 調査区東部のE6-18区で、標高24.4mの台地縁辺部に位置している。

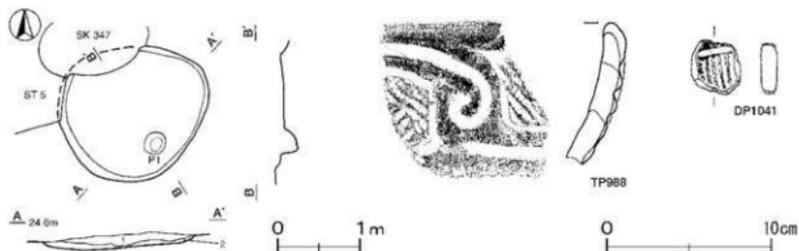
重複関係 第5号建物、第347号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第347号土坑に掘り込まれているため、長径1.87m、確認できた短径は1.31mで、本来は短径1.60mほどで、長径方向がN-58°-Eの楕円形と推測できる。深さは16cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南東側にP1が存在し、深さは25cmである。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 2 暗褐色 ロームブロック中量



第86図 第222号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片34点(深鉢), 土製品1点(土器片鏝)が, 覆土中から散在した状態で出土している。
 所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ期と考えられる。

第222号土坑出土遺物観察表(第86図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|---|------|----|
| TP988 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 石英・長石 | 黒 | 普通 | 遺骨と次第によって浴衣状・袴状のモチーフを覆出区域内に垂直・斜位並列の2列1列並列文を施文 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1041 | 土器片鏝 | 3.3 | 3.0 | 1.0 | 11.2 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm | 覆土 | PL56 |

第227号土坑(第87図)

位置 調査区南部のE5h0区で, 標高24.5mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第228・229号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.00m, 短径0.95mの円形で, 深さは27cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

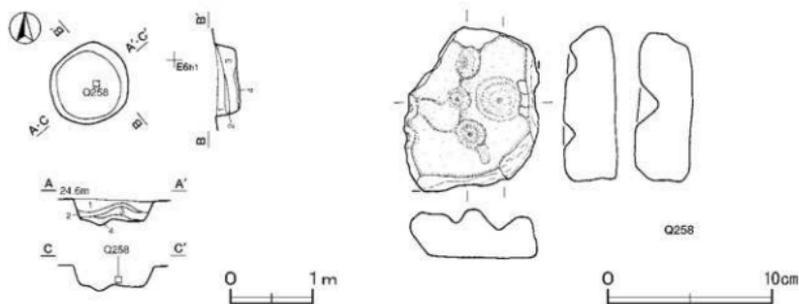
覆土 4層に分かれ, 不自然な堆積状況から, 埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
 2 暗褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量
 3 暗褐色 ロームブロック少量
 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 石器1点(凹石)が, 覆土下層から出土している。

所見 時期は, 出土石器から中期と推測できる。



第87図 第227号土坑・出土遺物実測図

第227号土坑出土遺物観察表(第87図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|-------|-------|-------|------|---------------------|------|----|
| Q258 | 凹石 | (10.0) | (8.2) | (3.5) | 386.7 | 雲母片岩 | 片面に複数の断面形がV字状の凹みと擦痕 | 覆土下層 | |

第230号土坑(第88図)

位置 調査区南部のE5I7区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第5号溝に掘り込まれている。

規模と形状 北西側が第5号溝に掘り込まれているため、長径1.82m、確認できた短径は0.97mで、本来は短径1.50mほどで、長径方向がN-57°-Eの楕円形と推測できる。深さは44cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

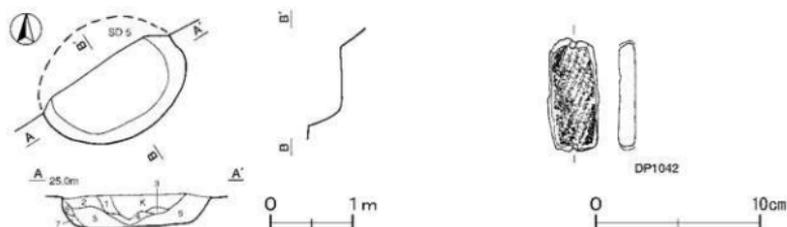
覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子微量 | 6 褐色 ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック微量 | 7 極暗褐色 ロームブロック微量 |
| 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 | |

遺物出土状況 縄文土器片182点(深鉢)、土製品1点(土器片鏝)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第88図 第230号土坑・出土遺物実測図

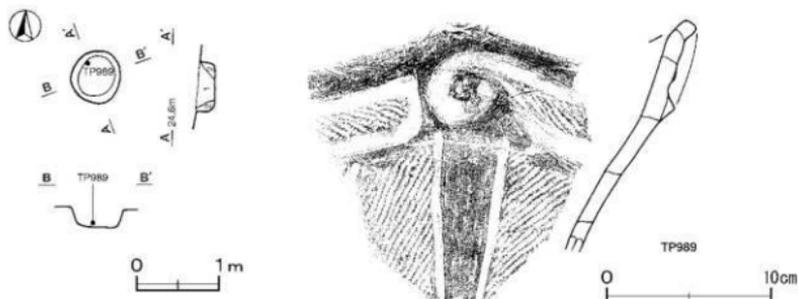
第230号土坑出土遺物観察表(第88図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1042 | 土器片鏝 | 6.8 | 3.0 | 1.0 | 31.7 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間6.3cm | 覆土 | PL56 |

第233号土坑(第89図)

位置 調査区南部のE5h9区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。



第89図 第233号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径0.64m, 短径0.60mの円形で, 深さは25cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 2 暗 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片11点(深鉢)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期と考えられる。

第233号土坑出土遺物観察表(第89図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------|----|----|--|------|----|
| TP989 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.1) | - | 石英・長石 | 暗褐 | 普通 | 口縁部は隆帯と次第によって高帯状・稜状のモチーフを帯出, 胴部は次第に伴う彫り出し帯を帯出。地文は口縁部が横位回転, 胴部が縦位回転の2段のしずね縄文を帯出 | 覆土下層 | |

第234号土坑(第90図)

位置 調査区南部のE5h9区で, 標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.92m, 短径0.82mの隅丸長方形で, 長径方向はN-21°-Wである。深さは40cmで, 壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

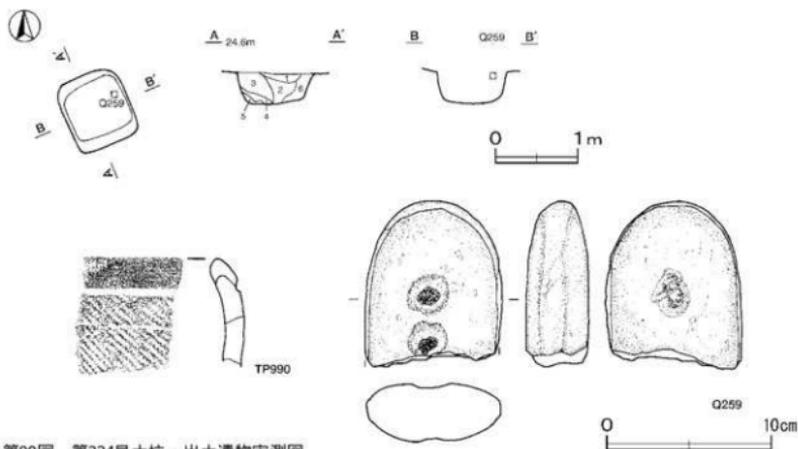
覆土 6層に分かれ, 不自然な堆積状況から, 埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 4 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
2 暗 褐色 ロームブロック少量 5 褐色 ロームブロック少量
3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 6 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片29点(深鉢), 石器1点(磨石)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。



第90図 第234号土坑・出土遺物実測図

第234号土坑出土遺物観察表（第90図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|--------------------------------------|------|----|
| TP990 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 石英・長石 | 橘 | 普通 | 口唇部は無文 以下に波線を帯らす 地文は縦位回転の2段LR単筋縄文を施文 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|-------|-------|-------|-----|-------------------|------|----|
| Q259 | 磨石 | (10.2) | (8.2) | (3.8) | 472.0 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み | 覆土上層 | |

第237号土坑（第91図）

位置 調査区南部のE 6 i 1区で、標高24.2mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第238号土坑を掘り込んでいる。南側は調査区域外に延びている。

規模と形状 南側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.64mで、本来は長径1.30mほど、短径1.09mで、長径方向がN-23°-Eの楕円形と推測できる。深さは21cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

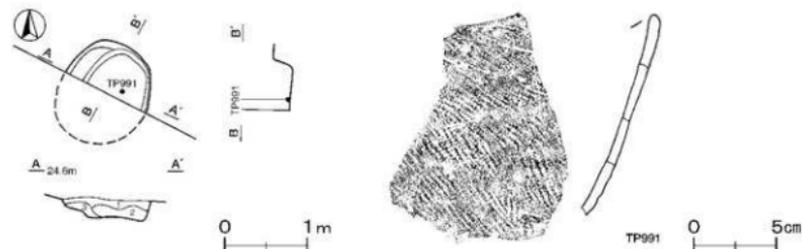
覆土 3層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 暗 橘 色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 橘 色 ロームブロック中量
2 暗 橘 色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉の加曽利B式期である。



第91図 第237号土坑・出土遺物実測図

第237号土坑出土遺物観察表（第91図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|----------|------|----|---------------------|------|----|
| TP991 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 石英・長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 地文は横位回転の2段RL単筋縄文を施文 | 覆土下層 | |

第256号土坑（第92図）

位置 調査区東部のD 6 j 2区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第278号土坑を掘り込んでいる。

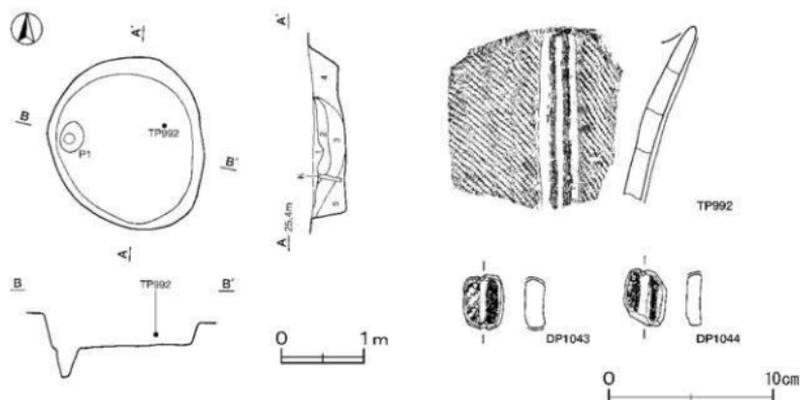
規模と形状 長径2.12m、短径1.85mの楕円形で、長径方向はN-7°-Wである。深さは42cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、西壁下にP1が存在し、深さは35cmである。

覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 4 暗 褐 色 ロームブロック中量、炭化物少量、焼土粒子微量
 2 暗 褐 色 ロームブロック中量、炭化物微量 5 暗 褐 色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
 3 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片51点(深鉢), 土製品2点(土器片鏝)が, 覆土中から散在した状態で出土している。
 所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。



第92図 第256号土坑・出土遺物実測図

第256号土坑出土遺物観察表(第92図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|------|----|--------------|----|----|--|------|----|
| TP992 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 10.6 | - | 石英・長石・雲母に灰い塊 | 普通 | 普通 | 土層と同様に沈降を沿わせた地層を掘下 文は層の回転の2段LR準節様文を施文 | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1043 | 土器片鏝 | 3.2 | 2.5 | 1.2 | 12.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm | 覆土 | PL56 |
| DP1044 | 土器片鏝 | 3.4 | 2.6 | 0.9 | 9.3 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.2cm | 覆土 | PL56 |

第258号土坑(第93図)

位置 調査区東部のE 6 e3区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第264・266号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.02m, 短径0.98mの円形で, 深さは75cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

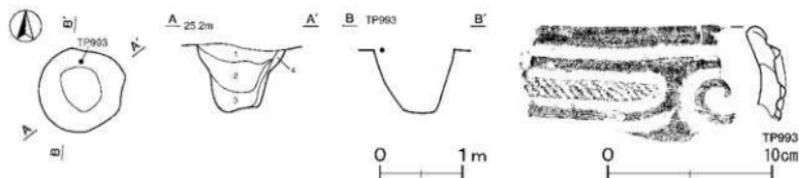
覆土 4層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量 3 暗 褐 色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
 2 暗 褐 色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量 4 褐 色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片80点(深鉢)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。



第93図 第258号土坑・出土遺物実測図

第258号土坑出土遺物観察表（第93図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|----|----------|----|----|---|------|----|
| TP993 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 石英・長石・雲母 | 灰褐 | 普通 | 浅鉢と深鉢によって高巻状のモチーフと楕円形区画を形成。区画内に幾何図案的な2段以上の単節縄文を施文 | 覆土上層 | |

第266号土坑（第94図）

位置 調査区東部のE 6 e3区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第258号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第258号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.47mで、本来は長径0.70mほど、短径0.61mで、長径方向がN-22°-Wの楕円形と推測できる。深さは16cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

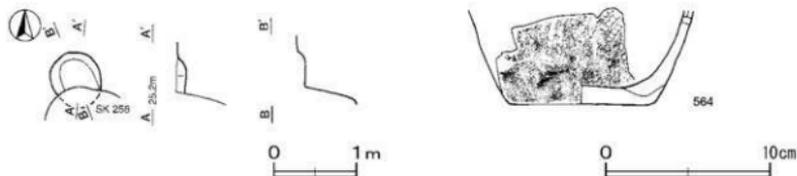
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・埴土ブロック少量 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片36点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第94図 第266号土坑・出土遺物実測図

第266号土坑出土遺物観察表（第94図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-------|----------|----|----|--------------------------|------|-----|
| 564 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | [8.4] | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 地文は縦位・斜位部転の2段R.L.単節縄文を施文 | 覆土 | 10% |

第271号土坑（第95図）

位置 調査区東部のE 6 d7区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第343・344号土坑を掘り込み、第24号住居に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第24号住居に掘り込まれているため、長径3.09m、確認できた短径は1.10mで、本来は短

径2.50mほどで、長径方向がN-40°-Wの楕円形と推測できる。深さは42cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有し、東壁下、南壁下にピットが存在し、P1の深さは48cm、P2の深さは42cmである。

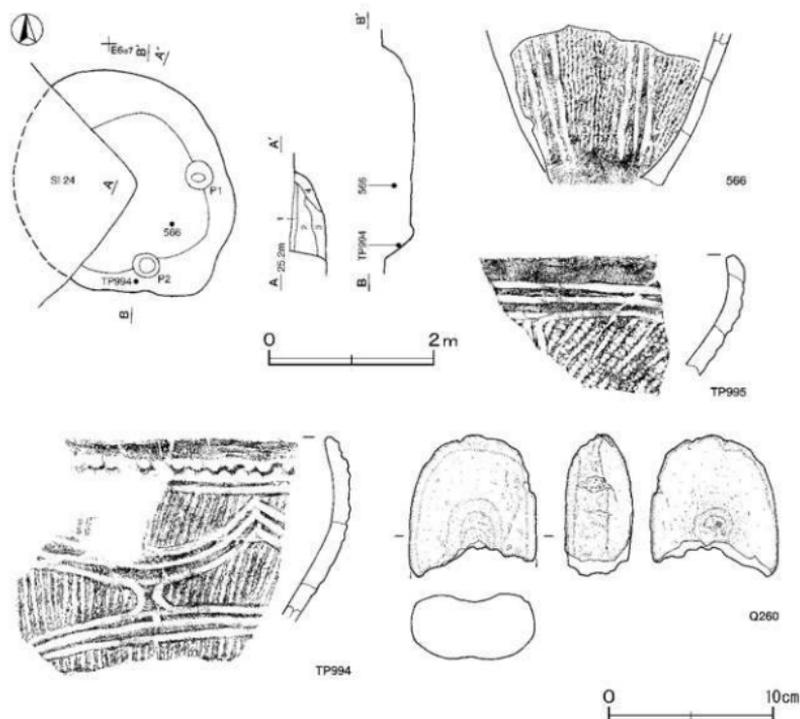
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|---|-----|--------------------|---|----|-----------|
| 1 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 3 | 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片137点（深鉢）、石器1点（磨石）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。



第95図 第271号土坑・出土遺物実測図

第271号土坑出土遺物観察表（第95図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|-----|-------------|----|----|--|------|-----|
| 566 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | 6.8 | 石英・長石・雲母に灰燼 | 普通 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を器下 地文は煎茶文を施文 | 覆土中層 | 10% |
| TP994 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 石英・長石・雲母に灰燼 | 普通 | 普通 | 口唇部直下に連続コノ字状文を器らす 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモチ ブを描出 地文は煎茶文を施文 | 覆土下層 | |
| TP995 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口唇部は無文 以下に3本の沈線を描らし、 縦位四割の2段以上単回縄文を施文 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-----|-------------------|------|----|
| Q260 | 磨石 | (8.6) | (7.8) | (4.2) | 374.7 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み | 覆土 | |

第280号土坑 (第96図)

位置 調査区東部のD6j1区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第123号土坑に掘り込まれている。

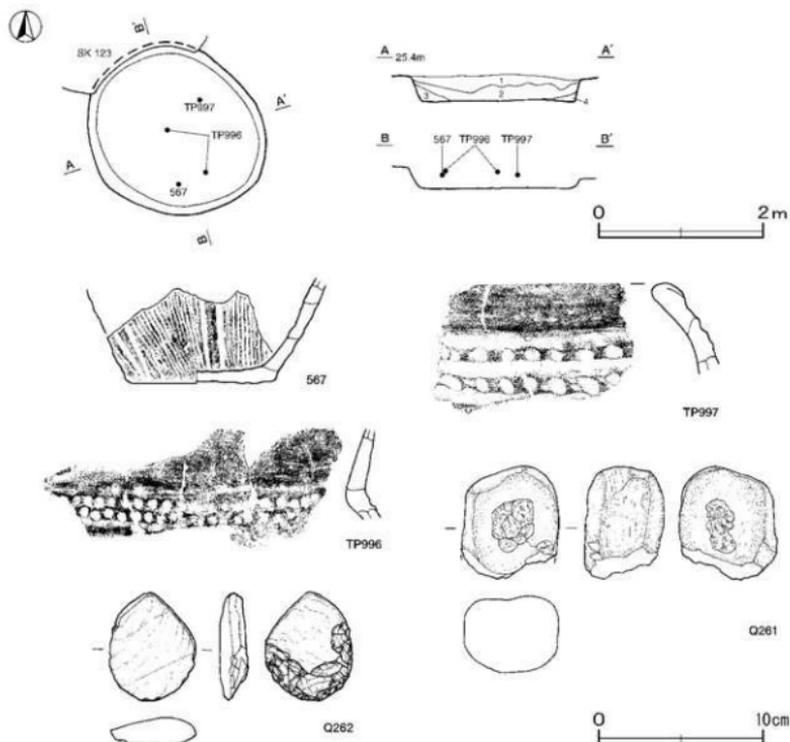
規模と形状 北西側が第123号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.24mで、本来は長径2.30mほど、短径2.02mで、長径方向がN-50°-Wの楕円形と推測できる。深さは32cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片143点(深鉢), 石器2点(打製石斧, 敲石)が, 覆土上層から中層にかけて散在し



第96図 第280号土坑・出土遺物実測図

た状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利 E II (新) 式期である。

第280号土坑出土遺物観察表 (第96図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|-------|-----|----------|-----|----|----------------------------------|------|-----|
| 567 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | 8.5 | 長石・雲母 | に灰増 | 普通 | 2本単位の沈線を押う磨り消し線を器下 文は無文を施文 | 覆土中層 | 10% |
| TP996 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 石英・長石・雲母 | 灰質稀 | 普通 | 上部は無文 くひれ部に円形刺突文を2段に 通らす | 覆土中層 | |
| TP997 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口唇部は無文 以下に3本の凹線と円形刺突 文を交互に施らす | 覆土中層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|-------|-------|-------|-------|-----|---------------------------------------|------|----|
| Q261 | 磨石 | (6.9) | (5.9) | (4.8) | 304.1 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央部に血状の凹み | 覆土 | |
| Q262 | 打製石斧 | 6.6 | 5.2 | 1.7 | 73.7 | 凝灰岩 | 片面側から階段状の剥離を連続させて凹部を形成 両面に大きく磨面を残す | 覆土 | |

第305号土坑 (第97図)

位置 調査区東部の E 6 e7区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.51m, 短径1.29mの楕円形で、長径方向はN-10°-Wである。深さは30cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 3 褐色 ロームブロック中量

2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片279点(深鉢), 土製品2点(土器片鏝)が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利 E III - IV 式期と推測できる。

第306号土坑 (第98図)

位置 調査区東部の E 6 c7区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第307・359・455号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.72m, 短径0.98mの楕円形で、長径方向はN-44°-Wである。深さは27cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は血状にくぼんでいる。

覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量 3 黒褐色 ロームブロック中量

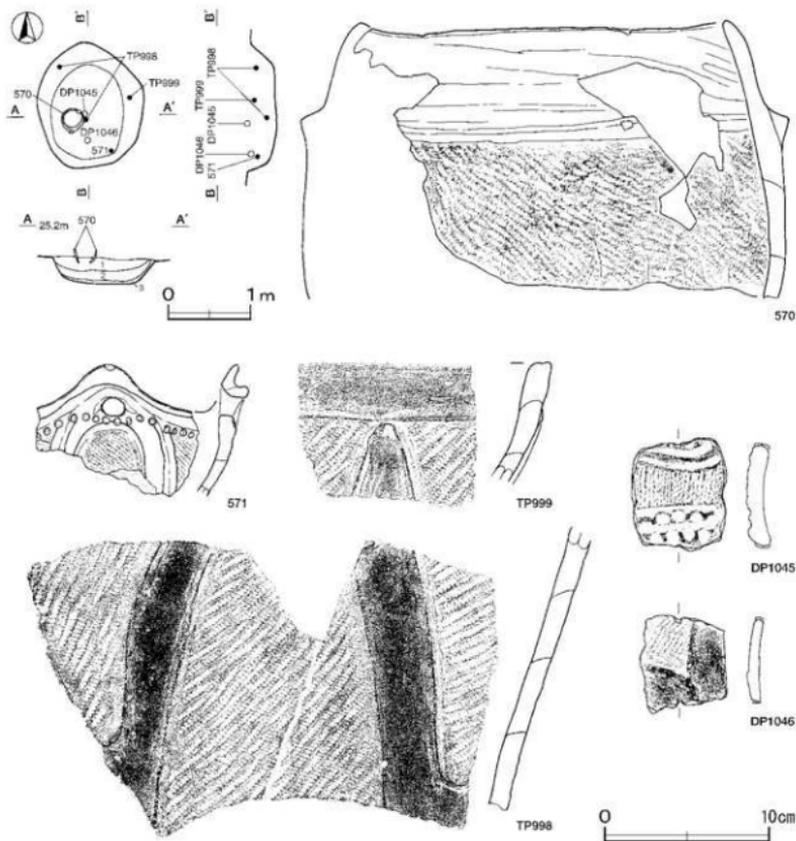
2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒微量 4 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片10点(深鉢)が、覆土上層から散在した状態で出土している。その他、混入した土器器片2点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利 E II 式期である。

第315号土坑 (第99図)

位置 調査区東部の E 6 d8区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

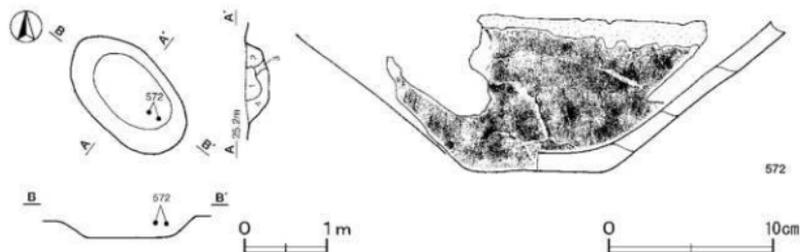


第97図 第305号土坑・出土遺物実測図

第305号土坑出土遺物観察表(第97図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------|--------|----|----------|------|----|--|------|-----|
| 570 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.3 | 17.0 | - | 石英・長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 口縁部は黒文 以下に焼痕を辿らし、縦位回転の2段LR単筋縞文を施文 | 覆土上層 | 30% |
| 571 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 石英・長石・雲母 | 灰黄褐色 | 普通 | 口唇部は黒文で焼痕帯を辿らず 胴部は焼痕帯によって横切形区帯を形成 縦位回転の前々径多高LRを施文 焼痕帯は磨り消す | 覆土中層 | 10% |
| TP998 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.5) | - | 石英・長石・雲母 | 明褐色 | 普通 | 表焼痕によって三角形・横切形区帯を形成 縦位回転の前々径多高RLを施文 焼痕帯は磨り消す | 覆土中層 | |
| TP999 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 石英・長石・雲母 | 黒褐色 | 普通 | 口唇部は黒文で焼痕帯を辿らず 胴部は焼痕帯によって三角形区帯を形成 縦位回転の前々径多高RLを施文 焼痕帯は磨り消す | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP1045 | 土器片鏝 | 6.9 | 5.8 | 1.5 | 65.5 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間6.2cm | 覆土上層 | PL56 |
| DP1046 | 土器片鏝 | 6.1 | 5.2 | 1.1 | 26.6 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.0cm | 覆土上層 | PL56 |



第98図 第306号土坑・出土遺物実測図

第306号土坑出土遺物観察表（第98図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-----|----------|----|----|---------|------|-----|
| 572 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (9.2) | 8.3 | 石英・長石・雲母 | 黒褐 | 普通 | 無文 | 覆土中層 | 20% |

重複関係 第4号建物に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.44m，短径2.25mの不整円形で，深さは30cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，中央部，北東壁下，南西壁下にピットが存在し，P1～P5の深さは8～57cmである。

覆土 6層に分かれ，不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

| | | | |
|---------|--------------------------|---------|-----------------------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック少量 | 4 暗 褐 色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 5 褐 色 | ロームブロック中層 |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック中層，焼土ブロック少量，炭化物微量 | 6 褐 色 | ロームブロック中層，焼土粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片232点（深鉢），石器8点（石鏃1，磨石3，剥片4）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。

第331号土坑（第100図）

位置 調査区東部のE 6 g5区で，標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第483号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.89m，短径1.78mの円形で，深さは60cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，中央部の南寄りにP1が存在し，深さは36cmである。

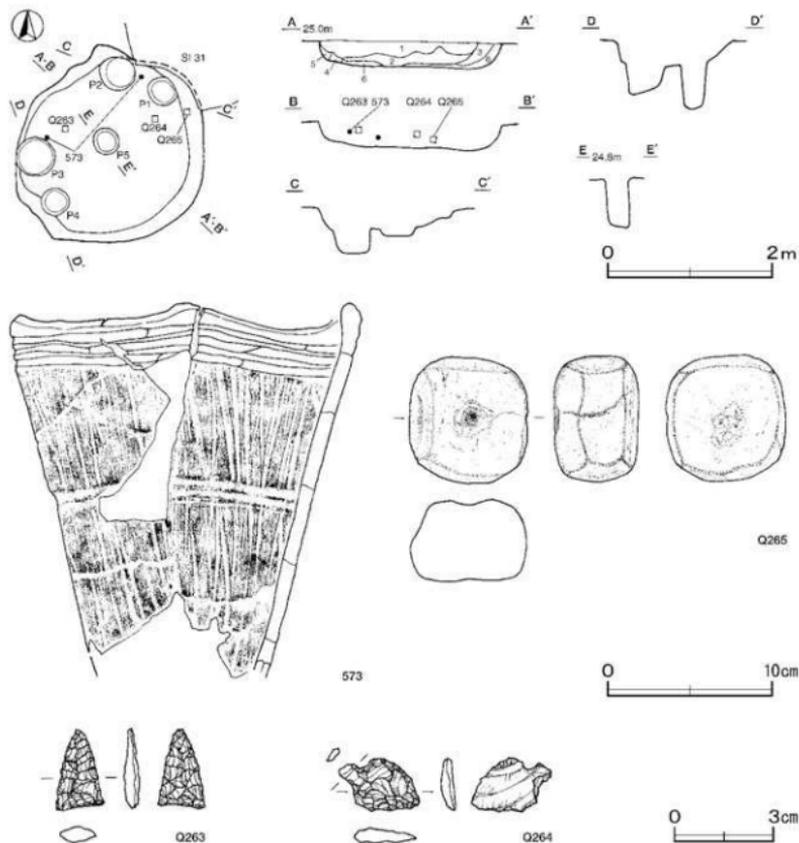
覆土 6層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

| | | | |
|---------|-------------------------|-------|------------------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 褐 色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 5 褐 色 | ロームブロック中層 |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 6 褐 色 | ロームブロック中層，炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片71点（深鉢），礫1点が，覆土中から散在した状態で出土している。575は覆土中層から逆位の状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の曾利Ⅱ～Ⅲ式期と推測できる。

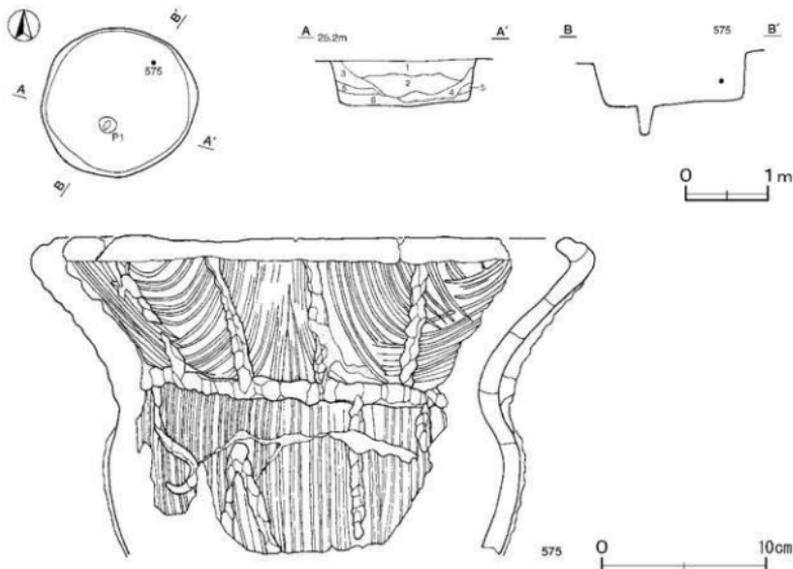


第99図 第315号土坑・出土遺物実測図

第315号土坑出土遺物観察表（第99図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|--------|----|----------|-----|----|---|------|-----|
| 573 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.1 | [22.8] | - | 石英・長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部と胴部中央に3本単位の流線を回らす 式い棒状工具によって深い流線文を縦位に施文 | 覆土下層 | 40% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|------|------------------------------------|------|------|
| Q263 | 石器 | 2.5 | 1.4 | 0.5 | 1.1 | 黒曜石 | 両面調整 | 覆土下層 | |
| Q264 | 石器 | 1.7 | 2.5 | 0.5 | 1.4 | チャート | 主要部離面衝からの調整を主とし、挟り加工で握み状の突起 状作出 | 覆土下層 | |
| Q265 | 磨石 | 7.8 | 7.3 | 5.1 | 493.9 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み | 覆土下層 | PLS4 |



第100図 第331号土坑・出土遺物実測図

第331号土坑出土遺物観察表（第100図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|----|-------|------|----|--|------|-----|
| 575 | 縄文土器 | 浅鉢 | 30.0 | 19.4 | - | 石英・長石 | にがれ焼 | 普通 | 口唇部が内傾し、交差状に出る。口縁部と胴部は連続して押捺された痕跡を呈出し、くびれ部は胎土に粘付地文が半縦竹管による平行沈線で、口縁部が垂直状、胴部が半縦文を縦位に強く、いわゆる電目文土器 | 覆土中層 | 30% |

第345号土坑（第101・102図）

位置 調査区東部のE 6 b 6区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第26・28号住居に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第28号住居に掘り込まれているため、長径2.06m、確認できた短径は1.73mで、本来は短径1.75mほどで、長径方向がN-68°-Wの楕円形と推測できる。深さは70cmで、壁は直立している。底面はほぼ平坦で、東壁下、西壁下にピットが存在し、P1-P4の深さは19-51cmである。

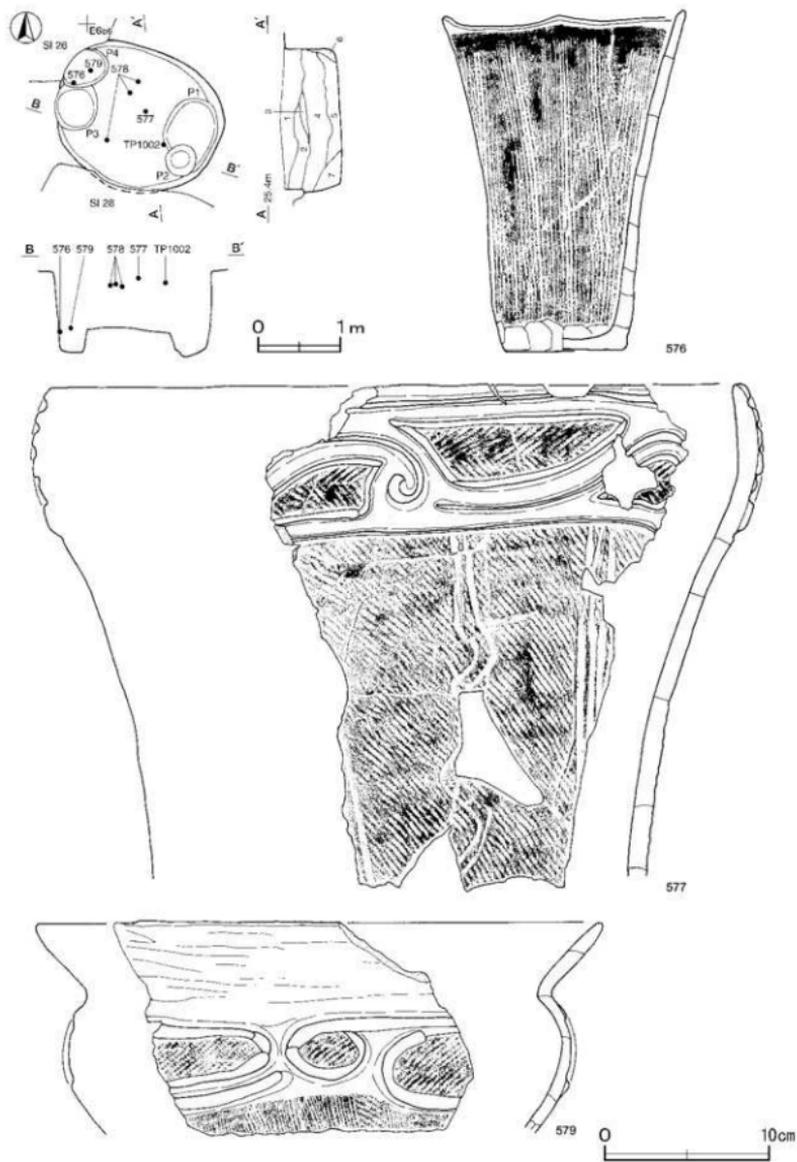
覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

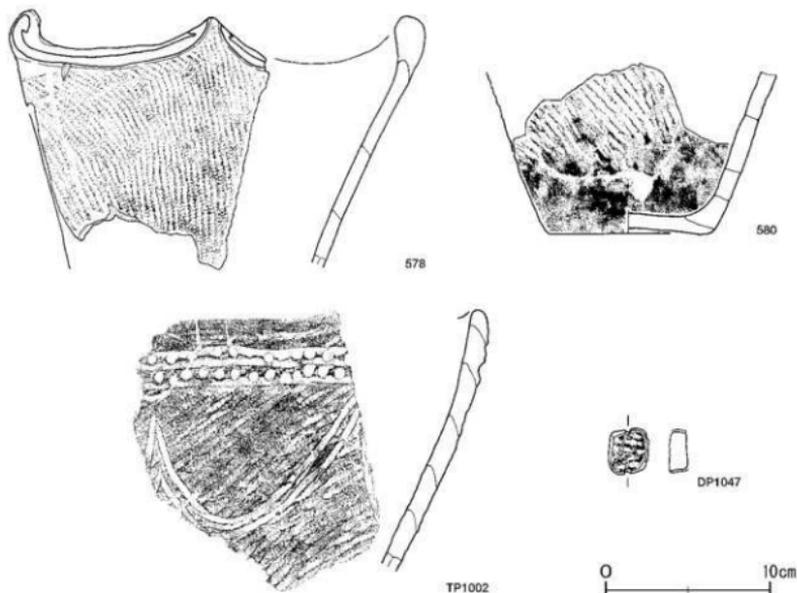
- | | | | |
|-------|----------------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 6 暗褐色 | ローム粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | 7 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片327点（深鉢）、土製品1点（土器片錘）が、覆土上層を中心に散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。



第101图 第345号土坑·出土遗物实测图



第102図 第345号土坑出土遺物実測図

第345号土坑出土遺物観察表(第101・102図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|------|--------|------|----------|------|----|--|------|----------|
| 576 | 縄文土器 | 深鉢 | 14.7 | 20.7 | 7.4 | 石英・長石・雲母 | 明黄褐色 | 普通 | 口唇部は縄文 以下に5・6本単位の系線文を縦位に施文 口縁部は隆縁と沈線によって隆巻状・稜状のモチーフを抽出 胴部は2・3本単位の平行・斜行沈線を垂下 地文は口縁部 が斜行隆縁、胴部が縦位回転の2段L R単部縄文を施文 | 覆土下層 | 80% PL43 |
| 577 | 縄文土器 | 深鉢 | 41.4 | 30.2 | - | 石英・長石・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 口縁部は隆縁と沈線によって隆巻状・稜状のモチーフを抽出 胴部は2・3本単位の平行・斜行沈線を垂下 地文は口縁部 が斜行隆縁、胴部が縦位回転の2段L R単部縄文を施文 | 覆土上層 | 30% |
| 578 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.7 | 15.9 | - | 石英・長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部は隆縁と沈線によって隆巻状・稜状のモチーフを抽出 胴部は2・3本単位の平行・斜行沈線を垂下 地文は口縁部 が斜行隆縁、胴部が縦位回転の2段L R単部縄文を施文 | 覆土上層 | 20% |
| 579 | 縄文土器 | 鉢 | 34.4 | 12.9 | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部は隆縁と沈線によって隆巻状・稜状のモチーフを抽出 胴部は2・3本単位の平行・斜行沈線を垂下 地文は口縁部 が斜行隆縁、胴部が縦位回転の2段L R単部縄文を施文 | 覆土下層 | 20% |
| 580 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.8) | 10.0 | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部は隆縁と沈線によって隆巻状・稜状のモチーフを抽出 胴部は2・3本単位の平行・斜行沈線を垂下 地文は口縁部 が斜行隆縁、胴部が縦位回転の2段L R単部縄文を施文 | 覆土 | 20% |
| TP1002 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.0) | - | 石英・長石・雲母 | 褐 | 普通 | 口唇部は縄文 以下に3本の沈線と円形刺突文を交互 に垂らす 胴部は2本単位の沈線によって稜状のモ チーフを抽出 地文は縦位回転の反時計R R巻縄文 | 覆土上層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|------|------------------------------|------|------|
| DP1047 | 土器片鏢 | 2.9 | 2.5 | 1.1 | 8.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.4cm | 覆土 | PL56 |

第346号土坑(第103図)

位置 調査区東部のE 6 j 9区で、標高24.0mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第37号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.79m、短径1.30mの楕円形で、長径方向はN-26°-Eである。深さは31cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

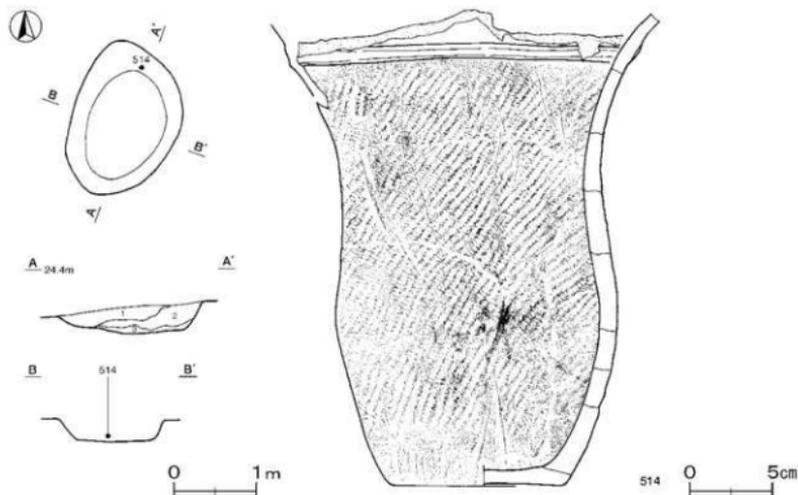
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子少量,炭化粒子微量 3 暗 褐 色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
 2 極 暗 褐 色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片71点(深鉢),剥片1点,覆土下層を中心に散在した状態で出土している。その他,混入した土師器片4点も出土している。

所見 時期は,出土土器から中期後葉の加曽利EⅠ(新)式期である。



第103図 第346号土坑・出土遺物実測図

第346号土坑出土遺物観察表(第103図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|--------|------|----------|----|----|-----------------------------------|------|-----|
| 514 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 〔29.0〕 | 10.2 | 石英・長石・雲母 | 黄褐 | 普通 | 器面無文 以下に埋解を施らし、層位面軌の2段R.L.単部縄文を施文 | 覆土下層 | 90% |

第350号土坑(第104図)

位置 調査区東部のE 6 e4区で,標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第41号住居跡と重複しているが,先後関係は不明である。

規模と形状 長径3.10m,短径2.50mの楕円形で,長径方向はN-57°-Eである。深さは23cmで,壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で,中央部の西寄り,南東側にピットが存在し,P1-P3の深さは45-66cmである。

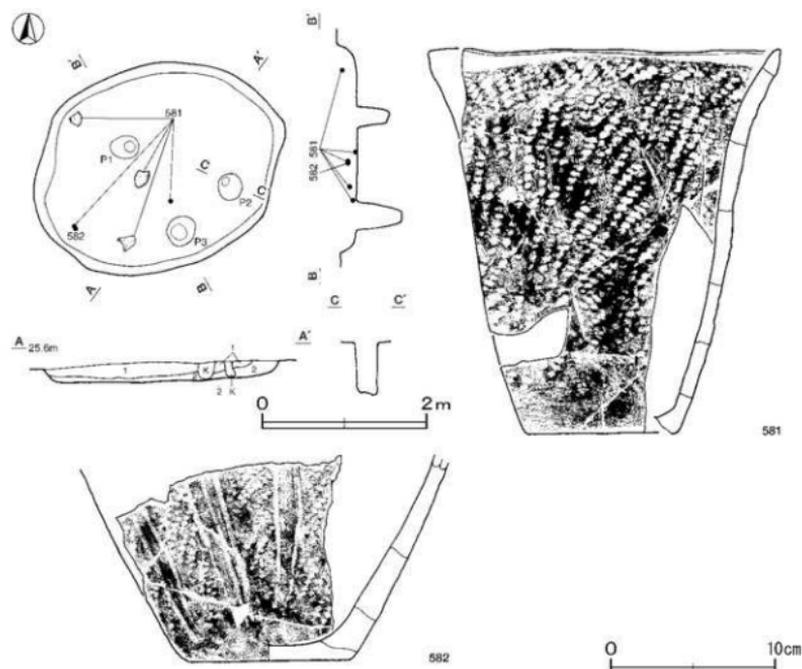
覆土 2層に分かれ,周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量,焼土ブロック少量,炭化物 2 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片360点(深鉢)が,覆土中から出土している。S81は覆土下層を中心に散在して出土

している。その他、混入した土師器片1点も出土している。
 所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。



第104図 第350号土坑・出土遺物実測図

第350号土坑出土遺物観察表（第104図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|------|------|-----|----------------|----|----|---|------|-----|
| 581 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.3 | 23.5 | 9.2 | 石灰・長石・赤色粒子に多い層 | 普通 | 普通 | 地文は縦位・横位・斜位回転の2段RL単部縄文を施文 | 覆土下層 | 40% |
| 582 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.5 | 9.9 | 石灰・長石・霞母 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線を持つ斜り消し線を基下地文は縦位回転の2段RL単部縄文を施文 | 覆土下層 | 20% |

第386号土坑（第105図）

位置 調査区東部のE 6 e6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第387号土坑を掘り込み、第285・385号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西側と南東側が第285・385号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.08mで、本来は長径1.60mほど、短径1.50mの円形と推測できる。深さは33cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

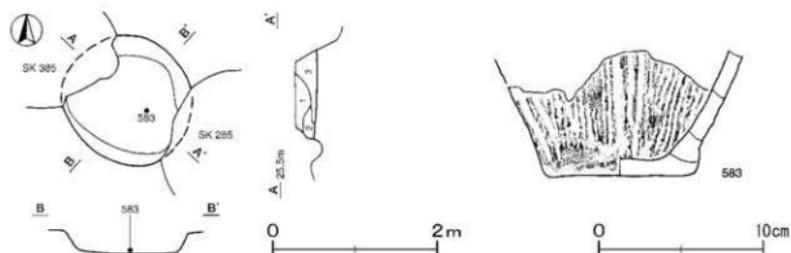
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 暗褐色 ロームブロック中量
 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片24点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第105図 第386号土坑・出土遺物実測図

第386号土坑出土遺物観察表（第105図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|-----|----------|----|----|------------------------|------|-----|
| 583 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | 8.9 | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線を目下 地文は照糸文を施文 | 覆土下層 | 10% |

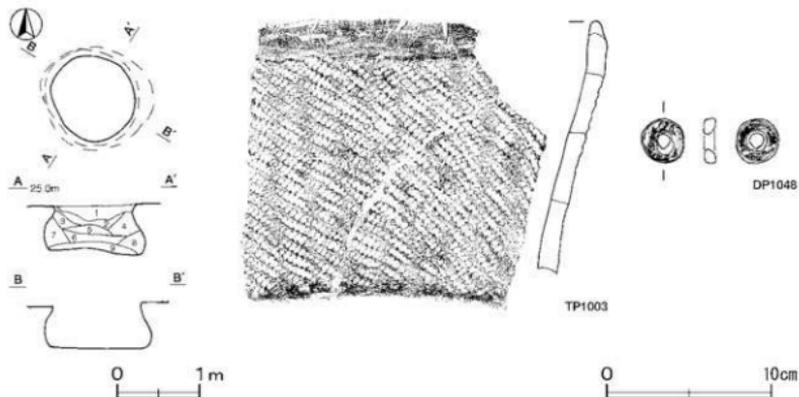
第395号土坑（第106図）

位置 調査区南部のE 5 15区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径1.05m、短径1.00mの円形である。深さは58cmで、壁は内傾して立ち上がっている。

底面は長径1.30m、短径1.10mの楕円形で、緩やかな凹凸を有している。



第106図 第395号土坑・出土遺物実測図

覆土 9層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 7 褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 8 褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 9 褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片343点（深鉢）、石器1点（剥片）、土製品5点（土器片鏟4、土器片円盤1）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。形状から、フラスコ状土坑である。

第395号土坑出土遺物観察表（第106図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|------|----|----------|----|----|-----------------------------------|------|----|
| TP1003 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 15.4 | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口唇部は無文 地文は腹位回転の2段LR単 部縄文を施文 | 覆土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|------|-------------------------------|------|------|
| DP1048 | 土器片円盤 | 2.8 | 2.6 | 0.7 | 4.9 | 縄文土器 | 周縁研磨調整 2方向からの穿孔 孔径0.8cm | 覆土 | PL56 |

第397号土坑（第107図）

位置 調査区東部のE619区で、標高24.4mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第37号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.83m、短径0.58mの楕円形で、長径方向はN-63°-Eである。深さは47cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

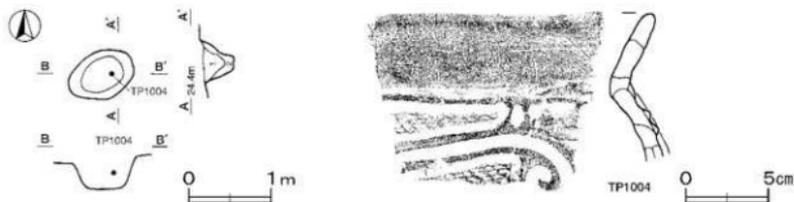
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------------|------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 | 2 褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
|-------|------------------------|------|-----------------------|

遺物出土状況 縄文土器片15点（深鉢）、土製品4点（土器片鏟）が、覆土上層から中層にかけて散在して出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期である。



第107図 第397号土坑・出土遺物実測図

第397号土坑出土遺物観察表（第107図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|--|------|----|
| TP1004 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.1) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部は無文 腹部は隆帯と沈線によって渦巻状・粒状のモチーフを施出 区画内に腹位回転の2段LR単部縄文を施文 | 覆土中層 | |

第416号土坑（第108図）

位置 調査区東部のE 6 c8区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第417・454号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側と西側が第417・454号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.83m、確認できた短径は0.60mで、本来は長径0.95m、短径0.65mほどで、長径方向がN-32°-Eの楕円形と推測できる。深さは45cmで、壁は外傾して立ち上がり、両側にテラス状の段を有している。底面はほぼ平坦である。

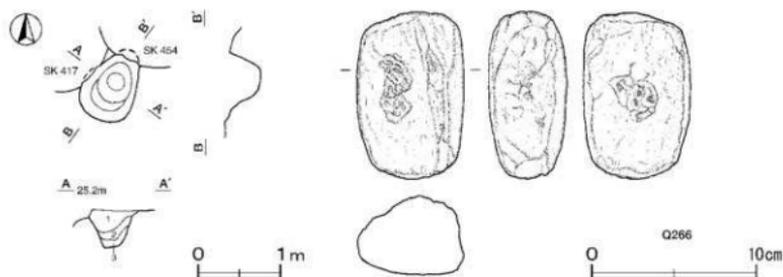
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック中量
2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片9点（深鉢）、石器1点（磨石）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第108図 第416号土坑・出土遺物実測図

第416号土坑出土遺物観察表（第108図）

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|------|-----|-----|-------|-----|-------------------|------|----|
| Q266 | 磨石 | 10.2 | 6.5 | 4.8 | 465.0 | 安山岩 | 全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み | 覆土 | |

第418号土坑（第109図）

位置 調査区南部のE 6 b8区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第453号土坑を掘り込んでいます。北側は調査区域外に延びています。

規模と形状 北側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.92mで、本来は長径1.30mほど、短径1.09mの円形と推測できる。深さは30cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

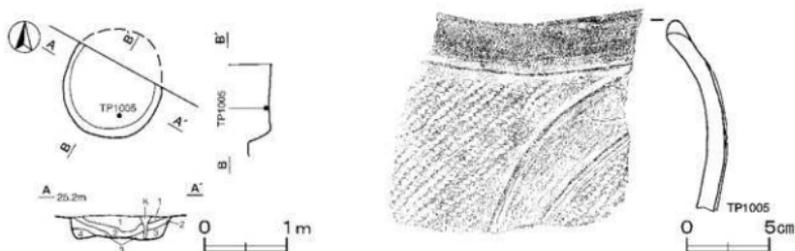
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 暗褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 4 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片29点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。



第109図 第418号土坑・出土遺物実測図

第418号土坑出土遺物観察表(第109図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|--------|----|----------|----|----|--|------|----|
| TP1005 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口唇部は黒文で敷地帯を造らず 胴部は巻縄帯で区画を形成 胎位回転の2段R.L.準部黒文を黒文 敷地帯間は磨り消す | 覆土下層 | |

第437号土坑(第110図)

位置 調査区東部のE 6g8区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.26m, 短径1.19mの円形で、深さは31cmである。壁は南側の一部が内傾しているほかは、外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁下にP1が存在し、深さは20cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

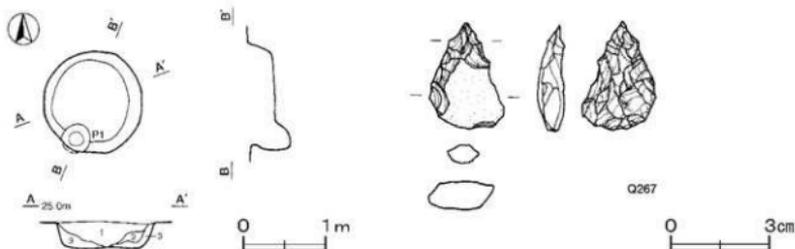
土層解説

- | | | | |
|-------|----------------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化物微量 | 2 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片18点(深鉢), 石器1点(2次加工を有する剥片)が、覆土中から出土している。

その他、混入した土師器片1点, 陶器片1点も出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曽利EⅡ式期と推測できる。



第110図 第437号土坑・出土遺物実測図

第437号土坑出土遺物観察表(第110図)

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|---|------|----|
| Q267 | 加工剥片 | 3.3 | 2.2 | 0.8 | 4.8 | 安山岩 | 背面は尖頭状の先端部に急角度の削痕を施し、大きく破面を残す。主要削痕面は平型な割面底部に連続させる | 覆土 | |

第442号土坑（第111図）

位置 調査区東部のE 6 f 8区で、標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第441・443号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第443号土坑に掘り込まれているため、長径2.36m、確認できた短径は1.29mで、本来は短径1.90mほどで、長径方向がN-28°-Wの楕円形と推測できる。深さは41cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

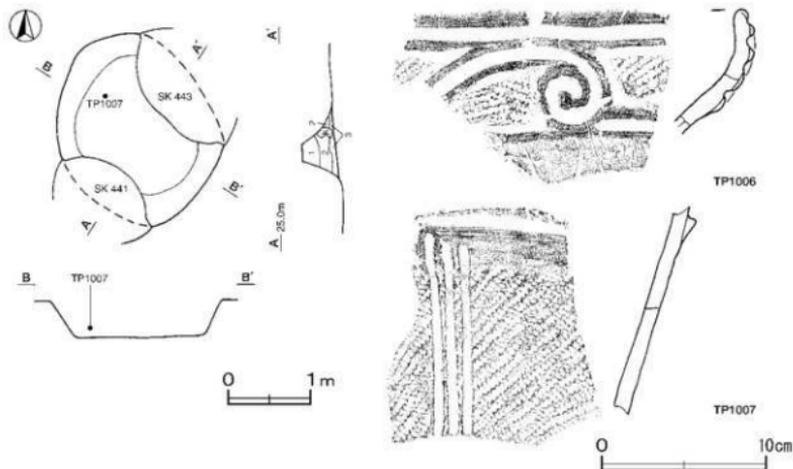
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 3 暗褐色 ローム粒子微量
2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子中量

遺物出土状況 縄文土器片61点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II 式期である。



第111図 第442号土坑・出土遺物実測図

第442号土坑出土遺物観察表（第111図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|--------|----|----------|----|----|---|------|-------------|
| TP1006 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 石英・長石・雲母 | 褐 | 普通 | 洗滌と土層によって露出部のモチーフと三角刺文を形成。区画内に幾何・幾何模様の2段刺し単節線文を施文 | 覆土 | TP1007と同一個体 |
| TP1007 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 石英・長石・雲母 | 赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線を手下。地文は露位回転の2段刺し単節線文を施文 | 覆土中層 | TP1006と同一個体 |

第443号土坑（第112図）

位置 調査区東部のE 6 f 8区で、標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第442号土坑を掘り込んでいます。

規模と形状 長径1.72m、短径1.46mの楕円形で、長径方向はN-27°-Wである。深さは35cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

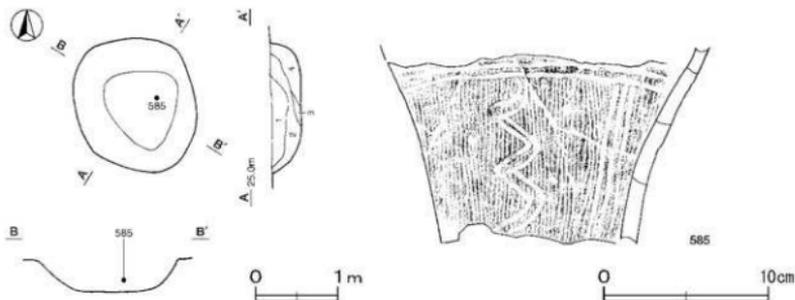
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 3 黒褐色 ロームブロック少量
2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量

遺物出土状況 縄文土器片114点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利E I 式期である。



第112図 第443号土坑・出土遺物実測図

第443号土坑出土遺物観察表（第112図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|--------|----|-------|------|----|---|------|-----|
| 585 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.1) | - | 長石・雲母 | に灰い褐 | 普通 | 2本単位の平行沈線を通らす 2・3本単位の平行・斜行沈線を重下 地文は間欠文を施文 | 覆土下層 | 20% |

第458号土坑（第113図）

位置 調査区東部のE 6 e4区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第41号住居跡と重複しているが、先後関係は不明である。



第113図 第458号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径1.35m, 短径1.09mの楕円形で, 長径方向はN-32°-Eである。深さは25cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 4層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量 | 3 黒褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片211点(深鉢)が, 覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。586は覆土下層から正位の状態出土している。

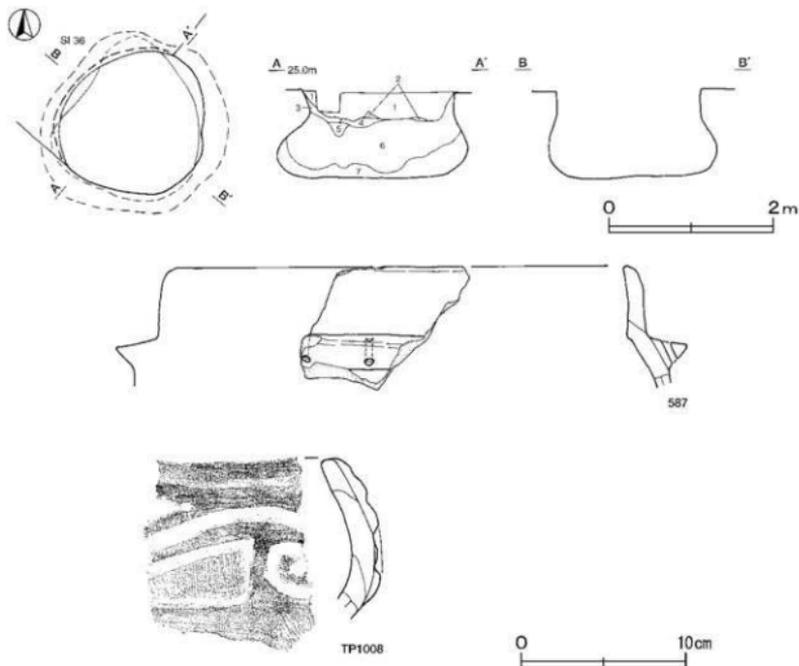
所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第458号土坑出土遺物観察表(第113図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|--------|-------|-------|-------|----|--------------------------|------|-----|
| 586 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [21.7] | [6.9] | 長石・雲母 | にんじょう | 普通 | 地文は縦位・横位・斜位回転の1段L無筋縄文を基文 | 覆土下層 | 40% |

第460号土坑(第114図)

位置 調査区東部のE6f9区で, 標高24.7mの台地縁辺部に位置している。



第114図 第460号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第36号住居に掘り込まれている。

規模と形状 開口部は、北西側が第36号住居に掘り込まれているため、長径1.87m、確認できた短径は1.72mで、本来は短径1.70mほどの円形と推測できる。深さは105cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は、長径2.00m、短径1.86mの不整形円形で、ほぼ平坦である。

覆土 7層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

| | | | |
|---------|------------------|-------|------------------------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 | 5 褐 色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 にぶい褐色 | ロームブロック中量 | 6 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 |
| 3 暗 褐 色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 7 褐 色 | ロームブロック多量 |
| 4 褐 色 | ローム粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片36点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。形状から、フラスコ状土坑である。

第460号土坑出土遺物観察表（第114図）

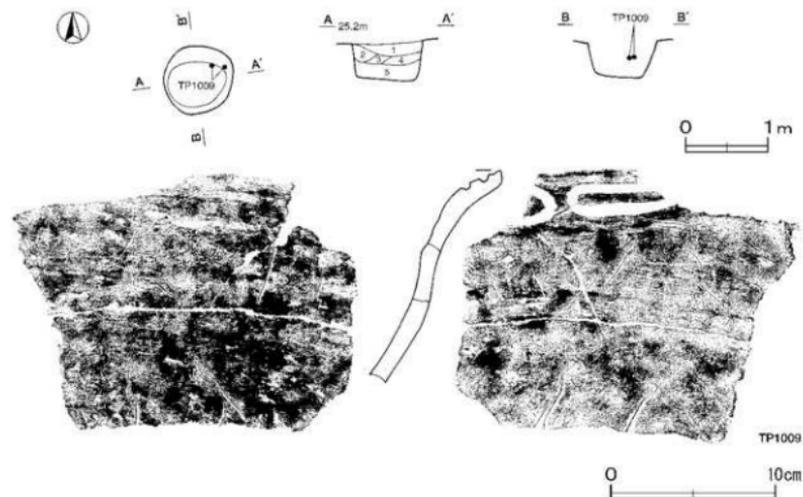
| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|--------|------|-------|----|----------|----|----|---|------|-----|
| 587 | 縄文土器 | 有孔類付土器 | 27.3 | (7.5) | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部は刷文 以下に空垂状の溝を巡らす 丁寧なナデ調整 孔φ0.5cm | 覆土 | 10% |
| TP1008 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 石英・長石・雲母 | 褐 | 普通 | 焼成と次第によって高低状のモチーフと三角形区画 を形成、区画内に2条平行の垂線文を縦位に刷文 | 覆土 | |

第463号土坑（第115図）

位置 調査区南部のE 5 h6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.86m 短径0.81mの円形で 深さは43cmである。壁は直立している。底面はほぼ平坦である。



第115図 第463号土坑・出土遺物実測図

覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|---|-----|-------------------------|---|----|-----------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 5 | 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 | 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | | | |

遺物出土状況 縄文土器片5点(深鉢)が、覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第463号土坑出土遺物観察表(第115図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|--------|----|-------|----|----|----------------------------------|------|----|
| TP1009 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | {12.9} | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 外面無文 口縁部内面に波線で楕円形のモチーフを掘出し華やかな装飾 | 覆土中層 | |

第464号土坑(第116図)

位置 調査区南部のE5g6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第500号土坑を掘り込み、第1号墳に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第1号墳に掘り込まれているため、確認できた長径は1.09m、確認できた短径は1.13mで、本来は長径1.60m、短径1.20mほどで、長径方向がN-15°-Wの楕円形と推測できる。深さは41cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

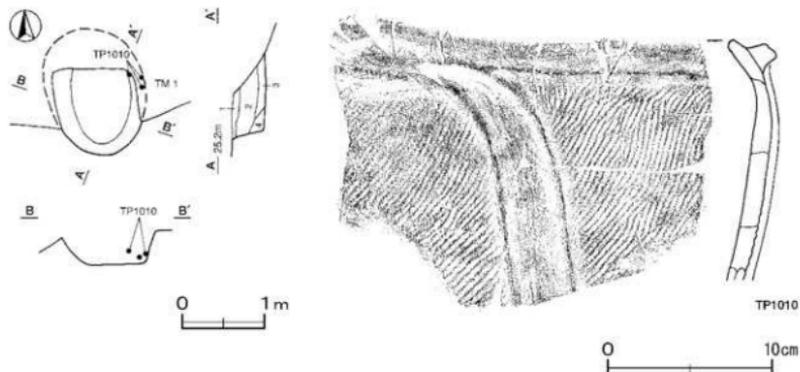
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|---|-----|----------------------|---|----|------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量 | 3 | 褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片26点(深鉢)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ(古)式期である。



第116図 第464号土坑・出土遺物実測図

第464号土坑出土遺物観察表（第116図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|------|----|-------|-----|----|--|------|----|
| TP1010 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 14.6 | - | 石英・長石 | 明黄褐 | 普通 | 口頸部は無文で敷隆帯を隔らす。胴部は敷隆帯の区画を形成。横位回転の2段LR単筋縞文を施文。敷隆部は磨り消す。 | 覆土中層 | |

第483号土坑（第117図）

位置 調査区東部のE 6 f 5区で、標高25.0mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第331号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第331号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.03mで、本来は長径1.40mほど、短径0.96mで、長径方向がN-80°-Wの楕円形と推測できる。深さは34cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

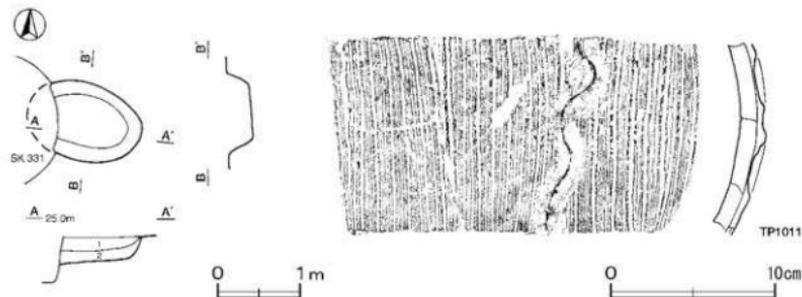
土層解説

1 黒 褐 色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

2 暗 褐 色 ロームブロック中量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片7点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第117図 第483号土坑・出土遺物実測図

第483号土坑出土遺物観察表（第117図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|------|----|-------|----|----|--------------------------------------|------|----|
| TP1011 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 11.5 | - | 石英・長石 | 褐 | 普通 | 掘行する地帯を南下。地文は半筋竹圍による平行波線で、黒縞文を縦位に施す。 | 覆土 | |

第490号土坑（第118図）

位置 調査区東部のE 6 g 7区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第491号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.77m、短径1.42mの不整楕円形で、長径方向はN-8°-Wである。深さは33cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

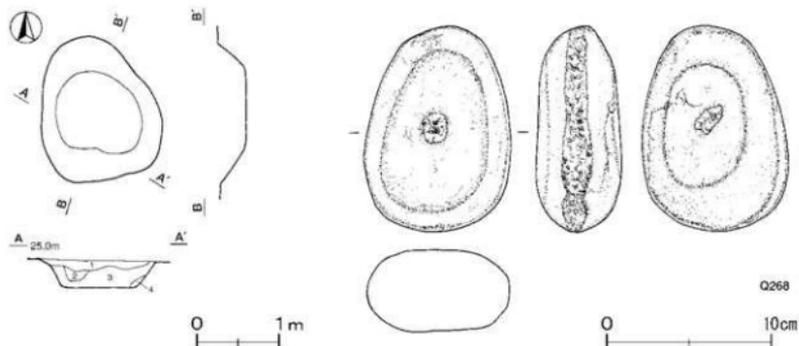
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片 9点(深鉢), 石器 1点(磨石)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は, 土器片の様相から中期後葉の加曾利Ⅱ式期と推測できる。



第118図 第490号土坑・出土遺物実測図

第490号土坑出土遺物観察表(第118図)

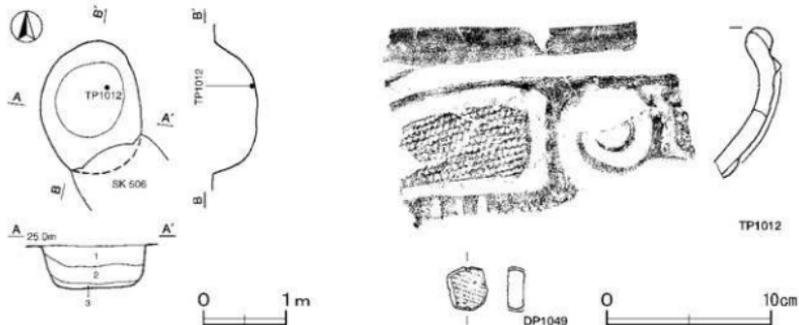
| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|------|-----|-----|-------|------|--------------------|------|----|
| Q268 | 磨石 | 12.7 | 9.0 | 5.3 | 912.2 | 石英斑岩 | 両面研磨 側縁に敲打による痕跡の凹み | 覆土 | |

第505号土坑(第119図)

位置 調査区中央部のE 5 d3区で, 標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第506号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第506号土坑に掘り込まれているため, 確認できた長径は1.32mで, 本来は長径1.60mほど, 短径1.20mで, 長径方向がN-12°-Wの楕円形と推測できる。深さは53cmで, 壁は外傾して立ち上がった。



第119図 第505号土坑・出土遺物実測図

ている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック・炭化物少量 3 褐色 ロームブロック少量
2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片72点（深鉢）、土製品2点（土器片鏝）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。

第505号土坑出土遺物観察表（第119図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|-------|----|-------|----|----|---|------|----|
| TP1012 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 石英・長石 | 黒褐 | 普通 | 残厚と沈埋によって両面状のモチーフと楕円形区画を形成、区画内に自由回転の3段L形垂刻縄文を施す | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|------|------------------------------|------|------|
| DP1049 | 土器片鏝 | 2.7 | 2.5 | 1.0 | 7.8 | 縄文土器 | 主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.5cm | 覆土 | PL56 |

第506号土坑（第120図）

位置 調査区中央部のE 5 d3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第502・503・505号土坑を掘り込み、第504号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.47m、短径1.10mの楕円形で、長径方向はN-29°-Wである。深さは50cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

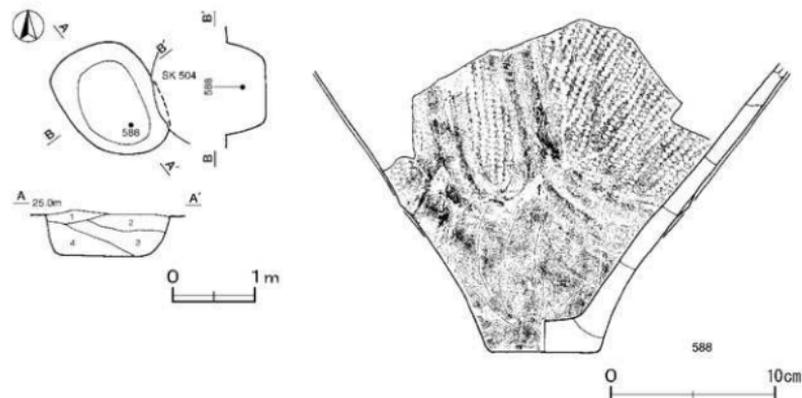
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 4 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片29点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅣ（古）式期である。



第120図 第506号土坑・出土遺物実測図

第506号土坑出土遺物観察表（第120図）

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|--------|-----|----------|------|----|--|------|-----|
| 588 | 縄文土器 | 深鉢 | - | {17.8} | 6.4 | 長石・雲母・雲母 | 明黄褐色 | 普通 | 遺構等によって構内区画を形成。層位部転の2段R.L.単位線文を施文。遺構等間には磨り消す | 覆土中層 | 20% |

第508号土坑（第121図）

位置 調査区東部のE 6 c5区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第519号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.21m、短径1.92mの楕円形で、長径方向はN-45°-Wである。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、中央部の東寄りにP1が存在し、深さは25cmである。

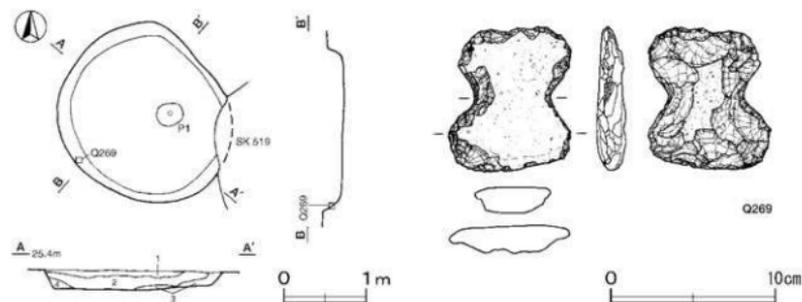
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 3 褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片178点（深鉢）、石器1点（打製石斧）が、覆土中層から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第121図 第508号土坑・出土遺物実測図

第508号土坑出土遺物観察表（第121図）

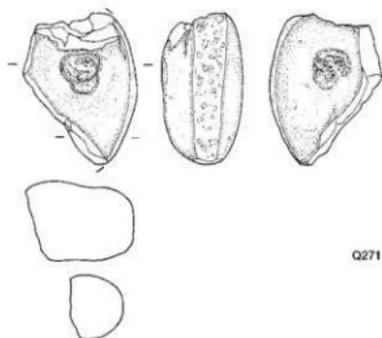
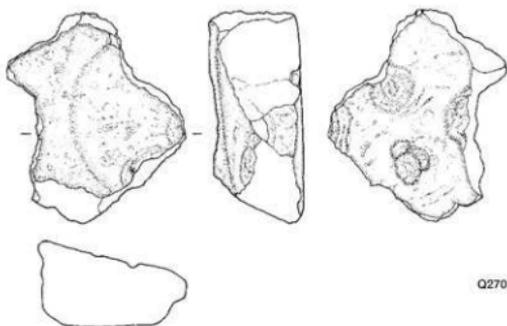
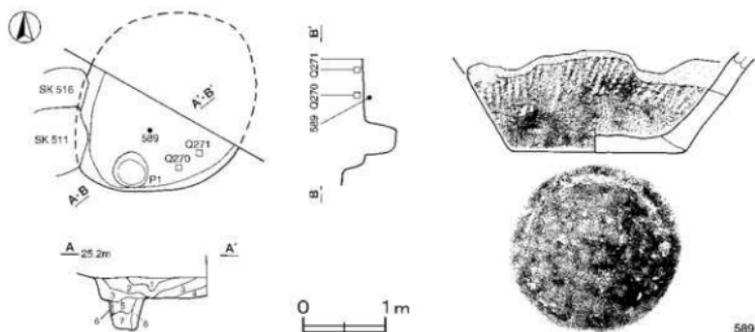
| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|-----|-----|-----|-------|-----|--|------|----|
| Q269 | 打製石斧 | 8.7 | 7.4 | 1.8 | 124.8 | 安山岩 | 素材は扁平な様。正面は両辺調整。裏面は階段状の刻痕を連続させる。両面に稜面を残す。形部を要する。 | 覆土中層 | |

第510号土坑（第122図）

位置 調査区東部のE 6 d9区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第511・516号土坑に掘り込まれている。北側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は1.30m、確認できた短径は1.08mで、本来は長径2.60m、短径2.10mほどで、長径方向がN-47°-Eの楕円形と推測できる。深さは24cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁下にP1が存在し、深さは39cmである。



第122図 第510号土坑・出土遺物実測図

覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第5～7層はP1の覆土である。

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|--------------------------|---|-----|-------------------|
| 1 | 暗褐色 | 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化粒子少量 | 5 | 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 | 褐色 | ローム粒子中量 |
| 3 | 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 7 | 褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 4 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | | | |

遺物出土状況 縄文土器片56点(深鉢), 石器4点(敲石1, 磨石1, 石皿2), 土製品1点(土器片鏝)が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第510号土坑出土遺物観察表(第122図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|----|----|-------|------|------------|----|----|-----------------------|------|-----|
| 589 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | 10.2 | 石英・長石・雲母調整 | 橙 | 普通 | 地文は縦位回転の2段R.L.単筋縄文を施文 | 底面 | 10% |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|--------|-------|-------|---------|-----|---------------------------------|------|----|
| Q270 | 石皿 | (13.0) | (9.0) | (5.7) | (685.4) | 安山岩 | 片面に血状の擦り面 裏面に複数の断面形がV字状の凹み | 覆土下層 | |
| Q271 | 磨石 | (9.3) | (7.0) | (4.9) | (392.5) | 花崗岩 | 両面研磨 周囲の中央部に血状の凹み 側縁に磨打による歯状の凹み | 覆土下層 | |

第530号土坑(第123図)

位置 調査区北部のD5d2区で, 標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号溝に掘り込まれているため, 確認できた長径は1.93mで, 本来の長径は2.80mほど, 短径2.66mの円形と推測できる。深さは32cmで, 壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 東側にP1が存在し, 深さは55cmである。

覆土 5層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

| | | | | | |
|---|-----|--------------------------|---|-----|------------------------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | 4 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 | 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 | 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 | 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | | | |

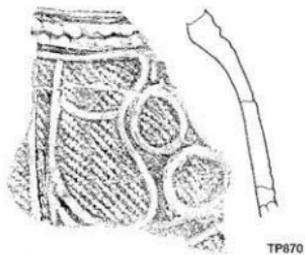
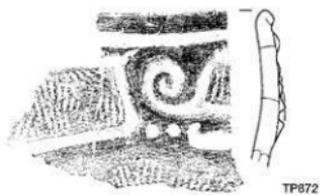
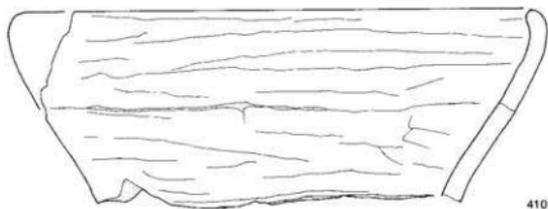
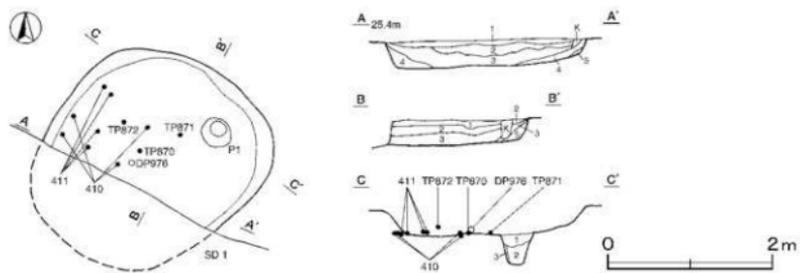
遺物出土状況 縄文土器片345点(深鉢), 石器2点(剥片), 土製品2点(土器片鏝)が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。

第530号土坑出土遺物観察表(第123図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|--------|--------|------|----------|------|----|--|------|------|
| 410 | 縄文土器 | 深鉢 | [31.0] | [11.8] | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 無文 | 底面 | 30% |
| 411 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.5) | 10.5 | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 3本単位の沈線を下下 地文は縦位回転の2段R.L.単筋縄文を施文 | 底面 | 20% |
| Tp870 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.8) | - | 石英・長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2本の沈線上に円形刺突文を連続させる 以下に沈線によって円形・楕円形のモチーフを描出 地文は縦位回転の3段R.L.複筋縄文を施文 | 覆土下層 | PL52 |
| Tp871 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 臼部直下の沈線間にコの字状文を施す 以下に1本の沈線と3本単位の沈線を行う波状の磨り消し帯を施す 地文は無文を施文 | 覆土下層 | |
| Tp872 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 石英・長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 沈線と沈線によって両部球のモチーフと楕円形区画を描出 地文は縦位・斜位回転の2段L.L.単筋縄文を施文 | 覆土下層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|-----|-----|-----|------|------|------------------------------|------|------|
| DP976 | 土器片鏝 | 4.2 | 3.0 | 1.1 | 14.2 | 縄文土器 | 主に両縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm | 覆土下層 | PL56 |



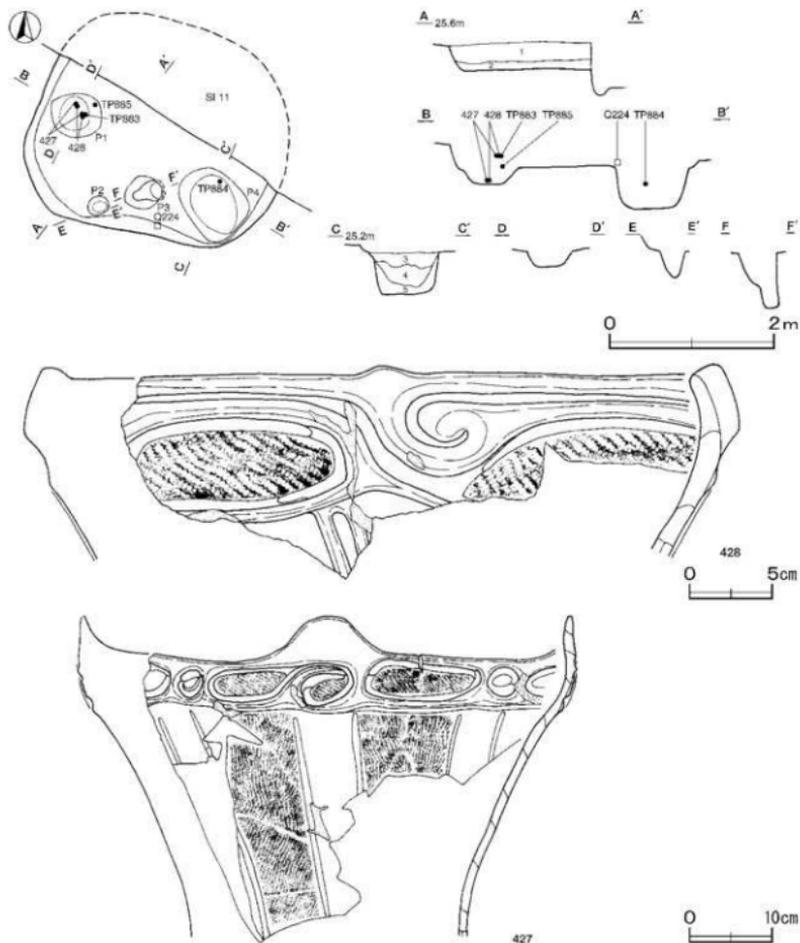
第123图 第530号土坑·出土遗物实测图

第532号土坑（第124・125図）

位置 調査区東部のE 6 b4区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第11号住居に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第11号住居に掘り込まれているため、長径3.10m、確認できた短径は1.75mで、本来は短径2.70mほどで、長径方向がN-2°-Eの楕円形と推測できる。深さは32cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、西壁下、南側、南東壁下、南西壁下にピットが存在し、P1-P4の深さは18-63cmである。



第124図 第532号土坑・出土遺物実測図

覆土 5層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

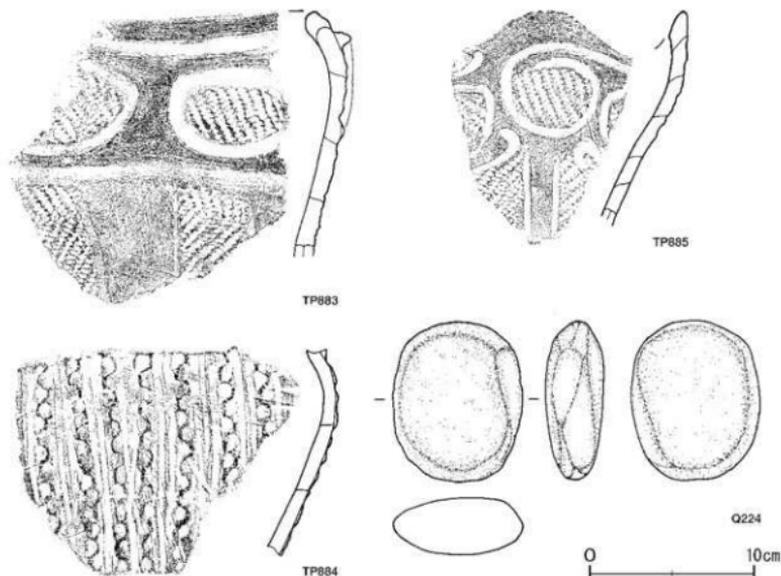
第3～5層はP4の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック少量 | 4 黒褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片418点(深鉢), 石器1点(敲石), 土製品1点(土器片鐘), 礫1点が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。その他, 混入した弥生土器片1点, 土師器片30点も出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。

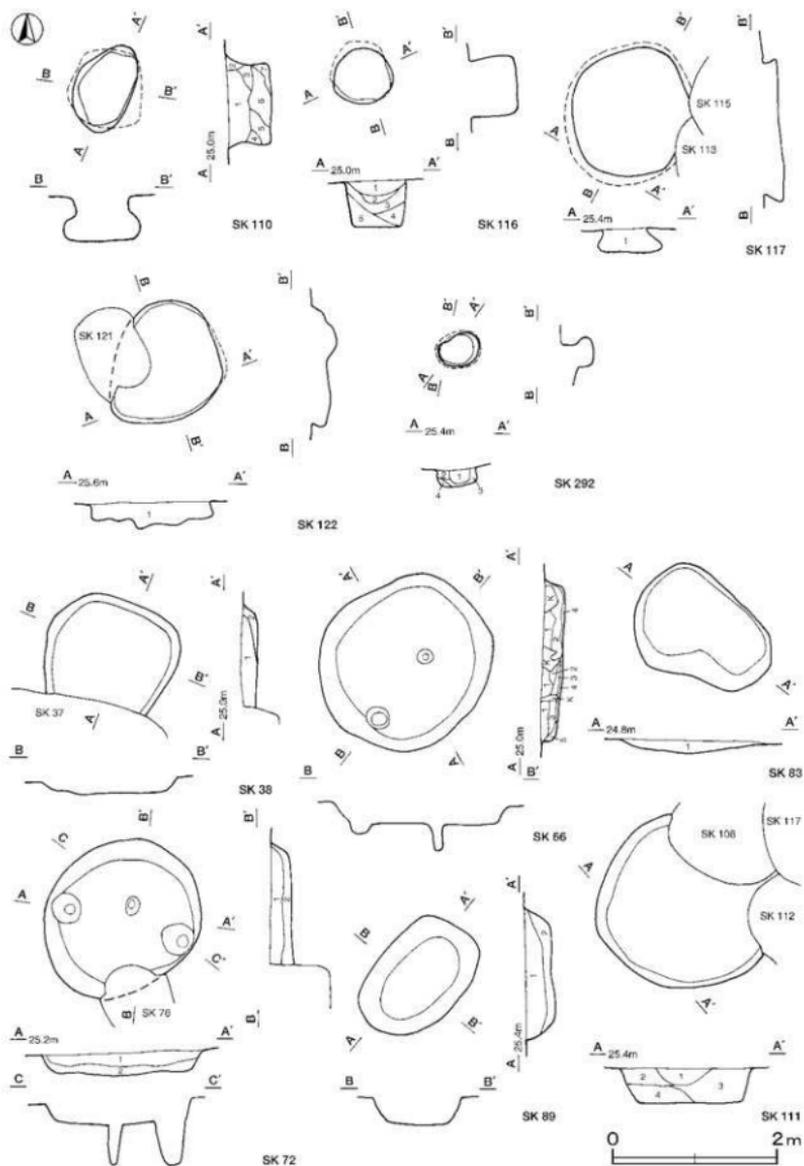


第125図 第532号出土遺物実測図

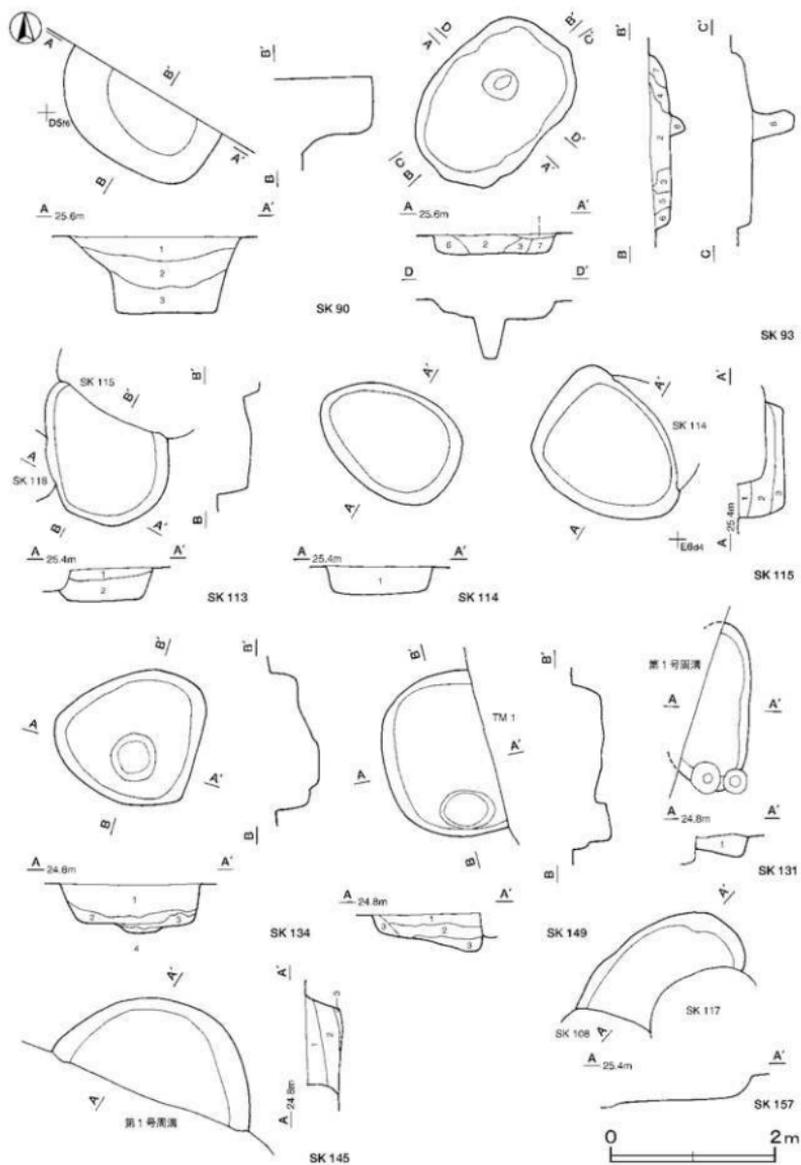
第532号土坑出土遺物観察表(第124・125図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------|------|----|--------------|-----|----|--|--------|-----|
| 427 | 縄文土器 | 深鉢 | 58.9 | 39.3 | - | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部は浅帯と沈線によって円形・楕円形区画を形成。胎土は沈線を中心とし、胎土を垂下。地文は口縁部が褐色、胎土が褐色・斜位部転の2段R L単線縄文を施文 | P 1 覆土 | 20% |
| 428 | 縄文土器 | 深鉢 | 40.8 | 11.8 | - | 石英・長石・雲母・粘り土 | 橙 | 普通 | 浅帯と沈線によって浅帯状のモチーフと楕円形区画を形成。区画内に横位部転の2段R L単線縄文を施文 | P 1 覆土 | 10% |
| TP883 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 15.0 | - | 石英・長石・雲母 | 浅黄橙 | 普通 | 口縁部は浅帯と沈線によって円形・楕円形区画を形成。胎土は沈線を中心とし、胎土を垂下。地文は口縁部が褐色、胎土が褐色・横位部転の2段R L単線縄文を施文 | 覆土中層 | |
| TP884 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.5 | - | 石英・長石・雲母 | 橙 | 普通 | 連続して押捺された浅帯を垂下。地文は棒状工具による平行沈線と単線文を縦位に施す | P 4 覆土 | |
| TP885 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 13.1 | - | 石英・長石 | 橙 | 普通 | 口縁部は沈線によって浅帯状のモチーフと楕円形区画を形成。胎土は沈線を中心とし、胎土を垂下。地文は口縁部が褐色、胎土が褐色・斜位部転の2段R L単線縄文を施文 | 覆土下層 | |

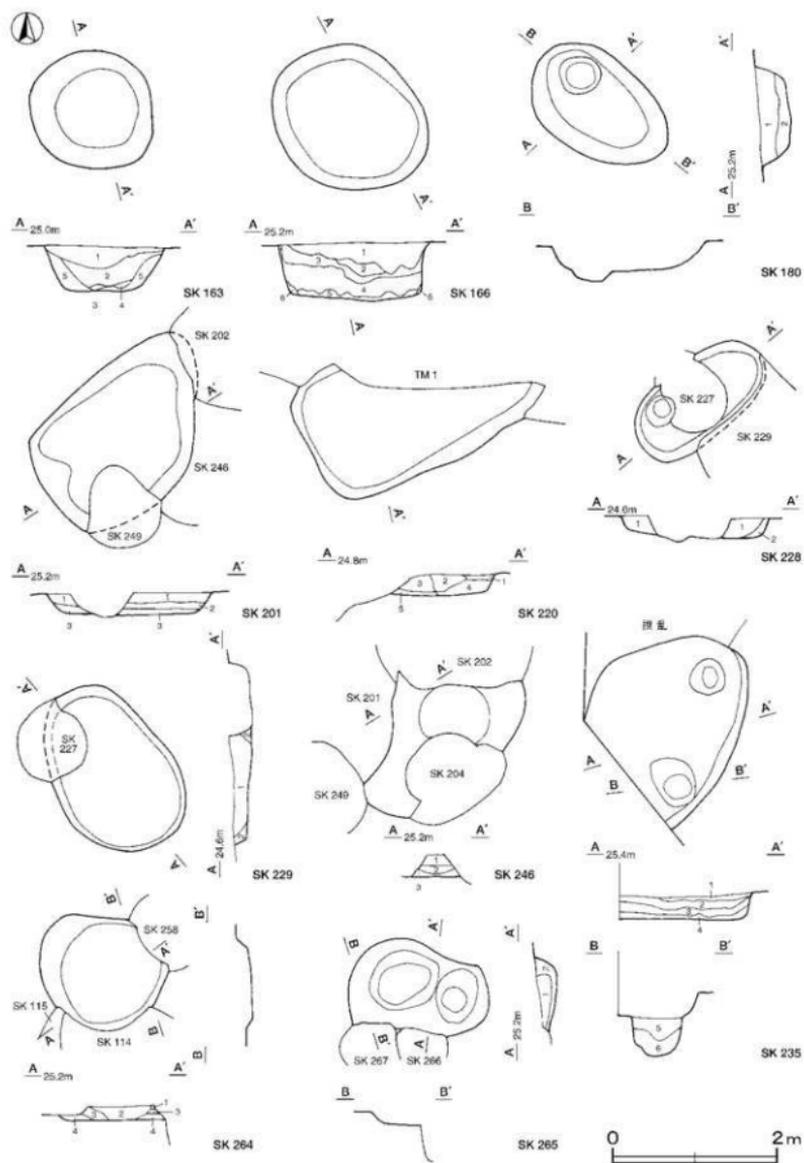
| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----|-----|-----|-----|-------|-----|------|------|------|
| Q224 | 敲石 | 9.7 | 7.9 | 3.6 | 384.5 | 安山岩 | 全面研磨 | 覆土下層 | PL55 |



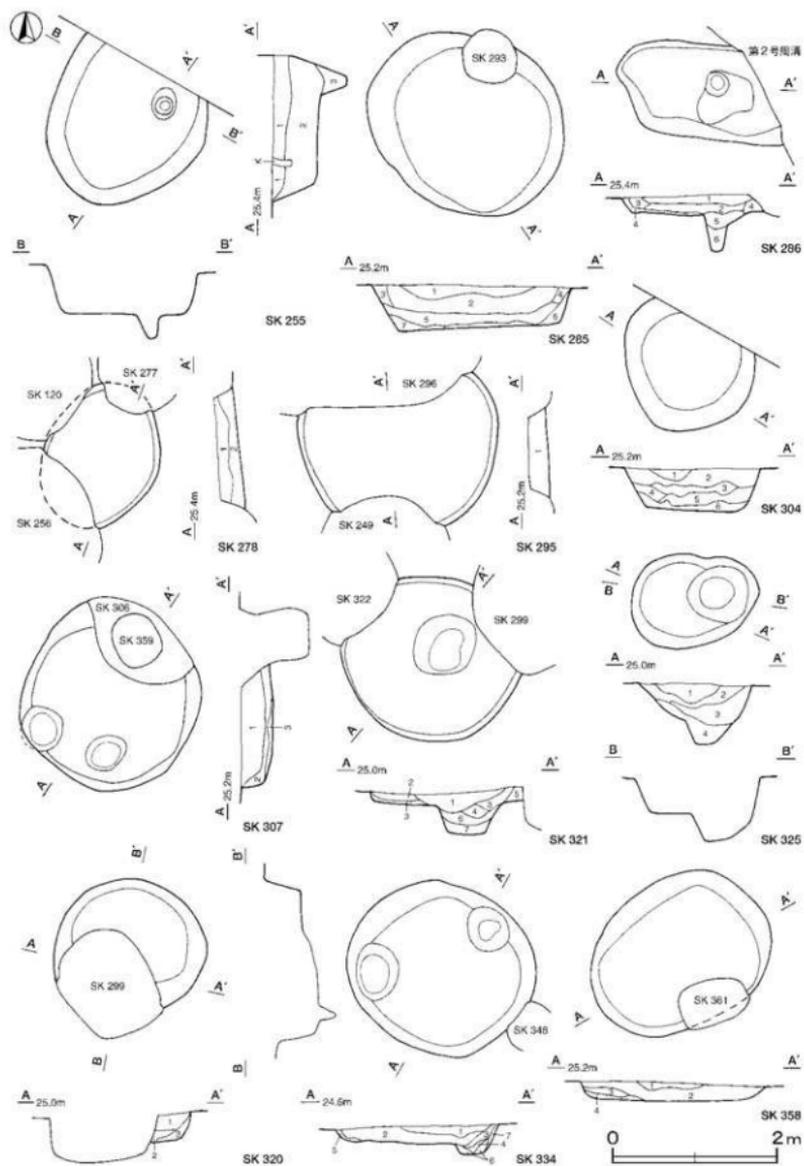
第126图 土坑实测图(1)



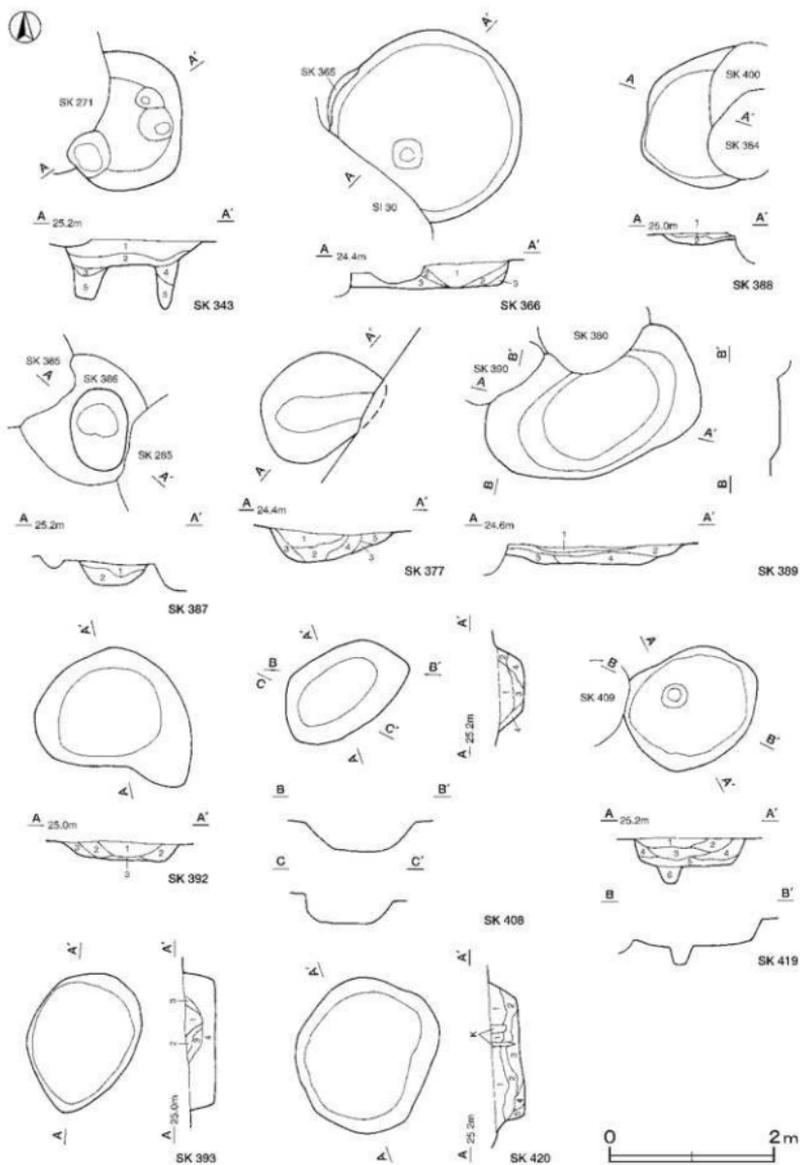
第127图 土坑实测图②



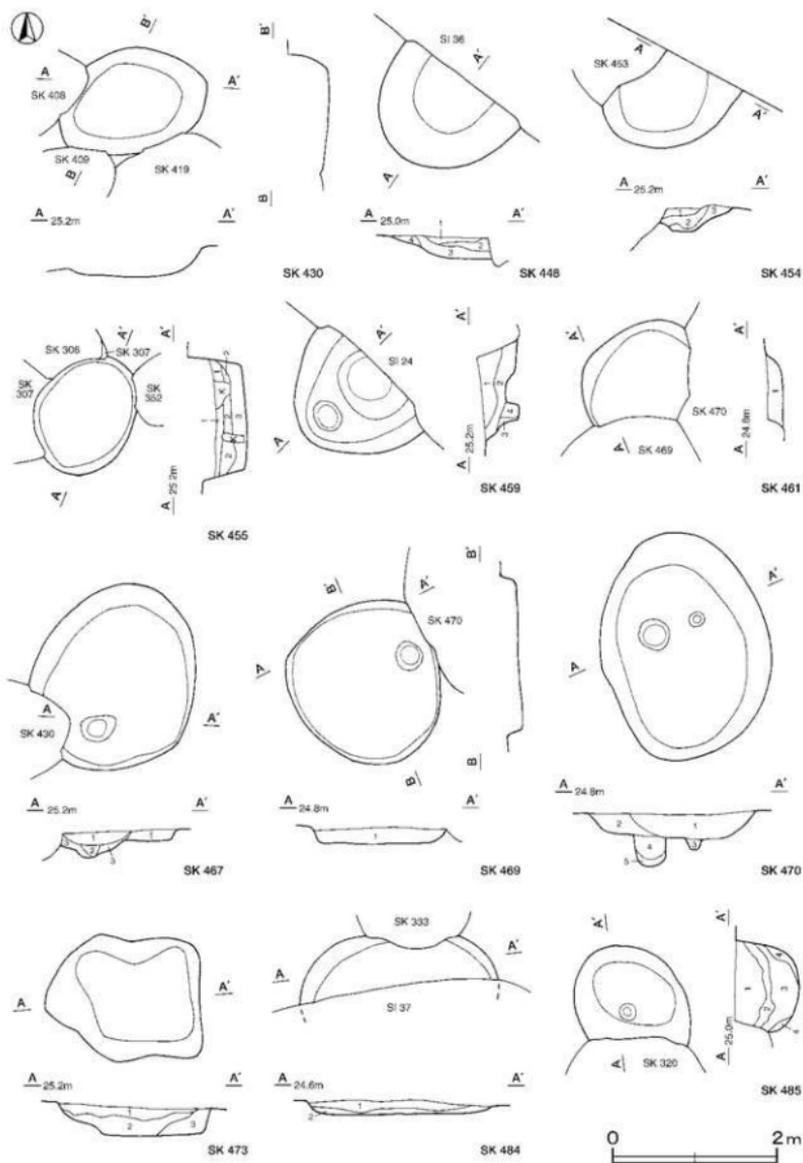
第128图 土坑实测图(3)



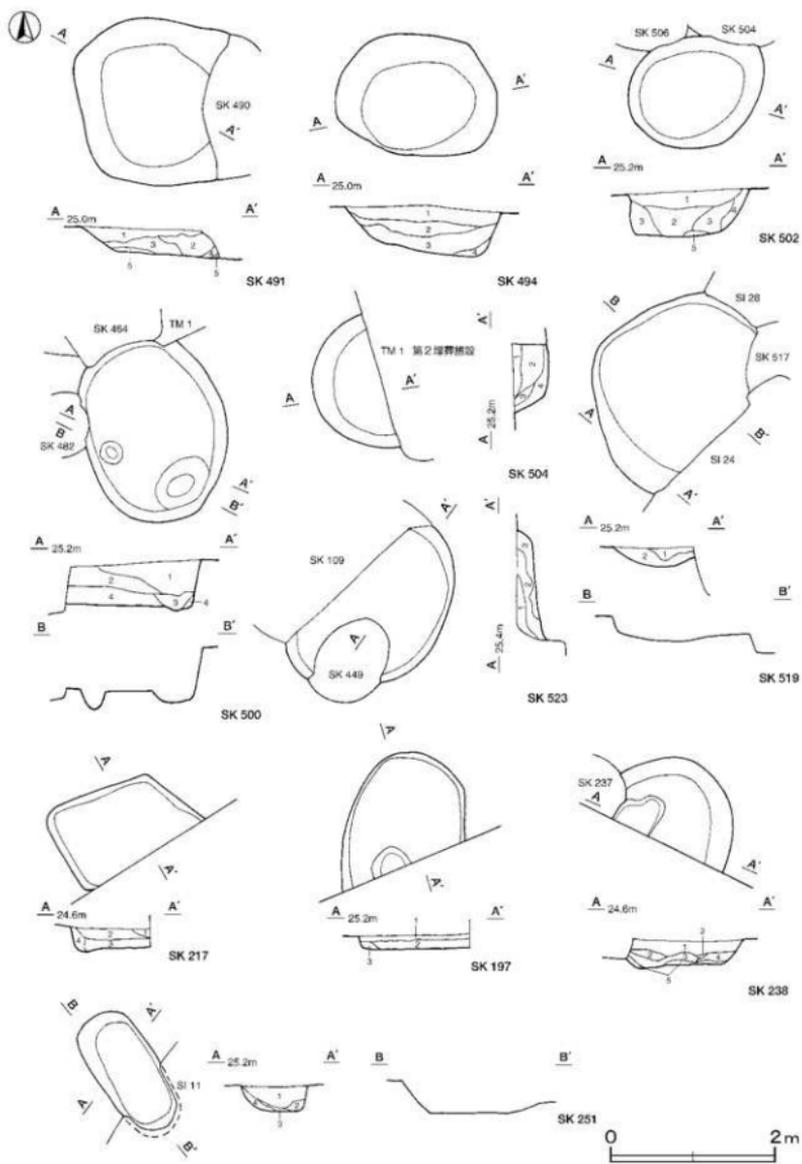
第129图 土坑实测图(4)



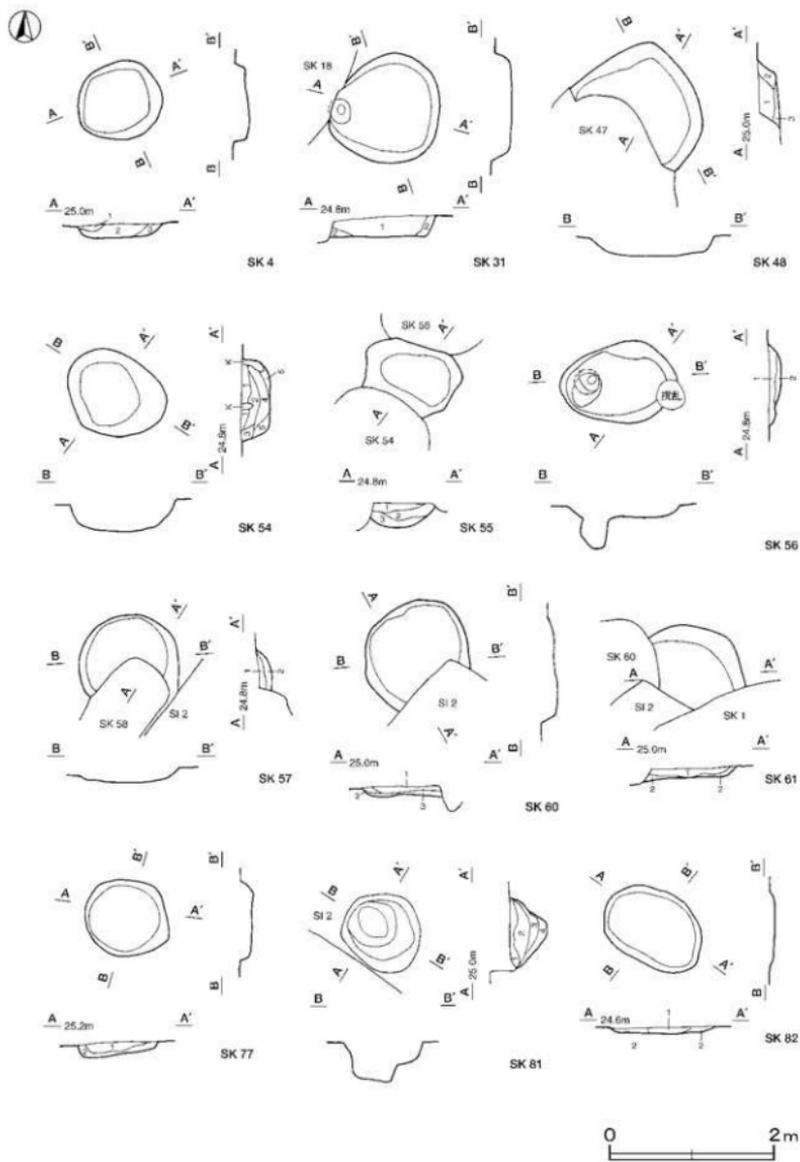
第130图 土坑实测图(5)



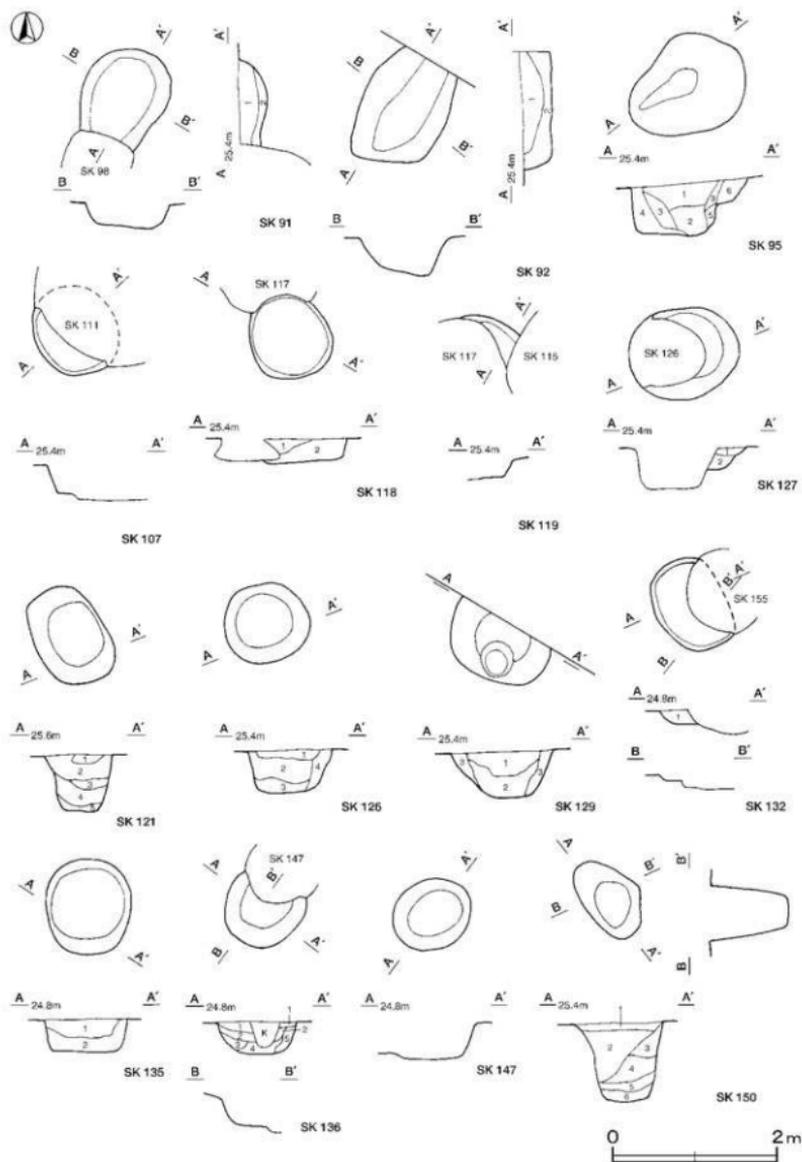
第131图 土坑实测图(6)



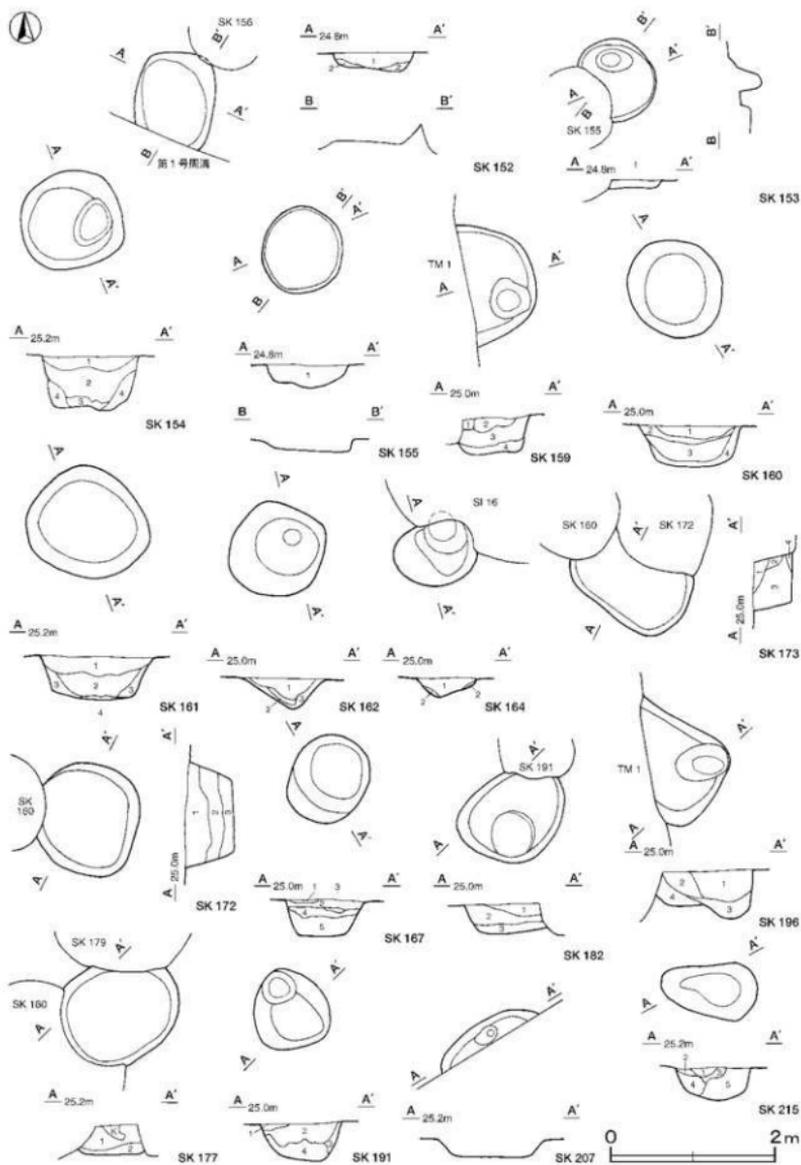
第132图 土坑实测图(7)



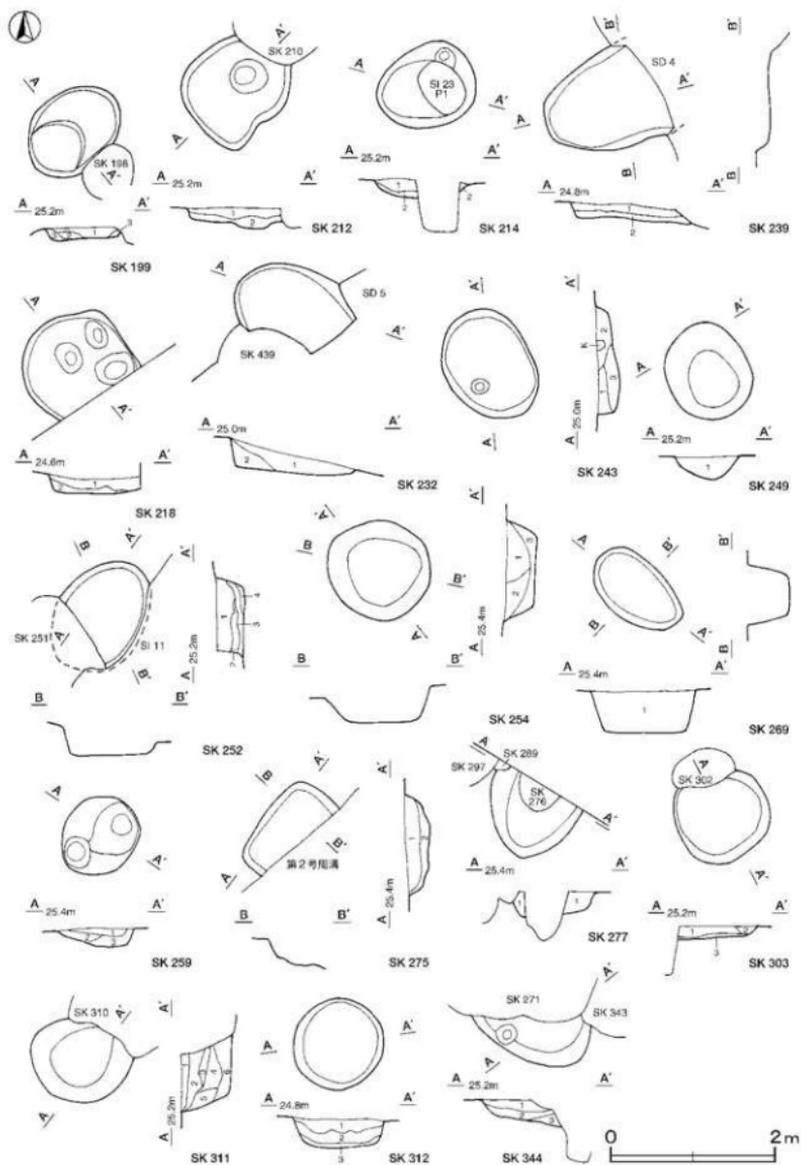
第133图 土坑实测图(8)



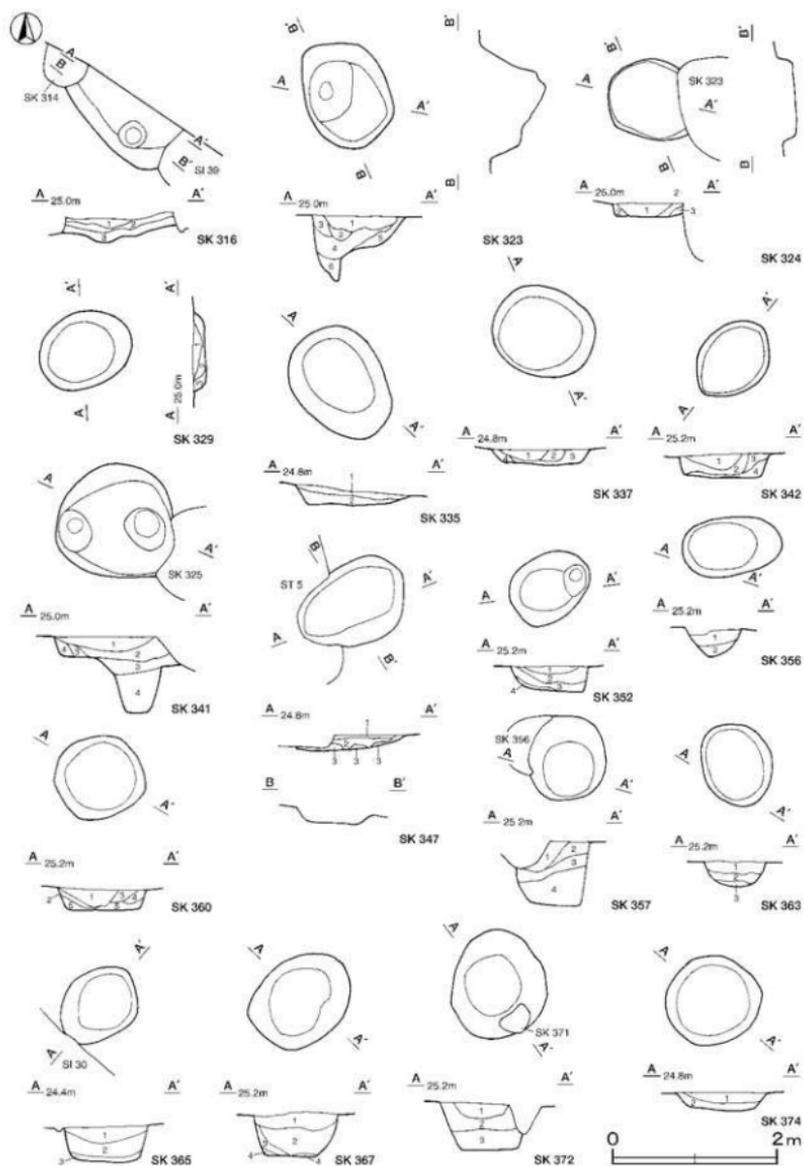
第134图 土坑实测图(9)



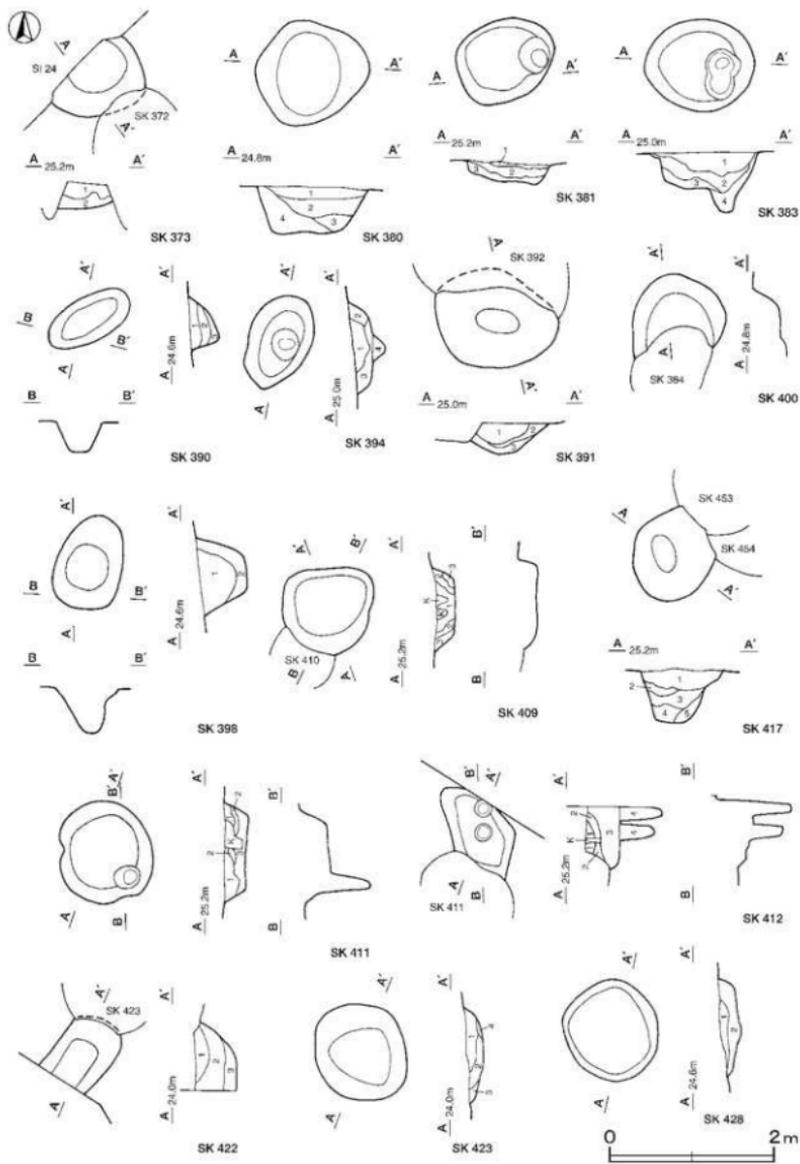
第135图 土坑实测图⑩



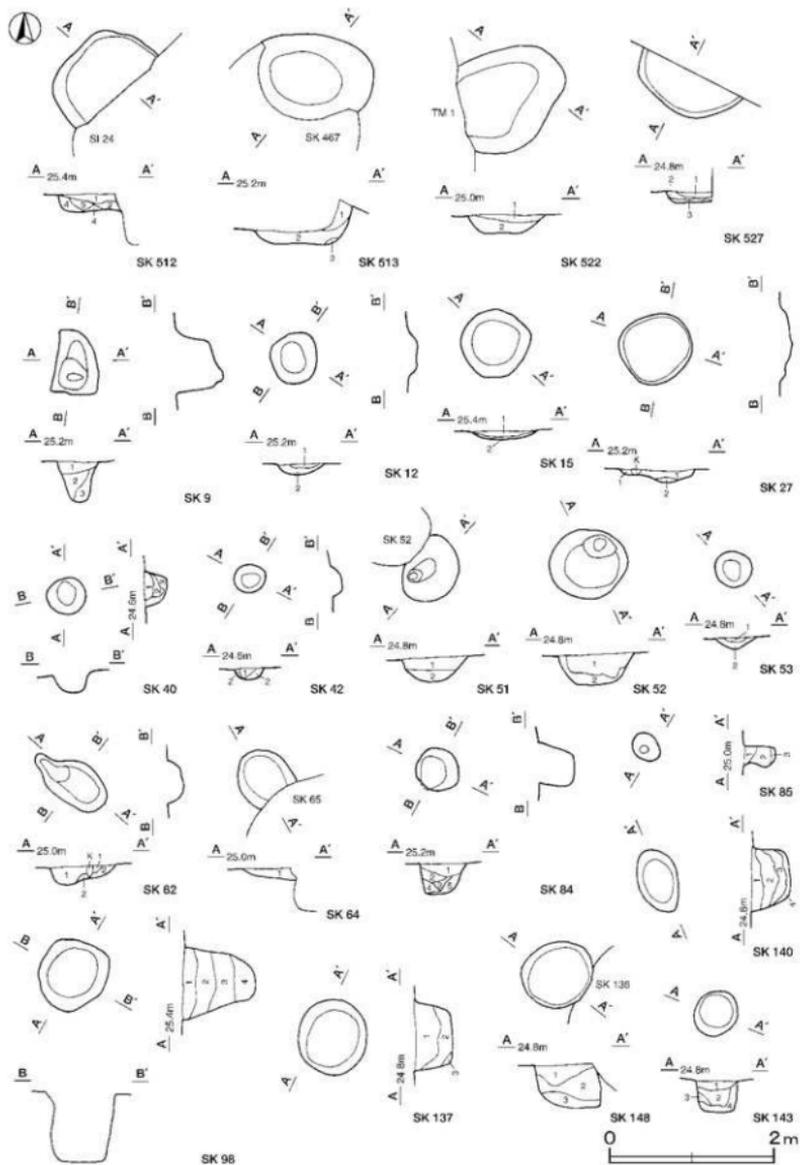
第136图 土坑实测图(1)



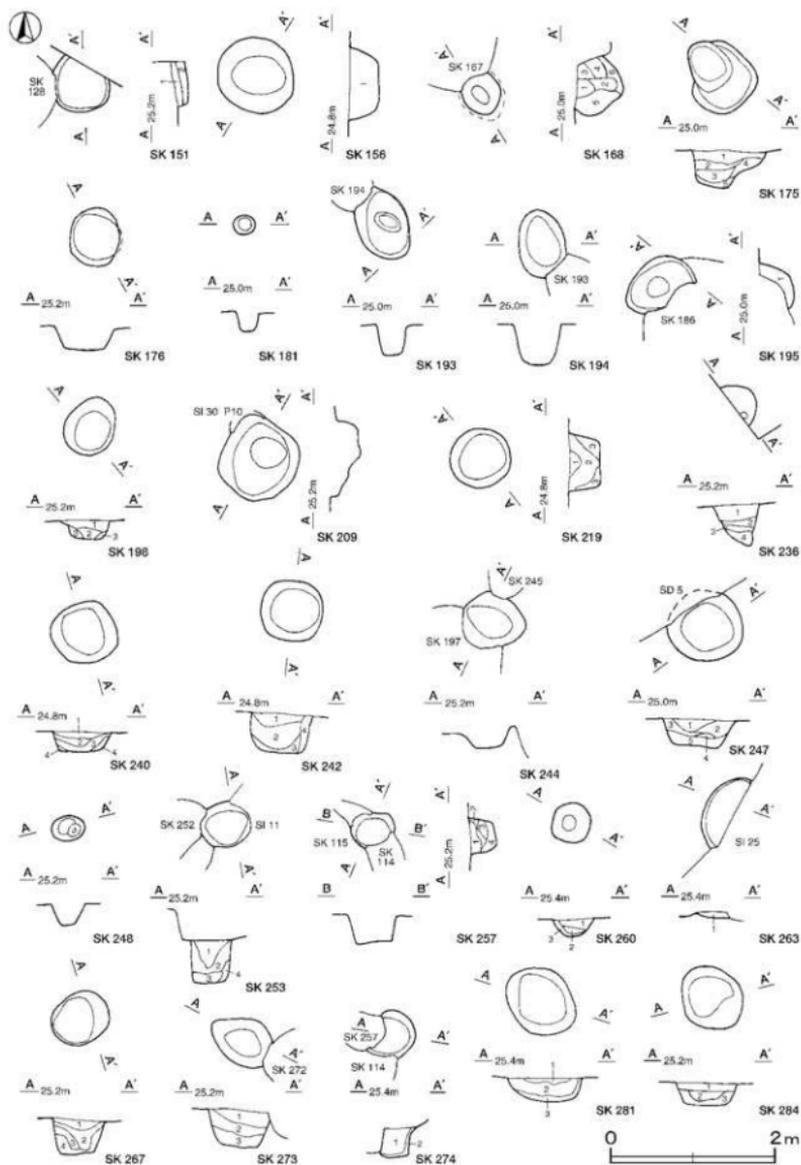
第137图 土坑实测图②



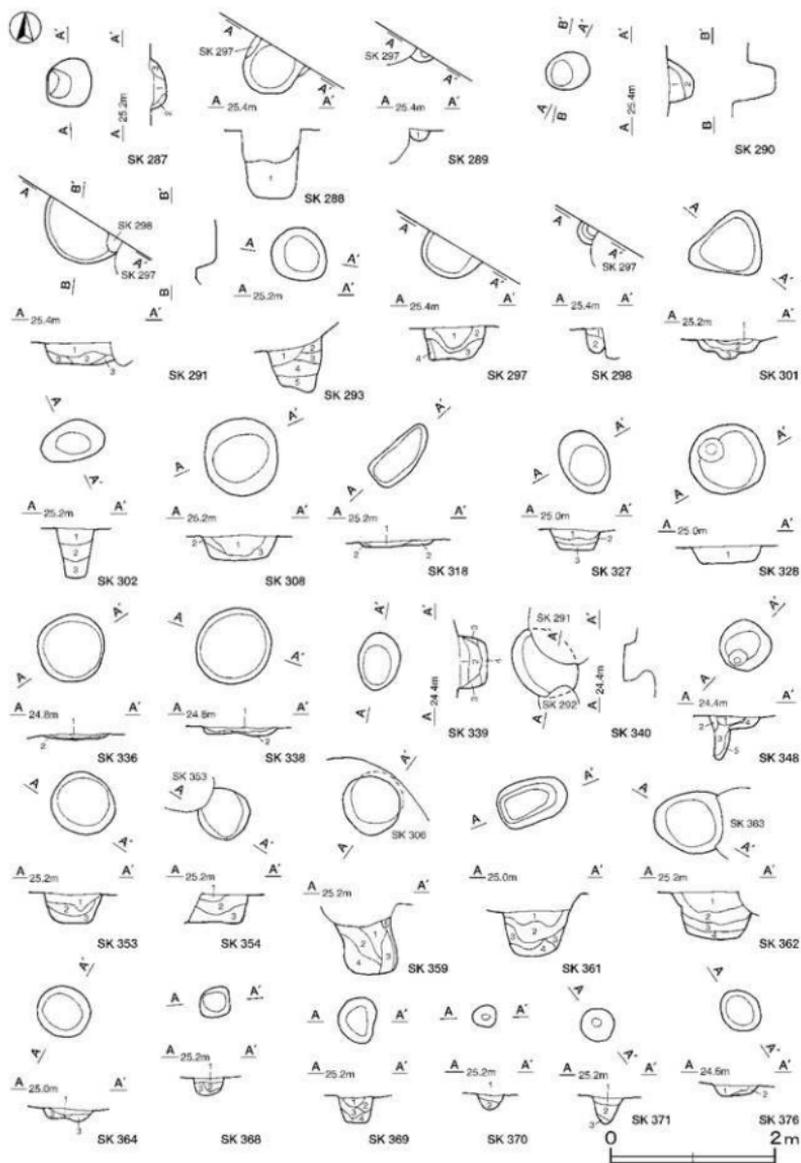
第138图 土坑实测图(3)



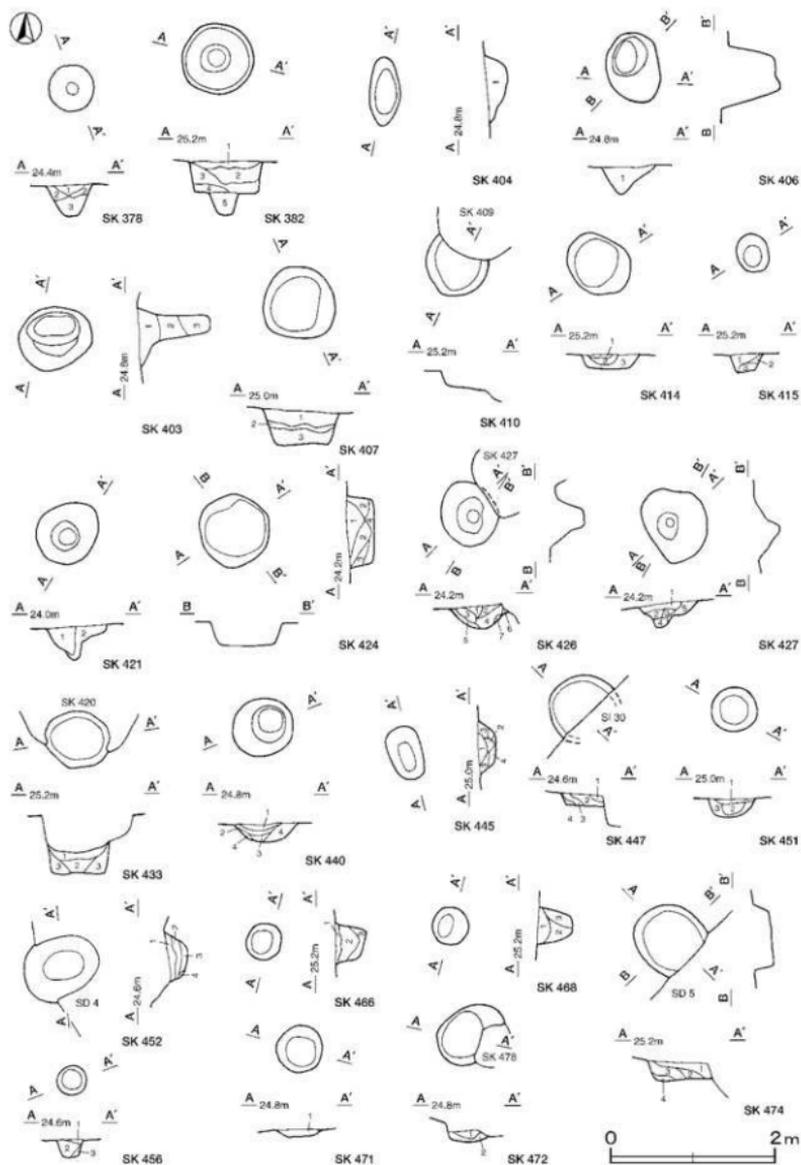
第140图 土坑实测图(15)



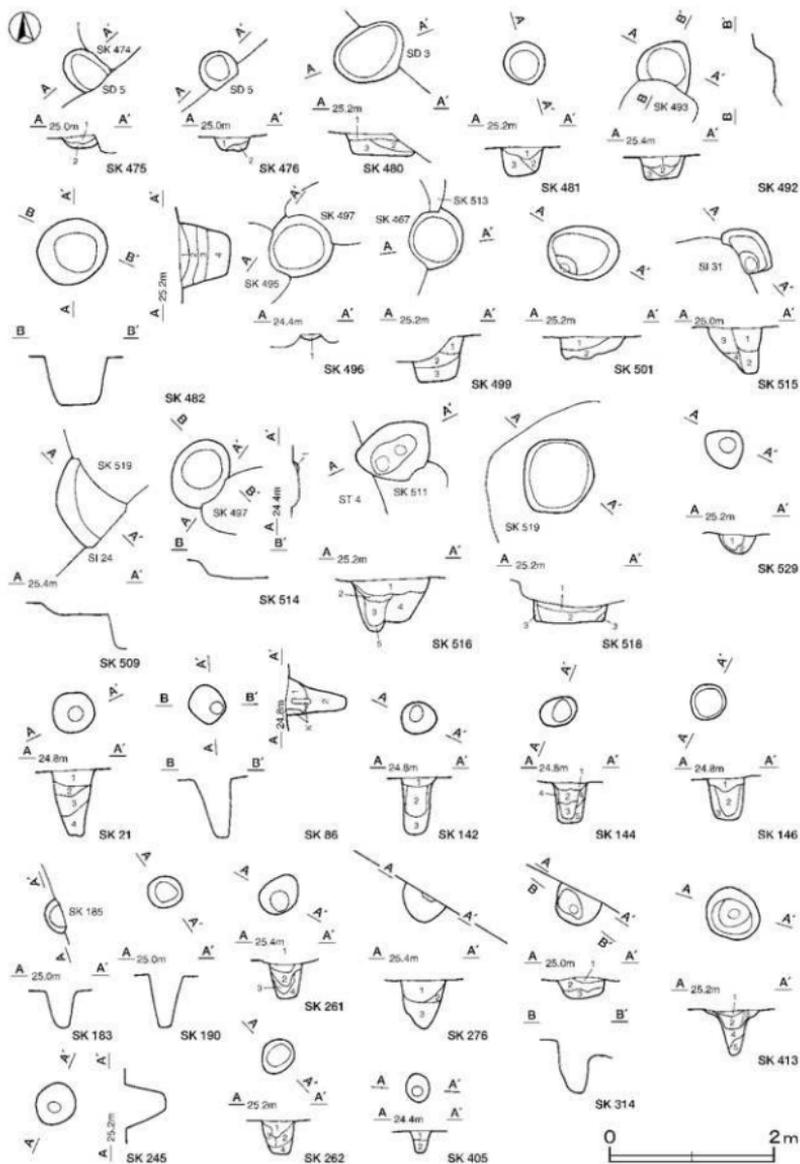
第141图 土坑实测图①6



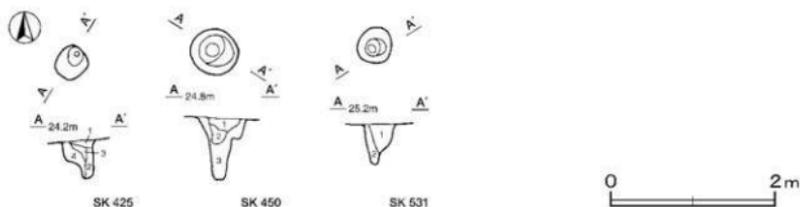
第142图 土坑实测图(17)



第143图 土坑实测图(18)



第144图 土坑实测图(19)



第145図 土坑実測図(20)

第4号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第9号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第12号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第15号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第21号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第27号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第31号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第38号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第40号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第42号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第48号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第51号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第52号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第53号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第54号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量

第55号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第56号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第57号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

第60号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第61号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第62号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第64号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

第66号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック多量

第72号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第77号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第81号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 褐 色 ローム粒子少量

第82号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

第83号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量

第84号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 5 褐 色 ローム粒子中量

第85号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第86号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第89号土坑土層解説

- 1 に灰漬褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第90号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 に灰漬褐色 ロームブロック多量

第91号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 に灰漬褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第92号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子中量

第93号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 焼土ブロック多量, ロームブロック・炭化物少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土ブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 6 褐 色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 8 暗 褐 色 ロームブロック中量

第95号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 4 明 褐 色 ローム粒子中量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 6 に灰漬褐色 ロームブロック少量

第98号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子多量
- 4 暗 褐 色 ローム粒子多量

第110号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 に灰漬褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック多量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック・炭化材中量, 焼土粒子微量
- 7 暗 褐 色 ロームブロック中量

第111号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 4 褐 色 ロームブロック多量

第113号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック少量

第114号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量

第115号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第116号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量

第117号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第118号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第121号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック多量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土ブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック多量, 炭化物少量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック多量

第122号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第126号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第127号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第129号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第131号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量

第132号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第134号土坑土層解説

- 1 に灰黄褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 に灰黄褐色 ローム粒子多量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第135号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第136号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 に灰黄褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第137号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第140号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第142号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第143号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第144号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック中量

第145号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第146号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第148号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 磁器微量

第149号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 に灰黄褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第150号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第151号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第152号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 に灰黄褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第153号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第154号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第155号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第156号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第159号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック多量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第160号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量
- 2 褐色 焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第161号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 明褐色 ローム粒子多量

第162号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量

第163号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 に近い褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 4 黄褐色色 ロームブロック多量
- 5 褐色色 ロームブロック多量, 焼土ブロック中量

第164号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色色 ロームブロック中量

第166号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック少量
- 2 褐色色 ロームブロック中量
- 3 褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 褐色色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量
- 6 に近い褐色色 ロームブロック中量

第167号土壌土層解説

- 1 褐色色 ローム粒子中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色色 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 褐色色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第168号土壌土層解説

- 1 黒褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量
- 3 褐色色 ローム粒子中量
- 4 褐色色 ロームブロック少量
- 5 褐色色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第172号土壌土層解説

- 1 褐色色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色色 ロームブロック中量

第173号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 褐色色 ロームブロック中量

第175号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ローム粒子中量
- 2 褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色色 ロームブロック中量
- 4 褐色色 ローム粒子多量
- 5 に近い褐色色 ロームブロック少量

第177号土壌土層解説

- 1 褐色色 ローム粒子多量
- 2 に近い褐色色 ロームブロック少量

第180号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第182号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第191号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第195号土壌土層解説

- 1 黒褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第196号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗褐色色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第197号土壌土層解説

- 1 黒褐色色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック少量

第198号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色色 ローム粒子中量, 炭化物微量

第199号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量
- 3 褐色色 ローム粒子中量

第201号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 焼土ブロック中量, ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色色 ローム粒子・焼土粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量

第212号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック中量
- 2 明褐色色 ローム粒子中量

第214号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

第215号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ローム粒子中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色色 ローム粒子多量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色色 ロームブロック少量
- 4 褐色色 ローム粒子多量
- 5 暗褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第217号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 褐色色 ロームブロック少量
- 3 褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第218号土壌土層解説

- 1 褐色色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色色 ロームブロック少量

第219号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色色 ロームブロック少量
- 3 明褐色色 ローム粒子多量

第220号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 4 黒褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 5 黒褐色色 ロームブロック多量, ロームブロック微量

第228号土壌土層解説

- 1 暗褐色色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色色 ロームブロック少量

第229号土壌土層解説

- 1 褐色色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第232号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第235号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 灰褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土粒子少量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第236号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック・ローム粒子少量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック・ローム粒子中量, 炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

第238号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 にぶい褐色 ローム粒子中量

第239号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第240号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第242号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第243号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土ブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第246号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量

第247号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 5 黒褐色 焼土ブロック・ロームブロック・炭化材中量

第249号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第251号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第252号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック多量

第253号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第254号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第255号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第257号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第259号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック少量

第260号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第261号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子多量

第262号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子多量

第263号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

第264号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック微量
- 4 明褐色 ロームブロック少量

第265号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第267号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第269号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第273号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第274号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量

第275号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・粘土ブロック・炭化物少量

第276号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第277号土壌土層解説

- 1 灰色黄褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子微量

第278号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第281号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第284号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量

第285号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化材微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量
- 7 褐色 ローム粒子中量

第286号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第287号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第288号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第289号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第290号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第291号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

第292号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第293号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第295号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第297号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第298号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第301号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第302号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第303号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第304号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック多量, 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック中量

第307号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第308号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第311号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第312号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第314号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第316号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量、焼土ブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック中量
- 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

第318号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量
- 黒褐色 ロームブロック中量

第320号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量、炭化物少量
- 暗褐色 ロームブロック中量
- 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第321号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 明褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 褐色 ローム粒子中量

第323号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量
- 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ローム粒子中量
- 明褐色 ローム粒子多量

第324号土坑土層解説

- 褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量
- にぶい褐色 ローム粒子多量
- 褐色 ローム粒子中量

第325号土坑土層解説

- 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

第327号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ローム粒子中量

第328号土坑土層解説

- 褐色 ロームブロック中量

第329号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック中量
- 暗褐色 ロームブロック少量

第334号土坑土層解説

- 極暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック微量
- 極暗褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ロームブロック中量
- 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第335号土坑土層解説

- 黒褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量

第336号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量、炭化物少量、焼土粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第337号土坑土層解説

- 黒褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量
- 暗褐色 ローム粒子中量
- 暗褐色 ロームブロック少量
- 黒褐色 ロームブロック中量

第338号土坑土層解説

- 黒褐色 ロームブロック中量、炭化物少量
- 黒褐色 ロームブロック中量

第339号土坑土層解説

- 極暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック少量

第341号土坑土層解説

- 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック中量
- 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 褐色 ローム粒子中量

第342号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ローム粒子中量

第343号土坑土層解説

- 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 黒褐色 ロームブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック中量
- 褐色 ローム粒子中量

第344号土坑土層解説

- 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 極暗褐色 ロームブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第347号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック微量
- 褐色 ロームブロック少量

第348号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 褐色 ロームブロック少量
- 褐色 ローム粒子中量
- 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 褐色 ローム粒子多量

第352号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量
- 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第353号土坑土層解説

- 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

第354号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第356号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第357号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量
- 4 明褐色 ローム粒子多量

第358号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第359号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第360号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 灰褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第361号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第362号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第363号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック少量

第364号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第365号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第366号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第367号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第368号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第369号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第370号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第371号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第372号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第373号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第374号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第376号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量

第377号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第378号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

第380号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量

第381号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第382号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 褐色 ローム粒子多量

第383号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第387号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第388号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 明褐色 ローム粒子多量

第389号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗赤褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

第390号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第391号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 に近い褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第392号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第393号土壌土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第394号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第398号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第403号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子少量

第404号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第405号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第406号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第407号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 明褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第408号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第409号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第411号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第412号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第413号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第414号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第415号土壌土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量

第417号土壌土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第419号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 灰褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量

第420号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第421号土壌土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

第422号土坑土層解説

- 1 暗 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗 褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量

第423号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量
- 3 明 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第424号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 明 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明 褐色 ロームブロック中量
- 4 にぶい褐色 ローム粒子中量

第425号土坑土層解説

- 1 明 褐色 ロームブロック少量
- 2 灰 褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 明 褐色 ローム粒子多量

第426号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 灰 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 6 明 褐色 ローム粒子多量
- 7 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第427号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 明 褐色 ローム粒子多量

第428号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第431号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第432号土坑土層解説

- 1 明 褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第433号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 明 褐色 ローム粒子中量

第434号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 暗 褐色 ロームブロック中量

第435号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量

第436号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第439号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 6 にぶい褐色 ロームブロック中量
- 7 明 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第440号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第441号土坑土層解説

- 1 黒 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第445号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第447号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 明 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第448号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐色 ロームブロック中量
- 4 暗 褐色 ロームブロック少量

第450号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第451号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第452号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 明 褐色 ローム粒子中量
- 4 にぶい褐色 ロームブロック中量

第453号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第454号土坑土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第455号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第456号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

第459号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量

第461号土坑土層解説

- 1 明褐色 ロームブロック少量

第462号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量
- 6 明褐色 ローム粒子多量

第465号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック・炭化物少量

第466号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量

第467号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

第468号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第469号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第470号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第471号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量

第472号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第473号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第474号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第475号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第476号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第480号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量

第481号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第482号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第484号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第485号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第488号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第489号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 4 灰黄褐色 炭化物少量, ローム粒子微量

第491号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック中量

第492号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第494号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第495号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック少量、炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量

第496号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第498号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第499号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第500号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量
- 4 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量

第501号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第502号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック多量

第503号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第504号土坑土層解説

- 1 黒褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック少量、炭化物微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック・炭化粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

第507号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第512号土坑土層解説

- 1 暗褐色 炭化物中量、ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第513号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

第514号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量

第515号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第516号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第517号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量

第518号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

第519号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

第522号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第523号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量

第527号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第529号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第531号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

表5 繩文時代土坑一覽表

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピタ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|----|--------|---------|--------------|----------------------|------------|----------------|----|----|----|-----------------------|----------------|----|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 2 | D 4 f8 | [円形] | - | (1.58) × (1.62) | 57 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隴・削片 | 中期後葉 | - | 本跡→S11・4 |
| 3 | D 5 d1 | 円形 | - | 1.21 × 1.12 | 13 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 4 | D 5 d1 | 円形 | - | 1.03 × 1.00 | 19 | 外傾 外傾 直立 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 5 | D 5 d1 | 楕円形 | N- 45°- E | 0.95 × 0.82 | 18 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 6 | D 5 c2 | 楕円形 | N- 38°- W | 0.96 × 0.76 | 20 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 前期後葉 | - | - |
| 7 | D 5 c1 | [円形] | - | (0.89) × (1.02) | 38 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 8 | D 5 c2 | 楕円形 | N- 24°- E | 1.89 × 1.57 | 30 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・削片 | 中期後葉 | - | SK 9- 関係不明 |
| 9 | D 5 c2 | 不整形円形 | N- 5°- E | 0.78 × 0.50 | 58 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | - | - | D | SK 8- 関係不明 |
| 10 | D 5 d2 | [楕円形] | N- 70°- W | (1.50) × (1.34) | 24 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器・石皿 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 11 |
| 11 | D 5 d2 | 楕円形 | N- 45°- E | 0.77 × 0.60 | 60 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 10→本跡 |
| 12 | D 5 d2 | 楕円形 | N- 17°- W | 0.60 × 0.55 | 11 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 13 | D 5 c1 | 不整形円形 | - | 0.65 × 0.60 | 37 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 14 | D 5 e4 | 楕円形 | N- 21°- E | 2.10 × 1.60 | 20 | 罐斜 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 15 | D 5 e4 | 円形 | - | 0.85 × 0.80 | 10 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 16 | D 4 e8 | 円形 | - | 2.18 × 2.11 | 28 | 罐斜 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器・削片 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 17 |
| 17 | D 4 e8 | 円形 | - | 2.07 × 2.00 | 35 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 16→本跡→SK 22 |
| 18 | D 4 h8 | 円形 | - | 2.19 × 2.18 | 30 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 31→本跡→SK 20・21 |
| 19 | D 4 i8 | 楕円形 | N- 44°- W | 1.07 × 0.93 | 28 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 31- 関係不明 |
| 20 | D 4 h8 | 円形 | - | 1.12 × 1.04 | 75 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 18→本跡 |
| 21 | D 4 h8 | 円形 | - | 0.53 × 0.51 | 79 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | E | SK 18→本跡 |
| 22 | D 4 e8 | 円形 | - | 1.10 × 0.93 | 83 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | 中期後葉 | - | SK 17→本跡 |
| 23 | D 4 h8 | 円形 | - | 1.23 × 1.18 | 40 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 24 | D 5 e2 | 楕円形 | N- 33°- E | (1.04) × (1.02) | 27 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 30→本跡→SD 1 |
| 25 | D 4 g8 | 楕円形 | N- 64°- E | 1.05 × 0.94 | 19 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 - 後新前期 | - | SK 26, 第2号炉穴→本跡 |
| 26 | D 4 g8 | 楕円形 | N- 6°- E | 0.82 × (0.64) | 13 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 - 後新前期 | - | 本跡→SK 25 |
| 27 | D 5 d2 | 円形 | - | 0.92 × 0.88 | 15 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 28 | D 5 e3 | 楕円形 | N- 50°- W | 1.30 × 1.10 | 22 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隴・土器片内隴・隴 | 中期後葉 | - | SK 29→本跡 |
| 29 | D 5 e3 | 楕円形 | N- 38°- E | 0.85 × (0.47) | 10 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 28 |
| 30 | D 5 e2 | [楕円形] | N- 70°- E | (0.44) × (0.93) | 23 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片内隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 24 |
| 31 | D 4 h9 | 円形 | - | 1.35 × 1.30 | 25 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK 18・19 |
| 32 | D 4 h9 | [円形] | - | (1.20) × (1.08) | 29 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 34, S12 |
| 33 | D 5 h1 | 円形 | - | 1.15 × 1.10 | 10 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 37 | D 4 j9 | 楕円形 | N- 76°- W | 2.46 × 1.56 | 31 | 外傾 | 平坦 | 5 | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 38→本跡 |
| 38 | D 4 j9 | 楕円形 | N- 22°- E | 1.60 × 1.24 | 43 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK 37 |
| 40 | D 4 j7 | 円形 | - | 0.47 × 0.45 | 25 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 41 | D 4 j7 | 楕円形 | N- 4°- W | 0.52 × 0.42 | 21 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 前期中葉 | - | - |
| 42 | D 4 j7 | 円形 | - | 0.38 × 0.35 | 12 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 43 | D 4 h7 | 円形 | - | 0.46 × 0.42 | 32 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 44 | D 4 j9 | 円形 | - | 1.06 × 1.04 | 51 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・石棒・ 削片 | 中期後葉 | - | - |
| 45 | D 4 d8 | 楕円形 | N- 51°- E | 2.60 × 1.88 | 25 | 外傾 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器・土器 片隴 | 中期後葉 | - | - |
| 46 | D 4 e0 | 不整形円形 | N- 63°- W | 2.08 × 1.71 | 65 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 47 | D 4 f0 | 不整形円形 | N- 23°- W | 2.02 × 1.63 | 32 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 48→本跡 |
| 48 | D 4 f0 | 不定形 | N- 34°- W | 1.49 × (0.98) | 24 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 47→本跡 |
| 49 | D 4 e9 | 円形 | - | 1.39 × 1.35 | 34 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・土器 片隴・土器片内隴 | 中期後葉 | - | SK 50→本跡 |
| 50 | D 4 e9 | [円形] | - | 2.07 × (1.90) | 28 | 外傾 | 平坦 | 4 | 自然 | 縄文土器・土器 片隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 49・53 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピッチ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|-------|--------------|----------------------|------------|----------|----|-----|----|-------------------------|------|----|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 51 | D 4 e9 | 楕円形 | N-13°-E | 0.84 × 0.64 | 33 | 罐斜 | 凹状 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK52 |
| 52 | D 4 e9 | 楕円形 | N-67°-W | 0.93 × 0.86 | 37 | 罐斜 | 凹状 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK52→本跡 |
| 53 | D 4 e9 | 円形 | - | 0.44 × 0.44 | 13 | 罐斜 | 凹状 | - | 自然 | - | - | D | SK50→本跡 |
| 54 | D 4 g8 | 楕円形 | N-57°-W | 1.26 × 1.00 | 35 | 罐斜 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | - | C | SK52, S14→本跡 |
| 55 | D 4 g8 | 楕円形 | N-62°-E | 1.16 × (0.69) | 30 | 罐斜 | 凹状 | - | 人為 | 縄文土器 | - | C | S14→本跡→SK54-56 |
| 56 | D 4 g8 | 楕円形 | N-79°-W | 1.36 × 1.00 | 15 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 人為 | 縄文土器 | - | C | SK55, S14→本跡 |
| 57 | D 4 g9 | 円形 | - | 1.25 × 1.20 | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK58 |
| 59 | D 4 h6 | 円形 | - | 1.85 × 1.76 | 30 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・石器・土器 骨角類・土器・土器 | 中期後葉 | - | - |
| 60 | D 4 g9 | [円形] | - | [1.40] × 1.30 | 18 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK61→本跡→S12 |
| 61 | D 4 g0 | 楕円形 | N-40°-W | (1.07) × (1.00) | 17 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK1・60, S12 |
| 62 | D 4 g0 | 不整形円形 | N-50°-W | 0.99 × 0.51 | 22 | 外傾 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 63 | D 4 f9 | 円形 | - | 1.70 × 1.55 | 28 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・磨石 | 中期後葉 | - | 本跡→S14 SK60-開場不明 |
| 64 | D 5 e1 | 楕円形 | N-42°-W | 0.84 × 0.64 | 15 | 罐斜 | 凹状 | - | 人為 | - | - | D | 本跡→SK65 |
| 66 | D 5 f1 | 円形 | - | 2.16 × 1.97 | 25 | 罐斜 | 平坦 | 2 | 人為 | 縄文土器 | - | B | - |
| 67 | D 5 e1 | 楕円形 | N-25°-E | (1.38) × 1.20 | 72 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隼・隼 | 中期後葉 | - | 本跡→SD1 |
| 68 | D 5 f2 | 楕円形 | N-72°-W | 1.25 × 1.07 | 34 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 69 | D 5 g2 | 円形 | - | 2.20 × 2.00 | 18 | 罐斜 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 70 | D 5 f2 | 楕円形 | N-10°-W | 2.01 × 1.63 | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片内服 | 中期後葉 | - | - |
| 72 | D 5 g3 | 楕円形 | N-21°-E | 2.04 × 1.84 | 28 | 罐斜 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK79→本跡→SK76 |
| 73 | D 5 g1 | 不整形円形 | - | 1.85 × 1.73 | 23 | 外傾 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器・磨石 | 中期後葉 | - | - |
| 74 | D 5 g2 | [円形] | - | 1.95 × (1.73) | 34 | 外傾 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→S16 |
| 75 | D 5 g2 | 円形 | - | 2.22 × 2.14 | 24 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・土器 片隼 | 中期後葉 | - | - |
| 76 | D 5 g3 | 楕円形 | N-58°-W | 1.08 × 0.91 | 78 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・石種 ・削片 | 中期後葉 | - | SK72→本跡 |
| 77 | D 5 f3 | 楕円形 | N-65°-W | 1.09 × 0.96 | 16 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 79 | D 5 g3 | 楕円形 | N-2°-E | 1.95 × (1.06) | 28 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・凹石 | 中期後葉 | - | 本跡→SK72・80 |
| 80 | D 5 g3 | 楕円形 | N-3°-W | 1.26 × 0.95 | 38 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK79→本跡 |
| 81 | D 4 i0 | 楕円形 | N-33°-W | 1.04 × 0.90 | 47 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→S12 |
| 82 | D 4 h0 | 楕円形 | N-65°-W | 1.30 × 0.92 | 8 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→S12 |
| 83 | D 4 h9 | 不整形円形 | N-50°-E | 1.76 × 1.13 | 18 | 罐斜 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→S12 |
| 84 | D 5 f3 | 楕円形 | N-60°-W | 0.56 × 0.50 | 43 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 85 | D 4 i0 | 楕円形 | N-45°-W | 0.41 × 0.27 | 64 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 86 | D 4 f0 | 円形 | - | 0.44 × 0.41 | 70 | 外傾 直立 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 87 | D 5 h3 | 楕円形 | N-77°-E | 3.42 × (2.82) | 23 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・石器・ 削片・土器片隼 | 中期後葉 | - | 本跡→S16, 第1号墳 |
| 88 | D 5 f5 | 不整形円形 | N-42°-W | 2.78 × 1.92 | 20 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・土器 片隼 | 中期後葉 | - | - |
| 89 | D 5 e5 | 楕円形 | N-44°-E | 1.61 × 0.84 | 41 | 外傾 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 90 | D 5 f6 | 楕円形 | N-60°-E | 2.10 × (0.95) | 95 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 91 | D 5 f6 | 楕円形 | N-26°-E | [1.35] × 1.02 | 30 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK98 |
| 92 | D 5 e5 | 異状長方形 | N-27°-E | (1.40) × 1.04 | 43 | 罐斜 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 93 | E 5 b0 | 楕円形 | N-46°-E | 2.16 × 1.49 | 23 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 95 | E 6 c1 | 不整形円形 | N-59°-E | 1.50 × 1.17 | 58 | 外傾 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | - | - | B | - |
| 98 | D 5 f6 | 円形 | - | 0.90 × 0.83 | 87 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK81→本跡→SK99 |
| 99 | D 5 f6 | 楕円形 | N-60°-W | 1.29 × (0.84) | 40 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・削片 | 中期後葉 | - | SK98→本跡→SD1 |
| 100 | D 5 f6 | 楕円形 | N-83°-W | (1.90) × (1.30) | 44 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隼 | - | - | SK101→本跡 |
| 101 | D 5 f6 | 楕円形 | N-74°-W | (2.21) × (1.99) | 23 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK100 |
| 106 | E 6 d1 | 楕円形 | N-30°-E | 3.00 × (2.34) | 56 | 罐斜 | 平坦 | 4 | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK104 |
| 107 | E 6 c2 | 楕円形 | N-51°-E | 1.14 × (0.32) | - | 罐斜 | 平坦 | - | - | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK111 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|------|--------------|----------------------|------------|----------|----|----|------|----------------------|---------------|------------------|--|
| | | | | 長径・持径(m) 長軸・短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 108 | E 6 c3 | 楕円形 | N-60°-E | 1.40 × 0.91 | 38 | 内傾 直立 | 平坦 | 1 | 人為 | 縄文土器・石皿・磨 片・土器片・漆 | 中期後葉 | - | SK111-157→本跡→SK117 |
| 110 | E 6 d2 | 楕円形 | N-25°-E | 1.15 × 0.70 | 54 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | A | - |
| 111 | E 6 d3 | 楕円形 | N-56°-E | 2.15 × (1.49) | 42 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK107→本跡→SK108・ 112-117 SK111→本跡→SK113・ 117-118 |
| 112 | E 6 d3 | 楕円形 | N-78°-W | 1.85 × (1.56) | 64 | 外傾 | 平坦 | 1 | 人為 | 縄文土器・磨石・ 磨片 | 中期後葉 →後期前葉 | - | SK112-117→本跡→SK 1151-118 |
| 113 | E 6 c3 | 楕円形 | N-7°-W | 1.82 × 1.34 | 38 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK113-115・257・264・274 →本跡 |
| 114 | E 6 c3 | 楕円形 | N-57°-W | 1.83 × 1.20 | 46 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK113-117・119→本跡→ SK114 |
| 115 | E 6 c3 | 楕円形 | N-51°-W | 2.00 × 1.50 | 56 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | A | 本跡→S16 |
| 116 | D 5 g3 | 円形 | - | 0.73 × 0.69 | 58 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | - | - | A | 本跡→S16 |
| 117 | E 6 c3 | 楕円形 | N-10°-W | 1.54 × 0.94 | 27 | 内傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | A | SK119→本跡→SK113-115 |
| 118 | E 6 d3 | 楕円形 | N-26°-W | 1.05 × 0.95 | 29 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK112-113→本跡→SK117 |
| 119 | E 6 c3 | - | - | - | - | - | - | - | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK115・117-157 | |
| 120 | D 6 j2 | 楕円形 | N-40°-E | 1.40 × 1.13 | 33 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・土器 片・漆 | 中期後葉 | - | SK278-288-290-292→本跡 |
| 121 | D 6 i1 | 楕円形 | N-26°-W | 1.24 × 0.85 | 68 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK122・124→本跡 |
| 122 | D 6 i1 | 円形 | - | 1.43 × 1.40 | 33 | 直立 | 凹凸 | - | 自然 | - | - | A | SK124-125→本跡→SK121 |
| 123 | D 6 j1 | 楕円形 | N-3°-E | 2.54 × 2.17 | 50 | 罐斜 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・磨片・ 土器片・漆 | 中期後葉 | - | SK124・280→本跡 |
| 124 | D 6 i1 | 楕円形 | N-20°-E | 2.70 × (2.35) | 64 | 罐斜 | 皿状 | 2 | 人為 | 縄文土器・磨石・ 土器片・漆 | 中期後葉 | - | 本跡→SK121-123-125-128 |
| 125 | D 6 i1 | 円形 | - | 2.10 × 2.02 | 74 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK124→本跡→SK122- 129-151 |
| 126 | D 6 i2 | 円形 | - | 1.05 × 0.97 | 51 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK127→本跡 |
| 127 | D 6 i2 | 楕円形 | N-73°-E | 1.35 × 1.10 | 27 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK126 |
| 129 | D 6 i2 | 不定形 | N-70°-E | 1.26 × (0.74) | 55 | 外傾 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK125→本跡 |
| 131 | E 4 e0 | 楕円形 | N-0° | 2.07 × (0.63) | 29 | 外傾 | 罐斜 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→S15 第1号周溝跡 |
| 132 | E 4 e0 | 楕円形 | N-26°-W | 1.17 × (0.88) | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK155, S115 |
| 134 | E 4 d0 | 不定形 | N-18°-E | 1.76 × 1.70 | 45 | 外傾 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 135 | E 4 d9 | 楕円形 | N-0° | 1.17 × 1.02 | 41 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 136 | E 4 d9 | 楕円形 | N-24°-E | 1.08 × 0.96 | 37 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK148→本跡→SK147 |
| 137 | E 4 c9 | 楕円形 | N-8°-E | 0.91 × 0.82 | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→第1号周溝跡 |
| 140 | E 5 d1 | 楕円形 | N-23°-W | 0.80 × 0.51 | 50 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 141 | E 4 c0 | 楕円形 | N-73°-E | 0.52 × 0.45 | 42 | 直立 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・模形 石皿 | 中期後葉 | - | - |
| 142 | E 4 b0 | 円形 | - | 0.43 × 0.42 | 69 | 直立 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 143 | E 4 b0 | 楕円形 | N-29°-E | 0.58 × 0.52 | 43 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 144 | E 4 b0 | 楕円形 | N-89°-W | 0.43 × 0.36 | 51 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | E | - |
| 145 | E 4 c0 | 不定形 | N-67°-W | 2.52 × (1.13) | 44 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→第1号周溝跡 |
| 146 | E 4 b0 | 円形 | - | 0.44 × 0.43 | 50 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 147 | E 4 d9 | 楕円形 | N-42°-E | 0.98 × 0.88 | 45 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | SK136→本跡 |
| 148 | E 4 d9 | 円形 | - | 0.86 × 0.86 | 53 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK136 |
| 149 | E 5 c1 | 不定形 | N-14°-W | 2.06 × (1.30) | 50 | 外傾 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→第1号墳 |
| 150 | D 5 i0 | 楕円形 | N-39°-W | 1.07 × 0.66 | 94 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK130→本跡→S113 |
| 151 | D 6 i1 | [円形] | - | 0.68 × (0.64) | 18 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK125→本跡→SK128 |
| 152 | E 4 c9 | 不定形 | N-8°-E | 1.02 × 0.96 | 24 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→第1号周溝跡 |
| 153 | E 5 e1 | [円形] | - | 1.00 × (0.91) | 15 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | - | - | C | 本跡→SK155, S115 |
| 154 | E 5 b3 | 楕円形 | N-68°-E | 1.27 × 1.18 | 67 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 155 | E 5 e1 | 円形 | - | 1.04 × (0.99) | 25 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK132-153→本跡→S115 |
| 156 | E 4 c9 | 円形 | - | 0.97 × 0.91 | 36 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 157 | E 6 c3 | 不定形 | N-50°-E | 1.69 × (0.77) | - | - | - | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK108-117-119 |
| 159 | E 5 e3 | 不定形 | - | 1.44 × (0.82) | 43 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→第1号墳 |
| 160 | E 5 e3 | 楕円形 | N-40°-W | 1.27 × 1.15 | 50 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK172・173→本跡 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|---------|-------|--------------|----------------------|------------|----|----|----|----|--------------|------|----|--------------------------------------|
| | | | | 長径・短径(m) 長軸・短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 161 | E 5 c 2 | 楕円形 | N- 52°- W | 1.45 × 1.30 | 55 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 162 | E 5 c 2 | 不定形 | N- 76°- W | 1.22 × 1.18 | 50 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 163 | E 5 b 2 | 円形 | - | 1.48 × 1.45 | 56 | 緩斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | - |
| 164 | E 5 b 2 | 楕円形 | N- 76°- E | (1.00) × 0.80 | 26 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→S116 |
| 165 | E 4 f 9 | 楕円形 | N- 42°- E | (1.40) × 1.26 | 30 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・石臼・土器片隼 | 中期後葉 | - | 本跡→SF2 |
| 166 | E 5 c 3 | 楕円形 | N- 52°- W | 2.02 × 1.71 | 70 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 167 | E 5 a 2 | 楕円形 | N- 35°- E | 1.12 × 0.94 | 46 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 168 → 本跡 → S116 |
| 168 | E 5 b 2 | 楕円形 | N- 29°- W | 0.52 × 0.48 | 58 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK 167, S116 |
| 172 | E 5 e 3 | 円形 | - | 1.34 × 1.22 | 60 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK 173・503 → 本跡 → SK 160 |
| 173 | E 5 e 3 | 楕円形 | N- 54°- W | (1.56) × (0.99) | 48 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK 160・172 |
| 175 | E 5 e 2 | 不定形 | N- 42°- W | 0.93 × 0.76 | 45 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 176 | E 5 d 3 | 楕円形 | N- 4°- W | 0.72 × 0.63 | 28 | - | - | - | - | - | - | D | - |
| 177 | E 5 d 3 | 楕円形 | N- 53°- W | (1.51) × 1.25 | 35 | - | 平坦 | - | 自然 | - | - | B | 本跡→SK 179・180 |
| 179 | E 5 c 3 | 楕円形 | N- 29°- E | 2.01 × 1.44 | 40 | 緩斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 177 → 本跡 |
| 180 | E 5 d 3 | 楕円形 | N- 50°- W | 1.88 × 1.19 | 37 | 緩斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK 189 → 本跡 |
| 181 | E 5 d 2 | 円形 | - | 0.27 × 0.25 | 20 | - | - | - | - | - | - | D | - |
| 182 | E 5 d 2 | 楕円形 | N- 35°- E | (1.24) × 1.06 | 37 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK 191 |
| 183 | E 5 d 2 | 不定形 | N- 16°- W | 0.42 × (0.22) | 45 | - | - | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 184 | E 5 c 3 | 楕円形 | N- 57°- E | (1.85) × 1.61 | 37 | 緩斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 185 |
| 185 | E 5 d 2 | 不整形方形 | N- 70°- E | (2.64) × 2.44 | 55 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・剥片 | 中期後葉 | - | SK 183・184 → 本跡 → SK 186・195・196・522 |
| 190 | E 5 d 2 | 楕円形 | N- 77°- W | (0.42) × 0.38 | 61 | - | - | - | - | 縄文土器 | - | E | - |
| 191 | E 5 d 2 | 不整形円形 | N- 29°- W | 1.00 × 0.91 | 46 | 緩斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 182 → 本跡 → SK 190 |
| 193 | E 5 d 2 | 楕円形 | N- 21°- W | 0.93 × 0.64 | 36 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK 194 - 関係不明 |
| 194 | E 5 d 2 | 楕円形 | N- 17°- W | 0.84 × 0.57 | 50 | - | - | - | - | 縄文土器 | - | D | SK 193 - 関係不明 |
| 195 | E 5 d 2 | 不整形円形 | N- 59°- E | 0.93 × (0.51) | 44 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK 185 → 本跡 → SK 186 |
| 196 | E 5 d 2 | 楕円形 | N- 60°- W | (1.02) × 1.18 | 42 | - | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 185 → 本跡 → 第1号墳 |
| 197 | F 5 b 4 | 楕円形 | N- 1°- E | (1.49) × 1.42 | 16 | 直立 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK 244 → 本跡 |
| 198 | F 5 a 5 | 楕円形 | N- 36°- E | 0.69 × 0.62 | 22 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK 199 → 本跡 |
| 199 | F 5 a 4 | 楕円形 | N- 44°- E | 1.30 × 0.94 | 15 | 緩斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK 198 |
| 200 | F 5 a 5 | 不整形円形 | N- 51°- E | (1.88) × 1.50 | 42 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 201・531 |
| 201 | F 5 a 5 | 不定形 | N- 49°- E | (2.52) × 1.66 | 40 | 緩斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK 200・246 → 本跡 → SK 202・249 |
| 203 | F 5 a 6 | 楕円形 | N- 74°- E | 0.80 × (0.45) | 58 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 204 |
| 204 | F 5 a 6 | 楕円形 | N- 56°- E | 1.54 × 1.08 | 65 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・凹石 | 中期後葉 | - | SK 203・246 → 本跡 |
| 205 | E 5 j 7 | 楕円形 | N- 59°- E | 1.01 × 0.79 | 30 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器・土器片隼 | 中期後葉 | - | S123 - 関係不明 |
| 207 | E 5 j 7 | 不定形 | N- 59°- E | 1.37 × (0.27) | 45 | - | - | 1 | - | 縄文土器 | - | C | 本跡→S123 |
| 209 | E 5 j 7 | 円形 | - | 0.93 × 0.93 | 36 | 緩斜 | 傾斜 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→S123 |
| 212 | E 5 j 7 | 不定形 | N- 39°- E | (1.35) × 1.18 | 16 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 210 → 本跡 |
| 214 | E 5 j 7 | 楕円形 | N- 50°- E | 1.18 × 0.98 | 21 | 緩斜 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→S123 |
| 215 | E 5 j 7 | 楕円形 | N- 84°- W | 1.18 × 0.62 | 48 | 緩斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→S123 |
| 217 | E 5 i 9 | 不定形 | N- 61°- E | 1.69 × (1.12) | 30 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 218 | E 5 i 9 | 不定形 | N- 52°- E | 1.32 × (1.10) | 18 | 外傾 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 219 | E 5 i 9 | 円形 | - | 0.76 × 0.71 | 40 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 220 | E 5 g 2 | 楕円形 | N- 64°- E | (2.45) × 1.71 | 26 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | B | 本跡→第1号墳 |
| 222 | E 6 i 8 | 楕円形 | N- 58°- E | 1.87 × (1.31) | 16 | 緩斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・土器片隼 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 347, ST 5 |
| 227 | E 5 h 0 | 円形 | - | 1.00 × 0.95 | 27 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・凹石 | 中期 | - | SK 228・229 → 本跡 |
| 228 | E 5 h 0 | 楕円形 | N- 49°- E | (1.83) × (0.98) | 24 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | - | - | B | 本跡→SK 227・229 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|----------|------|--------------|----------------------|------------|----------|----|----|----|------------------|------|----|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 229 | E 5 h0 | 楕円形 | N-33°-W | 2.18 × 1.44 | 26 | 外傾 | 凹状 | - | 人為 | - | - | B | SK228→本跡→SK227 |
| 230 | E 5 i 17 | 楕円形 | N-57°-E | 1.82 × (0.97) | 44 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隼 | 中期後葉 | - | 本跡→S05 |
| 232 | E 5 i 16 | 楕円形 | N-57°-W | 1.90 ㄐ [1.31] | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | B | 本跡→SK439, S05 |
| 233 | E 5 h9 | 円形 | - | 0.64 × 0.60 | 25 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 234 | E 5 h9 | 隅丸方形 | N-21°-W | 0.92 × 0.82 | 40 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・磨石 | 中期後葉 | - | - |
| 235 | F 5 a4 | 不定形 | N-45°-E | 1.99 ㄐ 1.93 | 32 | 外傾 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 236 | F 5 b4 | 不定形 | N-0° | 0.56 × (0.30) | 50 | - | 傾斜 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 237 | E 6 i 11 | 楕円形 | N-23°-E | 0.64 ㄐ 1.09 | 21 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | 後期後葉 | - | SK238→本跡 |
| 238 | E 6 i 11 | 不定形 | N-60°-W | 1.51 × (1.08) | 30 | 罐斜 | 凹凸 | 1 | 人為 | - | - | B | 本跡→SK237 |
| 239 | E 5 i 18 | 楕円形 | N-62°-W | 1.76 ㄐ 1.19 | 25 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→S04 |
| 240 | E 5 g3 | 円形 | - | 0.80 × 0.75 | 25 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 242 | E 5 h3 | 円形 | - | 0.75 × 0.74 | 51 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 243 | E 5 h3 | 楕円形 | N-29°-W | 1.39 × 1.04 | 30 | 外傾 | 傾斜 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 244 | F 5 b5 | 楕円形 | N-48°-W | 0.72 × (0.56) | 36 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK197・245 |
| 245 | F 5 a5 | 円形 | - | 0.52 × 0.48 | 48 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | E | SK244→本跡 |
| 246 | F 5 a6 | 不定形 | N-50°-E | 2.38 × [1.80] | 42 | - | - | - | - | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK201・203 |
| 247 | E 5 i 18 | [円形] | - | 0.90 ㄐ [0.88] | 36 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→S05 |
| 248 | F 5 a4 | 楕円形 | N-79°-E | 0.38 × 0.33 | - | - | - | 1 | - | 縄文土器 | - | D | - |
| 249 | F 5 a5 | 楕円形 | N-29°-W | 1.20 × 0.93 | 28 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK201・246→本跡 |
| 251 | D 6 j 4 | 楕円形 | N-35°-W | [1.68] ㄐ [0.75] | 38 | 罐斜 | 凹状 | - | 自然 | - | - | B | SK252→本跡→S111 |
| 252 | D 6 j 4 | 楕円形 | N-34°-E | 1.50 ㄐ [1.13] | 32 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK253→本跡→SK251 S111 |
| 253 | D 6 j 4 | [円形] | - | [0.70] ㄐ [0.60] | 38 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK252, S111 |
| 254 | D 6 j 3 | 楕円形 | N-37°-W | 1.24 × 1.22 | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | - |
| 255 | D 6 j 3 | 楕円形 | N-58°-W | 1.90 × (1.77) | 56 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 256 | D 6 j 2 | 楕円形 | N-7°-W | 2.12 × 1.85 | 42 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・土器 片隼 | 中期後葉 | - | SK278→本跡 |
| 257 | E 6 c 3 | 楕円形 | N-79°-W | 0.55 ㄐ (0.45) | 41 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK274→本跡 |
| 258 | E 6 e 3 | 円形 | - | 1.02 × 0.98 | 75 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK264・266→本跡 |
| 259 | E 6 c 4 | 楕円形 | N-34°-E | 1.05 × 0.90 | 23 | 外傾 罐斜 | 傾斜 | 1 | 自然 | - | - | C | - |
| 260 | E 6 c 4 | 円形 | - | 0.49 × 0.46 | 21 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 261 | E 6 b 4 | 楕円形 | N-53°-E | 0.50 × 0.40 | 42 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 262 | E 6 b 4 | 楕円形 | N-34°-E | 0.45 × 0.38 | 41 | 外傾 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 263 | E 5 c 7 | 楕円形 | N-25°-E | 0.99 × (0.35) | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→S125, SF3 |
| 264 | E 6 c 3 | 楕円形 | N-56°-W | 1.57 × 1.45 | 45 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK114-115→本跡→SK258 |
| 265 | E 6 c 3 | 不定形 | N-74°-W | 1.71 × (0.98) | 26 | 外傾 | 傾斜 | 2 | 自然 | - | - | B | 本跡→SK266・267 |
| 266 | E 6 e 3 | 楕円形 | N-22°-W | 0.47 ㄐ (0.61) | 16 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK258 |
| 267 | E 6 c 3 | 楕円形 | N-45°-E | 0.77 × 0.64 | 40 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK265→本跡 |
| 269 | E 6 d 4 | 楕円形 | N-49°-W | 1.23 × 0.73 | 53 | - | - | - | - | 縄文土器 | - | C | 本跡→S124 |
| 271 | E 6 d 7 | 楕円形 | N-40°-W | 3.09 × (1.10) | 42 | 罐斜 | 凹凸 | 2 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK343-344→本跡→S124 |
| 273 | E 6 c 4 | 不定形 | N-58°-W | 0.76 ㄐ 0.57 | 46 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK272 |
| 274 | E 6 c 4 | 楕円形 | N-11°-E | 0.58 × (0.36) | 14 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK257 |
| 275 | E 5 c 6 | 不定形 | N-40°-E | 1.23 × (0.58) | 34 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | - | - | C | 本跡→S127, 262号周溝跡 |
| 276 | D 6 i 13 | 不定形 | N-60°-W | 0.55 × (0.32) | 60 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | SK277→本跡 |
| 277 | D 6 i 13 | 不定形 | N-59°-W | 1.16 × (0.90) | 25 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK276・289 |
| 278 | D 6 j 3 | 楕円形 | N-32°-E | [1.82] ㄐ [1.42] | 30 | - | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK120-256-277 |
| 280 | D 6 j 1 | 楕円形 | N-50°-W | [2.24] ㄐ 2.02 | 32 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器・打製 石片・磨石 | 中期後葉 | - | 本跡→SK123 |
| 281 | D 6 j 1 | 円形 | - | 0.84 × 0.77 | 28 | 外傾 | 凹状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|--------|--------------|----------------------|------------|----------|----|----|----|------------------|------|----|------------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 284 | E 6 e7 | 楕円形 | N-25°-W | 0.80 × 0.72 | 27 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 285 | E 6 e7 | 楕円形 | N-43°-W | 2.47 × 2.13 | 55 | 外傾 罐状 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK293 |
| 286 | E 5 d6 | 不定形 | N-88°-W | 1.69 ㄱ 1.15 | 22 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→第2号周溝跡 |
| 287 | E 6 c8 | 楕円形 | N-0° | 0.57 × 0.54 | 19 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 288 | D 6 12 | 楕円形 | N-56°-W | 0.65 ㄱ (0.57) | 82 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK297 SK120-関係不明 |
| 289 | D 6 13 | 不定形 | N-55°-W | 0.24 ㄱ (0.13) | 15 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK277→本跡→SK297 |
| 290 | D 6 j2 | 楕円形 | N-59°-E | 0.55 × 0.47 | 32 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK120-関係不明 |
| 291 | D 6 12 | 楕円形 | N-60°-W | 0.94 ㄱ (0.56) | 25 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK340→本跡→SK298 |
| 292 | D 6 12 | 楕円形 | N-60°-E | 0.50 × 0.43 | 40 | 内傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | A | SK120-340-関係不明 |
| 293 | E 6 e7 | 円形 | - | 0.70 × 0.65 | 55 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK285→本跡 |
| 295 | E 5 e6 | 不定形 | N-73°-W | 2.43 ㄱ (0.91) | 25 | - | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK294-296 |
| 297 | D 6 12 | 不定形 | N-60°-W | 0.72 ㄱ (0.43) | 40 | 外傾 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK288-289-298→本跡 |
| 298 | D 6 12 | 不定形 | N-60°-W | 0.21 ㄱ (0.21) | 28 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK297 |
| 301 | E 6 c7 | 不定形 | N-75°-E | 0.91 × 0.68 | 22 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 302 | E 6 b7 | 楕円形 | N-71°-E | 0.78 × 0.48 | 59 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK303→本跡 |
| 303 | E 6 b7 | 楕円形 | N-69°-E | 1.26 ㄱ [1.10] | 14 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK302 |
| 304 | E 6 b6 | 楕円形 | N-81°-E | 1.72 ㄱ [1.60] | 53 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 305 | E 6 e7 | 楕円形 | N-10°-W | 1.51 × 1.29 | 30 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片鏝 | 中期後葉 | - | - |
| 306 | E 6 c7 | 楕円形 | N-44°-W | 1.72 × 0.98 | 27 | 罐斜 | 皿状 | - | 人為 | 縄文土器・石鏝 磨石・削片 | 中期後葉 | - | SK307-359-455→本跡 |
| 307 | E 6 c7 | 楕円形 | N-38°-E | 2.18 ㄱ 2.11 | 40 | 罐斜 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK455→本跡→SK306-359 |
| 308 | E 6 c8 | 円形 | - | 0.97 × 0.95 | 29 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 311 | E 6 c7 | 楕円形 | N-79°-W | 1.25 ㄱ (1.02) | 60 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK310 |
| 312 | E 6 e0 | 円形 | - | 1.12 × 1.08 | 35 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 314 | E 6 c0 | - | - | 0.58 × (0.40) | 65 | 直立 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | SK316→本跡 |
| 315 | E 6 d8 | 不整形 | - | 2.44 × 2.25 | 30 | 罐斜 | 平坦 | 5 | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→ST4 |
| 316 | E 7 h1 | 不定形 | N-43°-W | 1.35 ㄱ (0.64) | 23 | 外傾 | 凹凸 | 1 | 自然 | - | - | C | 本跡→SK314, S139 |
| 318 | E 6 c1 | 楕円形 | N-48°-E | 0.87 × 0.40 | 8 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→S127 |
| 320 | E 6 b2 | 楕円形 | N-66°-W | 1.78 ㄱ [1.58] | 43 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK485→本跡→SK299 |
| 321 | E 6 g5 | [円形] | - | 2.16 ㄱ 2.05 | 15 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK299・322 |
| 323 | E 6 g5 | 楕円形 | N-31°-W | 1.36 × 1.04 | 73 | 罐斜 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK324→本跡 |
| 324 | E 6 g4 | 楕円形 | N-62°-W | 1.11 ㄱ 0.98 | 20 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | 本跡→SK323 |
| 325 | E 6 g4 | 不整形楕円形 | N-85°-E | 1.57 × 1.14 | 42 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK341→本跡 |
| 327 | E 6 d9 | 楕円形 | N-27°-W | 0.80 × 0.58 | 23 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 328 | E 6 d9 | 円形 | - | 0.92 × 0.91 | 20 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 329 | E 6 d9 | 楕円形 | N-64°-E | 1.16 × 0.93 | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 331 | E 6 g5 | 円形 | - | 1.89 × 1.78 | 60 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・礫 | 中期後葉 | - | SK483→本跡 |
| 334 | E 6 h0 | 円形 | - | 2.20 × 2.10 | 20 | 罐斜 | 凹凸 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK339・348 |
| 335 | E 7 e1 | 楕円形 | N-34°-W | 1.43 × 1.08 | 25 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 336 | E 6 f0 | 円形 | - | 0.83 × 0.81 | 6 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | S135→本跡 |
| 337 | E 6 e9 | 楕円形 | N-74°-W | 1.26 × 1.11 | 18 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | S135→本跡 |
| 338 | E 6 g8 | 円形 | - | 0.95 × 0.91 | 10 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 339 | E 6 h0 | 楕円形 | N-0° | 0.70 × 0.50 | 35 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK334→本跡 |
| 340 | D 6 12 | 楕円形 | N-34°-W | 1.00 ㄱ [0.73] | 10 | - | 平坦 | 1 | 自然 | - | - | D | 本跡→SK291・292 |
| 341 | E 6 g4 | 不定形 | N-80°-W | 1.46 × 1.38 | 44 | 直立 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK325 |
| 342 | E 6 e6 | 不定形 | N-39°-E | 1.10 × 0.84 | 30 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 343 | E 6 d7 | 楕円形 | N-5°-W | 1.67 ㄱ (0.98) | 30 | 罐斜 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK344→本跡→SK271 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|---------|--------------|----------------------|------------|----------|----|----|----|--|------|----|---------------------|
| | | | | 長径×短径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 344 | E 6 d7 | - | - | - | 25 | 罐斜 | 傾斜 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK271・343 |
| 345 | E 6 b6 | 楕円形 | N-68°-W | 2.06×(1.73) | 70 | 直立 | 平坦 | 4 | 自然 | 縄文土器・土器 片隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SI26・28 |
| 346 | E 6 j9 | 楕円形 | N-26°-E | 1.79×1.30 | 31 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・剥片 | 中期後葉 | - | SI37→本跡 |
| 347 | E 6 h8 | 楕円形 | N-58°-E | 1.43×1.00 | 18 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK222→本跡→ST5 |
| 348 | E 6 h0 | 円形 | - | 0.60×0.60 | 16 | 罐斜 | 皿状 | 1 | 自然 | - | - | D | SK334→本跡 |
| 350 | E 6 e4 | 楕円形 | N-57°-E | 3.10×2.50 | 23 | 罐斜 | 平坦 | 3 | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SI41- 関係不明 |
| 352 | E 6 c7 | 楕円形 | N-57°-E | 1.01×0.80 | 32 | 外縁 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK455- 関係不明 |
| 353 | E 6 c7 | 円形 | - | 0.79×0.75 | 35 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK354→本跡 |
| 354 | E 6 c7 | [円形] | - | (0.64)×0.62 | 34 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK353 |
| 356 | E 6 c7 | 楕円形 | N-87°-E | 1.32×0.77 | 15 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | - | - | C | SK357→本跡 |
| 357 | E 6 c7 | 円形 | - | 1.04×0.97 | 80 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK356 |
| 358 | E 6 d9 | 楕円形 | N-60°-E | 2.30×(0.80) | 23 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK361 |
| 359 | E 6 c7 | 楕円形 | N-47°-W | 0.75×0.65 | 83 | 外縁 内縁 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK307→本跡→SK306 |
| 360 | E 6 d8 | 円形 | - | 1.05×1.01 | 27 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK527- 関係不明 |
| 361 | E 6 d9 | 楕円形 | N-69°-E | 0.92×0.55 | 55 | 外縁 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK358→本跡 |
| 362 | E 6 c7 | 楕円形 | N-84°-W | 1.70×0.72 | 58 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK363 |
| 363 | E 6 c7 | 楕円形 | N-15°-W | 1.00×0.83 | 30 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK362→本跡 |
| 364 | E 5 f9 | 円形 | - | 0.66×0.62 | 15 | 罐斜 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 365 | E 7 f2 | 楕円形 | N-42°-E | 1.09×0.85 | 66 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK366→本跡 |
| 366 | E 7 f2 | [円形] | - | [2.32]×[2.28] | 30 | 外縁 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK365 |
| 367 | E 6 e6 | 楕円形 | N-41°-E | 1.30×1.10 | 50 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 368 | E 6 e7 | 円形 | - | 0.37×0.37 | 21 | 外縁 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 369 | E 6 e6 | 楕円形 | N-11°-E | 0.57×0.44 | 33 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 370 | E 6 e6 | 楕円形 | N-71°-E | 0.30×0.27 | 20 | 外縁 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 371 | E 6 e6 | 円形 | - | 0.38×0.38 | 34 | 外縁 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | SK372→本跡 |
| 372 | E 6 e6 | 楕円形 | N-39°-W | 1.21×1.21 | 58 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK373→本跡→SK371 |
| 373 | E 6 e6 | 不定形 | N-41°-E | 1.18×[0.68] | 33 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK372, SI24 |
| 374 | E 6 e8 | 円形 | - | 1.10×1.10 | 23 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SI36 |
| 376 | E 6 g0 | 楕円形 | N-41°-W | 0.54×0.48 | 15 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 377 | E 7 g2 | [不整形円形] | N-86°-E | (1.31)×1.29 | 40 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 378 | E 7 f3 | 円形 | - | 0.56×0.56 | 40 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 380 | E 6 i9 | 円形 | - | 1.35×1.27 | 55 | 外縁 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK389, SI37→本跡 |
| 381 | E 6 f5 | 楕円形 | N-74°-E | 1.20×1.00 | 25 | 外縁 | 傾斜 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK201・246→本跡 |
| 382 | E 6 e6 | 円形 | - | 0.86×0.85 | 38 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 383 | E 6 f7 | 楕円形 | N-90°-E | 1.34×1.12 | 44 | 外縁 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 386 | E 6 e6 | [円形] | - | (1.08)×1.50 | 33 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK387→本跡→SK285-385 |
| 387 | E 6 e6 | 楕円形 | N-4°-E | 1.01×0.72 | 53 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK386 |
| 388 | E 6 d6 | - | - | 1.56×(0.92) | 14 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK384・400 |
| 389 | E 6 i9 | 楕円形 | N-67°-E | 2.68×1.63 | 24 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SI37→本跡→SK380-390 |
| 390 | E 6 i8 | 楕円形 | N-55°-E | 1.10×0.54 | 36 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK389→本跡 |
| 391 | E 5 h4 | 不定形 | N-73°-W | 1.56×1.27 | 38 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK392 |
| 392 | E 5 g4 | 不定形 | N-70°-W | 1.92×1.42 | 21 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK391→本跡 |
| 393 | E 5 h4 | 楕円形 | N-24°-E | 1.78×1.29 | 34 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 394 | E 5 h4 | 楕円形 | N-34°-E | 1.20×0.76 | 25 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 395 | E 5 i5 | 円形 | - | 1.05×1.00 | 58 | 内縁 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器・剥片・土 器片隴・土器片隴 縄文土器・土器 片隴 | - | - | - |
| 397 | E 6 i9 | 楕円形 | N-63°-E | 0.83×0.58 | 47 | 外縁 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SI37→本跡 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|-----|--------------|----------------------|------------|----------|----|----|----|---------|------|----|------------------------|
| | | | | 長径×持径(m) 長軸×短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 398 | E 6 h9 | 楕円形 | N-14°-E | 1.18 × 0.81 | 57 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SI37+本跡 |
| 400 | E 6 f6 | 楕円形 | N-64°-W | 1.08 × (0.56) | - | 傾斜 | 平坦 | - | - | - | - | C | SK388+本跡→SK384 |
| 403 | E 6 h9 | 楕円形 | N-54°-E | 0.88 × 0.75 | 88 | 直立 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SI38+本跡 |
| 404 | E 6 i8 | 楕円形 | N-0° | 0.84 × 0.38 | 27 | 外傾 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 405 | E 6 i8 | 楕円形 | N-11°-W | 0.35 × 0.26 | 27 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | E | - |
| 406 | E 6 h8 | 楕円形 | N-17°-W | 0.88 × 0.64 | 70 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 407 | E 5 i5 | 円形 | - | 0.87 × 0.87 | 41 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 408 | E 5 g5 | 楕円形 | N-60°-E | 1.61 × 1.00 | 33 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK430+本跡 |
| 409 | E 5 h5 | 楕円形 | N-4°-E | 1.07 × 1.05 | 40 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK410-関係不明 |
| 410 | E 5 h5 | 楕円形 | N-60°-W | 0.78 × (0.55) | 23 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK409-関係不明 |
| 411 | E 6 c8 | 不定形 | N-13°-W | 1.24 × 1.13 | 28 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK412+本跡 |
| 412 | E 6 c8 | 不定形 | N-32°-W | 1.26 × 0.70 | 42 | 傾斜 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK411 |
| 413 | E 6 c8 | 円形 | - | 0.68 × 0.61 | 55 | 外傾 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 414 | E 6 c8 | 楕円形 | N-46°-W | 0.83 × 0.68 | 19 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 415 | E 6 c8 | 楕円形 | N-22°-W | 0.48 × 0.39 | 22 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 416 | E 6 c8 | 楕円形 | N-32°-E | 0.83 × (0.60) | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・磨石 | 中期後葉 | - | 本跡→SK417・454 |
| 417 | E 6 c8 | 楕円形 | N-14°-E | (1.07) × 0.98 | 60 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK416+本跡→SK453-454 |
| 418 | E 6 b8 | 円形 | - | (0.92) × 1.09 | 30 | 外傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK453+本跡 |
| 419 | E 5 h5 | 楕円形 | N-57°-E | 1.67 × 1.33 | 35 | 傾斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK430+本跡→SK409 |
| 420 | E 5 h5 | 楕円形 | N-23°-E | 1.84 × 1.65 | 35 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK432・433+本跡 |
| 421 | E 6 j4 | 楕円形 | N-46°-E | 0.85 × 0.72 | 43 | 直立 | 傾斜 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 422 | E 6 j4 | 楕円形 | N-35°-E | (1.20) × 0.68 | 50 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK423 |
| 423 | E 6 j4 | 円形 | - | 1.15 × 1.10 | 20 | 傾斜 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK496・514+本跡 |
| 424 | E 6 i3 | 円形 | - | 0.89 × 0.85 | 27 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 425 | E 6 i3 | 円形 | - | 0.38 × 0.37 | 48 | 直立 | 傾斜 | - | 自然 | - | - | E | - |
| 426 | E 6 i2 | 楕円形 | N-13°-E | 0.78 × 0.70 | 30 | 傾斜 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK427 |
| 427 | E 6 i3 | 楕円形 | N-42°-W | 0.90 × 0.75 | 28 | 傾斜 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK426+本跡 |
| 428 | E 6 i8 | 円形 | - | 1.21 × 1.13 | 25 | 外傾 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | - |
| 430 | E 5 g5 | 楕円形 | N-79°-E | 1.84 × 1.24 | 39 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK467+本跡→SK408・409・419 |
| 431 | E 6 h2 | 楕円形 | N-52°-W | 1.38 × 1.16 | 17 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 432 | E 5 h5 | 楕円形 | N-43°-W | 1.15 × 0.98 | 23 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | 本跡→SK420 |
| 433 | E 5 h5 | 楕円形 | N-74°-W | (0.80) × 0.69 | 23 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK420 |
| 434 | E 6 f7 | 不定形 | N-34°-W | 1.09 × 1.03 | 24 | 傾斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 435 | E 6 f7 | 楕円形 | N-37°-W | 1.18 × 1.03 | 17 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 436 | E 6 f8 | 楕円形 | N-60°-E | 1.15 × 0.93 | 22 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 437 | E 6 g8 | 円形 | - | 1.26 × 1.19 | 31 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・削片 | 中期後葉 | - | - |
| 439 | E 5 i6 | 楕円形 | N-37°-W | (1.46) × (1.25) | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK232+本跡→S55 |
| 440 | E 6 h8 | 円形 | - | 0.77 × 0.71 | 24 | 傾斜 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SI38 |
| 441 | E 6 g8 | 楕円形 | N-49°-W | 1.36 × 1.21 | 53 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK442+本跡 |
| 442 | E 6 f8 | 楕円形 | N-28°-W | 2.36 × (1.29) | 41 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK441・443 |
| 443 | E 6 f8 | 楕円形 | N-27°-W | 1.72 × 1.46 | 35 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK442+本跡 |
| 445 | E 6 g8 | 楕円形 | N-19°-W | 0.66 × 0.40 | 20 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SI38+本跡 |
| 447 | E 7 f1 | 不定形 | N-47°-E | 0.84 × (0.51) | - | - | - | - | - | - | - | D | - |
| 448 | E 6 f8 | 不定形 | N-53°-W | 1.74 × (1.16) | 26 | 傾斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SI36 |
| 450 | E 6 e0 | 円形 | - | 0.57 × 0.55 | 254 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | - |
| 451 | E 6 d0 | 円形 | - | 0.56 × 0.56 | 22 | 傾斜 | 血状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|-------|--------------|-----------------|----------|----|----|----|----|---------|------|----|--------------------------|
| | | | | 長径・持径(m) | 深径・埋藏(m) | | | | | | | | |
| 452 | E 5 h8 | 楕円形 | N-65°-E | (0.94) × (0.70) | 45 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→S04 |
| 453 | E 6 c8 | 不定形 | N-47°-E | (1.00) × (0.97) | 65 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | - | - | C | SK417-454→本跡-SK418 |
| 454 | E 6 c8 | 不定形 | N-25°-E | (1.07) × (0.80) | 36 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK416-417→本跡-SK453 |
| 455 | E 6 c7 | 楕円形 | N-27°-E | 1.52 × 1.28 | 36 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK306・307 |
| 456 | E 6 h9 | 円形 | - | 0.36 × 0.36 | 23 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 458 | E 6 e4 | 楕円形 | N-32°-E | 1.35 × 1.09 | 25 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SI41- 関係不明 |
| 459 | E 6 e5 | 不定形 | - | 1.80 × (1.03) | 45 | 罐斜 | 凹凸 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SI41→本跡→SI24 |
| 460 | E 6 f9 | [円形] | - | 1.87 × (1.72) | 105 | 内傾 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SI36 |
| 461 | E 6 g9 | 不定形 | N-45°-E | 1.51 × (1.27) | 20 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK469・470 |
| 462 | E 5 h6 | 円形 | - | 1.31 × 1.31 | 45 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 463 | E 5 h6 | 円形 | - | 0.86 × 0.81 | 43 | 直立 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | - |
| 464 | E 5 g6 | 楕円形 | N-65°-W | 1.09 × (1.13) | 41 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK500→本跡→第1号墳 |
| 465 | E 6 e5 | 不定形 | N-45°-W | 1.15 × (0.74) | 24 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK529, SI24 |
| 466 | E 5 g6 | 円形 | - | 0.46 × 0.41 | 37 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | - |
| 467 | E 5 g5 | 楕円形 | N-20°-E | 2.38 × 1.96 | 26 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 468 | E 5 h6 | 円形 | - | 0.46 × 0.46 | 43 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | SK499・513→本跡→SK430, 第1号墳 |
| 469 | E 6 g9 | 不整形円形 | N-25°-W | 1.96 × 1.83 | 22 | 罐斜 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK461→本跡→SK470 |
| 470 | E 6 g9 | 楕円形 | N-9°-W | 2.75 × 2.06 | 30 | 罐斜 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK461・469→本跡 |
| 471 | E 6 g9 | 円形 | - | 0.358 × 0.56 | 16 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK472→本跡 |
| 472 | E 6 g8 | 楕円形 | N-51°-E | 0.86 × 0.61 | 25 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK471 |
| 473 | E 5 g7 | 不定形 | N-87°-W | 1.87 × 1.48 | 35 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 474 | E 5 f9 | 楕円形 | N-45°-W | (0.81) × 0.81 | 24 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK475→本跡→S05 |
| 475 | E 5 f9 | 楕円形 | N-49°-W | (0.56) × (0.44) | 20 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK475, S05 |
| 476 | E 5 g9 | [円形] | - | (0.48) × 0.46 | 18 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→S05 |
| 480 | E 5 g8 | 楕円形 | N-49°-E | (0.87) × 0.70 | 26 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SD3 |
| 481 | E 5 g8 | 円形 | - | 0.52 × 0.49 | 35 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | - |
| 482 | E 5 g7 | 楕円形 | N-60°-E | 0.86 × 0.77 | 60 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK500→本跡 |
| 483 | E 6 f5 | 楕円形 | N-80°-W | (1.03) × 0.96 | 34 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | 本跡→SK331 |
| 484 | E 6 h9 | 楕円形 | N-85°-E | 2.38 × (0.68) | 20 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK333, SI37 |
| 485 | E 6 g6 | 楕円形 | N-35°-W | (1.61) × 1.31 | 80 | 罐斜 | 皿状 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK320 |
| 486 | E 5 f5 | 楕円形 | N-41°-E | 1.05 × 0.91 | 50 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | - |
| 488 | E 5 g8 | 楕円形 | N-45°-W | (1.11) × (0.93) | 20 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SD3 |
| 489 | E 5 f3 | 円形 | - | 1.20 × 1.13 | 13 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | - |
| 490 | E 6 g7 | 不整形円形 | N-8°-W | 1.77 × 1.42 | 33 | 罐斜 | 平坦 | - | 人為 | 縄文土器・磨石 | 中期後葉 | - | SK491→本跡 |
| 491 | E 6 g7 | 不定形 | N-8°-W | 2.07 × (1.60) | 30 | - | 傾斜 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK491 |
| 492 | E 6 c4 | 不定形 | N-20°-E | (0.68) × 0.62 | 21 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK493 |
| 493 | E 6 c4 | 楕円形 | N-29°-E | 1.04 × (0.84) | 42 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK492→本跡 |
| 494 | E 6 h8 | 楕円形 | N-79°-E | 1.91 × 1.53 | 56 | - | 傾斜 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | - |
| 495 | E 7 h1 | 円形 | - | 1.09 × 1.08 | 14 | 罐斜 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK496→本跡 |
| 496 | E 7 h1 | 楕円形 | N-46°-E | (0.87) × 0.76 | 15 | 罐斜 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK495・497 |
| 498 | E 6 h7 | 不定形 | N-10°-E | (1.21) × (0.32) | 22 | 外傾 | 皿状 | - | 自然 | - | - | C | 本跡→ST 5 |
| 499 | E 5 g6 | 楕円形 | N-15°-E | 0.73 × (0.65) | 55 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK467・513 |
| 500 | E 5 g6 | 楕円形 | N-23°-W | (2.3) × 1.74 | 50 | 外傾 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | B | 本跡→SK464-482, 第1号墳 |
| 501 | E 6 f4 | 円形 | - | 0.83 × 0.67 | 25 | 罐斜 | 凹凸 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | SI41→本跡 |
| 502 | E 5 e3 | 楕円形 | N-52°-E | 1.75 × 1.45 | 55 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK503→本跡→SK504-506 |
| 503 | E 5 e3 | 不定形 | N-13°-E | (1.00) × (0.60) | 45 | - | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→SK172-502-506 |

| 番号 | 位置 | 平面形 | 長径方向 長軸方向 | 規模 | | 壁面 | 底面 | ピシ | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期 | 分類 | 備考 重複関係 (古→新) |
|-----|--------|------|--------------|----------------------|------------|----|----|----|----|------------------------|------|----|---------------------------------------|
| | | | | 長径・短径(m) 長軸・短軸(m) | 深さ (cm) | | | | | | | | |
| 504 | E 5 d3 | 不定形 | N-15°-W | 1.70 × (0.85) | 45 | 罐科 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | B | SK 502・506→本跡→ 第1号墳 |
| 505 | E 5 d3 | 楕円形 | N-12°-W | 1.32 × 1.20 | 53 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器・土器 片隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 506 |
| 506 | E 5 d3 | 楕円形 | N-29°-W | 1.47 × 1.10 | 50 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | 中期後葉 | - | SK 502・503・505→本跡→ SK 504 |
| 507 | E 5 f8 | 楕円形 | N-53°-W | 0.88 × (0.78) | 32 | 罐科 | 凹凸 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | 本跡→第1号墳, SD3 |
| 508 | E 6 c5 | 楕円形 | N-45°-W | 2.21 × 1.92 | 23 | 罐科 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・打製 石斧 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 519 |
| 509 | E 6 c5 | 不定形 | N-48°-W | 0.81 × (0.54) | 23 | - | - | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→SK 519, S124 |
| 510 | E 6 d9 | 楕円形 | N-47°-E | 1.30 × (1.08) | 24 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・粘石・磨 石・石皿・土器片隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SK 511・516 |
| 512 | E 6 d4 | 不定形 | N-43°-E | 1.33 × (0.70) | 22 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | S141→本跡→S124 |
| 513 | E 5 g5 | 楕円形 | N-84°-W | 1.48 × 1.16 | 56 | 罐科 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 499→本跡→SK 467, 第1号墳 |
| 514 | E 7 h1 | 楕円形 | N-27°-E | 0.85 × 0.59 | 17 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | D | 本跡→SK 497 |
| 515 | E 6 c9 | 不定形 | N-20°-E | 0.58 × 0.40 | 41 | 外傾 | 皿状 | 1 | 自然 | 縄文土器 | - | D | 本跡→ST 4 |
| 516 | E 6 c9 | 不定形 | N-60°-E | 0.93 × (0.73) | 50 | 外傾 | 平坦 | 2 | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK 510→本跡→SK 511, S131 |
| 517 | E 6 c5 | 楕円形 | N-79°-W | 1.00 × (0.97) | 34 | 罐科 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 519→本跡→S124・28 |
| 518 | E 6 c5 | 楕円形 | N-43°-E | 0.91 × 0.85 | 30 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | D | SK 519→本跡 |
| 519 | E 6 c5 | 楕円形 | N-30°-W | 2.30 × (1.77) | 32 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | B | SK 508・509・518→本跡 →SK 517, S124・28 |
| 522 | E 5 c2 | 不定形 | N-66°-E | 1.22 × 1.22 | 21 | 罐科 | 平坦 | - | 自然 | 縄文土器 | - | C | SK 185→本跡→第1号墳 |
| 523 | E 6 d3 | 楕円形 | N-29°-E | 2.37 × 1.81 | 30 | 罐科 | 平坦 | - | 自然 | - | - | B | SK 109→本跡→SK 449 |
| 527 | E 6 d8 | 不定形 | N-64°-W | 1.34 × 0.56 | 15 | 外傾 | 平坦 | - | 自然 | - | - | C | SK 360- 関係不明 |
| 529 | E 6 e5 | 円形 | - | 0.48 × 0.45 | 24 | 罐科 | 皿状 | - | 自然 | - | - | D | SK 465, S141→本跡 |
| 530 | D 5 d2 | [円形] | - | 1.93 × 2.66 | 32 | 外傾 | 平坦 | 1 | 自然 | 縄文土器・剥片・ 土器片隴 | 中期後葉 | - | 本跡→SD1 |
| 531 | F 5 a5 | 円形 | - | 0.45 × 0.42 | 48 | 直立 | 皿状 | - | 自然 | 縄文土器 | - | E | SK 200→本跡 |
| 532 | E 6 b4 | 楕円形 | N-2°-E | 3.10 × (1.75) | 32 | 外傾 | 平坦 | 4 | 自然 | 縄文土器・粘石・ 土器片隴・礎 | 中期後葉 | - | 本跡→S111 |

(5) 斜面貝層

ア 調査区及び地区の設定 (第146図)

標高17.5～23.9mの北西斜面部に位置する斜面貝層は、現地での保存が困難なことから全面的な発掘となった。表土は極めて薄く、調査前の地表には、すでに多量の貝殻が散布していたことから、人力による表土除去を行った。調査前と表土除去後の地形測量によって、斜面の凹凸や傾斜角、傾斜変換点などを把握し、また、貝層の中心部を予想して調査区と貝層断面の基本となる中央ベルトの設定を行った。地区の設定にあたっては、遺跡全体を網羅した広域グリッドとは異なる、斜面貝層を効果的に調査するために必要な斜面傾斜方向に合わせた任意グリッドを設定した。斜面部全体を網羅するように10m四方の大調査区(以下、基本グリッド)に分割し、この基本グリッドを各々5等分して、2m四方の中調査区(以下、単位グリッド)を設定した。この単位グリッドを各々16等分して、50cm四方の小調査区(以下、カット)を設定した。調査区の名称は、台地部の調査区と区別するために、貝層のローマ字表記での頭文字である「K」を付して、基本グリッドはアルファベットと算用数字を用い、斜面部高所から低所へA, B, C, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4とし、「KA 1区」、「KB 2区」のように呼称した。単位グリッドは、斜面部高所から低所へa, b, c, d, e, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4, 5とし、名称は基本グリッドの名称を冠して「KA 1a1区」、「KB 2b2区」のように呼称した。単位グリッド内の50cm四方のカットについては、斜面部高所左上から低所右下へ、①-⑯までの番号を付け、「KA 1(基本グリッド名)a1(単位グリッド名)①(カット名)区」、「KB 2b2④区」のように呼称した。

イ 調査方法（第147～149図）

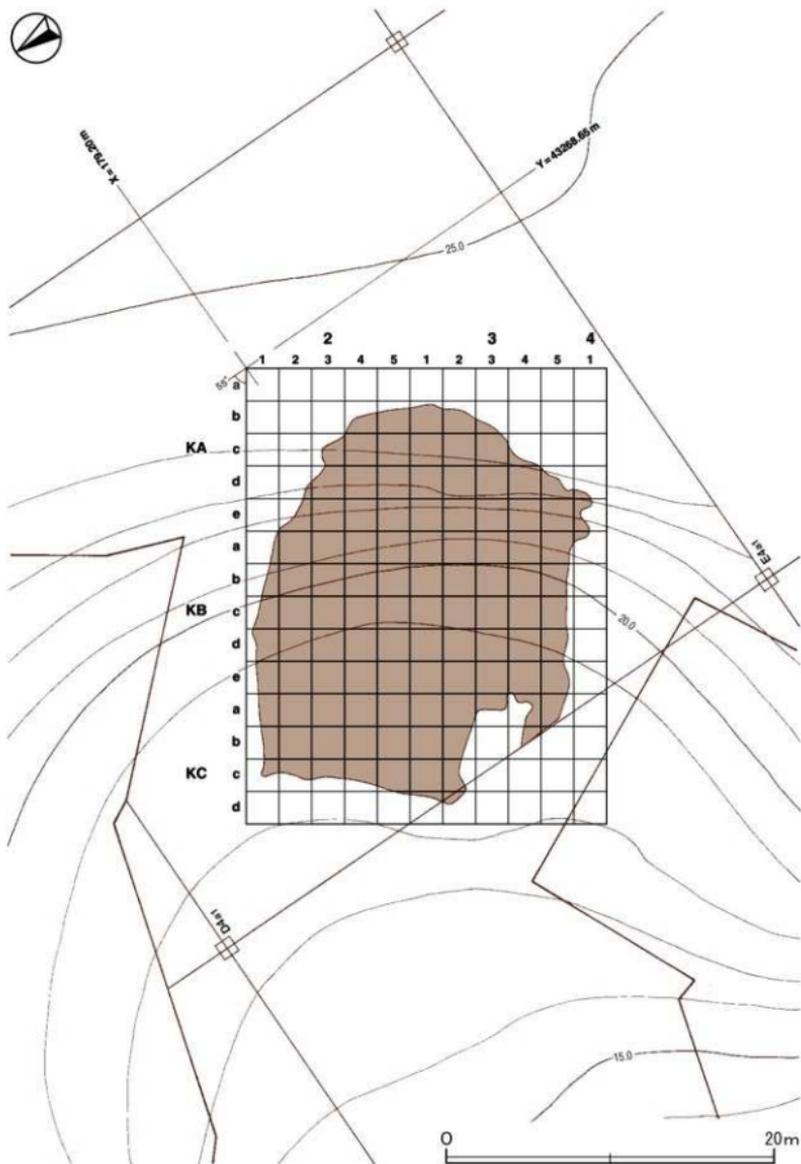
貝層の調査では、すべての貝をサンプルとして取り上げた。貝層の除去にあたっては、基本的に単位グリッドを市松模様に取り込んでいくグリッド調査を採用し、順次、貝層断面の写真による記録と図化を行いながら、最終的に斜面貝層全体を通した縦10か所、横12か所の断面図を作成した。単位グリッドは、基本的に①～⑩までのカットを市松模様、人工層位の5cm単位（第1、第2…ステージ）毎に取り込み、貝層の面的な広がりや層の変化を断面で確認した。ステージが変わる毎に貝層上面の精査と四隅の標高を計測し、併せて出土した遺物などの記録を行った。貝層断面を作成したカットの部分については、作業の効率化と迅速化を図るため、5cm単位の人工層位ではなく、自然層位毎に貝層を除去した。また、除去した貝層については、それぞれの単位グリッド、カット、ステージ毎に、必要なデータを記入した荷札を付けて、すべてを取り上げた。自然層位毎に取り上げた貝層の土壌サンプルについては、基本的にすべてについて水洗選別を行った。方法としては、①取り上げた土壌サンプルの体積を計測する。②水を張った水槽に土壌を投入して攪拌し、極めて目の細かい茶漉しを使って、水面の浮遊物を探取する。③水洗選別の第1段階、5mmメッシュのフルイにかける。④水洗選別の第2段階、3mmメッシュのフルイにかける。⑤水洗選別の第3段階、1mmメッシュのフルイにかける。以上の工程を経て、十分に乾燥させた上で、①人工遺物、②浮遊物、③5mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨など、④3mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨など、⑤1mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨などの5種類に分けて、それぞれビニール袋に収納した。なお、水洗選別を実施しなかった貝層の土壌サンプルは、土壌袋に収納した状態で、すべて美浦村教育委員会に引き渡した。

ウ 貝層の広がりや堆積状況（第150・151図）

斜面貝層は、遺跡全体を網羅した調査区及び広域グリッドでは、調査区北西部のD4区西側に位置している。地形は北西方向に傾斜している標高17.5～23.9mの斜面部である。人力による表土除去で露出した貝層の範囲は長軸約24m、短軸約20mの不整形円形で、斜面部中央の傾斜角は12～15度であった。調査にあたっては、斜面傾斜方向に合わせて28m×22mの調査区及び任意グリッドを設定した。広域グリッドの南北軸に対する任意グリッドの斜面傾斜方向は、N-55°-Wである。調査の結果、貝層は小規模な谷の窪地を埋め尽くす様に厚く堆積しており、斜面部高所から低所へと多量の貝殻などを投棄していることが判明した。

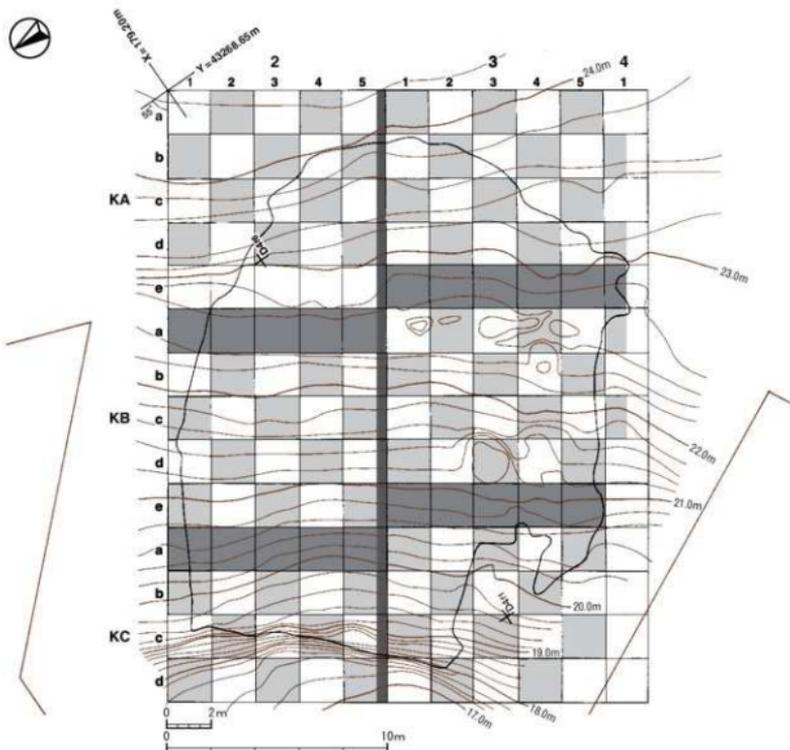
すべての貝層を除去して露出した谷の窪地は、長軸28.9m、短軸21.2mの楕円形で、北西方向に開口している。標高は17.0～24.2mである。斜面部中央の傾斜角は10～17度で、高低差は約7.2mである。斜面の状況は、標高24.2mの台地平坦部から一旦約12～14度の傾斜で、急峻に落ち込み、標高20.8mのあたりから約10～12度の緩い傾斜に変わっている。さらに、標高18.4mのあたりから約14～17度の急な傾斜に移行している。谷筋は中央部のやや南側を通過し、緩やかなS字カーブを描いて北西方向に延びている。この谷の窪地の形成過程を解明するため、斜面部中央に5か所の試掘坑を設定して、基本土層の観察を行った。その結果、貝層の基底部となる層は、縄文時代早期後葉の鷓ヶ島台式土器や野鳥式土器、前期初頭の花積下層式土器を包含している黒色土で、その下位に再堆積ローム層、ローム層、砂質粘土層の順で堆積していることが判明した。

以下、この谷の窪地に遺物包含層と斜面貝層が形成された過程を段階に分けて復元する。第1段階は、早期後葉の鷓ヶ島台式や野鳥式期から前期初頭の花積下層式期である。斜面部手前の台地縁辺部には、早期に位置づけられる炉穴2基が構築されていることから、谷の周囲を中心として、小規模な土地利用がなされ、不要となった土器片などを斜面部高所付近に投棄した状況がうかがえる。この段階では、谷の窪地が埋没していく速度は極めて緩やかであったと推測される。次の前期前葉になると、一旦、当遺跡から人々の痕跡は途絶えてしまう。貝殻などの投棄行為の第1の空白期間であり、当該期の間山式土器は、台地部を含めてまったく出土



第146図 斜面貝層の調査区設定図

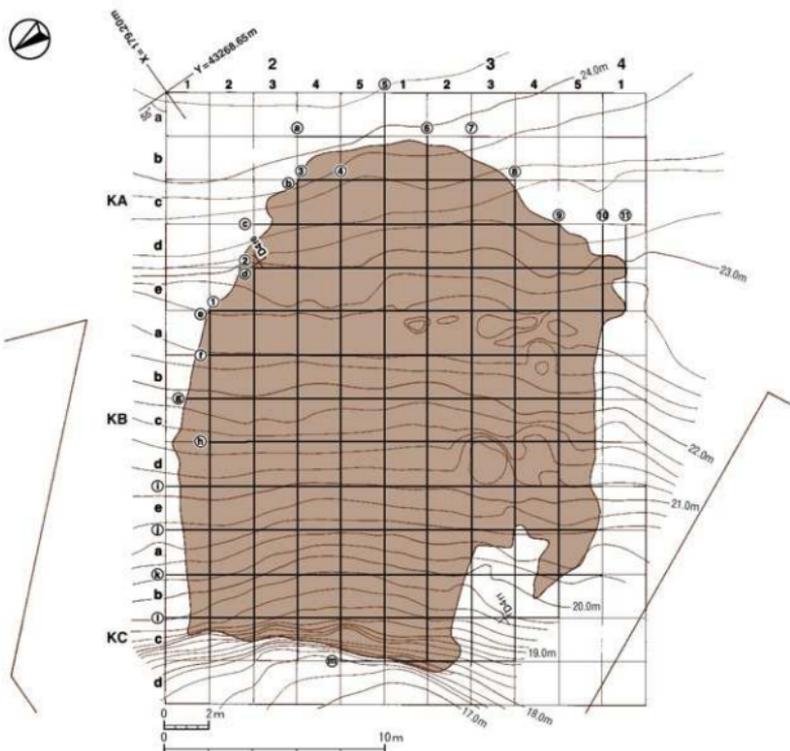
していない。そして、第2段階は、前期中葉の黒浜式や植房式期である。斜面部高所から斜面部中腹にかけて、土器片や貝殻などを多量に投棄した状況が確認できた。この段階に至って、谷の窪地は急速に埋没していったことになる。第3段階は、前期中葉の最終段階から中期後葉である。貝殻などの投棄行為の第2の空白期間である前期後葉から前期中葉を経て、前期中葉に形成された貝層を覆う状態で、焼土ブロック、焼土粒子、炭化材、炭化物、灰などを多量に含んだ暗褐色土が、5～20cmの層厚で斜面部高所から斜面部中腹にかけて堆積している。出土した土器は、いわゆる中峠式土器や加曾利EⅠ（古）式土器で、完形または略完形の状態で出土している。この層の存在によって、前期中葉に形成された貝層と後述する中期後葉に形成された貝層を区別することができた。当貝層の重要な鍵層である。この段階で、斜面高所はほぼ埋没した状況となった。第4段階は、中期後葉の加曾利EⅡ式期である。貝層は谷の窪地全体を覆う状態で堆積しており、特に斜面部中腹を中心に、多量のハマグリや貝殻などの投棄によって、純貝層からなるマウンド状もしくは土手状の高まりが形成された状況が確認できた。貝層の堆積方向などを検討した結果、この段階の貝殻などの投棄は、低所から高所に順次手前へと投棄した状況が判明した。貝層断面の複数か所で、ほぼ水平に堆積した貝層や、斜面傾斜とは



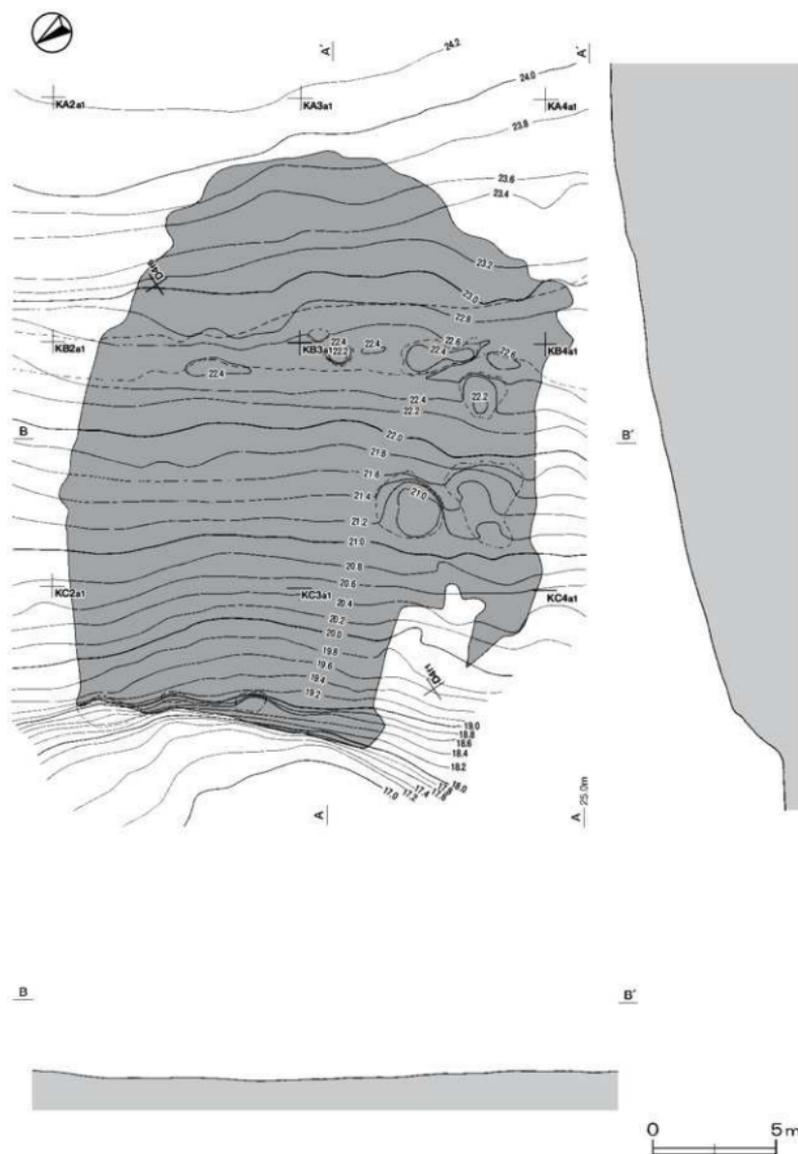
第148図 斜面貝層の中央ベルト及び横断ベルトの設定状況図

逆方向に堆積した貝層などが見受けられた。そこから、より低所に土砂などと共に貝層が押し流されたり、崩落を繰り返して、斜面部中腹の貝殻などを投棄した範囲よりも、一回り大きな2次堆積層が形成されている。層相は破砕貝を多量に含む混貝土層で、斜面部低所まで広がっている。この段階で谷の窪地の大半は埋没したことになるが、その速度は膨大な貝殻の量とは反対に、あまり多くの時間を要していないことが、出土した土器などから推測できる。第5段階は、中期後葉の加曾利EⅢ・Ⅳ式期である。斜面部高所から中腹にかけて、厚く堆積した貝層が上方からの土砂などと共に下方に押し流されて、斜面部低所に2次的に堆積した状況が確認できた。これらの貝層は、極めて混土率と貝殻の破砕率が高いという特徴があり、その堆積方向は斜面傾斜方向にほぼ沿っている。この段階をもって、谷の窪地のほとんどが埋没したことになり、見かけ上は谷の窪地といった景観ではなく、緩やかに下るフラットな斜面となったことが判明した。

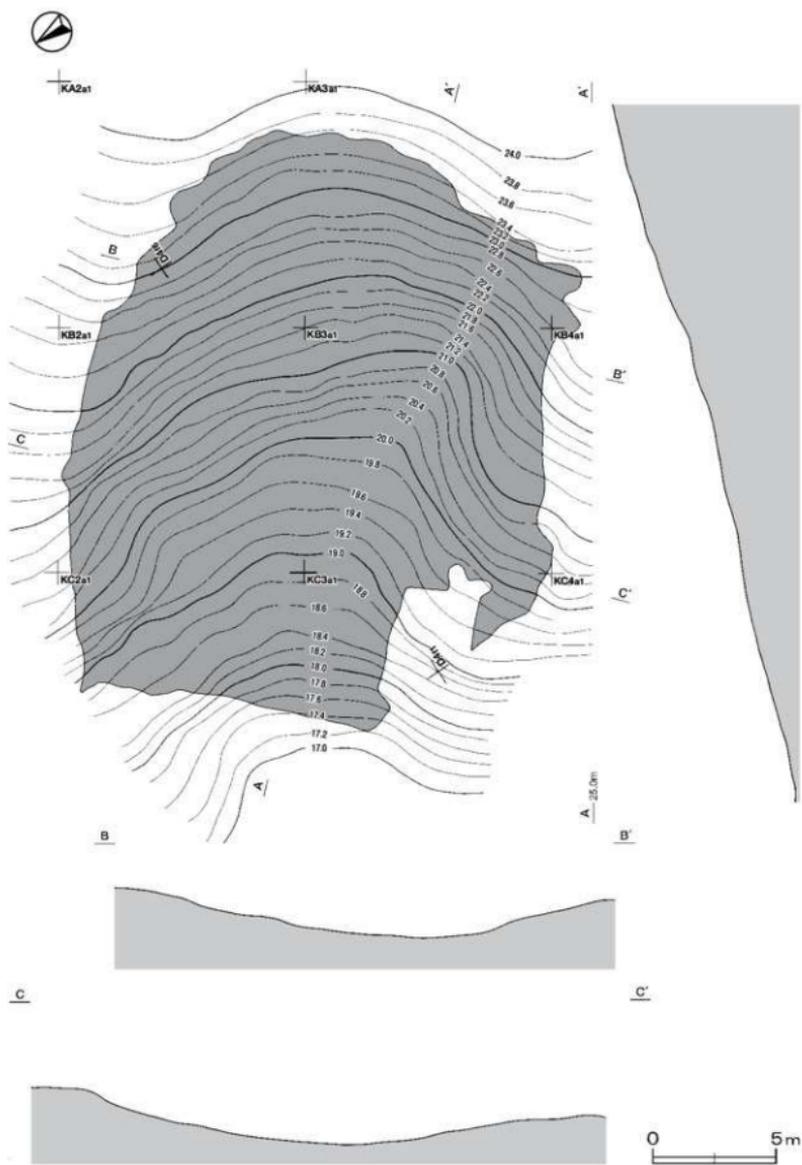
簡単に貝層の広がりや堆積状況をまとめると、谷の窪地は、自然営力による台地部からの土砂などの流入と、集落の造営に関連した土地利用や生活上の廃棄物などの投棄による埋没の相乗効果によって、早期後葉から中期後葉にかけて断続的に埋まっていった。中でも第2段階の前期中葉の貝層は、斜面部高所を中心として、斜



第149図 斜面貝層の土層・貝層断面図の位置



第150図 斜面貝層の確認状況図



第151図 斜面貝層の完掘状況図

面傾斜に沿った貝層が形成されており、層厚や広がりにはほぼ均一で、貝層の対応性も比較的分かりやすい傾向にあった。一方、第4段階の中期後葉(加曾利EⅡ式期)の貝層は、斜面部高所から斜面部中腹を中心として、マウンド状もしくは土手状に貝殻などを集中的に投棄しているため、その凹凸が織りなす不規則な貝層の堆積と、土砂などの流れ込みや貝層の崩落、そして、2次的な堆積や掘り込みなどによって、極めて複雑な様相を呈している。層厚や広がりには不均一で、貝層の対応性は極めてわかりにくい傾向にあった。第5段階の中期後葉(加曾利EⅢ・Ⅳ式期)の貝層は、斜面部低所を中心として、前時期に堆積した上方の貝層が土砂などと共に押し流されたことに起因している。その貝層からは、土器片や獣骨などの遺物が多く出土しており、また、遊離した人骨なども、多量の破砕貝に混じって出土している。貝殻などの投棄は基本的に停止していたと推測できる。また、斜面傾斜に沿った貝層の形成過程から、貝層の対応性は比較的分かりやすい傾向にあった。

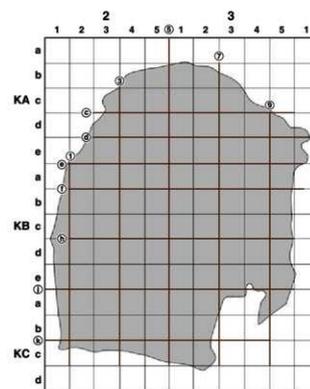
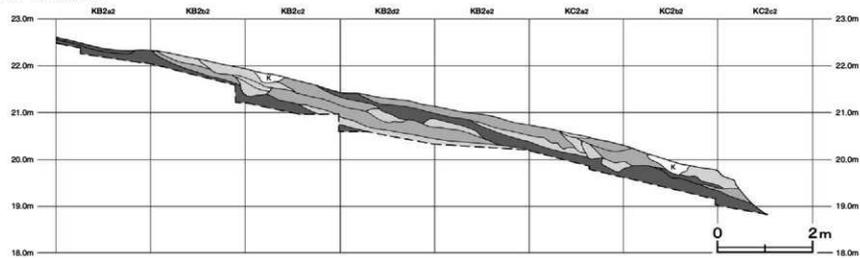
エ 貝層の解説(第152～155図)

以下では、斜面貝層の中心部に設定した中央ベルトの土層・貝層断面図⑤を中心にして、貝層形成過程について特徴的な断面を表している土層・貝層断面図c・e・jを抽出し、発掘時点の所見をもとに各土層・貝層の解説を記載する。解説にあたっては、層相の区分、主体となる土層、混土率、混貝率、貝の破砕率、貝種と大きさ含有率、合わせ貝の有無、その他の含有物、特記事項などについて列記した。また、解説中の「主体」、「中量」、「少量」、「微量」の数量的目安については、基本的に「主体」が含有物の中で50%以上の場合、「中量」が含有物の中で30%以上50%未満の場合、「少量」が含有物の中で10%以上30%未満の場合、「微量」が含有物の中で1%以上10%未満の場合として区別して使用した。さらに、貝種と大きさ含有率、合わせ貝の有無における貝種の列記にあたっては、文章の前に記載している貝種が数的な優位にある。土層・貝層断面図⑤・c・e・jにおける層数は247層で、調査で作成したすべての土層・貝層断面図は、約1450層に及んでいる。その他の土層・貝層断面図については、基本的に4m間隔で抽出し、純貝層、混土貝層、混貝土層、土層の区別を表した。

土層・貝層解説-断面図5・c・e・j

| | | | |
|---------|---|---------|---|
| 1 暗褐色土 | 旧耕作土、ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量、粘性弱い、締まり強い | 12 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率50%、2～4cm大のハマグリ主体、サルボウ・オキシジミ少量、ウミナ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 2 混貝土層 | 暗褐色土主体、混貝率10%、破砕率90%、ハマグリ主体、サルボウ・シオフキ少量/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 13 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率10%、破砕率40%、2～5cm大のハマグリ主体、3～5cm大のサルボウ少量、ウミナ少量、合わせ貝無し |
| 3 混貝土層 | 暗褐色土主体、混貝率20%、破砕率70%、2～5cm大のハマグリ主体、アサリ微量、合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 14 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率60%、2～4cm大のハマグリ主体、中形のシオフキ中量、カマガイ・ウミナ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 4 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2～4cm大のハマグリ主体、2cm大のアサリ少量、マガキ・ハイガイ・イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 15 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率70%、3～4cm大のハマグリ・シオフキ・サルボウの破砕貝主体、マガキ微量、合わせ貝無し |
| 5 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率50%、3～4cm大のハマグリ主体、4～6cm大のサルボウ中量、シオフキ・アサリ微量、サルボウの合わせ貝少量 | 16 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率80%、ハマグリ・サルボウ・シオフキの破砕貝主体、カマガイ・ウミナ・マガキ微量、残った貝微量、合わせ貝無し |
| 6 黒褐色土 | ローム粒子・砂中量、白色物質微量、粘性・締まり弱い | 17 混土貝層 | 混土率10%(黒褐色土)、破砕率20%、2～5cm大のハマグリ主体、3～5cm大のシオフキ中量、3～4cm大のオキシジミ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 7 黒褐色土 | ローム粒子・砂多量、粘性弱い、締まり極めて弱い | 18 混土貝層 | 混土率20%(黒褐色土)、破砕率50%、2～5cm大のサルボウ主体、2～4cm大のシオフキ・オキシジミ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 8 黒褐色土 | ローム粒子中量、粘性・締まり強い | 19 混土貝層 | 混土率40%(黒褐色土)、破砕率10%、2～5cm大のハマグリ主体、2～4cm大のサルボウ中量、2～4cm大のシオフキ少量、イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 9 黒褐色土 | ローム粒子少量、粘性・締まり強い | | |
| 10 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率15%、破砕率60%、2～4cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ・ウミナ少量、合わせ貝ほとんど無し | | |
| 11 混土貝層 | 混土率30%(黒褐色土)、破砕率10%、2～5cm大のハマグリ主体、オキシジミ中量、サルボウ・シオフキ少量、カマガイ・ウミナ微量、ハマグリ合わせ貝微量 | | |

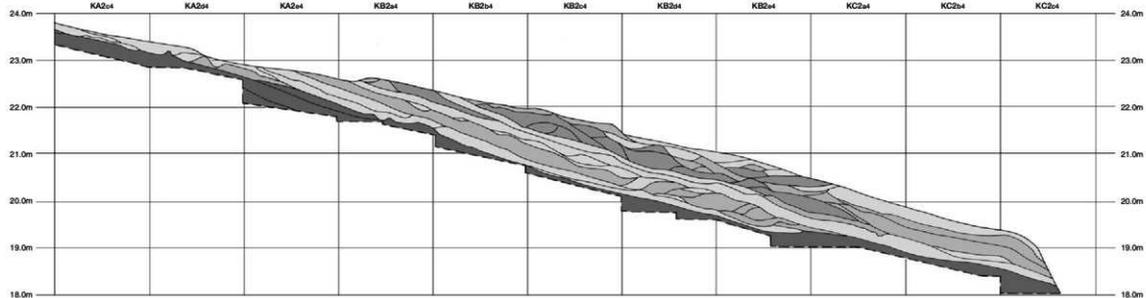
土層・貝層断面図①



土層・貝層断面図③

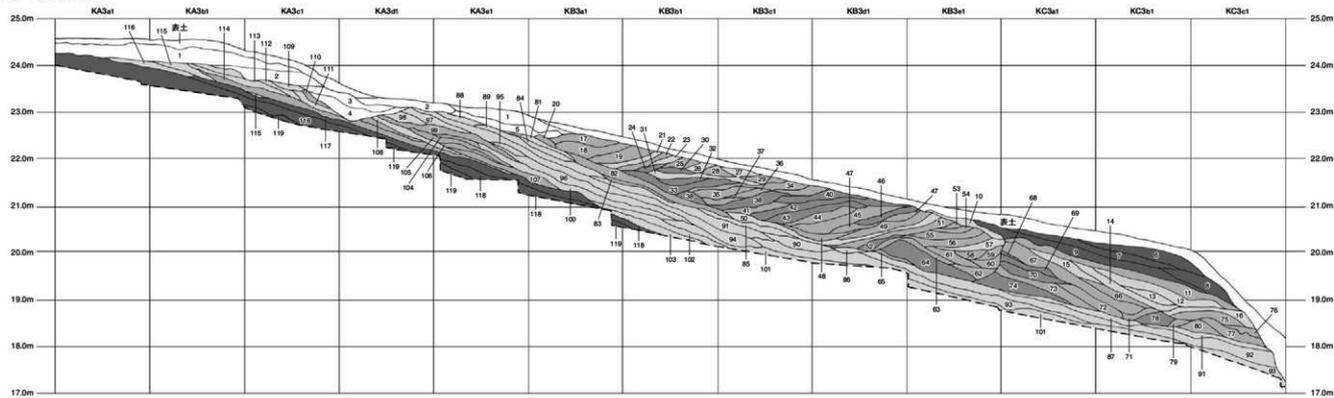
凡例

- 土
- 混貝土層
- 混土貝層
- 純貝層
- 表土・攪乱

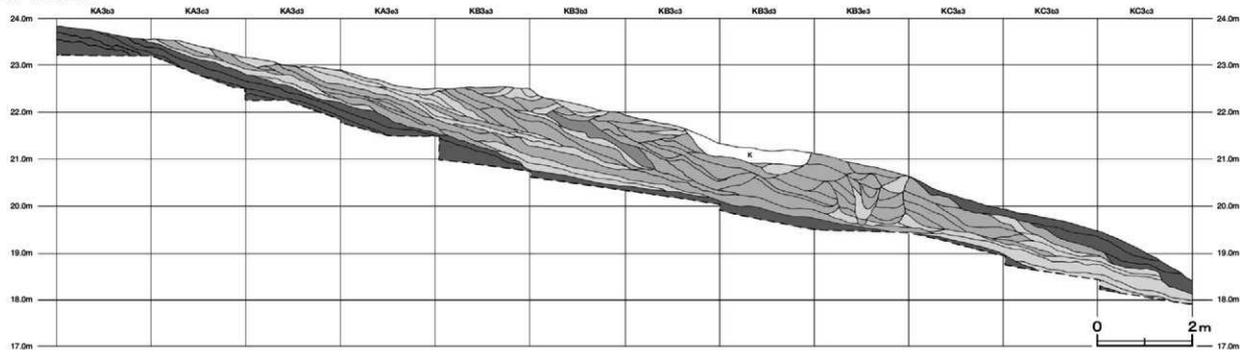


第152図 土層・貝層断面図①)

土層・貝層断面図⑤

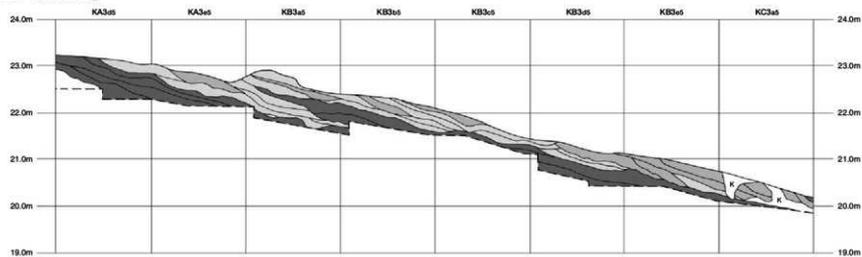


土層・貝層断面図⑦

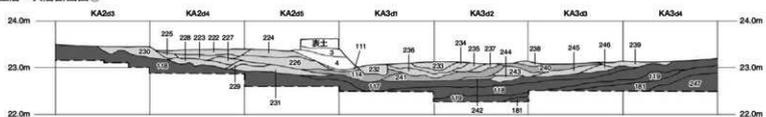


第153図 土層・貝層断面図②

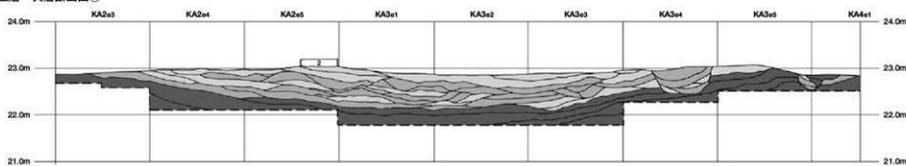
土層・貝層断面図㉓



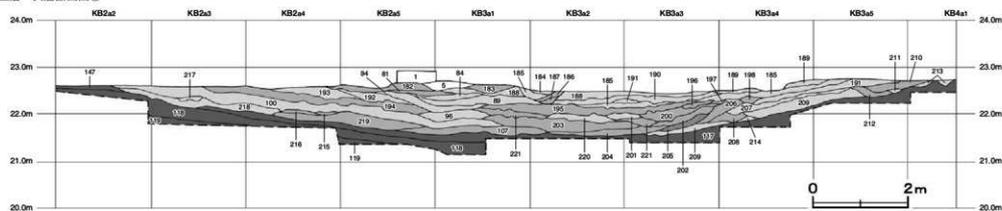
土層・貝層断面図㉔



土層・貝層断面図㉕

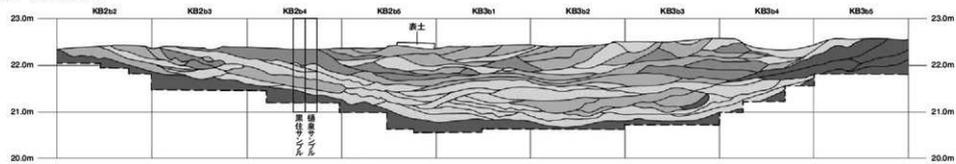


土層・貝層断面図㉖

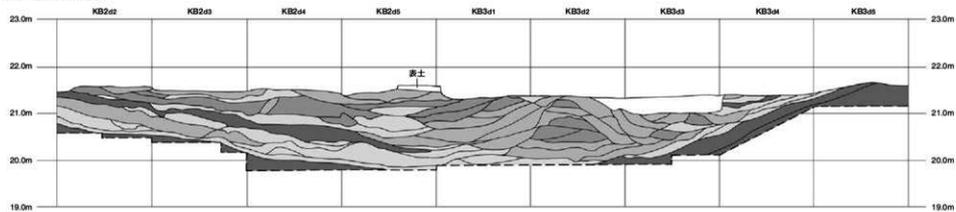


第154図 土層・貝層断面図㉓

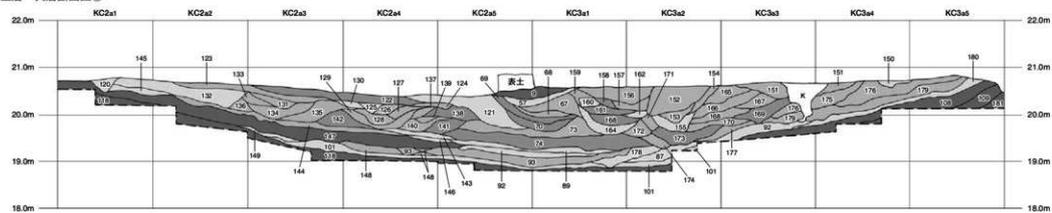
土層・貝層断面図①



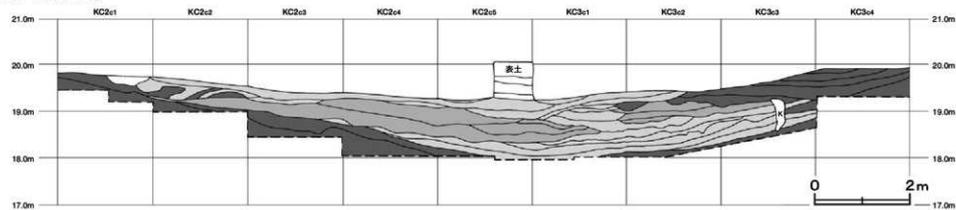
土層・貝層断面図②



土層・貝層断面図③



土層・貝層断面図④



第155図 土層・貝層断面図4)

| | | | | | |
|----|-----|--|----|-----|---|
| 20 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率4%、2-4cm大のハマグリ・3-5cm大のシオフキ主体、4-6cm大のサルボウ少量、ウミナ少量、合わせ貝ほとんど無し | 46 | 純貝員 | 破砕率30%、3-5cm大のシオフキ主体、2-5cm大のハマグリ・3-5cm大のサルボウ・カガミガイ少量、アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 21 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率20%、ハマグリ・サルボウ主体、シオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 47 | 混土員 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率60%、2-5cm大のシオフキ主体、2-5cm大のハマグリ・3-5cm大のサルボウ少量、ウミナ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し、踏み潰されたような貝類主体 |
| 22 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-6cm大のサルボウ主体、2-7cm大のハマグリ中量、2-4cm大のシオフキ少量、マガキ・ウミナ少量 | 48 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2-5cm大のハマグリ・サルボウ主体、3-4cm大のオキシジミ少量、マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 23 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率20%、ハマグリ主体、サルボウ少量、マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 49 | 混土員 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率60%、2-5cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ中量、3-5cm大のシオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し、踏み潰されたような貝類主体 |
| 24 | 純貝員 | 破砕率10%、ハマグリ主体、サルボウ・シオフキ中量、オキシジミ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 50 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率40%、3-5cm大のサルボウ主体、2-5cm大のハマグリ中量、2-4cm大のオキシジミ少量、ナミマガシウ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 25 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-6cm大のハマグリ・サルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、マガキ・ウミナ少量 | 51 | 混土員 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率40%、2-5cm大のハマグリ・シオフキ主体、3-5cm大のサルボウ少量、合わせ貝ほとんど無し、踏み潰されたような貝類主体 |
| 26 | 混土員 | 暗褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-4cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ・オキシジミ少量、マガキ・ウミナ・イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 52 | 純貝員 | 破砕率20%、2-6cm大のハマグリ・3-5cm大のシオフキ主体、3-5cm大のサルボウ少量、カガミガイ・アカニシ・ナミマガシウ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 27 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-5cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ中量、2-5cm大のシオフキ少量、ナミマガシウ微量、合わせ貝ほとんど無し | 53 | 混土員 | 混土率7%（黒褐色土）、破砕率40%、3-4cm大のハマグリ主体、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、サルボウ・ウミナ・ナミマガシウ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 28 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-9cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 54 | 混土員 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率80%、3-5cm大のハマグリ主体、3-4cm大のオキシジミ・シオフキ中量、4cm大のオキシジミ・シオフキ少量、小形マガキ・サゴキ・ウミナ微量、合わせ貝無し |
| 29 | 純貝員 | 破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 55 | 混土員 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率30%、3-6cm大のハマグリ主体、3-4cm大のシオフキ中量、4-5cm大のオキシジミ・ウミナ少量、ナミマガシウ・マガキ・サルボウ微量、ハマグリとの合わせ貝無し |
| 30 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 56 | 混土員 | 混土率5%（黒褐色土）、破砕率30%、ほぼ純貝類、3-4cm大のハマグリ主体、4-5cm大のハマグリ・オキシジミ・3-4cm大のシオフキ中量、5-6cm大のカガミガイ少量、マガキ・ナミマガシウ微量、ハマグリ・シオフキの合わせ貝微量 |
| 31 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-5cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ中量、2-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 57 | 混土員 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-5cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 32 | 純貝員 | 破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ・オキシジミ少量、ツタガイ・マガキ・ウミナ・ナミマガシウ微量、合わせ貝ほとんど無し | 58 | 混土員 | 混土率5%（黒褐色土）、破砕率10%、3-5cm大のハマグリ主体、5-6cm大のサルボウ・4-5cm大のシオフキ中量、5cm大のアサリ少量、7-8cm大のハマグリ・ウミナ微量、ハマグリとの合わせ貝少量 |
| 33 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-4cm大のサルボウ中量、2-4cm大のシオフキ少量、ウミナ微量 | 59 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率15%、2-5cm大のハマグリ・サルボウ主体、2-4cm大のシオフキ・オキシジミ少量、カガミガイ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 34 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、2-4cm大のオキシジミ・シオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 60 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、3-5cm大のシオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 35 | 混土員 | 混土率5%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-6cm大のシオフキ・オキシジミ・2-5cm大のサルボウ少量、アカニシ・マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 61 | 混土員 | 混土率7%（黒褐色土）、破砕率20%、3-4cm大のハマグリ主体、3-4cm大のシオフキ中量、3-5cm大のサルボウ少量、3cm大のアサリ・6-7cm大のハマグリ・ウミナ微量、ハマグリ・シオフキの合わせ貝微量 |
| 36 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ・3-4cm大のシオフキ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 62 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率30%、3-4cm大のハマグリ・シオフキ主体、3-4cm大のサルボウ中量、4-5cm大のオキシジミ少量、小形マガキ・ナミマガシウ微量、ハマグリ・シオフキの合わせ貝少量 |
| 37 | 混土員 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率30%、2-7cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ少量、ウミナ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 63 | 混土員 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率90%、ハマグリ・シオフキ・オキシジミの破砕主体、合わせ貝無し |
| 38 | 純貝員 | 破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、3-5cm大のシオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 64 | 純貝員 | 破砕率5%、2-6cm大のハマグリ・3-4cm大のシオフキ主体、3-6cm大のオキシジミ・サルボウ中量、4-6cm大のカガミガイ少量、アカニシ微量、アサリ・シオフキ・オキシジミ・サルボウ・カガミガイの合わせ貝少量 |
| 39 | 純貝員 | 破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・カガミガイ・マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 65 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率40%、3-5cm大のハマグリ主体、4-6cm大のサルボウ中量、3-4cm大のシオフキ少量、3cm大のアサリ・カガミガイ微量、ハマグリ・サルボウの合わせ貝少量 |
| 40 | 純貝員 | 破砕率30%、2-4cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、2-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 66 | 混土員 | 混土率25%（黒褐色土）、破砕率5%、3-7cm大のハマグリ主体、3-4cm大のシオフキ・オキシジミ・サルボウ中量、3-5cm大のマガキ少量、ウミナ微量、ハマグリ・サルボウ・シオフキ・オキシジミの合わせ貝少量 |
| 41 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ中量、2-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 67 | 混土員 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、3-5cm大のハマグリ主体、サルボウ・シオフキ・オキシジミ中量、ウミナ少量、アサリ・マガキ微量、ハマグリ・オキシジミ・サルボウの合わせ貝微量 |
| 42 | 純貝員 | 破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・ウミナ微量、貝類の堆積が密 | | | |
| 43 | 純貝員 | 破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-6cm大のサルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、ツタガイ・マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | | | |
| 44 | 混土員 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-6cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、マガキ・ウミナ微量、合わせ貝ほとんど無し | | | |
| 45 | 混土員 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率10%、3-5cm大のハマグリ主体、シオフキ中量、サルボウ・小形マガキ・オキシジミ・ウミナ少量、ハマグリとの合わせ貝微量 | | | |

| | | | | | |
|----|------|---|-----|------|---|
| 68 | 混土員層 | 混土率30% (黒褐色土)、破砕率10%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ少量、ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 92 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率100%、ハマグリ・サルボウの破砕員主体、合わせ貝無し/焼土粒子・炭化物少量 |
| 69 | 純貝層 | 破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ少量、アカガイ・ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 93 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率15%、破砕率90%、ハマグリ・サルボウの破砕員主体、合わせ貝無し |
| 70 | 純貝層 | 破砕率5%、3-7cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ中量、2-4cm大のシオフキ少量、アサリ・ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し、ハマグリは5-7cm大の主体 | 94 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率80%、2-3cm大のアサリの破砕員主体、2-4cm大のハマグリ少量、サルボウ・アカニシ少量、合わせ貝無し |
| 71 | 混土員層 | 混土率20% (黒褐色土)、破砕率5%、2-5cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ・オキシジミ中量、ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 95 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率90%、2-4cm大のハマグリ破砕員主体、1-2cm大のアサリ中量、合わせ貝無し |
| 72 | 混土員層 | 混土率3% (黒褐色土)、破砕率10%、3-6cm大のハマグリ主体、3-4cm大のオキシジミ・サルボウ少量、アカニシ・ウミナシ・ナミマガシウ・カガミガイ少量、ハマグリ・オキシジミの合わせ貝少量 | 96 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率60%、2-5cm大のハマグリ主体、1-2cm大のアサリ中量、サルボウ・シオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック微量 |
| 73 | 混土員層 | 混土率10% (黒褐色土)、破砕率40%、3-6cm大のハマグリ主体、ウミナシ・オキシジミ中量、シオフキ・サルボウ少量、イボニシ・ナミマガシウ微量、ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量 | 97 | 混土員層 | 暗褐色土主体、混土率30%、破砕率30%、2-4cm大のハマグリ主体、2-3cm大のアサリ中量、カガミガイ・ハイガイ・ツノガイ少量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック微量 |
| 74 | 純貝層 | 破砕率10%、3-7cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ・シオフキ・2-4cm大のオキシジミ少量、イボニシ・ウミナシ・カガミガイ少量、合わせ貝ほとんど無し、ハマグリは5-7cm大が主体、サルボウ・シオフキも比較的大きい | 98 | 混土員層 | 暗褐色土主体、混土率30%、破砕率80%、3-4cm大のハマグリ・2-3cm大のアサリの破砕員主体、アカニシ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 75 | 混土員層 | 混土率40% (黒褐色土)、破砕率80%、2-4cm大のハマグリ・3cm大のオキシジミの破砕員主体、ウミナシ中量、サルボウ・シオフキ少量、マガキ・イボニシ少量、合わせ貝無し | 99 | 混土員層 | 混土率30% (暗褐色土)、破砕率10%、3-5cm大のハマグリ主体、2-4cm大のアサリ中量、2-3cm大のシオフキ・オキシジミ少量、マガキ・アカニシ少量、ハマグリ・ツノガイの合わせ貝無し |
| 76 | 混土員層 | 混土率20% (黒褐色土)、破砕率80%、2-4cm大のハマグリ破砕員主体、3-5cm大のサルボウ・オキシジミ少量、ウミナシ・ツメタガイ少量、オキシジミの合わせ貝微量 | 100 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率10%、ハイガイ主体、合わせ貝ほとんど無し/焼土粒子微量 |
| 77 | 混土員層 | 混土率30% (黒褐色土)、破砕率70%、2-4cm大のハマグリ破砕員主体、3-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 101 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率5%、貝種不明の破砕員主体、合わせ貝無し/ロームブロック・炭化物・白色物質微量 |
| 78 | 純貝層 | 破砕率5%、3-7cm大のハマグリ主体、2-5cm大のオキシジミ中量、2-5cm大のシオフキ、3-4cm大のサルボウ中量、マガキ・ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 102 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率90%、ハマグリ破砕員主体、合わせ貝無し |
| 79 | 混土員層 | 混土率40% (黒褐色土)、破砕率70%、2-5cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ主体、合わせ貝無し/ローム粒子少量 | 103 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率3%、破砕率90%、貝種不明の破砕員主体、破砕員の貝種・大きさ不明/ローム粒子少量/6層に類似 |
| 80 | 混土員層 | 混土率30% (黒褐色土)、破砕率30%、3-4cm大のオキシジミ・シオフキ主体、3-4cm大のハマグリ・サルボウ少量、アサリ・ウミナシ・カガミガイ少量、ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量 | 104 | 混土員層 | 混土率40% (黒褐色土)、破砕率10%、2-5cm大のハマグリ主体、2-4cm大のアサリ中量、サルボウ・ハイガイ・アカニシ・シオフキ微量、ハマグリ・アサリの合わせ貝微量 |
| 81 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率40%、破砕率20%、3-4cm大のハマグリ主体、4-6cm大のサルボウ中量、シオフキ・アサリ微量、サルボウの合わせ貝少量/102層と基本的に同じ | 105 | 混土員層 | 混土率5% (黒褐色土)、破砕率10%、3-4cm大のハマグリ主体、4-5cm大のハマグリ・ハイガイ・ウミナシ・ムラサキガイ・オキシジミ・カガミガイ・ウミナシ・アカニシ微量、ハイガイの合わせ貝微量/炭多量 |
| 82 | 混土員層 | 混土率5% (黒褐色土)、破砕率10%、2-5cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ主体、小形マガキ・オキシジミ中量、ウミナシ・アサリ少量、サルボウ・オキシジミ・シオフキ・ハマグリの合わせ貝少量 | 106 | 混土員層 | 混土率5% (黒褐色土)、破砕率10%、2-3cm大のハマグリ・マテガイ主体、4-5cm大のハマグリ・ハイガイ・ウミナシ・ムラサキガイ・オキシジミ・カガミガイ・ウミナシ・アカニシ微量、ハイガイの合わせ貝微量/炭多量 |
| 83 | 混土員層 | 混土率10% (黒褐色土)、破砕率70%、ハマグリ・サルボウ・シオフキの焼けた破砕員主体、合わせ貝無し | 107 | 混土員層 | 混土率5% (黒褐色土)、破砕率10%、2-4cm大のハマグリ主体、4-6cm大のハマグリ中量、6-8cm大のハマグリ少量、ハマグリ・アサリの合わせ貝微量 |
| 84 | 混土員層 | 暗褐色土主体、混土率5%、破砕率90%、ハマグリ・アサリ・オキシジミの破砕員主体、アカニシ微量、合わせ貝無し/ロームブロック多量、焼土ブロック・炭化物中量、炭化物微量 | 108 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率10%、破砕率20%、2-5cm大のハマグリ主体、カガミガイ・マテガイ微量、合わせ貝ほとんど無し/炭化物中量 |
| 85 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率40%、破砕率60%、サルボウ主体、ハマグリ・オキシジミ少量、マガキ・カガミガイ少量、合わせ貝ほとんど無し | 109 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率10%、2-5cm大のハマグリ主体、2-3cm大のハイガイ少量、ウミナシ・マガキ少量、ハマグリ・アサリの合わせ貝微量/炭中量 |
| 86 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率40%、3-4cm大のオキシジミ主体、2-5cmのハマグリ・サルボウ・シオフキ少量、ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 110 | 混土員層 | 混土率40% (黒褐色土)、破砕率10%、2-5cm大のハマグリ主体、3cm大のハイガイ少量、2-3cm大のアサリ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 87 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率80%、4-6cm大のハマグリ主体、サルボウ中量、シオフキ少量、ツメタガイ・ウミナシ少量、合わせ貝ほとんど無し | 111 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率50%、破砕率10%、3-6cm大のハマグリ主体、ハイガイ少量、アサリ・イボニシ・カガミガイ・マテガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 88 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率7%、破砕率100%、ハマグリ・シオフキの破砕員主体、合わせ貝無し/焼土ブロック中量、炭化物少量 | 112 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率25%、破砕率50%、3cm大のハマグリ主体、ハイガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 89 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率70%、3-6cm大の焼けたハマグリ破砕員主体、シオフキ・アカニシ少量、合わせ貝無し/焼土ブロック中量、炭化物少量 | 113 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率10%、2-5cm大のハマグリ主体、ハイガイ・マガキ少量、アカニシ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 90 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率40%、破砕率60%、ハマグリ・サルボウの破砕員主体、合わせ貝無し/ローム粒子・焼土粒子少量 | 114 | 混土員層 | 混土率5% (黒褐色土)、破砕率10%、2-3cm大のハマグリ主体、4-6cm大のハマグリ・2-3cm大のハイガイ中量、2-3cm大のオキシジミ少量、マテガイ微量、ハイガイの合わせ貝微量 |
| 91 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率90%、ハマグリ・アサリの破砕員主体、合わせ貝無し | 115 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率10%、2-3cm大のハマグリ主体、合わせ貝無し/ローム粒子・焼土粒子・炭化物少量 |
| | | | 116 | 混土員層 | 黒褐色土主体、混土率3%、破砕率10%、ハマグリ主体、合わせ貝無し/ローム粒子・少量、炭化物少量 |
| | | | 117 | 黒褐色土 | ローム粒子・焼土粒子・炭化物粒子、白色物質微量、粘性・締まり弱い |
| | | | 118 | 黒色土 | ローム粒子・焼土粒子微量、粘性・締まり普通 |
| | | | 119 | 黒褐色土 | ローム粒子中量、ロームブロック少量、粘性・締まり普通 |

| | | | | | |
|-----|------|--|-----|------|---|
| 120 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-5cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミの合わせ貝ほとんど無し | 145 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率10%、破砕率60%、2-4cm大のハマグリ・サルボウの破砕貝主体、合わせ貝無し |
| 121 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率70%、2-5cm大のハマグリ主体、破砕率30%、3-4cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・カガミガイ微量、合わせ貝ほとんど無し | 146 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率50%、2-5cm大のハマグリ・サルボウ主体、合わせ貝ほとんど無し |
| 122 | 純貝層 | 破砕率20%、2-5cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し、ハマグリは小形のものが主体 | 147 | 黒褐色土 | ロームブロック・堆土ブロック・炭化物中量、前期層間と中期層間の間、粘性・締まり弱い |
| 123 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率70%、2-3cm大のハマグリ・サルボウの破砕貝主体、オキシジミ・アカニシ・イボニシ微量、合わせ貝無し | 148 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率70%、ハマグリ破砕貝主体、合わせ貝無し |
| 124 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のシオフキ中量、2-4cm大のサルボウ少量、ウミナナ・カガミガイ微量、合わせ貝ほとんど無し | 149 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率50%、ハマグリ破砕貝主体、合わせ貝無し |
| 125 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-7cm大のハマグリ主体、2-5cm大のシオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し | 150 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-6cm大のハマグリ主体、合わせ貝ほとんど無し |
| 126 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-3cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 151 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ少量、ウミナナ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 127 | 混貝土層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 152 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 128 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 153 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 129 | 混貝土層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナナ微量、ハマグリは小形のものが主体 | 154 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 130 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し | 155 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率60%、2-6cm大のハマグリ主体、破砕率30%、3-5cm大のサルボウ少量、合わせ貝無し |
| 131 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率20%、3-7cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、オキシジミ・ウミナナ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し | 156 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ中量、3-5cm大のシオフキ少量、イボニシ・ウミナナ・アカガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 132 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率10%、3-5cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 157 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、マガキ・ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 133 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率30%、2-4cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ主体、カガミガイ少量、合わせ貝ほとんど無し | 158 | 純貝層 | 破砕率20%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ・2-5cm大のシオフキ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 134 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率20%、2-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、2-5cm大のハマグリ少量、サルボウ微量、合わせ貝ほとんど無し | 159 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ・シオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 135 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率30%、2-5cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ少量、オキシジミ・シオフキ・ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 160 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率20%、2-4cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・3-4cm大のオキシジミ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 136 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率70%、2-6cm大のハマグリ破砕貝主体、2-5cm大のサルボウ少量、ウミナナ微量、合わせ貝無し | 161 | 純貝層 | 破砕率20%、2-6cm大のハマグリ・3-5cm大のサルボウ・シオフキ主体、3-5cm大のオキシジミ少量、ウミナナ・マガキ・イボニシ・カガミガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 137 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、3-4cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し | 162 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率45%、破砕率10%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ・3-4cm大のオキシジミ少量、ウミナナ・マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 138 | 純貝層 | 破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 163 | 純貝層 | 破砕率20%、2-7cm大のハマグリ・2-6cm大のサルボウ主体、3-5cm大のシオフキ少量、ウミナナ・マガキ・カガミガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 139 | 混貝土層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率30%、2-7cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・シオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し | 164 | 混貝土層 | 黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率20%、2-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のサルボウ中量、3-5cm大のオキシジミ・ウミナナ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 140 | 混貝土層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し | 165 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率20%、3-6cm大のハマグリ主体、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ中量、3-4cm大のサルボウ少量、ウミナナ微量、オキシジミの合わせ貝微量 |
| 141 | 純貝層 | 破砕率20%、2-5cm大のハマグリ主体、2-5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・マガキ・ウミナナ微量、ハマグリは小形のものが主体 | 166 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、3-7cm大のハマグリ主体、3-5cm大のオキシジミ・マガキ中量、サルボウ・ウミナナ少量、ハマグリは小形のものが主体 |
| 142 | 純貝層 | 破砕率20%、2-5cm大のサルボウ主体、2-5cm大のハマグリ・2-4cm大のシオフキ少量、2-4cm大のオキシジミ微量、合わせ貝ほとんど無し | 167 | 混貝土層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率10%、2-7cm大のハマグリ主体、3-5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 143 | 混貝土層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率40%、3-5cm大のサルボウ・2-4cm大のシオフキ主体、2-5cm大のハマグリ少量、アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 168 | 純貝層 | 破砕率5%、2-7cm大のハマグリ主体、2-6cm大のサルボウ少量、3-5cm大のオキシジミ・ウミナナ・イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 144 | 混貝土層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率30%、2-6cm大のサルボウ主体、2-7cm大のハマグリ少量、オキシジミ・アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 170 | 混貝土層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率40%、3-6cm大のハマグリ主体、オキシジミ・ウミナナ中量、シオフキ・サルボウ少量、イボニシ・マガキ・ナミマガシ微量、ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量 |

| | | | | | |
|-----|------|--|-----|------|--|
| 171 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2～6cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ・シオフキ少量、ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 197 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率30%、2～5cm大のハマグリ主体、2～4cm大のハマガイ中量、合わせ貝ほとんど無し |
| 172 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2～6cm大のハマグリ主体、2～5cm大のサルボウ・オキシジミ少量、イボニシ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 198 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率60%、2～4cm大のハマグリ破砕質主体、2～3cm大のマガキ・ハイガイ・カガミガイ微量、合わせ貝無し |
| 173 | 純貝層 | 破砕率10%、2～7cm大のハマグリ主体、2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナシ・イボニシ・アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 199 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率80%、ハマグリ・アサリの破砕質主体、マガキ・カガミガイ微量、合わせ貝無し |
| 174 | 混土質層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率20%、2～6cm大のハマグリ主体、3～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、イボニシ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 200 | 混土質層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率20%、2～4cm大のアサリ少量、2～5cm大のハマグリ中量、3～4cm大のサルボウ少量、オキシジミ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量 |
| 175 | 混土質層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率10%、2～7cm大のハマグリ主体、3～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し、ハマグリは大型のものが主体 | 201 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率15%、破砕率90%、ハマグリ破砕質主体、アサリ微量、合わせ貝無し |
| 176 | 混土質層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率20%、2～3cm大のハマグリ主体、3～5cm大のオキシジミ・シオフキ少量、サルボウ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 202 | 混土質層 | 混土率15%（黒褐色土）、破砕率20%、4～5cm大のハマグリ主体、アサリ・カガミガイ少量、ハイガイ・7～8cm大のチョウセンハマグリ微量、ハマグリ・アサリの合わせ貝微量 |
| 177 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率30%、3～6cm大のハマグリ主体、3～4cm大のシオフキ中量、オキシジミ・サルボウ少量、カガミガイ・イボニシ微量、オキシジミの合わせ貝微量 | 203 | 混土質層 | 混土率10%（黒褐色土）、破砕率5%、3～5cm大のアサリ主体、3～5cm大のハマグリ中量、ハイガイ・オキシジミ微量、アサリ・ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量 |
| 178 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率70%、2～4cm大のハマグリ破砕質主体、2～4cm大のサルボウ少量、合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量 | 204 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、3～6cm大のハマグリ主体、ハイガイ・アカニシ微量、ハマグリ・カガミガイの合わせ貝微量 |
| 179 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率60%、2～5cm大のハマグリ破砕質主体、ウミナシ微量、合わせ貝無し | 205 | 純貝層 | 破砕率20%、2～5cm大のハマグリ主体、2～3cm大のハマガイ・アサリ少量、シオフキ・アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量 |
| 180 | 混土質層 | 混土率50%（黒褐色土）、破砕率40%、2～3cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 206 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、3～6cm大のハマグリ主体、ハイガイ中量、ウミナシ・アサリ・マガキ・カガミガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 181 | 黒褐色土 | 混土率50%（黒褐色土）、破砕率40%、2～3cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 207 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率50%、破砕率60%、2～5cm大のハマグリ破砕質主体、ウミナシ・カガミガイ・アサリ・マガキ微量、合わせ貝無し |
| 182 | 混土質層 | 混土率45%（黒褐色土）、破砕率70%、4～6cm大のサルボウ主体、オキシジミ・シオフキ・マガキ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | 208 | 混土質層 | 混土率15%（黒褐色土）、破砕率30%、3～6cm大のハマグリ主体、イボニシ・ハイガイ・カガミガイ・ウミナシ・マテガイ・マガキ・シオフキ・アサリ微量、ハマグリ・アサリの合わせ貝微量 |
| 183 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率20%、2～5cm大のサルボウ主体、2～4cm大のハマグリ・3～4cm大のシオフキ少量、合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量 | 209 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率60%、3～5cm大のハマグリ主体、ハイガイ中量、カガミガイ・サルボウ・オキシジミ・アサリ・マガキ微量、ハマグリ・ハイガイの合わせ貝微量/炭化物少量 |
| 184 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率30%、3～5cm大のサルボウ主体、2～4cm大のシオフキ・ハマグリ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土ブロック少量 | 210 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率30%、2～5cm大のハマグリ主体、2～4cm大のサルボウ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 185 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率90%、ハマグリ・アサリの破砕質主体、カガミガイ微量、合わせ貝無し | 211 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率10%、破砕率30%、2～4cm大のハマグリ主体、2～4cm大のサルボウ少量、合わせ貝ほとんど無し |
| 186 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率40%、2～6cm大のハマグリ主体、3～4cm大のシオフキ・サルボウ少量、マガキ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量 | 212 | 混土質層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率60%、2～4cm大のハマグリ主体、2～4cm大のアサリ中量、アカニシ微量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量 |
| 187 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率20%、2～5cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量、ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・炭化物少量 | 213 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率10%、破砕率80%、2～4cm大のハマグリ破砕質主体、2～4cm大のサルボウ少量、合わせ貝無し |
| 188 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率90%、ハマグリ・サルボウの破砕質主体、合わせ貝無し/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量 | 214 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率30%、2～4cm大のハマグリ主体、2～4cm大のハイガイ・カガミガイ少量、合わせ貝無し/ローム粒子少量 |
| 189 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率50%、破砕率90%、ハマグリ・アサリの破砕質主体、合わせ貝無し/焼土ブロック・炭化物・灰中量 | 215 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率5%、4～5cm大のハマグリ主体、焼けたハマグリ少量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量 |
| 190 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率90%、ハマグリ・アサリの破砕質主体、マガキ・アカニシ微量、合わせ貝無し | 216 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率20%、3～5cm大のハマグリ主体、3～4cm大のシオフキ中量、3～4cm大のサルボウ少量、マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量 |
| 191 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率10%、破砕率90%、3～4cm大のハマグリ破砕質主体、焼けたハマグリ・アカニシ微量、合わせ貝無し/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量 | 217 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率5%、破砕率50%、4～5cm大のハマグリ主体、サルボウ微量、合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・炭化物少量、焼土粒子微量 |
| 192 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率10%、破砕率50%、2～4cm大のハマグリ主体、3～4cm大のサルボウ中量、マガキ・シオフキ微量、サルボウ・シオフキの合わせ貝少量/焼土ブロック・炭化物少量 | 218 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率40%、破砕率20%、2～5cm大のハマグリ主体、オキシジミ微量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量 |
| 193 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率30%、破砕率20%、4～6cm大のハマグリ主体、サルボウ・オキシジミ・シオフキ・マガキ・アカニシ微量、サルボウの合わせ貝微量 | 219 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率5%、4～5cm大のハマグリ主体、7～8cm大のチョウセンハマグリ・ハイガイ・マガキ・アカニシ・シオフキ微量、合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量 |
| 194 | 混土質層 | 混土率15%（黒褐色土）、破砕率10%、2～4cm大のアサリ主体、ハマグリ微量、合わせ貝ほとんど無し | 220 | 混土質層 | 黒褐色土主体、混土率20%、破砕率90%、ハマグリ・アサリの破砕質主体、マガキ・アカニシ微量、合わせ貝無し |
| 195 | 混土質層 | 混土率20%（黒褐色土）、破砕率10%、2～4cm大のアサリ主体、3～5cm大のハマグリ中量、ハイガイ少量、ウミナシ微量、アサリの合わせ貝少量 | 221 | 混土質層 | 混土率30%（黒褐色土）、破砕率10%、3～5cm大のハマグリ・2～4cm大のアサリ主体、ハイガイ微量、合わせ貝ほとんど無し |
| 196 | 混土質層 | 混土率40%（黒褐色土）、破砕率40%、2～5cm大のハマグリ主体、2～4cm大のハイガイ中量、5～8cm大のチョウセンハマグリ・ウミナシ微量、合わせ貝ほとんど無し | | | |

| | | | | | |
|-----|------|---|-----|------|--|
| 222 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 2-5 cm 大のハマグリ主体, 3-4 cm 大のハイガイ少量, 3-4 cm 大のアサリ・シオフキ微量, ハマグリを含むせ貝微量/焼土ブロック・灰少量 | 236 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率10%, 3-4 cm 大のハマグリ主体, アサリ・シオフキ・カガミガイ・ハイガイ少量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量 |
| 223 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 2-4 cm 大のハマグリ主体, ハイガイ・マガキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土ブロック少量 | 237 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率80%, ハマグリ・破砕貝主体, マテガイ少量, アサリ・シオフキ・マガキ微量, 合わせ貝無し |
| 224 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率7%, 破砕率20%, 3-4 cm 大のハマグリ主体, マガキ, 焼けたアサリ微量, 合わせ貝ほとんど無し/灰微量 | 238 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率50%, 2-3 cm 大のハマグリ主体, 2 cm 大のアサリ中量, ハイガイ少量, アカニシ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し |
| 225 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率70%, 3-4 cm 大のハマグリ・破砕貝主体, 合わせ貝無し/ロームブロック・炭化物少量 | 239 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率90%, ハマグリ・ハイガイの破砕貝主体, オキシジミ少量, 合わせ貝無し |
| 226 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率10%, 3-5 cm 大のハマグリ主体, アサリ微量, 合わせ貝ほとんど無し | 240 | 混土貝層 | 混土率30% (黒褐色土), 破砕率40%, 2-4 cm 大のハマグリ主体, 2-3 cm 大のアサリ中量, ハイガイ少量, マガキ・カガミガイ・オキシジミ微量, 合わせ貝ほとんど無し |
| 227 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率30%, 3-4 cm 大のハマグリ主体, 合わせ貝無し | 241 | 混土貝層 | 混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 3-4 cm 大のハマグリ主体, オキシジミ・ハイガイ少量, マガキ・イボニシ・ウミナ微量, ハマグリを含むせ貝微量 |
| 228 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率10%, 2-6 cm 大のハマグリ主体, サルボウ・マガキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/ローム粒子微量 | 242 | 混土貝層 | 混土率30% (黒褐色土), 破砕率20%, 3-4 cm 大のハマグリ・マテガイ主体, ハイガイ少量, アサリ・マガキ・アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し, ハマグリ・マテガイの層 |
| 229 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率30%, 2-4 cm 大のハマグリ主体, ハイガイ・マテガイ・マガキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量 | 243 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 3 cm 大のハマグリ・1-3 cm 大のハイガイ主体, マガキ・オキシジミ少量, アカニシ・ツノガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し |
| 230 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率40%, 2-4 cm 大のハマグリ主体, 合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土ブロック・灰少量 | 244 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率80%, 3-6 cm 大のハマグリ・破砕貝主体, ハイガイ中量, アカニシ・マガキ・7-8 cm 大のハマグリ少量, マテガイ微量, 合わせ貝無し/魚骨少量 |
| 231 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率15%, 破砕率10%, 3-5 cm 大のハマグリ主体, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量 | 245 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率90%, ハマグリ・破砕貝主体, オキシジミ・ハイガイの破砕貝主体, 合わせ貝無し/焼土ブロック・ローム粒子・炭化物少量 |
| 232 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率90%, ハマグリ・破砕貝主体, アサリ中量, 合わせ貝無し | 246 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率90%, ハマグリ・ハイガイの破砕貝主体, 合わせ貝無し/焼土ブロック・ローム粒子微量 |
| 233 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率70%, 3-4 cm 大のハマグリ・破砕貝主体, アサリ中量, シオフキ少量, カガミガイ・ウミナ微量, 合わせ貝無し | 247 | 褐色土 | ロームブロック中量, 粘性強い, 綿り普通 |
| 234 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率80%, 2-5 cm 大のハマグリ・破砕貝主体, オキシジミ・ハイガイ・アサリ微量, 合わせ貝無し | | | |
| 235 | 混貝土層 | 黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率40%, 3-5 cm 大のハマグリ主体, ハイガイ中量, マテガイ少量, マガキ・ウミナ・カガミガイ微量, ハイガイの合わせ貝微量 | | | |

オ 遺物の出土状況 (第156-172図)

斜面貝層からは, 多量の人工遺物と自然遺物などが出土している。縄文土器片の総数は167,479点で, 総重量は約3642kgである。主要な人工遺物の出土点数は石器・石製品877点, 土器片・土器片内盤1580点, 土製品26点, 骨角歯牙製品178点, 貝製品が17点である。また, 自然遺物の人骨・動物遺存体・魚類遺存体などは159.2kgに達している。第156-172図は, 主な人工遺物と自然遺物の出土状況について, 種別毎の平面及び垂直分布図である。垂直分布については, 単位グリッド内における遺物の出土位置から, より近い断面図に投影する必要から, 1m間隔に単位グリッドを分割して, 出土地点の遺物投影による誤差を極力なくすように試みた。ただし, 縦断面に比べて横断面では, 傾斜による遺物投影の誤差が大きくなり, 各層との対応関係や整合性にはばらつきが見られる。あくまでも出土層位の目安であり, 単純に対比することはできない。

以下では, 主な土器, 石器・石製品, 土器片・土器片内盤, 土製品, 骨角歯牙製品, 貝製品について, その出土状況の概略を述べ, 遺物の詳細を実測図及び観察表に掲載する。なお, 動物遺存体の鑑定については金子浩昌氏から助言を, コラムサンプルによる貝類及び魚類については, 榎泉岳二氏, 黒住耐二氏の協力を得た。それらの詳細は下巻「付録」を参照されたい。

土器の大半は大形破片で, 純貝層, 混貝土層の順に出土量が多くなり, 貝層形成直前ないし直後に投棄している傾向が看取できる。出土土器の多くは中期後葉の加曽利E II 式期に属するもので, 略完形や大形破片を中心にまとまって出土している。特に, KA 3 e3・4, KB 3 a4, KB 3 b4, KB 3 c4, KB 3 d3・4, KB 3 e3, KC 3 a1・2, KC 3 a3, KC 3 b1・2, KB 2 d2, KB 2 e3, KC 3 a2区付近には, 当該期に属する多量の土器片が, 幅約2-3mの弧状に廃棄ブロックを形成して分布している。また, その内側には幅約0.5

～1mの土器片の分布が極端に少ない弧状の範囲を挟んで、径約10mの範囲で前期中葉の植房式期と中期後葉の加曾利EⅠ～Ⅱ式期に属する土器片が集中的に分布している。さらに、KB3 d4・5、KC3 a3～5、KC2 b1～5、KC3 b1～5、KC2 c3～5、KC3 c1～3区付近には、中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅳ式期、主体は加曾利EⅢ式期に属する土器片が、広範囲に比較的散漫な状態で分布している。確認できた土器片同士の接合関係はあまり多くはない。主体となる土器片に周囲に点在した土器片が接合する程度の事例が大半で、広域にわたる接合関係はわずかである。

石器・石製品は、ほぼ貝層全面から出土しており、目立った集中傾向は看取できない。その多くが中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期に属するものが主体である。中でも軽石製浮子のQ5、泥岩製垂飾りのQ208、磨製石斧のQ57・82・87・125・168・207は、いずれも前期中葉の植房式期相当層や貝層の基底部上面から出土しており、また、形態的な特徴からも前期に属すると考えられる。

土器片錘や土器片円盤の大半は、KB3 e2～5、KC3 a2～5、KC2 b1～5、KC3 b2～5、KC2 c2～5、KC3 c1～3区付近から出土している。特にKB3 e2～5、KC3 a2～5、KC2 b1～5区付近に集中して分布している。それらは、文様の特徴から中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期に属するものが主体で、前述した土器片の時期別の分布傾向と共通している。また、耳栓の大半は、前述した加曾利EⅡ式期に属する多量の土器片が分布している幅約2～3mの廃棄帯の内側から出土している。

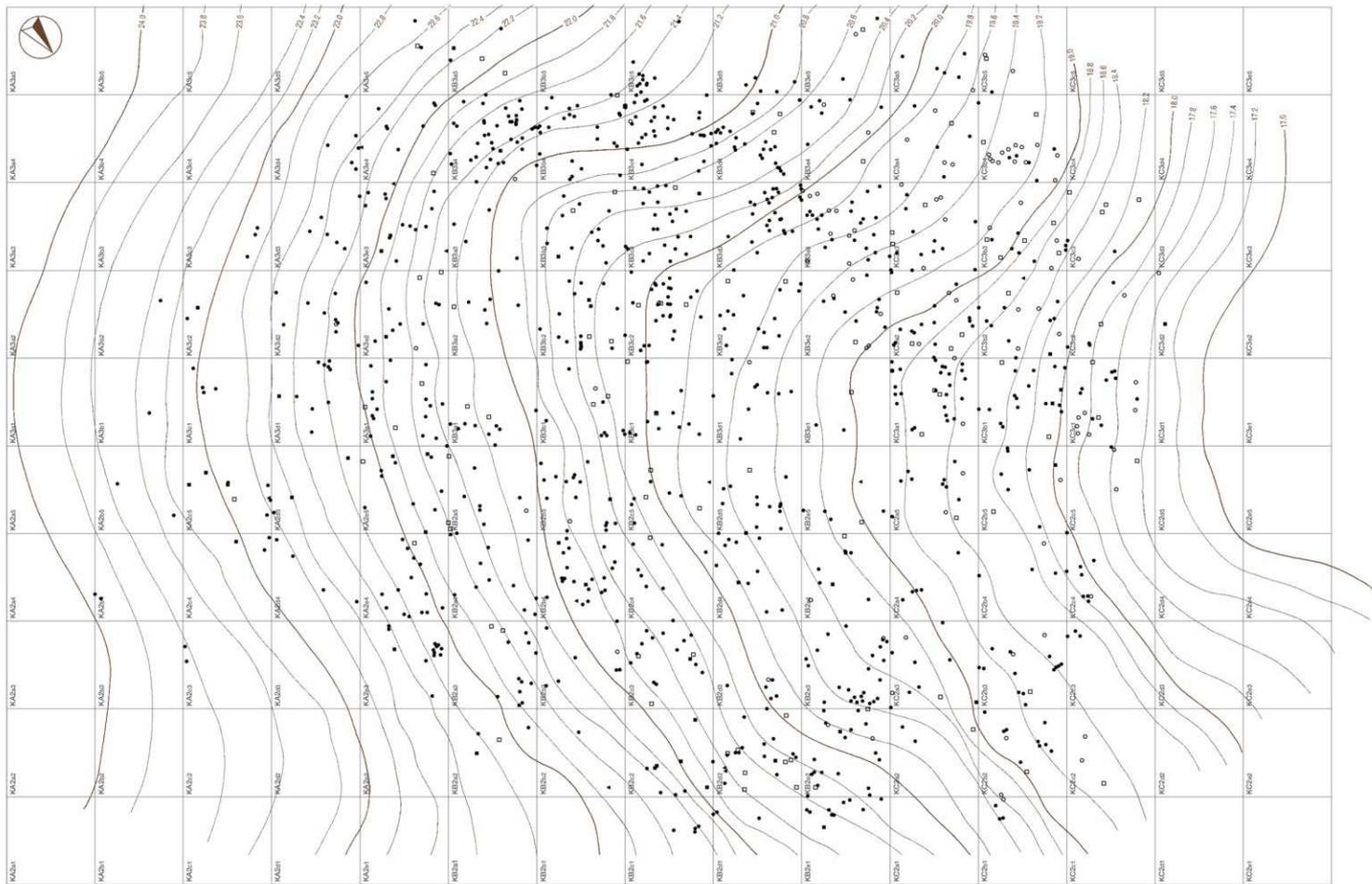
類例の少ないスプーン形土製品のDP53は、KB2 e2区の中期後葉の加曾利EⅡ式期相当層から出土している。また、土製垂飾りのDP903は、KC2 c5③区の第20ステージから出土しており、時期は中期後葉の加曾利EⅡ式期に属すると考えられる。大球形土製品のDP162は、KC2 c4③区の第17ステージから出土しており、時期は中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期に属すると考えられる。

骨角歯牙製品は、ほぼ貝層全面に広く散在する状況で出土している。鹿角製弓頭形角器のB1をはじめ、鹿角製逆棘付き刺突具やツキノワグマ・オオカミ・バンドウイルカ・アオザメなどの歯牙を加工した垂飾りなどは、斜面高所から中腹にかけての前期中葉の植房式期相当層から出土している。鋸歯状の線刻が施されたイノシシの肩甲骨のB151は、KB2 d3区の第23ステージ、中期後葉の加曾利EⅠ～Ⅱ式期相当層から出土している。斜面中腹から低所に広く分布している鹿角製刺突具の多くや、KC2 a5区の磨製刃器のB178などは、中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期相当層から出土している。確認できた唯一の鹿角製釣り針のB70は、KB2 b2①②区の第5ステージ、中期後葉の加曾利EⅢ式期相当層から出土している。

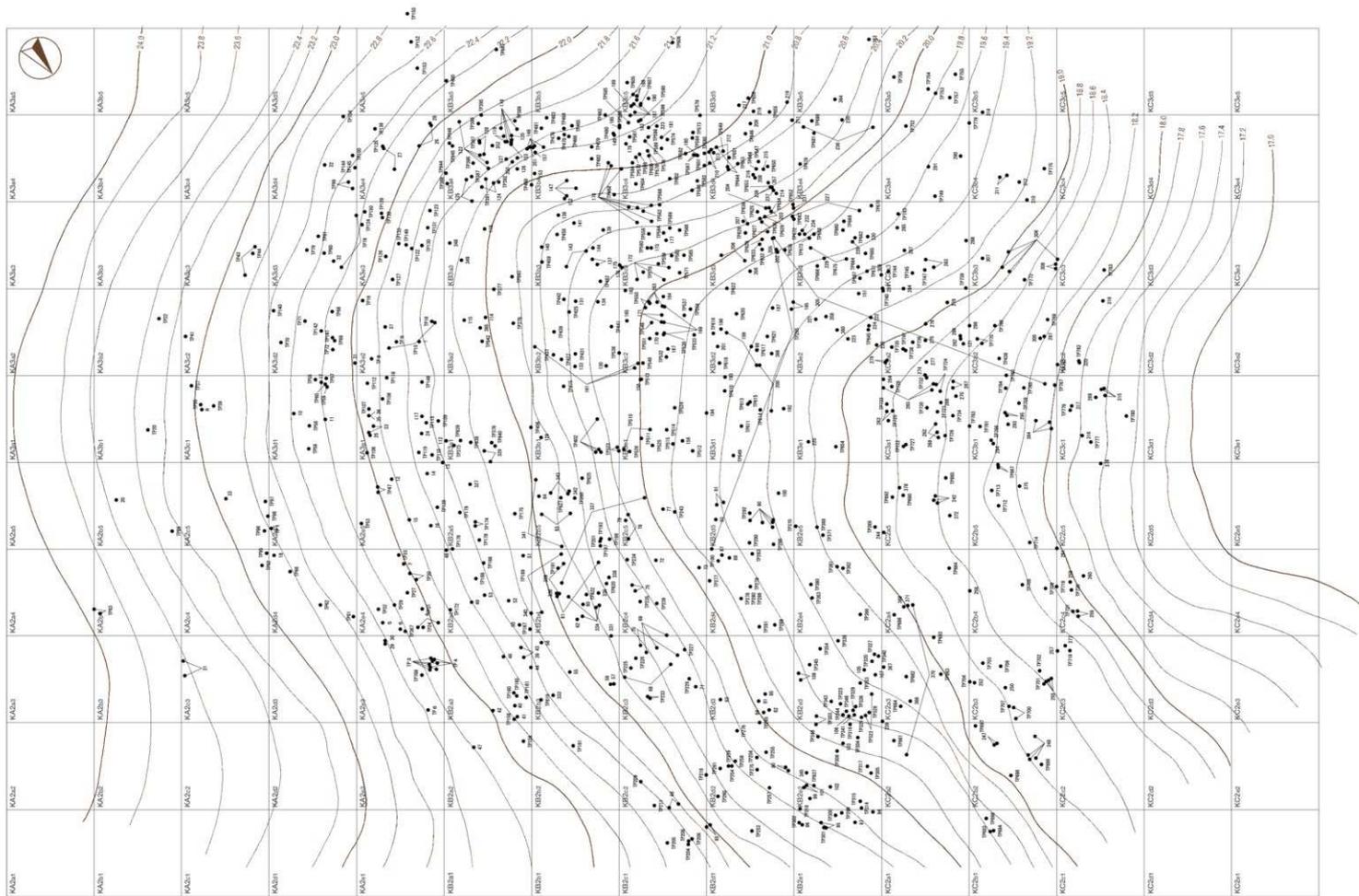
貝製品は、ほぼ貝層全面に散在する状況で、貝輪のS3、貝刃のS4・5は、KB3 e3・4区の中期後葉の加曾利EⅠ～Ⅱ式期相当層から、貝輪のS2・11・12は、前期中葉の植房式期相当層から出土している。タカラガイ科ホンダワラの加工品のS16は、中期後葉の加曾利EⅡ式期相当層から、化石と推測できる貝器のS6・10は、中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期相当層から、貝製品素材のS13は、前期中葉の植房式期相当層から出土している。



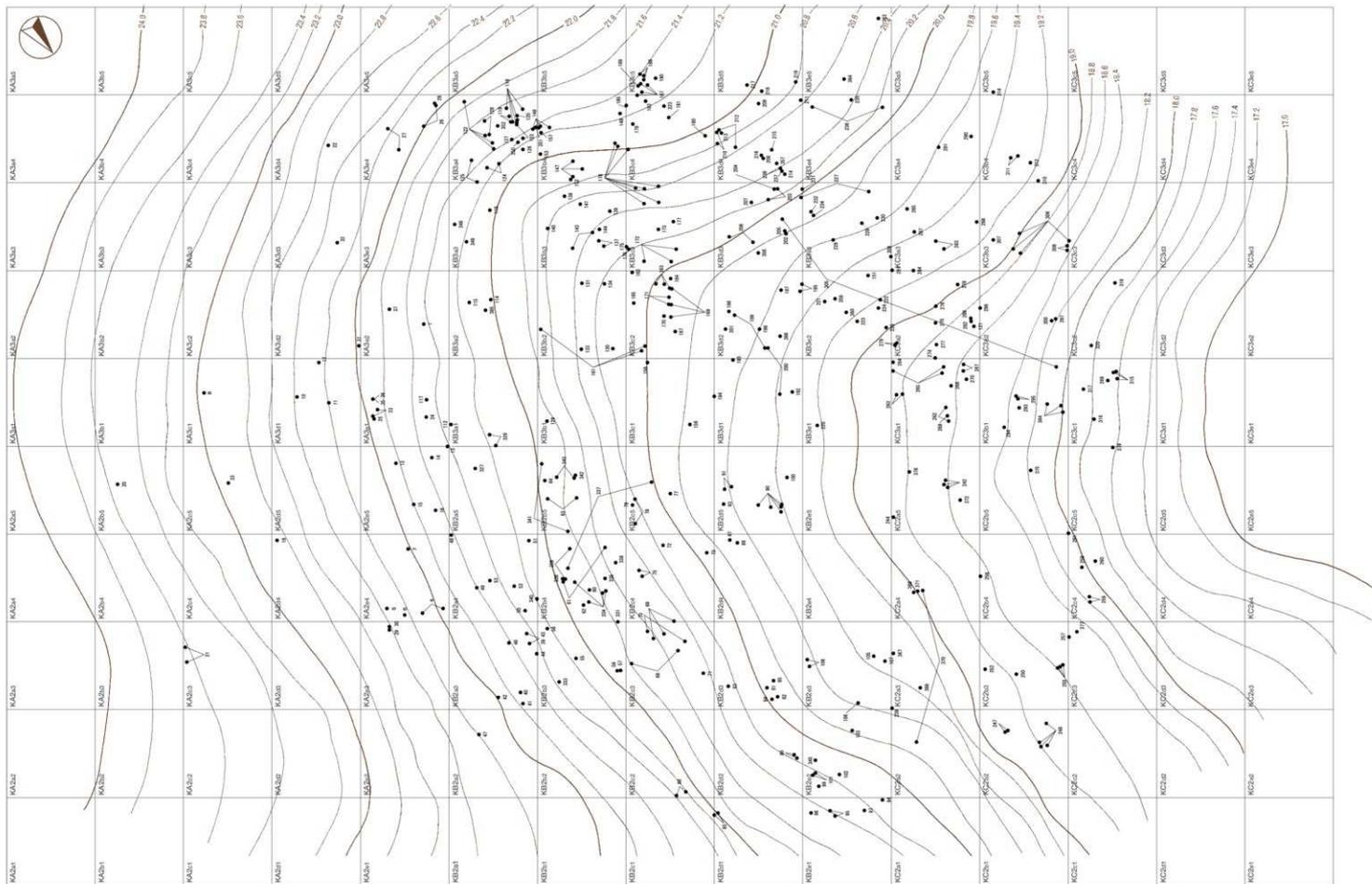
写真⑤ 斜面貝層の調査（遺物の出土状況/左- 縄文土器 右- 鹿角と磨石）



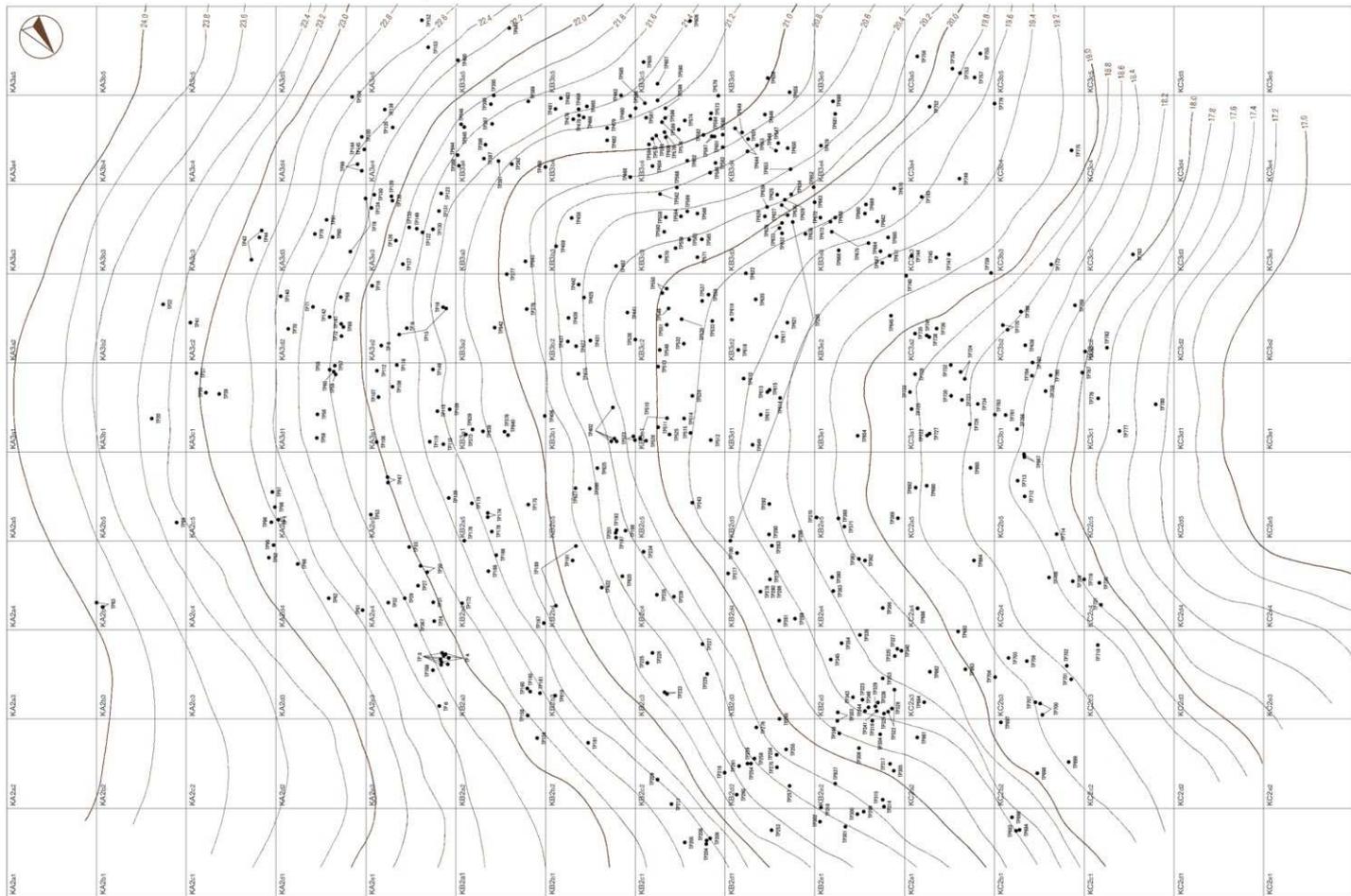
第156図 斜面貝層遺物出土状況図(土器・土製品・石器・石製品・骨角歯牙製品・貝製品)



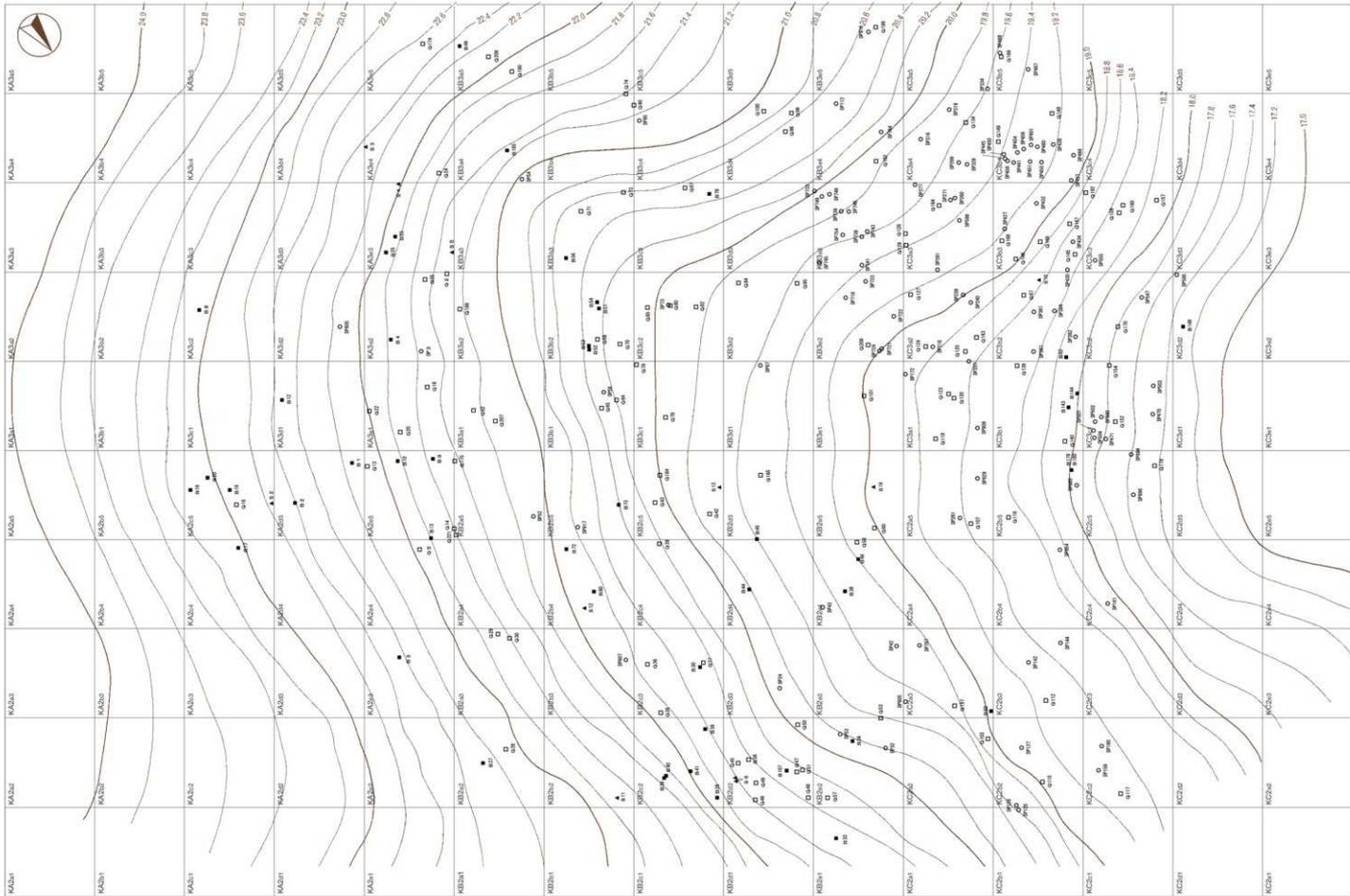
第157図 斜面貝層遺物出土状況図(土器)



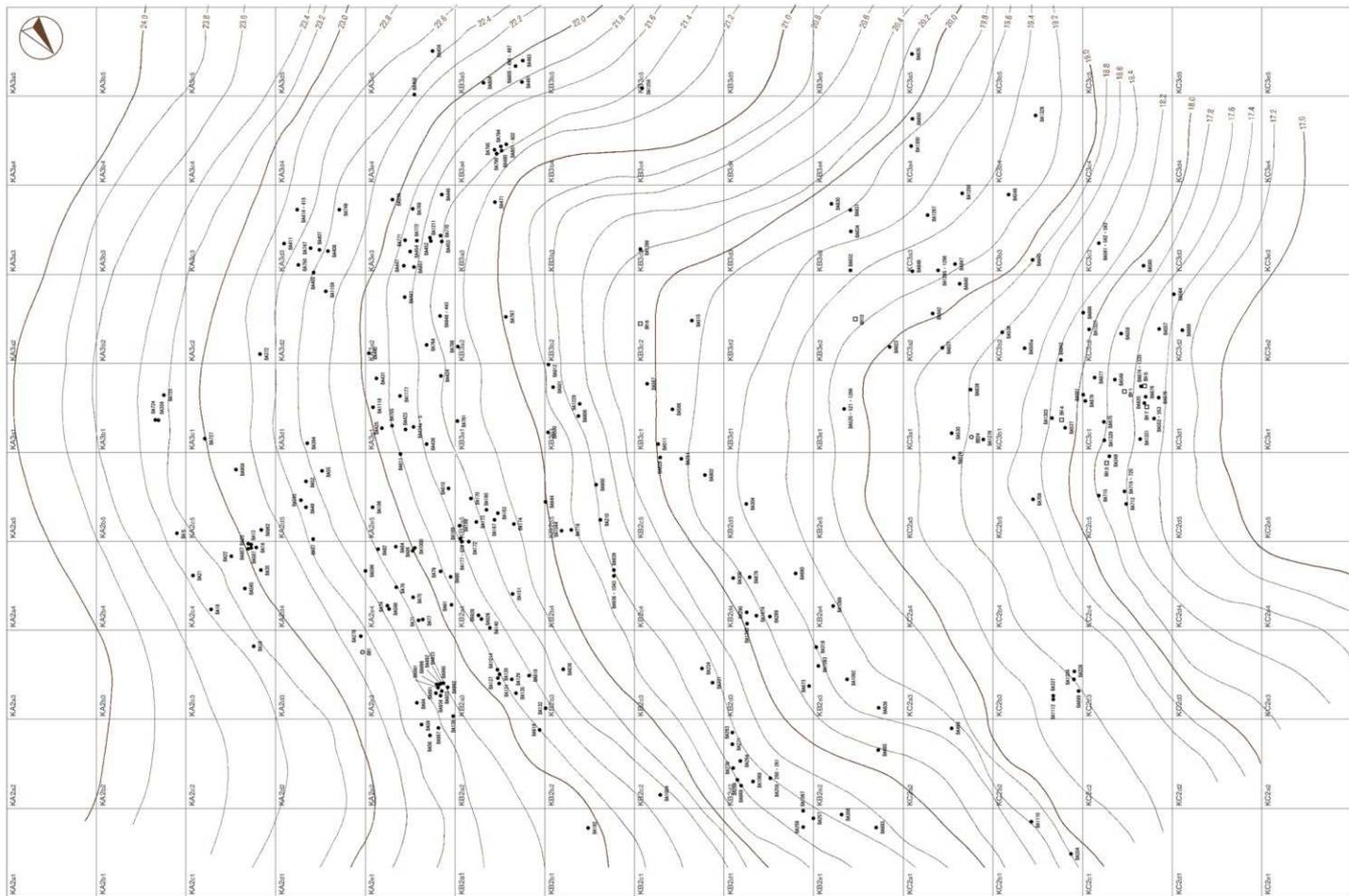
第158図 斜面貝層遺物出土状況図(実測土器)



第159図 斜面貝層遺物出土状況図(拓本土器)



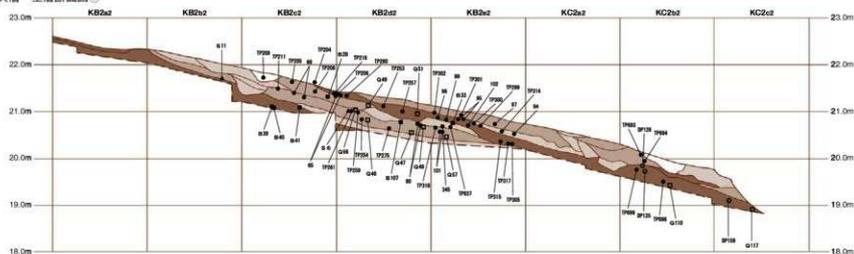
第160图 斜面貝層遺物出土状況図(土製品・石器・石製品・骨角歯牙製品・貝製品)



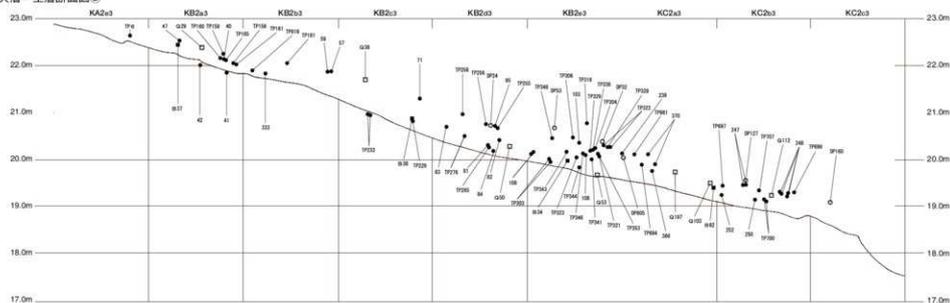
第161図 斜面貝層遺物出土状況図(骨角歯牙)

- 凡例
- 土
 - 混貝土層
 - 混土貝層
 - 純貝層
 - 表土・攪乱

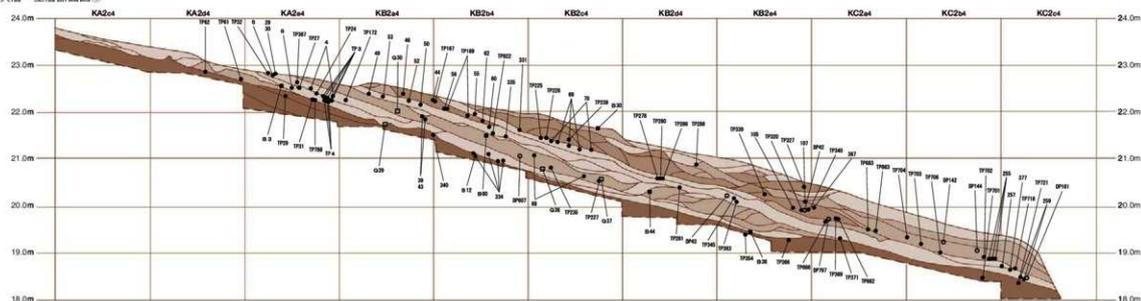
貝層・土層断面図①



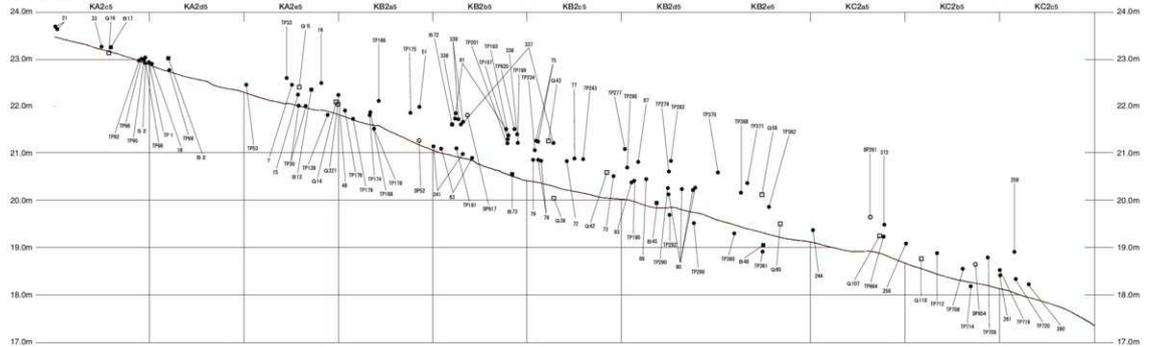
貝層・土層断面図②



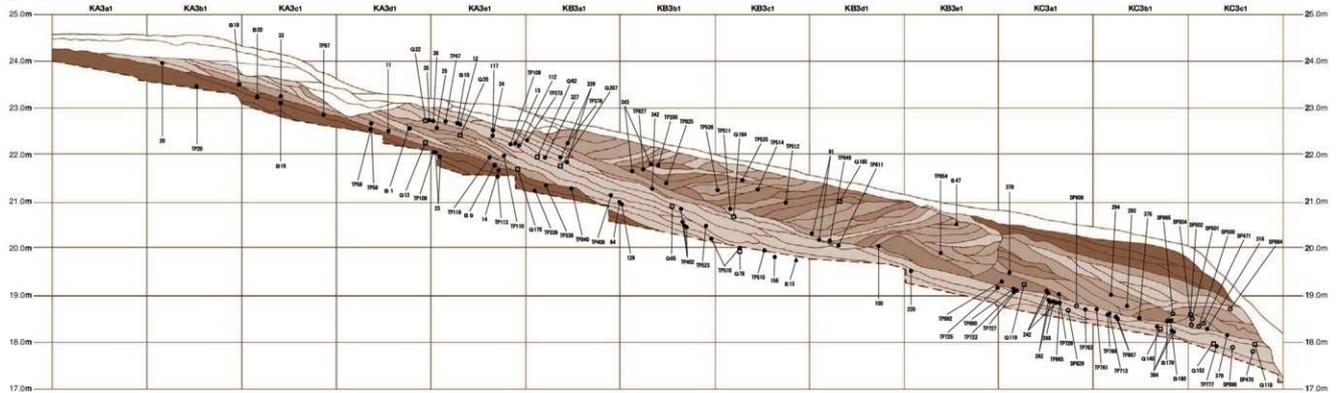
貝層・土層断面図③



貝層・土層断面図④

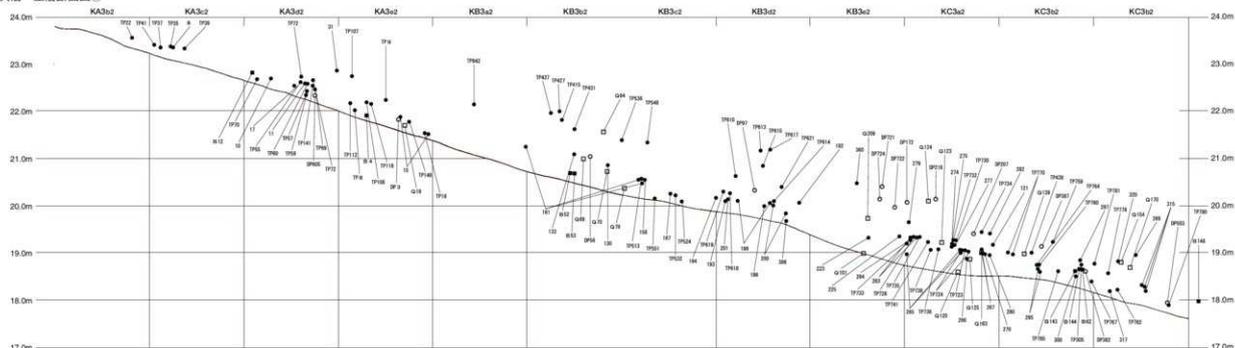


貝層・土層断面図⑤

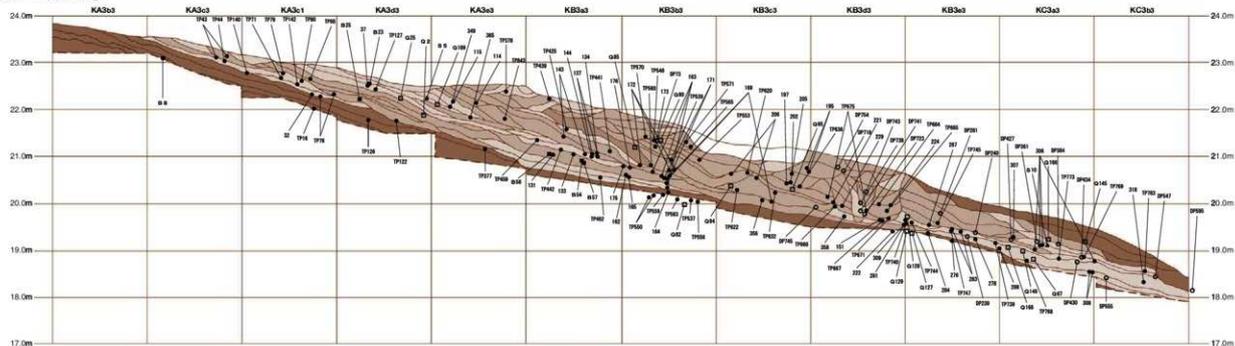


0 2m

貝層・土層断面⑥

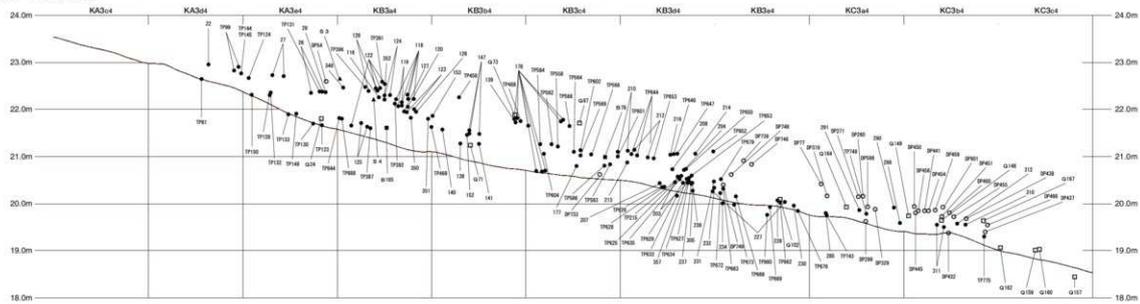


貝層・土層断面⑦

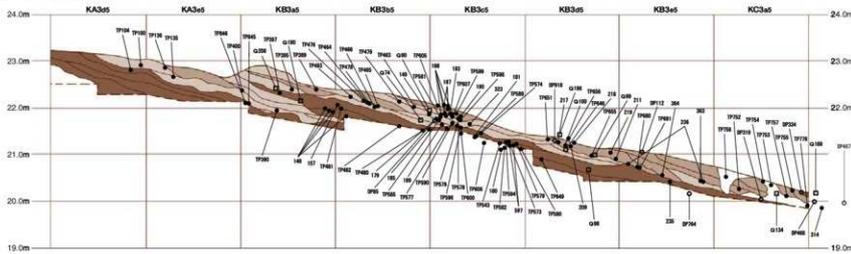


0 2m

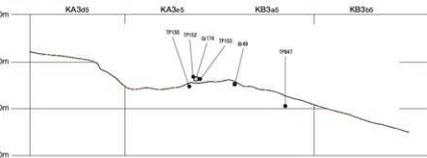
貝層・土層断面図⑧



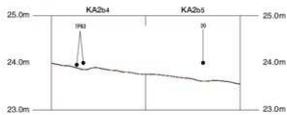
貝層・土層断面図⑨



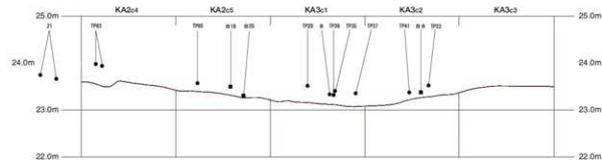
貝層・土層断面図⑩



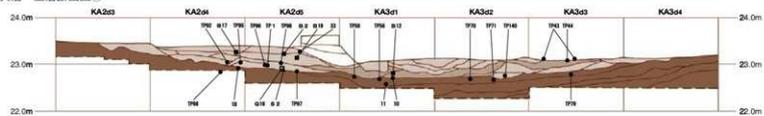
土層・貝層断面図a)



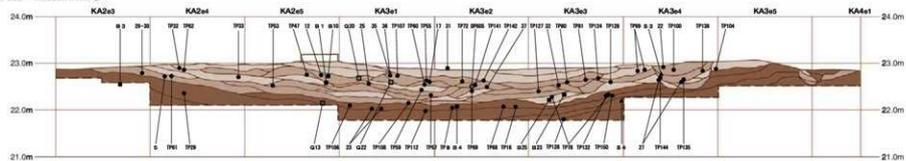
土層・貝層断面図b)



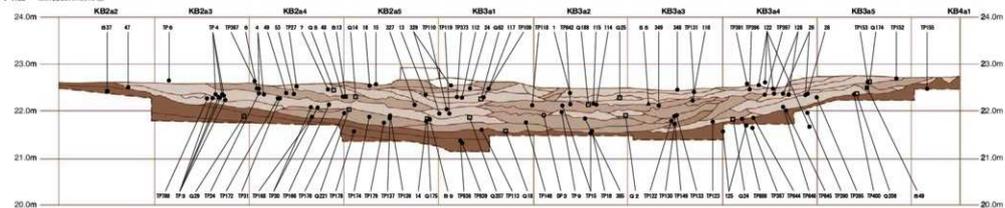
貝層・土層断面図③



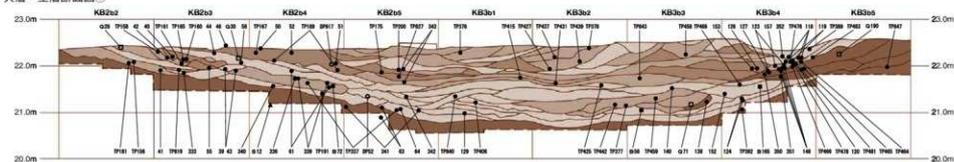
貝層・土層断面図④



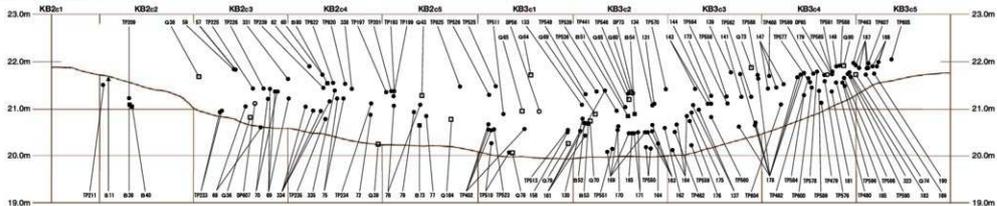
貝層・土層断面図⑤



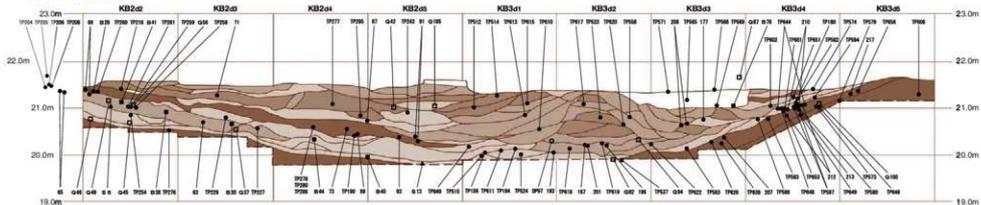
貝層・土層断面図⑦



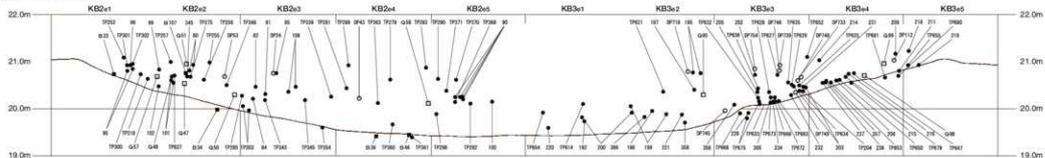
貝層・土層断面図⑥



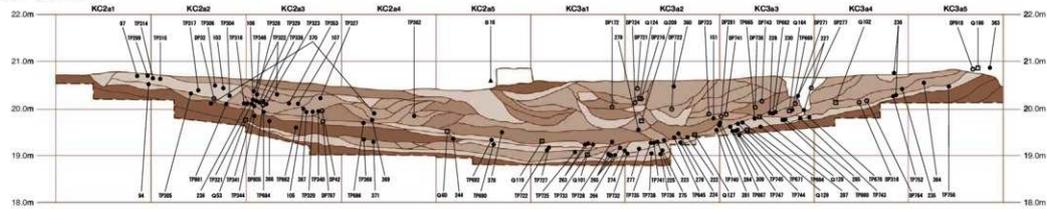
貝層・土層断面図⑦



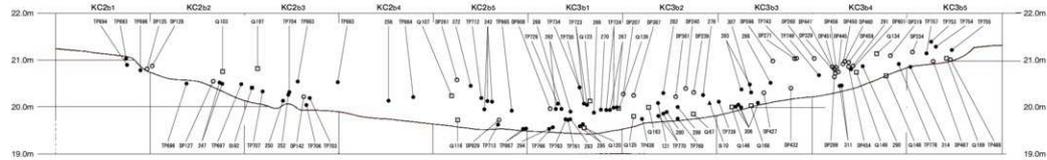
貝層・土層断面図⑧



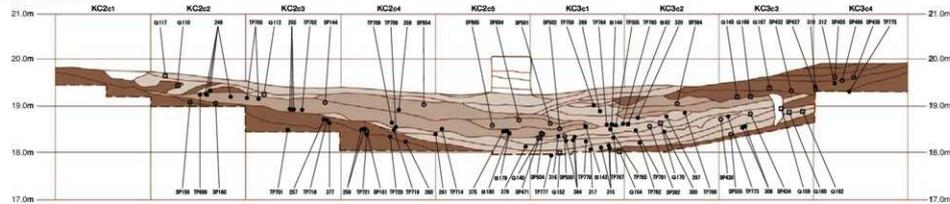
貝層・土層断面図①



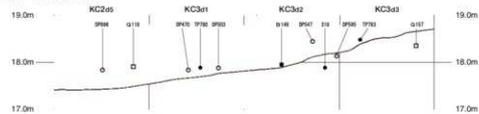
土層・貝層断面図②



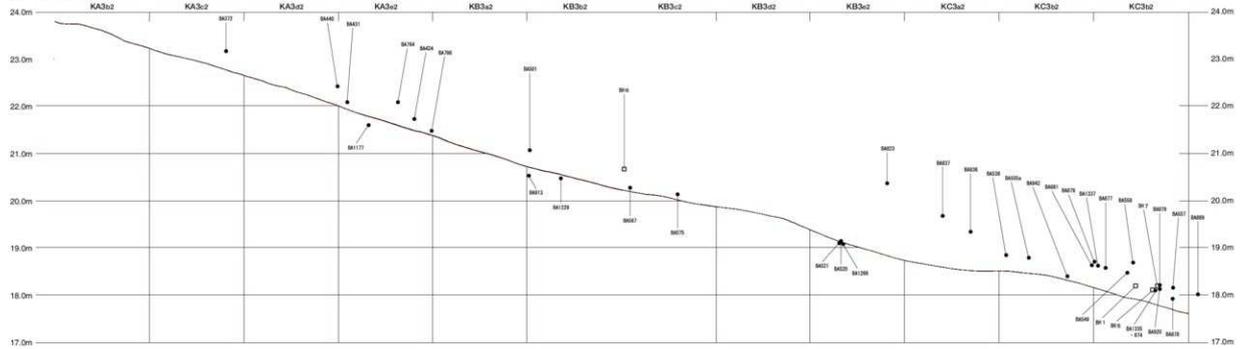
土層・貝層断面図③



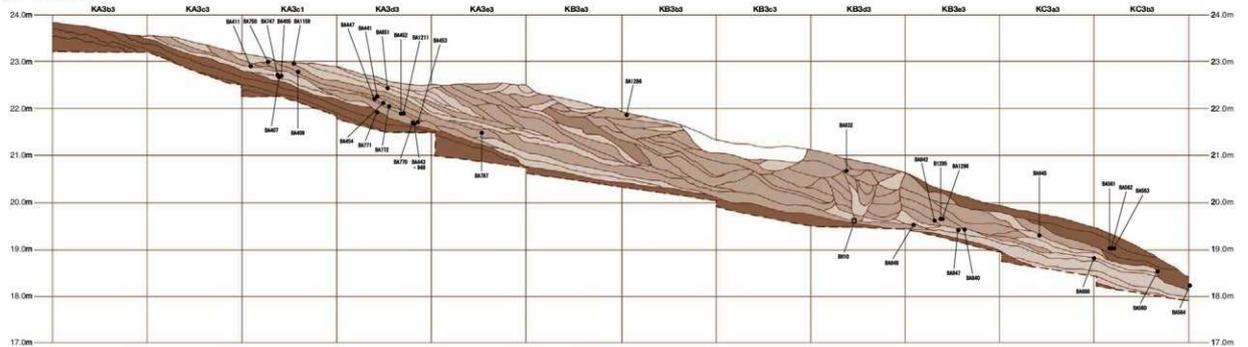
土層・貝層断面図④

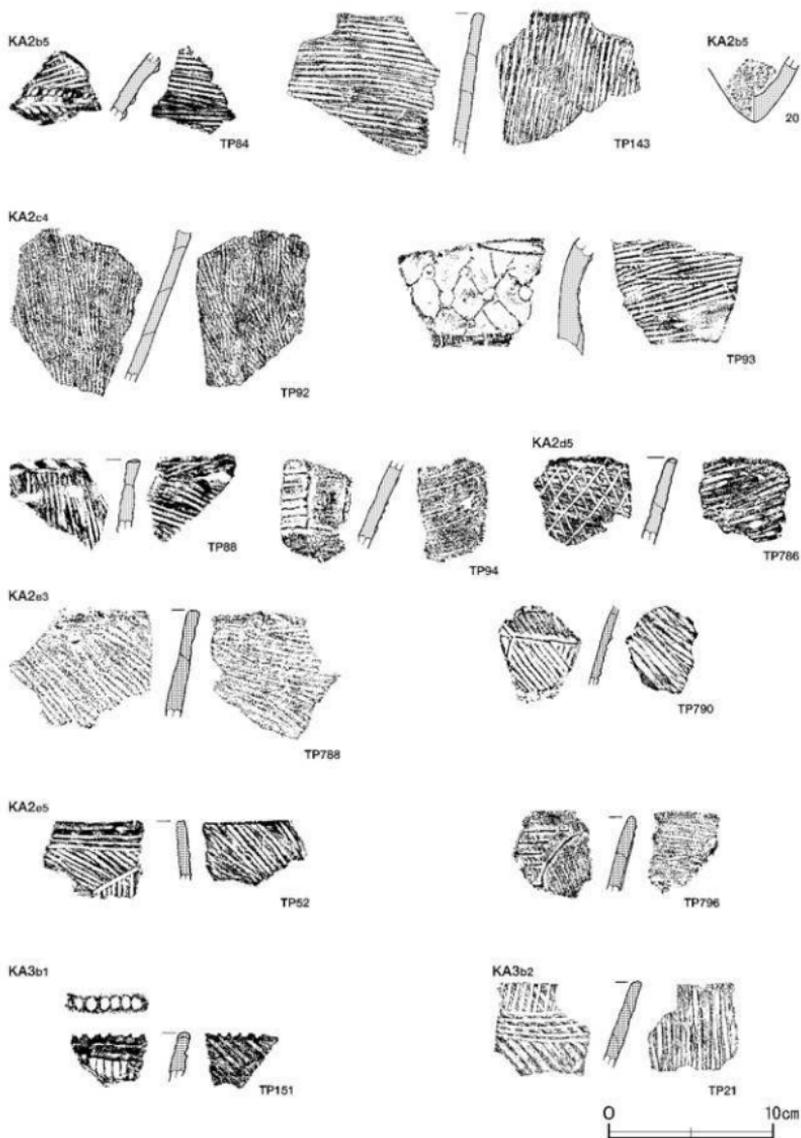


貝層・土層断面図⑥

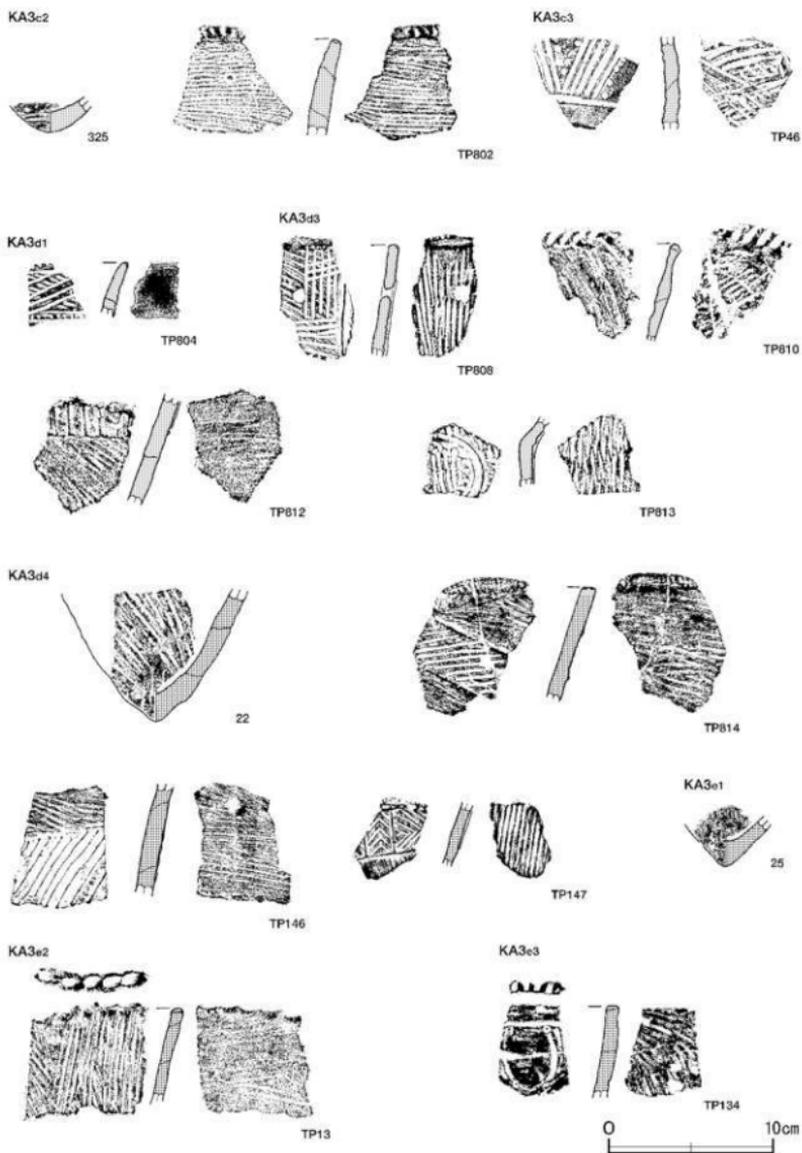


貝層・土層断面図⑦

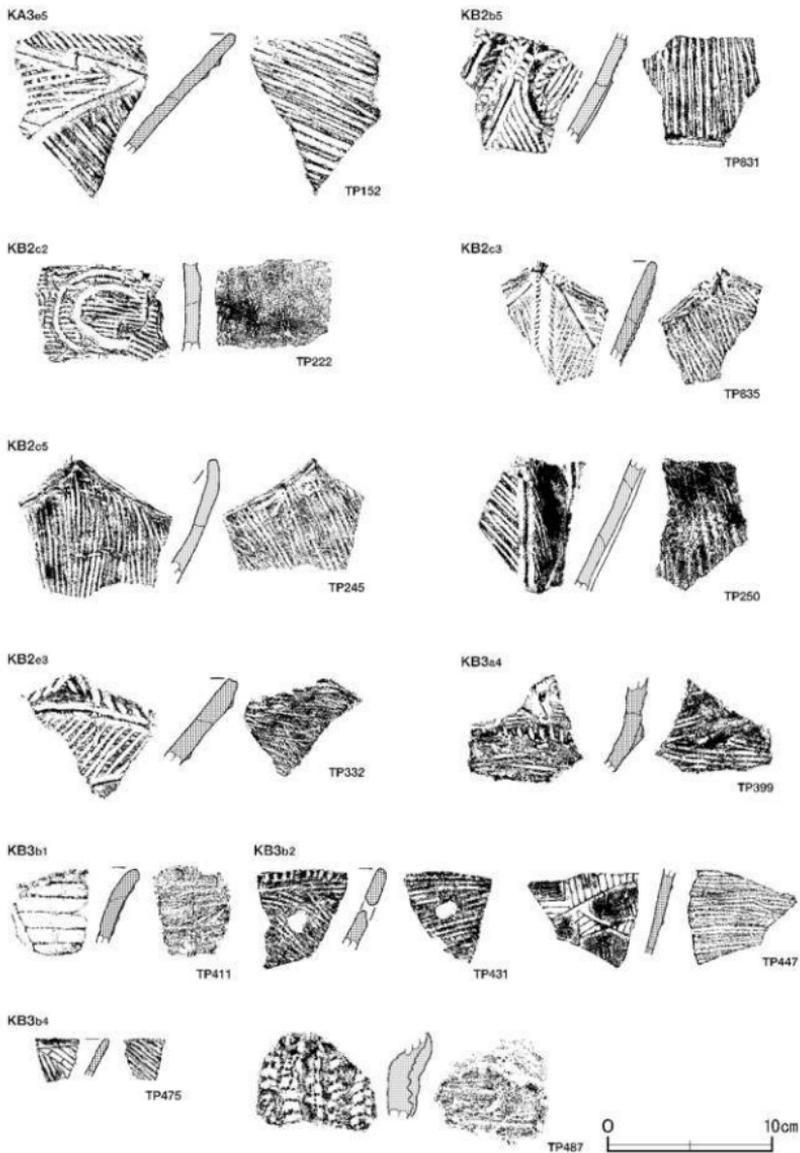




第173图 斜面貝層出土遺物実測図(1)



第174図 斜面貝層出土遺物実測図(2)

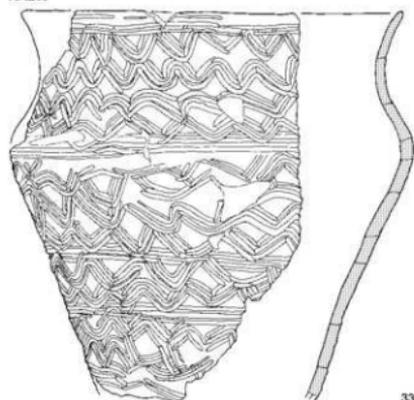


第175図 斜面貝層出土遺物実測図(3)



第176図 斜面貝層出土遺物実測図(4)

KA2c5



33



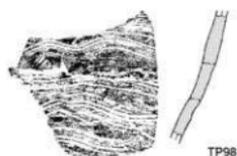
34



TP96



TP97

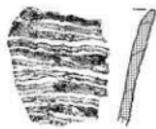


TP98

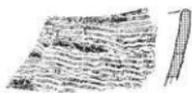
KA2d4



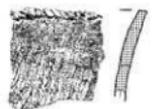
18



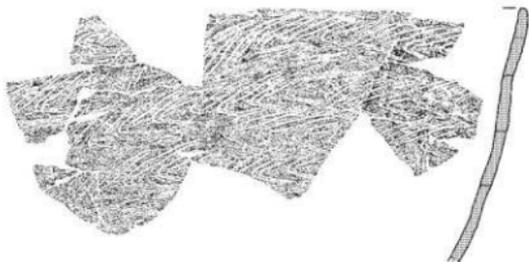
TP62



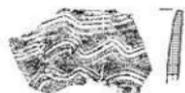
TP63



TP65



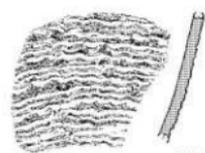
TP61



TP64



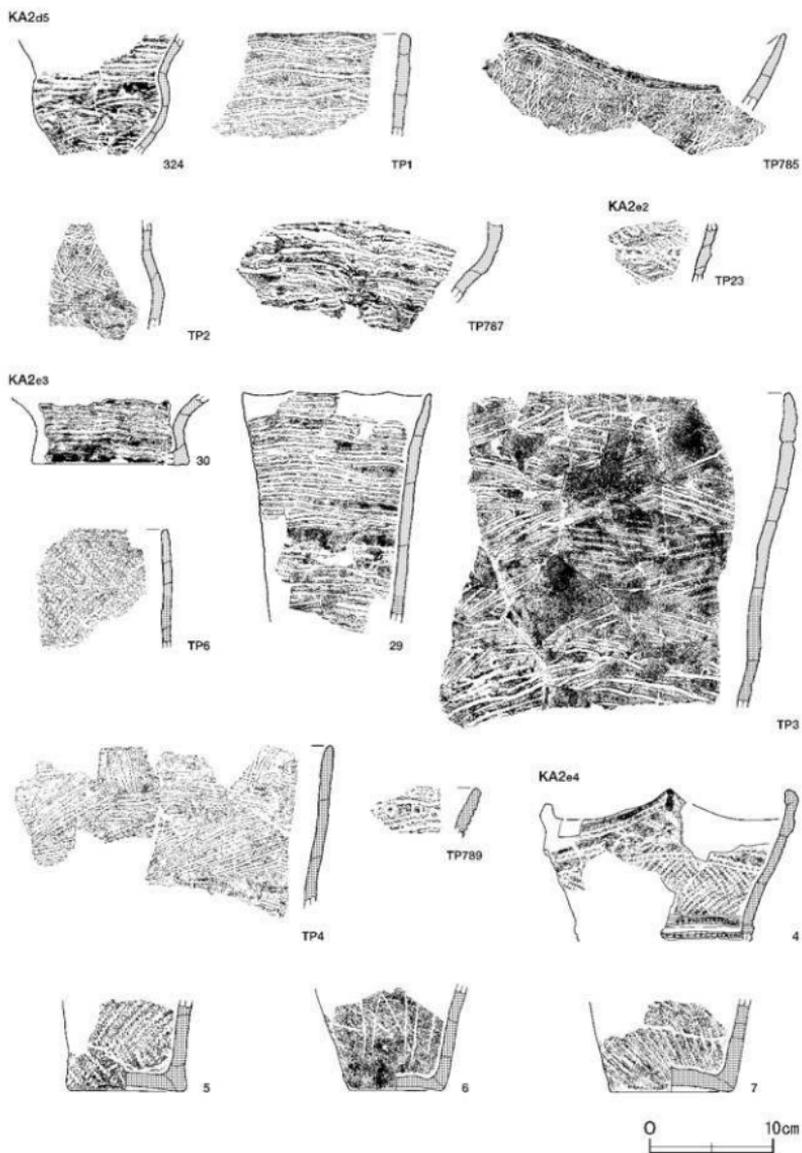
TP67



TP66

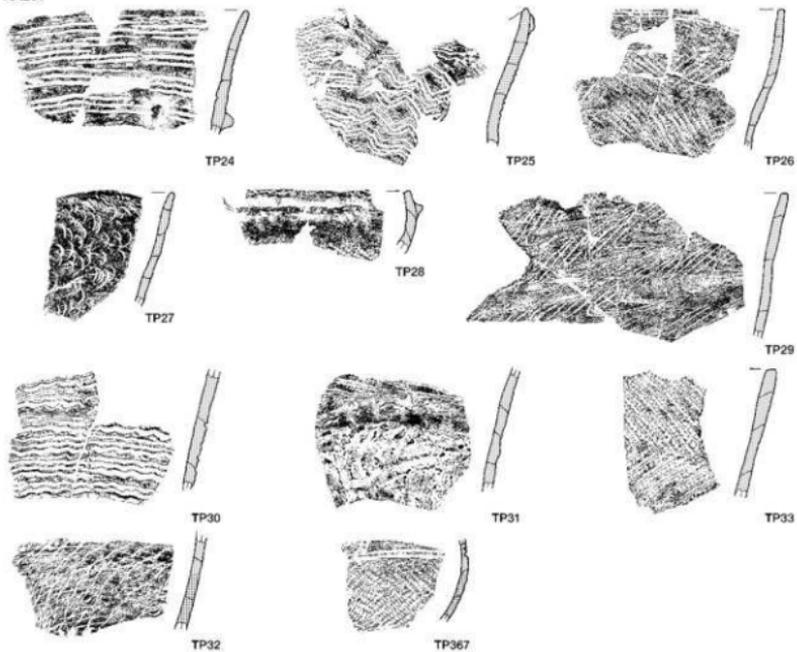


第177图 斜面貝層出土遺物実測図(5)

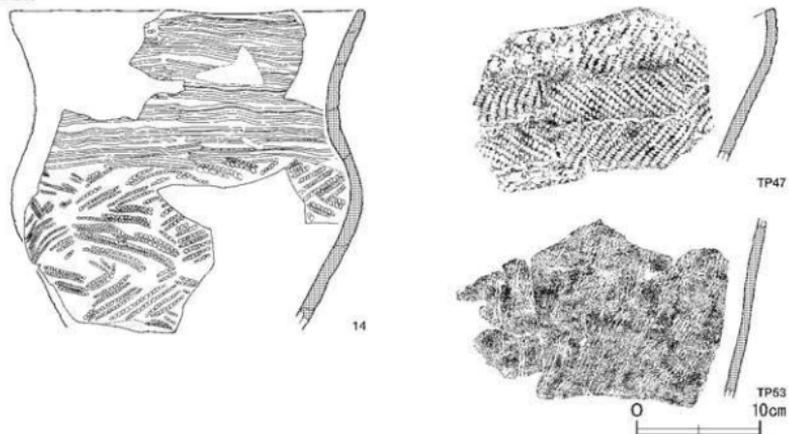


第178図 斜面貝層出土遺物実測図(6)

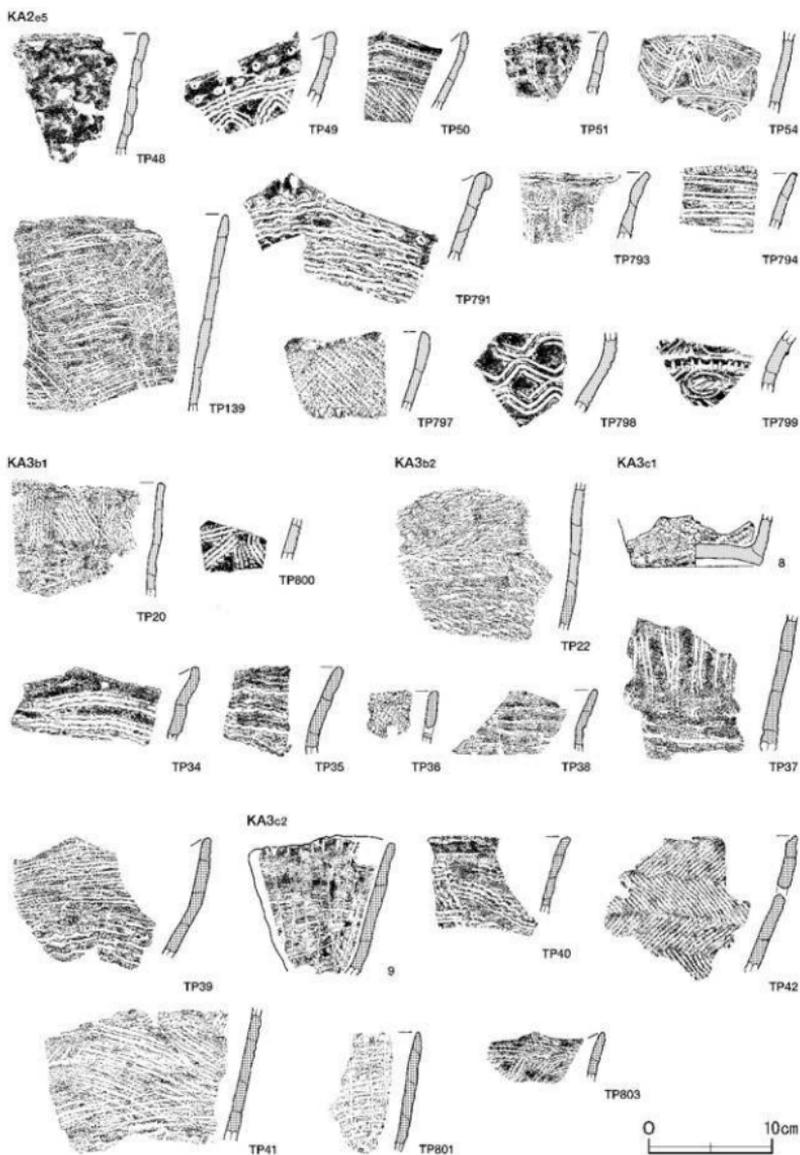
KA2e4



KA2e5

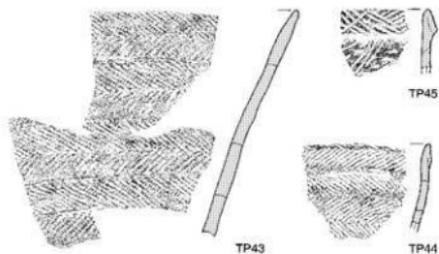


第179図 斜面貝層出土遺物実測図(7)

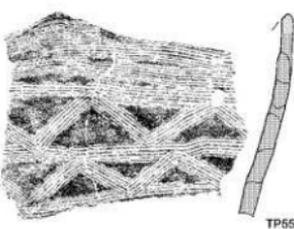
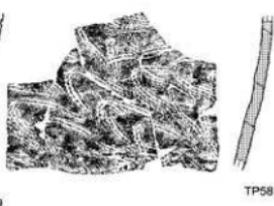
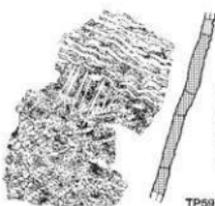
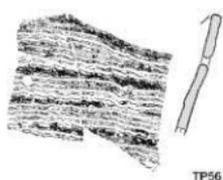
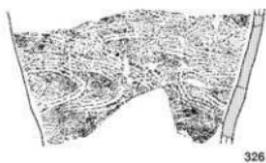
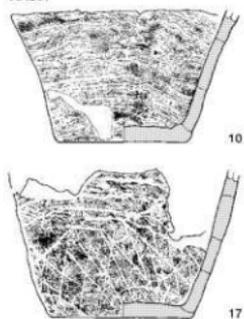


第180图 斜面貝層出土遺物実測図(8)

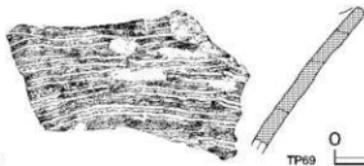
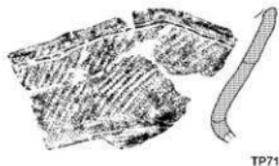
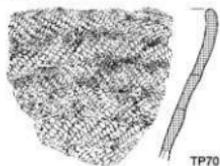
KA3c3



KA3d1

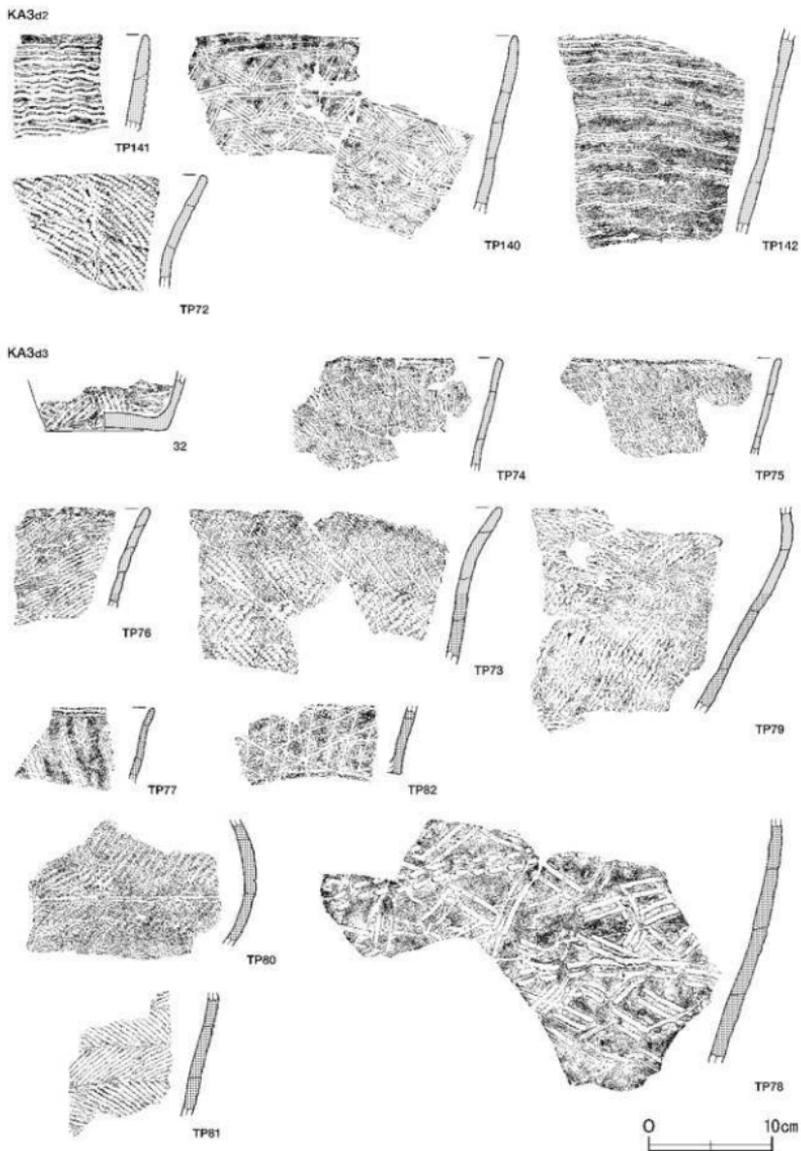


KA3d2

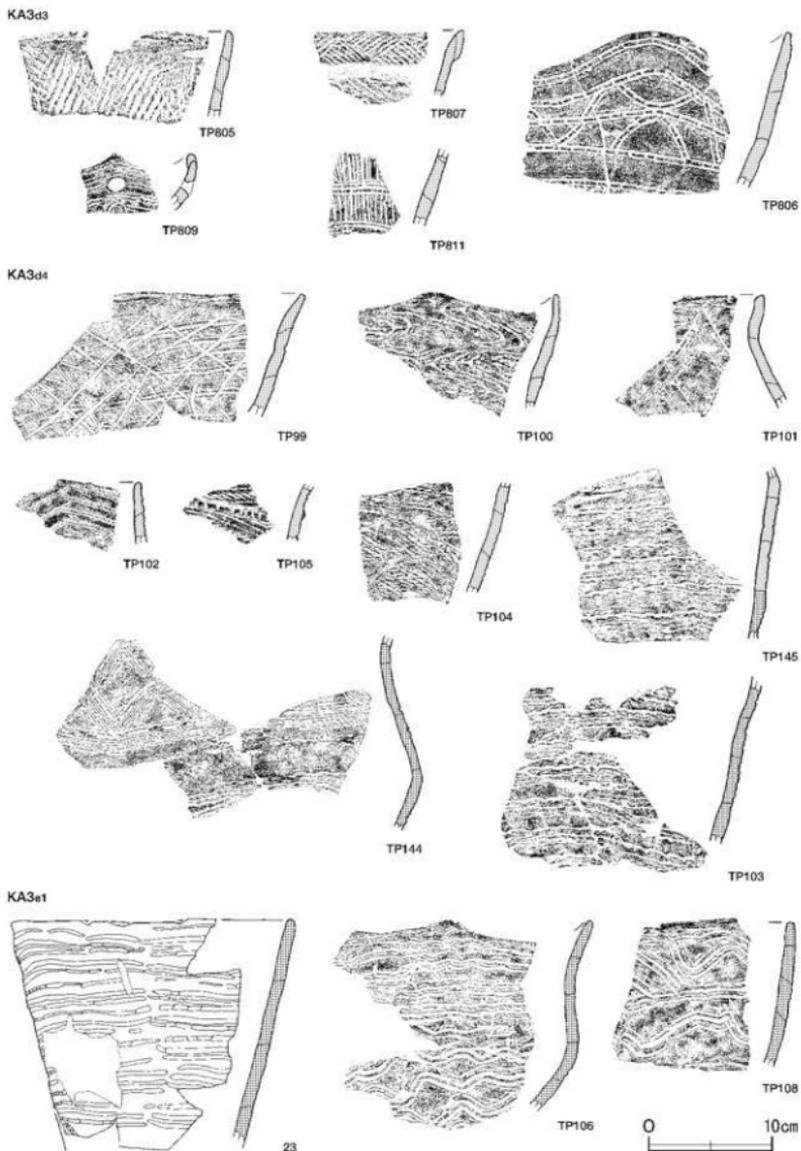


0 10cm

第181图 斜面貝層出土遺物実測図(9)

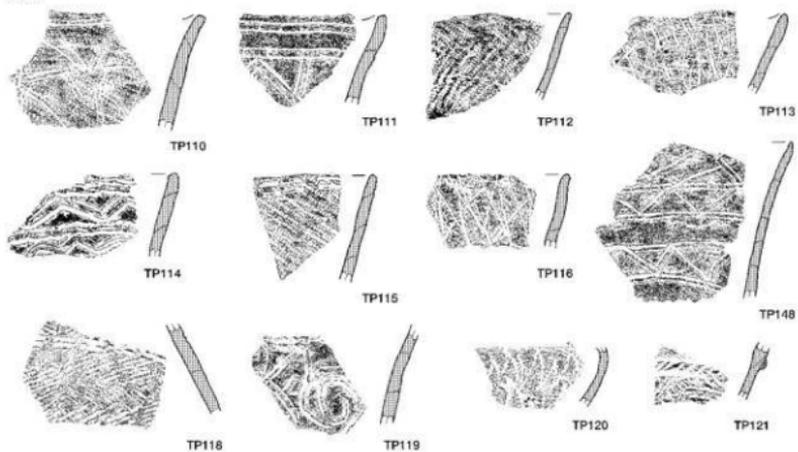


第182図 斜面貝層出土遺物実測図(10)

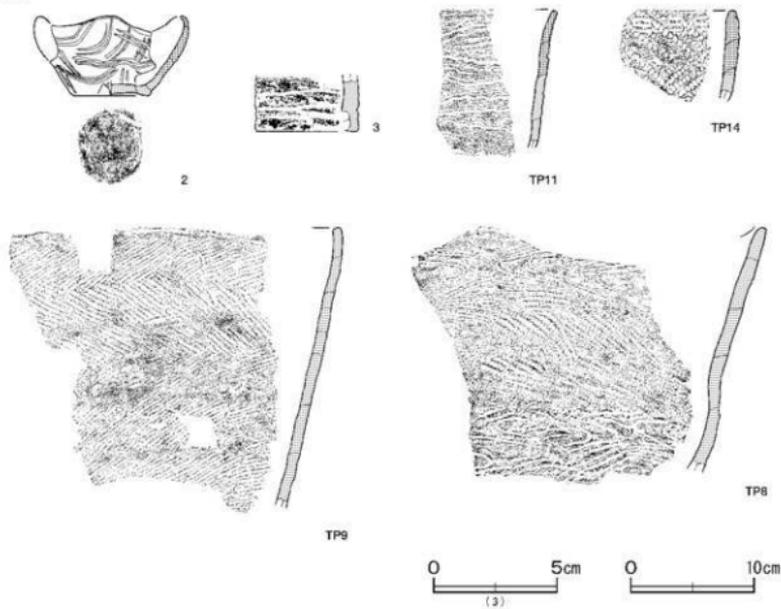


第183图 斜面貝層出土遺物实测图(11)

KA3e1

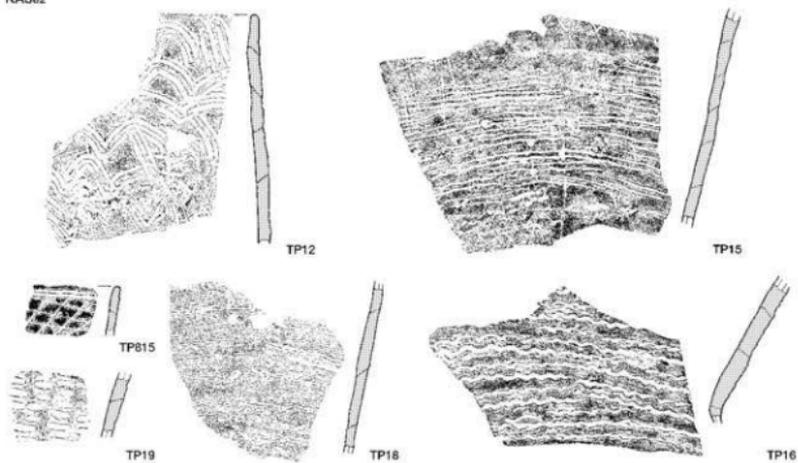


KA3e2

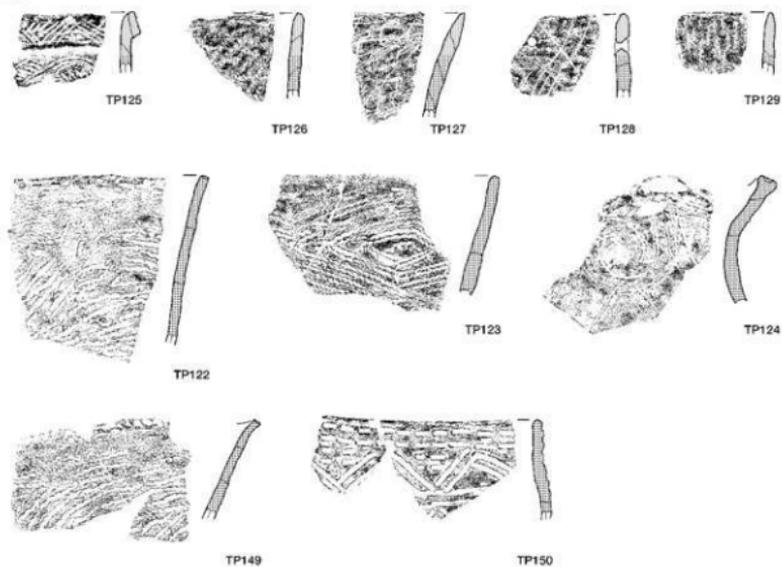


第184图 斜面貝層出土遺物実測図(12)

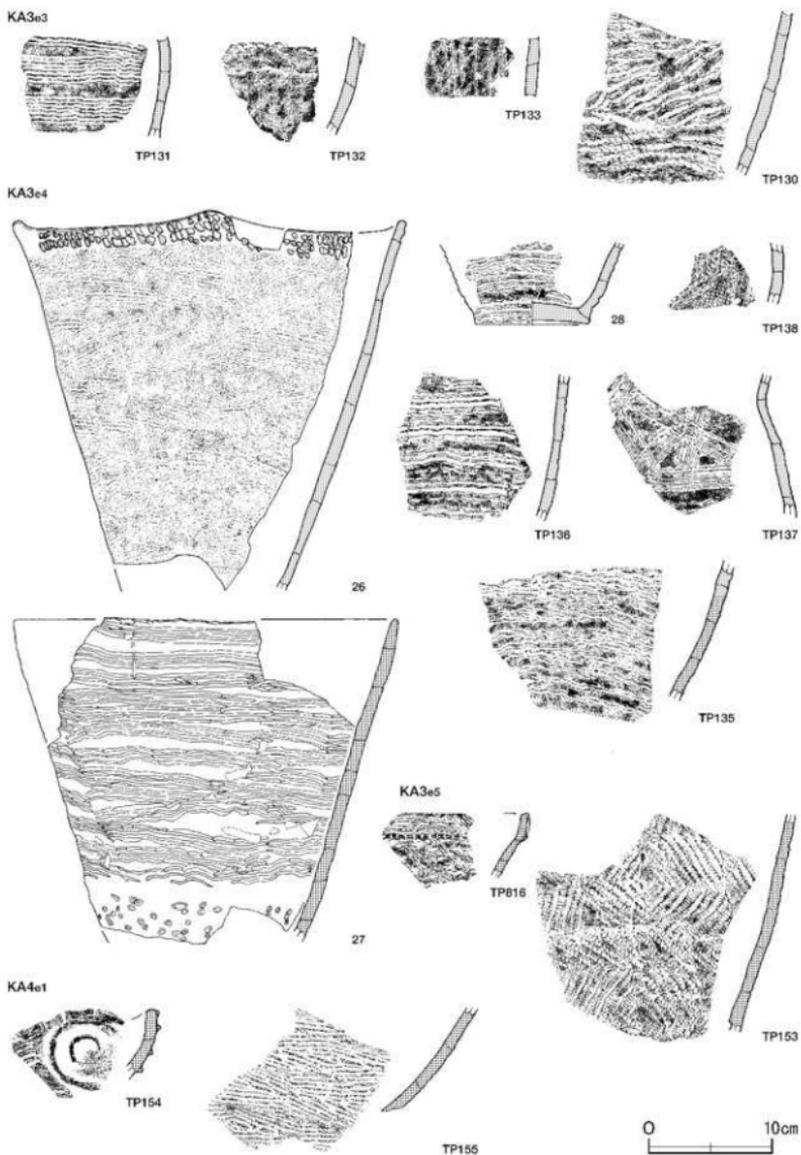
KA3e2



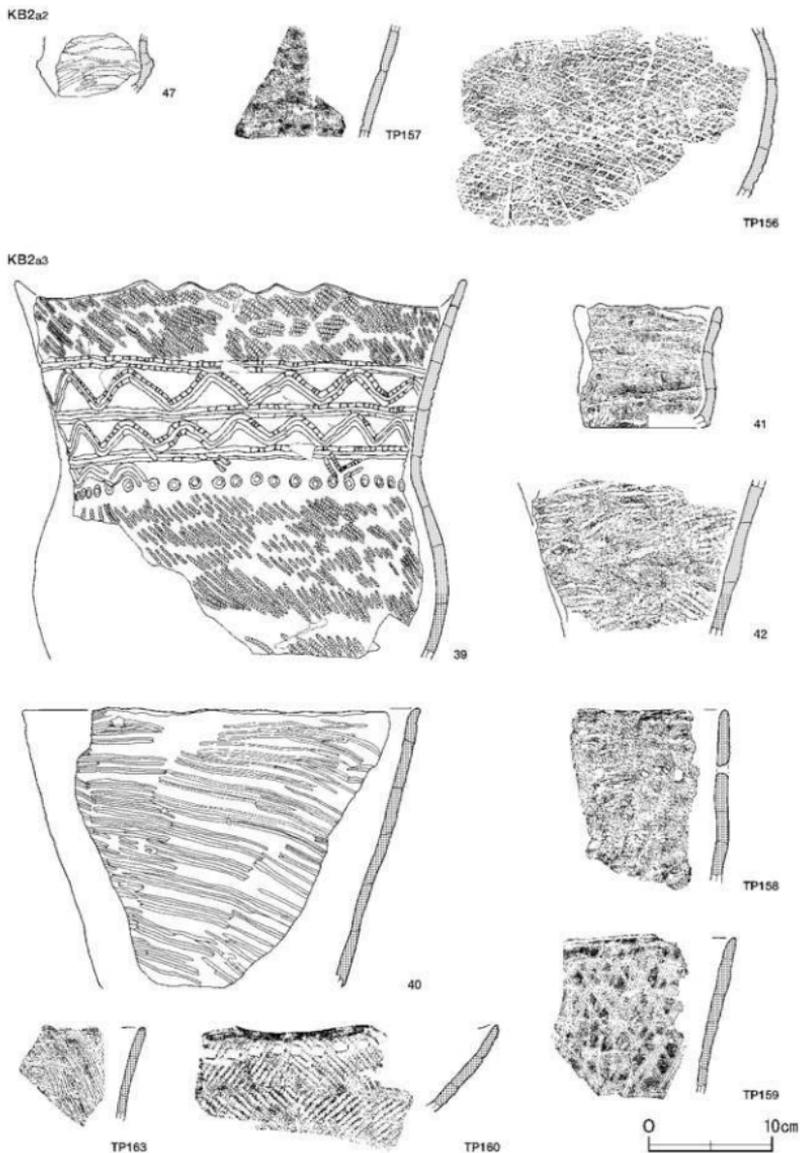
KA3e3



第185図 斜面貝層出土遺物実測図(13)

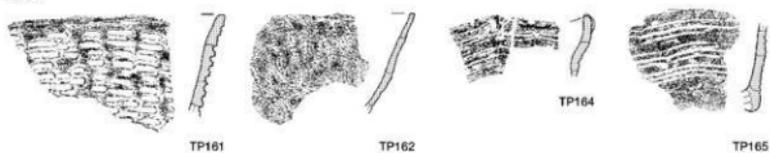


第186図 斜面貝層出土遺物実測図(14)

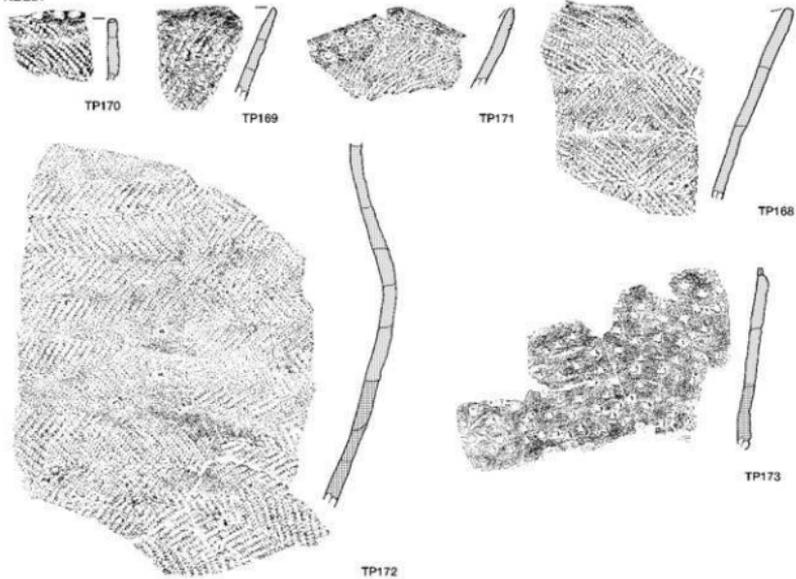


第187图 斜面貝層出土遺物実測図(15)

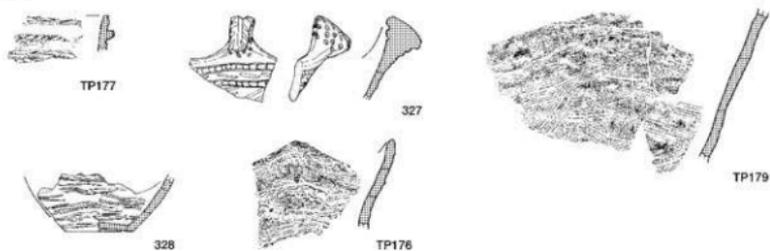
KB2a3



KB2a4



KB2a5

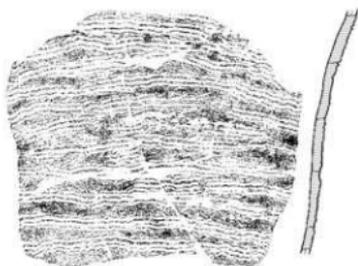


第188图 斜面貝層出土遺物実測図(16)

KB2a5



TP174



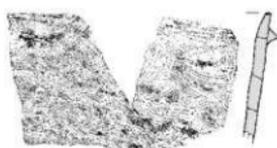
TP178

KB2b1

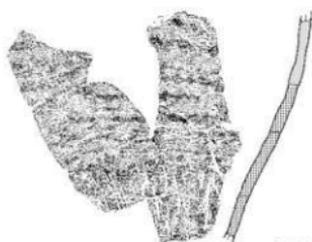


TP180

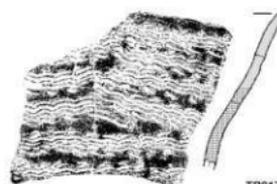
KB2b2



TP181



TP182



TP617

KB2b3



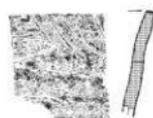
333



TP185



TP186



TP183



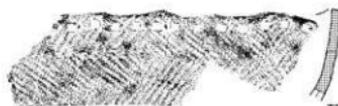
TP187



TP188



332

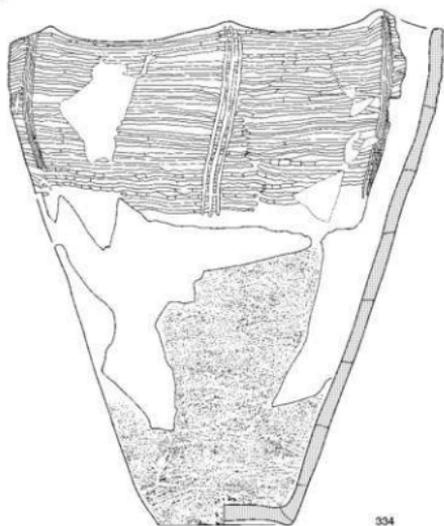


TP619

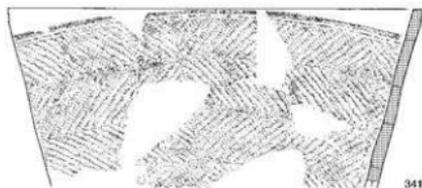
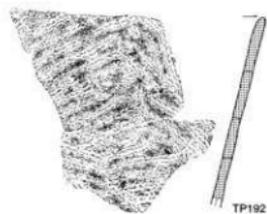
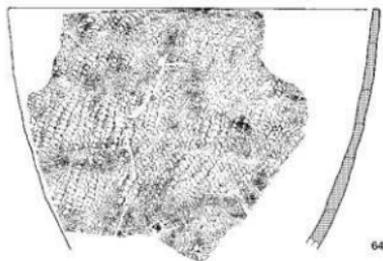
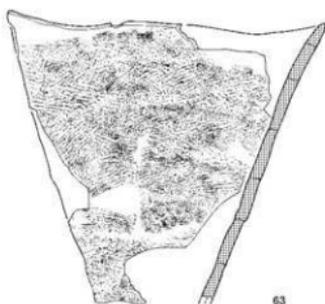


第189図 斜面貝層出土遺物実測図(17)

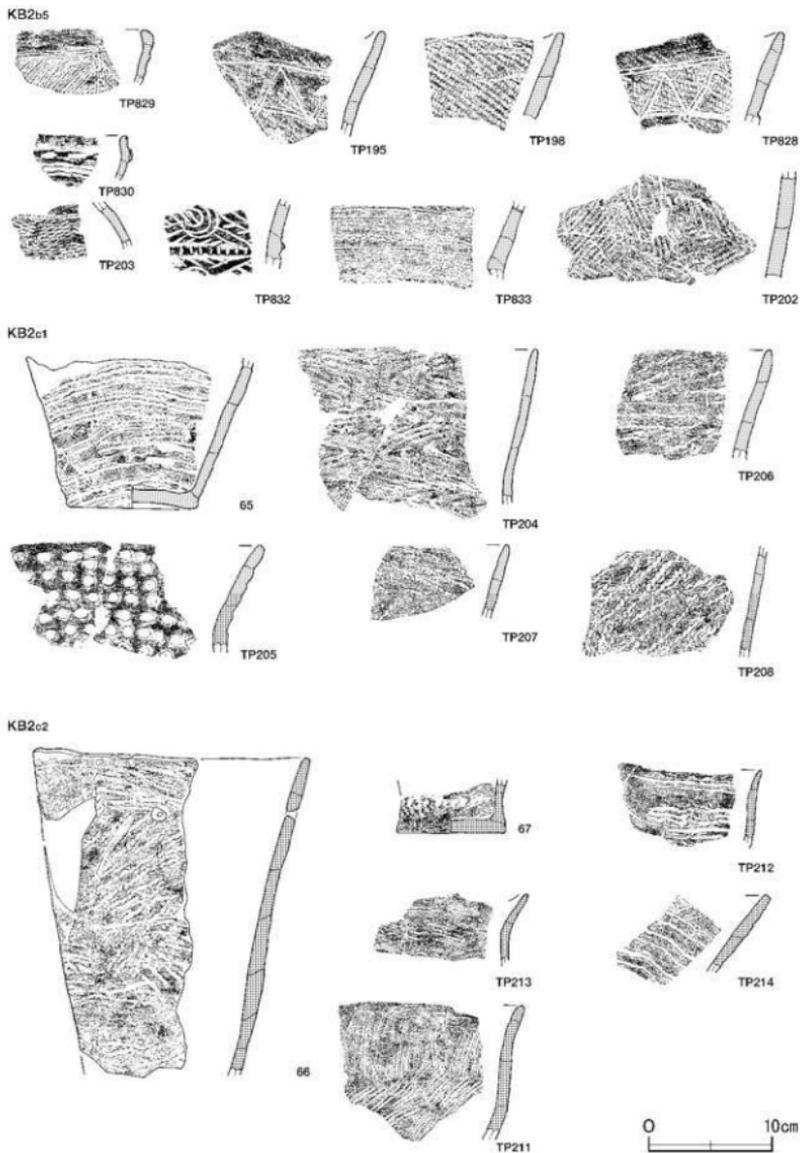
KB2b4



KB2b5

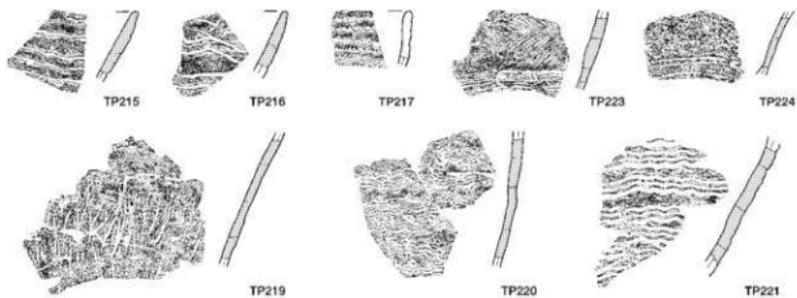


第190図 斜面貝層出土遺物実測図(18)

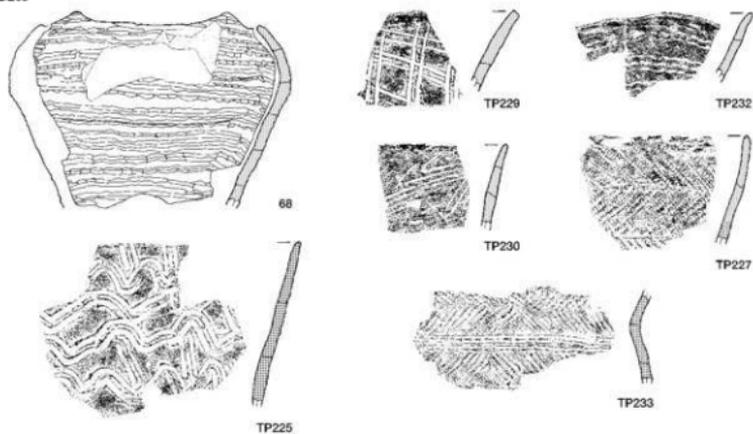


第191图 斜面貝層出土遺物実測図(19)

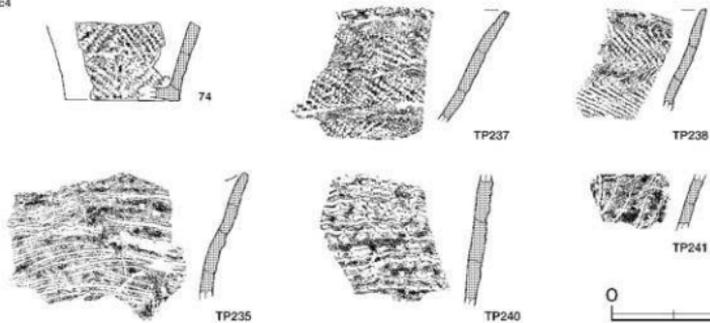
KB2c2



KB2c3



KB2c4



0 10cm

第192図 斜面貝層出土遺物実測図(20)

KB2c5



TP242

TP244

TP246



TP249



TP251

KB2d1



TP253

KB2d2



TP254



TP256



TP258



TP259



TP274



TP260



TP261



TP275

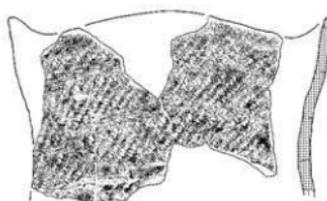


TP262

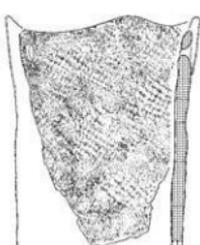


TP263

KB2d3



81



82



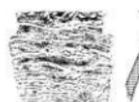
TP265



83



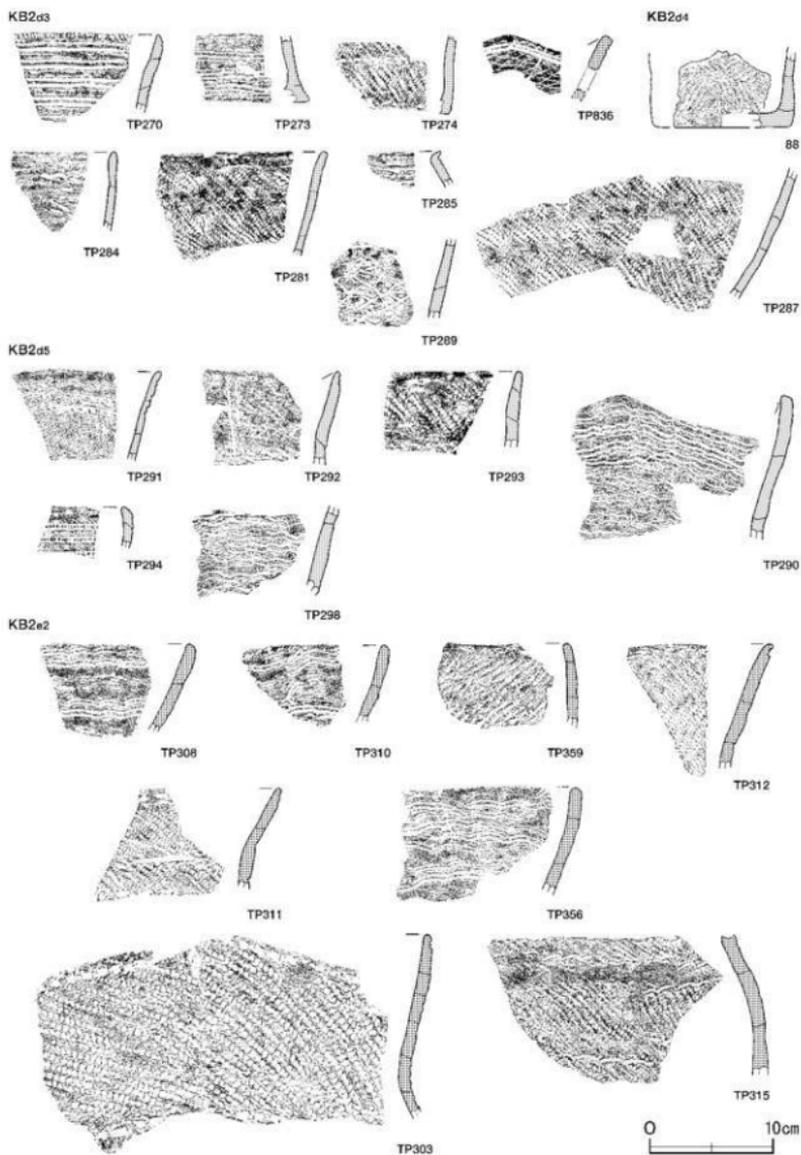
84



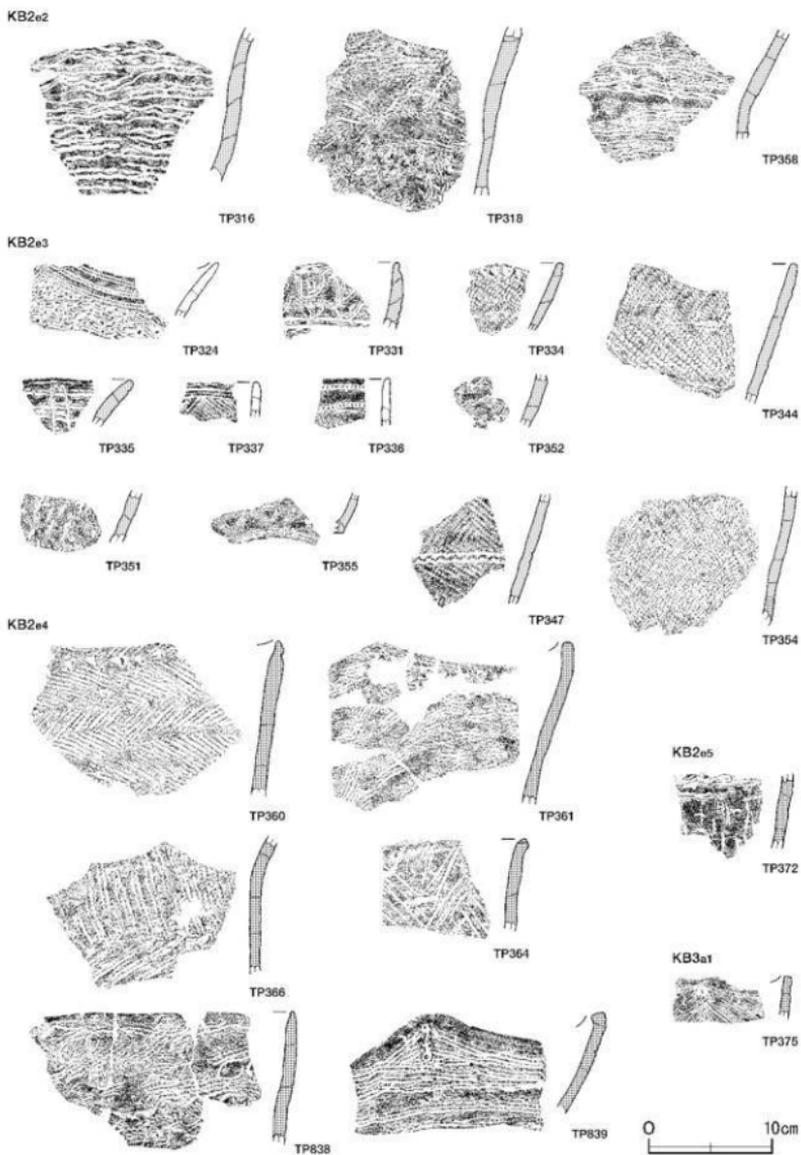
TP267



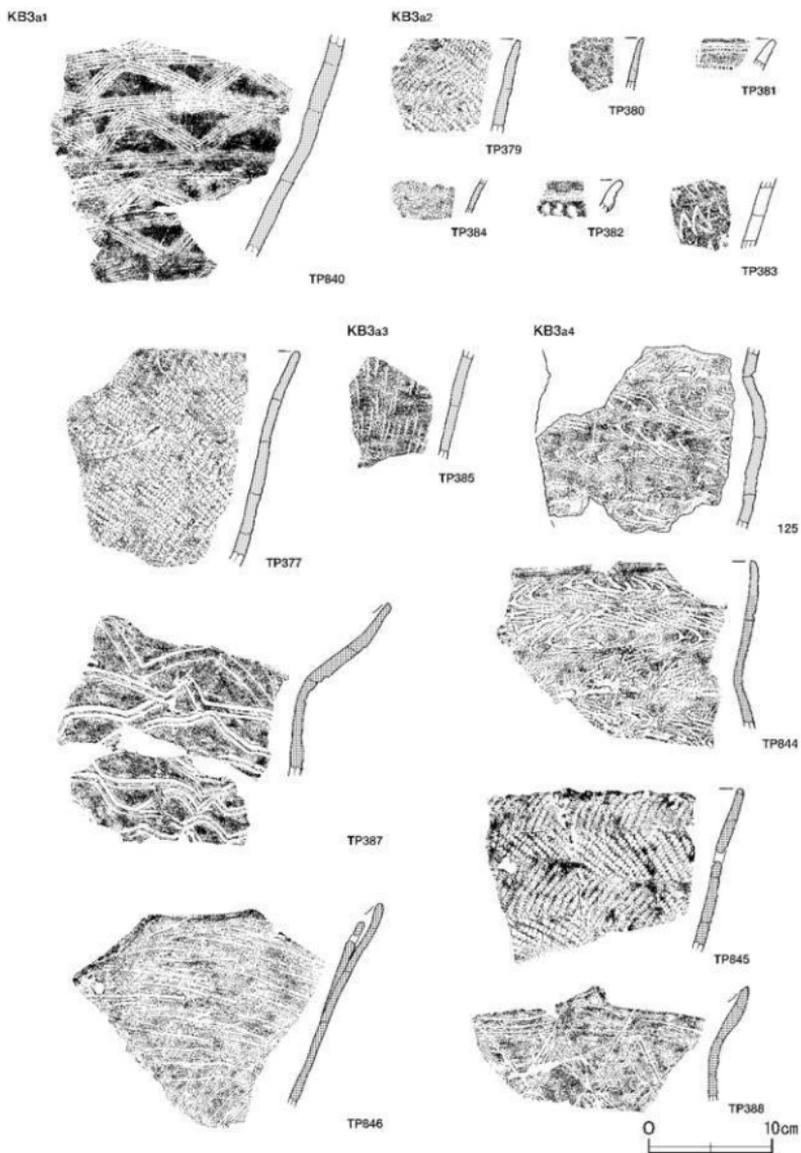
第193图 斜面貝層出土遺物実測図(21)



第194図 斜面貝層出土遺物実測図(22)

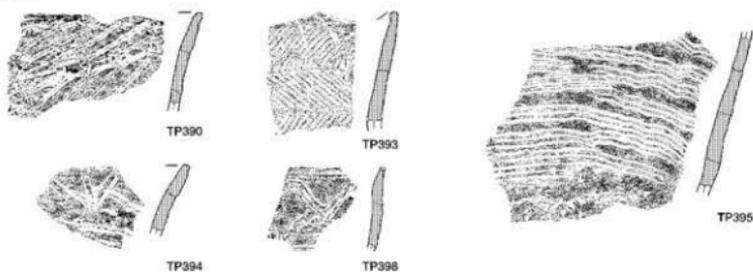


第195图 斜面貝層出土遺物実測図(23)



第196図 斜面貝層出土遺物実測図(24)

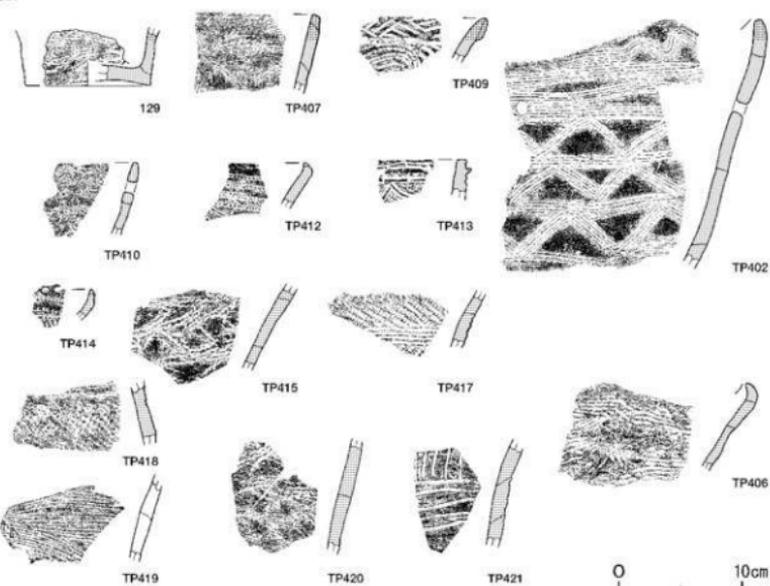
KB3a4



KB3a5

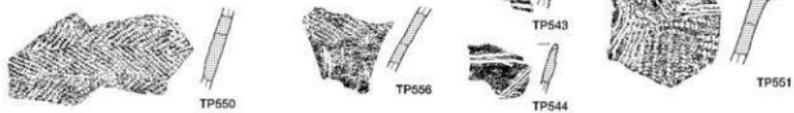
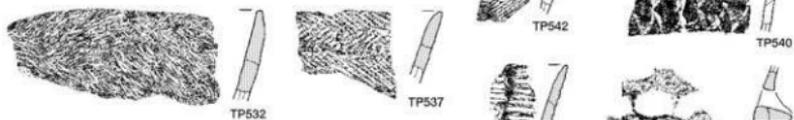
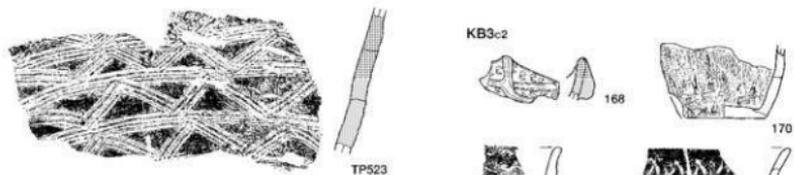
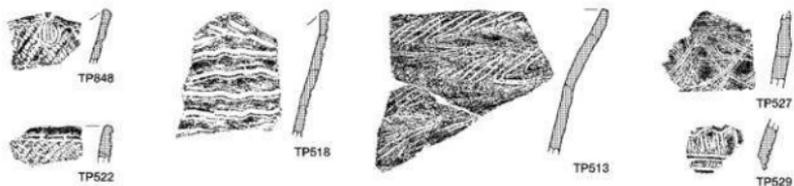
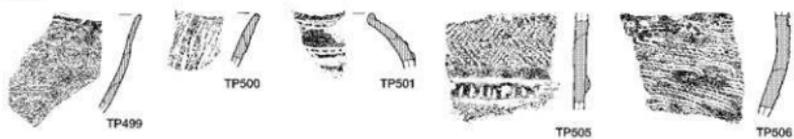


KB3b1



第197图 斜面貝層出土遺物実測図(25)

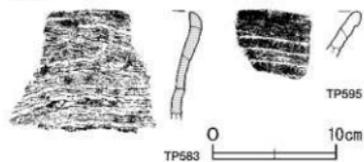
KB3b5



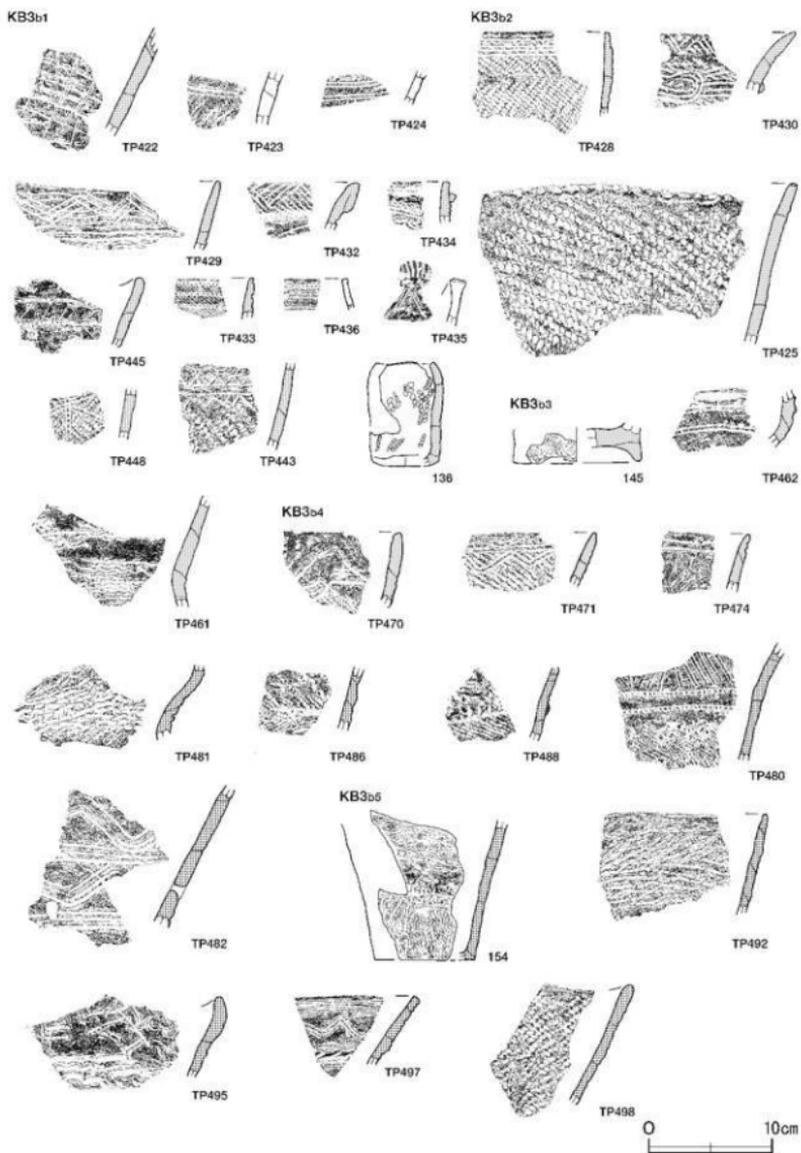
KB3c3



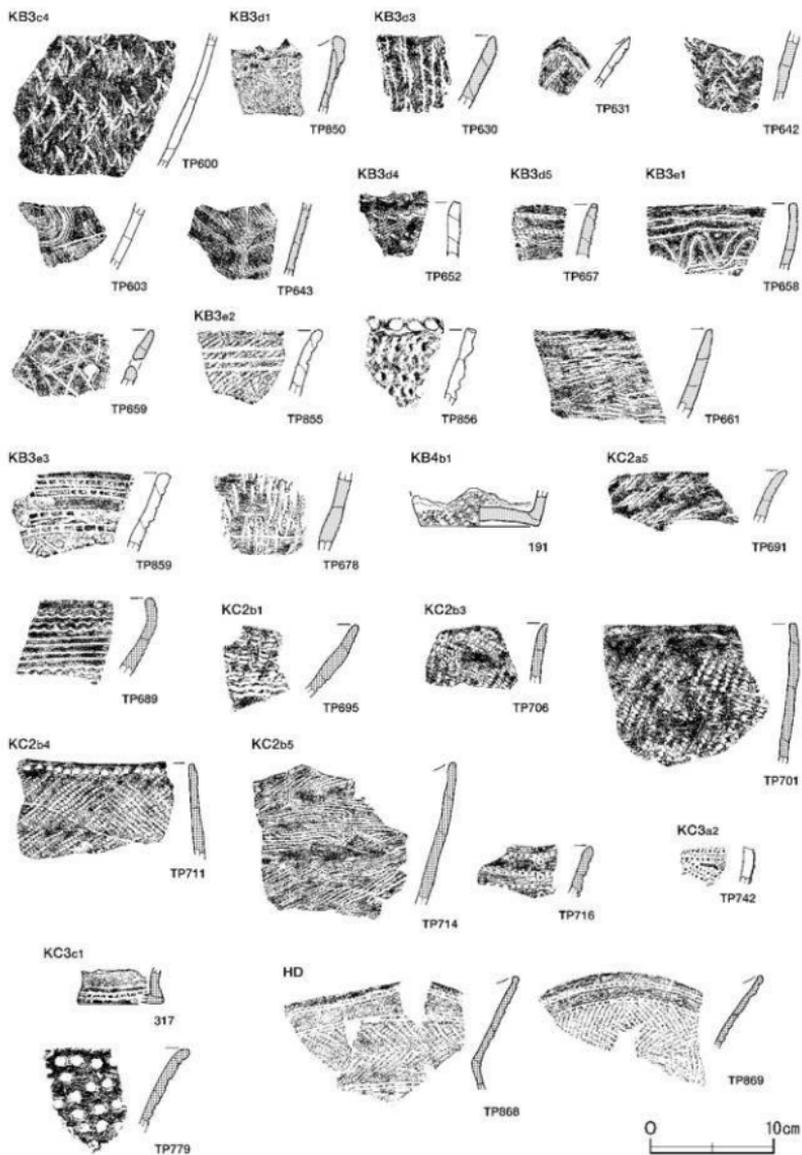
KB3c4



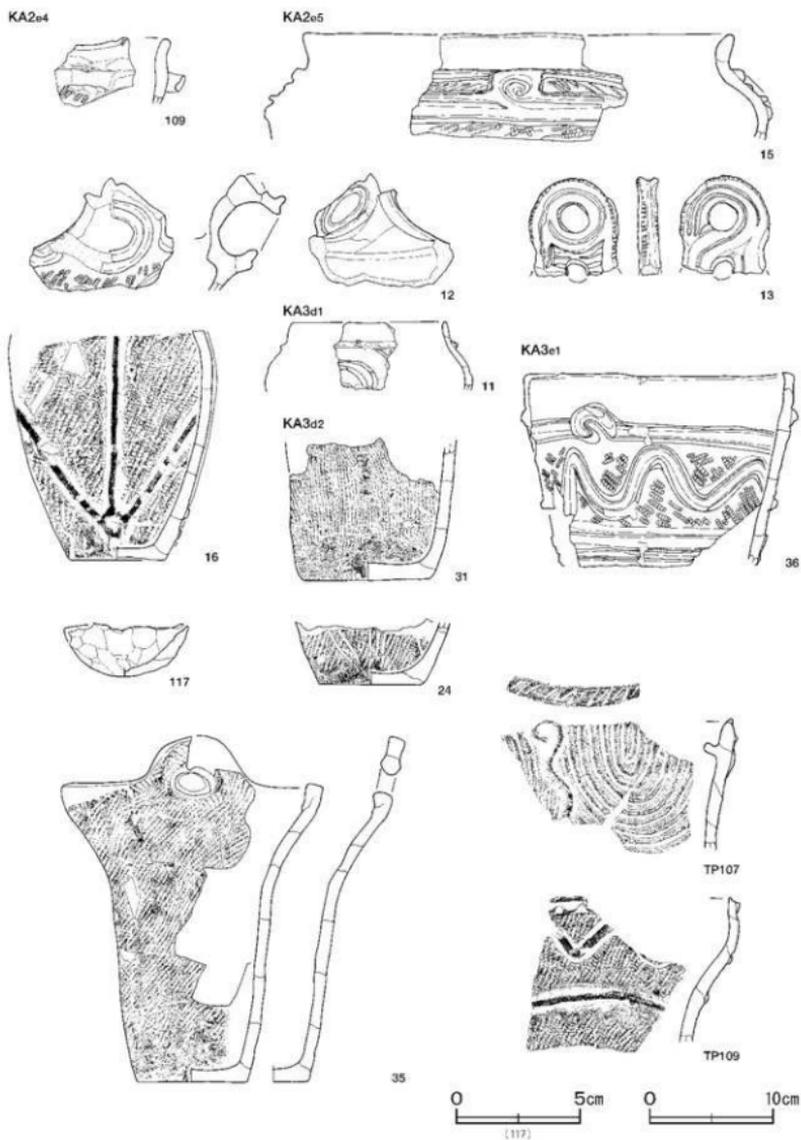
第198图 斜面貝層出土遺物実測図(26)



第199図 斜面貝層出土遺物実測図(27)



第200図 斜面貝層出土遺物実測図(28)



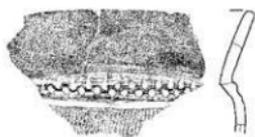
第201图 斜面貝層出土遺物実測図(29)

KA3e2



1

37



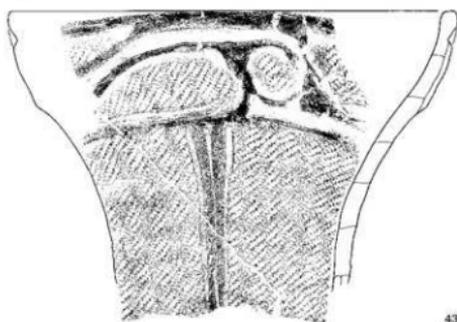
TP10



KA3e4

38

KB2a3



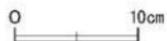
43



45

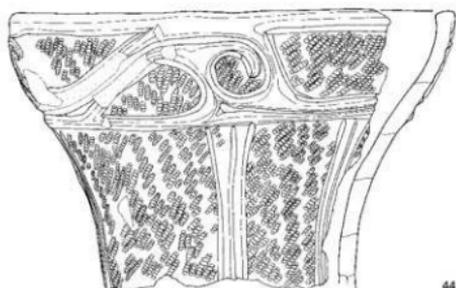


46

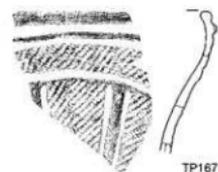
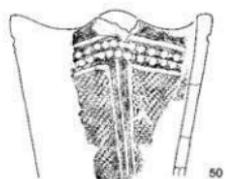


第202図 斜面貝層出土遺物実測図(30)

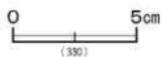
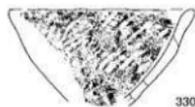
KB2a3



KB2a4

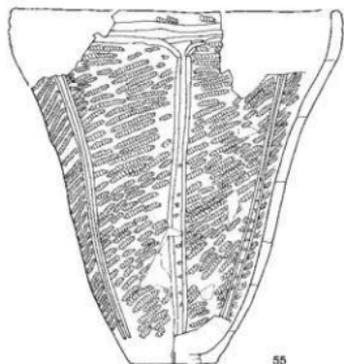


KB2a5

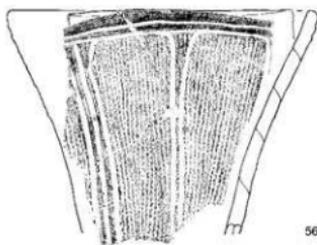


第203图 斜面貝層出土遺物実測図(31)

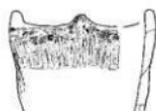
KB2b3



55



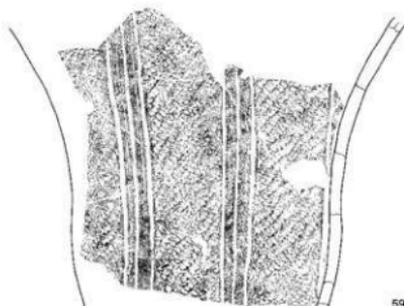
56



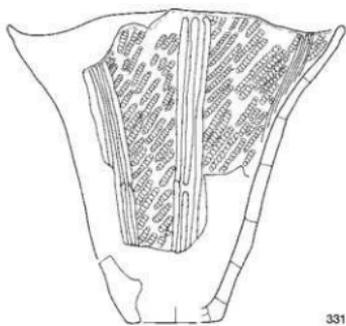
58



57



59



331

KB2b4



60

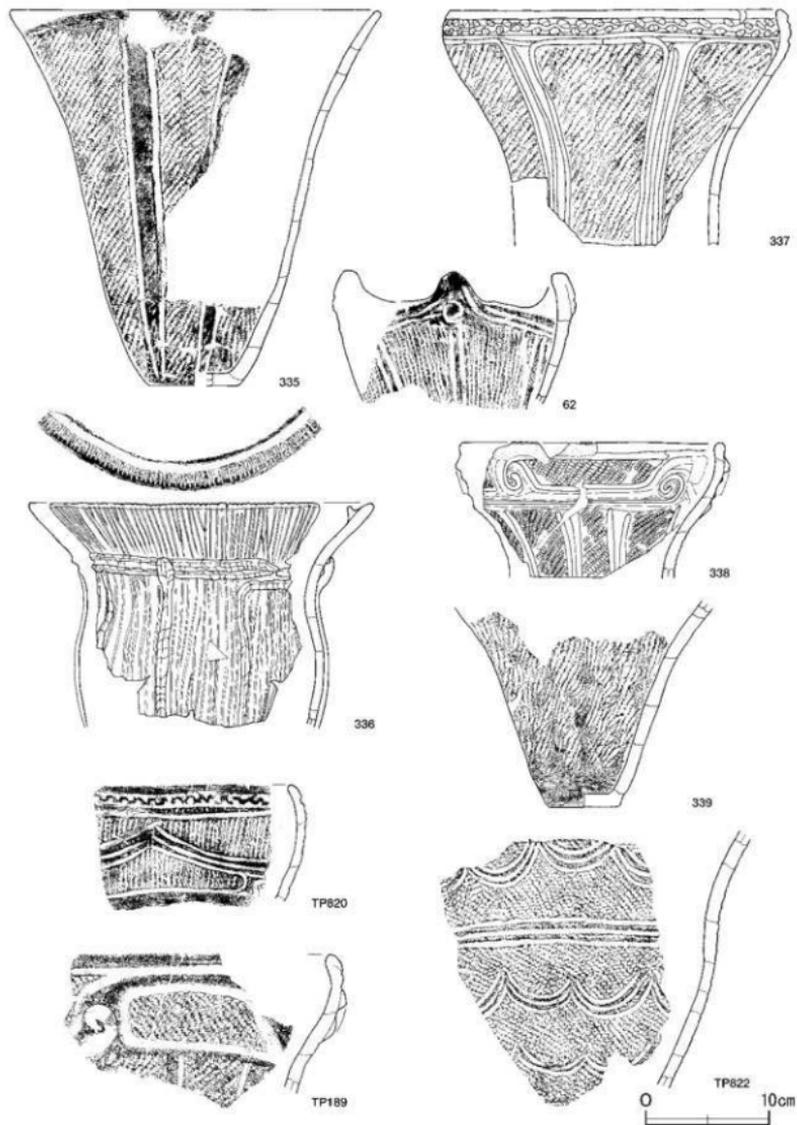


61



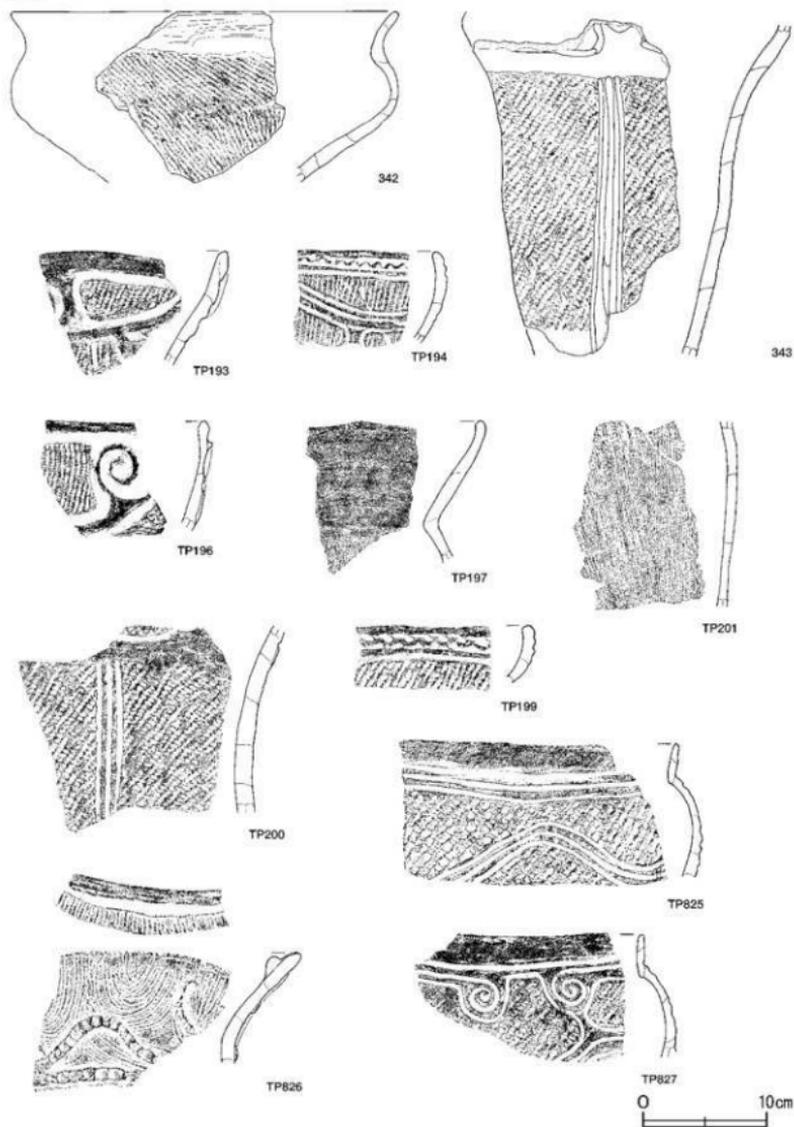
第204図 斜面貝層出土遺物実測図(32)

KB2b4



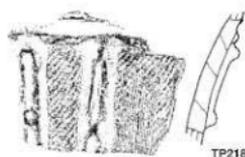
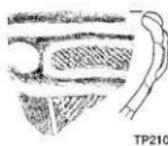
第205図 斜面貝層出土遺物実測図(33)

KB2b5

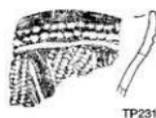
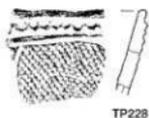
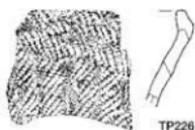
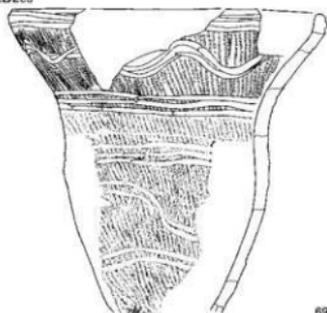


第206图 斜面貝層出土遺物実測図(34)

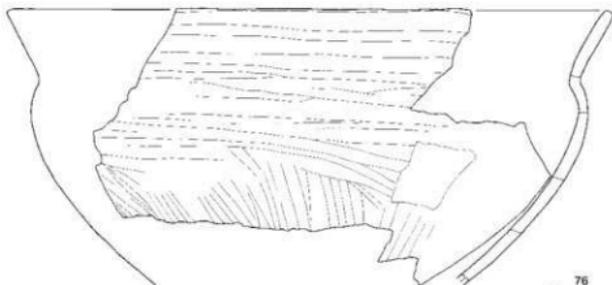
KB2c2



KB2c3

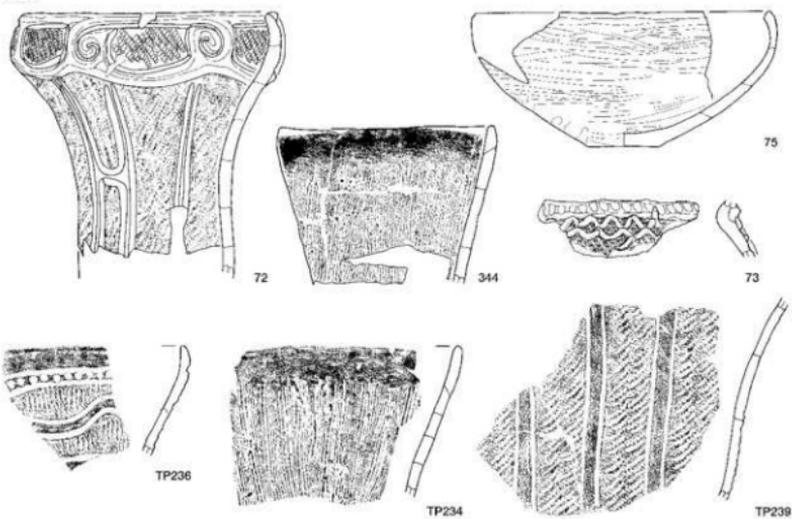


KB2c4

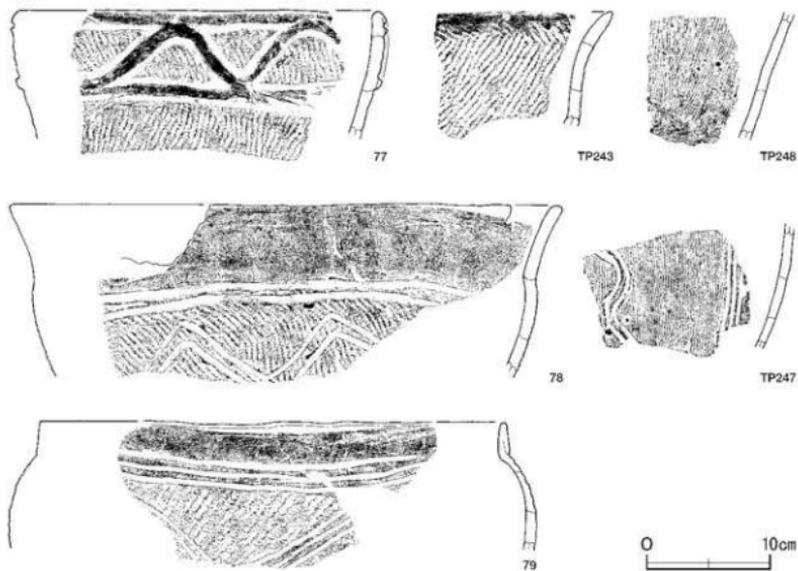


第207图 斜面貝層出土遺物実測図(35)

KB2c4



KB2c5



第208图 斜面貝層出土遺物実測図(36)

KB2a2



80

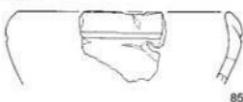


TP257



TP255

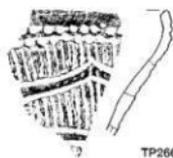
KB2a3



85



TP264



TP266



86



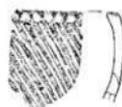
TP268



TP269



TP271

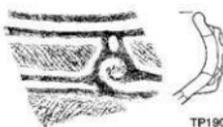


TP272

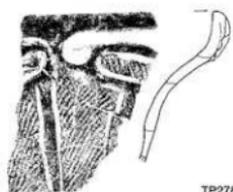
KB2a4



87



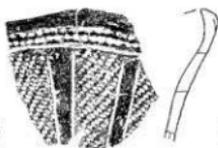
TP190



TP278



89



TP279



TP280



TP277

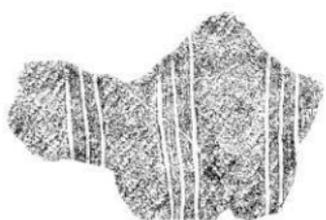


(80)



第209图 斜面貝層出土遺物実測図(37)

KB2d4



TP286



TP288

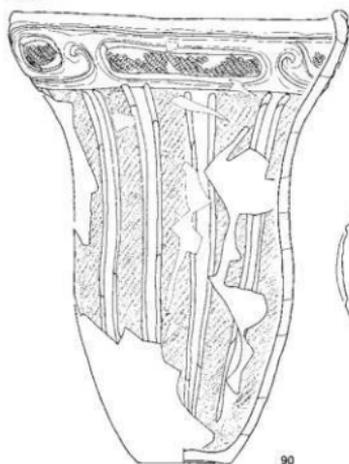


TP282



TP283

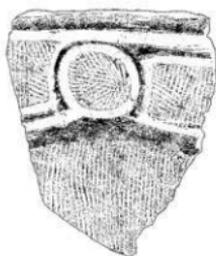
KB2d5



90



92



91



93



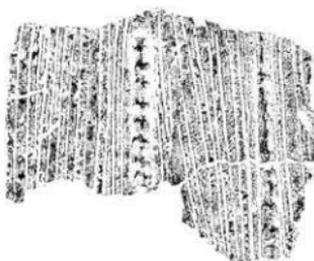
TP296



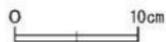
100



TP297



TP295

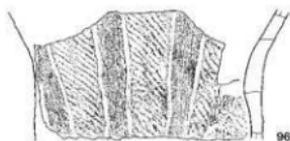


第210図 斜面貝層出土遺物実測図(38)

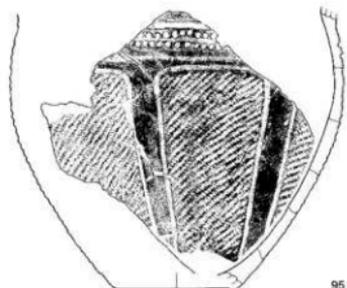
KB2e1



94



96



95



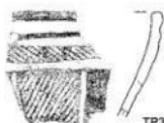
97



TP299



TP300

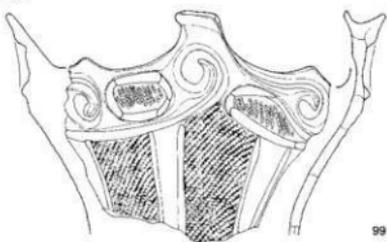


TP301

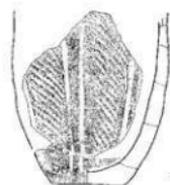


TP302

KB2e2



99

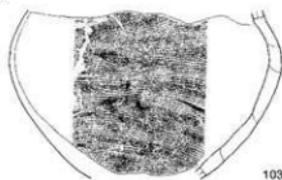


102



第211图 斜面貝層出土遺物実測図(39)

KB2e2



103



345



TP304



TP305



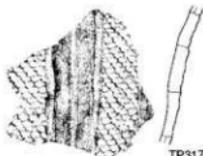
TP306



TP307



TP314



TP317



TP357



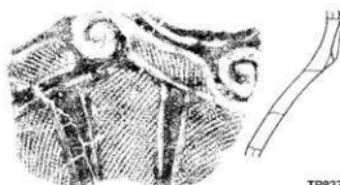
TP309



TP313

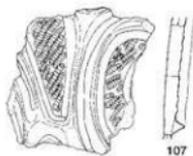


TP348



TP837

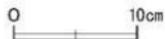
KB2e3



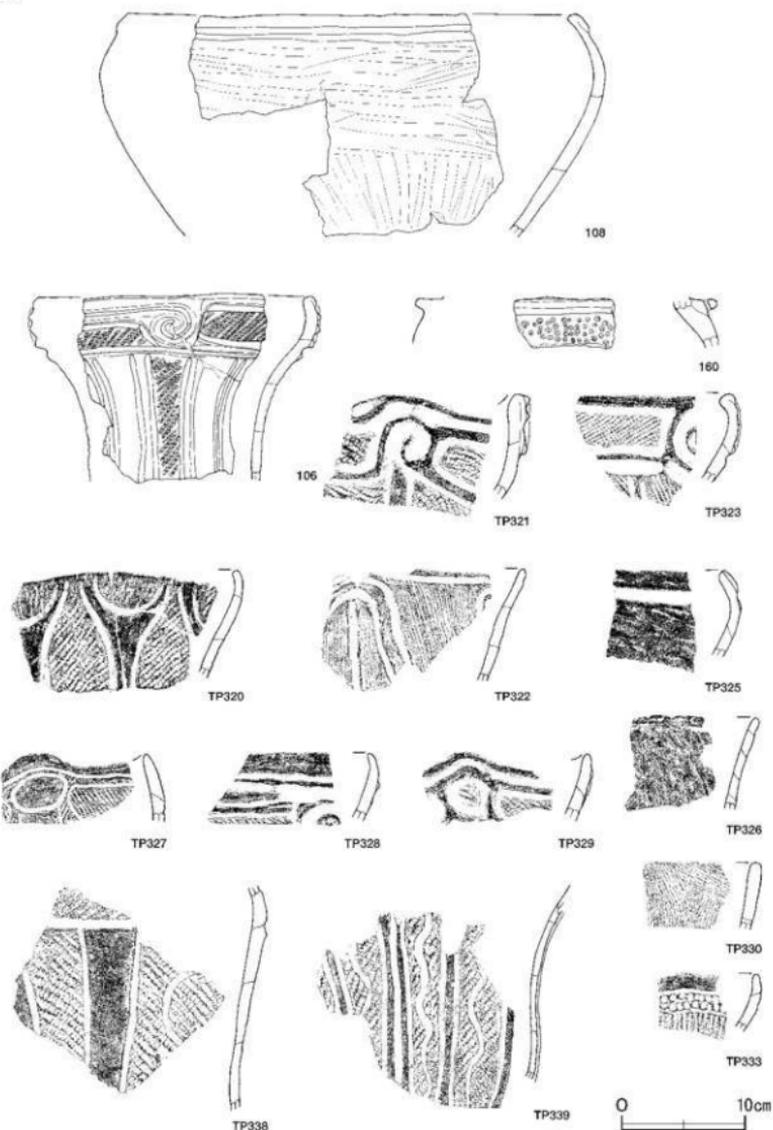
107



105

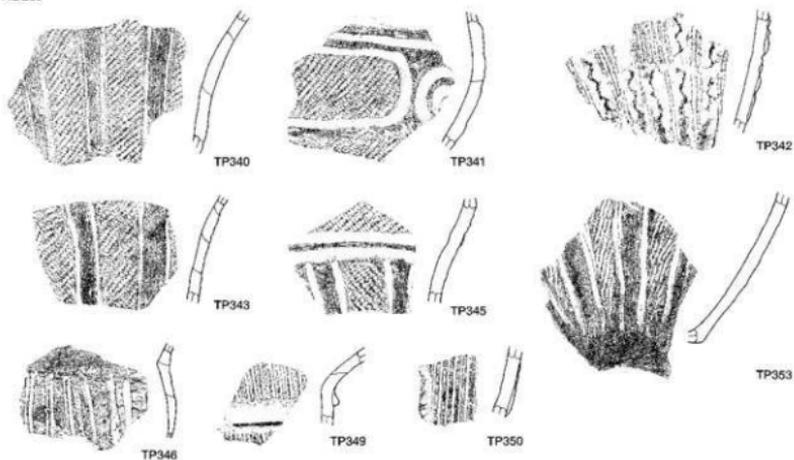


第212图 斜面貝層出土遺物実測図(40)

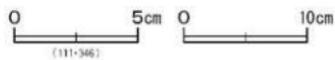
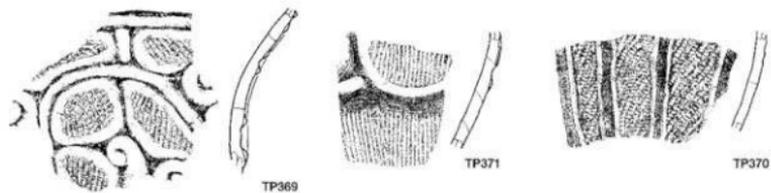
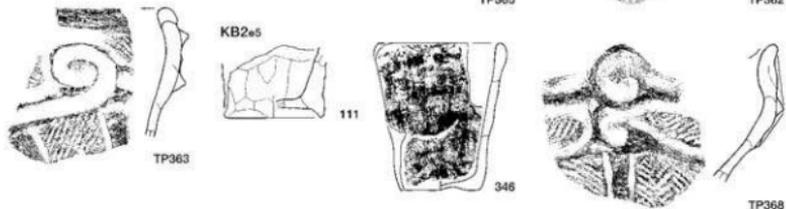
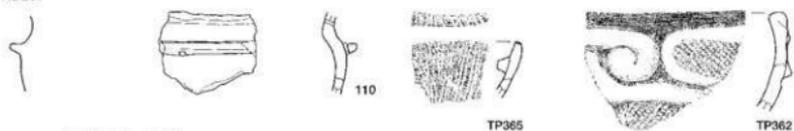


第213图 斜面貝層出土遺物実測図(41)

KB2e3

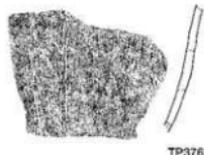
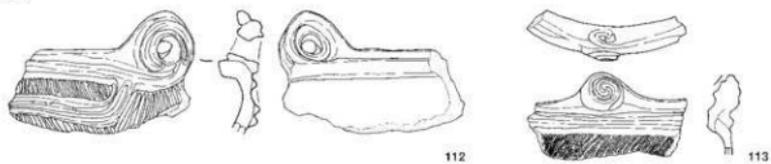


KB2e4

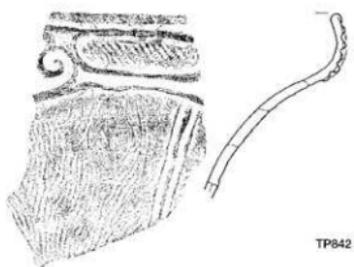
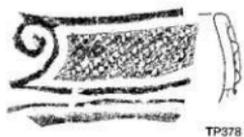
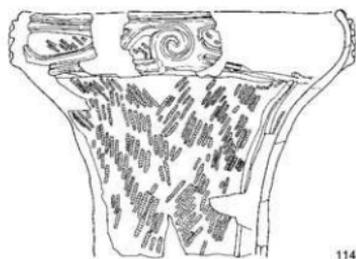


第214图 斜面貝層出土遺物実測図(42)

KB3a1

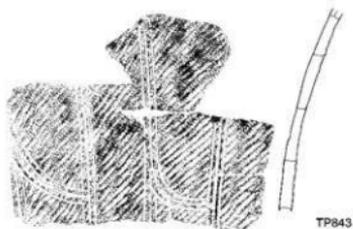
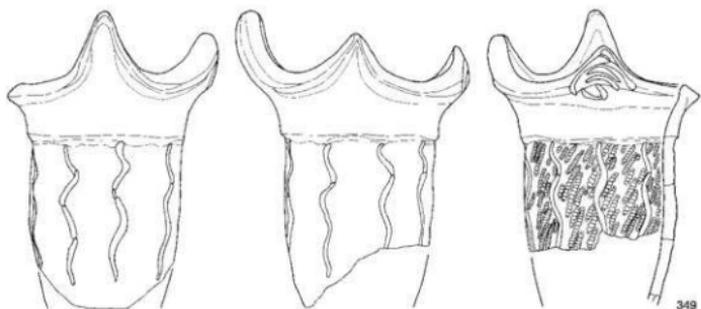


KB3a2

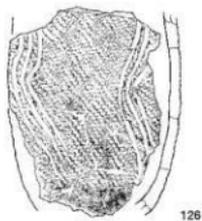
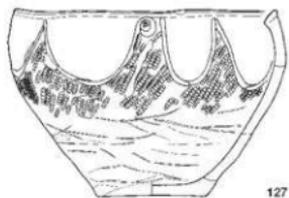


第215図 斜面貝層出土遺物実測図(43)

KB3a3



KB3a4



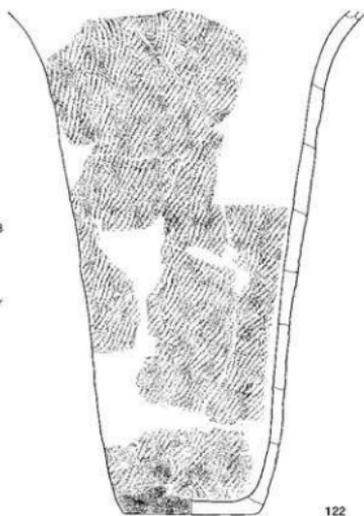
0 10cm

第216図 斜面貝層出土遺物実測図(44)

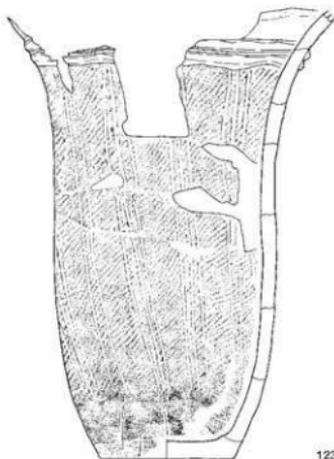
KB3a4



128



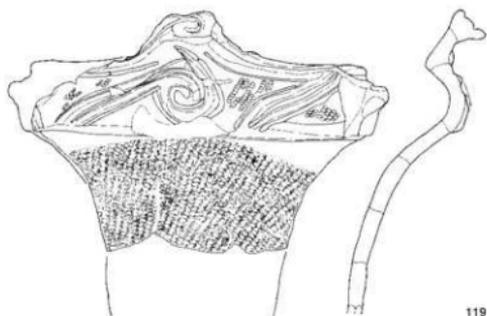
122



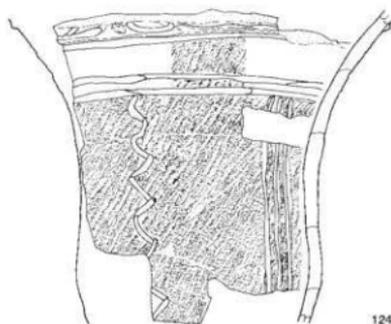
123



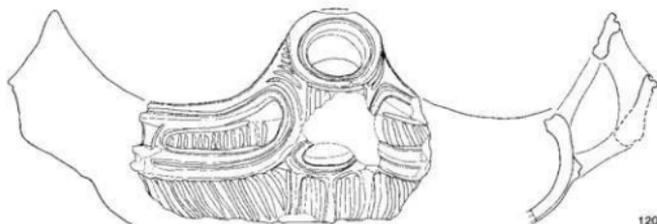
第217図 斜面貝層出土遺物実測図(45)



119

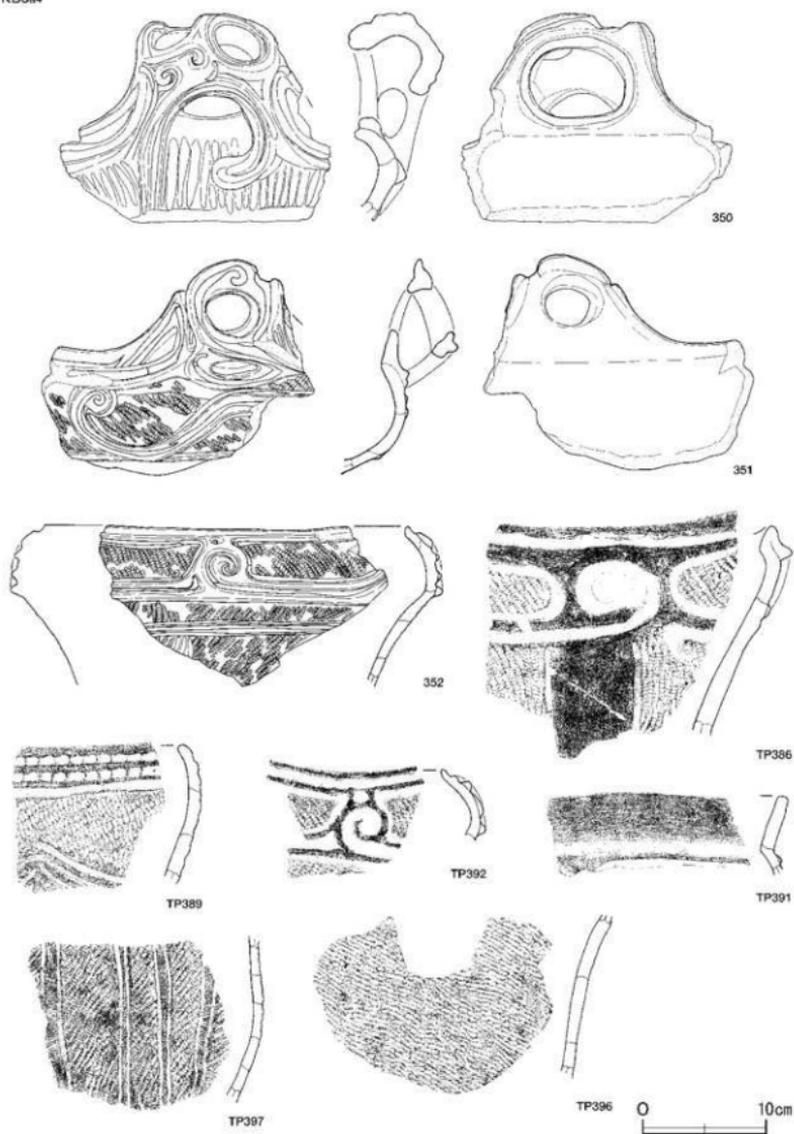


124

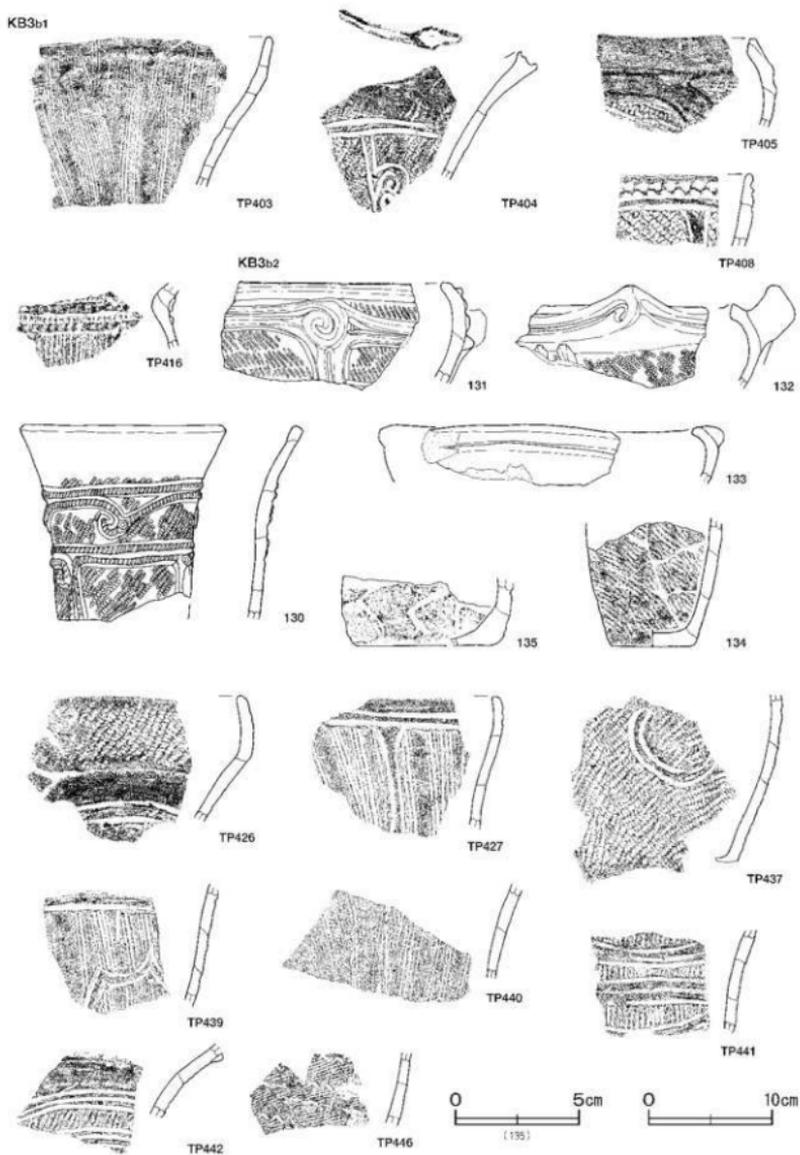


120



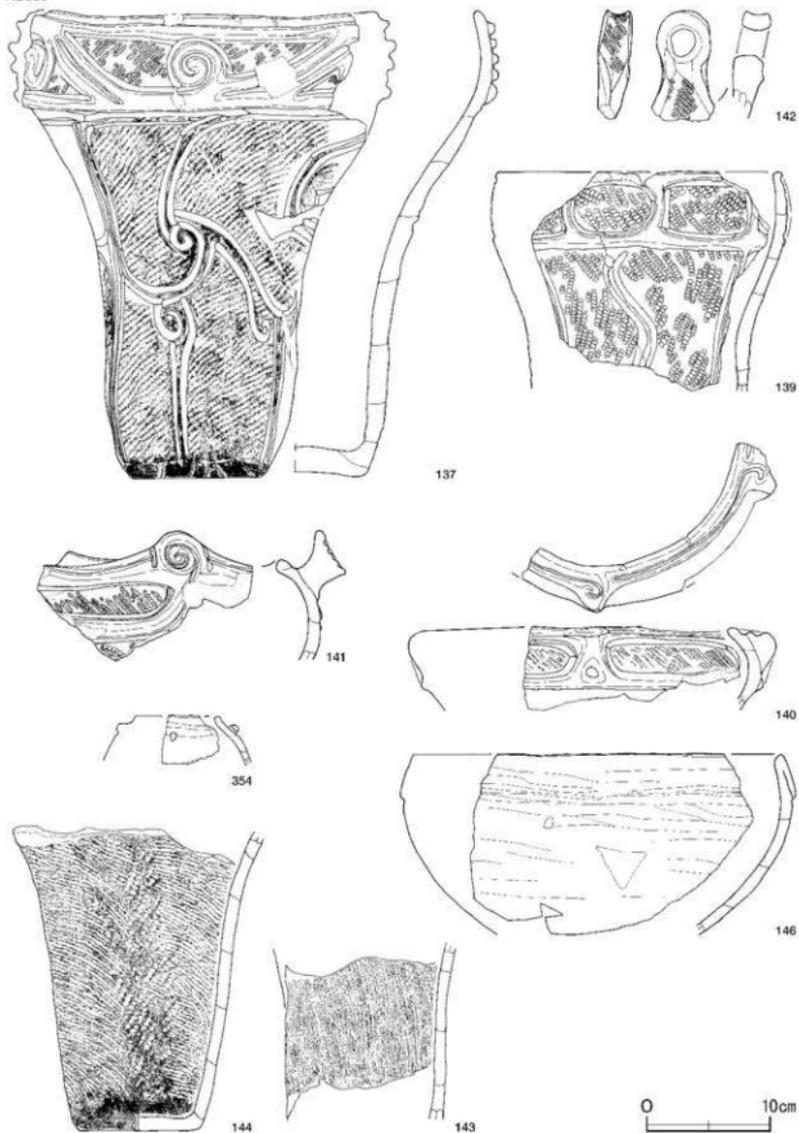


第219图 斜面貝層出土遺物実測図(47)



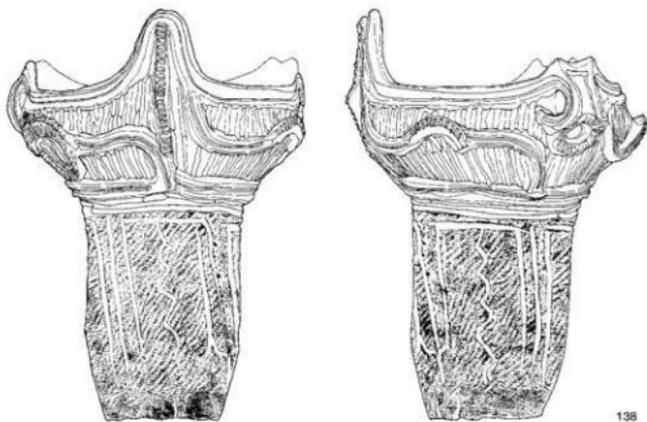
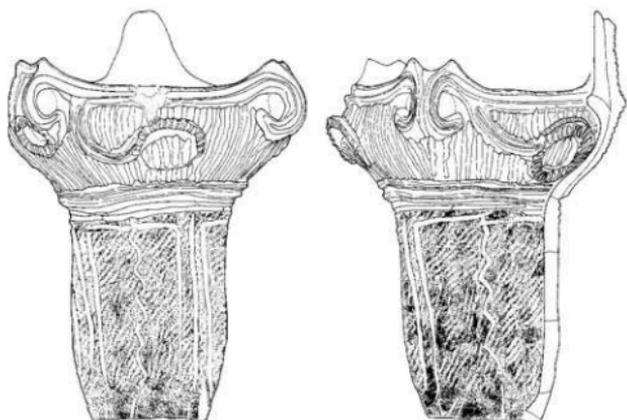
第220图 斜面貝層出土遺物実測図(48)

KB3b3

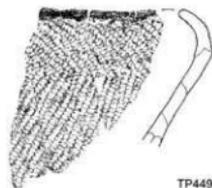


第221图 斜面貝層出土遺物実測図(49)

KB36a



138



TP449



TP450

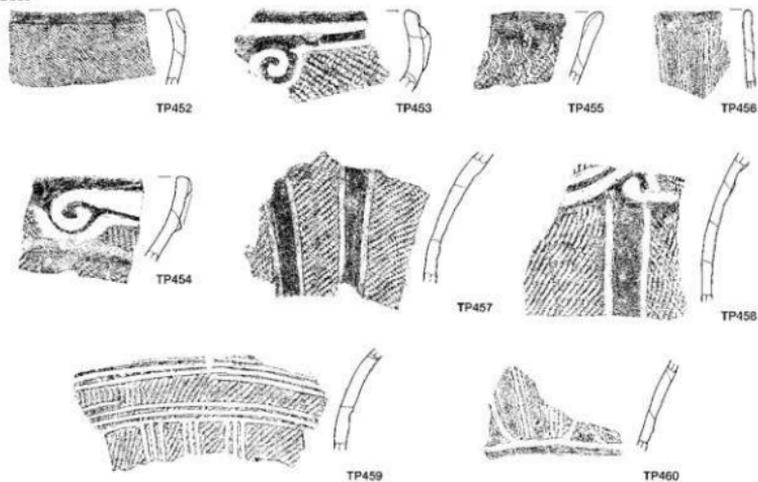


TP451

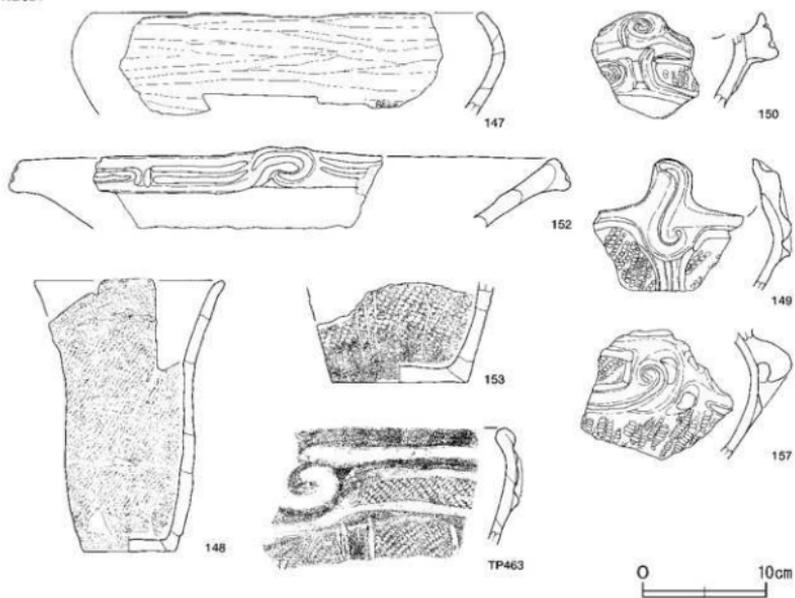
0 10cm

第222図 斜面貝層出土遺物実測図(50)

KB3b3

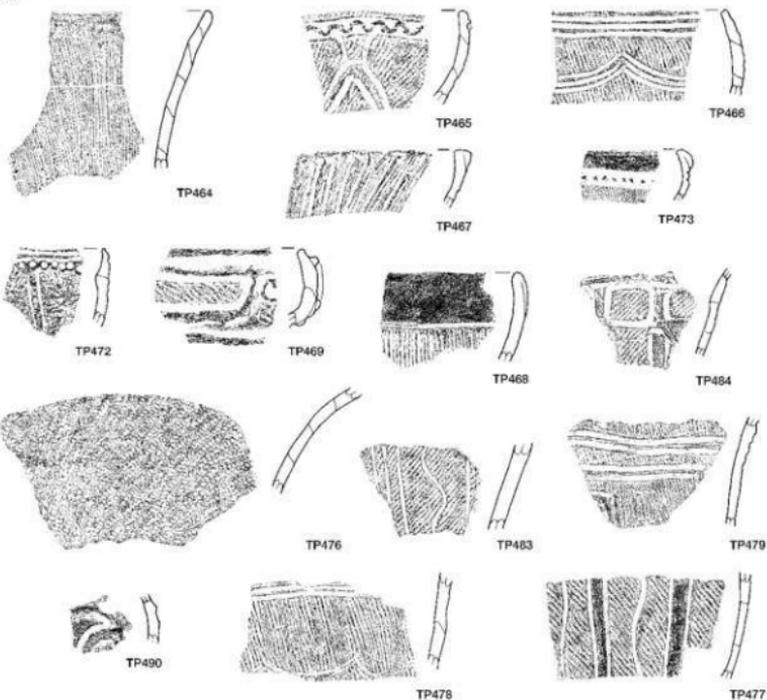


KB3b4

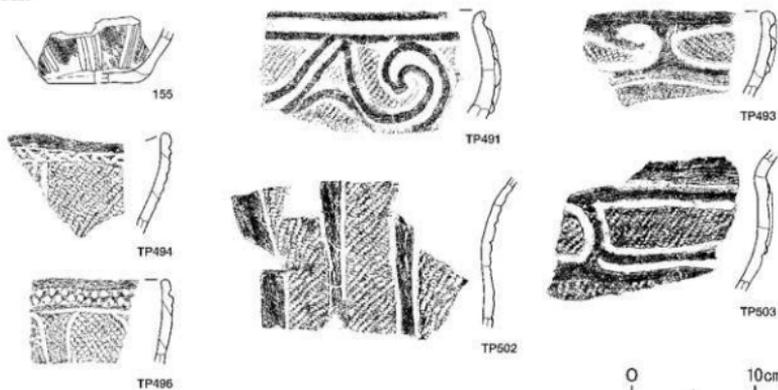


第223图 斜面貝層出土遺物実測図(51)

KB3b4



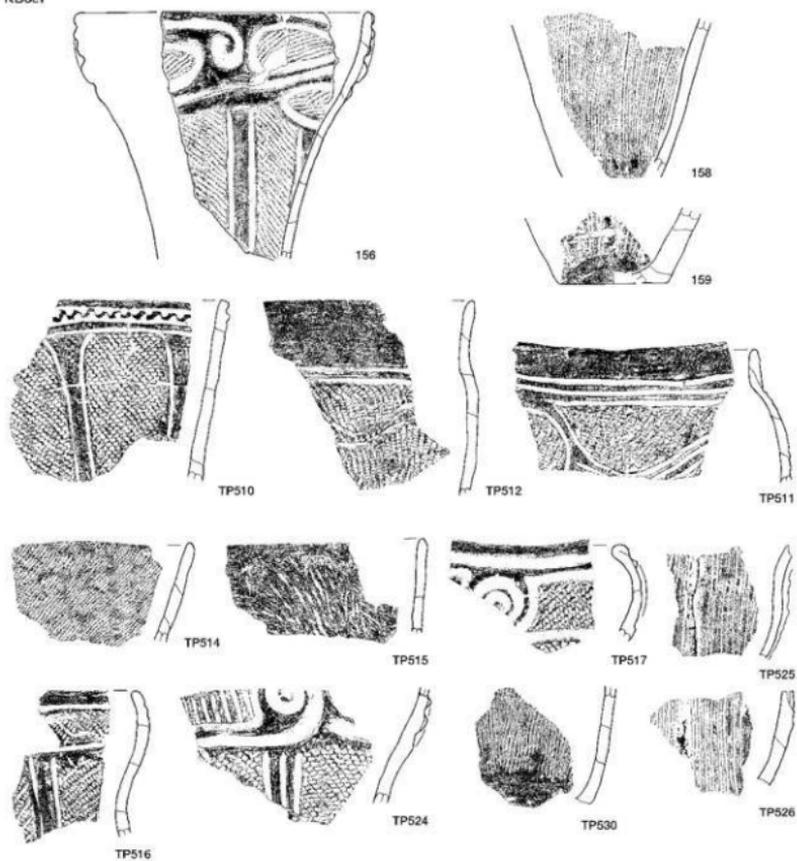
KB3b5



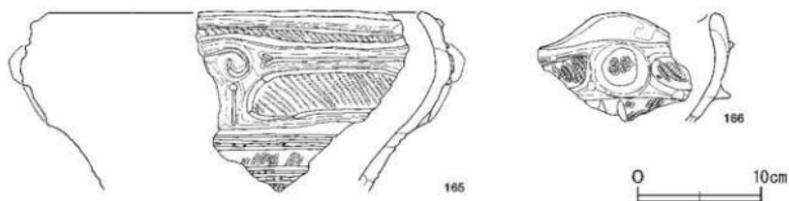
0 10cm

第224图 斜面貝層出土遺物実測図(52)

KB3c1

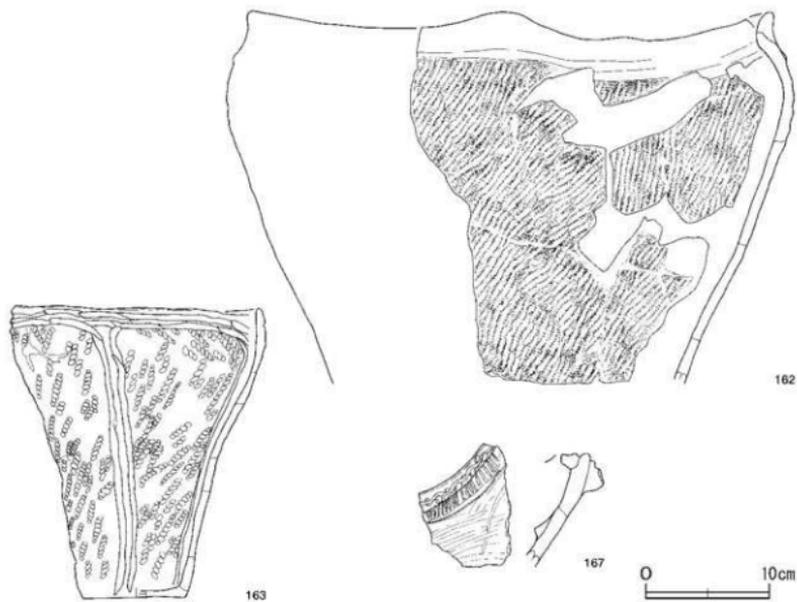
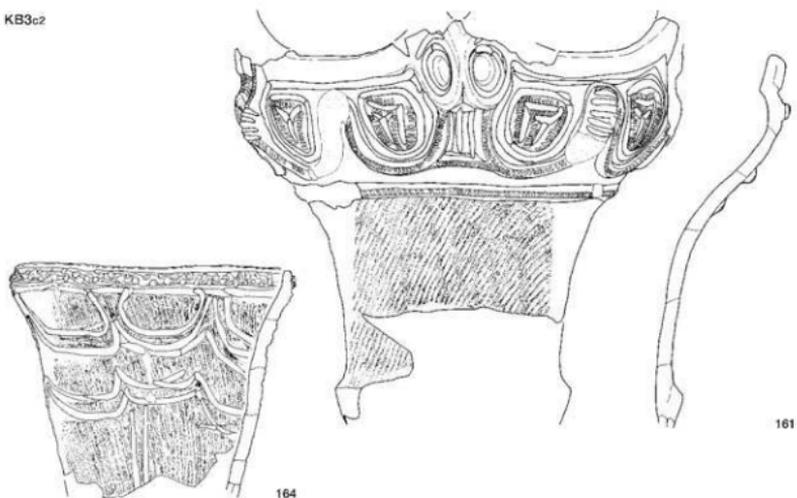


KB3c2

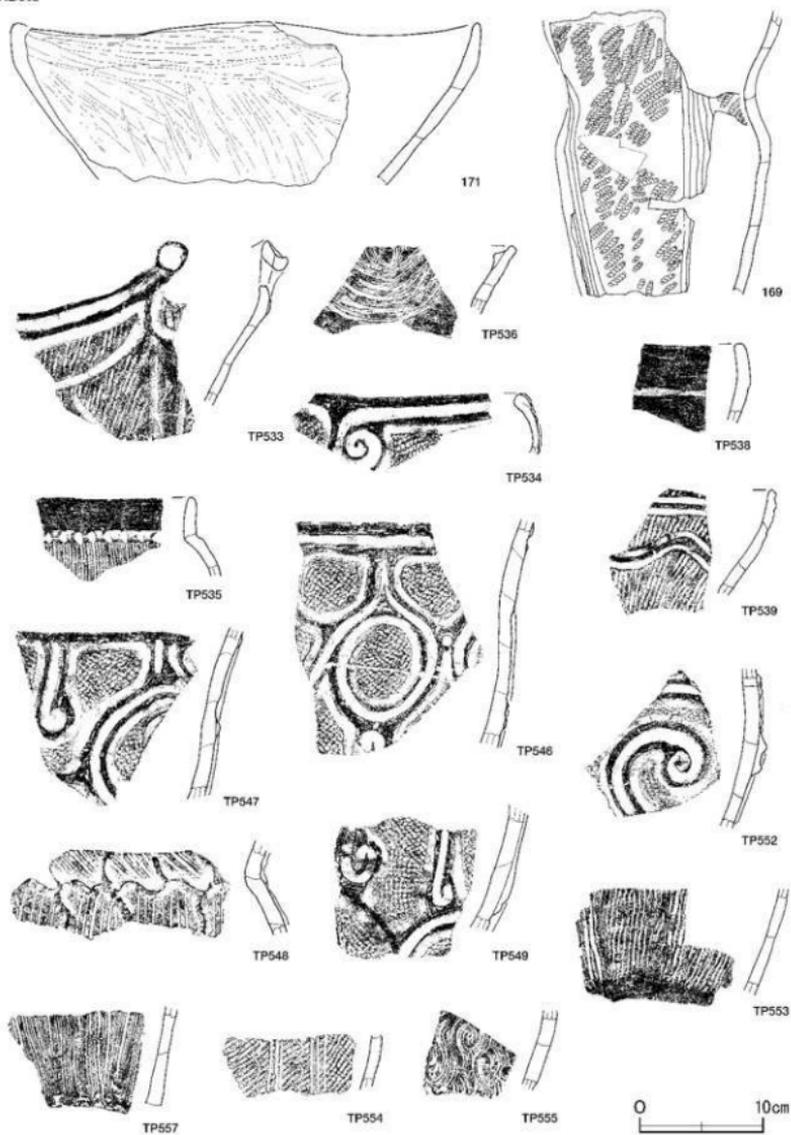


第225図 斜面貝層出土遺物実測図(53)

KB3c2

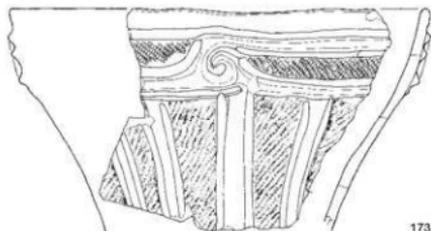
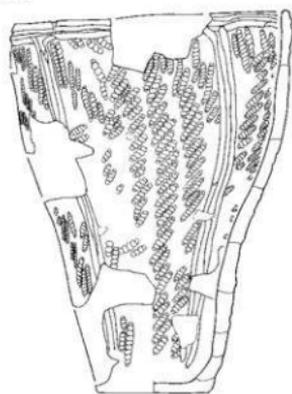


第226图 斜面貝層出土遺物実測図(54)

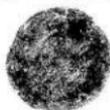


第227图 斜面貝層出土遺物実測図(55)

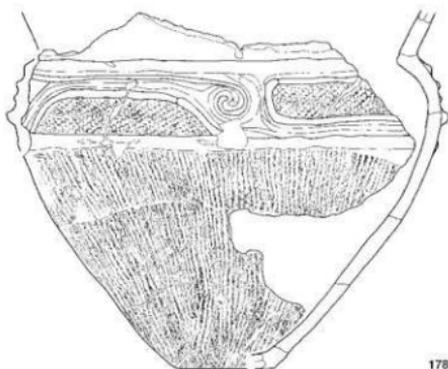
KB3c3



173



172



178



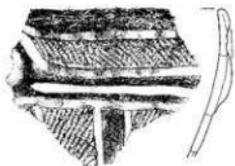
175



176



177



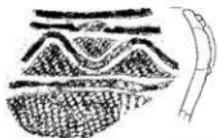
TP558



TP563



TP561



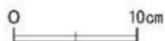
TP560



TP566

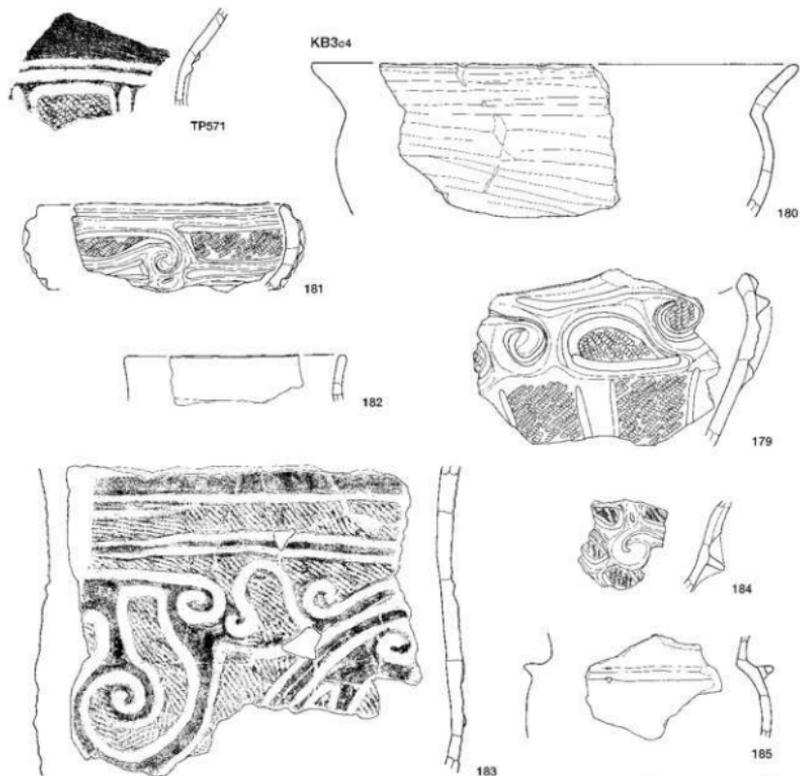
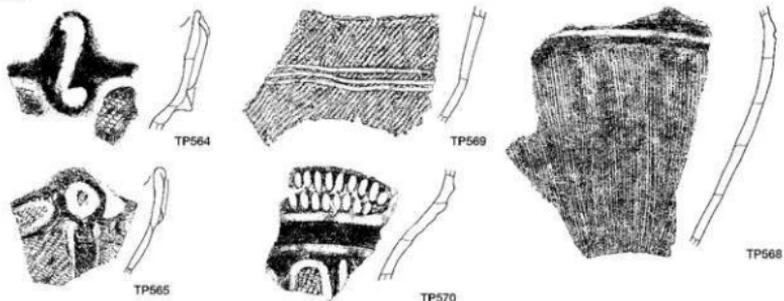


TP562



第228図 斜面貝層出土遺物実測図(56)

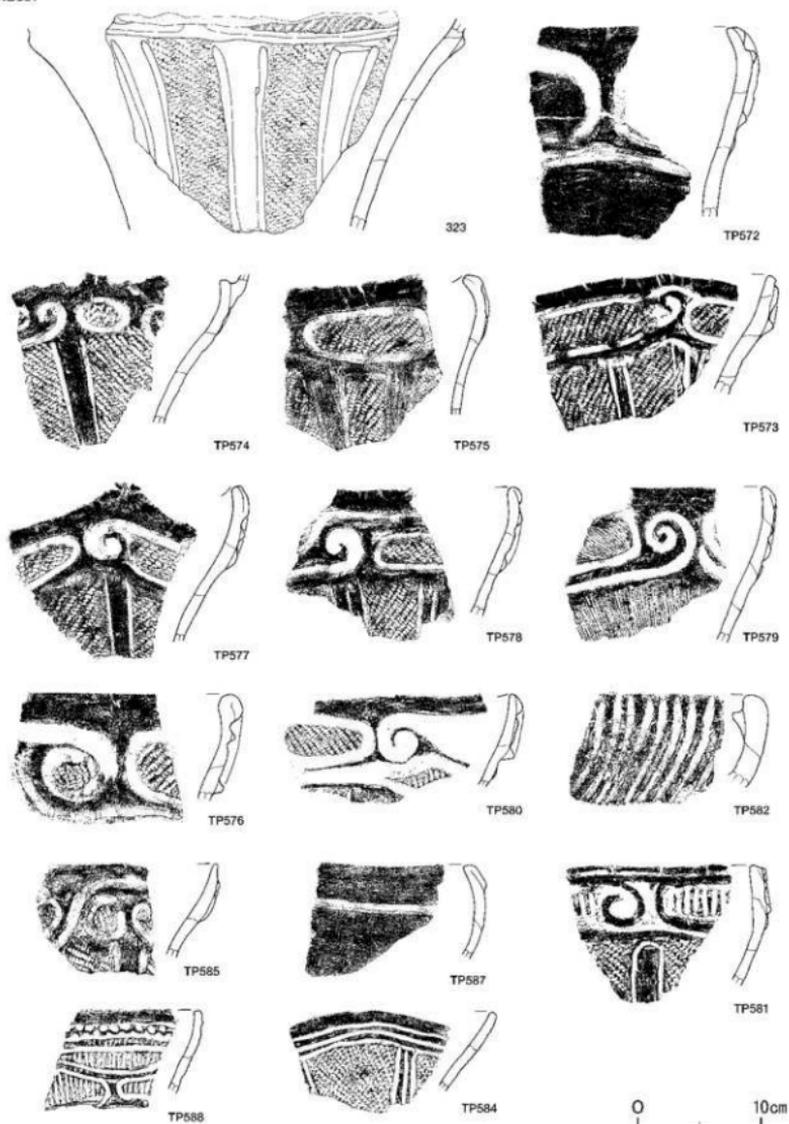
KB3c3



0 10cm

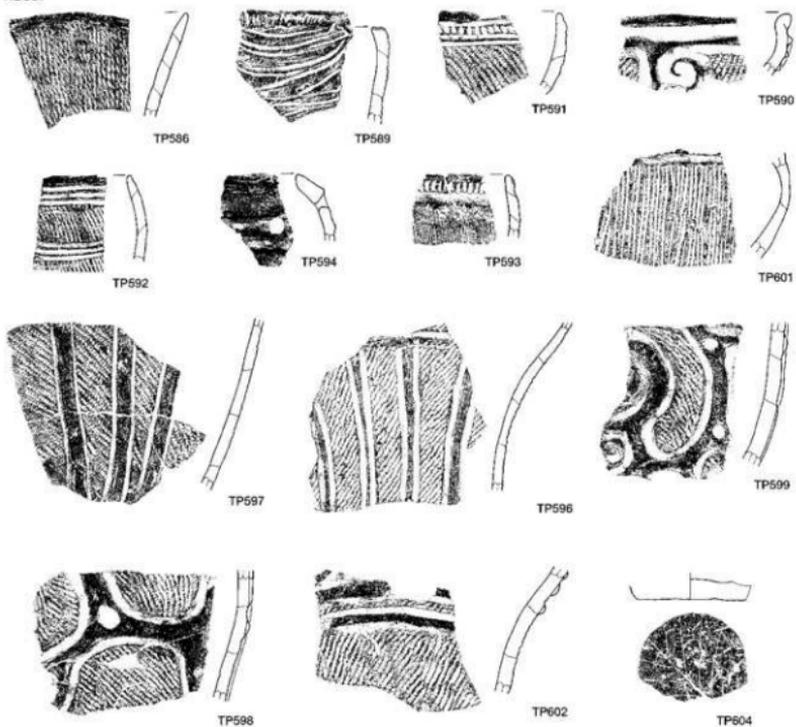
第229図 斜面貝層出土遺物実測図(57)

KB3c4

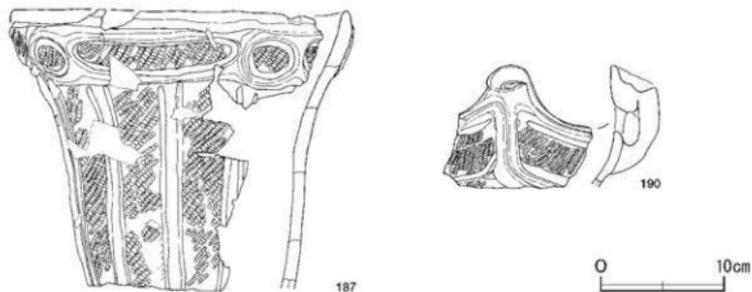


第230图 斜面貝層出土遺物実測図(58)

KB3c4

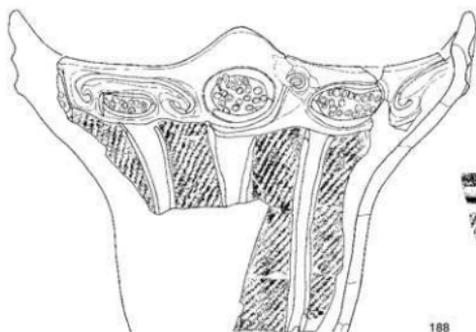


KB3c5

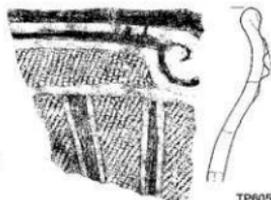


第231图 斜面貝層出土遺物実測図(59)

KB3c5



TP606



TP605

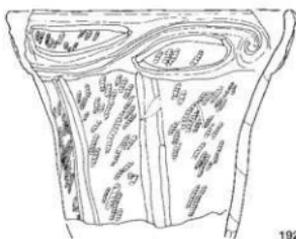


189



TP607

KB3a1



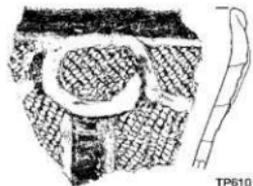
192



193



194



TP610

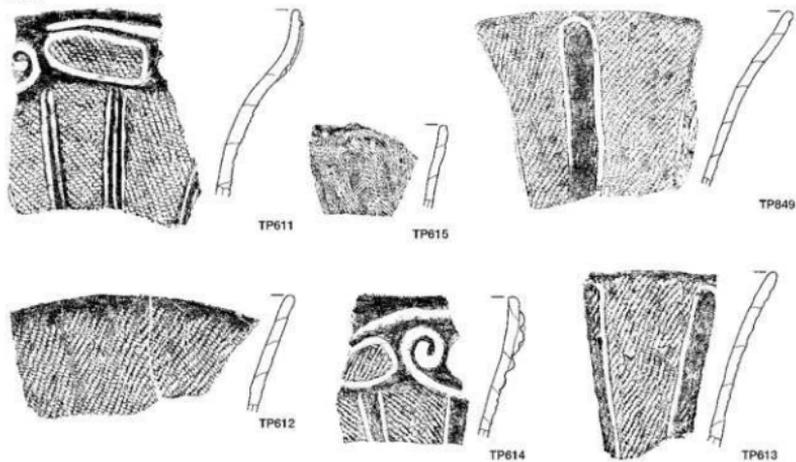


TP609

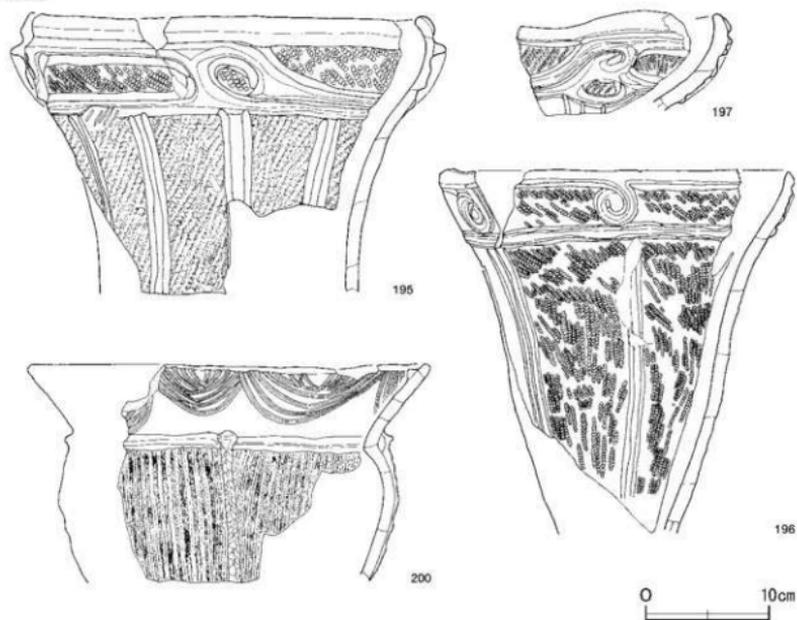


第232图 斜面貝層出土遺物実測図(60)

KB3d1



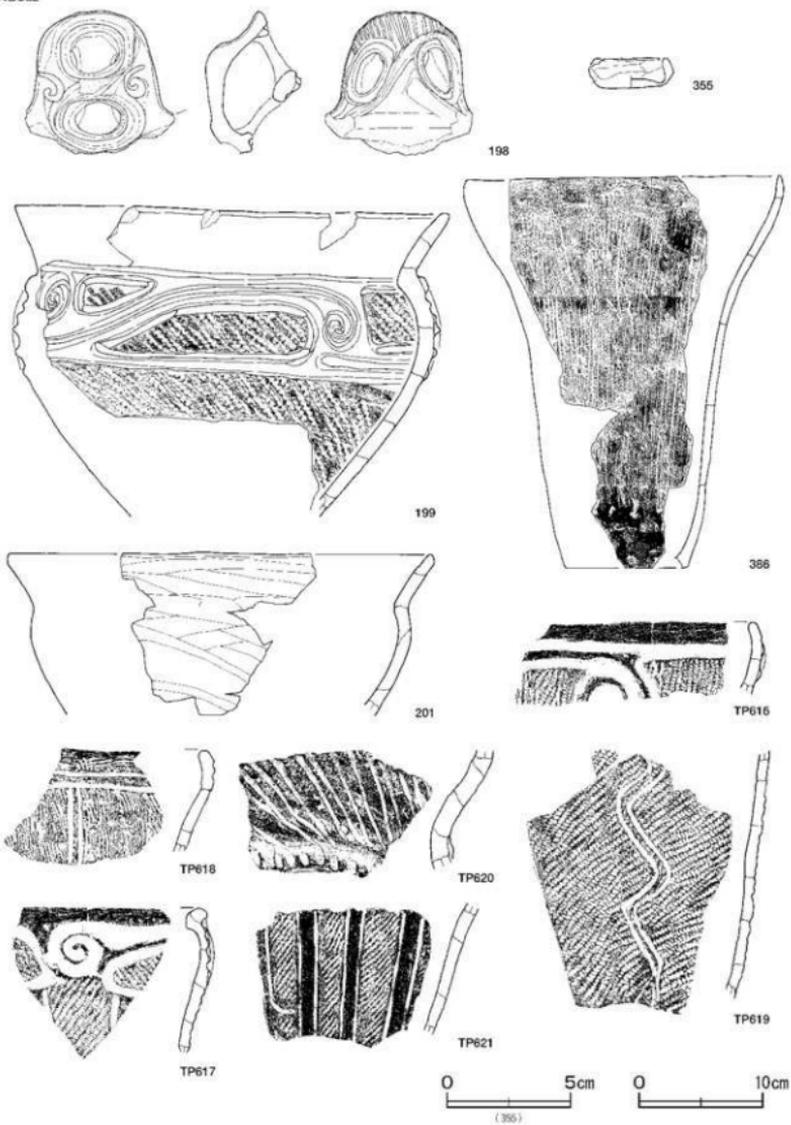
KB3d2



0 10cm

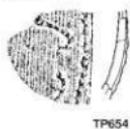
第233图 斜面貝層出土遺物実測図(61)

KB3a2

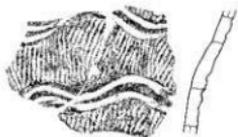


第234図 斜面貝層出土遺物実測図(62)

KB3a2



TP654



TP622

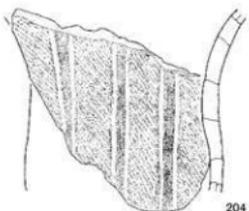
KB3a3



202



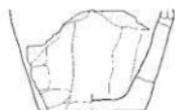
203



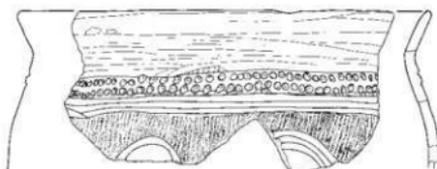
204



205



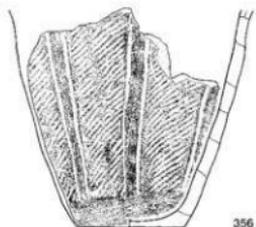
206



305



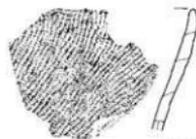
207



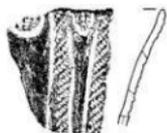
356



TP625



TP626



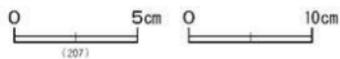
TP627



TP628



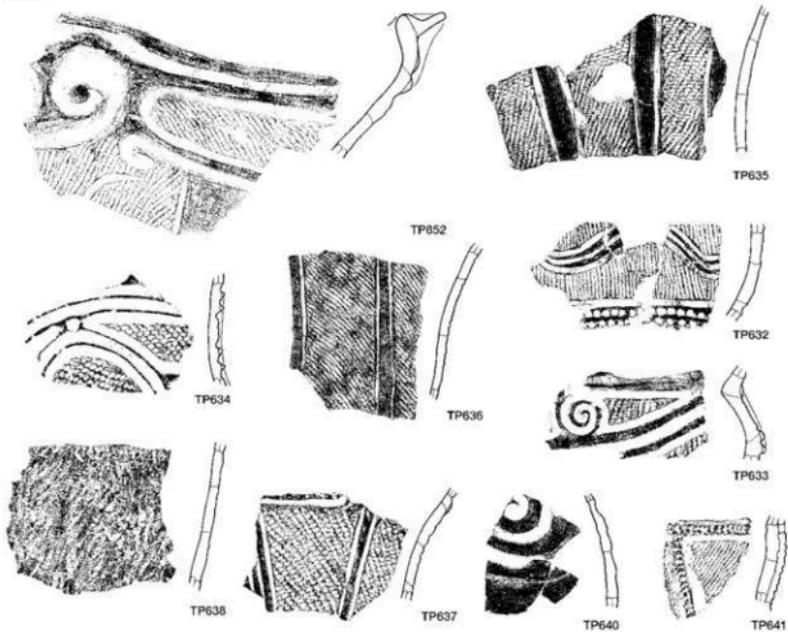
TP629



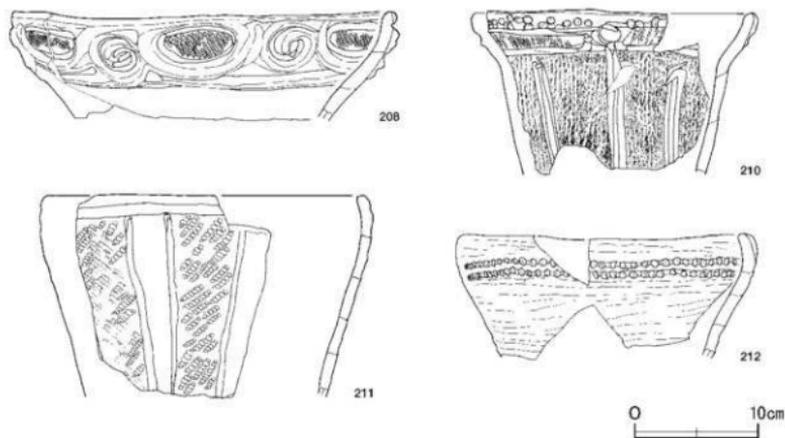
(207)

第235图 斜面貝層出土遺物実測図(63)

KB3a3

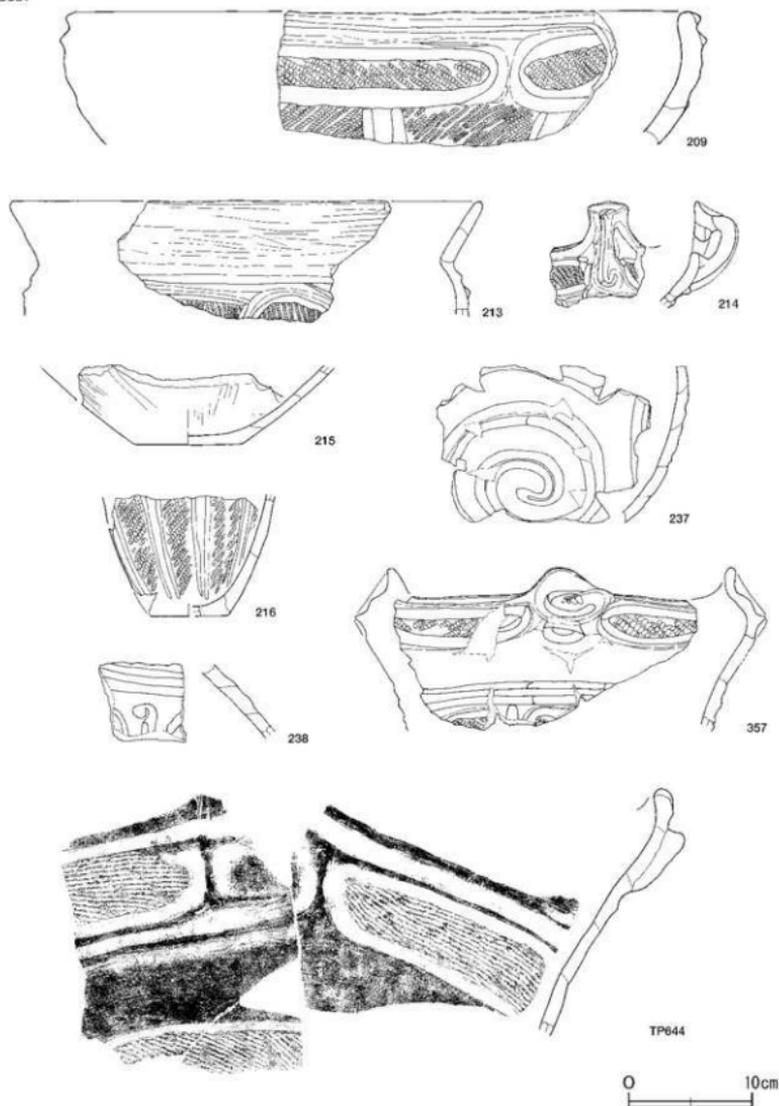


KB3d4



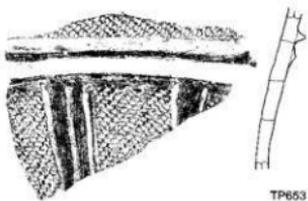
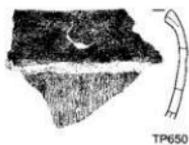
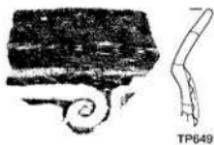
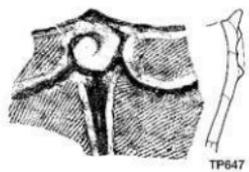
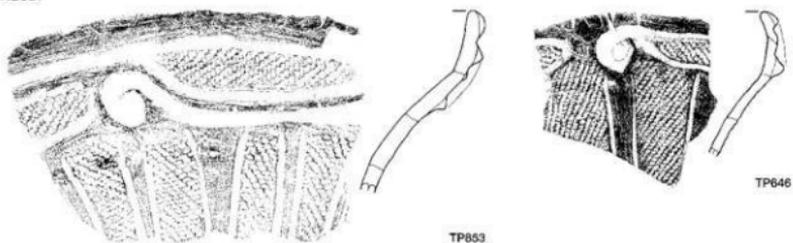
第236图 斜面貝層出土遺物実測図(64)

KB3d4

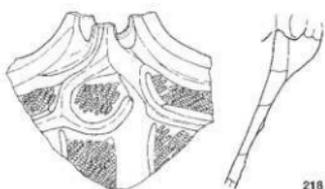
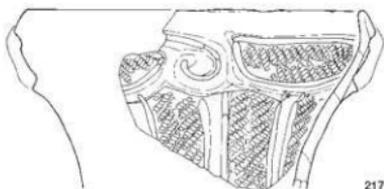


第237图 斜面貝層出土遺物実測図(65)

KB3d4

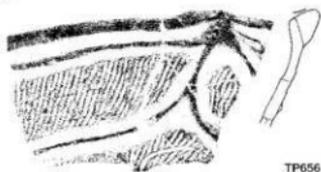


KB3d5

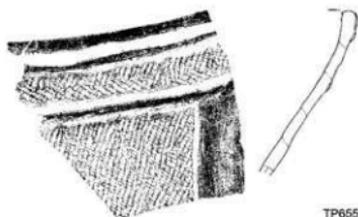


第238图 斜面貝層出土遺物実測図(66)

KB3e5

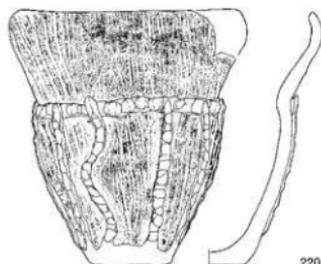


TP656

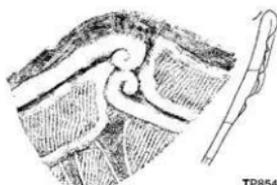


TP655

KB3e1



220

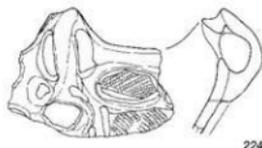


TP654

KB3e2



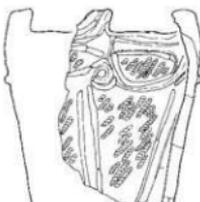
221



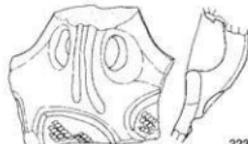
224



358



222



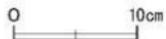
223



225

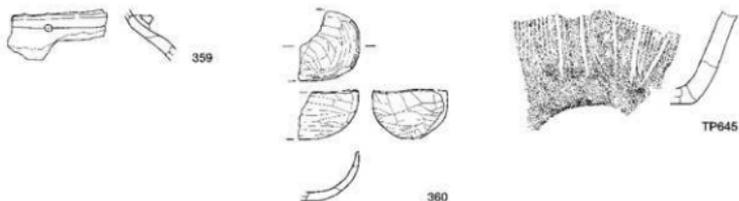


151

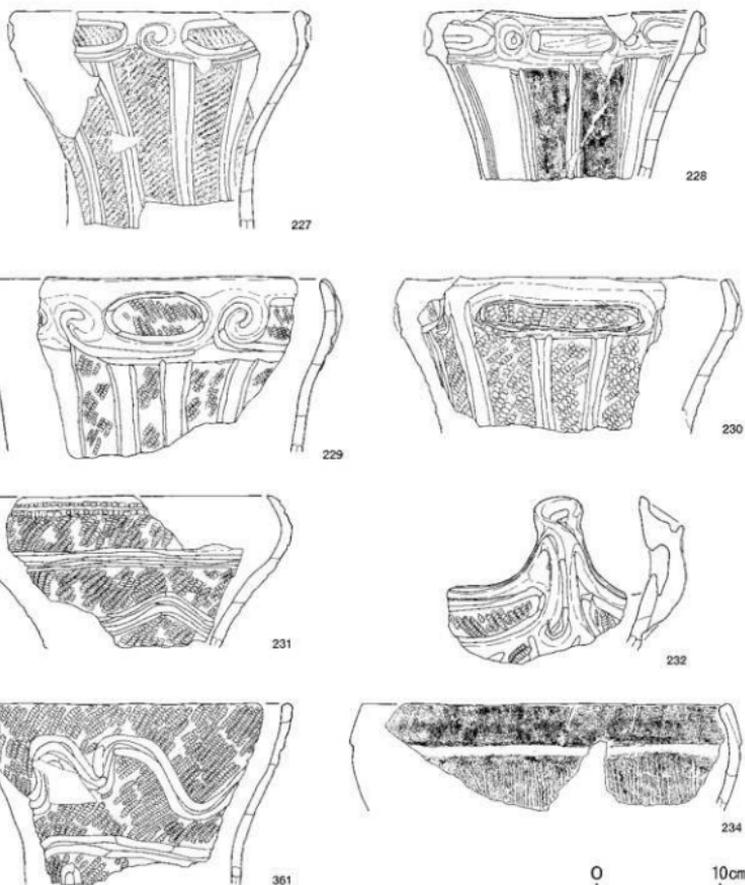


第239图 斜面貝層出土遺物実測図(67)

KB3e2

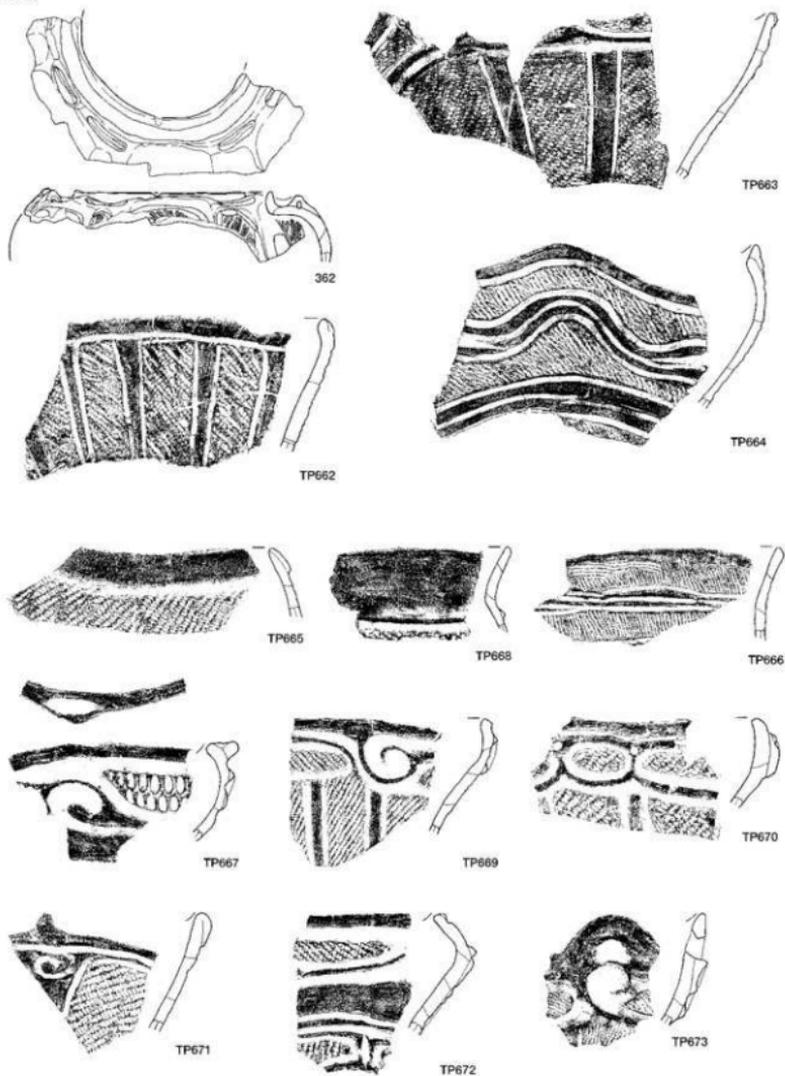


KB3e3



第240図 斜面貝層出土遺物実測図(68)

KB3e3

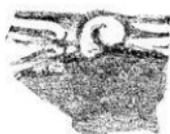


第241图 斜面貝層出土遺物実測図(69)

KB3e3



TP674



TP676



TP660



TP675



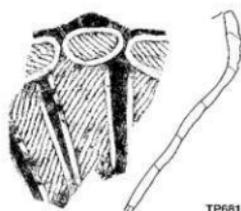
TP677



KB3e4



236



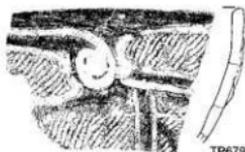
TP681



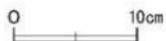
236



TP680



TP679

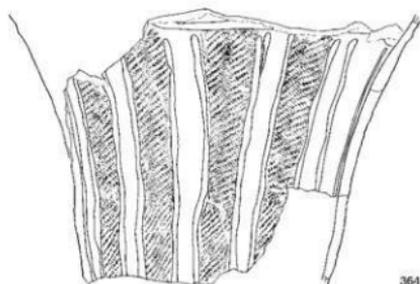


第242图 斜面貝層出土遺物実測図(70)

KB3e6

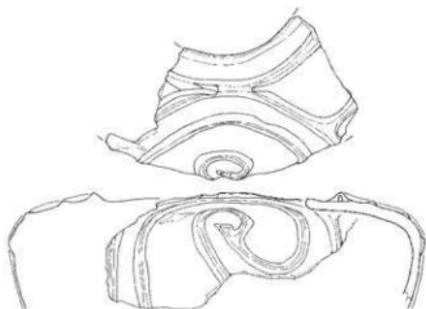


363

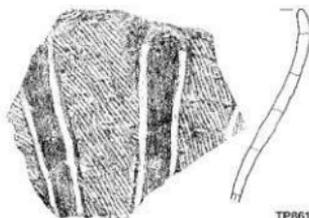


364

KC2a2



365

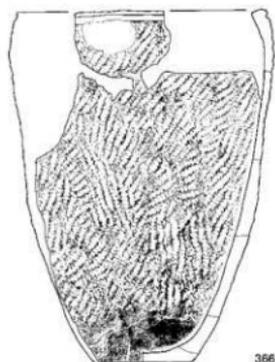


TP061

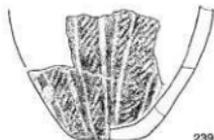


TP062

KC2a3



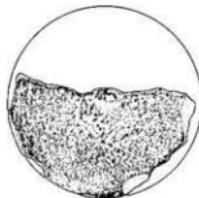
366



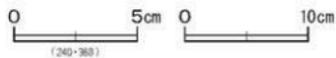
239



240



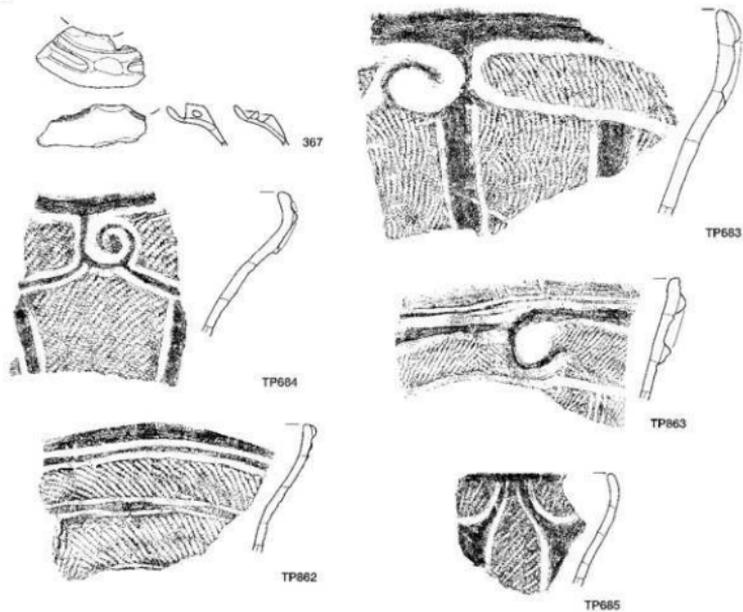
368



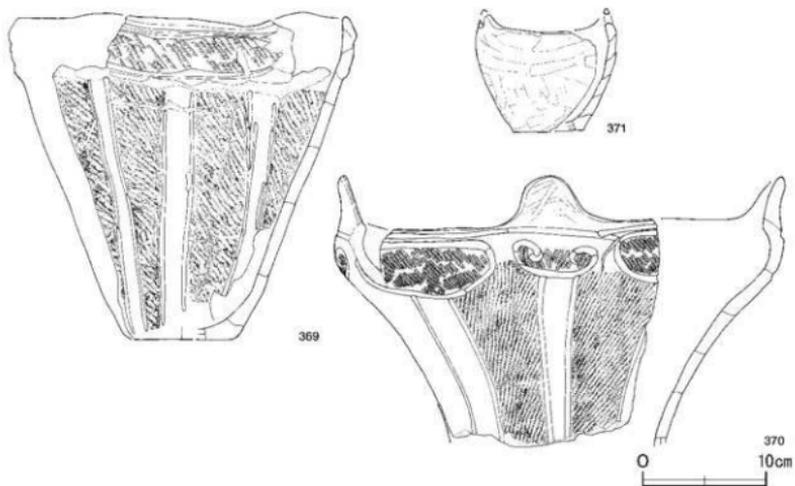
(240-363)

第243图 斜面貝層出土遺物実測図(71)

KC2a3

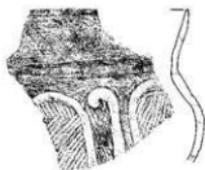


KC2a4

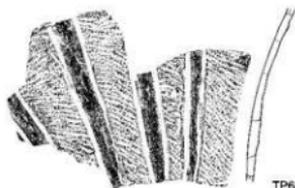


第244图 斜面貝層出土遺物実測図(72)

KC2a4

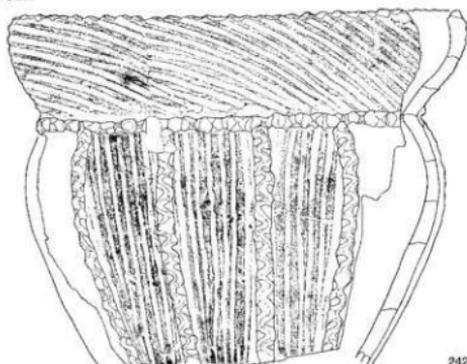


TP664



TP686

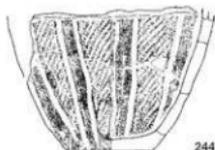
KC2a5



242



243



244



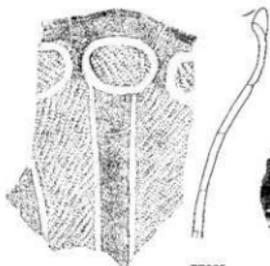
372



378



245



TP665



TP688



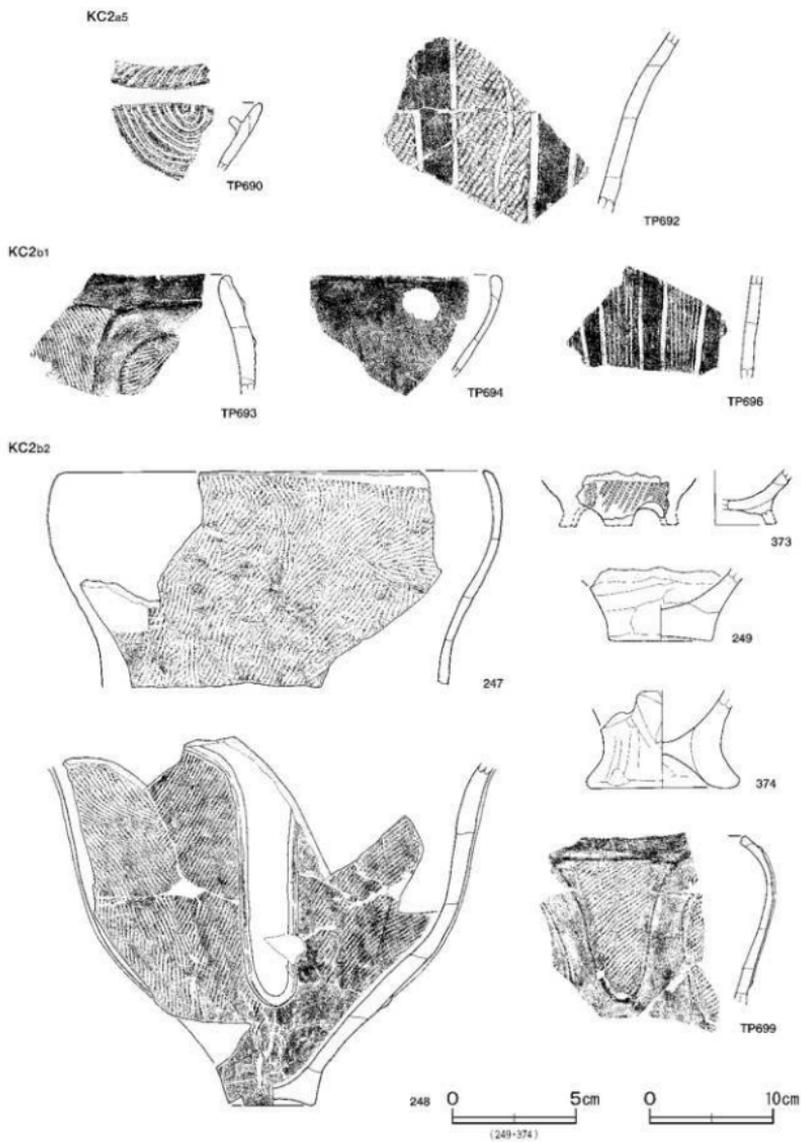
TP687

0 5cm

0 10cm

(245-378)

第245图 斜面貝層出土遺物実測図(73)

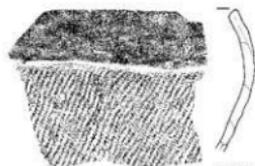


第246图 斜面貝層出土遺物実測図(74)

KC2b2

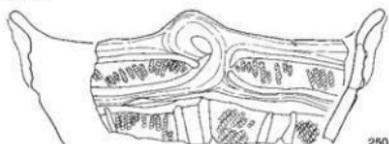


TP697

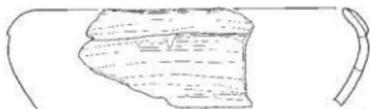


TP698

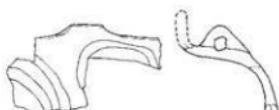
KC2b3



250



251



252



253



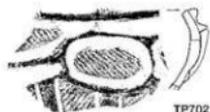
254



255



TP700



TP702



TP703

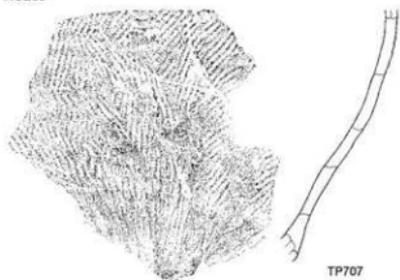


TP704



第247图 斜面貝層出土遺物実測図(75)

KC2b3



TP707

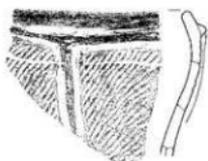
KC2b4



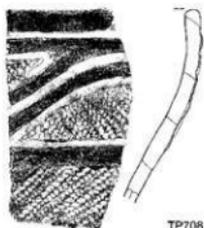
256



TP709

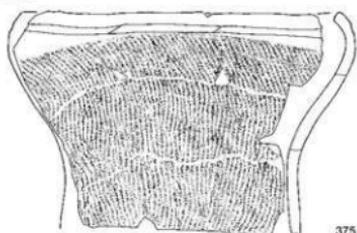


TP710

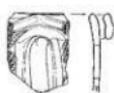


TP708

KC2b5



375



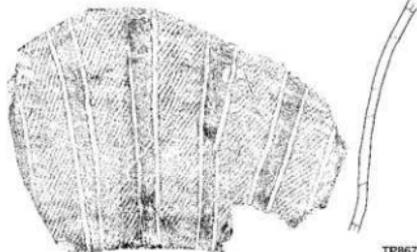
376



TP715



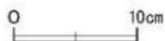
TP712



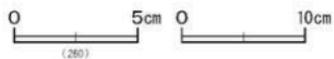
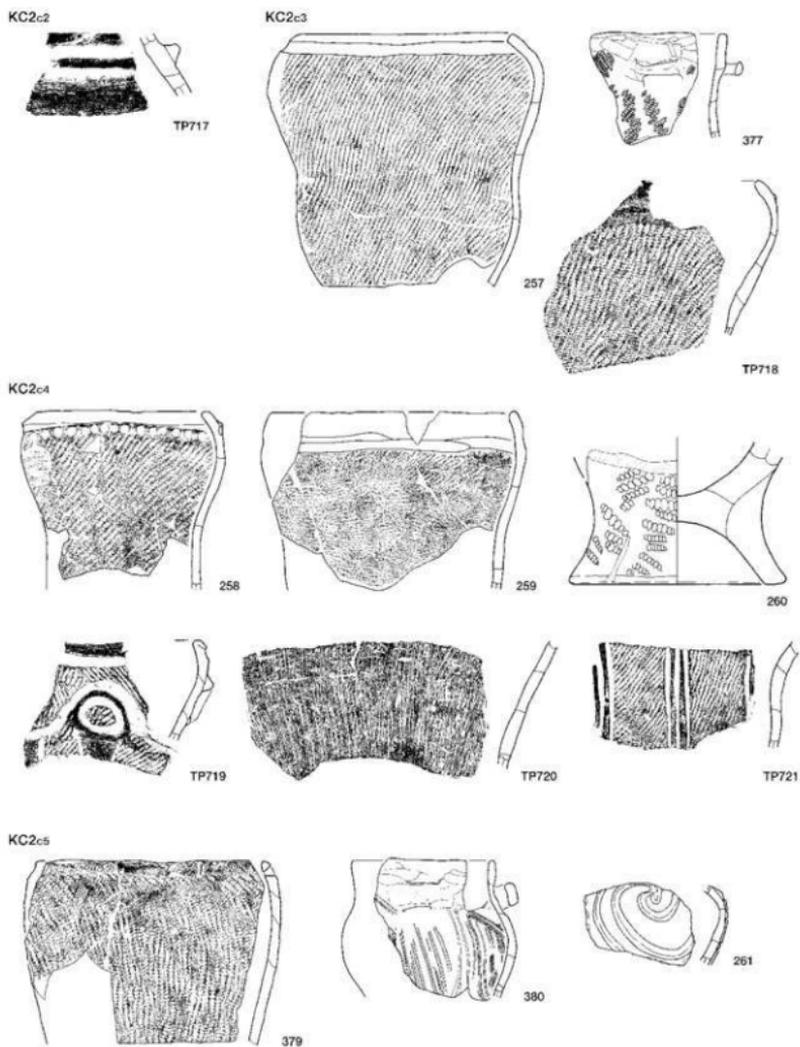
TP867



TP713

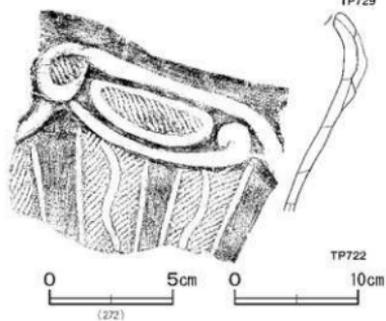
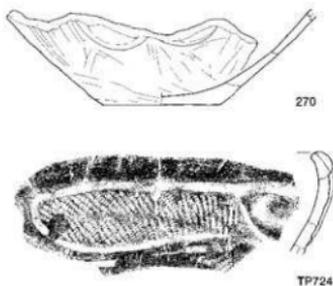
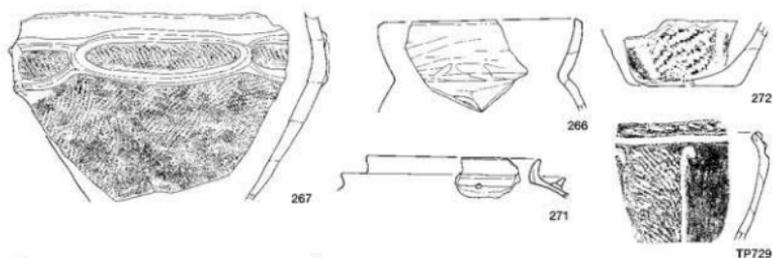
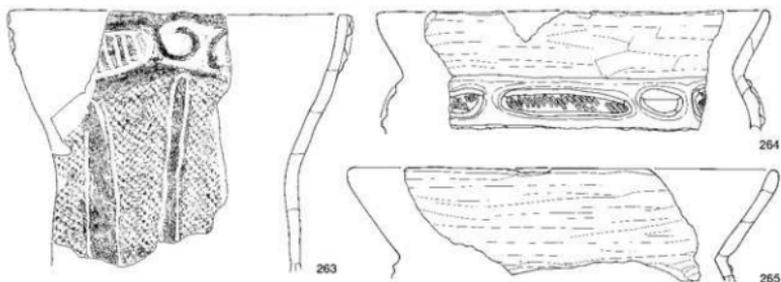


第248图 斜面貝層出土遺物実測図(76)



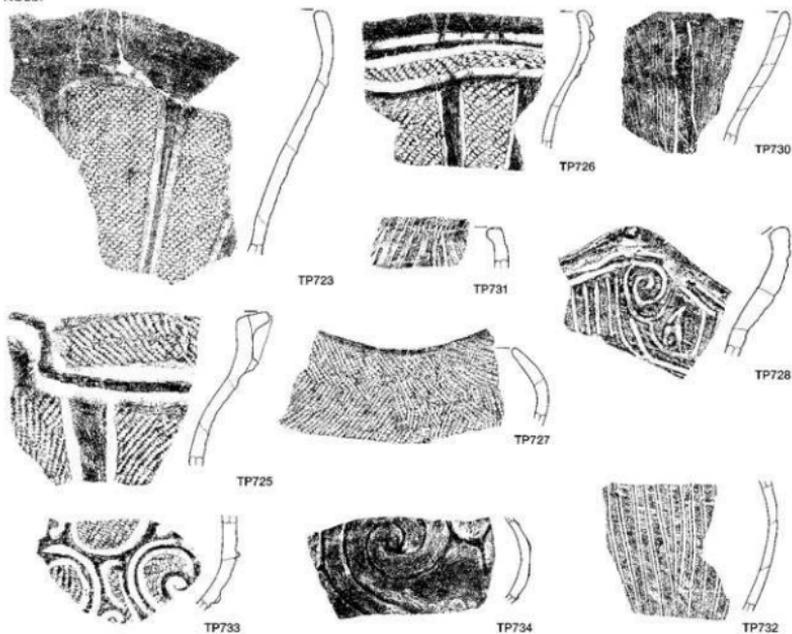
第249図 斜面貝層出土遺物実測図(77)

KC3a1

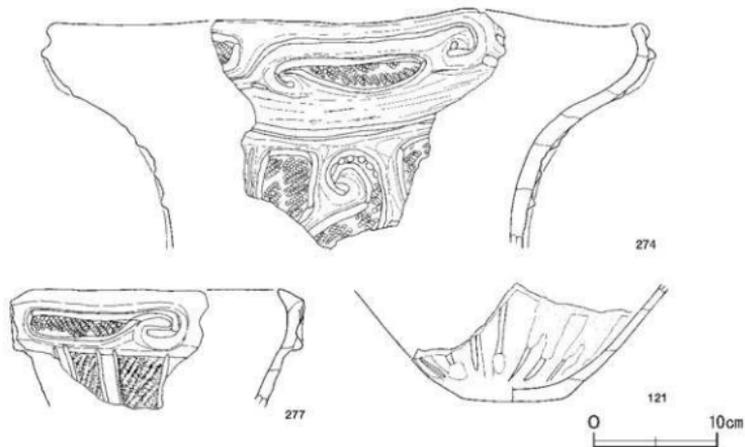


第250图 斜面貝層出土遺物実測図(78)

KC3a1

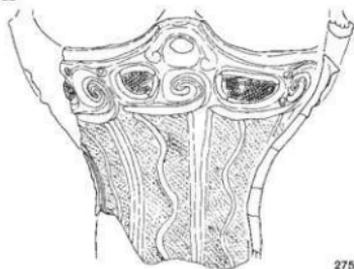


KC3a2

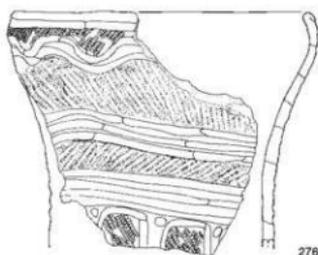


第251图 斜面貝層出土遺物実測図(79)

KC3a2



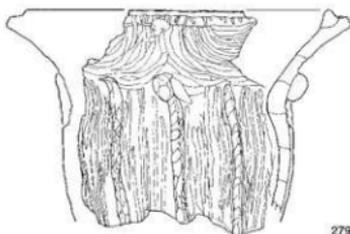
275



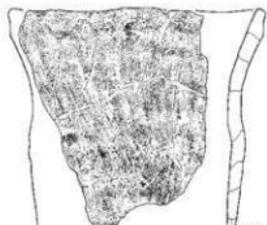
276



278



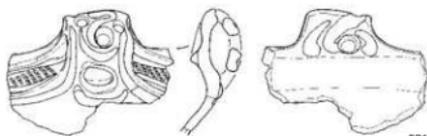
279



280



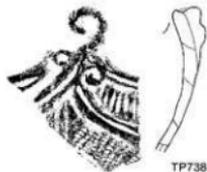
282



281



TP737



TP738



TP739

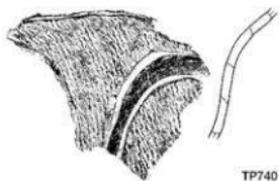
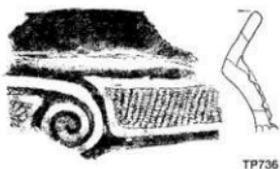


TP741

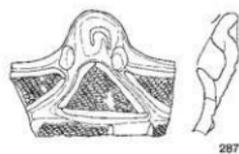
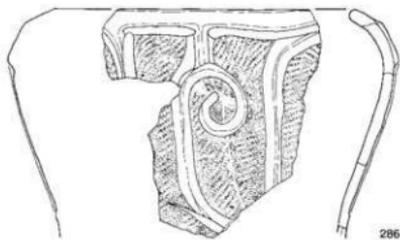
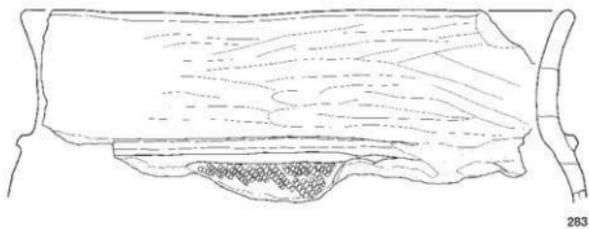
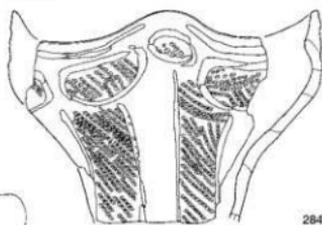
0 10cm

第252图 斜面貝層出土遺物実測図(80)

KC3a2



KC3a3



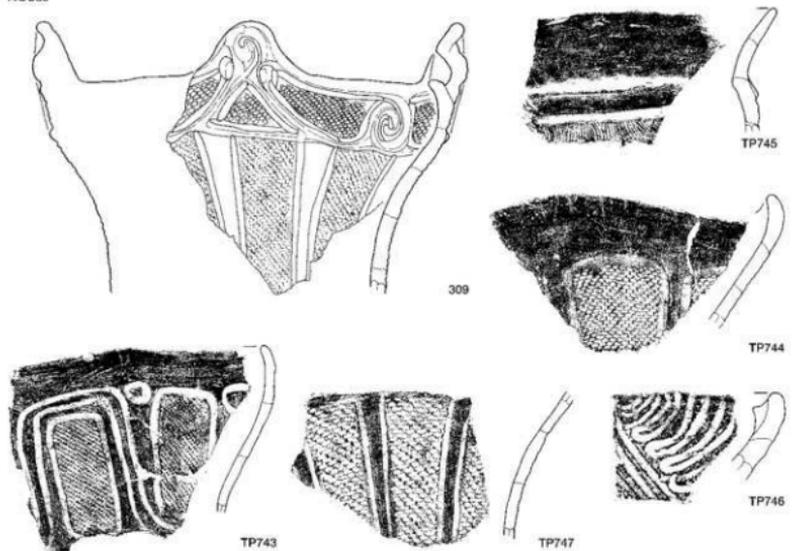
0 5cm

0 10cm

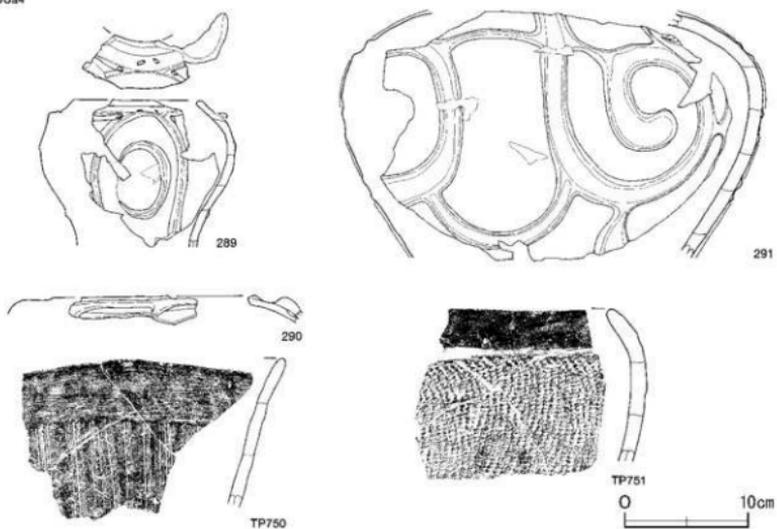
(286)

第253图 斜面貝層出土遺物実測図(81)

KC3a3

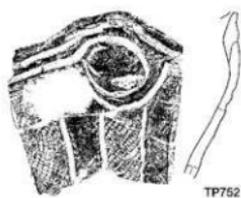
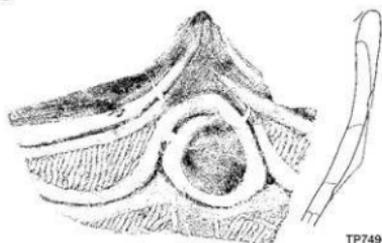


KC3a4

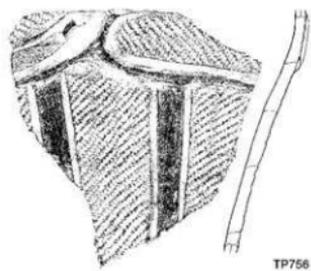
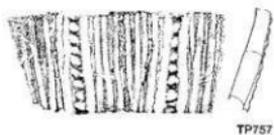
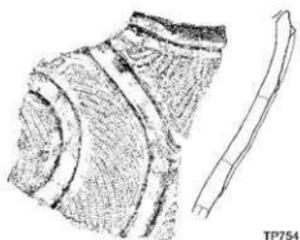
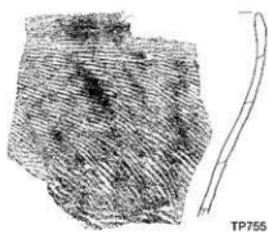


第254図 斜面貝層出土遺物実測図(82)

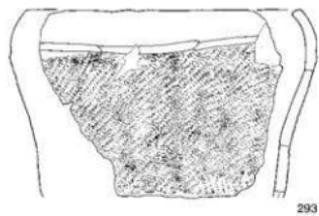
KC3a4



KC3a5

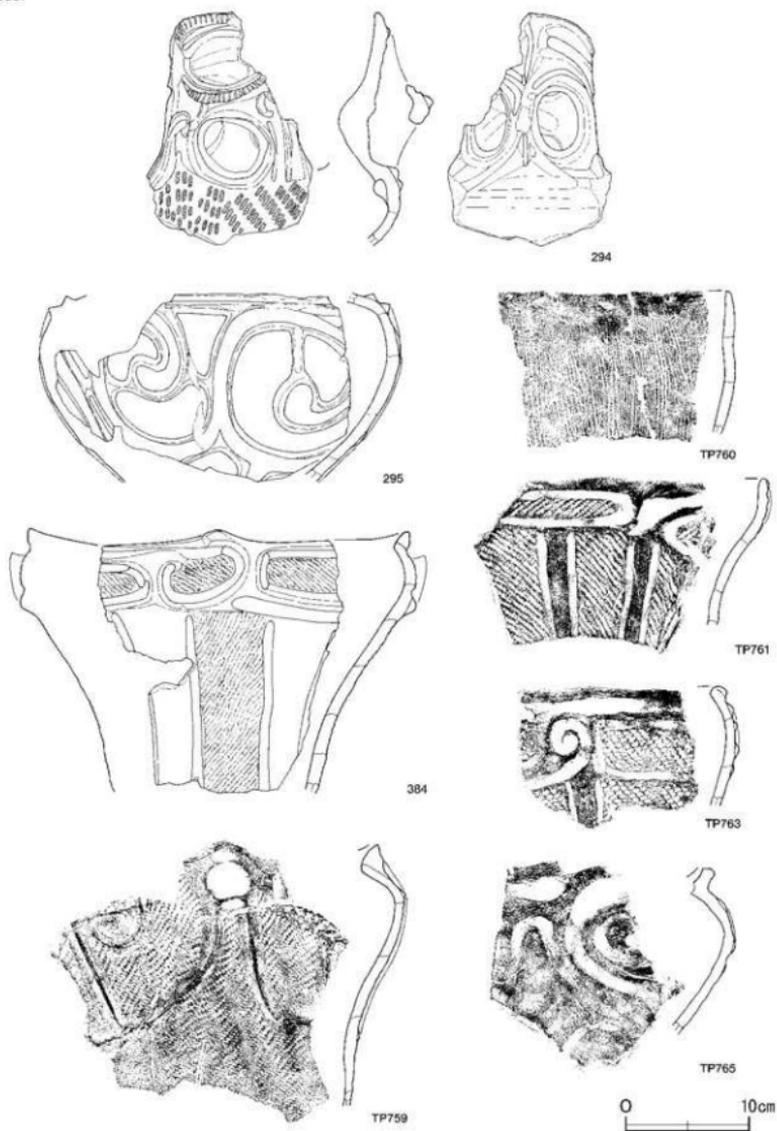


KC3b1



0 10cm

第255图 斜面貝層出土遺物実測図(83)

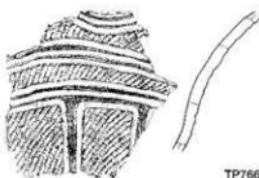


第256图 斜面貝層出土遺物実測図(84)

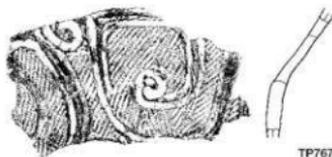
KC3b1



TP764



TP766



TP767

KC3b2



299



298



300



297



301



302



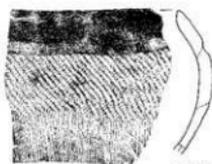
303



304



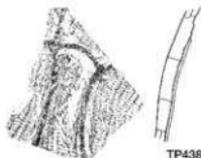
TP768



TP769



TP771



TP438



TP770

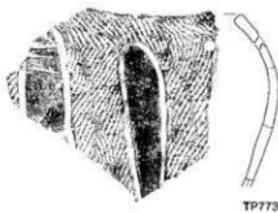
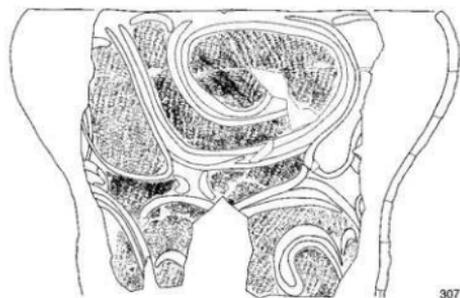
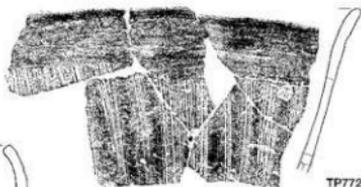
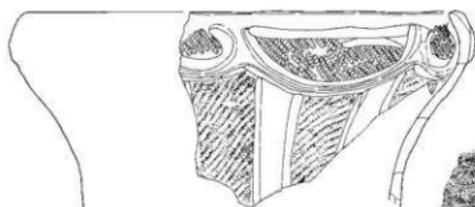
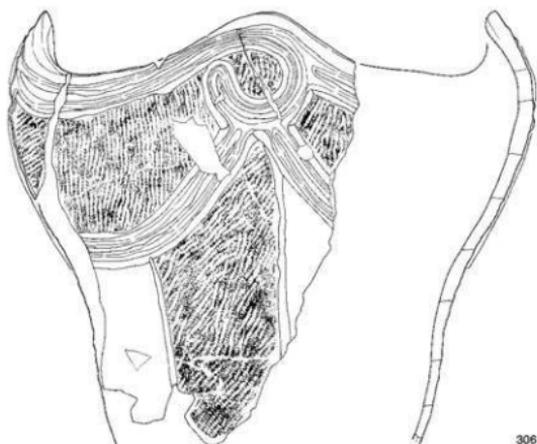
0 5cm

0 10cm

[301-304]

第257图 斜面貝層出土遺物実測図(85)

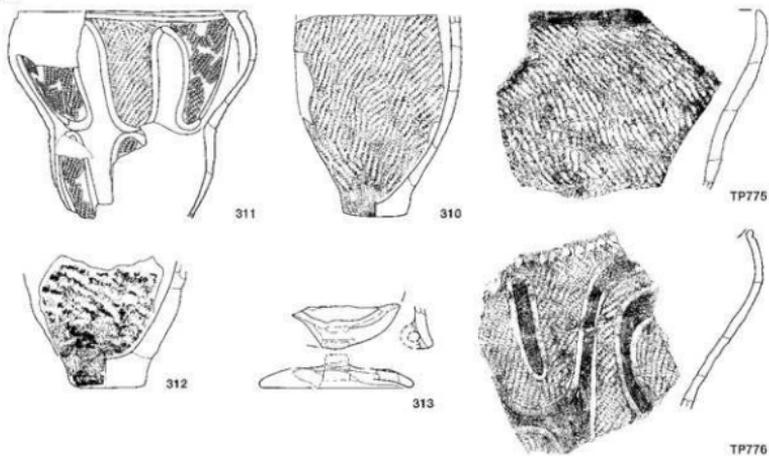
KC35a



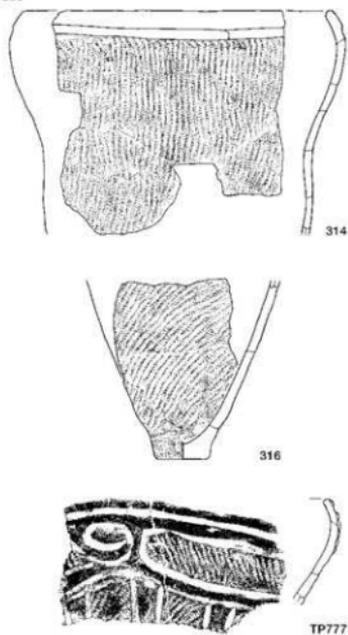
0 10cm

第258図 斜面貝層出土遺物実測図(86)

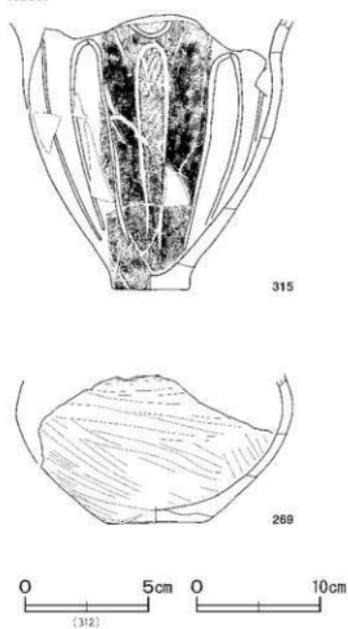
KC3b4



KC3b5



KC3e1

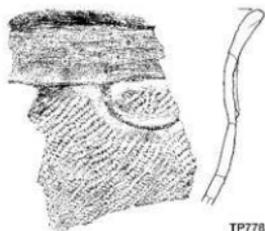


第259図 斜面貝層出土遺物実測図(87)

KC3e1

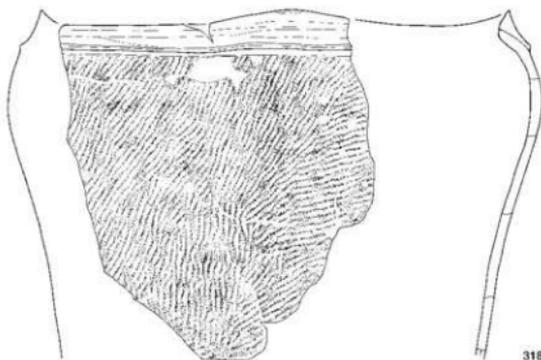


TP780

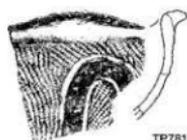


TP778

KC3e2



318



TP781



TP782



319

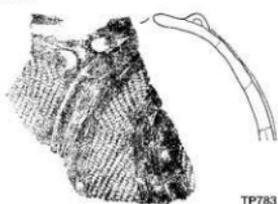


321



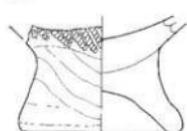
320

KC3e3



TP783

HD



381



383



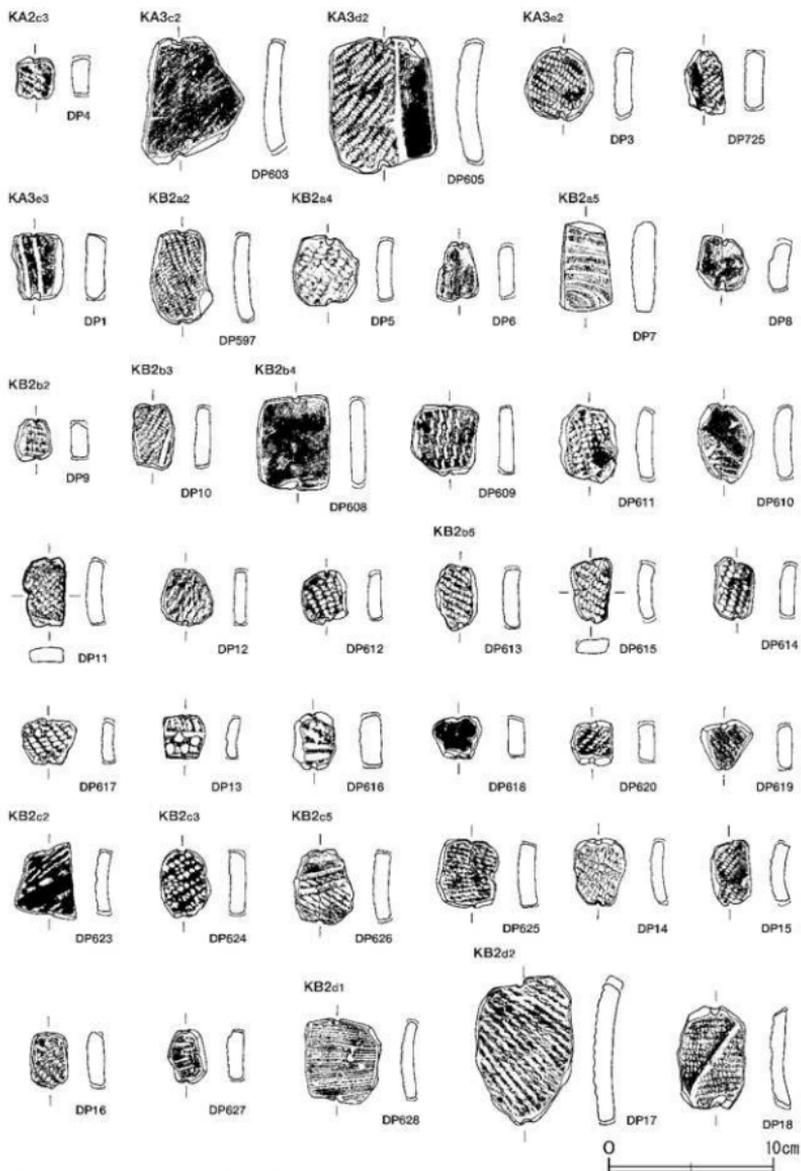
382

0 5cm

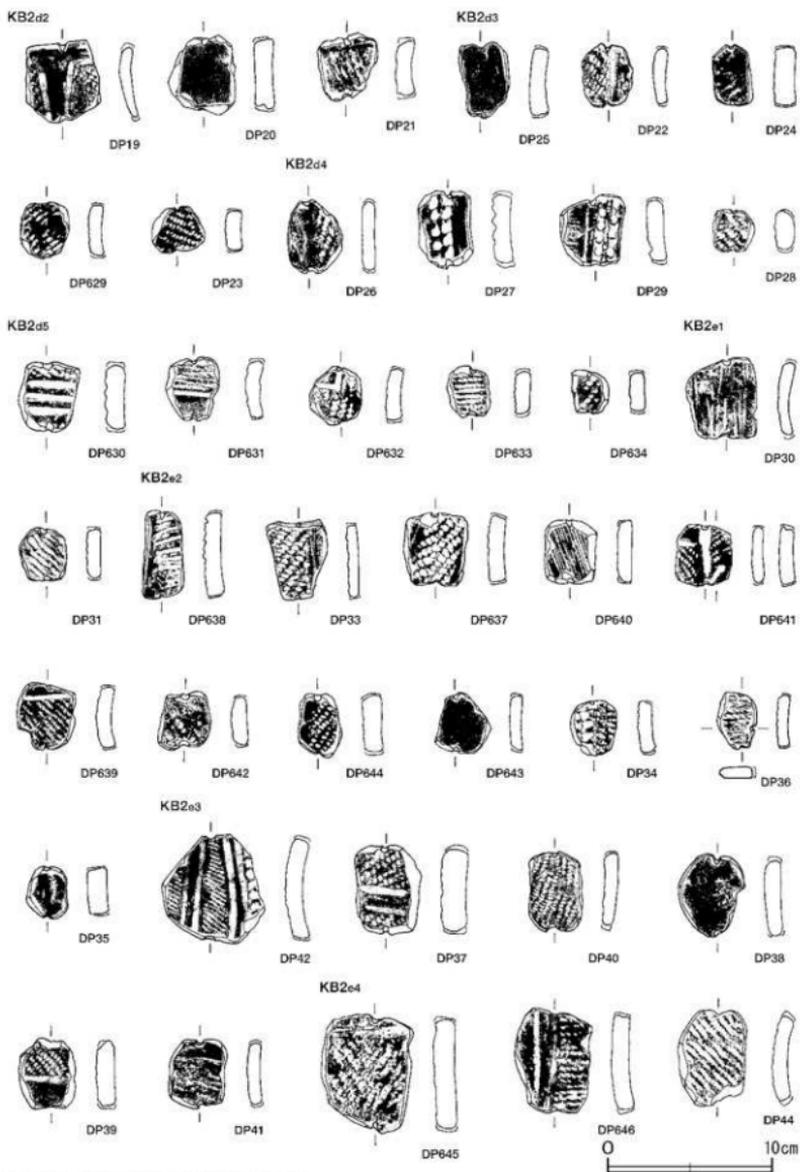
0 10cm

(320-321-381)

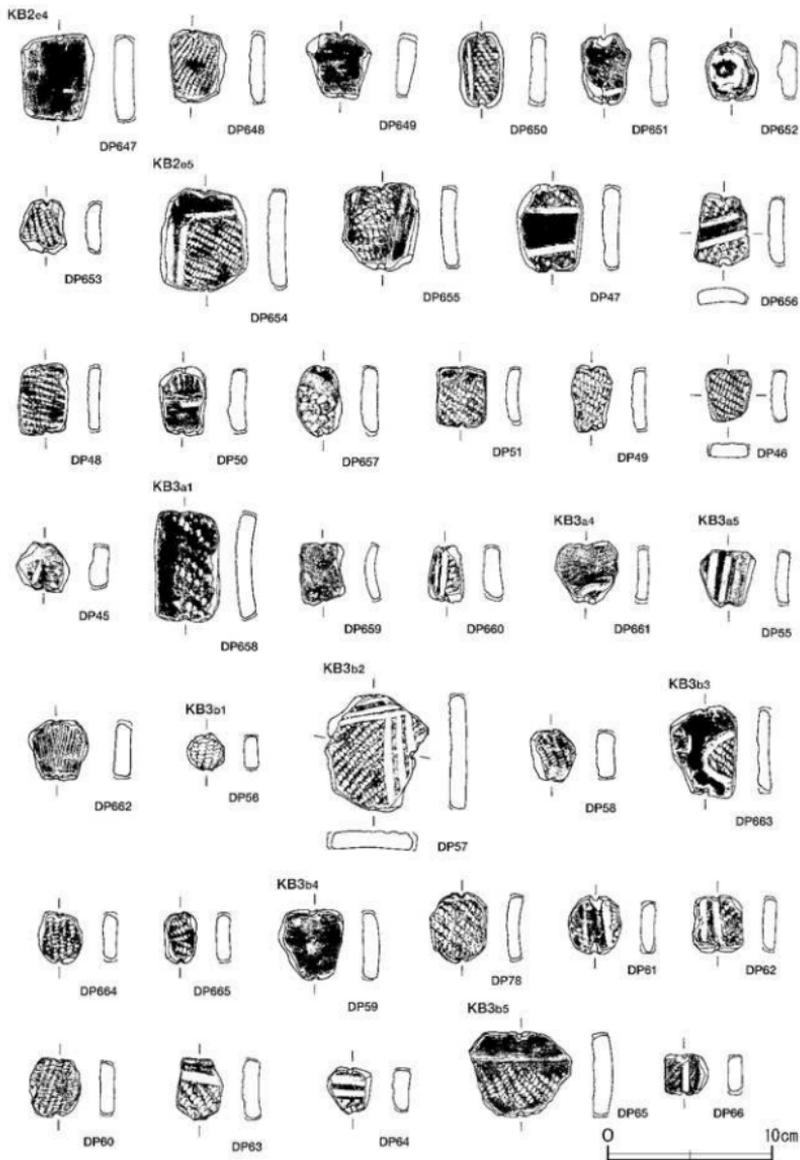
第260图 斜面貝層出土遺物実測図(88)



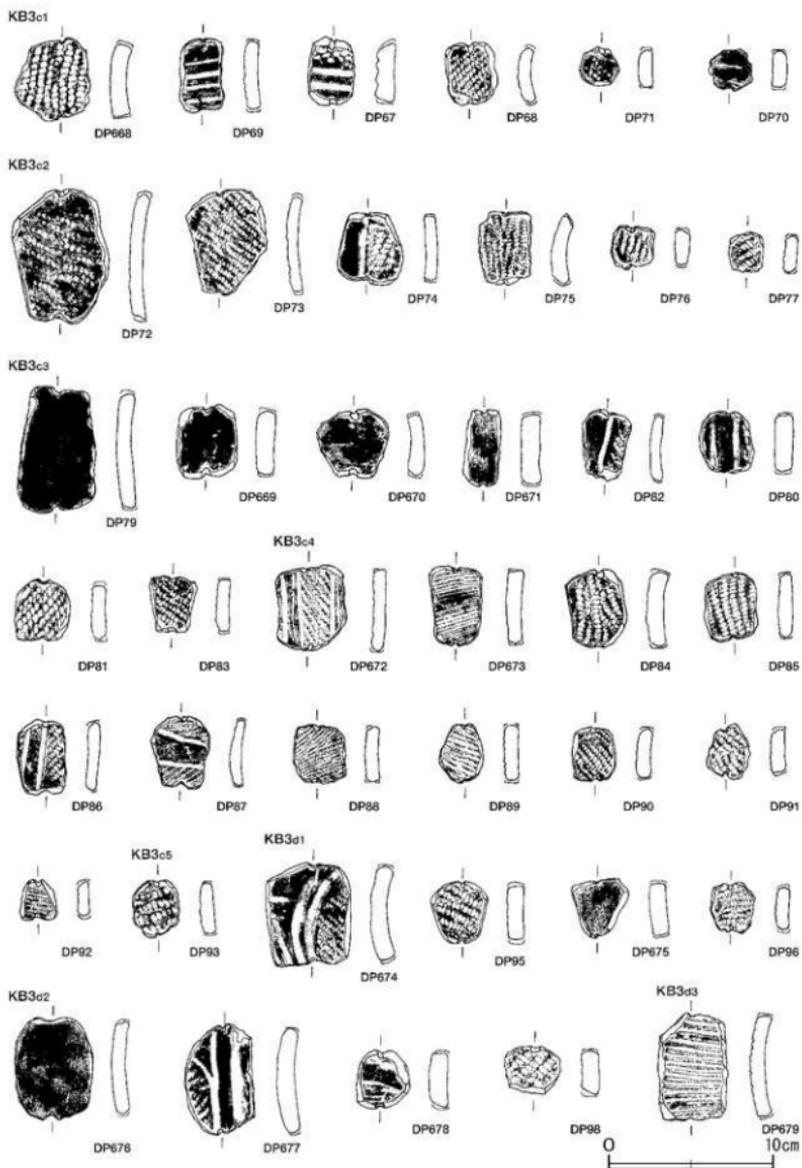
第261图 斜面貝層出土遺物実測図(89)



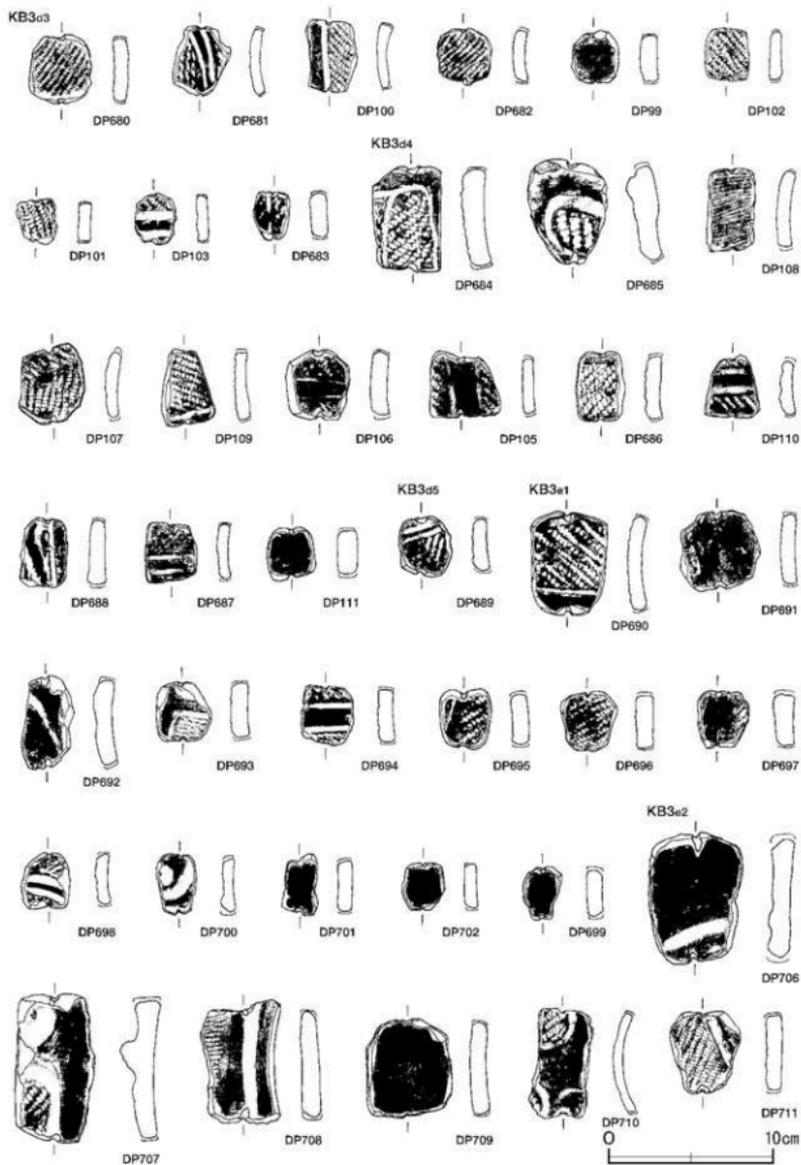
第262図 斜面貝層出土遺物実測図(90)



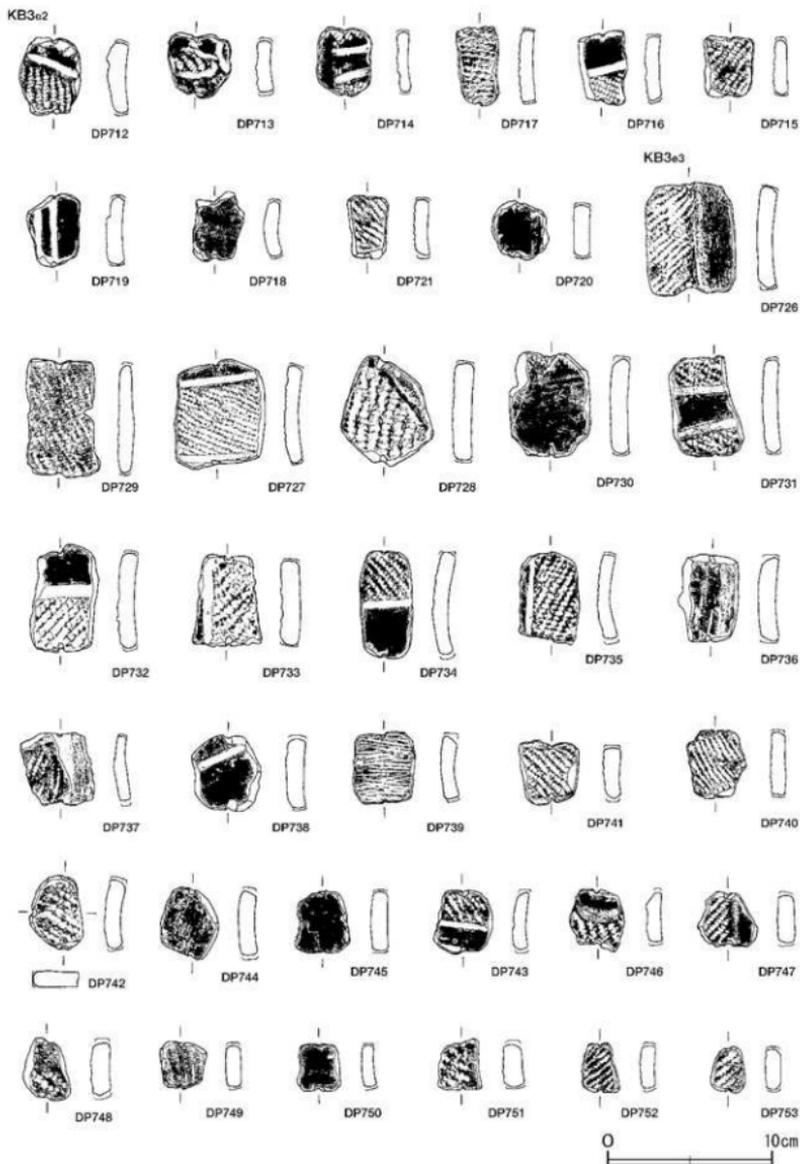
第263图 斜面貝層出土遺物実測図(91)



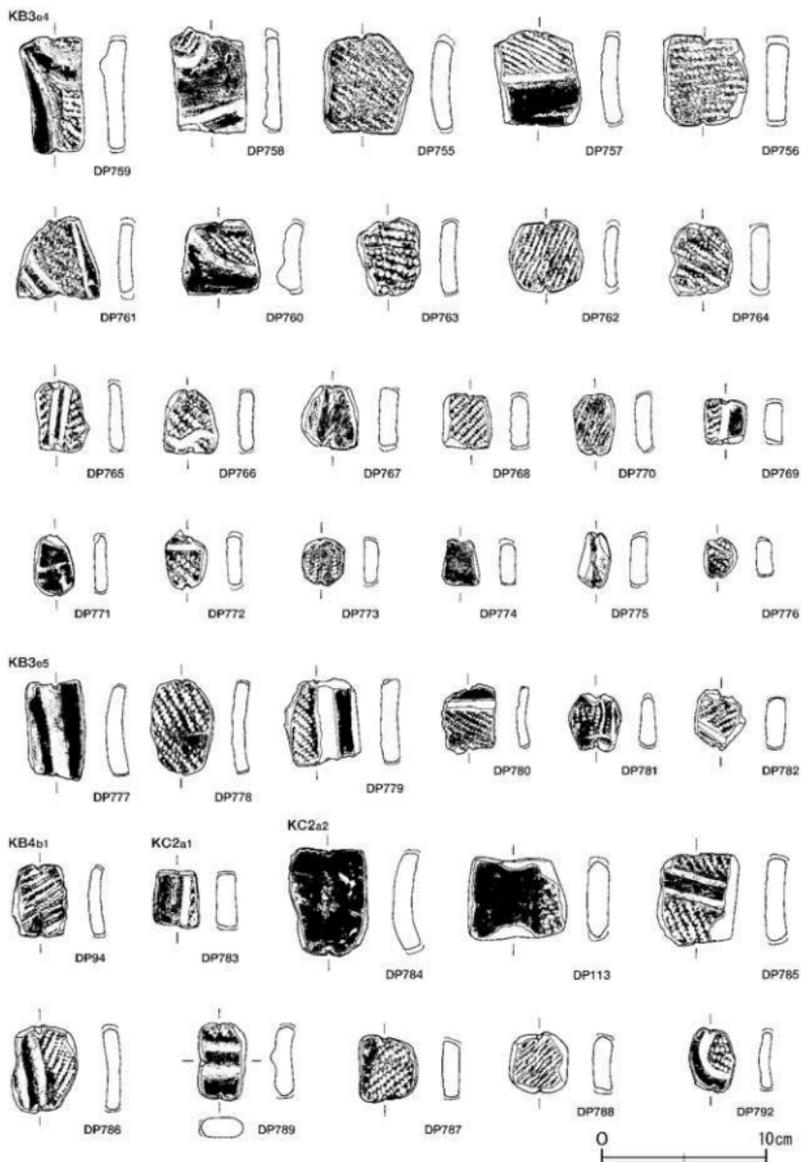
第264図 斜面貝層出土物実測図(92)



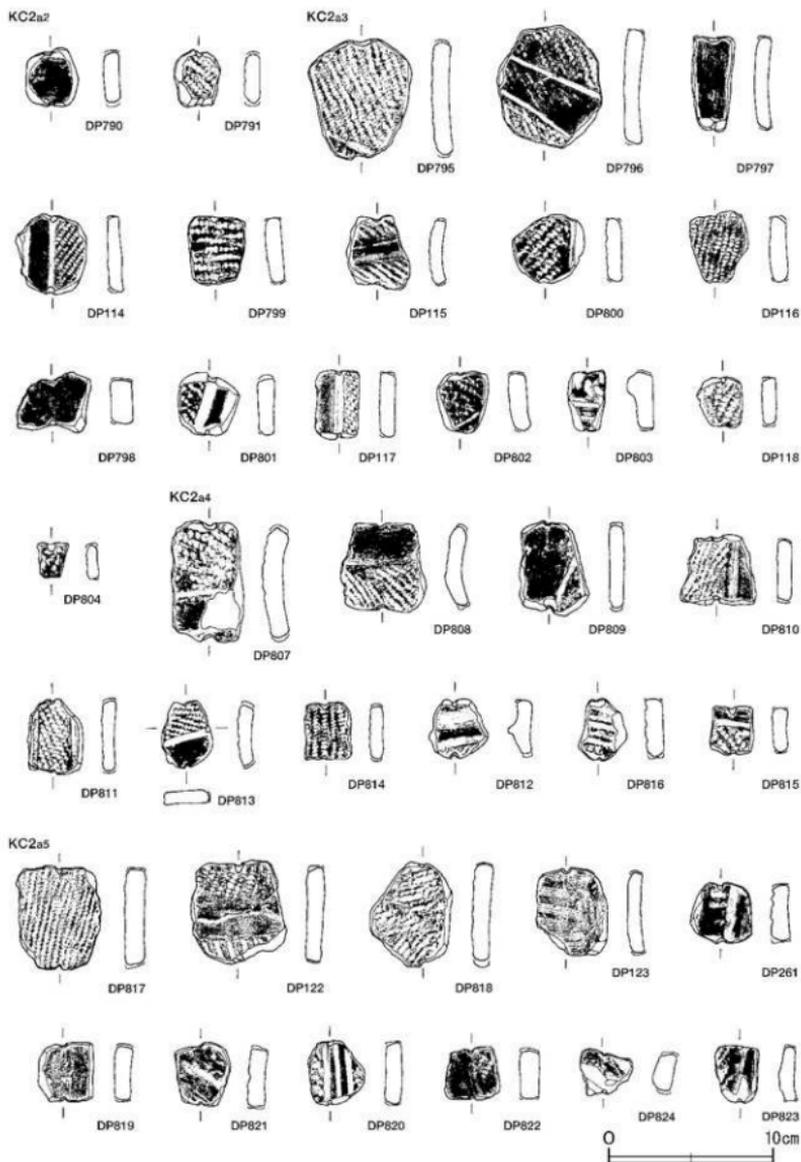
第265図 斜面貝層出土遺物実測図(93)



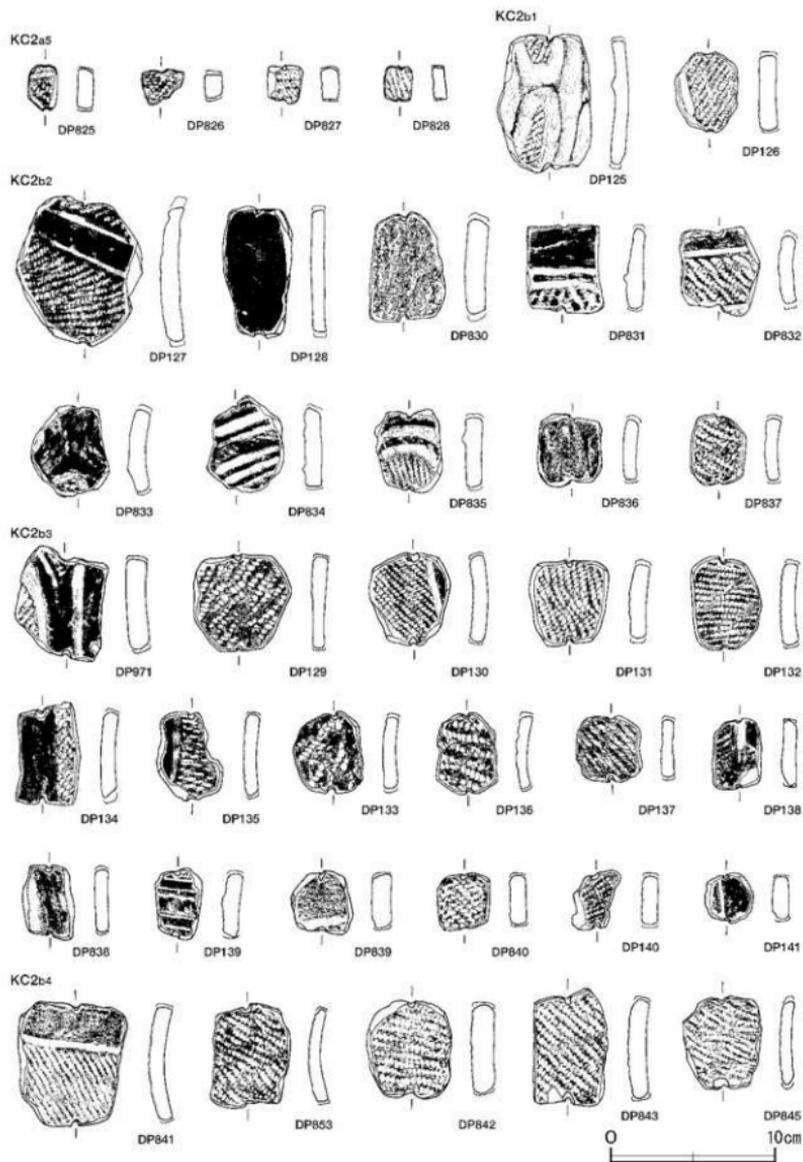
第266図 斜面貝層出土遺物実測図(94)



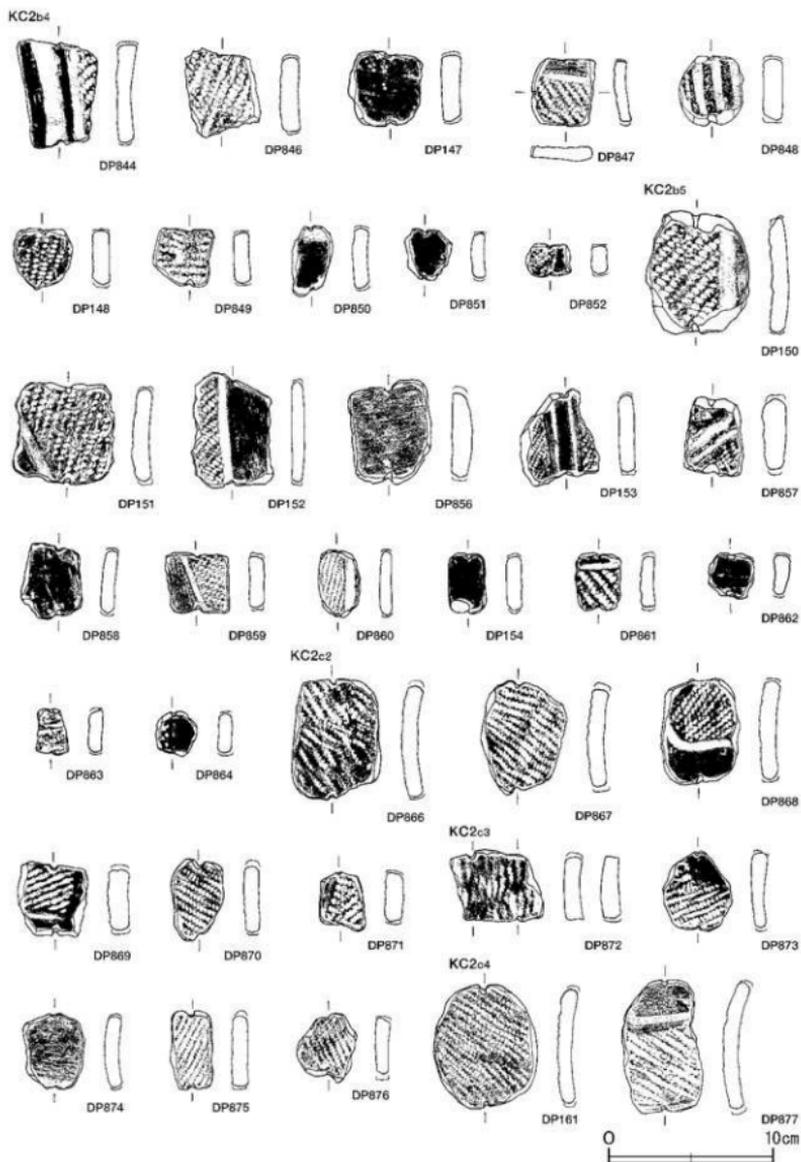
第267图 斜面貝層出土遺物実測図(95)



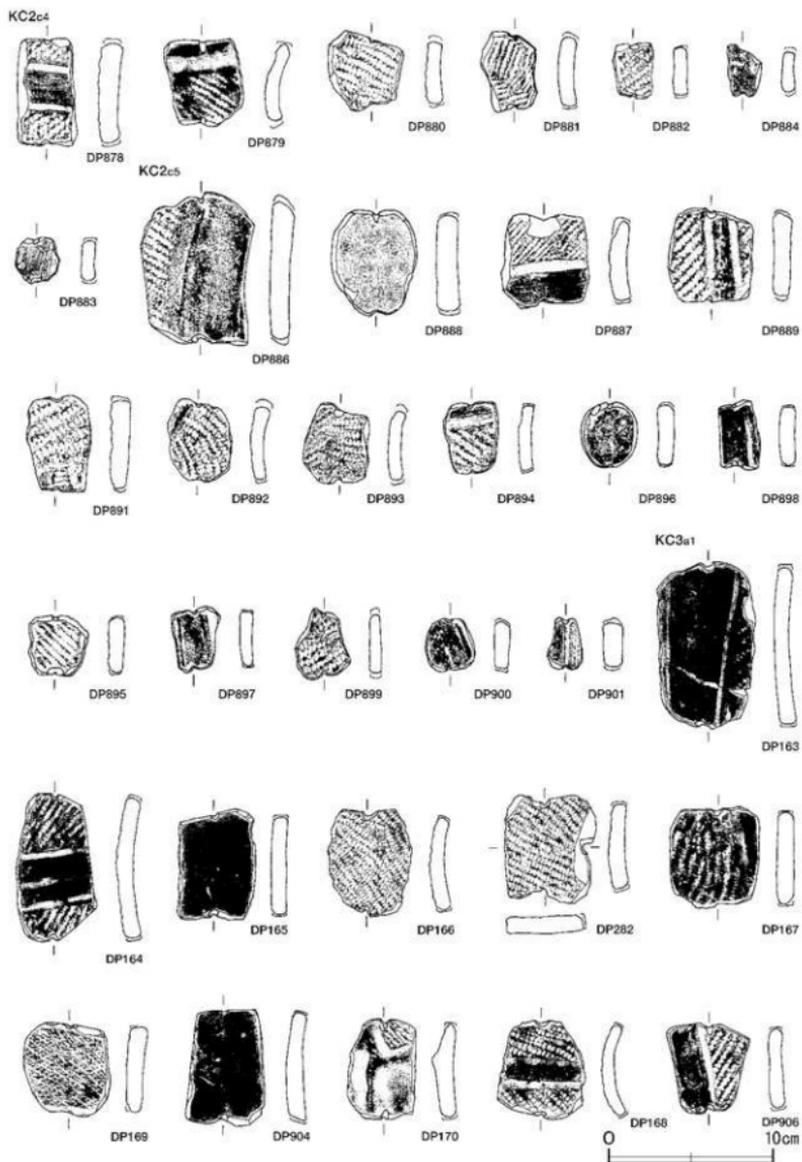
第268图 斜面具層出土遺物実測図(96)



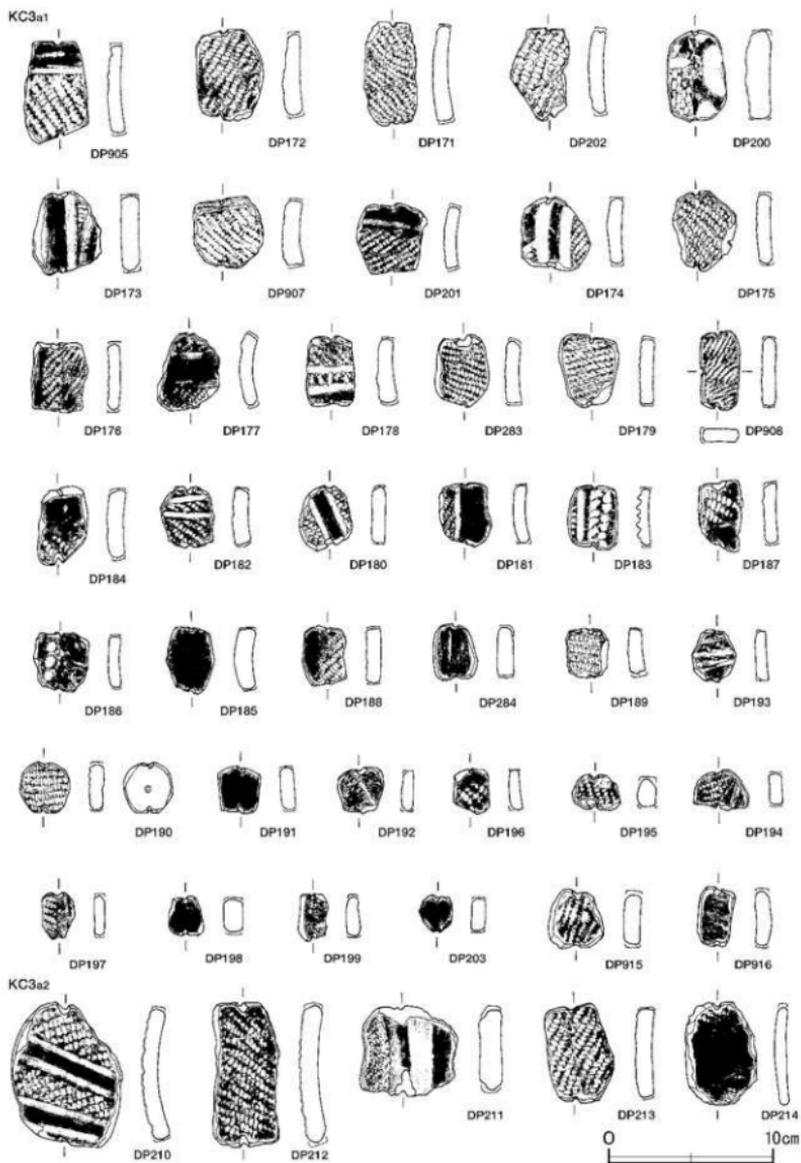
第269図 斜面貝層出土遺物実測図(97)



第270図 斜面貝層出土遺物実測図(98)

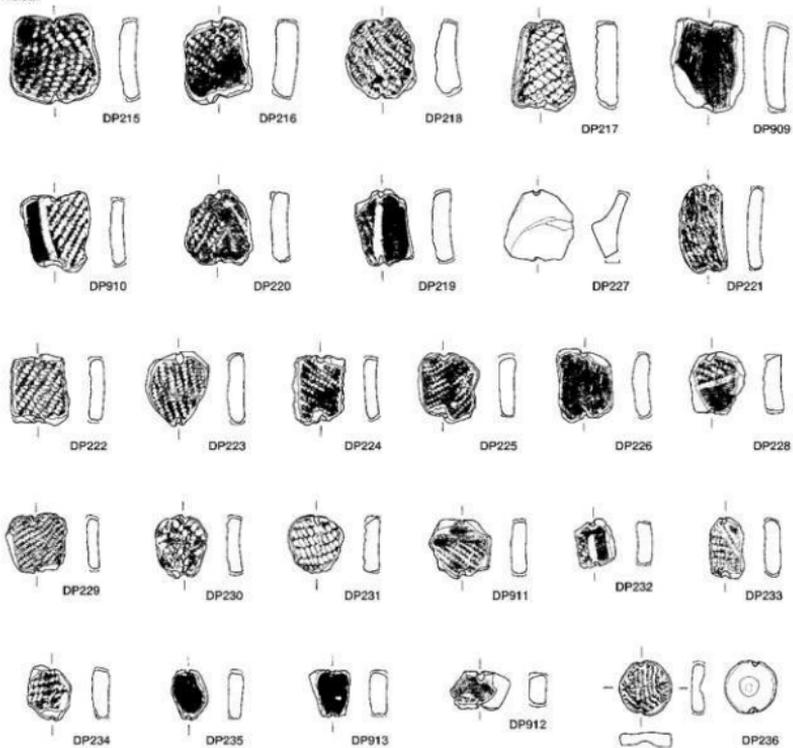


第271图 斜面貝層出土遺物実測図(99)

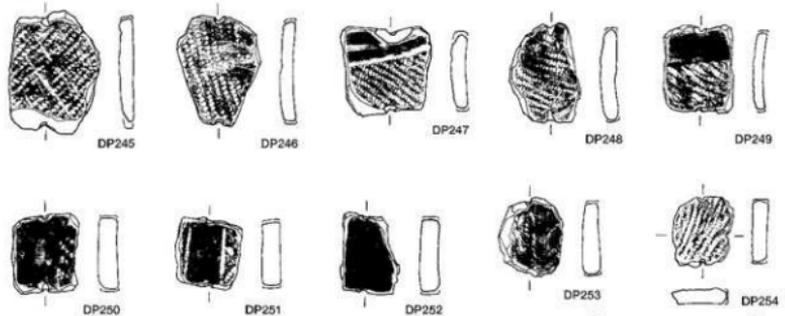


第272图 斜面貝層出土遺物実測図(100)

KC3a2

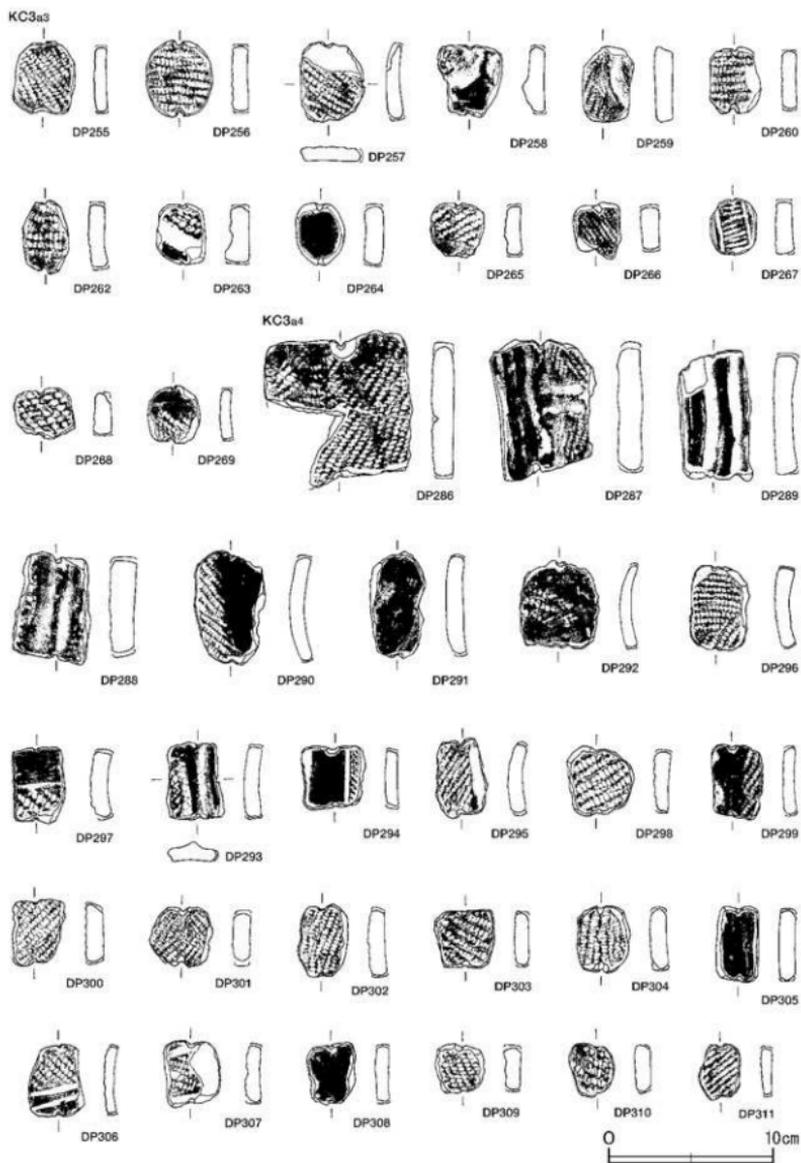


KC3a3

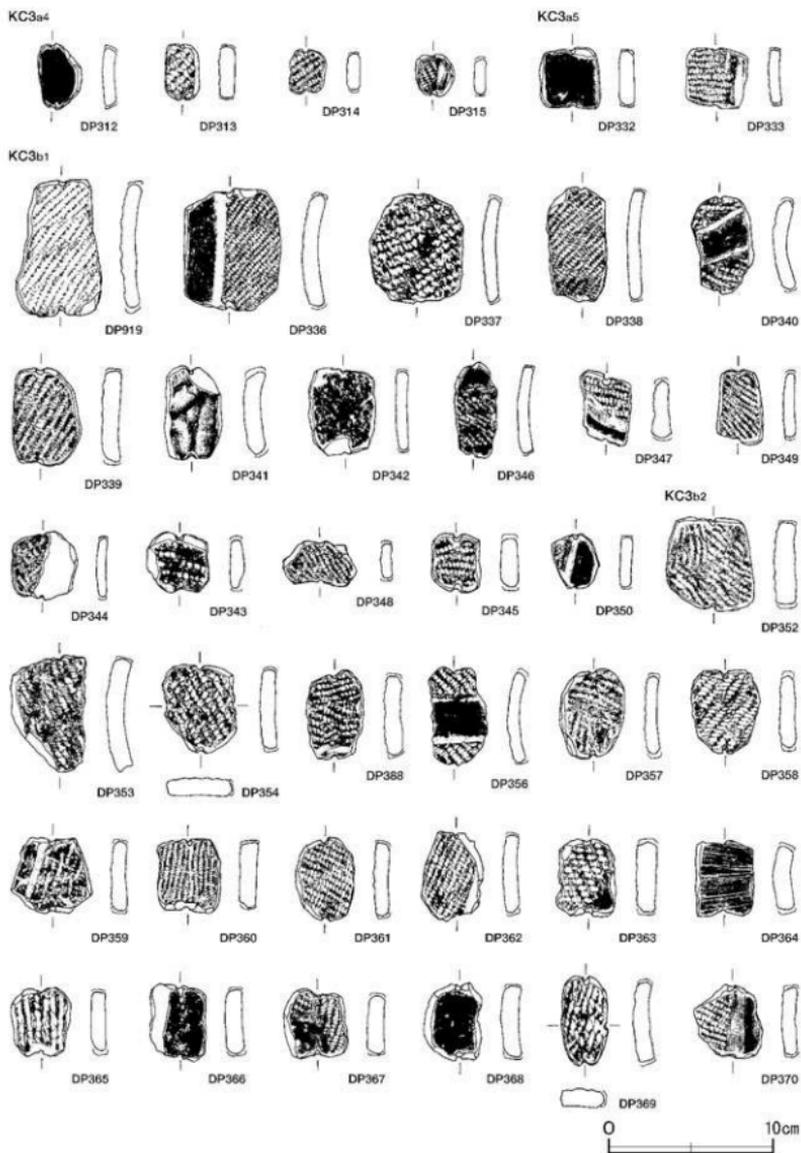


0 10cm

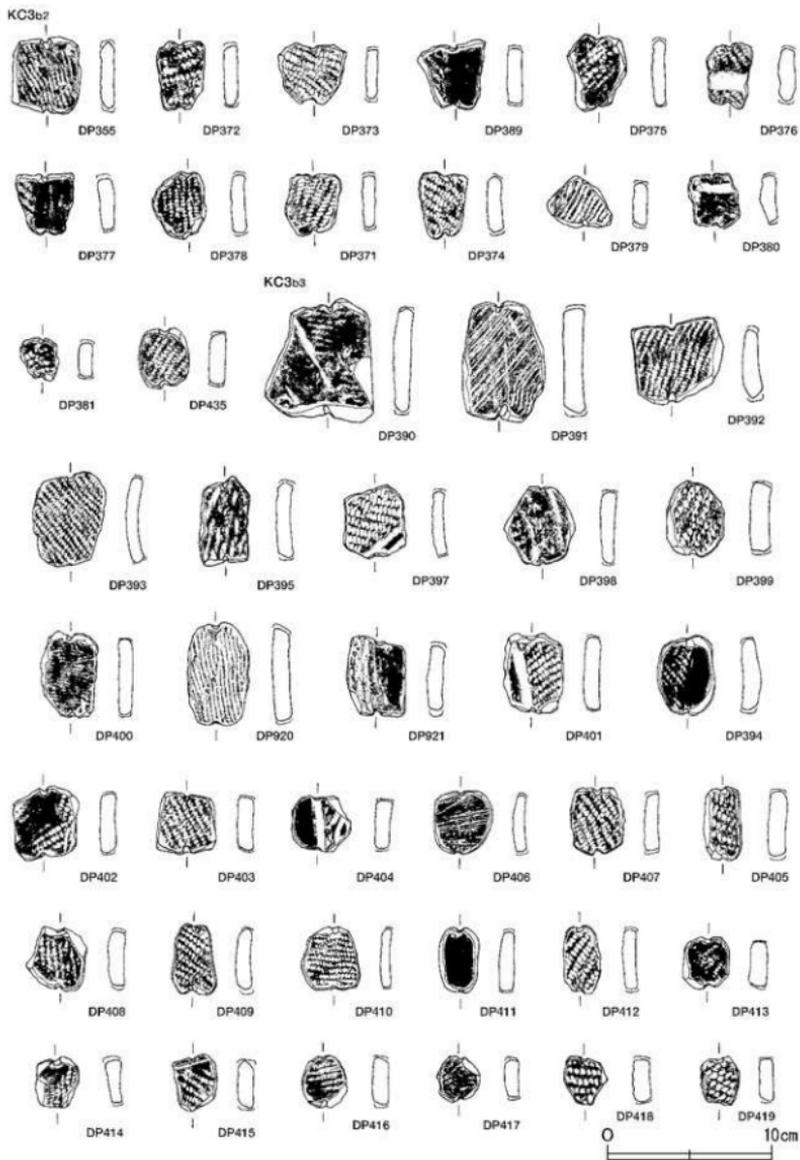
第273图 斜面貝層出土遺物実測図(101)



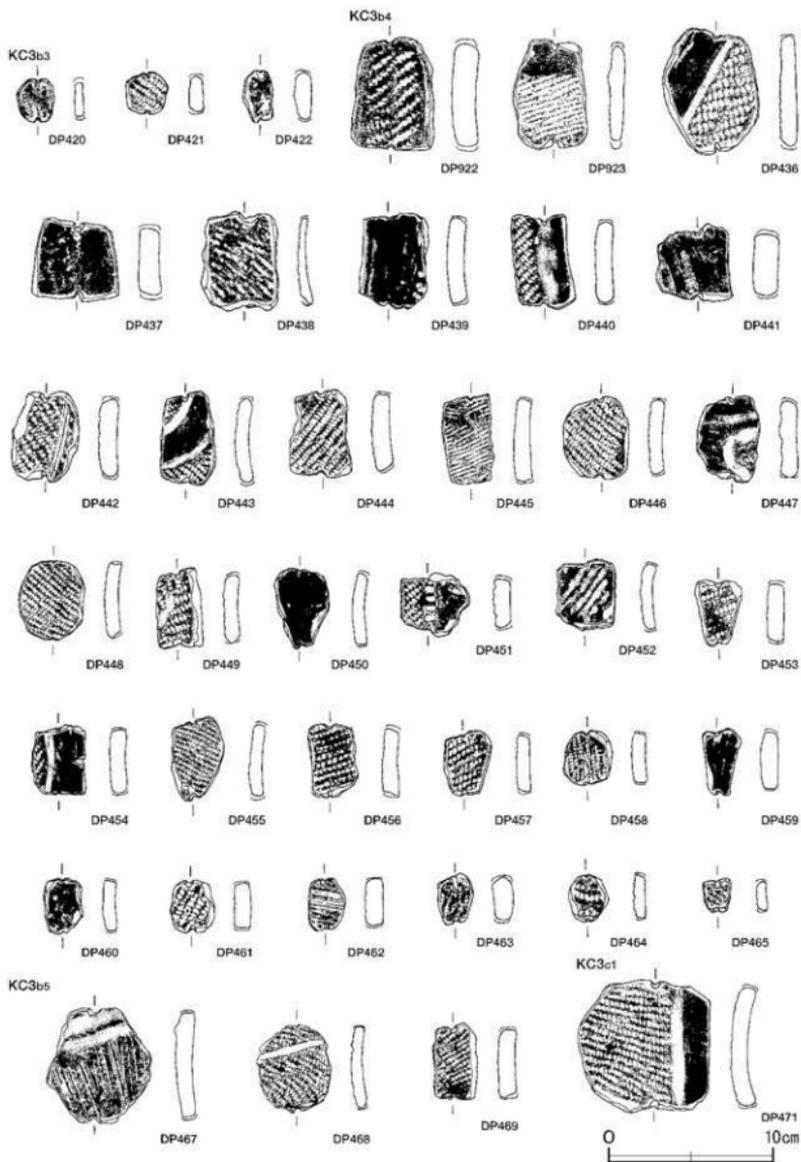
第274図 斜面貝層出土遺物実測図(102)



第275图 斜面貝層出土物実測図(103)

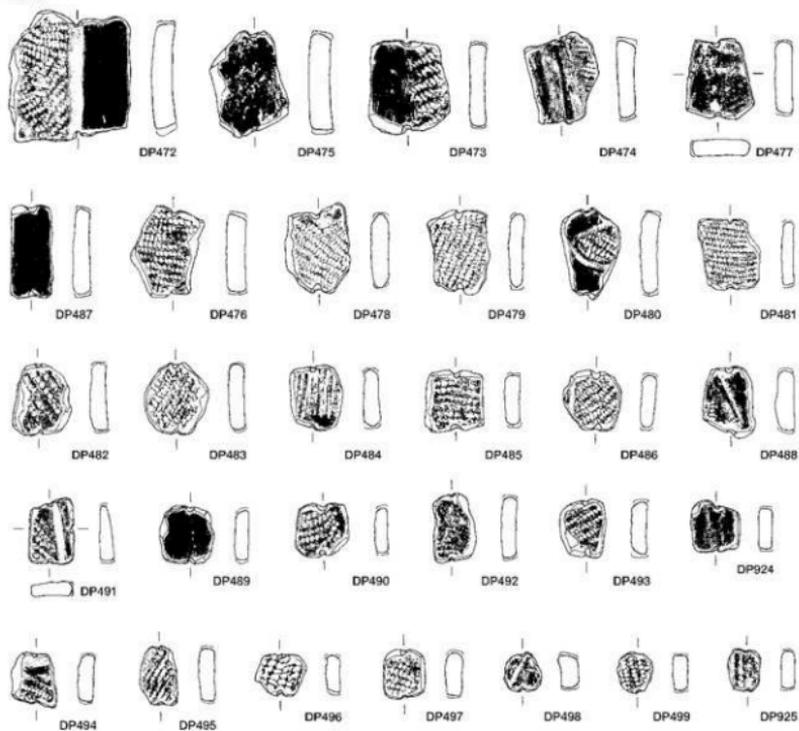


第276图 斜面貝層出土遺物実測図(104)

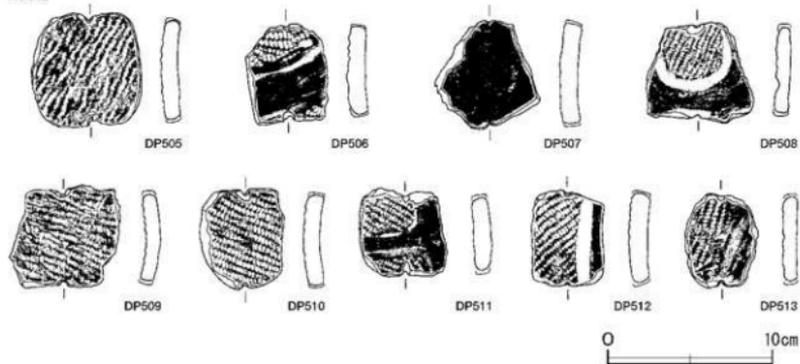


第277図 斜面貝層出土遺物実測図(105)

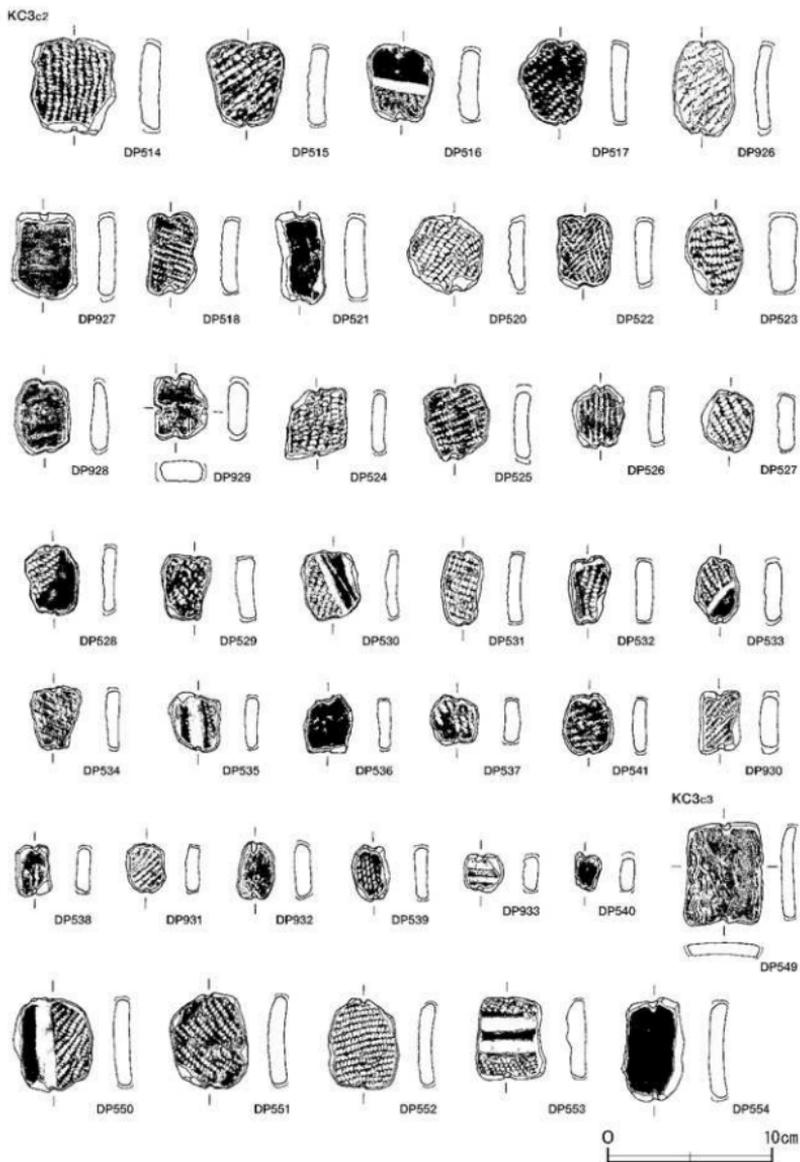
KC3e1



KC3e2

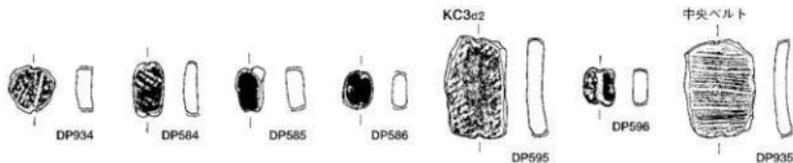
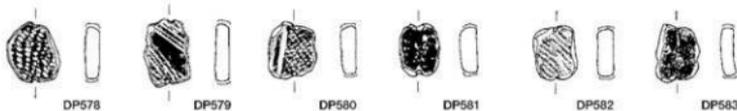
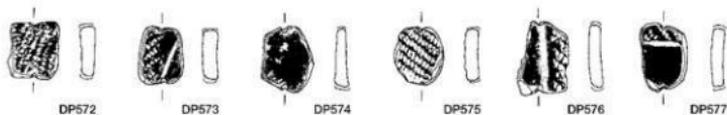
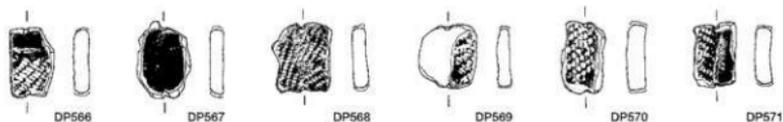
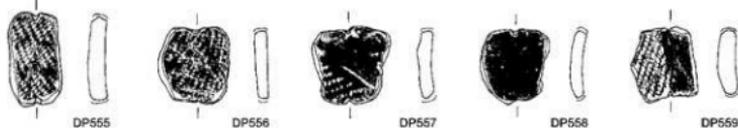


第278图 斜面貝層出土遺物実測図(106)

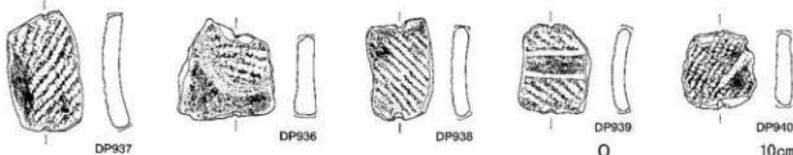


第279图 斜面貝層出土遺物実測図(107)

KC3c3



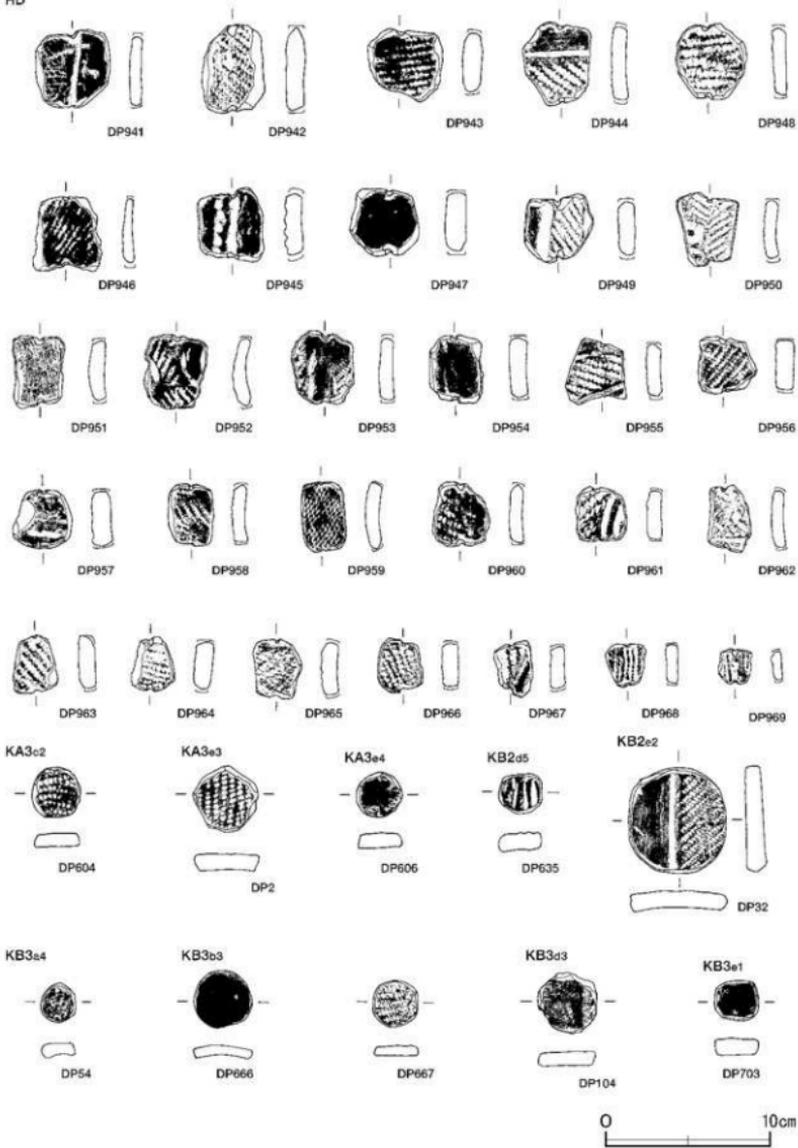
HD



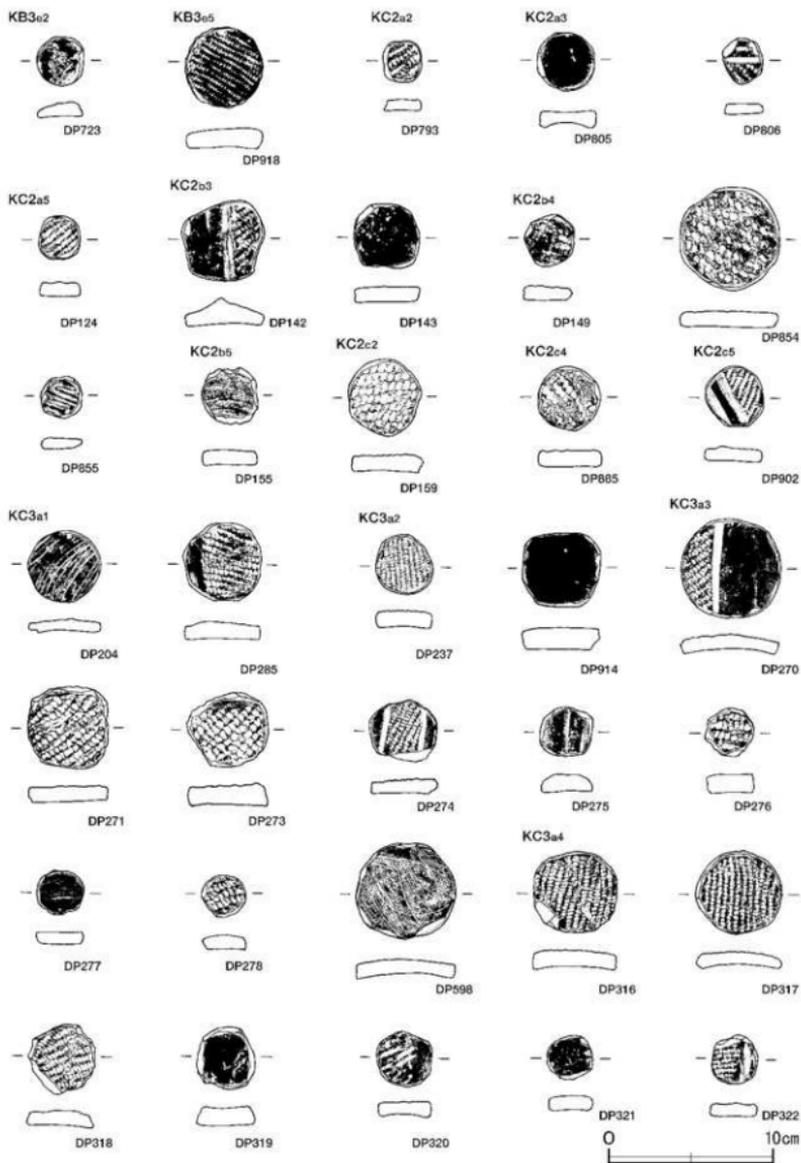
0 10cm

第280図 斜面貝層出土遺物実測図(108)

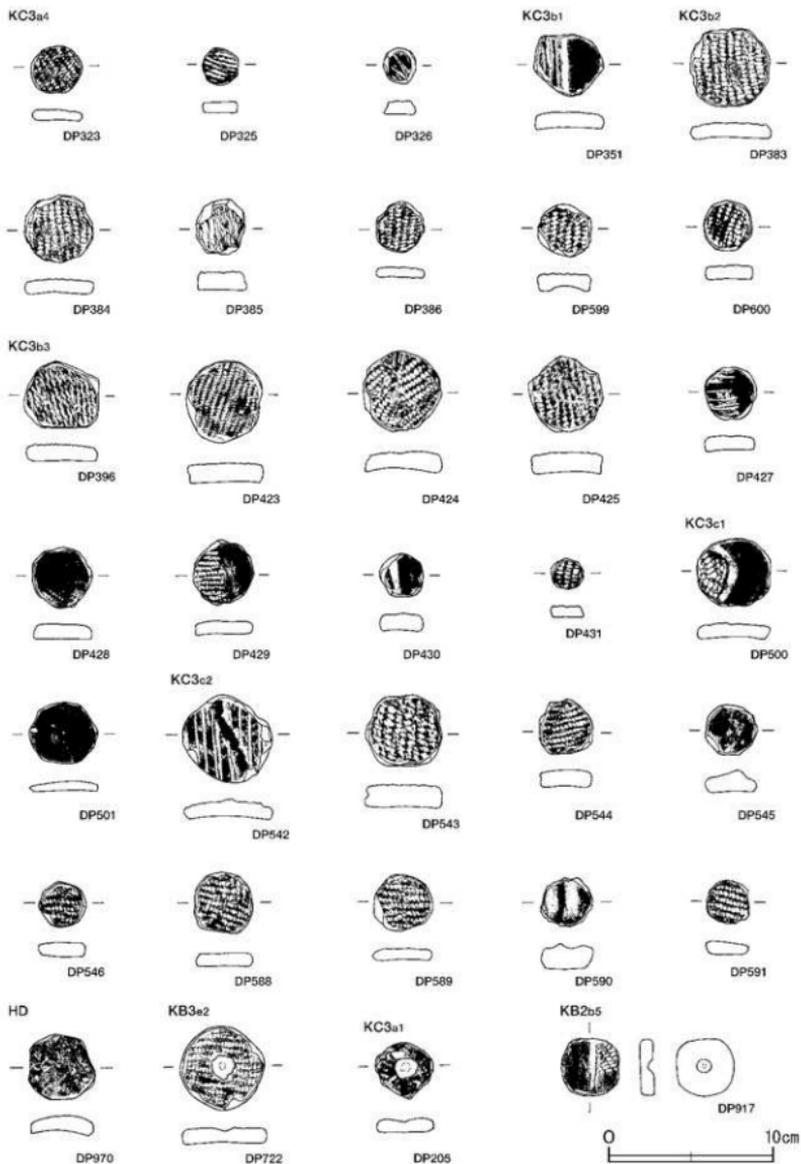
HD



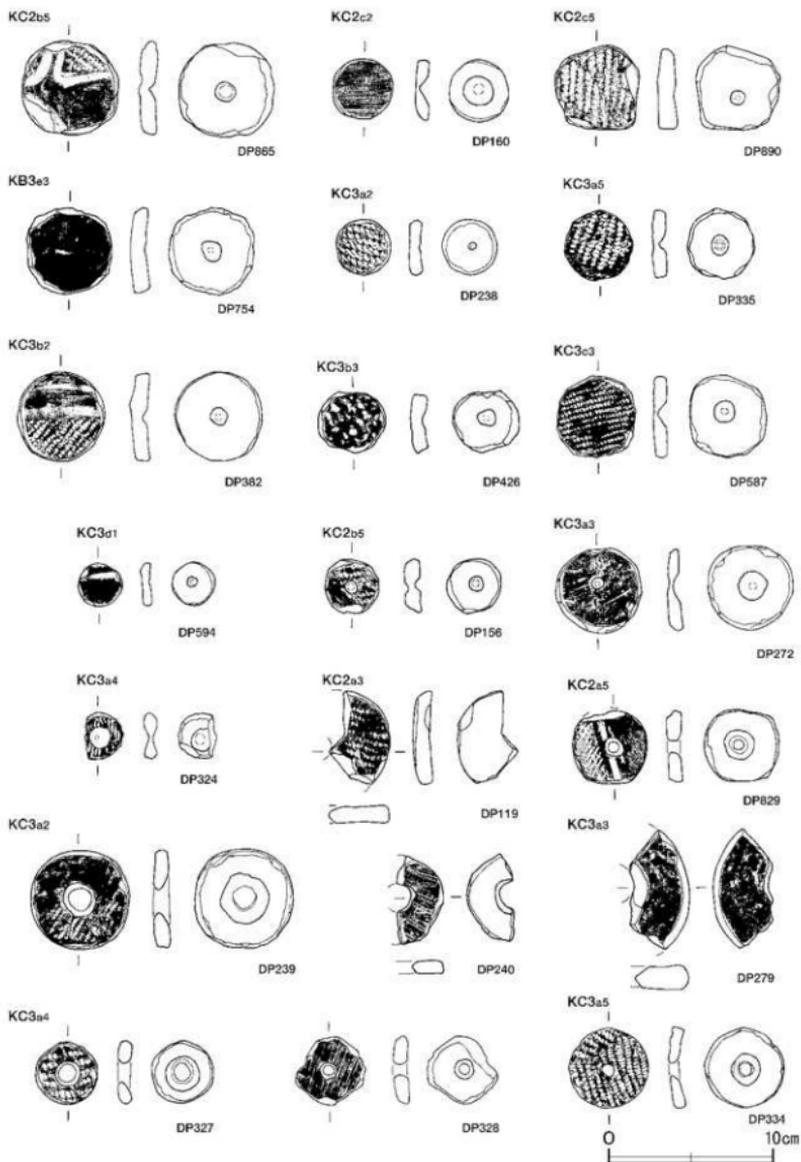
第281图 斜面貝層出土遺物実測図(109)



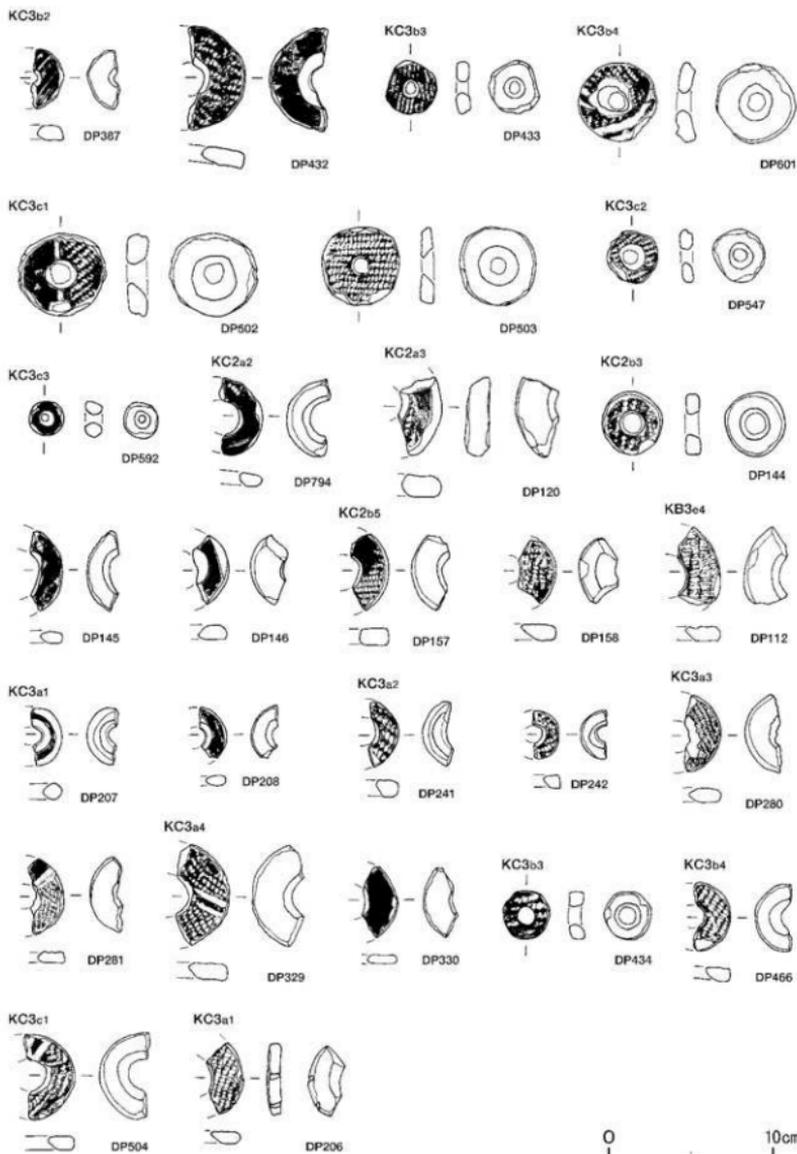
第282図 斜面貝層出土遺物実測図(110)



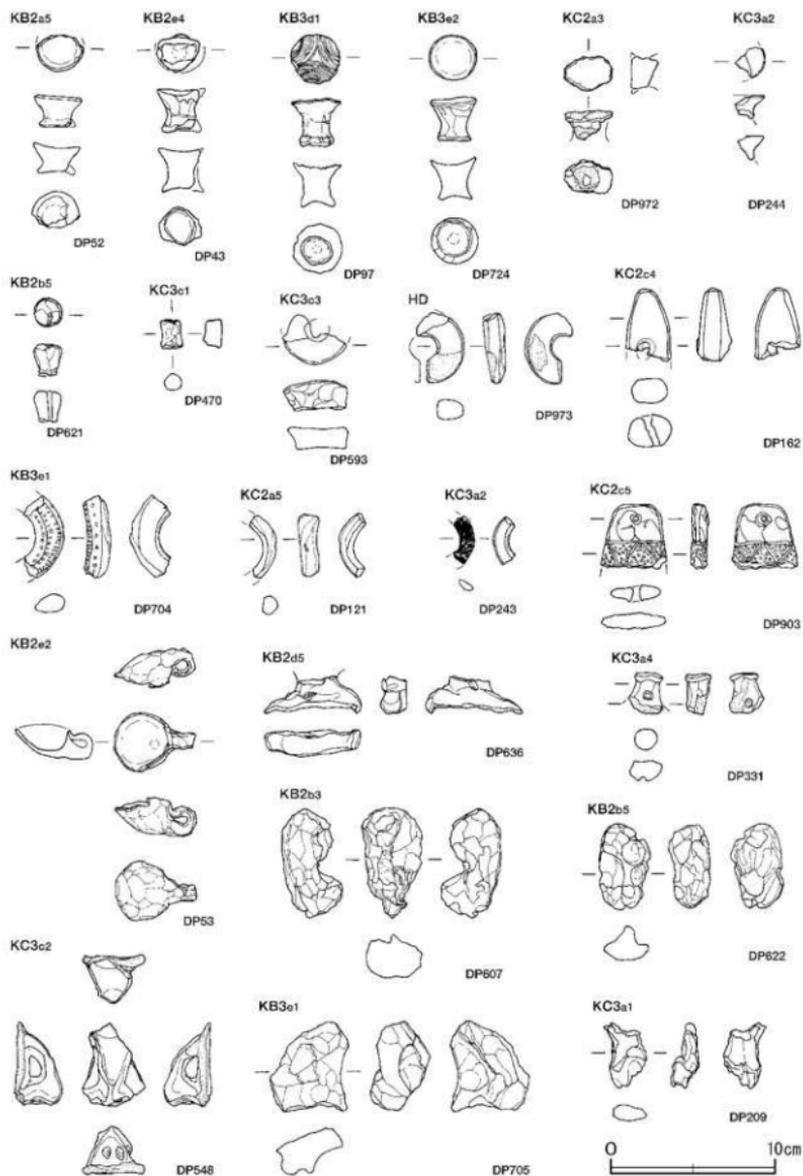
第283图 斜面貝層出土遺物実測図(111)



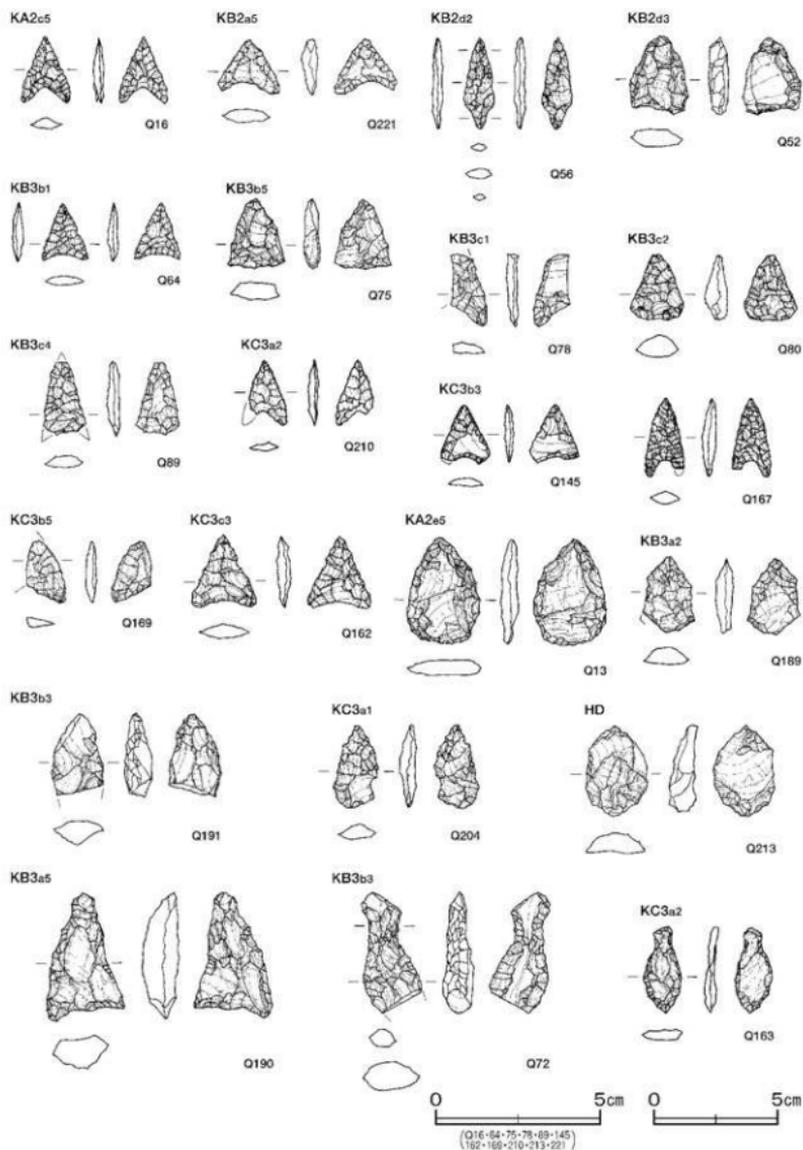
第284图 斜面貝層出土遺物実測図(112)



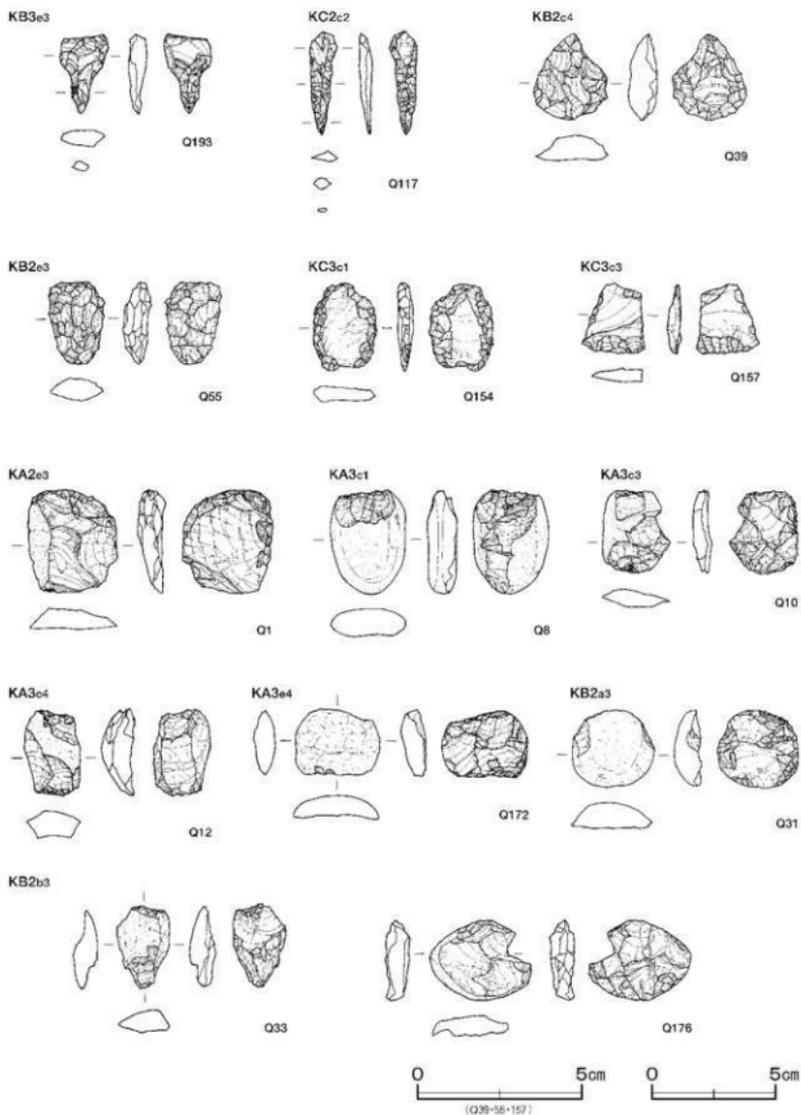
第285图 斜面貝層出土遺物実測図(113)



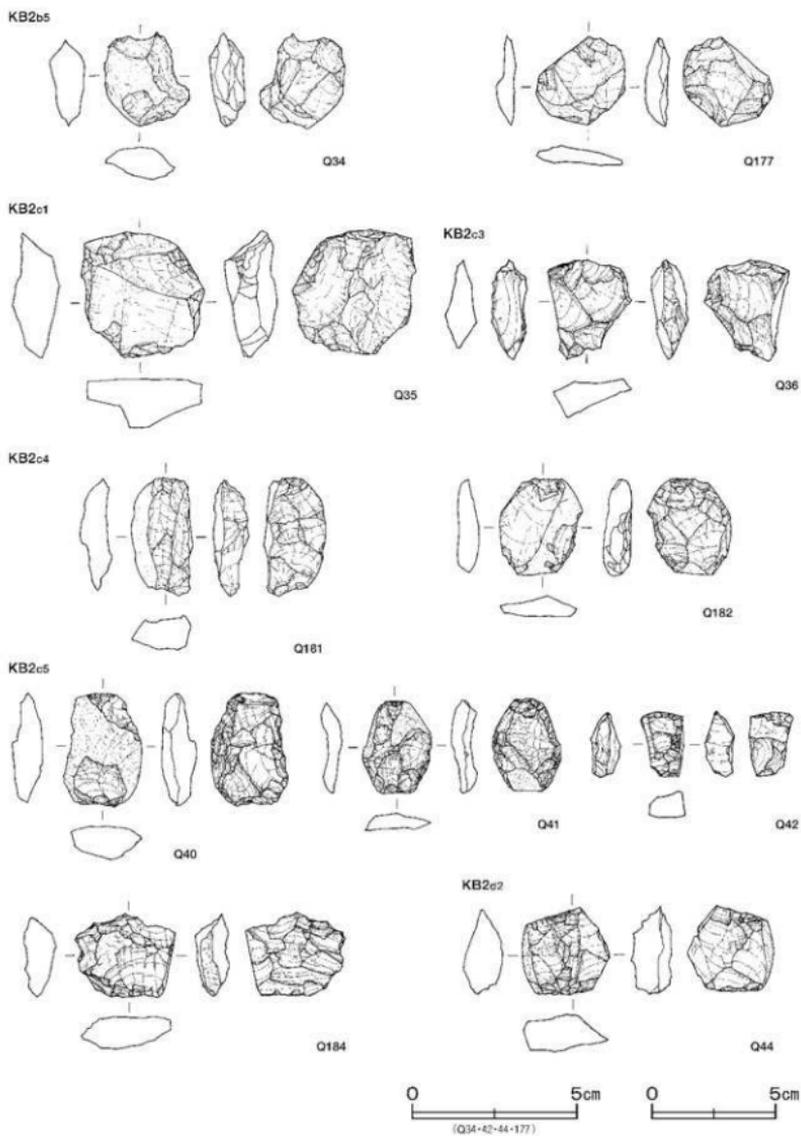
第286图 斜面貝層出土遺物実測図(114)



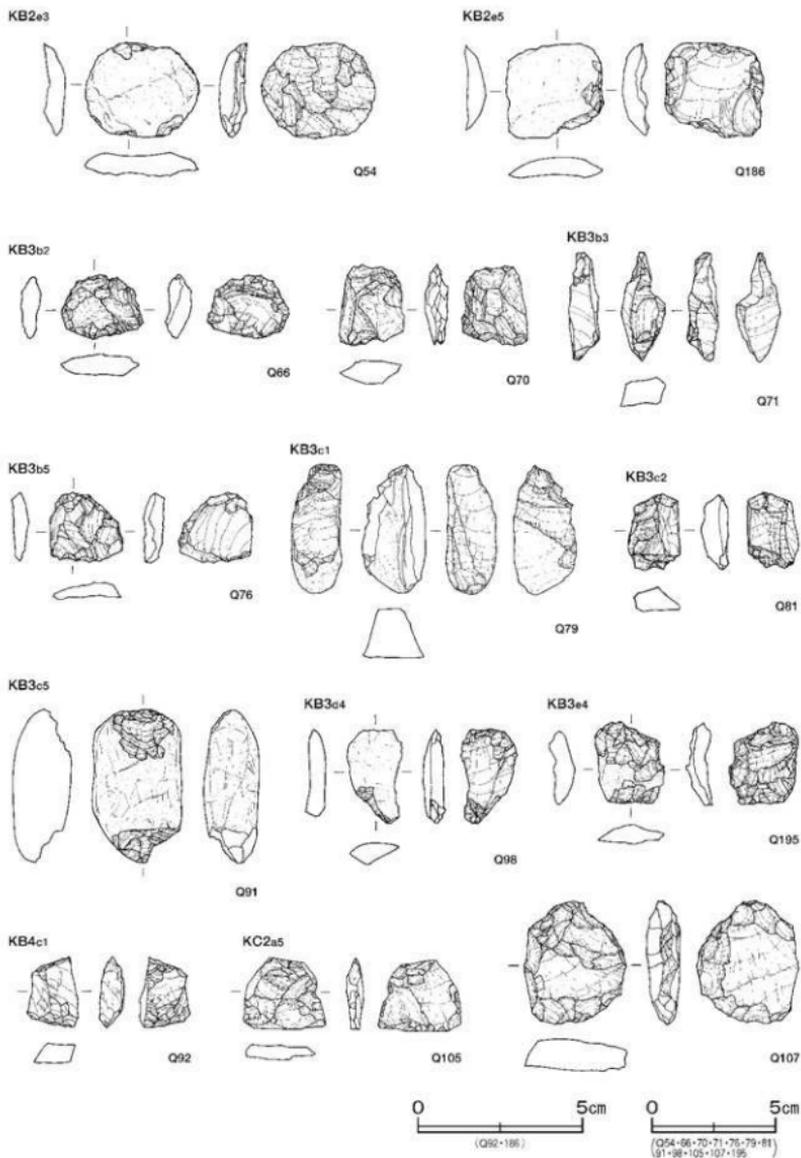
第287图 斜面具層出土遺物実測図(115)



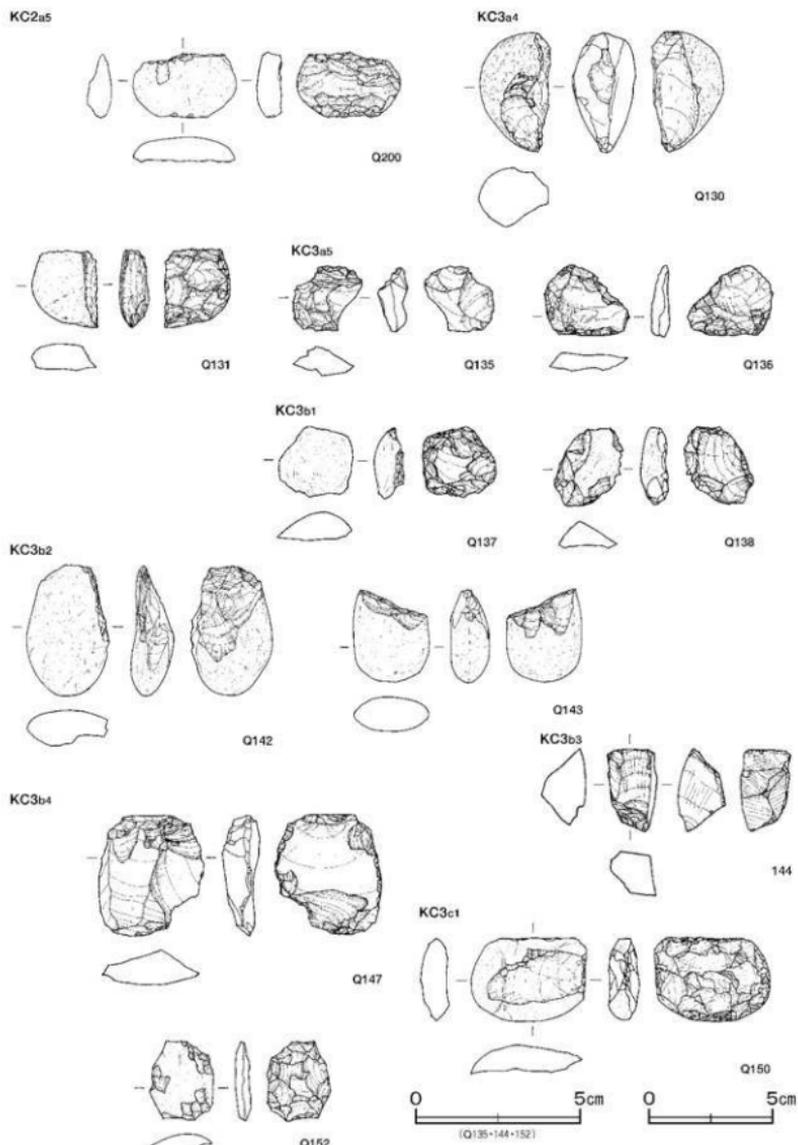
第288图 斜面貝層出土遺物実測図(116)



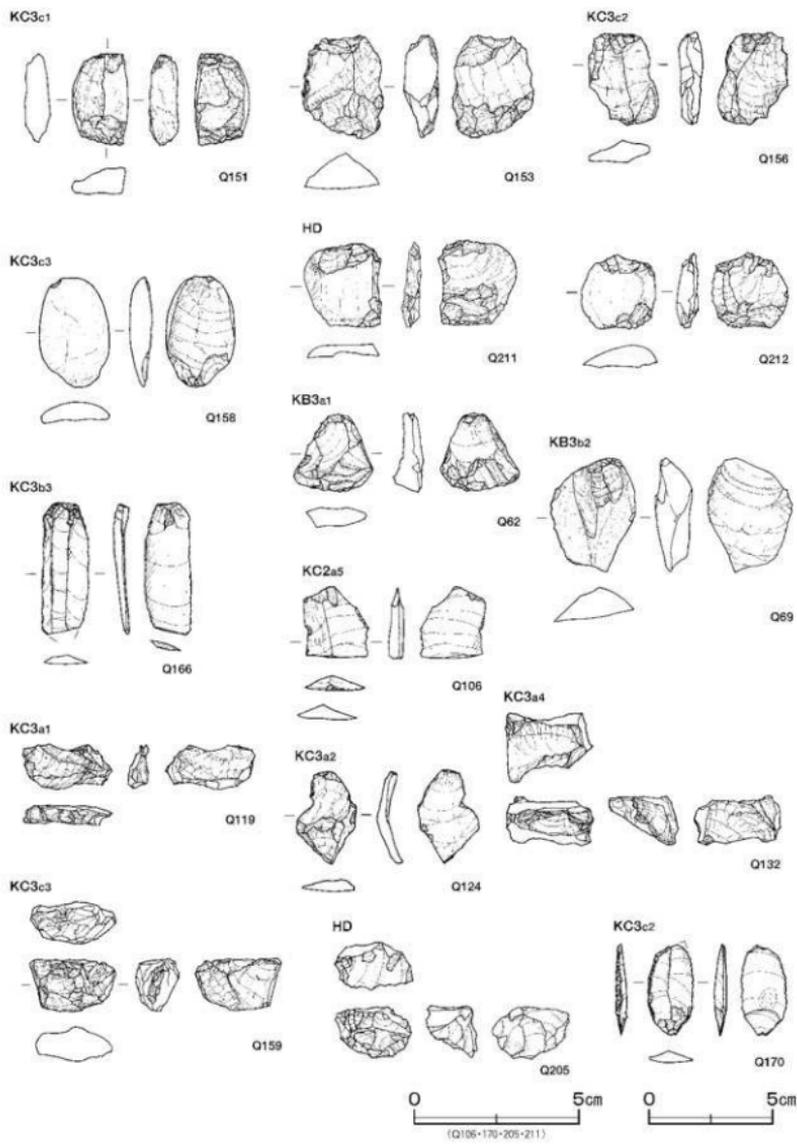
第289図 斜面貝層出土遺物実測図(117)



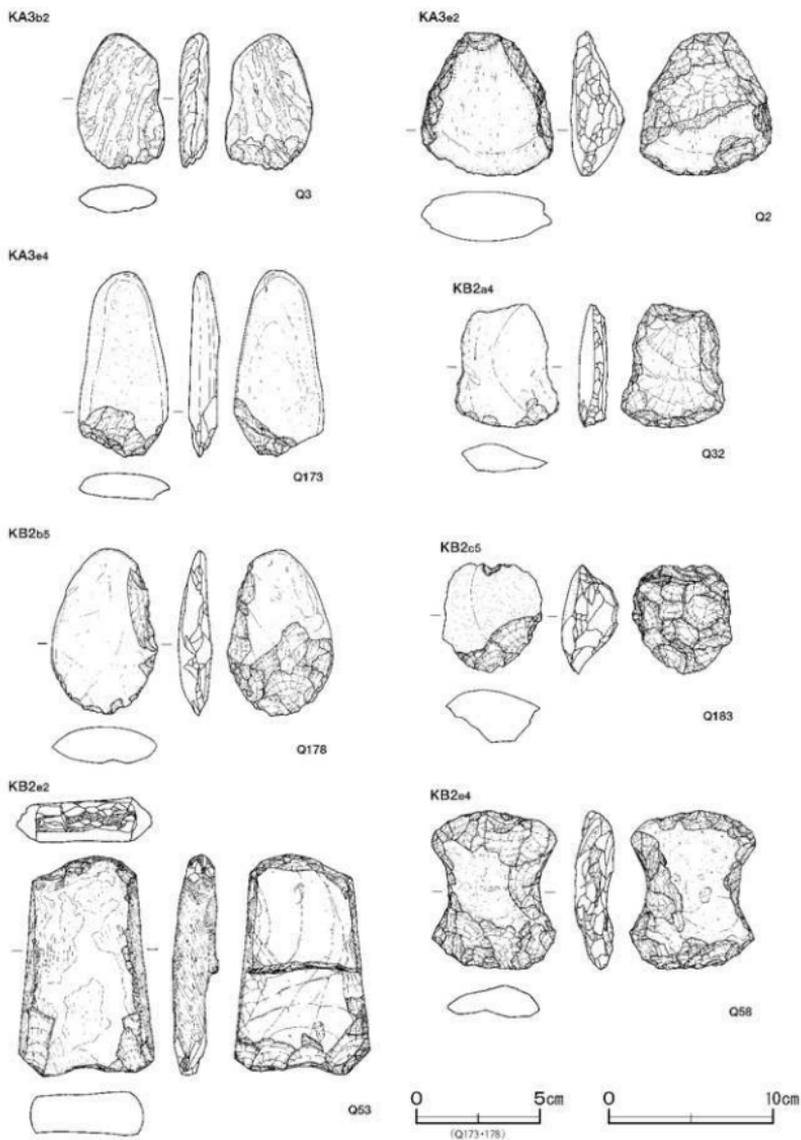
第290図 斜面貝層出土遺物実測図(118)



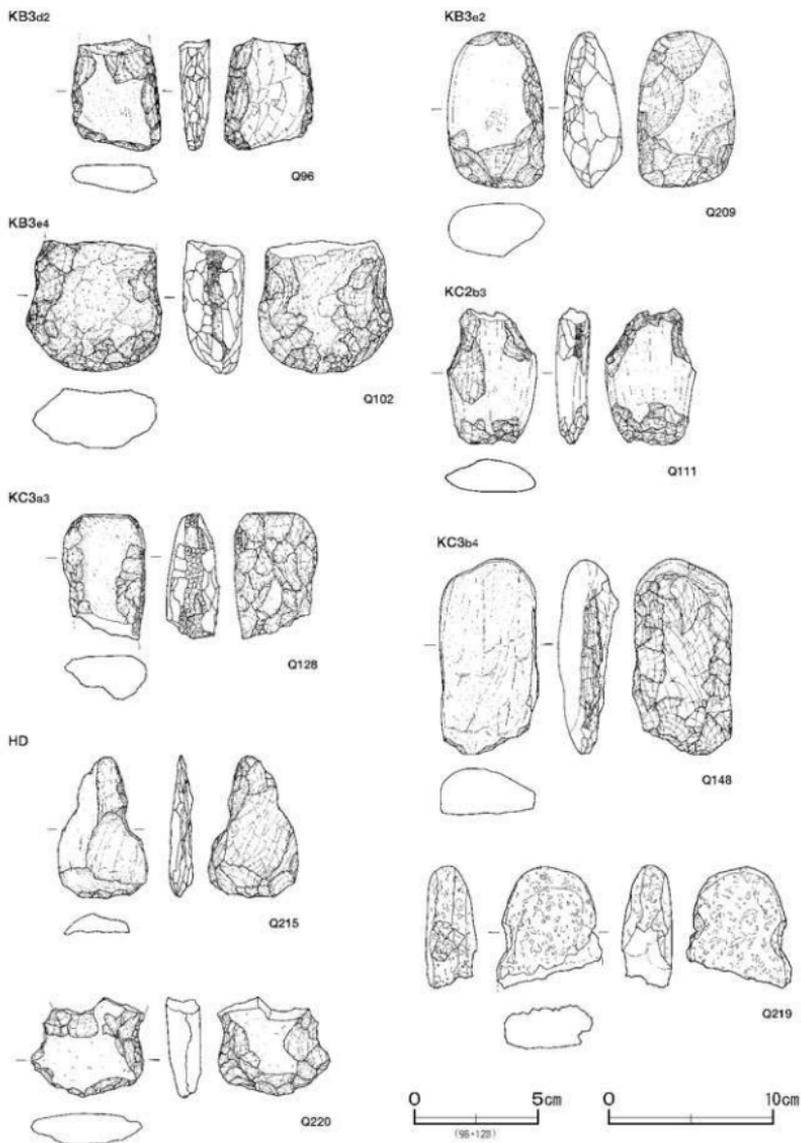
第291图 斜面貝層出土遺物実測図(119)



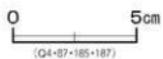
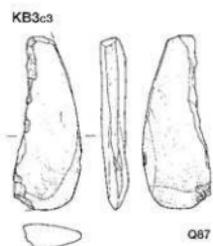
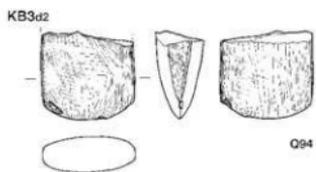
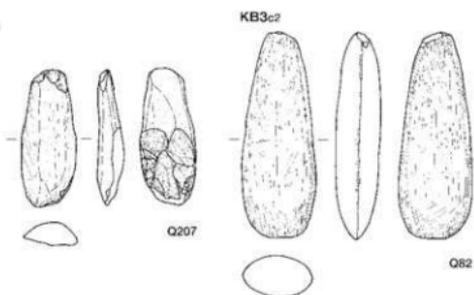
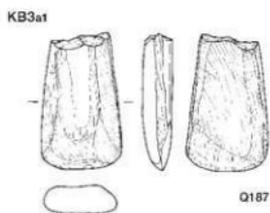
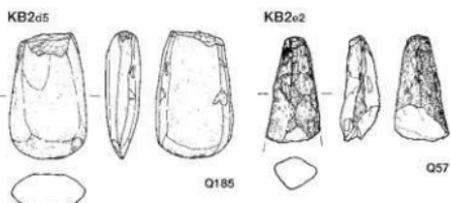
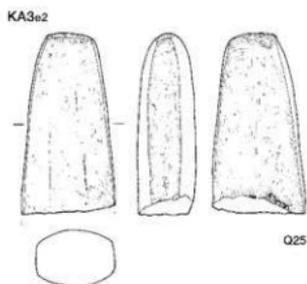
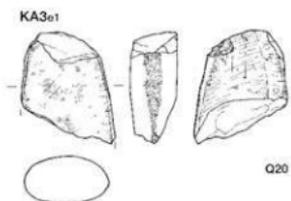
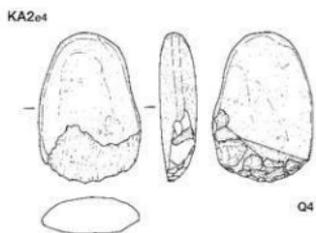
第292図 斜面貝層出土遺物実測図(120)



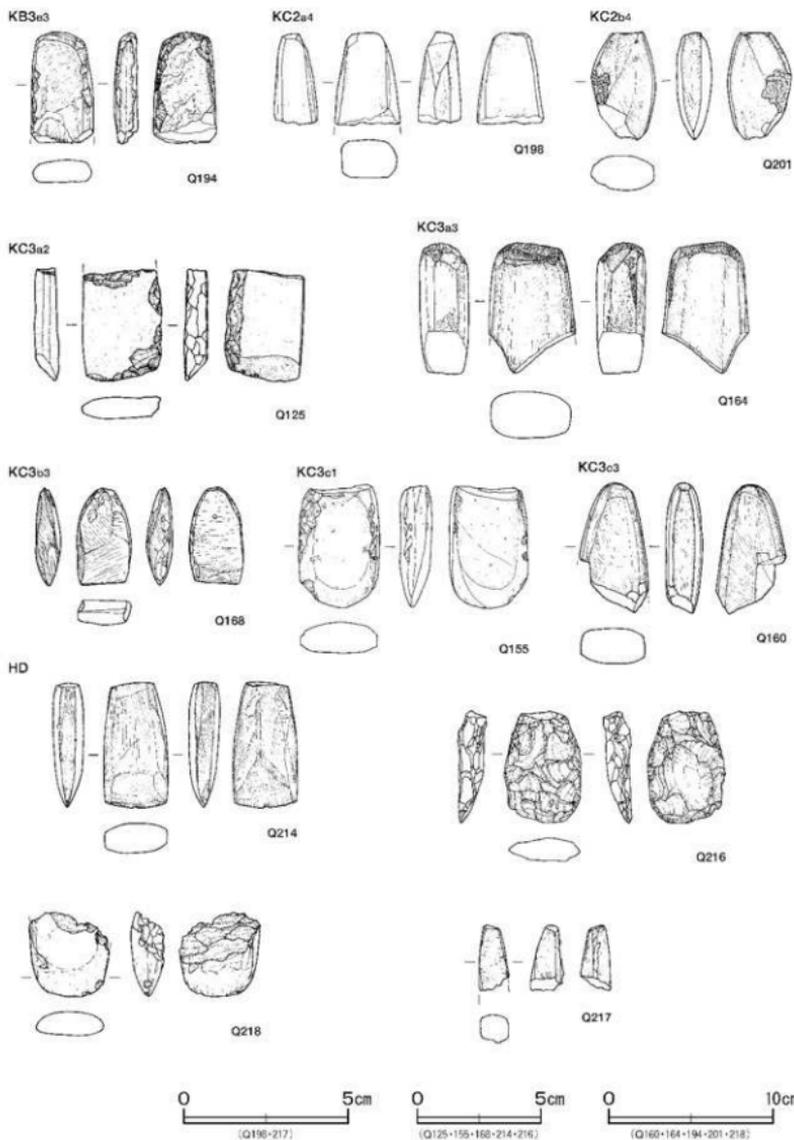
第293图 斜面貝層出土遺物実測図(121)



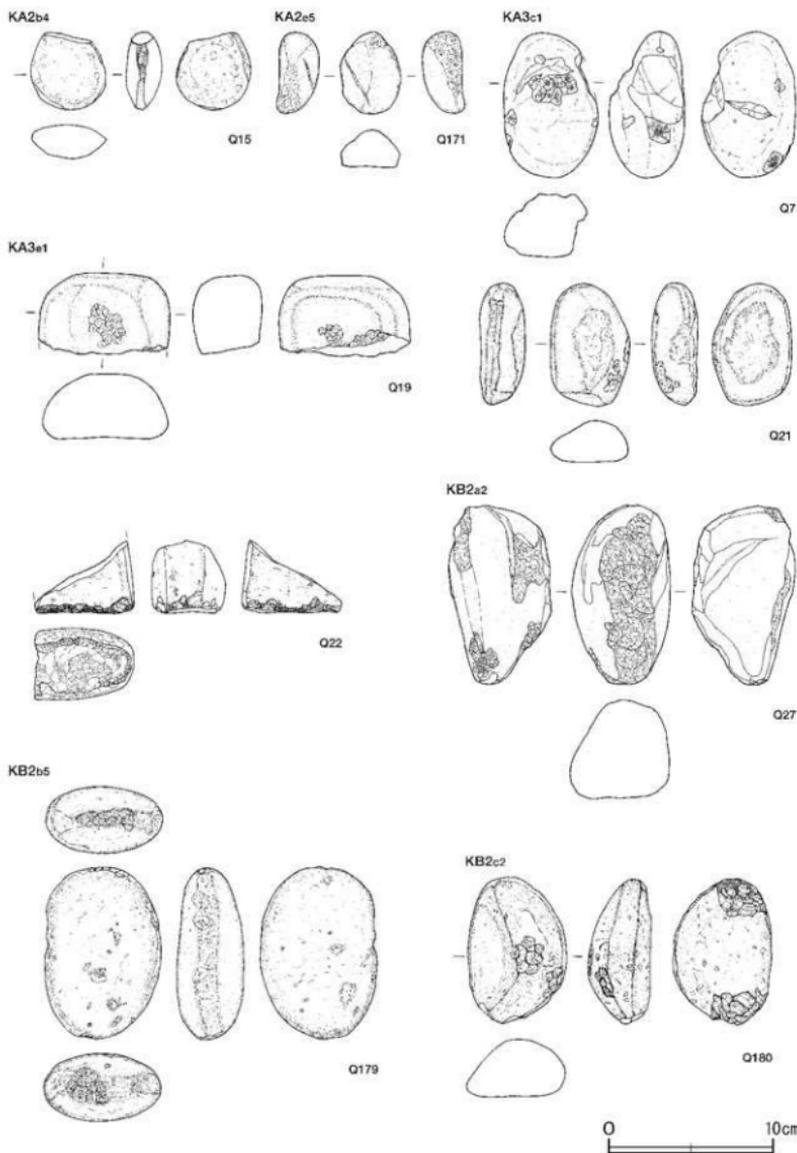
第294図 斜面貝層出土遺物実測図(122)



第295図 斜面貝層出土遺物実測図(123)

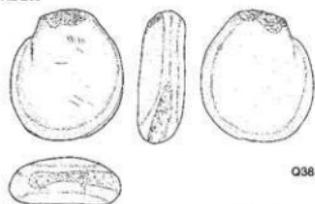


第296図 斜面貝層出土遺物実測図(124)

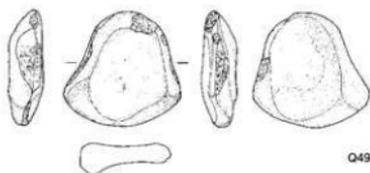
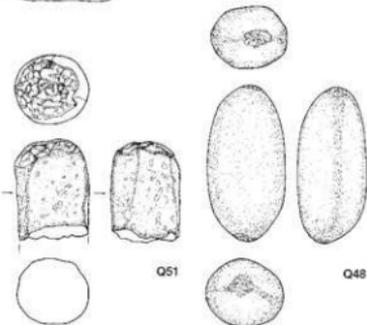


第297図 斜面貝層出土遺物実測図(125)

KB2c3

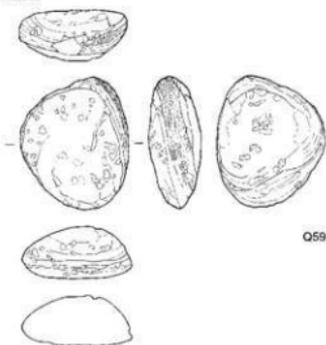


Q38



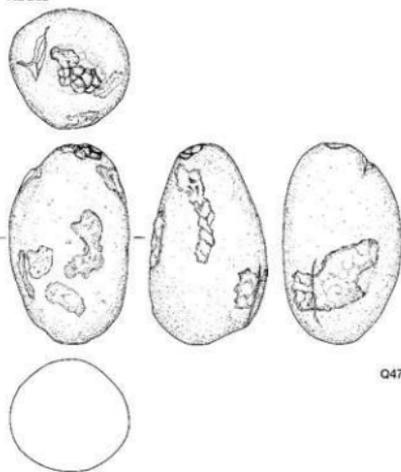
Q49

KB2e6

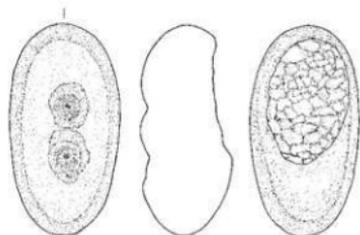


Q59

KB2c2

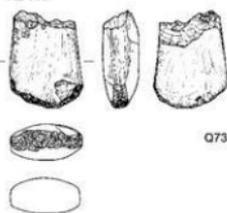


Q47



Q50

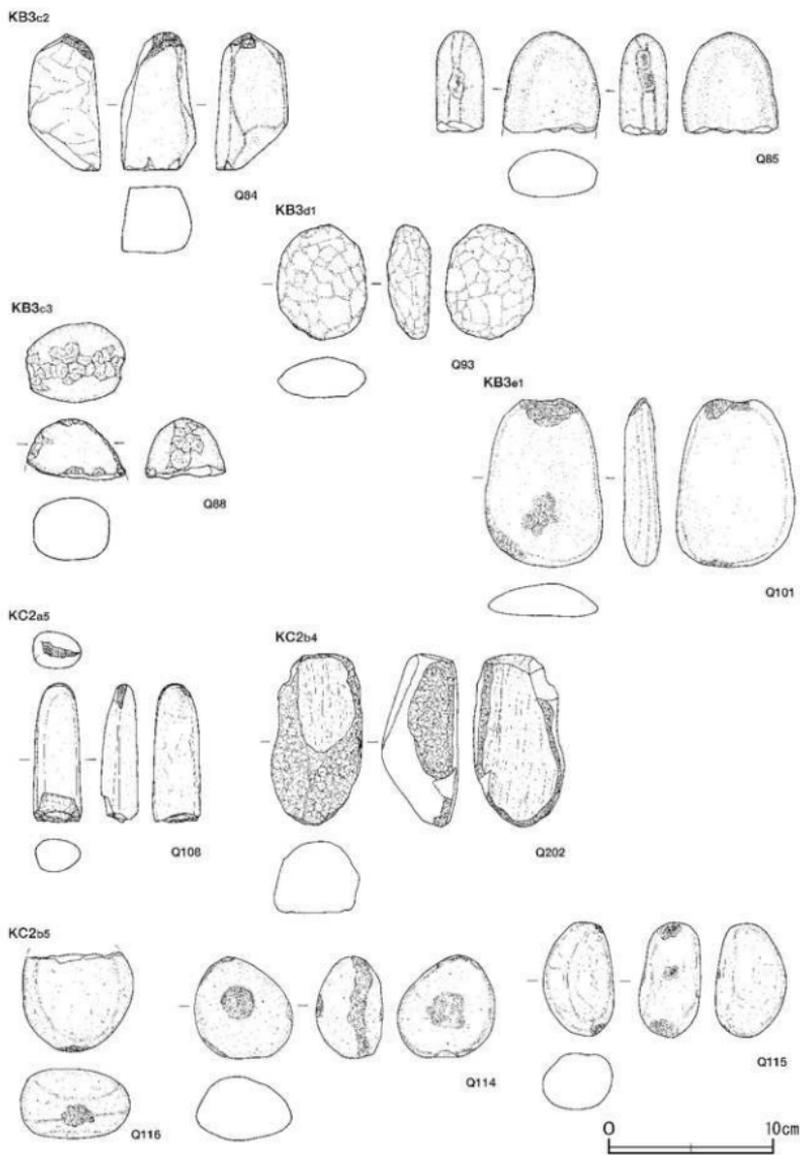
KB3b3



Q73

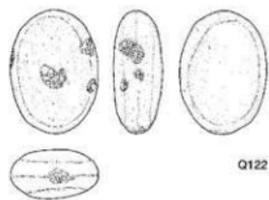
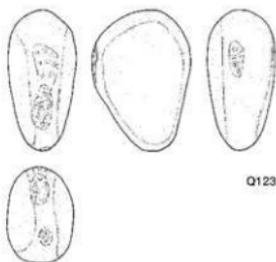


第298图 斜面貝層出土遺物実測図(126)

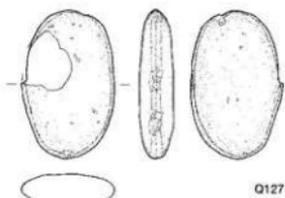
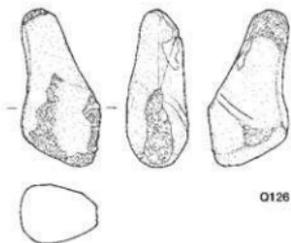


第299図 斜面貝層出土遺物実測図(127)

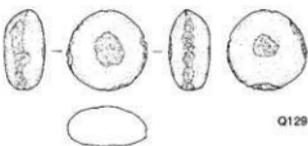
KC3a1



KC3a2



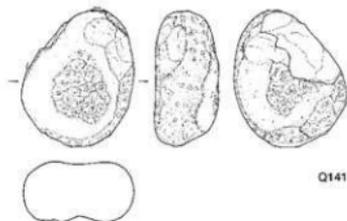
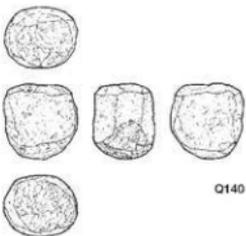
KC3a3



KC3a4

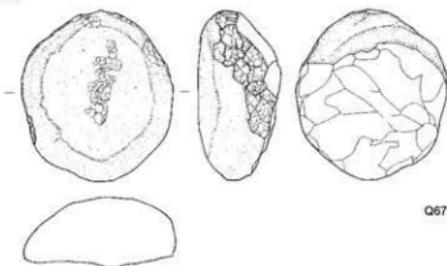


KC3b1

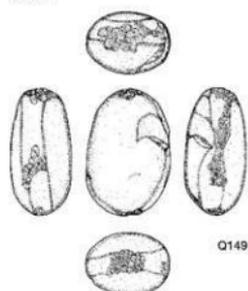


第300図 斜面貝層出土遺物実測図(128)

KC3b2



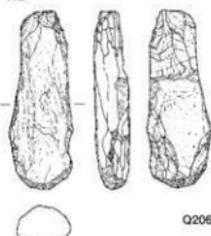
KC3b4



Q67

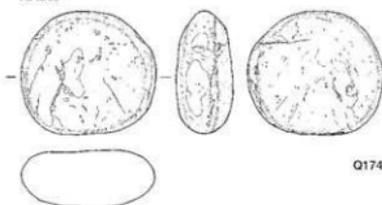
Q149

HD



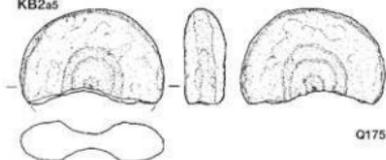
Q206

KA3e5



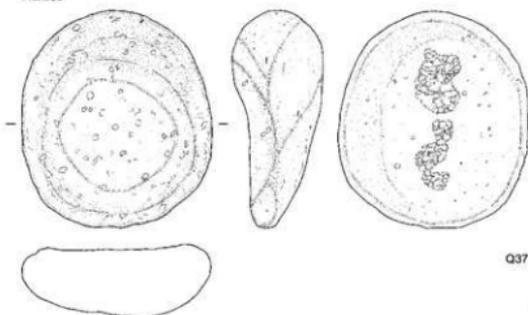
Q174

KB2a5

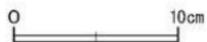


Q175

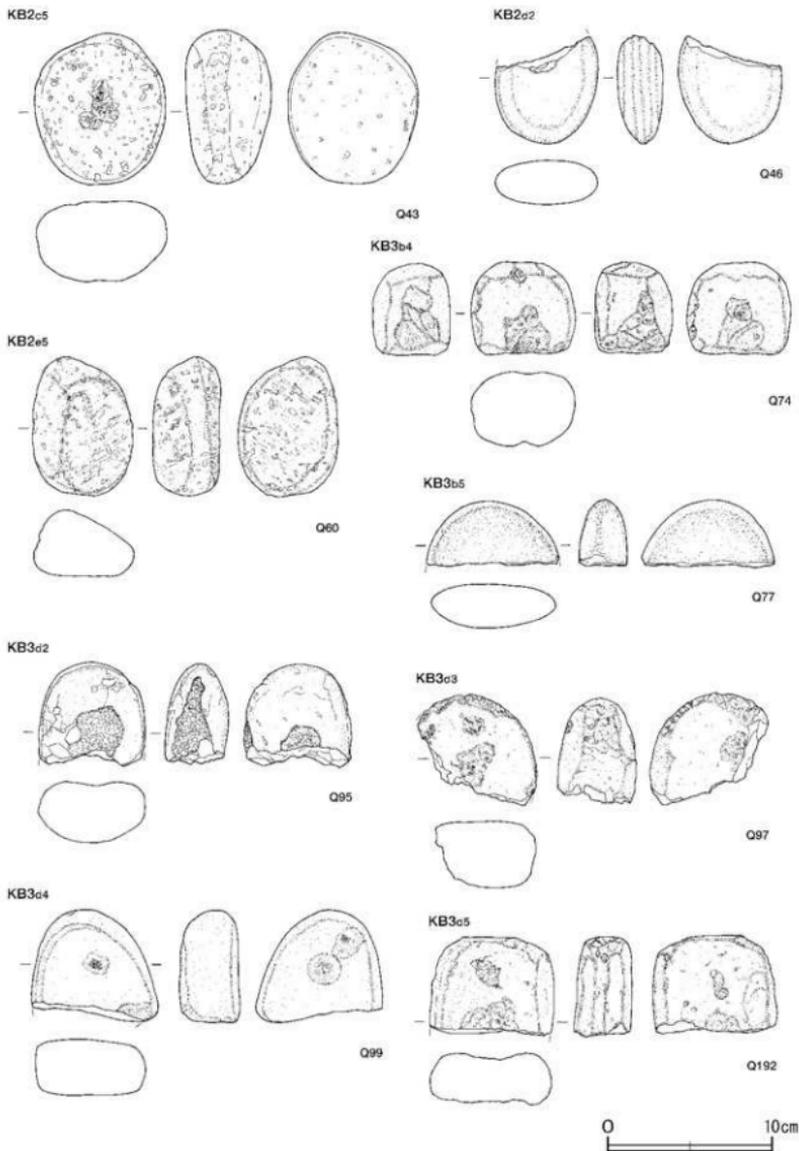
KB2c3



Q37

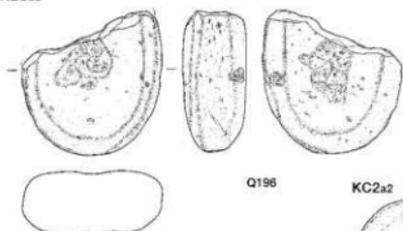


第301图 斜面貝層出土遺物実測図(129)



第302図 斜面貝層出土遺物実測図(130)

KB3e5

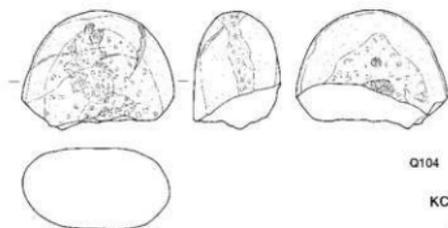


Q196

KC2a2

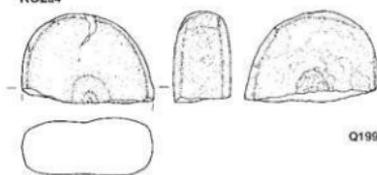


Q103



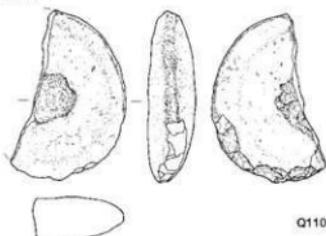
Q104

KC2a4



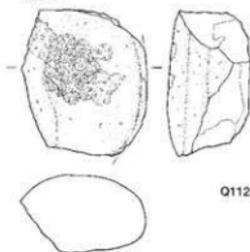
Q199

KC2b2



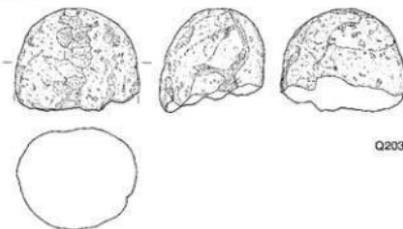
Q110

KC2b3



Q112

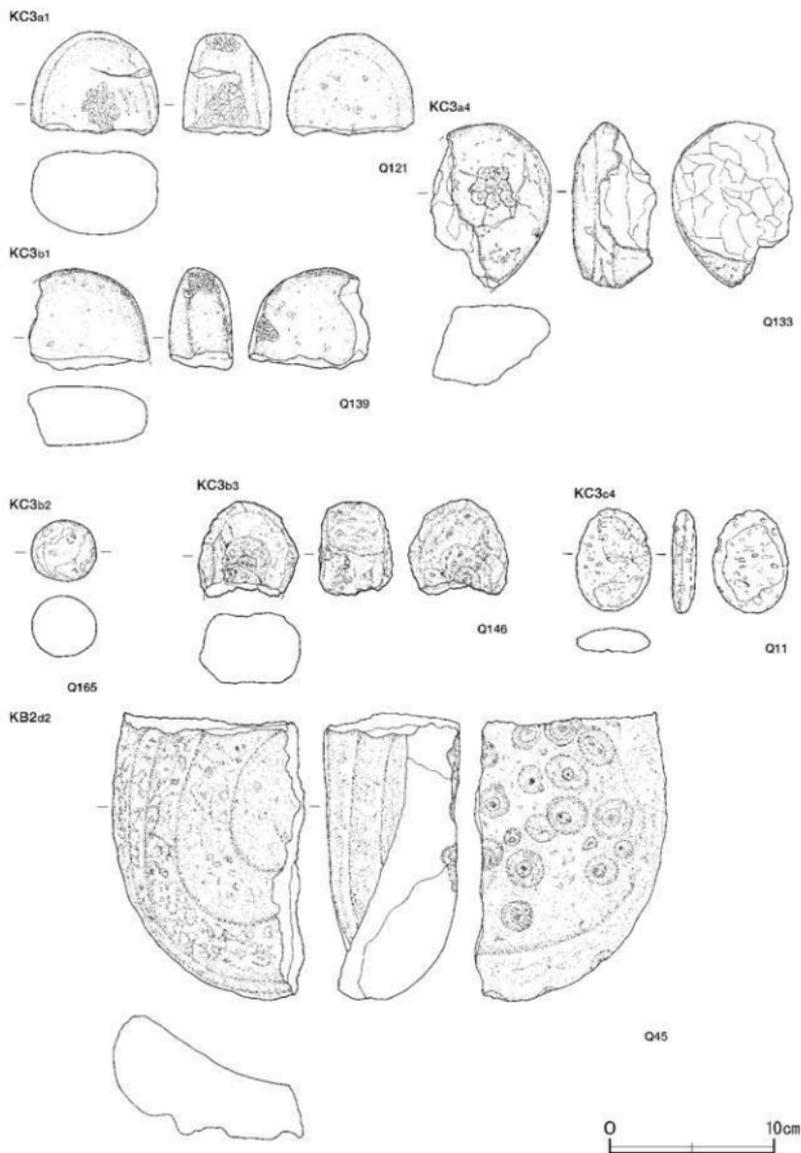
KC2e5



Q203

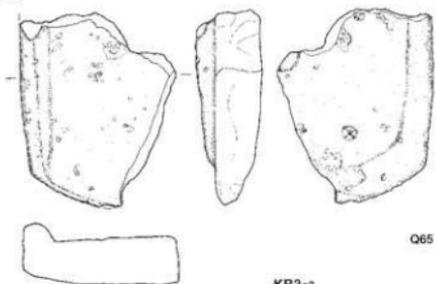


第303図 斜面貝層出土遺物実測図(131)



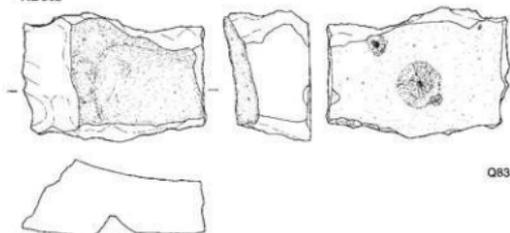
第304図 斜面貝層出土遺物実測図(132)

KB3b1



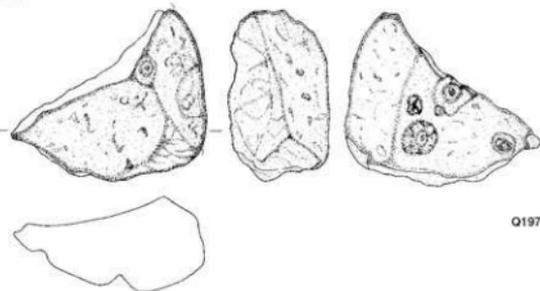
Q65

KB3c2



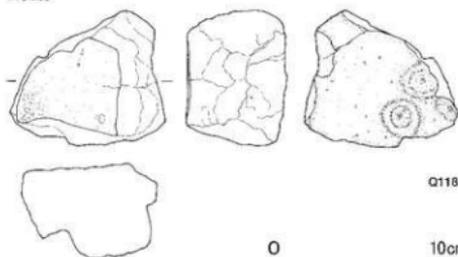
Q83

KC2a3



Q197

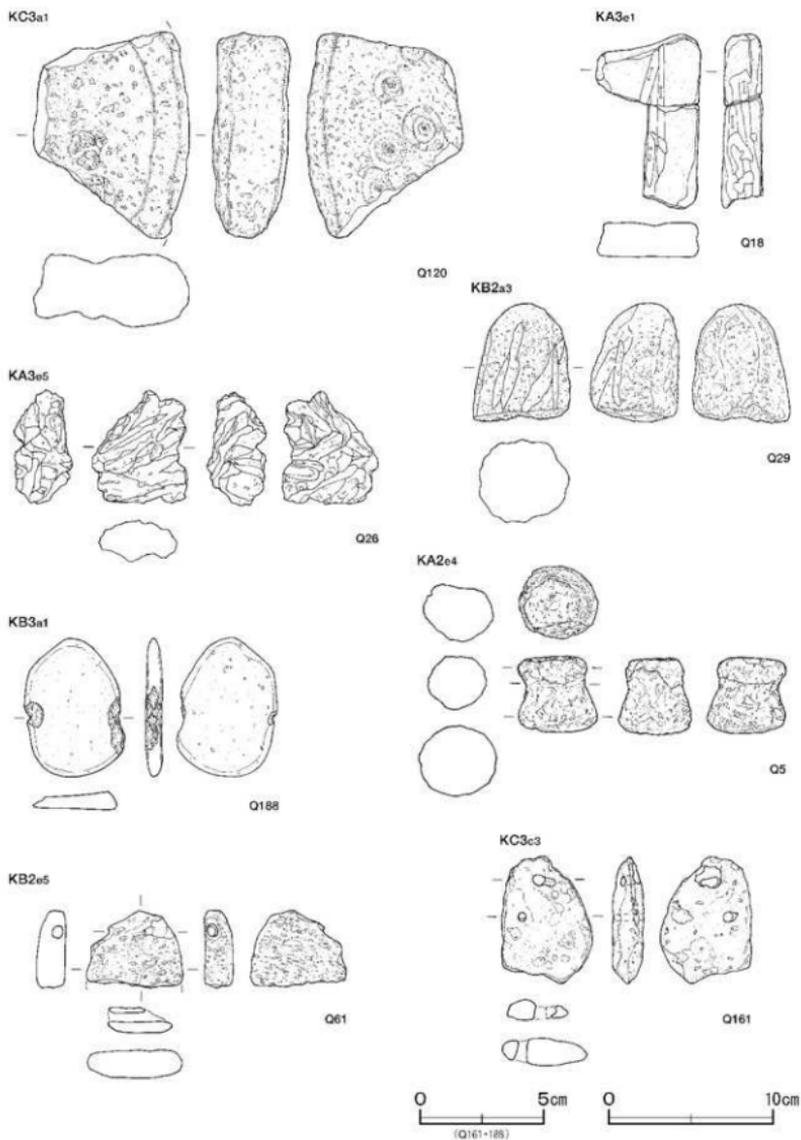
KC2c5



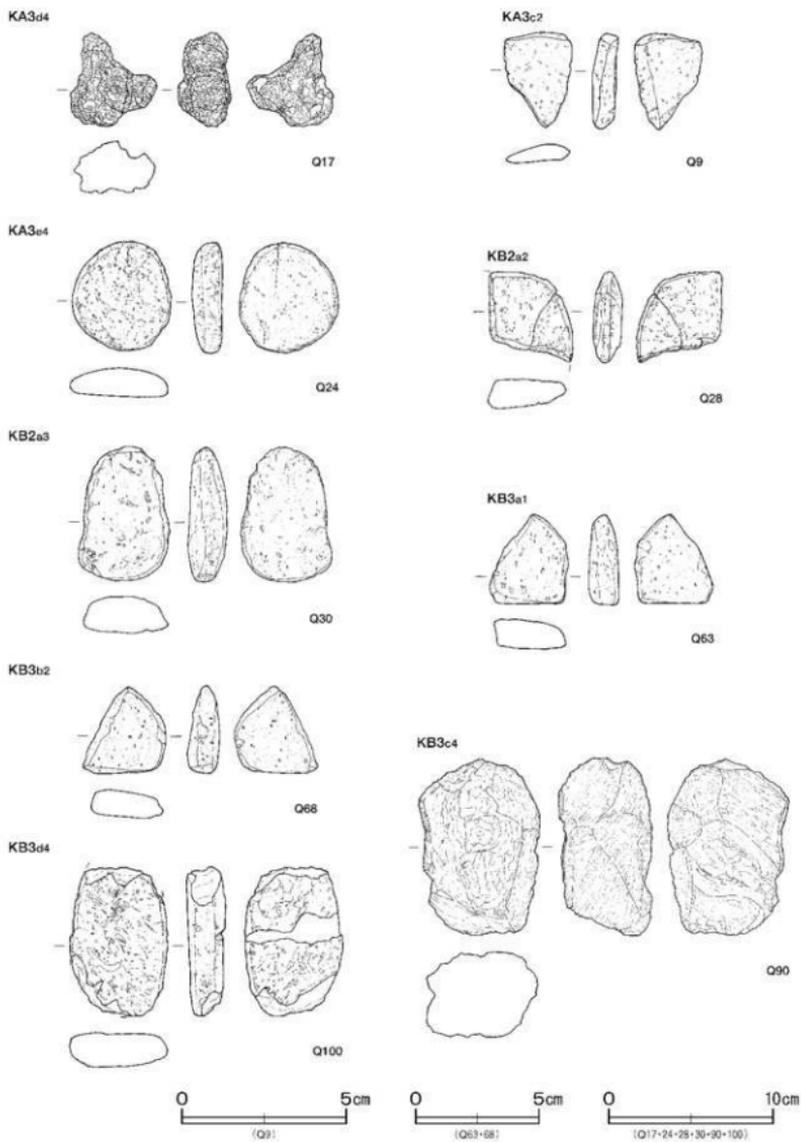
Q118



第305図 斜面貝層出土遺物実測図(133)

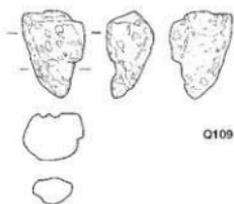


第306図 斜面貝層出土遺物実測図(134)

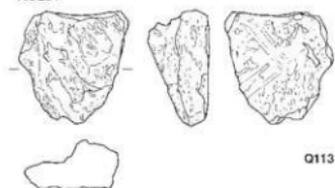


第307図 斜面貝層出土遺物実測図(135)

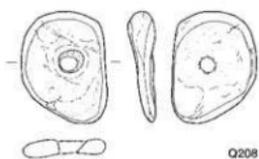
KC2a5



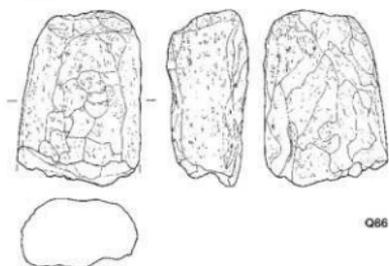
KC2b4



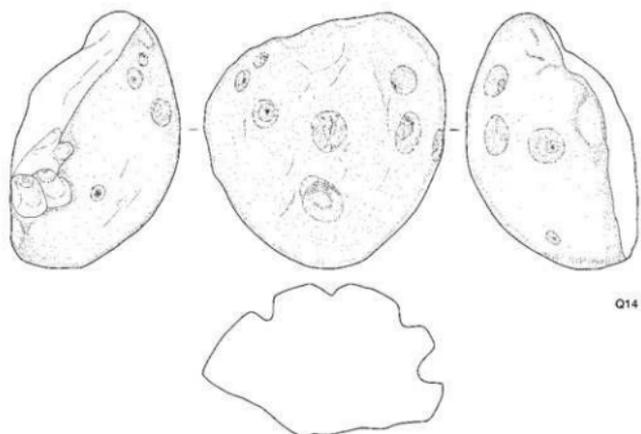
KB3a5



KB3c2



KA2a5

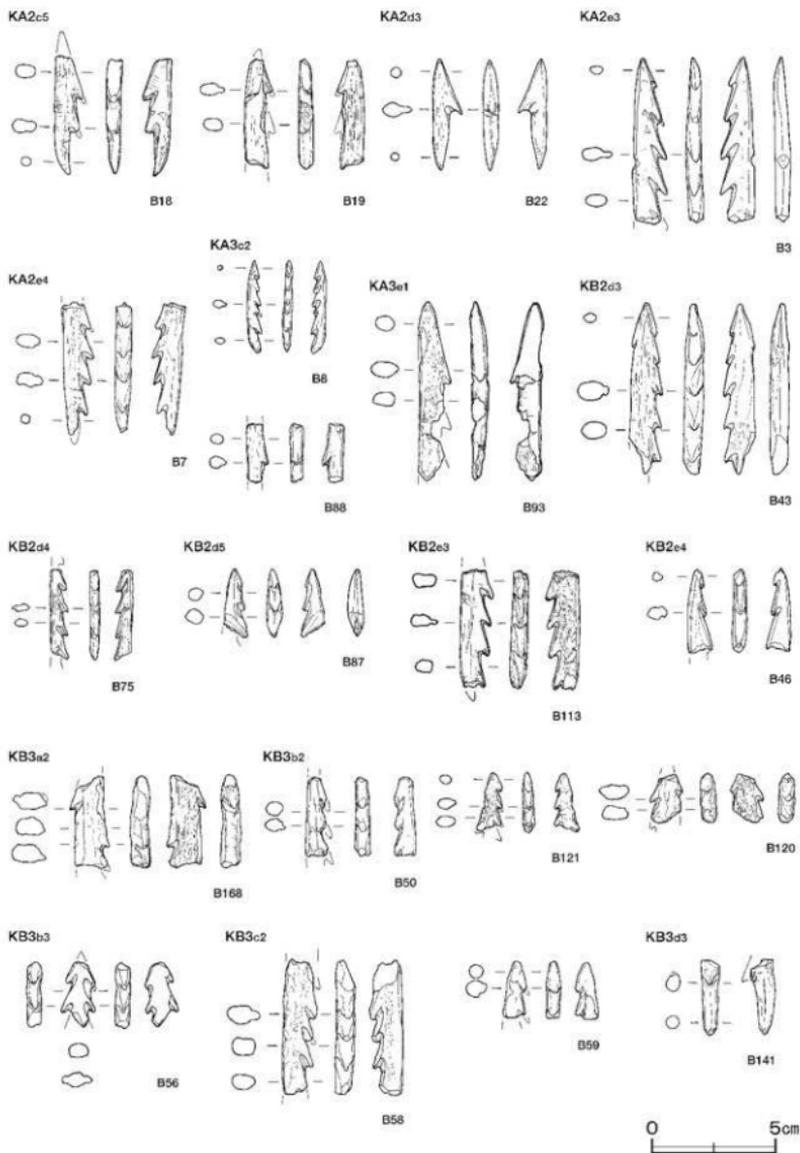


0 5cm

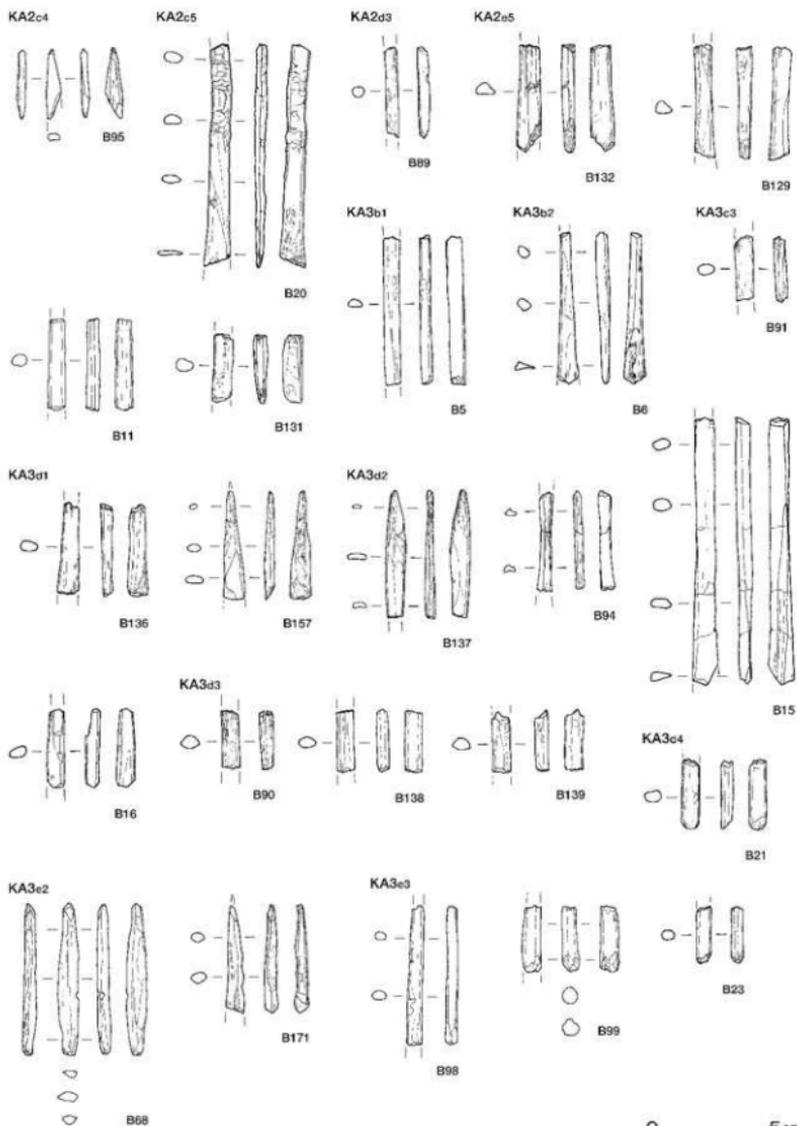
0 10cm

(Q109・113・208)

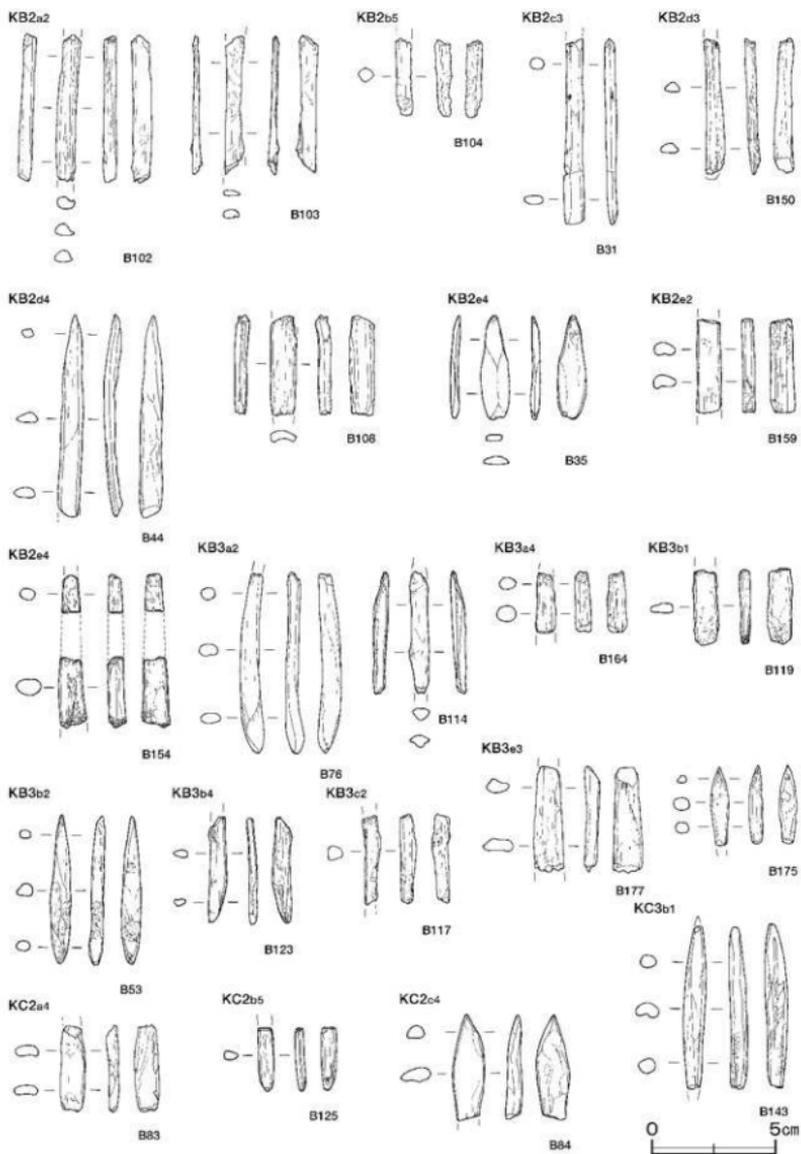
第308図 斜面貝層出土遺物実測図(136)



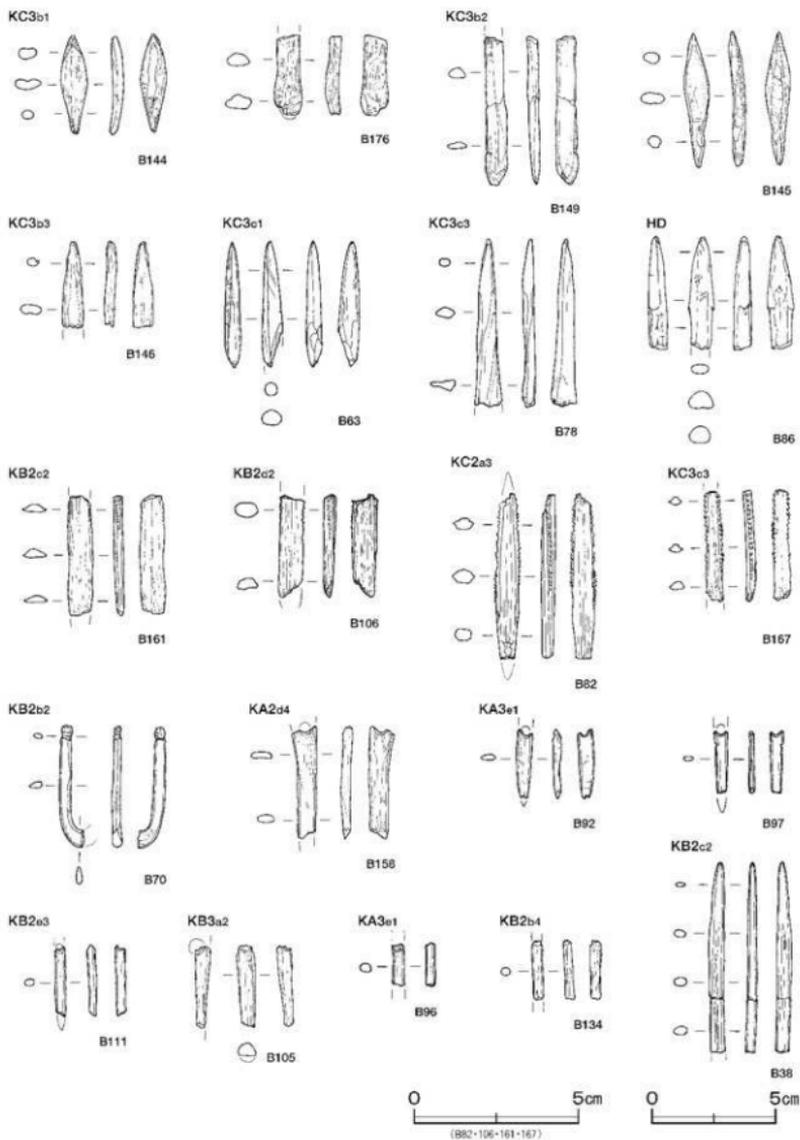
第309図 斜面貝層出土遺物実測図(137)



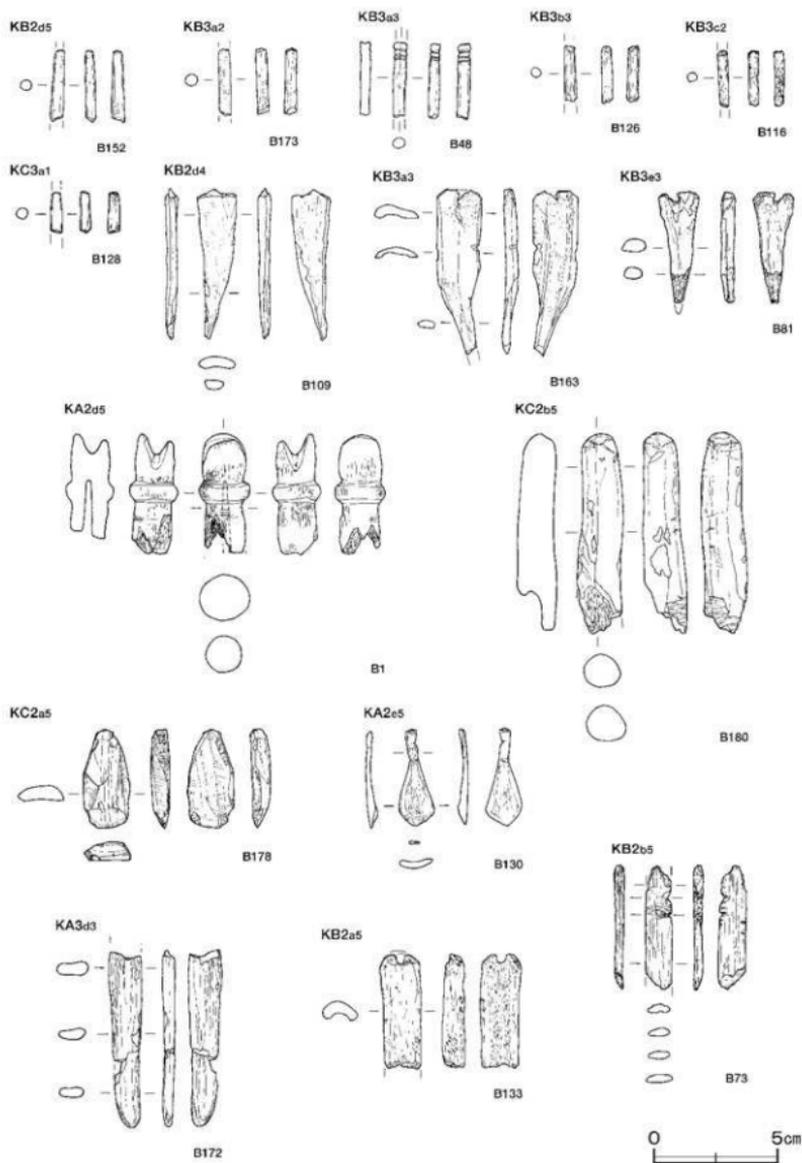
第310図 斜面貝層出土遺物実測図(138)



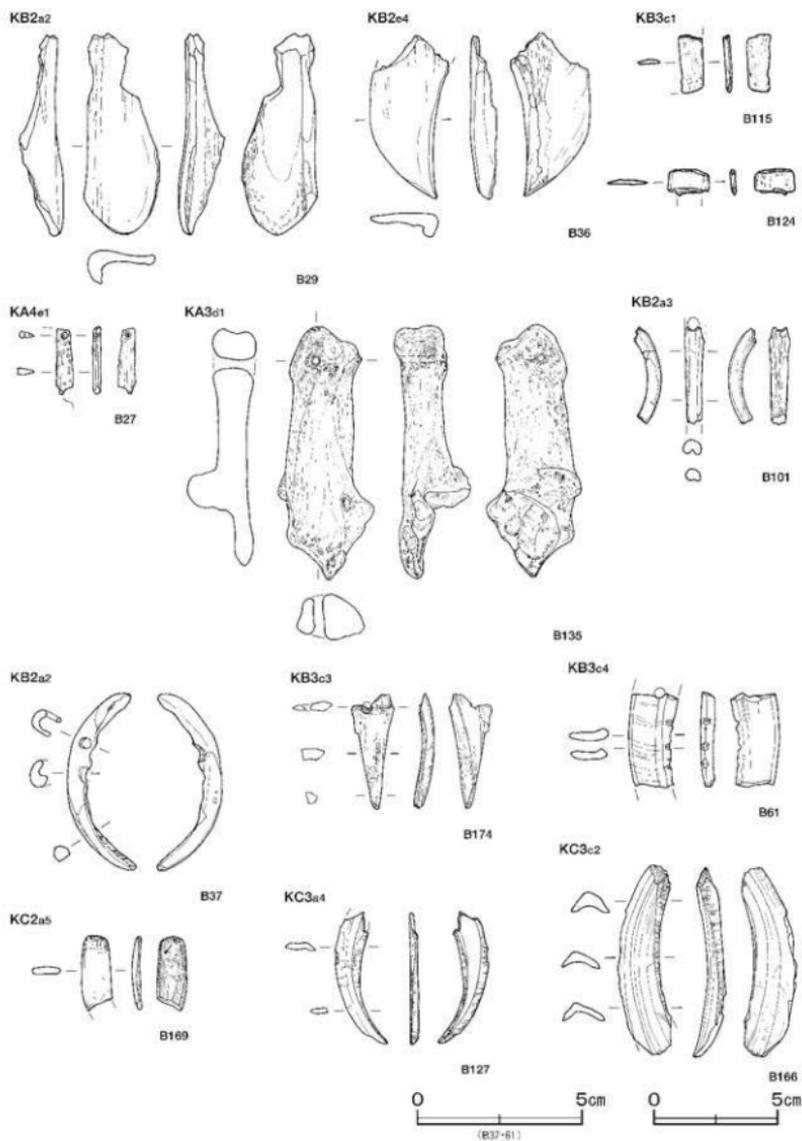
第311图 斜面貝層出土遺物実測図(139)



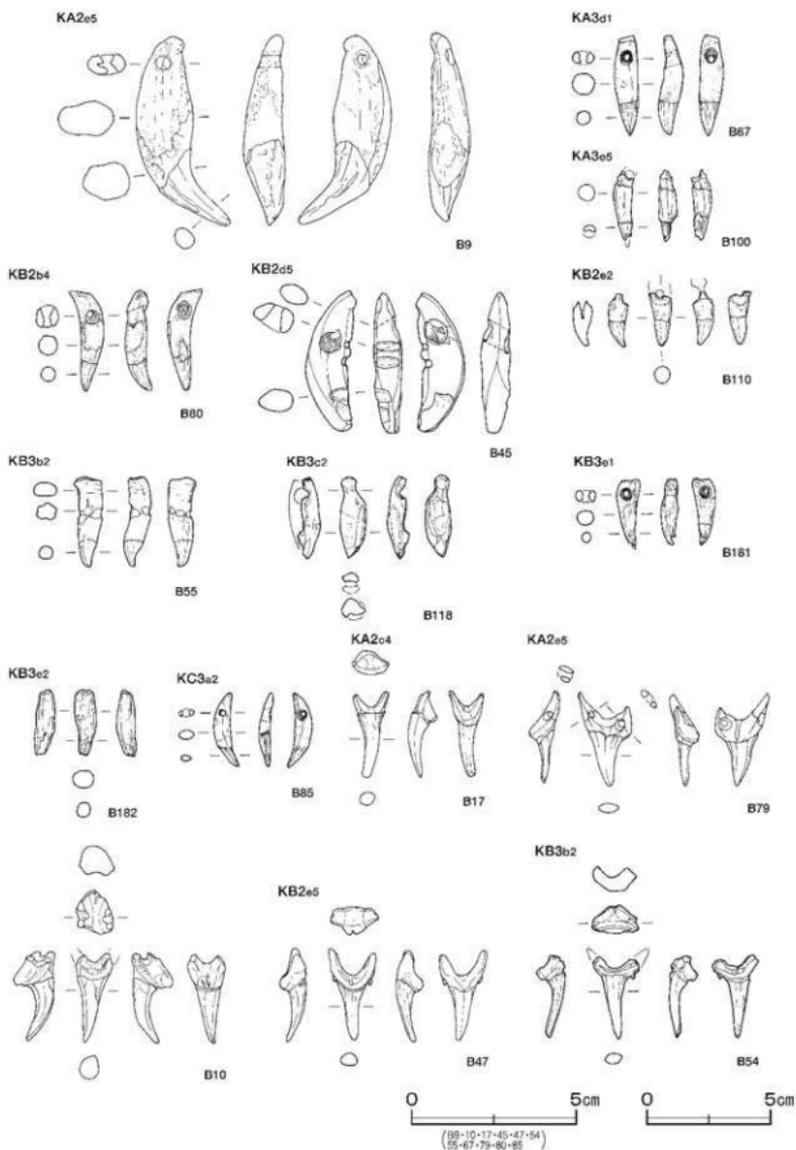
第312図 斜面貝層出土遺物実測図(140)



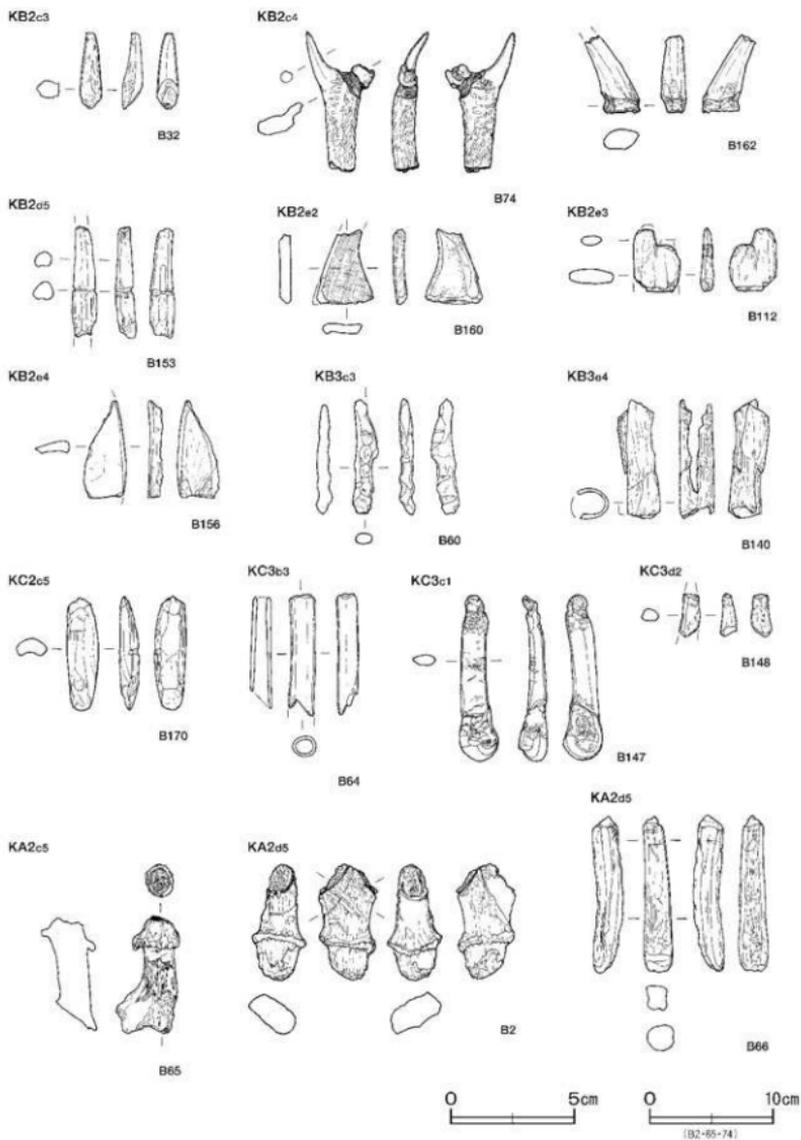
第313図 斜面貝層出土遺物実測図(141)



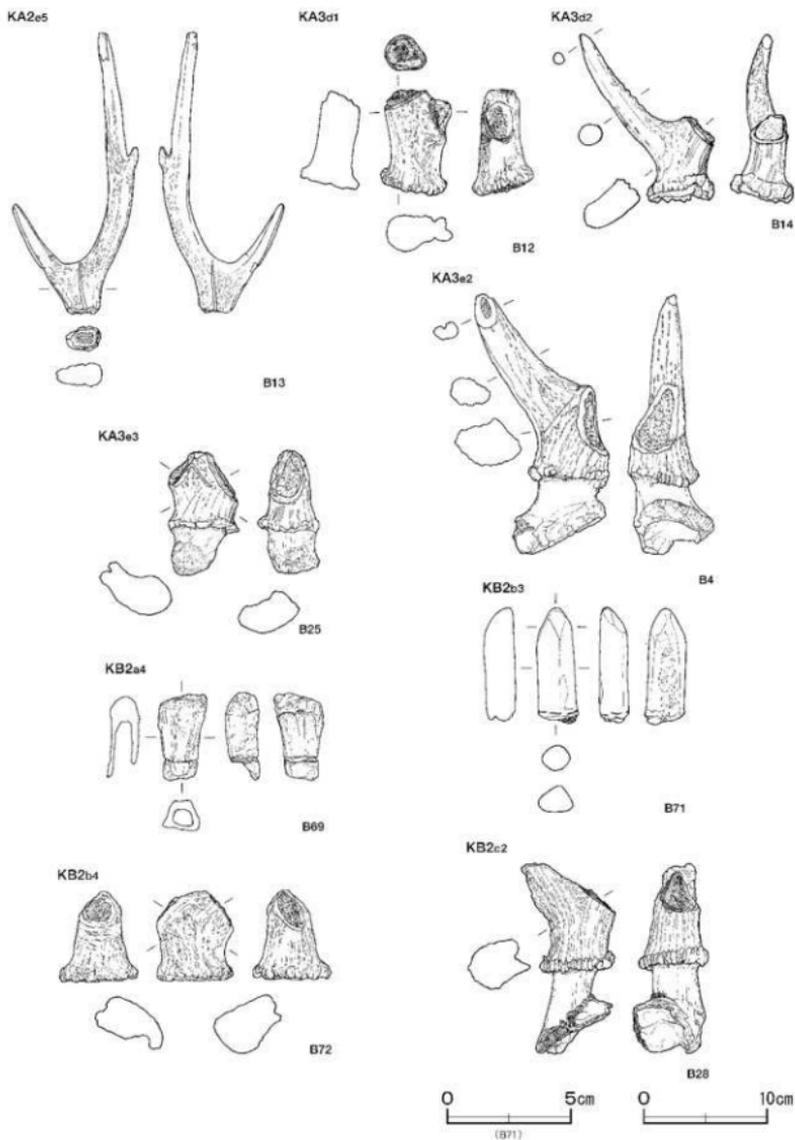
第314図 斜面貝層出土遺物実測図(142)



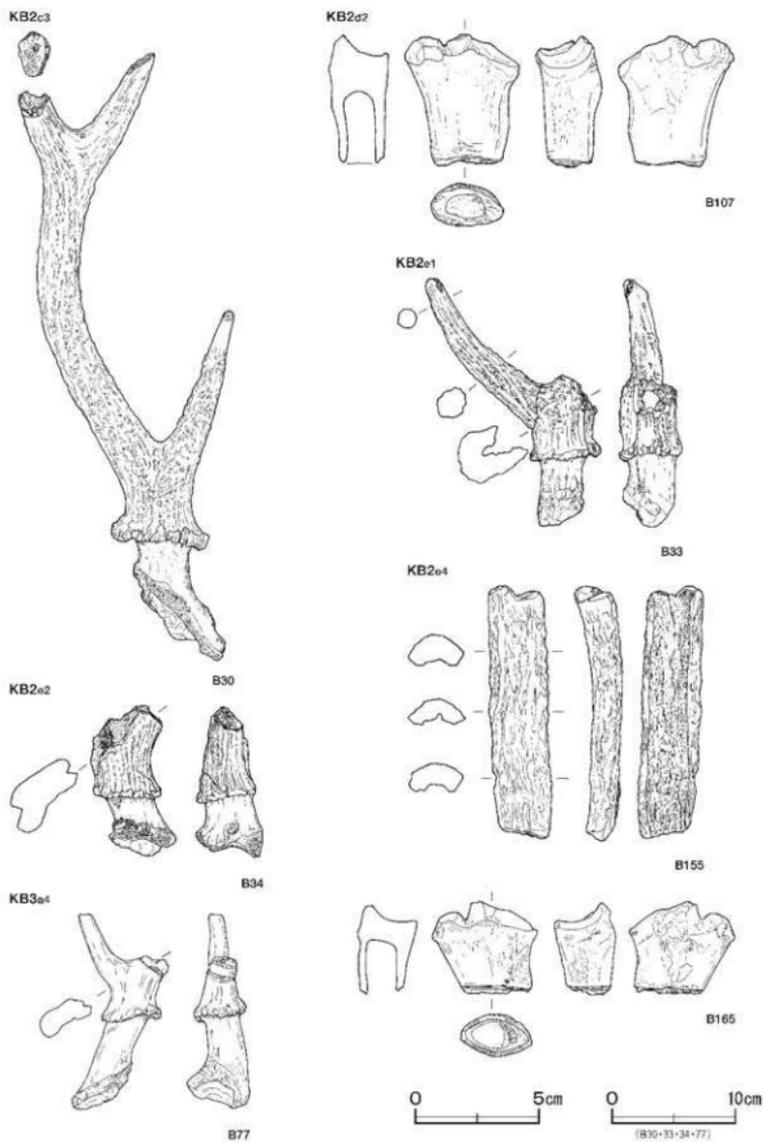
第315图 斜面貝層出土遺物実測図(143)



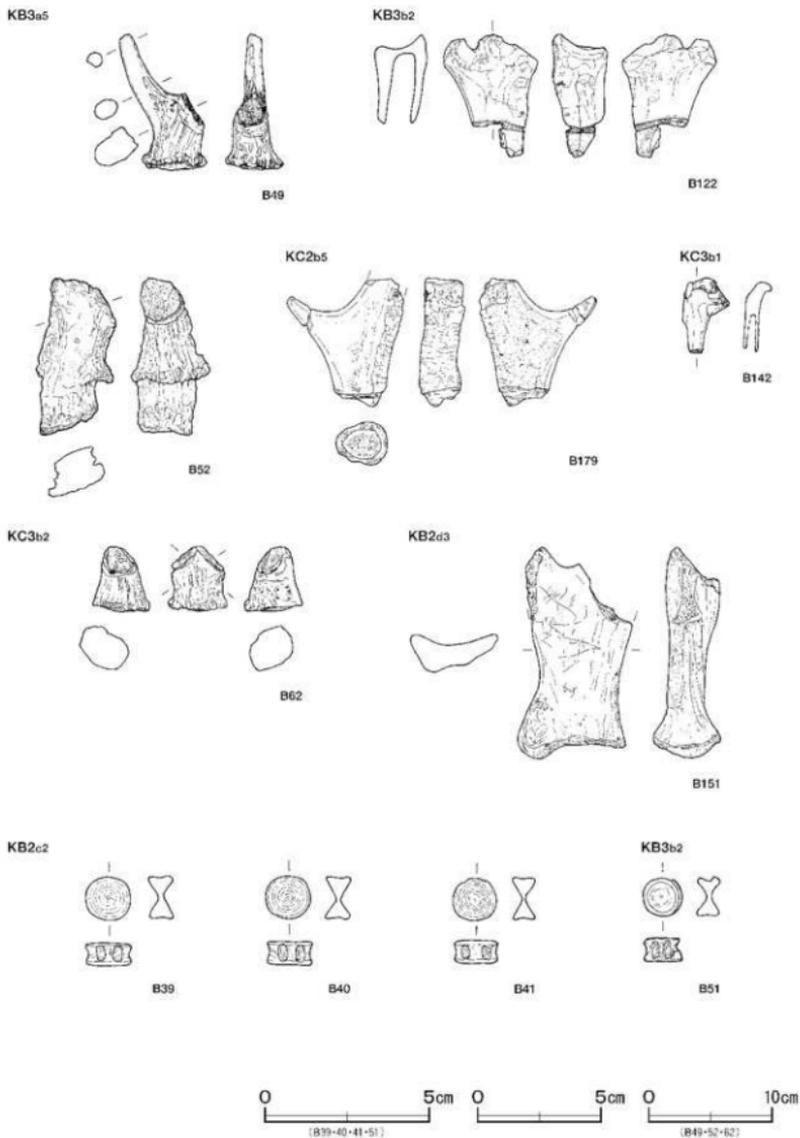
第316図 斜面貝層出土遺物実測図(144)



第317图 斜面貝層出土遺物実測図(145)

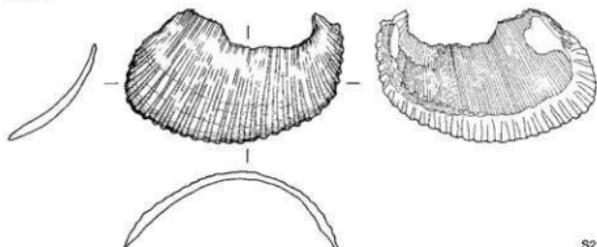


第318图 斜面貝層出土遺物実測図(146)



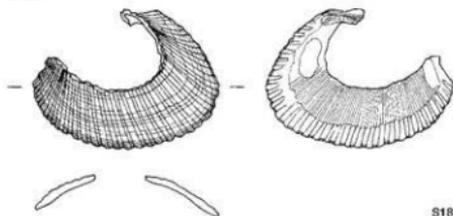
第319図 斜面貝層出土遺物実測図(147)

KA2c5



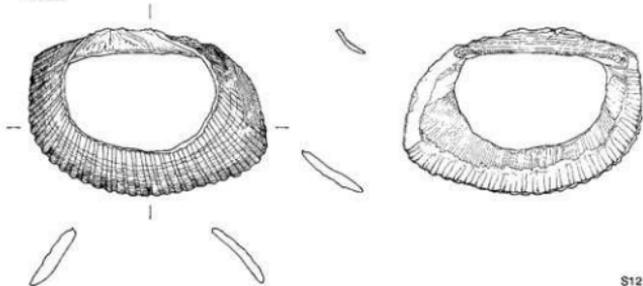
S2

KA3o4



S18

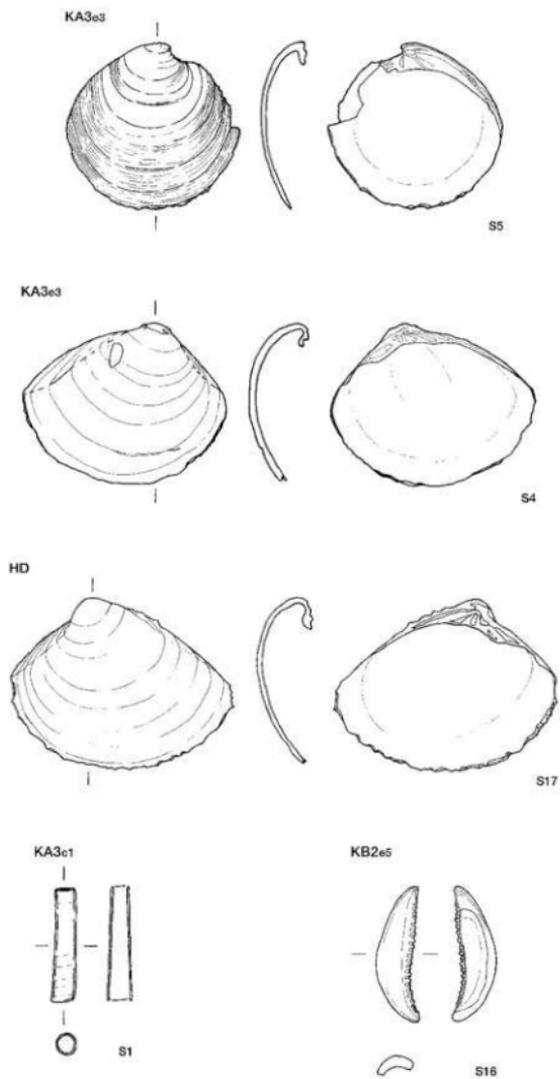
KB2b4



S12



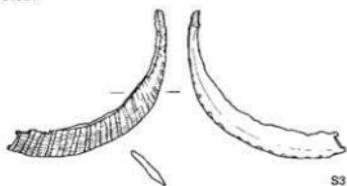
第320図 斜面貝層出土遺物実測図(148)



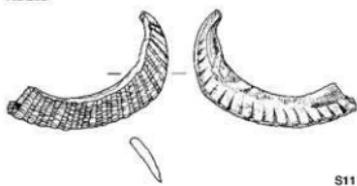
0 5cm

第321图 斜面貝層出土遺物実測図(149)

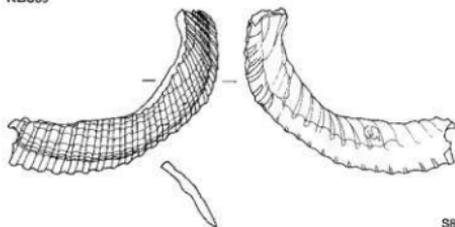
KA3d4



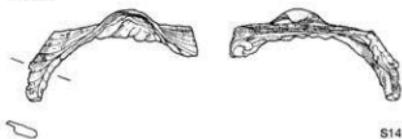
KB2b2



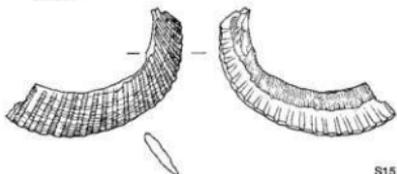
KB3b5



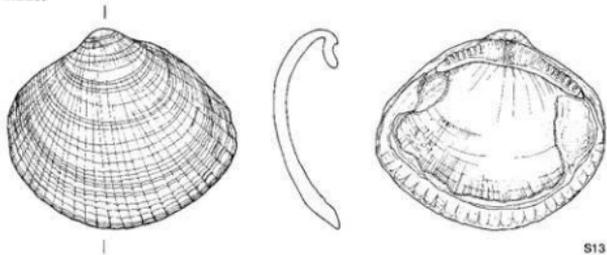
KC2a2



KC2c5

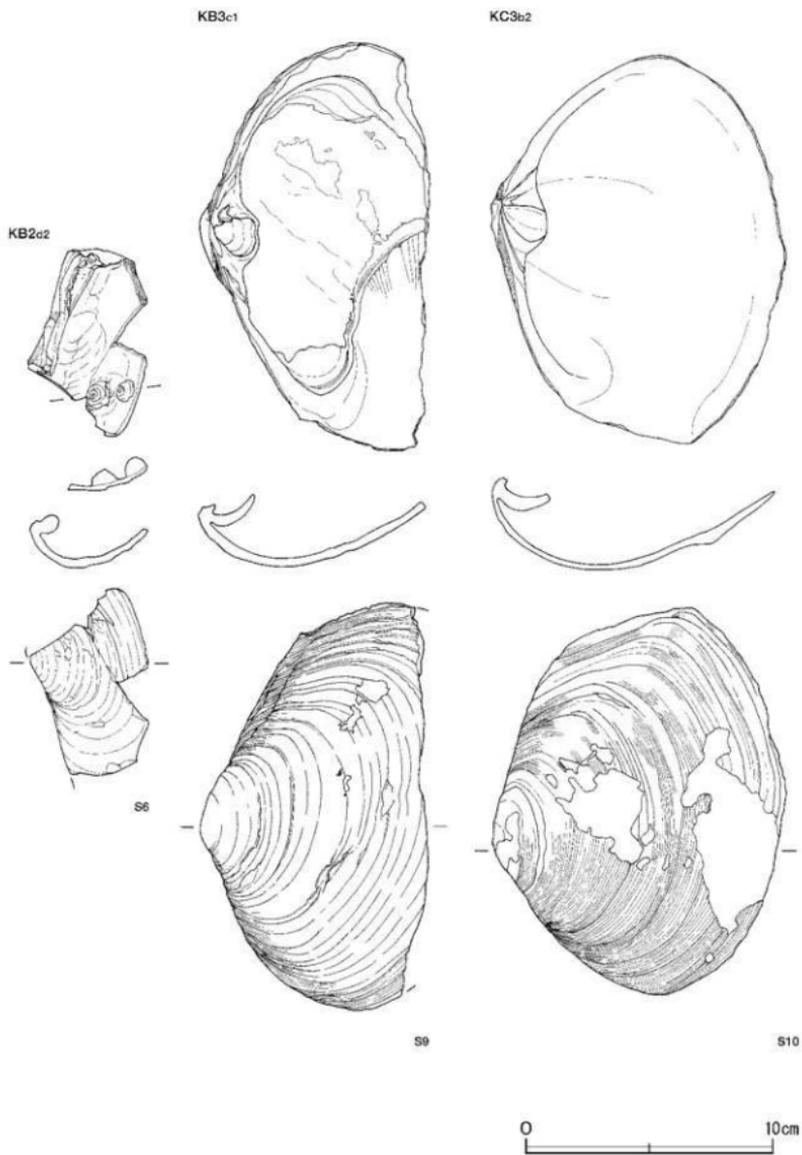


KB2c5



0 10cm

第322图 斜面貝層出土遺物実測図(150)



第323图 斜面貝層出土遺物実測図(151)

貝層出土遺物觀察表 (第173～323号)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|----|------|--------|------|--------|-------|-------------|-----|----|---|------------------------|-------------|
| 1 | 縄文土器 | 深鉢 | 18.7 | 31.0 | 8.9 | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・横5字状のモチーフを形成 隆帯高文帯 以下隆帯と縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KA 3 e 2② | 70% PL41 |
| 2 | 縄文土器 | 浅鉢 | 11.8 | 6.5 | 6.0 | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縄文を直線状に施文 | KA 3 e 2②×15, 13×15 | 50% PL44 |
| 3 | 縄文土器 | 小部土器 | - | (2.4) | 4.0 | 雲母・繊維 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の縄文を直状に横位に施文 | KA 3 e 2②×12 | 10% |
| 4 | 縄文土器 | 深鉢 | 19.9 | 12.5 | - | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 半縦竹管状工具による屈部沈線文を施す 地文は2段R L・L R単部縄文を直状に施文 | KA 2 e 4③ | 10% |
| 5 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | 9.2 | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2段R L・L R単部縄文を羽状横位に施文 | KA 2 e 4⑤ | 10% |
| 6 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | 7.8 | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 多方向の沈線文を施文 | KA 2 e 4⑥ | 10% |
| 7 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | 9.8 | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 付加高文を施文 | KA 2 e 4③ | 10% |
| 8 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.1) | 10.8 | 長石・繊維 | 橙 | 普通 | 単部縄文を羽状横位に施文 | KA 3 c 1③ | 10% |
| 9 | 縄文土器 | 深鉢 | 11.8 | (11.3) | - | 長石・石英・繊維 | 灰褐 | 普通 | 口唇部刻み目 沈線文を格子状に施文 | KA 3 c 2②×1-2 | 40% PL51 |
| 10 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | 10.6 | 長石・石英・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2-4本単位の縄文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 d 1② | 20% |
| 11 | 縄文土器 | 有孔挿付土器 | 12.8 | (5.6) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰黄褐 | 普通 | 口縁部縄文 孔を有する罫を施す 沈線文を直状にモチーフを呈出 | KA 3 c 1③ | 5% |
| 12 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・雲母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯で縦線状肥帯を呈出 | KA 2 e 5② | 5% |
| 13 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 隆帯と沈線で湯舟状のモチーフを呈出 内窓を有する突縁 | KA 2 e 5③ | 5% |
| 14 | 縄文土器 | 深鉢 | 28.7 | (26.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 3本単位の縄文を波状状に横位・重層施文 照糸文を直状に施文 | KA 2 e 5④ | 15% |
| 15 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.6 | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 口縁部縄文 隆帯と沈線で区画・湯舟状のモチーフを形成 1段L R単部縄文を施文 | KA 2 e 5⑤ | 5% |
| 16 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.9) | 7.6 | 長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 沈線文を付加高文を垂下 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KA 2 e 5⑥ | 60% PL51 |
| 17 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | 11.5 | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縄文を波状状に横位施文 以下に沈線文を刻み格子状に施文 | KA 3 d 1③ | 20% |
| 18 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | 9.4 | 長石・石英・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の縄文を横位施文 | KA 2 d 4① | 5% |
| 19 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | 8.5 | 長石・石英・繊維 | 赤褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 b 4② | 5% |
| 20 | 縄文土器 | 丸土器 | - | (4.0) | - | 長石・雲母・繊維 | 黄灰 | 普通 | 突縁 外面照糸文 | KA 2 b 5③ | 5% |
| 21 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | 7.9 | 長石・石英・繊維 | 橙 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 c 3③ | 10% |
| 22 | 縄文土器 | 丸土器 | - | (8.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 外・内面照糸文 | KA 3 d 4① | 10% |
| 23 | 縄文土器 | 深鉢 | 23.0 | (18.8) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KA 3 e 1② | 20% PL44 |
| 24 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | (8.3) | 長石 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KA 3 e 1③ | 5% |
| 25 | 縄文土器 | 丸土器 | - | (3.1) | - | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 外・内面照糸文 | KA 3 e 1④ | 5% |
| 26 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.2 | (31.2) | - | 長石・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 半縦竹管状工具による斜交文を施す 以下に照糸文を直状に施文 | KA 3 e 4①・② | 40% PL44 |
| 27 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.8 | (26.8) | - | 雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縄文を直状・波状状に横位・重層施文 以下に斜交文を施す | KA 3 e 4②・③・④ | 30% PL44 |
| 28 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | 9.0 | 雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の縄文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 e 4⑤ | 10% |
| 29 | 縄文土器 | 深鉢 | 15.3 | (18.7) | - | 長石・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2・3本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KA 2 e 3⑤ | 30% |
| 30 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | 12.6 | 長石・石英・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縄文を波状状に横位施文 | KA 2 e 3⑥ | 5% |
| 31 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | 10.2 | 長石・石英 | に灰漬 | 普通 | 縦位の照糸文を施文 | KA 3 d 2③ | 20% |
| 32 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.8) | 9.6 | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 1段のR L単部縄文を施文 | KA 3 d 3⑤ | 10% |
| 33 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.0 | (32.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の縄文を直状・縦線状に横位・重層施文 | KA 2 c 5 | 30% |
| 34 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | 11.4 | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 c 5①・② | 5% |
| 35 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.2 | 28.5 | 8.8 | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 突縁と内窓を有する | KA 3 e 1④ | 70% PL41 |
| 36 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.3 | (15.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線文を付加高文を直状・波状に施す 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KA 3 e 1⑤ | 20% PL51 |
| 37 | 縄文土器 | 深鉢 | 19.5 | 29.5 | 9.3 | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 口縁部縄文 隆帯と沈線で横内形区画・湯舟状のモチーフを形成 沈線文を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KA 3 e 2⑦ | 10% PL41 |
| 38 | 縄文土器 | 有孔挿付土器 | 22.8 | (1.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 孔を有する罫を施す | KA 3 e 4③×1 | 5% |
| 39 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.4 | (31.1) | - | 長石・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縄文を直状・縦線状に横位2段に施文 以下に内形斜交文を施す 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a 3①・② | 10% PL44 |
| 40 | 縄文土器 | 深鉢 | 32.4 | (22.9) | - | 雲母・赤色粒子・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2-4本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KB 2 a 3② | 10% |
| 41 | 縄文土器 | 深鉢 | 11.6 | (9.9) | 10.0 | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 5本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KB 2 a 3③ | 30% PL51 |
| 42 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.9) | - | 長石・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 照糸文を施文 | KB 2 a 3④ | 10% |
| 43 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.2 | (23.1) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で横内形区画・湯舟状のモチーフを形成 沈線文を付加消し帯を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a 3⑤・⑥ | 30% |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|----|------|--------|------|------|------|---------------|-----|----|---|--------------|-------------|
| 44 | 縄文土器 | 深鉢 | 35.8 | 23.0 | - | 長石・赤色粒子 | 灰黄緑 | 普通 | 縄帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a3③ | 20% PL52 |
| 45 | 縄文土器 | 深鉢 | 14.0 | 4.6 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 | KB 2 a3⑤×2 | 5% |
| 46 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 8.2 | 7.2 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 付加部縄文を施文 | KB 2 a3③ | 5% |
| 47 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 5.0 | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 1・2本単位の櫛歯文を横位施文 | KB 2 a2⑦ | 20% |
| 48 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.8 | 8.1 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文 以下に縄帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 | KB 2 a4① | 10% |
| 49 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.5 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 縄帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a4③ | 10% |
| 50 | 縄文土器 | 深鉢 | 16.4 | 13.2 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 棒状工具による円形刺交文を施らす 磨り消し層を垂下 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a4③ | 10% |
| 51 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.7 | 12.0 | 長石・石英・赤色粒子 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線を垂下 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a4③ | 20% |
| 52 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.1 | 8.6 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文 以下に縄帯と沈線を垂下 地文は横位文を施文 | KB 2 a4③ | 10% |
| 53 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 11.2 | 6.8 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を垂下 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KB 2 a4⑥ | 10% |
| 54 | 縄文土器 | 有孔頸付土器 | - | 5.6 | - | 長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 孔を有する罫を施らす 無文 | KB 2 a4⑤×7 | 10% |
| 55 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.5 | 29.2 | 6.8 | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 2本単位の沈線を縦・横位に施らす 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KB 2 b3⑦ | 80% |
| 56 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.4 | 18.5 | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐 | 普通 | 2・3本単位の沈線を縦・横位に施らす 地文は横位文を施文 | KB 2 b3① | 20% |
| 57 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 6.6 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 縄帯と沈線を施らす 区画内に棒状工具による刺交文を施文 | KB 2 b3⑧ | 5% |
| 58 | 縄文土器 | 小淵 | 10.9 | 8.3 | - | 長石・石英 | 褐 | 普通 | 櫛歯状工具による条線文を垂下 | KB 2 b3⑩461層 | 15% |
| 59 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 24.0 | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KB 2 b3⑩ | 40% |
| 60 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.1 | 23.6 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 縄帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し層を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 b4③ | 65% |
| 61 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.7 | 18.9 | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 2・3本単位の沈線を縦・横位に施らす 地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | KB 2 b4④・⑤ | 50% |
| 62 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.8 | 10.6 | - | 長石・雲母 | 褐灰 | 普通 | 2本単位の沈線を縦・横位に施らす 地文は横位文を施文 | KB 2 b4⑨ | 10% |
| 63 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.5 | 24.2 | - | 長石・石英・繊維 | 灰緑褐 | 普通 | S字状結節文・1段L無部縄文を施文 | KB 2 b5②・④ | 35% PL44 |
| 64 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.2 | 19.7 | - | 長石・石英・繊維 | 褐 | 普通 | 2段L R無部縄文を施文 | KB 2 b5③ | 10% |
| 65 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.0 | 10.8 | 長石・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2・4本単位の櫛歯文を渦波状に横位・重層施文 | KB 2 c1⑩ | 20% |
| 66 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.9 | 27.3 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 断欠文を施文 2方向からの穿孔 孔径5-0.8mm | KB 2 c2② | 20% PL45 |
| 67 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 4.4 | 8.8 | 長石・石英・繊維 | 灰緑褐 | 普通 | 竹管状工具による刺交文を施らす | KB 2 c2④452層 | 10% |
| 68 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.8 | 16.0 | - | 長石・石英・繊維 | 黒褐 | 普通 | 2・4本単位の結節を加えた櫛歯文を渦波状に横位施文 | KB 2 c3①・② | 20% PL51 |
| 69 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.7 | 24.6 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 2・3本単位の沈線を直状・波状に施らす 地文は横位文を施文 | KB 2 c3③ | 50% PL45 |
| 70 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.0 | 10.7 | - | 長石・石英・雲母・赤色粒子 | 褐灰 | 普通 | 棒状工具による刺交文を施らす 以下に2本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 c3④・⑤ | 40% |
| 71 | 縄文土器 | 深鉢 | 16.5 | 8.2 | - | 長石・石英 | 灰緑褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に竹管状工具による円形刺交文を施らす | KB 2 c3⑩ | 10% |
| 72 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.4 | 21.7 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 縄帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し層を垂下 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 c4⑤ | 75% |
| 73 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 4.8 | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 棒状工具を加えた縄帯を施らす 斜行する縦い櫛歯を斜行 地文は3段L R L無部縄文を施文 | KB 2 c4⑩ | 5% |
| 74 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 6.5 | 9.2 | 長石・繊維 | 灰緑褐 | 普通 | 2段R L・L R無部縄文を羽状横位に施文 | KB 2 c4⑩×22 | 10% |
| 75 | 縄文土器 | 浅鉢 | 24.0 | 11.0 | 6.0 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 ナデ | KB 2 c4⑩ | 75% |
| 76 | 縄文土器 | 浅鉢 | 48.2 | 22.7 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 無文 ナデ | KB 2 c4⑩×22 | 25% |
| 77 | 縄文土器 | 深鉢 | 29.2 | 10.5 | - | 石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 縄帯と沈線を直状・波状に施らす 地文は2段L R無部縄文を施文 | KB 2 c5⑩ | 10% |
| 78 | 縄文土器 | 浅鉢 | 40.3 | 14.2 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文 以下に2本単位の沈線を直状・横位に施らす 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB 2 c5①・② | 20% |
| 79 | 縄文土器 | 浅鉢 | 37.8 | 10.5 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に3本単位の沈線を伴う磨り消し層を直状・波状に施らす 2段R L単部縄文を施文 | KB 2 c5② | 15% |
| 80 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.8 | - | 長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 棒状工具を加えた縄帯を縦・横位に施らす 地文は櫛歯状工具による条線文を施文 | KB 2 d2⑩ | 10% |
| 81 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.2 | 14.9 | - | 長石・雲母・繊維 | 黒褐 | 普通 | 2段L R無部縄文を施文 | KB 2 d3⑤ | 20% |
| 82 | 縄文土器 | 深鉢 | 15.8 | 18.8 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2段R L無部縄文を施文 2方向からの穿孔 孔径7-1.0mm | KB 2 d3⑥ | 20% |
| 83 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.8 | - | 長石・雲母・繊維 | 灰緑褐 | 普通 | 沈線を施らす 以下に縦い櫛歯文を直状・波状に横位施文 | KB 2 d3⑦ | 10% |
| 84 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 7.4 | 8.8 | 長石・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を曲線的に施文 | KB 2 d3⑧ | 10% |
| 85 | 縄文土器 | 浅鉢 | 17.4 | 6.0 | - | 長石 | 灰緑褐 | 普通 | 沈線を施らす 無文 外面磨削 | KB 2 d3⑩ | 10% |
| 86 | 縄文土器 | 頸土器 | 2.8 | 2.3 | - | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 外・内面磨削ナデ | KB 2 d3⑩606層 | 20% |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|--------|------|--------|-------|------------|------|----|--|----------------|-------------|
| 87 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.5) | 8.0 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は照然文を施文 | KB 2 d4① | 20% |
| 88 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | 10.8 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2段R・L・R単部縄文を羽状縁に施文 | KB 2 d4①x28 | 10% |
| 89 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (5.3) | 10.1 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 丁寧なナデ | KB 2 d4① | 5% |
| 90 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.6 | 37.0 | 7.6 | 長石・石英・礫 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 d5①・② | 70% PL42 |
| 91 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.2) | - | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 地文は楕円状工具による条線文を施文 | KB 2 d5③ | 20% |
| 92 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は帯位の2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 d5 一括 | 10% |
| 93 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | (8.4) | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は照然文を施文 | KB 2 d5② | 10% |
| 94 | 縄文土器 | 深鉢 | 29.0 | 13.9 | - | 長石・赤色粘土・礫 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e1① | 5% |
| 95 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (23.0) | 10.0 | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 楕円状工具による射交文を帯らす 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e1③ | 20% |
| 96 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e1④ | 5% |
| 97 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | 6.2 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e1⑤ | 20% |
| 99 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.5 | 18.5 | - | 長石・雲母・礫 | 褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 | KB 2 e2① | 10% |
| 100 | 縄文土器 | 小鉢 | 4.4 | 2.7 | - | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB 2 d5① | 90% |
| 102 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.2) | 6.0 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e2② | 15% |
| 103 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (13.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 4本単位の楕円状工具による条線文を横位施文 | KB 2 e2③ | 40% |
| 105 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e3① | 10% |
| 106 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.4 | 15.0 | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を帯下 3段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e3③ | 20% |
| 107 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.0) | - | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画を形成 区画内に2段R・L単部縄文を施文 | KB 2 e3② | 5% |
| 108 | 縄文土器 | 浅鉢 | 36.6 | 18.3 | - | 長石・石英 | 灰黄褐 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB 2 e3④x1 | 20% |
| 109 | 縄文土器 | 特殊土器 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 附赤褐 | 普通 | 口縁部無文 楕円把手 | KB 2 e4① | 5% |
| 110 | 縄文土器 | 有孔縄文土器 | - | (6.6) | - | 長石・雲母 | 黄橙 | 普通 | 孔を有する網を帯らす 無文 | KB 2 e4②x17 | 10% |
| 111 | 縄文土器 | 小鉢 | - | (2.9) | 4.0 | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 外・内面指跡ナデ | KB 2 e5①x22 | 30% |
| 112 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・石英・赤色粘土 | 黒褐 | 普通 | 隆帯で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に楕円状工具による条線文を施文 | KB 3 a1① | 5% |
| 113 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 隆帯で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a1② | 5% |
| 114 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.6 | 20.3 | - | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a2① | 20% |
| 115 | 縄文土器 | 小鉢 | - | (4.1) | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 無文 外面赤影 | KB 3 a2② | 5% |
| 116 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・雲母・赤色粘土 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に竹筴状工具による内形射交文を施文 | KB 3 a3① | 5% |
| 117 | 縄文土器 | 小鉢 | 5.0 | 2.2 | - | 長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 外・内面指跡ナデ | KA 3 e1① | 40% |
| 118 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.5 | 48.0 | 10.6 | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線文を帯下 2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4①・②・③・④ | 60% PL42 |
| 119 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (25.2) | - | 長石・石英・小礫 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4⑤・⑥ | 20% |
| 120 | 縄文土器 | 深鉢 | 45.3 | 17.4 | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円状把手・区画を形成 区画内に沈線文を施文 | KB 3 a4⑦ | 5% PL52 |
| 121 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (9.6) | 8.0 | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を帯下 | KC 3 a2① | 10% |
| 122 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (41.4) | 10.1 | 長石・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4①⑥⑦ | 60% |
| 123 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (36.8) | 10.7 | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 2本の隆帯を帯らす 以下に2・3本単位の沈線文を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4⑧・⑨ | 50% |
| 124 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (25.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で区画を形成 1・3本単位の沈線文を帯下 帯位に帯らす 地文は竹筴状縄文を施文 | KB 3 a4⑩・⑪ | 25% PL52 |
| 125 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.8) | - | 長石・雲母・礫 | 黄橙 | 普通 | 木目状照然文を施文 | KB 3 a4⑫ | 15% |
| 126 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 3本単位の射交文を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4⑬ | 15% |
| 127 | 縄文土器 | 鉢 | 21.2 | 15.4 | 8.7 | 長石・石英・雲母 | 浅黄橙 | 普通 | U字状の沈線を伴う磨り消し帯を帯下 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 a4⑭ | 90% PL45 |
| 128 | 縄文土器 | 甌台 | 16.2 | 5.6 | 20.5 | 長石・石英・赤色粘土 | 灰緑褐色 | 普通 | 外・内面いいないナデ 円窓を有する | KB 3 a4⑮ | 25% |
| 129 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.8) | 10.0 | 長石・石英・雲母・礫 | 橙 | 普通 | 照然文を施文 | KB 3 b1① | 10% |
| 130 | 縄文土器 | 深鉢 | 16.0 | 16.0 | - | 長石・石英・雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 口縁部無文 刻み部を加え隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 2段R・L単部縄文を施文 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 b2① | 50% PL45 |
| 131 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 b2② | 5% |
| 132 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 b2③ 一括 | 5% |
| 133 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.8 | 4.7 | - | 雲母 | 灰緑褐色 | 普通 | 隆帯を帯らす 無文 | KB 3 b2④ | 5% |
| 134 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | 6.6 | 長石・石英・赤色粘土 | 灰緑褐色 | 普通 | 帯位射交の2段R・L単部縄文を施文 | KB 3 b2⑤ | 10% |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|------------------|--------|--------|-------|-------------|------|----|---|------------------|-------------|
| 135 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.8) | 5.5 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縦線状の沈線文を垂下 | KB3 b2⑩ x 17 | 5% |
| 136 | 縄文土器 | 舟形鉢 | [4.7] | 8.4 | 5.4 | 長石・雲母・繊維 | に灰褐色 | 普通 | 2段R L単部縄文を施文 | KB3 b2⑩ x 14-17 | 50% |
| 137 | 縄文土器 | 深鉢 | [27.3] | [38.2] | 10.2 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線文で縁飾的なモチーフを垂下 2段R L 単部縄文を施文 | KB3 b3⑩・⑪ | 65% PL43 |
| 138 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.0 | (33.7) | - | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で渦巻状・横S字状のモチーフを形成 沈線文を充填・垂下 2段R L単部縄 文を施文 | KB3 b3⑩ | 90% PL43 |
| 139 | 縄文土器 | 深鉢 | [22.8] | [17.9] | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面を形成 3本単位の沈 線文を垂下 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB3 b3⑩ | 20% |
| 140 | 縄文土器 | 深鉢 | [22.6] | (6.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 区画内に1段L単部縄文を施文 | KB3 b3⑩ | 10% |
| 141 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 黄褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 区画内に2段R L単部縄文を施文 | KB3 b3⑩ | 10% |
| 142 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 環状の突起 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB3 b3⑩ x 3 | 10% |
| 143 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.7) | - | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 縦線状工具による赤線文を垂下 | KB3 b3⑩・⑪ | 15% |
| 144 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (24.8) | 9.6 | 長石 | に灰褐色 | 普通 | 縦位回転の1段L単部縄文・2段R L単部縄 文を施文 | KB3 b3⑩ | 20% |
| 145 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.3) | 10.0 | 長石・石英・繊維 | 明褐色 | 普通 | 照ろ文を施文 | KB3 b3⑩ x 25 | 10% |
| 146 | 縄文土器 | 浅鉢 | [29.9] | [14.8] | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB3 b3⑩ x 3 | 20% |
| 147 | 縄文土器 | 浅鉢 | [31.5] | (8.4) | - | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB3 b4⑤ | 10% |
| 148 | 縄文土器 | 深鉢 | [15.5] | 22.1 | 7.5 | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文 以下に縦位回転の2段R L単部 縄文を施文 | KB3 b4⑤他 | 80% |
| 149 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.8) | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・S字状のモチーフを形成 区画内に2段R L単部縄文を施文 | KB3 b4⑩ | 10% |
| 150 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 | KB3 b4⑫4層 | 10% |
| 151 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | 5.5 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画を形成 区画内に刺突文を 充填 | KB3 b2⑩ | 10% |
| 152 | 縄文土器 | 浅鉢 | 43.0 | (6.8) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部に2本単位の沈線を巡らす 外面赤彩 | KB3 b4⑤ | 10% |
| 153 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | 11.0 | 石英・雲母・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 1-3本単位の沈線文を垂下 地文は2段R L 単部縄文を施文 | KB3 b4⑤ | 5% |
| 154 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.5) | 8.2 | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 照ろ文を縦・横位施文 | KB3 b5⑩ x 10 | 5% |
| 155 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | 7.6 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下 地文は照ろ文を施文 | KB3 b5⑩ x 7 | 5% |
| 156 | 縄文土器 | 深鉢 | [23.6] | [20.2] | - | 長石・石英・赤色粒子 | 橘 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 2本単位の沈線を垂下 2段R L単 部縄文を施文 | KB3 c1⑩ | 10% |
| 157 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB3 b4⑩ | 5% |
| 158 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 縦線状工具による赤線文を垂下 | KB3 c1⑩ | 10% |
| 159 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | 8.8 | 長石・雲母・赤色粒子 | 赤褐色 | 普通 | 縦線状工具による赤線文を垂下 | KB3 c1⑩ x 21 | 5% |
| 160 | 縄文土器 | 舟形鉢 付孔 付土器 | - | (4.2) | - | 長石・石英・雲母 | 浅黄褐色 | 普通 | 孔を有する器を巡らす 以下に竹管状工具 による内側刺突文を施文 | KB2 e3⑩ x 11 | 5% |
| 161 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (33.5) | - | 石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 卵形を加えた隆帯と沈線で隅内凹面・縦線状 把手を形成 地文は2段R L単部縄文を施文 | KB3 c2⑩・⑪他 | 60% PL45 |
| 162 | 縄文土器 | 深鉢 | 42.2 | (30.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文 磨消層を巡らす 地文は多方向 の2段R L単部縄文を施文 | KB3 c2⑩ | 30% |
| 163 | 縄文土器 | 深鉢 | 19.7 | [23.7] | (8.3) | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を縦・横位に巡らす 地文 は2段R L単部縄文を施文 | KB3 c2⑩・⑪ | 50% PL52 |
| 164 | 縄文土器 | 深鉢 | [22.1] | [19.0] | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 交互刺突による連続コ字状文を巡らす 2・3本単位の沈線文を連続的に施文 縦 線状工具による赤線文 | KB3 c2⑩ | 30% |
| 165 | 縄文土器 | 深鉢 | [30.0] | [14.7] | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 区画内に照ろ文を施文 | KB3 c2⑩ | 5% |
| 166 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面を形成 区画内に2 段R L単部縄文を施文 | KB3 c2⑩ x 3 | 5% |
| 167 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 交互刺突による連続コ字状文・卵形を有す る隆帯を巡らす 以下無文 | KB3 c2⑩ | 5% |
| 168 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.4) | - | 長石・石英・繊維 | 橙 | 普通 | 隆帯・半縦竹管状工具による刺突文を施文 | KB3 c2⑩ x 28 | 5% |
| 169 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (23.5) | - | 長石 | 橙 | 普通 | 3本単位の沈線文を垂下 地文は2段R L単 部縄文を施文 | KB3 c2⑩・⑪・ ⑫他 | 30% |
| 170 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | 7.0 | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 細かい縦線文を縦位施文 | KB3 c2⑩ | 20% |
| 171 | 縄文土器 | 浅鉢 | [37.4] | [13.5] | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB3 c2⑩ | 20% |
| 172 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.9 | 31.3 | 9.1 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線文を縦・横位に巡らす 地文 は2段R L単部縄文を施文 | KB3 c3⑩・⑪ | 60% |
| 173 | 縄文土器 | 深鉢 | [33.6] | [18.3] | - | 長石・雲母・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 沈線を伴う磨り消し層を垂下 2段 R L単部縄文を施文 | KB3 c3⑩ | 15% |
| 175 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単部縄文を施文 | KB3 c3⑩ | 10% |
| 176 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | 10.0 | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 交互刺突による連続コ字状文・卵形を有す る隆帯を巡らす 以下無文 | KB3 c3⑩ | 10% |
| 177 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | [8.6] | 長石・石英・赤色粒子 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下 地 文は2段R L単部縄文を施文 | KB3 c3⑩ | 10% |
| 178 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (29.4) | 8.0 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で隅内凹面・渦巻状のモチーフ を形成 区画内に3段R L単部縄文を施文 照ろ文を施文 | KB3 c3⑩・⑪他 | 40% PL46 |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|--------|--------|--------|------|-------------|------|----|---|-------------|-------------|
| 179 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.4) | - | 長石 | 赤褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 c4③ | 5% |
| 180 | 縄文土器 | 浅鉢 | 39.6 | (12.5) | - | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナシ | KB 3 c4⑤ | 5% |
| 181 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.8) | 7.0 | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に2段L.R.単節縄文を施文 | KB 3 c4⑥ | 5% |
| 182 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.7 | (4.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 有孔縄付土器 | KB 3 c4⑬x7⑮ | 5% |
| 183 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (25.4) | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 沈線に伴う磨り消し帯を帯下。以下に渦巻状のモチーフを帯出。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 c4⑭ | 30% |
| 184 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。地文は3段後節縄文を施文 | KB 3 c4⑰x8 | 5% |
| 185 | 縄文土器 | 有孔縄付土器 | - | (8.4) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 孔を有する縄を帯下 | KB 3 c4⑱ | 10% |
| 187 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.2 | (22.8) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 c5① | 40% |
| 188 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.8 | (26.4) | - | 雲母・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 c5①・② | 20% |
| 189 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英 | 褐 | 普通 | 口縁部に2本の沈線文を帯下 | KB 3 c5② | 5% |
| 190 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に2段L.R.単節縄文を施文 | KB 3 c5③ | 5% |
| 191 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.0) | 9.4 | 長石・雲母・石英・黒燐 | 灰褐色 | 普通 | 2段R.L.単節縄文を施文 | KB 4 b1② | 10% |
| 192 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.6 | (18.6) | - | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯。3段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d1① | 25% |
| 193 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.6) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d1② | 10% |
| 194 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | 10.3 | 長石・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d1③ | 15% |
| 195 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.7 | (23.1) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d2① | 25% PL52 |
| 196 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.1 | (30.1) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d2② | 40% |
| 197 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に3段L.R.単節縄文を施文 | KB 3 d2③ | 10% |
| 198 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で縦線状把手を形成 | KB 3 d2④ | 5% |
| 199 | 縄文土器 | 浅鉢 | 35.2 | (25.6) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文。以下に隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。3段L.L.単節縄文を施文 | KB 3 d2⑤・① | 30% |
| 200 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.7 | (18.0) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 沈線帯を帯状に施文。押帯を加えた隆帯を帯下。地文は赤線文を帯下。口縁部内に交差を帯下 | KB 3 d2⑥⑦ | 20% PL52 |
| 201 | 縄文土器 | 浅鉢 | 34.0 | (13.3) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナシ | KB 3 d2⑧ | 5% |
| 202 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石 | 黒褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に3段L.L.単節縄文を施文 | KB 3 d3① | 10% |
| 203 | 縄文土器 | 深鉢 | 16.6 | (6.2) | - | 長石・石英 | 赤褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。地文は3段L.L.単節縄文を施文 | KB 3 d3② | 20% |
| 204 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.0) | - | 長石・石英・雲母 | オレンジ | 普通 | 2本単位の沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d3③ | 15% |
| 205 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | 7.0 | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 2本単位の沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d3④ | 25% |
| 206 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (9.0) | 6.8 | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 無文 外・内面ナシ | KB 3 d3⑤・⑥ | 15% |
| 207 | 縄文土器 | 小土器 | - | (4.2) | 3.8 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナシ | KB 3 d3⑥ | 25% |
| 208 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.5 | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区内に2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d4① | 30% |
| 209 | 縄文土器 | 深鉢 | 49.0 | (11.0) | - | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d4② | 10% |
| 210 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.4 | (13.2) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 内面斜交文と沈線文を帯下。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は斜線交文を施文 | KB 3 d4③・③ | 20% |
| 211 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.4 | (16.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 沈線文を帯下。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d4④ | 20% |
| 212 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.6 | (10.3) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 内面斜交文を加えた沈線文を帯下。以下無文 | KB 3 d4⑤・③ | 10% |
| 213 | 縄文土器 | 深鉢 | 38.0 | (9.4) | - | 長石 | 橙 | 普通 | 口縁部無文。以下に隆帯と沈線で区画を形成 | KB 3 d4⑥ | 10% |
| 214 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 | KB 3 d4⑦ | 5% |
| 215 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (6.3) | 8.2 | 長石・石英・赤色粒子 | 褐灰 | 普通 | 無文 外・内面ナシ | KB 3 d4⑧ | 10% |
| 216 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | 6.4 | 長石・石英・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d4⑨ | 10% |
| 217 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.3 | (14.8) | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d5① | 10% |
| 218 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.5) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d5② | 10% |
| 219 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | 6.0 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線文を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 d5③ | 10% |
| 220 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.4 | (21.0) | 6.0 | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 押帯を加えた隆帯を帯下。地文は縦線状工具による高低文を施文 | KB 3 e1① | 70% PL46 |
| 221 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.0 | (11.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 沈線に伴う磨り消し帯を帯下。1段L.単節縄文を施文 | KB 3 e2⑦ | 5% |
| 222 | 縄文土器 | 深鉢 | (16.1) | - | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 e2⑧ | 20% |
| 223 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.0) | - | 長石・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 | KB 3 e2⑨ | 5% |
| 224 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 雲母 | 灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成。区内に1段L.単節縄文を施文 | KB 3 e2⑩ | 5% |
| 225 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰褐色 | 普通 | 内面斜交文を帯下。沈線に伴う磨り消し帯を帯下。地文は2段R.L.単節縄文を施文 | KB 3 e2⑪ | 20% |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|--------|------|------|-----|------------|------|----|---|-------------|-------------|
| 227 | 縄文土器 | 深鉢 | 23.4 | 17.6 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KB3 e3③・⑩ | 30% |
| 228 | 縄文土器 | 深鉢 | 21.6 | 13.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下 | KB3 e3⑩ | 20% |
| 229 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.6 | 14.1 | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KB3 e3⑤ | 10% |
| 230 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.2 | 12.8 | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。3段R L単節縄文を施文 | KB3 e3⑩ | 10% |
| 231 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.3 | 12.4 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 内凹突文を加えた沈線文・3本単位の沈線を伴う磨り消し線を帯下。地文は2段R L単節縄文を施文 | KB3 e3④ | 10% |
| 232 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.6 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。区画内に2段R L単節縄文を施文 | KB3 e3④ | 10% |
| 234 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.0 | 8.7 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 口縁部無文。以下に沈線文を帯下。地文は縦線状工具による彫線文を帯下 | KB3 e3② | 10% |
| 235 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.0 | 10.4 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KB3 e4⑩ | 20% |
| 236 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 19.0 | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。区画内に2段R L単節縄文を施文 | KB3 e4①・⑩ | 10% |
| 237 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 13.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 渦巻帯で渦巻状のモチーフを形成。外面赤彩 | KB3 e4④ | 10% |
| 238 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 6.0 | - | 長石・石英・雲母 | 紫黒 | 普通 | 渦巻帯で渦巻状のモチーフを形成。沈線文を施文。外面赤彩 | KB3 d4③ | 5% |
| 239 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 11.0 | 5.6 | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し線を帯下。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 a3③ | 10% |
| 240 | 縄文土器 | 小土器 | - | 2.5 | 3.4 | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 無文。外・内面ナデ | KC2 a3②445層 | 10% |
| 242 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.5 | 29.3 | - | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部刻み目。押線を加えた隆帯を縦・横位に帯下。地文は太い彫線文を施文 | KC2 a5⑩ | 30% PL46 |
| 243 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 6.8 | - | 長石・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・楕状把手を形成 | KC2 a5⑦x9 | 5% |
| 244 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 11.6 | 6.8 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し線を帯下。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 a5① | 10% |
| 245 | 縄文土器 | 小土器 | - | 5.1 | 4.0 | 長石・石英 | 明赤褐 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し線を帯下。地文は3段R L単節縄文を施文 | KC2 a5⑩x21 | 10% |
| 247 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.0 | 17.8 | - | 長石・石英・雲母・楕 | に灰褐色 | 普通 | 多方向の2段R L単節縄文を施文 | KC2 b2② | 15% |
| 248 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 30.1 | 6.6 | 長石・赤色粒子 | 明赤褐 | 普通 | 渦巻帯による区画を形成。渦巻帯間に磨り消し。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 b2⑩・⑪・⑬ | 30% |
| 249 | 縄文土器 | 小土器 | - | 5.0 | 4.1 | 長石・石英 | 褐 | 普通 | 無文。外・内面ナデ | KC2 b2⑦x7 | 20% |
| 250 | 縄文土器 | 深鉢 | 29.8 | 11.0 | - | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線による構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KC2 b3⑤ | 5% |
| 251 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | 8.0 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯を帯下。無文。外・内面ナデ | KC2 b3⑦x14 | 5% |
| 252 | 縄文土器 | 瓶罎形土器 | - | 7.2 | - | 長石・石英・赤色粒子 | 黄橙 | 普通 | 隆帯で楕状把手。沈線で構内凹面を形成 | KC2 b3② | 5% |
| 253 | 縄文土器 | 瓶罎形土器 | 8.6 | 3.8 | - | 長石・石英 | 黒褐 | 普通 | 隆帯で楕状把手を形成 | KC2 b3③x11 | 5% |
| 254 | 縄文土器 | 瓶罎形土器 | 34.0 | 9.0 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯で楕状把手を形成。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 b3②x9 | 5% |
| 255 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 10.4 | 6.4 | 長石・石英 | 明赤褐 | 普通 | 無文。外・内面ナデ | KC2 b3⑩ | 10% |
| 256 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.0 | 9.3 | - | 長石・石英 | 灰黄褐 | 普通 | 隆帯と沈線による構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KC2 b4③ | 10% |
| 257 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.2 | 20.6 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 沈線文を帯下。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 c3④ | 80% PL46 |
| 258 | 縄文土器 | 深鉢 | 13.5 | 14.6 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 渦巻帯と棒状工具による内凹突文を帯下。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 c4③ | 20% |
| 259 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.0 | 14.5 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 沈線文を帯下。地文は1段L単節縄文を施文 | KC2 c4②・④ | 40% |
| 260 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | 5.8 | 8.8 | 長石・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC2 c7② | 10% |
| 261 | 縄文土器 | 瓶罎形土器 | - | 6.5 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 渦巻帯による渦巻状のモチーフを形成 | KC2 c5① | 10% |
| 262 | 縄文土器 | 深鉢 | 32.0 | 17.6 | - | 石英 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフ・楕状把手を形成。磨り消し線を帯下。2段R L単節縄文を施文 | KC3 a1⑩ | 20% |
| 263 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.0 | 21.1 | - | 長石 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を帯下。3段R L単節縄文を施文 | KC3 a1③ | 20% |
| 264 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.2 | 10.0 | - | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文。隆帯と沈線で構内凹面を形成。区画内に2段R L単節縄文を施文 | KC3 a1④ | 10% |
| 265 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.0 | 9.3 | - | 長石 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文。隆帯で区画を形成 | KC3 a1⑩ | 10% |
| 266 | 縄文土器 | 深鉢 | 15.6 | 7.5 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文。沈線で区画を形成 | KC3 a1⑩ | 10% |
| 267 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 15.4 | - | 長石 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯で構内凹面を形成。地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 a1⑩ | 20% |
| 268 | 縄文土器 | 瓶罎形土器 | - | 11.5 | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰黄褐 | 普通 | 渦巻帯で渦巻状のモチーフ・楕状把手を形成 | KC3 a1⑩ | 20% |
| 269 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | 11.9 | 8.8 | 長石・赤色粒子 | 明赤褐 | 普通 | 無文。外・内面ナデ | KC3 c1⑦ | 20% |
| 270 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | 7.8 | 9.4 | 長石・雲母 | 褐灰 | 普通 | 渦巻帯で区画を形成。無文 | KC3 a1⑩ | 15% |
| 271 | 縄文土器 | 有孔鉢形土器 | 14.0 | 3.1 | - | 長石・雲母 | 赤黒 | 普通 | 孔を有する罫を帯下。無文 | KC3 a1⑩x17 | 5% |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|--------|------|----------|-----|------------|------|----|---|----------------|--------------|
| 272 | 縄文土器 | 小口土器 | - | (2.7) | 4.6 | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し線を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 a1①×18 | 10% |
| 274 | 縄文土器 | 深鉢 | 47.0 | 19.8 | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内は2段R L単節縄文を施文 | KC3 a2② | 20% |
| 275 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.8) | - | 石英・雲母 | 褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a2③ | 30% |
| 276 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.1 | 19.8 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 沈線文を施す 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し線を垂下 横位に施文 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a2④ | 30% |
| 277 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.4 | 9.6 | - | 長石・石英・赤色粒子 | 明褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a2⑤ | 10% |
| 278 | 縄文土器 | 浅鉢 | 24.4 | 11.7 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部施文 以下に樹皮状工具による系線文を垂下 | KC3 a2⑥ | 10% |
| 279 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.4 | 17.3 | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 口唇部のみ 押線を加えた樹皮を垂下 横位に施す 沈線文を口縁部に垂下 刷部は垂下 | KC3 a2⑦ | 20% |
| 280 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.1 | 17.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 無文 指跡による縦位の粗いナデ | KC3 a2⑧ | 10% |
| 281 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状把手を形成 区画内は3段R L単節縄文を施文 | KC3 a2⑨ | 10% |
| 282 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.4) | 4.8 | 長石・石英・赤色粒子 | 赤褐 | 普通 | 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a2⑩ | 20% |
| 283 | 縄文土器 | 深鉢 | 44.0 | 15.9 | - | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部施文 縄線と区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文 | KC3 a3①・② | 10% |
| 284 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.8 | 17.3 | - | 長石・石英 | 赤褐 | 普通 | 沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 地文は3段R L単節縄文を施文 | KC3 a3② | 10% |
| 285 | 縄文土器 | 深鉢 | 31.8 | 12.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a3③ | 10% |
| 286 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.6 | 18.6 | - | 長石・石英・赤色粒子 | 灰褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 a3④×3 | 10% |
| 287 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 縄線と沈線で三角形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a3⑤ | 10% |
| 288 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | (2.6) | - | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC3 a3⑥ | 10% |
| 289 | 縄文土器 | 有孔罎形土器 | 10.2 | 11.9 | - | 長石・雲母・赤色粒子 | 灰褐 | 普通 | 縄線と楕円形区画を形成 2方向の穿孔を有する | KC3 a4①×10、272 | 10% |
| 290 | 縄文土器 | 罎形土器 | 16.6 | 2.3 | - | 長石・石英 | 精灰 | 普通 | 縄線と橋状把手を形成 | KC3 a4② | 5% |
| 291 | 縄文土器 | 罎形土器 | - | (20.2) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縄線と楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線文を施す 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 a4③ | 10% |
| 293 | 縄文土器 | 深鉢 | 22.4 | 15.3 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 沈線文を施す 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 b1① | 10% |
| 294 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.2) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・橋状把手を形成 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 b1② | 10% |
| 295 | 縄文土器 | 罎形土器 | - | (15.4) | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 縄線と楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 | KC3 b1③ | 10% |
| 297 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | 5.6 | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2段R L単節縄文を施文 | KC3 b2① | 10% |
| 298 | 縄文土器 | 有孔罎形土器 | 20.6 | 2.3 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 縄線と橋状把手を形成 | KC3 b2② | 5% |
| 299 | 縄文土器 | 有孔罎形土器 | 14.6 | 5.0 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 孔を有する罎を施す 以下に沈線文を施文 | KC3 b2③×13 | 5% |
| 300 | 縄文土器 | 有孔罎形土器 | - | (4.0) | - | 長石・石英・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 孔を有する罎を施す | KC3 b2④ | 5% |
| 301 | 縄文土器 | 小口土器 | - | (1.9) | 2.9 | 長石・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 単節縄文を施文 | KC3 b2⑤×4 | 10% |
| 302 | 縄文土器 | 小口土器 | - | (1.9) | 3.2 | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC3 b2⑥×5 | 10% |
| 303 | 縄文土器 | 小口土器 | 3.8 | 1.9 | - | 長石・雲母・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC3 b2⑦×5 | 10% |
| 304 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | (3.2) | 4.2 | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 外・内面ナデ 台部に円窓を有する | KC3 b2 一居 | 10% |
| 305 | 縄文土器 | 深鉢 | 33.0 | 13.2 | - | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部施文 円形区画・沈線を伴う磨り消し線を施す 地文は樹皮状工具による系線文を施文 | KB3 d3①他 | 20% |
| 306 | 縄文土器 | 深鉢 | 36.5 | 35.8 | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 b3①他 | 70% |
| 307 | 縄文土器 | 深鉢 | 33.6 | 23.6 | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し線を楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 b3② | 20% |
| 308 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.8 | 16.2 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 縄線と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 b3③ | 15% |
| 309 | 縄文土器 | 深鉢 | 34.0 | 22.4 | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 縄線と沈線で三角形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 沈線を伴う磨り消し線を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC3 a3① | 10% |
| 310 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.5) | 5.0 | 長石・石英・赤色粒子 | に灰褐色 | 普通 | 2段R L単節縄文を施文 | KC3 b4① | 20% |
| 311 | 縄文土器 | 深鉢 | 18.2 | 16.9 | - | 長石・雲母 | 橙 | 普通 | 沈線文を施す H字状の沈線を伴う磨り消し線を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 b4② | 20% |
| 312 | 縄文土器 | 小口土器 | - | (5.2) | 3.1 | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 1段L単節縄文を施文 | KC3 b4③ | 10% |
| 313 | 縄文土器 | 皿 | 12.0 | 2.0 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 周縁に縄線を施す 橋状把手を形成 外・内面ナデ | KC3 b4④×8 | 10% |
| 314 | 縄文土器 | 深鉢 | 24.8 | 18.3 | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 沈線文を施す 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 b5① | 10% |
| 315 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (22.4) | 6.2 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | H字状の沈線を伴う磨り消し線を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC3 c1② | 40% P1.46 |
| 316 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.7) | 4.2 | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2段R L単節縄文を施文 | KC3 c1③ | 15% |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|--------|----------|----------|---------|-------------|------|----|---|---------------------|--------------|
| 317 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [3.0] | 6.8 | 長石・石英・繊維 | 黒褐 | 普通 | 半薪竹製工具による基部沈線文を施す | KC 3 c1① | 10% |
| 318 | 縄文土器 | 深鉢 | [38.0] | [28.7] | - | 長石・石英・炭母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線を施す 地文は2段R L単節線文を施す | KC 3 c2② | 10% |
| 319 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [3.8] | - | 長石・石英・炭母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線を施す | KC 3 c2②75層 | 5% |
| 320 | 縄文土器 | 小土器 | - | [2.8] | 4.0 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC 3 c2⑤ | 10% |
| 321 | 縄文土器 | 小土器 | - | [1.6] | 3.0 | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC 3 c2⑤x4 | 5% |
| 323 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [17.5] | - | 長石・石英・炭母 | 緑灰黄 | 普通 | 隆帯を区画形成 以下に沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は3段L R L単節線文を施す | KB 3 c4⑤ | 20% |
| 324 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [9.9] | - | 長石・石英・繊維 | 黒褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状に横位施文 以下に煎糸文を施文 | KA 2 d5①98層 | 10% |
| 325 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [2.2] | - | 長石・繊維 | に灰褐色 | 普通 | 外・内面条痕文 | KA 3 c2⑤122層 | 5% |
| 326 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [11.0] | - | 長石・石英・繊維 | に灰褐色 | 普通 | 木目状煎糸文を施文 | KA 3 d1⑤x7 | 10% |
| 327 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [6.9] | - | 長石・赤色粒子・繊維 | に灰褐色 | 普通 | 半薪竹製工具による基部沈線文を施す 煎糸文を施す | KB 2 a5⑦ | 5% |
| 328 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [4.7] | 5.4 | 長石・炭母・繊維 | 黄褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状に横位施文 | KB 2 a5④110・114層 | 30% |
| 329 | 縄文土器 | 浅鉢 | 37.0 | 16.2 | 8.5 | 長石・石英・炭母 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB 2 a5⑤他 | 90% P1.45 |
| 330 | 縄文土器 | 小土器 | [7.4] | [3.9] | - | 長石・石英 | に灰褐色 | 普通 | 1段L単節線文を施文 | KB 2 a5⑤143層 | 50% |
| 331 | 縄文土器 | 深鉢 | [27.2] | [25.8] | [8.6] | 長石・石英 | 灰黄褐 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は縦位回転の2段R L単節線文を施文 | KB 2 b3⑧ | 40% |
| 332 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [4.2] | - | 長石・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 無文 丁寧なナデ | KB 2 b3⑧x8 | 5% |
| 333 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [15.1] | 10.4 | 長石・石英・炭母・繊維 | 橙 | 普通 | 3・4本の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KB 2 b3⑤ | 80% |
| 334 | 縄文土器 | 深鉢 | 35.3 | 42.2 | 10.8 | 長石・石英・炭母・繊維 | 橙 | 普通 | 3本単位の直状の櫛歯文で縦位区画 3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 以下に木目状煎糸文を施文 | KB 2 b4⑤⑥⑦⑧ | 10% P1.41 |
| 335 | 縄文土器 | 深鉢 | [30.0] | [31.0] | [7.2] | 長石・赤色粒子 | 橘灰 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は縦位回転の2段R L単節線文を施文 | KB 2 b4④ | 40% |
| 336 | 縄文土器 | 深鉢 | [28.0] | [18.3] | - | 長石・石英・赤色粒子 | に灰黄褐 | 普通 | 口唇部刻目 押押を加えた隆帯を縦・横位に施す 地文は櫛歯状工具による条線文を施文 口縁部内面に交棒 | KB 2 b4⑤ | 15% |
| 337 | 縄文土器 | 深鉢 | 27.1 | [19.2] | - | 長石・炭母 | に灰褐色 | 普通 | 交互刻目による連続の字状文を施す 以下に沈線を伴う磨り消し帯を施す 2段R L単節線文を施文 | KB 2 b4⑦他 | 40% |
| 338 | 縄文土器 | 深鉢 | [21.0] | [11.0] | - | 長石・石英・赤色粒子 | 黒褐 | 普通 | 隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を施す 2段R L単節線文を施文 | KB 2 b4④ | 10% |
| 339 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [17.0] | 6.0 | 長石・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 地文は縦位回転の1段L単節線文を施文 | KB 2 b4⑤⑦ | 30% |
| 340 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [4.0] | 7.6 | 長石・炭母・繊維 | 橙 | 普通 | 筋のある円筒の櫛歯文を施文 | KB 2 b4⑤ | 10% |
| 341 | 縄文土器 | 深鉢 | [34.0] | [14.7] | - | 長石・石英・繊維 | に灰褐色 | 普通 | 半薪竹製工具による基部沈線文を施す 2段R L・L R単節線文を直状横位に施文 | KB 2 b5①③ | 10% |
| 342 | 縄文土器 | 浅鉢 | [31.4] | [14.0] | - | 長石・石英・赤色粒子 | 橙 | 普通 | 口縁部煎糸文 以下に縦位回転の2段R L単節線文を施文 | KB 2 b5⑦ | 10% |
| 343 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [27.1] | - | 長石・石英・炭母 | に灰黄褐 | 普通 | 櫛歯煎糸文 以下に3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は縦位回転の2段R L単節線文を施文 | KB 2 b5⑤⑦ | 30% |
| 344 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.4 | [12.9] | - | 長石・石英 | 橘灰 | 普通 | 口縁部煎糸文 以下に櫛歯状工具による条線文を施す | KB 2 c④463・465層 | 30% |
| 345 | 縄文土器 | 深鉢 | [28.7] | [14.0] | - | 長石・石英・炭母 | に灰黄褐 | 普通 | 沈線で区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は2段R L単節線文を施文 | KB 2 e2② | 15% |
| 346 | 縄文土器 | 小土器 | [5.0] | [6.0] | 3.2 | 長石 | 橙 | 普通 | 無文 | KB 2 e5 一括 | 40% |
| 347 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.4 | [5.4] | - | 長石・石英・炭母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯を施す 以下無文 | KB 3 a2⑫x13・15/234層 | 10% |
| 348 | 縄文土器 | 深鉢 | [33.3] | [37.1] | - | 長石・石英・炭母 | 灰褐 | 普通 | 隆帯で渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節線文を施文 | KB 3 a3② | 65% P1.42 |
| 349 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.2 | [24.4] | - | 長石・石英・炭母 | 橙 | 普通 | 沈線で渦巻状のモチーフを形成 顔部煎糸文 以下に彫行する沈線文を施す 2段R L単節線文を施文 | KB 3 a3② | 65% P1.42 |
| 350 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [17.2] | - | 長石・石英・炭母・小砂 | 暗褐 | 普通 | 隆帯と沈線で縦状把手・区画を形成 区画内に沈線文を施文 | KB 3 a4④ | 10% |
| 351 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [17.6] | - | 長石・炭母・赤色粒子 | 灰褐 | 普通 | 隆帯と沈線で縦状把手・区画を形成 区画内に2段L R単節線文を施文 | KB 3 a4④ | 5% |
| 352 | 縄文土器 | 深鉢 | [29.6] | [13.1] | - | 長石・石英・炭母 | に灰黄褐 | 普通 | 隆帯と沈線で縦状把手・区画を形成 隆帯を形成 沈線文を縦・横位に施す 2段R L単節線文を施文 | KB 3 a4④ | 10% |
| 354 | 縄文土器 | 有孔罎付土器 | [6.8] | [4.0] | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 孔を有する罎を施す 無文 | KB 3 b3⑤x10 | 5% |
| 355 | 縄文土器 | 小土器 | [2.9] | [1.3] | 2.5 | 長石・炭母 | に灰褐色 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB 3 d2⑤x2 | 70% |
| 356 | 縄文土器 | 深鉢 | - | [17.8] | [8.8] | 長石・石英 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地文は2段L L単節線文を施文 | KB 3 d3⑤ | 20% |
| 357 | 縄文土器 | 深鉢 | [27.4] | [13.4] | - | 長石・炭母 | に灰黄褐 | 普通 | 隆帯と沈線で横位区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節線文を施文 | KB 3 d4④ | 10% |
| 358 | 縄文土器 | 深鉢 | [21.1] | [14.1] | - | 長石・炭母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で横位区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を施す 2段R L単節線文を施文 | KB 3 e2⑦ | 5% |
| 359 | 縄文土器 | 有孔罎付土器 | - | [4.2] | - | 長石・炭母 | 橙 | 普通 | 孔を有する罎を施す 無文 | KB 3 e2⑤1043層 | 5% |
| 360 | 縄文土器 | 小土器 | - | [4.1] | - | 長石・赤色粒子 | に灰黄褐 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KB 3 e2⑧ | 50% |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|------|------|------|------|------------|-----|----|--|----------------------|-----|
| 361 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.8 | 14.9 | - | 長石・雲母 | 灰黄緑 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し層を面らす 地文は2段L R単部縄文を施文 | KB 3 e3③ x 13・14・15層 | 15% |
| 362 | 縄文土器 | 瓶形土器 | 15.6 | 5.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 頸帯と沈線で樽形区画を形成 樽状把手を形成 | KB 3 e3③ x 24 | 10% |
| 363 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.4 | 12.1 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 頸帯と沈線で樽形区画を形成 区画内に円筒状突起を施文 | KB 3 e5③ | 20% |
| 364 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 22.4 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し層を面下 地文は2段L R単部縄文を施文 | KB 3 e5③ | 20% |
| 365 | 縄文土器 | 瓶形土器 | 14.5 | 9.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 頸帯で渦巻状のモチーフ・樽状把手を形成 | KC 2 a2③ x 8 | 10% |
| 366 | 縄文土器 | 深鉢 | 20.4 | 28.8 | 8.8 | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線を面らす 地文は多方向の2段L R単部縄文を施文 | KC 2 a3③ | 40% |
| 367 | 縄文土器 | 瓶形土器 | - | 3.5 | - | 長石・雲母・燧石 | 黒 | 普通 | 頸帯で渦巻状のモチーフ・樽状把手を形成 | KC 2 a3③ | 40% |
| 368 | 縄文土器 | 器台 | 7.8 | 1.4 | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 外・内面ナデ | KC 2 a3③ x 11 | 40% |
| 369 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.6 | 26.5 | 8.2 | 長石・石英 | に灰漬 | 普通 | 頸帯と沈線で樽形区画を形成 沈線を伴う磨り消し層を面下 地文は1段L R単部縄文を施文 | KC 2 a4③ | 30% |
| 370 | 縄文土器 | 深鉢 | 35.6 | 22.3 | - | 長石・石英 | 灰褐 | 普通 | 沈線で樽形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し層を面下 2段L R単部縄文を施文 | KC 2 a4③他 | 20% |
| 371 | 縄文土器 | 小土器 | 9.9 | 10.0 | 5.7 | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 無文 外・内面ナデ 波頂部に内窓 | KC 2 a4③ | 40% |
| 372 | 縄文土器 | 樽形土器 | 15.0 | 7.7 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 口縁部無文 樽状把手 以下に樽状状工具による系線文を施文 | KC 2 a5③ | 5% |
| 373 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | 3.9 | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 地文は2段L R単部縄文を施文 | KC 2 b2③ x 11 | 5% |
| 374 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | 4.0 | 5.8 | 長石・石英 | 赤褐 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC 2 b2③ x 11層 | 5% |
| 375 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.8 | 18.1 | - | 長石・石英・赤色粘土 | 橙 | 普通 | 沈線を面らす 地文は2段L R単部縄文を施文 | KC 2 b5③ | 20% |
| 376 | 縄文土器 | 樽形土器 | 8.3 | 6.4 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 頸帯で樽状把手を形成 頸帯を面下 頸帯帯を磨り消す 地文は2段L R単部縄文を施文 | KC 2 b5③ x 14 | 10% |
| 377 | 縄文土器 | 樽形土器 | 10.4 | 9.1 | - | 長石・石英 | に灰漬 | 普通 | 頸帯で樽状把手を形成 地文は2段L R単部縄文を施文 | KC 2 c3① | 10% |
| 378 | 縄文土器 | 小土器 | 2.4 | 1.9 | 2.2 | 石英 | に灰漬 | 普通 | 無文 外・内面ナデ | KC 2 a5③ | 90% |
| 379 | 縄文土器 | 深鉢 | 17.9 | 15.0 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線を面らす 地文は2段L R単部縄文を施文 2方向からの磨り消し孔φ3・0 2ヶ所 | KC 2 c3② | 15% |
| 380 | 縄文土器 | 樽形土器 | 11.6 | 11.4 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 口縁部無文 樽状把手 以下に樽状状工具による系線文を施文 2方向からの磨り消し孔φ3・0 2ヶ所 | KC 2 c5③ x 298層 | 15% |
| 381 | 縄文土器 | 台付鉢 | - | 4.8 | 6.4 | 長石・石英 | 浅黄橙 | 普通 | 2段L R単部縄文を施文 台部無文 外・内面ナデ | 貝原表土 | 10% |
| 382 | 縄文土器 | 蓋 | 11.2 | 1.7 | - | 長石・雲母 | に灰漬 | 普通 | 周縁に頸帯を面らす 樽状把手を形成 外・内面ナデ | 貝原表土 | 30% |
| 383 | 縄文土器 | 器台 | - | 7.8 | 21.8 | 長石 | に灰漬 | 普通 | 外・内面ナデ 円窓を有する | 貝原表土 | 10% |
| 384 | 縄文土器 | 深鉢 | 30.6 | 21.6 | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 頸帯と沈線で樽形区画を形成 沈線を伴う磨り消し層を面下 地文は2段L R単部縄文を施文 | KC 3 b1③ | 15% |
| 385 | 縄文土器 | 深鉢 | 26.0 | 11.3 | - | 長石・雲母 | 灰褐 | 普通 | 頸帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段L R単部縄文を施文 | KB 3 a2② | 10% |
| 386 | 縄文土器 | 深鉢 | 25.4 | 32.3 | 9.6 | 長石・石英 | 褐灰 | 普通 | 樽状状工具による系線文を面下 | KB 3 d2③ | 30% |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|------|----|-------------|-----|----|---|----------------------|----|
| T P 1 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 8.3 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 2本2組による4本単位の櫛歯文を縦帯を帯けて横位施文 | KA 2 d5① | |
| T P 2 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 8.9 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 d5① x 5 | |
| T P 3 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 25.8 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 木目状照糸文・樽状工具による沈線文を横位施文 | KA 2 e3③ | |
| T P 4 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 13.3 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 普通 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 e3③ | |
| T P 6 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.7 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄緑 | 普通 | 平截竹管状工具による平行沈線文 2段L R・L R単部縄文を帯状横位に施文 | KA 2 e3③ | |
| T P 8 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 20.0 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 木目状照糸文・2段L R単部縄文を施文 | KA 3 e2① | |
| T P 9 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 23.4 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 1段L・R無部縄文を帯状横位に施文 | KA 3 e2②他 | |
| T P 10 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 10.1 | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 口縁部無文 器底部に交互突起による連続的の字状文を施す 地文は帯位の照糸文を施文 | KA 3 e2② x 4 | |
| T P 11 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 11.3 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文 | KA 3 e2② x 15 | |
| T P 12 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 18.2 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を縦帯状に横位・重層施文 | KA 3 e2② x 16① x 15 | |
| T P 13 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 5.8 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒 | 普通 | 口部押押 外・内面系線文 | KA 3 e2② x 15 | |
| T P 14 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 7.3 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 3本単位の平行沈線文を断続的に横位施文 2段L R・L R単部縄文を帯状横位に施文 | KA 3 e2② x 18 | |
| T P 15 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 17.8 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 筒の格子状の沈線文 2本単位の櫛歯文を帯に横位施文 | KA 3 e2② KA 3 e2② | |
| T P 16 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.0 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の櫛歯文をコンパノ状に横位施文 | KA 3 e2② | |
| T P 18 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 14.1 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 6本単位の帯な櫛歯文を微波状に横位施文 | KA 3 e2② | |
| T P 19 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 5.4 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 平行沈線文を断続的に横位施文 | KA 3 e2② x 21 | |
| T P 20 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 9.5 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 縦・横位の沈線文を施文 外・内面系線文 | KA 3 b1③ | |
| T P 21 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 5.3 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 b2② x 2 | |
| T P 22 | 縄文土器 | 深鉢 | - | 12.1 | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 b2② | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------------|-----|----|---|------------------|------|
| T P23 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.8) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 細い環状上に斜目 縁がい斜行沈線文を施文 | KA 2 e2⑧ x2 | |
| T P24 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の平行沈線文を施文 ボタン状の胎付文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P25 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 波頭部にボタン状の胎付文 | KA 2 e4⑧ x4-5 | |
| T P26 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 黒褐 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文 2段LR・L R単部縹文を羽状構成に施文 | KA 2 e4⑧ x8 | |
| T P27 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 三日月状の爪形文を施文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P28 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 口縁部下位に横位の帯帯を巡らす 地文は2段LR L単部縹文を施文 | KA 2 e4⑧・⑨ x5 | |
| T P29 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P30 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P31 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 木目状照糸文 指節による彫いナズ | KA 2 e4⑧ | |
| T P32 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 単輪結晶体第4類・網目状照糸文を施文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P33 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 付加縹縹文を羽状構成に施文 | KA 2 e4⑧ | |
| T P34 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 3 c1⑧ x6 | |
| T P35 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 1・2本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 2段LR L単部縹文を施文 2方向からの穿孔孔φ0.3-0.7cm | KA 3 c1⑧ | |
| T P36 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 2本2組の4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 3 c1⑧ x3 | |
| T P37 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.1) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を縦位に間隔をあけて施文 | KA 3 c1⑧ | |
| T P38 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 5本単位の密な櫛歯文を横位施文 | KA 3 c1⑧ x10 | |
| T P39 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (9.8) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を直状・コンパシ文状に横位・重層施文 | KA 3 c1⑧ | |
| T P40 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐 | 普通 | 2本2組の4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 3 c2⑩118層 | |
| T P41 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 赤褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 c2⑩ | |
| T P42 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.1) | - | 雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 2段LR・R L単部縹文を羽状構成に施文 2方向からの穿孔孔φ0.3-1.0cm | KA 3 c2⑩123層 | |
| T P43 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 灰黄褐 | 普通 | 2段LR・L R単部縹文を羽状構成に施文 | KA 3 c3⑩・⑪ | |
| T P44 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 雲母・繊維 | 褐灰 | 普通 | 1段L・R単部縹文を羽状構成に施文 | KA 3 c3⑩ | |
| T P45 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.2) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 縄文側面圧痕文・細かい斜行沈線文を施文 | KA 3 c3⑩ x3 | |
| T P46 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 縹・横位の沈線文と円形刺突文を施文 内面高縁文 | KA 3 c3⑩ x3 | |
| T P47 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による2段の刺突文 2段LR・R L単部縹文を羽状構成に施文 S字状胎印文 | KA 2 e5⑧ | |
| T P48 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 三日月状の爪形文を施文 | KA 2 e5⑧ x8 | |
| T P49 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 竹管状工具による2段の刺突文 3本単位の櫛歯文を直状・縹縹文に横位施文 | KA 2 e5⑧334層 | |
| T P50 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 石英・雲母・繊維 | 黒褐 | 普通 | 半截竹管状工具による3段の節部沈線文を巡らす 2段LR L単部縹文を施文 | KA 2 e5⑧ x13 | |
| T P51 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.2) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 胎のある段の縹縹文を横位・重層施文 | KA 2 e5⑧ x13 | |
| T P52 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.8) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 幾何学的に沈線文を施文 内面高縁文 | KA 2 e5⑧ x9 | |
| T P53 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.8) | - | 石英・雲母・繊維 | 明褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 e5⑧ | |
| T P54 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を直状・縹縹文に横位・重層施文 | KA 2 e5⑧ x12 | |
| T P55 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.6) | - | 石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を直状・縹縹文に横位・重層施文 2方向からの穿孔孔φ0.5-1.5cm | KA 3 d1⑧ | |
| T P56 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 石英・雲母・繊維 | 赤褐 | 普通 | 4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 2方向からの穿孔孔φ0.6-1.1cm | KA 3 d1⑧ | |
| T P57 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 3 d1⑧ | |
| T P58 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.7) | - | 石英・雲母・繊維 | 褐 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 3 d1⑧ | |
| T P59 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.4) | - | 石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 以下に縦位の縹縹文・照糸文を施文 | KA 3 d1⑧ | |
| T P60 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.4) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を直状・縹縹文に横位・重層施文 | KA 3 d1⑧ | |
| T P61 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (21.0) | - | 石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 d4⑧ | |
| T P62 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 石英・雲母・繊維 | 灰褐 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 d4⑧ | |
| T P63 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 d4⑧320・327層 | |
| T P64 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 暗褐 | 普通 | 4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 d4⑧325層 | |
| T P65 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 赤褐 | 普通 | 口唇部押捺 1段LR単部縹文を縦位に施文 | KA 2 d4⑧327層 | |
| T P66 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 d4⑧ | |
| T P67 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 黒褐 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 d4⑧339層 | |
| T P68 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐 | 普通 | 2段LR単部縹文を施文 | KA 3 d2⑧ | PL51 |
| T P69 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KA 3 d2⑧ | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------------|-------|----|---|------------------------|------|
| TF70 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 2段R・L・R単節縄文を羽状構成に施文 | KA 3 d2② | |
| TF71 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 赤褐色 | 普通 | 2段R・L単節縄文を施文 | KA 3 d2① | |
| TF72 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 半截竹製杖工具による基節縄文を施文 | KA 3 d2② | |
| TF73 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 2段L・R・L単節縄文を羽状構成に施文 | KA 3 d3① x7 | |
| TF74 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 石英・雲母・繊維 | 黒 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d3① x7 | |
| TF75 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d3① x6・ ⑤ x7 | |
| TF76 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 1段R単節縄文を縦位に施文 | KA 3 d3① x5 | |
| TF77 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d3① x7 | |
| TF78 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.0) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を系統的に直状・縦歯状に横位・重畳施文 | KA 3 d3①・⑤ | PL51 |
| TF79 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.1) | - | 石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d3① | |
| TF80 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 半截竹製杖工具による平行沈線文 2段L・R単節縄文を施文 | KA 3 d3① | |
| TF81 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 石英・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 1段L・R無節縄文を羽状構成に施文 | KA 3 d3① | |
| TF82 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 斜め格子状の沈線文を施文 | KA 3 d3① x7 | |
| TF83 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 b4① | |
| TF84 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 赤褐色 | 普通 | 細い溝帯上に刻み目 沈線文を施文 内面照糸文 | KA 2 b4① x4 | |
| TF85 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 2 b5① | |
| TF86 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 c4① x3 | |
| TF87 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 黒褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 c4① x3 | |
| TF88 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | - | 長石・石英・繊維 | 黒褐色 | 普通 | 口唇部押捺 外・内面照糸文 | KA 2 c4① x5 | |
| TF89 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.6) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 施文 2方向からの穿孔3か所 孔径0.3-0.6cm | KA 2 c4① x4 | |
| TF91 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.1) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に横位・重畳施文 | KA 2 c4① x3・ 4④ | |
| TF92 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 外・内面照糸文 | KA 2 c4① | |
| TF93 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 細隆起線文・竹製杖工具による巧形刺突文を施文 内面照糸文 | KA 2 c4① x4 | |
| TF94 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 細隆起線文を施文 内面照糸文 | KA 2 c4① x6 | |
| TF95 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 c4① | |
| TF96 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 橙 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状に横位・重畳施文 | KA 2 c5① | |
| TF97 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 斜め格子状の沈線文を施文 | KA 2 c5① | |
| TF98 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 3・4本単位の櫛歯文を直状に横位・重畳施文 | KA 2 c5① | |
| TF99 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.0) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を直状に施文後、斜め格子状の沈線文を施文 | KA 3 d4① | |
| TF100 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 3 d4① | |
| TF101 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 4本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に横位・重畳施文 | KA 3 d4① x4 | |
| TF102 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 石英・雲母・繊維 | 灰褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d4① x8 | |
| TF103 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.6) | - | 長石・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を波状に横位・重畳施文 | KA 3 d4① x2・ 4・⑤ x2 | |
| TF104 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 d4① | |
| TF105 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 細い溝帯上に刻み目 細い斜行沈線文・横文・内面照糸文を施文 | KA 3 d4① x3 | |
| TF106 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.5) | - | 石英・雲母・繊維 | 灰黄褐色 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状・大波状に横位・重畳施文 | KA 3 e1① | |
| TF107 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.8) | - | 石英・雲母 | に灰漬褐色 | 普通 | 半截竹製杖工具による重畳線文を施文 転行する隆帯を帯下・口縁部内面に突帯を施す | KA 3 e1① | |
| TF108 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 石英・雲母・繊維 | に灰漬褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に横位・重畳施文 | KA 3 e1① | |
| TF109 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 石英・雲母 | 黒褐色 | 普通 | 隆帯で縦位面 交互刻突による連続コ字状沈線文を帯けた隆帯で波状のモチーフを施出 | KA 3 e1① | |
| TF110 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・雲母・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に横位・重畳施文 横文は2段R・L単節縄文を施文 | KA 3 e1① | |
| TF111 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 黄褐色 | 普通 | 半截竹製杖工具による基節を系統的に加えられた平行沈線文を直状・縦歯状に施文 | KA 3 e1① x12 | |
| TF112 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 2段R・L・R単節縄文を羽状構成に施文 | KA 3 e1① | |
| TF113 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 黄褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を縦位に施文 | KA 3 e1① | |
| TF114 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に横位・重畳施文 | KA 3 e1① x14 | |
| TF115 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の平行沈線文を系統的に横位に施文 2段R・L単節縄文を施文 | KA 3 e1① x4 | |
| TF116 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 斜め格子状の沈線文を施文 | KA 3 e1① x15 | |
| TF118 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母・繊維 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の平行沈線文を系統的に横位に施文 1段L・R無節縄文を羽状構成に施文 | KA 3 e1① | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------------|----|----|-------------|-------|----|---|---------------|------|
| TP119 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の縄文文で円形のモチーフを提出 | KA 3 e1⑩ | |
| TP120 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐色 | 普通 | 胎のある片輪の残縁による波状文を横位・重層施文 | KA 3 e1⑩ x11 | |
| TP121 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 胎のある片輪の残縁による波状文を横位・重層施文 | KA 3 e1⑩ x6 | |
| TP122 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 胎のある片輪の残縁による波状文を横位・重層施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP123 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 木目状照糸文を羽状横位に施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP124 | 縄文土器 | 深鉢 | - (10.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 4本単位の縄文文で扇歯状・渦巻状のモチーフを提出 | KA 3 e3⑩ | PL51 |
| TP125 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐色 | 普通 | 胎のある片輪の残縁による波状文を横位・重層施文 | KA 3 e3⑩ x4 | |
| TP126 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 2段LR単部縄文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP127 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP128 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 1・2本単位の縄文文を斜め格子状に施文 2方向からの穿孔 孔径0.4-1.3cm | KA 3 e3⑩ | |
| TP129 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 胎のある片輪の残縁による扇歯状の連続斜交文を横位・重層施文 | KA 3 e3⑩ x9 | |
| TP130 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP131 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 7本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP132 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 網目状照糸文 斜め格子状の沈線文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP133 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐色 | 普通 | 斜め格子状の沈線文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP134 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 口唇部刻み目 沈線文・竹管状工具による円形斜交文を施文 内面照糸文 | KA 3 e3⑩ x2 | |
| TP135 | 縄文土器 | 深鉢 | - (11.6) | - | - | 長石・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 2・3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 e4⑩ | |
| TP136 | 縄文土器 | 深鉢 | - (11.9) | - | - | 長石・石英・燧石 | 褐灰 | 普通 | 2本単位の縄文文と2本単位の新続する縄文文を交互に横位・重層施文 | KA 3 e4⑩ | |
| TP137 | 縄文土器 | 深鉢 | - (11.7) | - | - | 長石・石英・燧石 | 灰黄褐色 | 普通 | 4本単位の縄文文を直状・X字状に施文 | KA 3 e4⑩ 172層 | |
| TP138 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.0) | - | - | 長石・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 半管竹管状工具による扇歯状沈線文を横・斜位に施文 地文は2段LR単部縄文を施文 | KA 3 e4⑩ x1 | |
| TP139 | 縄文土器 | 深鉢 | - (15.9) | - | - | 長石・石英・燧石 | 褐 | 普通 | 照糸文を施文 | KA 2 e5⑩ | |
| TP140 | 縄文土器 | 深鉢 | - (14.5) | - | - | 長石・石英・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 3本単位の縄文文を直状・扇歯状に横位・重層施文 以下に3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 e2⑩ | |
| TP141 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.8) | - | - | 長石・石英・燧石 | 橙 | 普通 | 3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 d2⑩ | |
| TP142 | 縄文土器 | 深鉢 | - (16.8) | - | - | 長石・石英・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 d2⑩ | |
| TP143 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 外・内面照糸文 | KA 2 b4⑩ x3 | |
| TP144 | 縄文土器 | 深鉢 | - (15.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 4本単位の縄文文を直状・扇歯状に横位・重層施文 2・3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 d4⑩ | |
| TP145 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 2以上の縄文文と近い3本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KA 3 d4⑩ | |
| TP146 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 斜位の細線縄文 外・内面照糸文 | KA 3 d4⑩ x11 | |
| TP147 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 細線縄文で区画 区画内に矢羽根状の沈線文を施文 外・内面照糸文 | KA 3 d4⑩ x11 | |
| TP148 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 2本単位の縄文文を直状・扇歯状に横位・重層施文 | KA 3 e1⑩ | |
| TP149 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 口唇部押捺 照糸文を施文 | KA 3 e3⑩ | |
| TP150 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 2本単位の新続する縄文文を扇歯状に横位・重層施文 | KA 3 e3⑩ | PL51 |
| TP151 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 口唇部押捺 細線縄文を施文 内面照糸文 | KA 3 b1⑩ x6 | |
| TP152 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 口唇部刻み目 細線縄文で区画 区画内に沈線文を施文 外・内面照糸文 | KA 3 e5⑩ | |
| TP153 | 縄文土器 | 深鉢 | - (17.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 2段R・L・LR単部縄文を羽状横位に施文 | KA 3 e5⑩ | |
| TP154 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 近い隣層で渦巻状のモチーフを提出 3本単位の縄文文を施文 | KA 4 e1⑩ x5 | |
| TP155 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KA 4 e1⑩ | |
| TP156 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 5・7本単位の縄文文・半輪結糸体5類・網目状照糸文を施文 | KB 2 a2⑩ | |
| TP157 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 近い6本単位の縄文文を波状状に横位・重層施文 | KB 2 a2⑩ 349層 | |
| TP158 | 縄文土器 | 深鉢 | - (14.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 照糸文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.3-1.1cm | KB 2 a3⑩ | |
| TP159 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 暗赤褐色 | 普通 | 斜め格子状の沈線文を施文 | KB 2 a3⑩ x5・6 | PL51 |
| TP160 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰赤褐色 | 普通 | 竹管状工具による斜交列 2段R・L・LR単部縄文を羽状横位に施文 | KB 2 a3⑩ | |
| TP161 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 新続する縄文文を横位・重層施文 | KB 2 a3⑩ | |
| TP162 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | にじみ褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KB 2 a3⑩ x11 | |
| TP163 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 6本単位の縄文文を横・斜位に施文 | KB 2 a3⑩ x12 | |
| TP164 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐色 | 普通 | 波頂部にボタン状の貼付文 2本単位の縄文文を横位・重層施文 | KB 2 a3⑩ x5 | |
| TP165 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 3本単位の縄文文を横位・重層施文 | KB 2 a3⑩ | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------------|------|----|---|-----------------------|------|
| TP166 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 区画内に2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 a4④ | |
| TP167 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽位区画 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 a4④ | |
| TP168 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 竹管状工具による彫突文を施文 | KB 2 a4④ | PL51 |
| TP169 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 a4④×10 | |
| TP170 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 長石・石英・燧石 | 橙 | 普通 | 口縁部押捺 2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 a4④×12 | |
| TP171 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・燧石 | 黒褐色 | 普通 | 竹管状工具による2段の刺突刻 2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 a4④×12 | |
| TP172 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (29.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 2段L R・R L単筋縄文を羽状構成に施文 | KB 2 a4④ | PL51 |
| TP173 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 竹管状工具による彫突文を施文 | KB 2 a4④×20、 ⑤×13個 | |
| TP174 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線文を垂らす 2段L R・R L単筋縄文を羽状構成に施文 | KB 2 a5④・⑤ | |
| TP175 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 沈線文を垂らす 以下に縦位の帯線文を密に施文 | KB 2 a5⑤ | |
| TP176 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 | KB 2 a5④ | |
| TP177 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部に瓊帯を垂らす 樽帯上に施文 半截竹管状工具による彫突する平行沈線文を横位施文 | KB 2 a5④×13 | |
| TP178 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐色 | 普通 | 6・8本単位の縦線文を横・斜位に施文 | KB 2 a5④ | |
| TP179 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 4単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 | KB 2 a5④ | |
| TP180 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 木目状照糸文を施文 | KB 2 b1①426層 | |
| TP181 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部に瓊帯を垂らす 以下に2・5本単位の縦線文を微波状・直線状に施文 | KB 2 b2④ | |
| TP182 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐色 | 普通 | 3・5本単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 以下に照糸文を施文 | KB 2 b2④×3、 ⑤×3 | |
| TP183 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 5本単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 | KB 2 b3③348層 | |
| TP185 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 縦位16本単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 | KB 2 b3③939層 | |
| TP186 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 縦位16本単位の縦線文を微波状に横位・重層施文 | KB 2 b3③351層 | |
| TP187 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による円形刺突文を縦位施文 地文は2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 b3③351層 | |
| TP188 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による彫突文を施文 | KB 2 b3③939層 | |
| TP189 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 b4④・⑤ | |
| TP190 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 d4④ | |
| TP191 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 斜位回転の反転の罫L Lカ | KB 2 b4④ | |
| TP192 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照糸文を羽状構成に施文 | KB 2 b5④×33 | |
| TP193 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英 | 明赤褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 b5④ | |
| TP194 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 交互刺突による連続口の字状文 区画内に沈線を伴った磨り消し帯 地文は縦位の照糸文 | KB 2 b5④×7 | |
| TP195 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 2本単位の縦線文を直状・縦線状に横位施文 地文は照糸文を施文 | KB 2 b5④314層 | |
| TP196 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 b5④143層 | |
| TP197 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部施文 器口以下に糸線文を施文 | KB 2 b5④ | |
| TP198 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐色 | 普通 | 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 b5④×27 | |
| TP199 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 交互刺突による連続口の字状文 以下に斜位の照糸文を施文 | KB 2 b5④ | |
| TP200 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段L R単筋縄文を施文 | KB 2 b5④ | |
| TP201 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 密な糸線文を縦位施文 | KB 2 b5④ | |
| TP202 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 b5④×25 | |
| TP203 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を垂らす 以下に反転結節帯5層・縦位状照糸文を施文 | KB 2 b5④314層 | |
| TP204 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 木目状照糸文を羽状構成に施文 | KB 2 c1④ | |
| TP205 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 竹管状工具による円形刺突文を施文 | KB 2 c1④ | PL51 |
| TP206 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KB 2 c1④ | |
| TP207 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KB 2 c1④425層 | |
| TP208 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照糸文を施文 | KB 2 c1④ | |
| TP209 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 瓊帯と沈線で樽内区画・湯帯状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単筋縄文を施文 | KB 2 c2④ | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|-------------|------|----|---|---------------|------|
| TP210 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 暗赤褐 | 普通 | 瓊母と沈線で樽形凹輪・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し溝を帯下 2段 R L 単筋縄文を施文 | KB 2 c2④434層 | |
| TP211 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 照文を施文 | KB 2 c2④ | |
| TP212 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 15 | |
| TP213 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・燧石 | 黒褐 | 普通 | 4本単位の断続する櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 8 | |
| TP214 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 10 | |
| TP215 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 9 | |
| TP216 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 10 | |
| TP217 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 半截竹管状工具による変形爪形文を施文 地文は照文を施文 | KB 2 c2④ x 5 | |
| TP218 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 沈線に沿った溝線を帯下 地文は縦位回転の2段 R L 単筋縄文・条線文を施文 | KB 2 c2④ | |
| TP219 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 7本単位の櫛歯文を横位に横位 以下に肋のある貝殻の縁線による波状文を横位・重層施文 | KB 2 c2④452層 | PL51 |
| TP220 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 4本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c2④452層 | |
| TP221 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c2④451層 | |
| TP222 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | C字状の沈線文を施文 外面条線文 | KB 2 c2④ x 4 | |
| TP223 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 竹加蓋縄文を施文 以下に3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KB 2 c2④ x 13 | |
| TP224 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を施文 | KB 2 c2④ x 14 | |
| TP225 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 太い2本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 2本単位の櫛歯文を縦位に施文 | KB 2 c3④ | PL51 |
| TP226 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐 | 普通 | 2段 L R・R L 単筋縄文を羽状構成に施文 | KB 2 c3④ | |
| TP227 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 口唇部押押 2段 L R・R L 単筋縄文を羽状構成に施文 | KB 2 c3④ | |
| TP228 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 交互斜突による連続的十字状 地文は縦位回転の3段 L R L 単筋縄文を施文 | KB 2 c3④ x 9 | |
| TP229 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を斜め棒状に施文 | KB 2 c3④ | |
| TP230 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄褐 | 普通 | 木目状照文を施文 | KB 2 c3④ x 24 | |
| TP231 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬青 | 普通 | 棒状工具による2段の円形斜突文 以下に沈線に伴う磨り消し溝を帯下 2段 L R 単筋縄文を施文 | KB 2 c3④ x 4 | |
| TP232 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c3④ x 19 | |
| TP233 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による2段の連続的十字状 地文は縦位回転の2段 L R・R L 単筋縄文を羽状構成に施文 | KB 2 c3④ | |
| TP234 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 口縁部無文 密な条線文を縦位に施文 | KB 2 c4④ | |
| TP235 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KB 2 c4④ | |
| TP236 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 沈線を伴う棒状工具による円形斜突文を帯下す 以下に沈線を伴う磨り消し溝を横位に施文 地文は照文 | KB 2 c4④ x 20 | |
| TP237 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 口唇部押押 2段 R L 単筋縄文を施文 | KB 2 c4④454層 | |
| TP238 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 地文は0段多線・筋々段多線 | KB 2 c4④454層 | |
| TP239 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬青 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し溝を帯下 地文は縦位回転の2段 R L 単筋縄文を施文 | KB 2 c4④ | |
| TP240 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬青 | 普通 | 2本単位の断続した入った櫛歯文を横位・重層施文 | KB 2 c4④ x 19 | |
| TP241 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 肋のある貝殻の縁線文を施文 | KB 2 c4④423層 | |
| TP242 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 斜位回転の2段 R L 単筋縄文を施文 | KB 2 c5④ x 10 | |
| TP243 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 縦位回転の前々段多線 R L 施文 | KB 2 c5④ | |
| TP244 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線文を帯下す 地文は2段 R L・R L 単筋縄文を羽状構成に施文 2方向からの穿孔 孔径φ A-0.5cm | KB 2 c5④ x 27 | |
| TP245 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 外・内面条線文 | KB 2 c5④ x 33 | |
| TP246 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・波状に施文 2方向からの穿孔 孔径φ 7-1.1cm | KB 2 c5④ x 27 | |
| TP247 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 2・3本単位の波線を直状・蛇行状に帯下 地文は密な条線文を施文 | KB 2 c5④ x 21 | |
| TP248 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 密な条線文を施文 | KB 2 c5④ x 13 | |
| TP249 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐灰 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 c5④ x 27 | |
| TP250 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 縦位に施文を帯下 斜行沈線文を施文 外・内面条線文 | KB 2 c5④ x 24 | |
| TP251 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 横位・縦位に斜め目目 縁が斜行沈線文・横文側面圧痕を施文 | KB 2 c5④ x 28 | |
| TP253 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 肋のある貝殻の縁線文を施文 | KB 2 d1④ | |
| TP254 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 1・2本単位の結節を加えた櫛歯文を横位に横位・重層施文 | KB 2 d2④ | PL51 |
| TP255 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による斜突文を帯下す 地文は2段 R L 単筋縄文を施文 S字状結節文 | KB 2 d2④ | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|----------|------|----|---|-----------------|----|
| TP256 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画・湯釜状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d2② | |
| TP257 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | C灰褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画・湯釜状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 3段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d2③ | |
| TP258 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 2本単位の縄文を斜め格子状に施文 | KB 2 d2④ | |
| TP259 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 木目状煎糸文を施文 | KB 2 d2⑤ | |
| TP260 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 半截竹管状工具による筋帯文を施文 | KB 2 d2⑥ | |
| TP261 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を施す。地文は2段 L R・R L 単部縄文を器状位に施文 | KB 2 d2⑦ | |
| TP262 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 木目状煎糸文を施文 | KB 2 d2⑧ x7 | |
| TP263 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施す。地文は2段 L R・R L 単部縄文を施文 | KB 2 d2⑨ x5 | |
| TP264 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画を形成。沈線を伴う磨り消し線を器下。器位回転の3段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d3⑩ x8 | |
| TP265 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d3⑪ | |
| TP266 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | C灰褐色 | 普通 | 棒状工具による2段の内部刻交文。以下に沈線を伴う磨り消し線を器下。地文は2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d3⑫ x4 | |
| TP267 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 口唇部押押 2本単位の縄文を器状位に施文・重層施文 | KB 2 d3⑬ x12 | |
| TP268 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石 | 黒褐 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画を形成。区画内に横位回転の2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d3⑭ 509層 | |
| TP269 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文を施す。地文は縦位の条線文を施文 | KB 2 d3⑮ 423層 | |
| TP270 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口唇部内外目 2本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KB 2 d3⑯ 430層 | |
| TP271 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 交互刻交による連続の字状文・沈線文を施す。地文は縦位の煎糸文を施文 | KB 2 d3⑰ x3 | |
| TP272 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 口唇部押押 斜字沈線文を施文 | KB 2 d3⑱ x10 | |
| TP273 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 3本単位の縄文を直状に横位・重層施文 | KB 2 d3⑳ 455 a層 | |
| TP274 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d3㉑ 430層 | |
| TP275 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d2⑳ | |
| TP276 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 竹管状工具による2段の刻交文を施す。地文は2段 L R・R L 単部縄文を器状位に施文 | KB 2 d2㉑ | |
| TP277 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。地文は縦位回転の2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4① | |
| TP278 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画・湯釜状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4② | |
| TP279 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 棒状工具による2段の内部刻交文。以下に沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4③ | |
| TP280 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 縄溝と沈線で南内区画を形成。区画内に横位回転の2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d4④ | |
| TP281 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4⑤ | |
| TP282 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を施す。2本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。地文は縦位の煎糸文を施文 | KB 2 d4⑥ x16 | |
| TP283 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 口唇部煎糸 結節部に交互刻交による連続の字状文・沈線文を施す | KB 2 d4⑦ | |
| TP284 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の縄文を器状位に横位・重層施文 | KB 2 d4⑧ x27 | |
| TP285 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4⑨ x25 | |
| TP286 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。地文は縦位回転の2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4⑩ | |
| TP287 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d4⑪ x25 | |
| TP288 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 1・2本単位の縄文を直状に縦位施文 | KB 2 d4⑫ | |
| TP289 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 単軸輪帯体第5類・木目状煎糸文を施文 | KB 2 d4⑬ x22 | |
| TP290 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 3本単位の縄文を器状位に横位・重層施文 | KB 2 d5① | |
| TP291 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 黒 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文・C字状の刻交文を施す。地文は煎糸文 | KB 2 d5② x24 | |
| TP292 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 内部刻交文を施す。2本単位の縄文を縦・横位施文。地文は2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d5③ | |
| TP293 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口唇部押押 地文は2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d5④ x34 | |
| TP294 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施す。地文は2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d5⑤ x29 | |
| TP295 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による縦位の条線文を施文 | KB 2 d5⑥ 他 | |
| TP296 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 2本単位の沈線を沿わせた磨り消し線を器下。棒5字状のモチーフを器下 2段 R L 単部縄文を施文 | KB 2 d5⑦ x15 | |
| TP297 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.7) | - | 長石・石英・雲母 | 黒 | 普通 | 棒状工具による2段の内部刻交文。以下に沈線を伴う磨り消し線を器下。地文は2段 L R 単部縄文を施文 | KB 2 d5⑧ x17 | |
| TP298 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 2本単位の縄文を器状位に横位・重層施文 | KB 2 d5⑨ | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|----------|------|----|---|-----------------------|----|
| TP299 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 2段R L 単節縄文を施文 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 | KB2 e1⑩ | |
| TP300 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 区内に横線状の付くによる縦線文を施文 | KB2 e1⑩ | |
| TP301 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を帯下 2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e1⑩ | |
| TP302 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦位置の2段L R 単節縄文を施文 | KB2 e1⑩ | |
| TP303 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 2本単位の沈線を帯下 地文は2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP304 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦・横位置の付く多量R L 施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP305 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦・横位置の付く2段L R 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP306 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 内凹のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP307 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を帯下 筋状多糸R L を施文 | KB2 e2⑩423層 | |
| TP308 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 4本単位の縦線文と3本単位の横線文を連続する縦線文を連続的に施文・重層施文 | KB2 e2⑩ x14 | |
| TP309 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本の沈線を帯下す 地文は縦位置の3段R L R 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ x4 | |
| TP310 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の縦線文を連続的に施文 | KB2 e2⑩ x13 | |
| TP311 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の横線文を連続的に施文 | KB2 e2⑩ x14 | |
| TP312 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による斜交文を帯下す 地文は2段R L・L R 単節縄文を連続的に施文 | KB2 e2⑩ x9 | |
| TP313 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ x1 | |
| TP314 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 区内に縦位置の2段L R 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP315 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2段R L 単節縄文を施文 S字状結節文 | KB2 e2⑩ | |
| TP316 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の縦線文を連続的に施文・重層施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP317 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦位置の2段L R 単節縄文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP318 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 断片文を施文 | KB2 e2⑩ | |
| TP320 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線を伴うY字状の磨り消し磨を帯下 地文は縦位置の3段R L R 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP321 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 3段L R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP322 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 1本の沈線を帯下 縦位置に帯下す 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦位置に施文 地文は断片状の縦線文を施文 | KB2 e3⑩ x ⑧ | |
| TP323 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 3段L R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP324 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による3段の結節状の沈線文を帯下す 以下に同工具による縦線状の結節状の沈線文を施文 | KB2 e3⑩ x14 | |
| TP325 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 1本の沈線文を帯下す 無文 | KB2 e3⑩ x9 | |
| TP326 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 無文 外面磨りけず | KB2 e3⑩ x11 | |
| TP327 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線で樽内・樽内凹面を形成 区内に2段R L 単節縄文を施文 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 | KB2 e3⑩ | |
| TP328 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 | KB2 e3⑩ | |
| TP329 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 縄溝と沈線で樽内凹面を形成 区内に2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP330 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 断片文を施文 | KB2 e3⑩ x15 | |
| TP331 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 竹管状工具による円形斜交文を帯下す 以下に1・2本単位の縦線文を施文 区内に横・縦線文を施文 | KB2 e3⑩ x19 | |
| TP332 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口部部刻み 断面縦線文を施文 区内に斜行沈線文を施文 外・内面無文 | KB2 e3⑩ x25 | |
| TP333 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線を伴う棒状工具による円形斜交文を帯下す 地文は縦位置の付く多量R L 施文 | KB2 e3⑩ x14 | |
| TP334 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 竹管状工具による斜交文を帯下す 地文は2段R L・L R 単節縄文を連続的に施文 | KB2 e3⑩ x14 | |
| TP335 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の縦線文を棒状工具に施文 | KB2 e3⑩ x23 | |
| TP336 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による2段の結節状の沈線文を帯下す 地文は2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ x10 | |
| TP337 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による半円形斜交文を帯下す 斜行沈線文を施文 地文は2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ x23 | |
| TP338 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 沈線を伴う磨り消し磨を帯下 縦・横位置の付くL R 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP339 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し磨を帯下す 地文は2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP340 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を帯下 地文は縦位置の2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP341 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で樽内凹面を形成 溝巻状のモチーフを形成 縦位置の2段R L 単節縄文を施文 | KB2 e3⑩ | |
| TP342 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 押捺を加えた縄溝を帯下 半截竹管状工具による縦線状の縦線文を施文 | KB2 e3⑩ x15、 ⑩ x18 | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|---------|----|----------|-----|----|---|--------------|------|
| TP343 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の内線を伴う磨り消し線を帯下 地文は縦位回転の2段R・L半筋縄文を施文 | KB2 e3① | |
| TP344 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB2 e3① | |
| TP345 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地帯と沈線で区画 沈線に伴う磨り消し線を帯下 地文は縦・横位回転の2段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e3① | |
| TP346 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母 | 襷 | 普通 | 半靱竹管状工具による沈線を帯下 | KB2 e3① | |
| TP347 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 半靱竹管状工具によるコンパシ文を帯下す 地文は2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB2 e3① x6 | |
| TP348 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 沈線に伴う磨り消し線を帯下 2段 L・R半筋縄文を施文 | KB2 e2① | |
| TP349 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英 | に灰漬 | 普通 | 地帯を帯下す 地文は粗い縦線文を施文 | KB2 e3① x13 | |
| TP350 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 押捺を加えた地帯を帯下 半靱竹管状工具 による縦位の縞線文を施文 | KB2 e3① x2 | |
| TP351 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 結節文カ | KB2 e3① x18 | |
| TP352 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 縦線状の縞文側面直圧風文を施す | KB2 e3① x18 | |
| TP353 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線に伴う磨り消し線を帯下 地 文は縦位回転の2段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e3① | |
| TP354 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB2 e3① | |
| TP355 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 5本単位の縞線文を直状・縦線状に施文・重 層施文 | KB2 e3① x19 | |
| TP356 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 5本単位の縞線文を波状に横位・重層施文 | KB2 e2① x7 | |
| TP357 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.4) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 地帯と沈線で区画 沈線に伴う磨り消し線を帯下 地文は縦・横位回転の2段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e2① x7 | |
| TP358 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.1) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2～4本単位の縞線文を波状に横位・重層 施文 | KB2 e2① x14 | |
| TP359 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 1段L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB2 e2① x14 | |
| TP360 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による斜交文を帯下す 地文は1 段L・R半筋縄文を羽状構成に施文 | KB2 e4① | PL51 |
| TP361 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.2) | - | 長石・石英・雲母 | 普通 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 縦位回転の3段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e4① | |
| TP362 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 沈線に伴う磨り消し線を帯下 3段 L・R半筋縄文を施文 | KB2 e4① | |
| TP363 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縞線文を縦線状に施文 | KB2 e4① x32 | |
| TP364 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 縦位の縞線文を施す 口縁部内部に突帯を帯 下す | KB2 e4① x6 | |
| TP365 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 縞線文を施文 | KB2 e4① | |
| TP366 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.1) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 半靱竹管状工具による平行沈線を帯下す 地 文は2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KA 2 e4① | |
| TP367 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 沈線に伴う磨り消し線を帯下 前々 段多数L行を施文 | KB2 e5① | |
| TP368 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 区画内に2段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e5① | |
| TP369 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の沈線に伴う磨り消し線を帯下 地 文は縦位回転の2段L・R半筋縄文を施文 | KB2 e5① | |
| TP370 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画を形成 縦位の縞線 文を施文 | KB2 e5① | |
| TP371 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の縞線文を波状に横位施文 以下 に防のある縦位の縞線文を施し施文 | KB2 e5① x31 | |
| TP372 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 縦位回転の1段L半筋縄文を施文 | KB3 a1① | |
| TP373 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 竹管状工具による平行沈線を帯下 沈線は 波状に施文 | KB3 a1①-① | |
| TP374 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.5) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 細い縞線文を帯下 | KB3 a1① | |
| TP375 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB3 a2① | |
| TP376 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地帯と沈線で内区画・渦巻状のモチーフを形 成 区画内に縦位回転の1段L半筋縄文を施文 | KB3 a2① | |
| TP377 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 2段L・R・L半筋縄文を羽状構成に施文 | KB3 a2① x6 | |
| TP378 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画を形成 縦位の縞線 文を施文 | KB3 a2① x28層 | |
| TP379 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画を形成 縦位の縞線 文を施文 | KB3 a2① x20 | |
| TP380 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 半靱竹管状工具による斜交沈線を帯下す 地文は縞線文を施文 | KB3 a2① x28層 | |
| TP381 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 半靱竹管状工具による平行沈線を帯下す 押捺を加えた地帯を帯下す | KB3 a2① x28層 | |
| TP382 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 黄灰 | 普通 | 縦位の縞線文を波状に横位・重層施文 | KB3 a1①-① | |
| TP383 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.7) | - | 長石・石英・雲母 | 黒 | 普通 | 半靱竹管状工具による斜交する平行沈線を 施文 地文は縞線文を施文 | KB3 a3① x20 | |
| TP384 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 防のある縦位の縞線文を施し施文 | KB3 a3① x20 | |
| TP385 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橘灰 | 普通 | 地帯と沈線で構内区画・渦巻状のモチーフ を形成 沈線に伴う磨り消し線を帯下 2段 L・R半筋縄文を施文 | KB3 a4① 170層 | |
| TP386 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.8) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縞線文を波状・曲線状に施文 | KB3 a4① | |
| TP387 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 2本単位の縞線文を直状・縦線状に施文 | KB3 a4① | PL51 |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|----------|------|----|---|----------------|----|
| TP389 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 棒状工具による2段の円形刺突文。磨り消し層で流状のモチーフを提出。2段L R 単節縄文を施文 | KB3 a4⑥ | |
| TP390 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 煎糸文を施文 | KB3 a4⑥ | |
| TP391 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文。以下に2階層と沈線で区画を形成 | KB3 a4⑥ | |
| TP392 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 階層と沈線で区画、溝痕状のモチーフを形成。横位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 a4⑥ | |
| TP393 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 2段L R・R L 単節縄文を羽状構成に施文 | KB3 a4⑥/173層 | |
| TP394 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 2本単位の横帯文を多方向に施文 | KB3 a4⑥/194層 | |
| TP395 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 3本単位の横帯文を螺旋状に横位・重層施文以下に磨り消し | KB3 a4⑥ | |
| TP396 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 縦位回転の1段R無節縄文を施文 | KB3 a4⑥ | |
| TP397 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線に伴う磨り消し層を磨下。地文は縦位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 a4⑥ | |
| TP398 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 3本単位の結節を加えた横帯文を直状・流状に横位施文 | KB3 a4⑥/171層 | |
| TP399 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 微隆起線文上に削み目。竹管状工具による円形刺突文を施文。外・内面煎糸文 | KB3 a4⑥/173層 | |
| TP400 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 3本単位の横帯文を螺旋状に横位・重層施文 | KB3 a5② | |
| TP401 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 煎糸文。以下に2本単位の断続する横帯文を直状に横位・重層施文 | KB3 a5②/x7 | |
| TP402 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 4本単位の横帯文を直状・縦帯状に横位・重層施文。2方向からの穿孔。孔径0.8-1.2cm | KB3 b1⑧ | |
| TP403 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 4-6本単位の横帯文工具による断続文を磨下 | KB3 b1⑧/x6 | |
| TP404 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.1) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の沈線文で直状・溝痕状のモチーフを提出。地文は縦位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b1⑧/x2 | |
| TP405 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文。以下に階層による円形区画を形成。微隆起層を磨り消す。2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b1⑧/xZ7 | |
| TP406 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 多方向に1段R無節縄文を施文 | KB3 b1⑧ | |
| TP407 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 煎糸文を施文 | KB3 b1⑧/xZ7 | |
| TP408 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 棒状工具による2段の円形刺突文。以下に沈線に伴う磨り消し層を磨下。地文は2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b1⑧/x7 | |
| TP409 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.7) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 斜行沈線文・磨り消しの横帯断面圧痕文を施文 | KB3 b1⑧/x25 | |
| TP410 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 無文。2方向からの穿孔。孔径0.9-1.1cm | KB3 b1⑧/x29 | |
| TP411 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 微隆起線文を施文。内面煎糸文 | KB3 b1⑧/x26 | |
| TP412 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施らす。竹管状工具による円形刺突文。平行沈線文を施文 | KB3 b1⑧/x23 | |
| TP413 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.3) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 階層と半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線文を施らす。以下に流状の平行沈線文を施文 | KB3 b1⑧/x25 | |
| TP414 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施らす | KB3 b1⑧/x14 | |
| TP415 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 煎糸文を施文 | KB3 b1⑧ | |
| TP416 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 押捺を加えた階層を施らす。地文は縦位の煎糸文を施文 | KB3 b1⑧/x12 | |
| TP417 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施らす。2段L R・R L 単節縄文を羽状構成に施文 | KB3 b1⑧/x25 | |
| TP418 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 2本単位の横帯文を直状・竹管状工具による円形刺突文を施らす。地文は2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b1⑧/x23 | |
| TP419 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を施文 | KB3 b1⑧/x18 | |
| TP420 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 煎糸文を施文 | KB3 b1⑧/xZ7 | |
| TP421 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 2・3本単位の横帯文を縦・横位に施文 | KB3 b1⑧/x29 | |
| TP422 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 1・2本単位の横帯文を格子目状に施文 | KB3 b1⑧/x28 | |
| TP423 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を施らす。以下に筋のある扇形の横帯文を施文 | KB3 b1⑧/x17 | |
| TP424 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施らす | KB3 b1⑧/x15 | |
| TP425 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.0) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 口縁部押捺。縦位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b2② | |
| TP426 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 無文。磨り消し層を施らす。2本の沈線文を施らす。地文は縦位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b2②/x8 | |
| TP427 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本の沈線文を施らす。沈線に伴う磨り消し層を磨下。区画内・横帯状工具による断続文を施文 | KB3 b2② | |
| TP428 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を施らす。2段L R・L R 単節縄文を羽状構成に施文 | KB3 b2②/209層 | |
| TP429 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 3本単位の横帯文を直状・縦帯状に横位施文 | KB3 b2②/x29・32 | |
| TP430 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の横帯文を格子目状に施文 | KB3 b2②/209層 | |
| TP431 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬褐 | 普通 | 口縁部削み目。外・内面煎糸文。2方向からの穿孔。孔径0.4-1.3cm | KB3 b2② | |
| TP432 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.8) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 縦い溝帯の上に削み目。縦が斜行沈線文・横文を縦帯に施文 | KB3 b2②/209層 | |
| TP433 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.3) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施らす。地文は縦位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KB3 b2②/x20 | |
| TP434 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部に階層を施らす。階層上に横文。半截竹管状工具による平行沈線文を横位施文 | KB3 b2②/209層 | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------------|----|----|-------------|-----|----|--|--------------------|----|
| Tp435 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.8) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赭 | 普通 | 頂部に刺み目を加えたボタンの突起 半截竹製工具による結節状線文を施す | KB3 b2① x21 | |
| Tp436 | 縄文土器 | 深鉢 | - (2.6) | - | - | 長石・石英・雲母 | 黄緑 | 普通 | 半截竹製工具による結節状線文・平行沈線文を施す | KB3 b2① x17 | |
| Tp437 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.5) | - | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し帯で曲線状のモチーフを 彫出 低位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b2① | |
| Tp438 | 縄文土器 | 深鉢 | - (11.0) | - | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し帯で曲線状のモチーフを 彫出 低位回転の2段R L半節線文を施文 内面に5本単位の 横線状工具による条線文を施文 | KC3 b2① | |
| Tp439 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.9) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線で瓶状のモチーフを彫出 地 文は横線状工具による低位の条線文を施文 | KB3 b2① | |
| Tp440 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.7) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 横線状工具による条線文を施す | KB3 b2① x15・ 17 | |
| Tp441 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.3) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯で瓶状のモ チーフを彫出 地文は低位の粗点文を施文 | KB3 b2① | |
| Tp442 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.9) | - | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 塊帯と瓶帯の以下に3本単位の沈線文を施す 地文は低位回転の前々段多角R Lを施文 | KB3 b2① | |
| Tp443 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 1・2本単位の横線文を直状・縦帯状に横位 施文 | KB3 b2① x30 | |
| Tp445 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 半截竹製工具による結節状線文・縦線状の 平行沈線文を施す | KB3 b2① 20層 | |
| Tp446 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.8) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 1段L無節線文・5字状結節文を施文 | KB3 b2① x32他 | |
| Tp447 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 幾何学的な縦線起線文を施文 弁・内面条線文 | KB3 b2① 234層 | |
| Tp448 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 半截竹製工具による結節状線文を施文 地文 は2段R L・L R半節線文を併ね横位に施文 | KB3 b2① 209層 | |
| Tp449 | 縄文土器 | 深鉢 | - (11.2) | - | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 縦・横位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① x16 | |
| Tp450 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.2) | - | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 横線状工具による条線文を施す | KB3 b3① x3 | |
| Tp451 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.1) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊帯と沈線で横内凹区画・湯帯状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① x3 | |
| Tp452 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.2) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明黄褐 | 普通 | 低位回転の1段L無節線文を施文 | KB3 b3① x3 | |
| Tp453 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.9) | - | - | 長石・石英・雲母 | 黄灰 | 普通 | 塊帯と沈線で横内凹区画・湯帯状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① x10 | |
| Tp454 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.1) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊帯と沈線で横内凹区画・湯帯状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① x3 | |
| Tp455 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.9) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部断文 以下に低位回転の5字状結節 文・2段L半節線文を施文 | KB3 b3① x14 | |
| Tp456 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.3) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 横線状工具による条線文を施す | KB3 b3① x5 | |
| Tp457 | 縄文土器 | 深鉢 | - (10.6) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地 文は低位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① x5 | |
| Tp458 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.2) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す 地 文は低位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b3① | |
| Tp459 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.4) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文で方形区画を形成 地文は 低位回転の前後多角R Lを施文 | KB3 b3① | |
| Tp460 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.4) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 沈線による横内凹区画 区画内に5本単位の 横線状工具による条線文を施文 | KB3 b3① x3 | |
| Tp461 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 3本単位の横線文を横位状に横位・縦帯状に 施す | KB3 b3① x24 | |
| Tp462 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細L塊帯と半截竹製工具による平行沈線文 を施す | KB3 b3① | |
| Tp463 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.4) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊帯と沈線で横内凹区画・湯帯状のモチーフ を形成 沈線を伴う磨り消し帯を施す 2段 R L半節線文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp464 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.7) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 横線状工具による条線文を施す | KB3 b4① | |
| Tp465 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.6) | - | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 交互斜突による連続口字状文を施す 2段 L沈線文で曲線状のモチーフを彫出 地文は2 段R L半節線文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp466 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.0) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文で瓶状のモチーフを彫出 地文は低位の粗点文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp467 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 横線状工具による条線文を施す | KB3 b4① 18層 | |
| Tp468 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.2) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 口縁部断文 以下に沈線文を施す 地文は 低位の粗点文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp469 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.4) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 塊帯と沈線で横内凹区画・湯帯状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp470 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 3本単位の横線文を曲線状に施文 | KB3 b4① x16 | |
| Tp471 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 半截竹製工具による平行沈線文を直状・縦帯 状に施文 地文は低位回転の1段L無節線文を 施文 | KB3 b4① 205層 | |
| Tp472 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.4) | - | - | 長石・石英・雲母 | 暗褐 | 普通 | 沈線文と内形刺突文を施す 2本単位の沈 線文を施す | KB3 b4① x7 | |
| Tp473 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.1) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 沈線に伴う半截竹製工具による内形刺突文 を施す 地文は低位の粗点文を施文 | KB3 b4① x1 | |
| Tp474 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 半截竹製工具による平行沈線文を施す | KB3 b4① x10 | |
| Tp475 | 縄文土器 | 深鉢 | - (2.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐灰 | 普通 | 幾何学的な縦線起線文を施文 内面条線文 | KB3 b4① x14 | |
| Tp476 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.5) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 低位回転の2段R L半節線文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp477 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.7) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯・平行沈線文 を施す 地文は低位回転の2段L R半節線文を 施文 | KB3 b4① x2 | |
| Tp478 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.0) | - | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文で瓶状のモチーフを彫出 地文は低位の粗点文を施す | KB3 b4① | |
| Tp479 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.8) | - | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線文を施す 地文は低位の粗 点文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp480 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹製工具による斜突の平行沈線文・横 位の結節状線文 以下に付加条線文を施文 | KB3 b4① | |
| Tp481 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 棒状工具による斜突文を横位・縦帯状に 施文 | KB3 b4① | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|----------|-----|----|--|--------------------|----|
| TP482 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | 黄緑 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に構位・重層施文。2方向からの穿孔。孔径0.5-1.2mm | KB3 b4⑥ | |
| TP483 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2・3本単位の沈線文を垂下。地文は縦位部長の2段L R単節縷文を施文 | KB3 b4⑥ | |
| TP484 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 沈線による方形区画。2本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下。縦位部輪の2段L R単節縷文を施文 | KB3 b4⑥ x4 | |
| TP486 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 長石・石英・雲母 | 黄緑 | 普通 | 1段R・L無節縷文を直状に施文 | KB3 b4⑥ x14 | |
| TP487 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊層を垂下。左右に竹管状工具による斜交文を施文。外・内面糸縷文 | KB3 b4⑥ x19 | |
| TP488 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 細い塊層上に刻み目。斜交文・縷文側面圧入文・1段R無節縷文を施文 | KB3 b4⑥ x8 | |
| TP490 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.0) | - | 長石・石英・雲母 | 黄灰 | 普通 | 塊層による直線状のモチーフを垂下 | KB3 b4⑥ x4 | |
| TP491 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 塊層と沈線で渦巻状のモチーフを垂下。地文は2段L R単節縷文を施文 | KB3 b5① x7 | |
| TP492 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 煎茶文を施文 | KB3 b5① x12 | |
| TP493 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 塊層と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し層を垂下。2段R L単節縷文を施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP494 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊層と直線による交互斜交文を垂下。2本単位の沈線文を垂下。地文は2段L R単節縷文を施文 | KB3 b5① x8 | |
| TP495 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 1・2本単位の櫛歯文を激波状に構位施文 | KB3 b5① x7 | |
| TP496 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母 | 黄緑 | 普通 | 塊層と直線による2段の内刻斜交文。以下に沈線を伴う磨り消し層を垂下。3段L R L複節縷文を施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP497 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 半籠竹管状工具による平行沈線文を直状・縦歯状に構位施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP498 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 縦位部輪の2段R L単節縷文を施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP499 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.0) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 煎茶文を施文 | KB3 b5① x6 | |
| TP500 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 塊層と直線による集合沈線文。縷文側面圧入文を施文 | KB3 b5① x9 | |
| TP501 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 半籠竹管状工具による結節沈線文・細い塊層を垂下す | KB3 b5① x13 | |
| TP502 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.1) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下。縦位部輪の2段R L単節縷文を施文 | KB3 b5① x6 | |
| TP503 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 塊層と沈線で楕円形区画を形成。区画内に縦位部輪の2段R L単節縷文を施文 | KB3 b5① x4 | |
| TP504 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 煎茶文を施文 | KB3 b5① x8 | |
| TP505 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による2段L R・R L単節縷文を斜交に施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP506 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 竹管状工具による斜交文を施文 | KB3 b5① x3 | |
| TP507 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母 | 黄緑 | 普通 | 3本単位の沈線文で直状のモチーフを垂下。地文は縦位部輪の煎茶文を施文 | KB3 b5① x4 | |
| TP508 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による斜交文を施文 | KB3 b5① x6 | |
| TP509 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 煎茶文を施文 | KB3 b5① x8 | |
| TP510 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.9) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 塊層と直線による交互斜交文を垂下。2本単位の沈線文を垂下。地文は2段L R単節縷文を施文 | KB3 c1① KB3 c1② | |
| TP511 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部縷文。2・3本単位の沈線で区画を形成。区画内に縦位部輪の2段L R単節縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP512 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 口縁部縷文。2本単位の沈線で区画を形成。区画内に縦位部輪の2段L R単節縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP513 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 木目状煎茶文を施文 | KB3 c1① | |
| TP514 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 縦位部輪の2段R L単節縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP515 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 1段L無節縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP516 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | 暗緑 | 普通 | 沈線で区画を形成。2本単位の沈線を伴う磨り消し層を垂下。縦・横位部輪の付加縷文を施文 | KB3 c1①13層 | |
| TP517 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 褐 | 普通 | 塊層と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。区画内に縦位部輪の3段L R L複節縷文を施文 | KB3 c1① x18 | |
| TP518 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を激波状に構位・重層施文 | KB3 c1①209層 | |
| TP519 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 半籠竹管状工具による平行沈線文を直状・縦歯状に構位施文。地文は斜位部輪の2段R L単節縷文を施文 | KB3 c1① x26 | |
| TP520 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 3・4本単位の櫛歯文を構位施文 | KB3 c1①210層 | |
| TP521 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 幾何学的な細線縷文を施文。外・内面糸縷文 | KB3 c1①209層 | |
| TP522 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 半籠竹管状工具による平行沈線文・内刻斜交文。地文は縦位部輪の2段L R単節縷文を施文 | KB3 c1①234層 | |
| TP523 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | に灰漬 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を直状・縦歯状に構位・重層施文 | KB3 c1① | |
| TP524 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 塊層と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し層を垂下。3段L R L複節縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP525 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明緑 | 普通 | 押捺を加えた塊層を垂下。地文は縦位部輪工具による縦位の糸縷文を施文 | KB3 c1① | |
| TP526 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 押捺を加えた塊層を垂下。地文は縦位部輪工具による縦位の糸縷文を施文 | KB3 c1① | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------------|------|----|---|---------------|----|
| TP527 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を多方向に施文 | KB3 c1②234層 | |
| TP528 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 総縁起線文・斜行沈線文を施文 外・内面無文 | KB3 c1②209層 | |
| TP529 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 暗赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による平行沈線文を縦・横位及び縦横状に施文 地文は間欠文を施文 | KB3 c1②209層 | |
| TP530 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 櫛歯状工具による縦位の条線文を施文 | KB3 c1②x1 | |
| TP532 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 縦位回転の反転の縞L Lカ | KB3 c2② | |
| TP533 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で楕円形区画を形成 沈線に伴う磨り消し帯を垂下 斜位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2② | |
| TP534 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画・溝帯状のモチーフを形成 区画内に斜位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2②x13 | |
| TP535 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 口縁部彫文 括弧部に連続斜交文を施す 以下に5本単位の櫛歯状工具による条線文を施文 | KB3 c2②x1 | |
| TP536 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯状工具による条線文を施文 口縁部彫文に交差帯を施す | KB3 c2② | |
| TP537 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐色 | 普通 | 付加条線文を羽状構成に施文 | KB3 c2② | |
| TP538 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 無文 沈線文を施す | KB3 c2②x1 | |
| TP539 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文で遊状のモチーフを提出 地文は縦位回転の粗く短多層L Lを施文 | KB3 c2② | |
| TP540 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 筋のある段帯の縞線文を深状に施文 | KB3 c2②x25・29 | |
| TP542 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横位回転の1段L L単筋縞文・5字状結節文を施文 | KB3 c2②x25 | |
| TP543 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の断続する櫛歯文を横位・縦筋縞文 | KB3 c2②x26 | |
| TP544 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・斜行状に施文 | KB3 c2②x27 | |
| TP545 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 縦・斜位の沈線文を施す 外・内面無文 | KB3 c2②x25 | |
| TP546 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2② | |
| TP547 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2②x3 | |
| TP548 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 押捺を加えた溝帯を縦・横位に転行して貼付 地文は粗く間欠文を施文 | KB3 c2② | |
| TP549 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2②x3 | |
| TP550 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐色 | 普通 | 2段L R・R L単筋縞文を羽状構成に施文 | KB3 c2② | |
| TP551 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰褐色 | 普通 | 突起を伴う注口部を有す 注口部下位の左右に4本単位の櫛歯文を斜位施文 2段L R単筋縞文を施文 | KB3 c2② | |
| TP552 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.0) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 横帯と沈線で溝帯状のモチーフを提出 | KB3 c2②x7 | |
| TP553 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を垂下 地文は縦位の粗帯文を施文 | KB3 c2②x21 | |
| TP554 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線文・連続する弧状の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c2②x21 | |
| TP555 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 6本単位の櫛歯状工具による条線文を転行して垂下 | KB3 c2②x1 | |
| TP556 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 横位回転の2段L L単筋縞文 以下に筋のある段帯の縞線文を施文 | KB3 c2② | |
| TP557 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 櫛歯状工具による条線文を垂下 | KB3 c2②x9 | |
| TP558 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線に伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP559 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を輪状に横位・縦筋縞文2方向からの穿孔 孔径0.4・0.5mm | KB3 c3③ | |
| TP560 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で区画を形成 区画内に沈線に伴う溝帯を深状に施す 地文は2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP561 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画・溝帯状のモチーフを形成 区画内に横位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③27層 | |
| TP562 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部彫文 半截竹管状工具による斜交文を施す 沈線に伴う磨り消し帯を垂下 2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP563 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画・溝帯状のモチーフを形成 区画内に横位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP564 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画・5字状のモチーフを形成 | KB3 c3③ | |
| TP565 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線に伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP566 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画・溝帯状のモチーフを形成 | KB3 c3③ | |
| TP567 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による屈折沈線文を施す 地文は間欠文を施文 | KB3 c3③208層 | |
| TP568 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 沈線文を垂下 以下に櫛歯状工具による条線文を施す | KB3 c3③ | |
| TP569 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線文を施す 地文は縦位回転の2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP570 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線による楕円形区画を形成 区画内に横位・縦位のモチーフを施文 磨り消し帯を縦・横位に施す | KB3 c3③ | |
| TP571 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 筋文帯以下に2本の沈線文を施す 横帯と沈線で楕円形区画を形成 2段L L単筋縞文を施文 | KB3 c3③ | |
| TP572 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙褐色 | 普通 | 横帯と沈線で楕円形区画を形成 無文 | KB3 c4②x1 | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|-----|-------------|-----|----|---|--------------|------|
| TP573 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP574 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP575 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面を形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ x3 | |
| TP576 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP577 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP578 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP579 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。区画内に椀蓋状工具による系線文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP580 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP581 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。太い沈線、磨り消し線を器下 3段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4④ | |
| TP582 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 太い斜行沈線文を器下 口縁部内面に突帯を施す | KB3 c4⑤ | |
| TP583 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 6・7本単位の縦線文を波状に横位・重層施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP584 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し線を縦・横位に施す。区画内に縦位の回転の 3段 L 単節縄文を施文 | KB3 c4② | |
| TP585 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赭 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP586 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 器外文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP587 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 無文。沈線を施す | KB3 c4⑤ x6 | |
| TP588 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 交互斜突による連続の十字状文を施す。2本単位の沈線文や質状のモチーフを器下。地文は器外文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP589 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明黄褐 | 普通 | 口縁部外側 平瀬竹炭状工具による沈線文を器下に施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP590 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成 | KB3 c4⑤ | |
| TP591 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 斜突文を器下。3本単位の沈線文を器下。区画内に縦位の回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ x6 | |
| TP592 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文を器下。地文は器外文を施文 | KB3 c4⑤ x13 | |
| TP593 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.1) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 口縁部に刺目。沈線文を施す。以下に椀蓋状工具による器外文を施す | KB3 c4⑤ x9 | |
| TP594 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 筒状帯を器下。2方向からの穿孔。孔径 0.5-1.2cm | KB3 c4⑤ | |
| TP595 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 扇形凹文を器下 | KB3 c4⑤ x12 | |
| TP596 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4② | |
| TP597 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP598 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面を形成。区画内に多方向の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP599 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。区画内に多方向の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP600 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.1) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 筋のある段縁の縦線文を波状に施文 | KB3 c4④ | PL51 |
| TP601 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 沈線を器下。以下に椀蓋状工具による系線文を器下 | KB3 c4⑤ | |
| TP602 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 瓠輪と沈線を器下。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c4⑤ | |
| TP603 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 4・5本単位の縦線文を曲線的に施文 | KB3 c4⑤ x12 | |
| TP604 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (2.2) | 8.9 | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 無文。底部木葉痕 | KB3 c4⑤ | |
| TP605 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.1) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c5② | |
| TP606 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 筋のある段縁の縦線文を波状に施文 | KB3 c5⑤ | |
| TP607 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面を形成。沈線を伴う磨り消し線を器下。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 c5② | |
| TP609 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 d1① x32 | |
| TP610 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 d1① | |
| TP611 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 瓠輪と沈線で構内凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し線を器下 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 d1① | |
| TP612 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 d1① x11他 | |
| TP613 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し線を器下。縦位回転の 2段 R L 単節縄文を施文 | KB3 d1① | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|----------|------|----|--|--------------|----|
| TP614 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。付加糸織文を施文 | KB3 d1① | |
| TP615 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 4本単位の縦線文を曲線的に施文 | KB3 d1① | |
| TP616 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。縦・斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d2① x 23 | |
| TP617 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。2段R1単部織文を施文 | KB3 d2① | |
| TP618 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を縦・横位に帯らす。地文は煎糸文を施文 | KB3 d2① | |
| TP619 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を斜行して帯下。地文は縦位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d2① | |
| TP620 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 大1斜行沈線文を帯下。詰め部に押線を加えた隆帯を帯らす | KB3 d2① | |
| TP621 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は縦位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d2① | |
| TP622 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d2① | |
| TP625 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。縦・横位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP626 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.8) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 縦・斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP627 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で樽形凹面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。縦位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP628 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。区面に縦位回転の凹文・斜糸R1を施文 | KB3 d3① | |
| TP629 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (5.8) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 外面無文。内2本の沈線を帯らす | KB3 d3① | |
| TP630 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 胎のある凹部の縦線文を深文に施文 | KB3 d3① x 24 | |
| TP631 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文・円形刺突文を施文。地文は煎糸文を施文 | KB3 d3① x 15 | |
| TP632 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を深文に帯らす。地文は煎糸文を施文 | KB3 d3① | |
| TP633 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面・渦巻状のモチーフを形成 | KB3 d3① | |
| TP634 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面を形成。区面に縦位回転の3段R1単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP635 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は縦位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP636 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は縦位回転の1段L単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP637 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は縦位回転の3段R1単部織文を施文 | KB3 d3① x 11 | |
| TP638 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縦位回転の1段R単部織文を施文 | KB3 d3① | |
| TP640 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 沈線で渦巻状のモチーフを帯出。赤彩 | KB3 d3① x 15 | |
| TP641 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面を形成。隆帯上に刺突文。区面に縦位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d3① x 11 | |
| TP642 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 結節文カ | KB3 d3① x 23 | |
| TP643 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.0) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による結節文を施文。地文は煎糸文を施文 | KB3 d3① x 14 | |
| TP644 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.1) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。2段L1単部織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP645 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は煎糸文を施文 | KB3 e2① | |
| TP646 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | にんげい | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。縦・斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP647 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。2段L1単部織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP648 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。2段R1単部織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP649 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成 | KB3 d4① | |
| TP650 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に沈線文・縦線状工具による糸織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP651 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.3) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 横状把手。沈線を帯らす | KB3 d4① | |
| TP652 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 縦位回転の1段L単部織文・S字状凹部文を施文 | KB3 d4① x 17 | |
| TP653 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.2) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。地文は縦・横位回転の3段R1単部織文を施文 | KB3 d4① | |
| TP654 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 押線を加えた隆帯を帯下。地文は縦線状工具による糸織文を施文 | KB3 d2① x 14 | |
| TP655 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区面を形成。沈線を伴う磨り消し帯を帯下。縦・斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d5① | |
| TP656 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で樽形凹面を形成。縦・斜位回転の2段R1単部織文を施文 | KB3 d5① | |
| TP657 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.4) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文・平行凹部文・凹部刺突文を施文 | KB3 d5① x 1 | |
| TP658 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | にんげい | 普通 | 半截竹管状工具による2本単位の押し引き文を帯出。縦位に施文 | KB3 e1① x 37 | |
| TP659 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 棒状工具による多方向の沈線文。2方角からの穿孔。孔径0.5-1.0cm | KB3 e1① x 32 | |
| TP660 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 棒状工具による多方向の沈線文。2方角からの穿孔。孔径0.5-1.0cm | KB3 e1① x 37 | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|--------|------|----|----|----------|----|-------------|------|----|---|------------------|----|
| T P661 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.2) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐色 | 普通 | 照然文を施文 | K B 3 e2⑤ x 31 | |
| T P662 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・燧石 | 橙 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3① | |
| T P663 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3② | |
| T P664 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は照然文を施文 | K B 3 e3③ | |
| T P665 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に縦帯・区画を形成 | K B 3 e3④ | |
| T P666 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線を伴う磨り消し押を直状に施す。地文は照然文を施文 | K B 3 e3⑤ | |
| T P667 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。渦巻状のモチーフを形成。区画内に椀形区画の対角文を施文 | K B 3 e3⑥ | |
| T P668 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に堦帯・区画を形成 | K B 3 e3⑦ | |
| T P669 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑧ | |
| T P670 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑨ x 21 | |
| T P671 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 沈線で椀形区画・渦巻状のモチーフを形成。区画内に縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑩ | |
| T P672 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。区画内に縦位回転の3段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑪ | |
| T P673 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.2) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画・渦巻状のモチーフを形成。縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑫ | |
| T P674 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の沈線が施す。地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑬ x 24 | |
| T P675 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e3⑭・⑮ | |
| T P676 | 縄文土器 | 浅鉢 | - | (5.5) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 2本単位の沈線文を施す。渦巻状のモチーフを施す。以下無文 | K B 3 e3⑯ | |
| T P677 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 堦帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。以下無文 | K B 3 e3⑰ x 22 | |
| T P678 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・燧石 | 黄褐色 | 普通 | 堦帯状工具による縦帯の集合沈線文・筋のある段帯の縦線文を施文 | K B 3 e3⑱ x 24 | |
| T P679 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。2段R L単部縄文を施文 | K B 3 e4① | |
| T P680 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線による椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は筋々段帯並立しを施文 | K B 3 e4② | |
| T P681 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 沈線による椀形区画を形成。2本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は筋々段帯並立しを施文 | K B 3 e4③ | |
| T P682 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明黄褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で区画を形成。区画内に縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a2① x 9 | |
| T P683 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a3① | |
| T P684 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a3② | |
| T P685 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a3③/447層 | |
| T P686 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。以下無文 | K C 2 a4① | |
| T P687 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.5) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a5①/474層 | |
| T P688 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に堦帯と沈線で区画を形成 | K C 2 a5② x 21 | |
| T P689 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・燧石 | 明褐色 | 普通 | 2本単位の椀部文を直状・コンパ尺状に構位・重層施文 | K C 2 a5③ x 30 | |
| T P690 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 半鋸片管状工具による沈線文を重状に施す。口縁部内面に交差を施す | K C 2 a5④ | |
| T P691 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.2) | - | 長石・石英・燧石 | 沁灰褐色 | 普通 | 結節文 | K C 2 a5⑤/455 a層 | |
| T P692 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.8) | - | 長石・石英・雲母 | 沁灰褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 a5⑥ | |
| T P693 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は多方向の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b1① | |
| T P694 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に椀部状工具による無状文を施す | K C 2 b1② | |
| T P695 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 3本単位の断続する椀部文を構位・重層施文 | K C 2 b1③ x 8 | |
| T P696 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は縦帯状工具による無状文を施文 | K C 2 b1④ | |
| T P697 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.6) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b2① | |
| T P698 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。以下に縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b2② | |
| T P699 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文。堦帯で区画を形成。堦帯帯縁は磨り消す。地文は縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b2③ | |
| T P700 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b3① | |
| T P701 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・燧石 | 明赤褐色 | 普通 | 2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b3② | |
| T P702 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。地文は2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b3③ | |
| T P703 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 堦帯と沈線で椀形区画を形成。沈線を伴う磨り消し押を施す。縦位回転の2段R L単部縄文を施文 | K C 2 b3④ | |

| 番号 | 種別 | 種類 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|----------|----|--------------------|------|----|--|---------------|----|
| TF704 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.0) | - | 長石・石英・雲母 に深い赤褐色 | 普通 | 普通 | 口縁部無文 沈線文と刺突文を巡らす 以下に沈線で楕円形区画を形成 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b3① | |
| TF706 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 普通 | 普通 | 竹管状工具による内形刺突文 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文 | KC 2 b3① | |
| TF707 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 多方向の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b3① | |
| TF708 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画を形成 縦・横位の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b4① | |
| TF709 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b4① | |
| TF710 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で方形区画を形成 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文 半籠竹管状工具による刺突文 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文 | KC 2 b4① x 15 | |
| TF711 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b4① x 16 | |
| TF712 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b5① | |
| TF713 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文 沈線で方形区画を形成 縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b5① | |
| TF714 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 未目録刺突文を施文 | KC 2 b5① | |
| TF715 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 円形の刺突文と沈線文を巡らす 沈線に伴う磨り消し磨で楕円形区画を形成 2段R L単節縄文を施文 | KC 2 b5① x 22 | |
| TF716 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.0) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰褐色 | 普通 | 半籠竹管状工具による結節沈線文・竹管状工具による内形刺突文を巡らす 地文は刺突文を施文 | KC 2 b5① x 24 | |
| TF717 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.0) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 無文 隆帯を巡らす | KC 2 c2① x 1 | |
| TF718 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 地文は前記多糸R Lを施文 | KC 2 c3① | |
| TF719 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部無文 以下に縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 c4① | |
| TF720 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縞線状工具による条線文を垂下 | KC 2 c4① | |
| TF721 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.6) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 2 c4① | |
| TF722 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 磨り消し磨・蛇行沈線文を垂下 2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF723 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF724 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 横位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF725 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF726 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で区画を形成 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF727 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.3) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 縦位回転の付加刺突文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF728 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 沈線で渦巻状のモチーフを形成 | KC 3 a1① | |
| TF729 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部刻み目 沈線文を巡らす 以下に沈線を伴う磨り消し磨を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① x 7 | |
| TF730 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 地文は縞線状工具による条線文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF731 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.3) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部刻み目 半籠竹管状工具による沈線文を弧状に施文 | KC 3 a1① x 2 | |
| TF732 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 半籠竹管状工具による沈線文を垂下 | KC 3 a1① | |
| TF733 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明黄褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 多方向の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a1① | |
| TF734 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 渦巻状で渦巻状のモチーフを形成 | KC 3 a1① | |
| TF735 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・横位の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a2① | |
| TF736 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a2① | |
| TF737 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内短沈線文を施文 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 | KC 3 a2① 274層 | |
| TF738 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内短沈線文を施文 沈線を伴う磨り消し磨を垂下 | KC 3 a2① | |
| TF739 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 4本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a2① | |
| TF740 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し磨を垂下 地文は縞線状工具による条線文を施文 | KC 3 a2① | |
| TF741 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に条状工具による條線文を施文 | KC 3 a2① | |
| TF742 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.1) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 隆帯上に半籠竹管状工具による刺突文を連続する 地文は単節縄文を施文 | KC 3 a2① x 23 | |
| TF743 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐色 | 普通 | 口縁部無文 沈線で内形・方形区画を形成 区画内に縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a3① | |
| TF744 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐色 | 普通 | 口縁部無文 沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦位回転の2段R L単節縄文を施文 | KC 3 a3① | |
| TF745 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.0) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐色 | 普通 | 口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画を形成 縞線状工具による条線文を施文 | KC 3 a3① | |
| TF746 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 太い沈線文を弧状に施文 口縁部内面に刺突文を巡らす | KC 3 a3① x 3 | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------------|------|----|---|-----------------------|----|
| TP747 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.0) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 2本単位の上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦位回転の3段L R L 単節縄文を施文 | KC3 a3③ | |
| TP749 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (17.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 隆帯と上縁で区画・渦巻状のモチーフを形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 2段R L 単節縄文を施文 | KC3 a4③ | |
| TP750 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.2) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に5本単位の櫛歯状工具による条線文を縦位施文 | KC3 a4④ x1・2 | |
| TP751 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 口縁部無文 上縁文を帯下 以下に斜位回転の2段L L 単節縄文を施文 | KC3 a4④ x1 | |
| TP752 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.5) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 隆帯と上縁で区画・渦巻状のモチーフを形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 a4④ | |
| TP753 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文 上縁文を帯下 以下に多方向の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 a5③ | |
| TP754 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 隆帯を以て、櫛歯状のモチーフを形成 隆帯帯は磨り消し 多方向の斜位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 a5③ | |
| TP755 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.7) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に斜位回転の2段L R 単節縄文を施文 | KC3 a5③ | |
| TP756 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と上縁で櫛歯状区画を形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦・横位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 a5④ | |
| TP757 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 押縁を加えた隆帯を帯下 地文は深い上縁文を縦位施文 | KC3 a5⑤ | |
| TP759 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (20.8) | - | 長石・石英・雲母 | 明黄褐 | 普通 | 隆帯を以て、櫛歯状区画を形成 縦位回転の2段R L 単節縄文・櫛歯状工具による条線文を施文 | KC3 b1① | |
| TP760 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に櫛歯状工具による条線文を施文 | KC3 b1① | |
| TP761 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 隆帯と上縁で櫛歯状区画を形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦・横位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 b1① | |
| TP763 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 隆帯と上縁で方形区画・渦巻状のモチーフを形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 3段L R L 単節縄文を施文 | KC3 b1① | |
| TP764 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.6) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 以下に櫛歯状工具による条線文を施文 | KC3 b1① | |
| TP765 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.6) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 隆帯と上縁で渦巻状のモチーフを形成 | KC3 b1① | |
| TP766 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の上縁文を帯下 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦位回転の2段L L 単節縄文を施文 | KC3 b1① | |
| TP767 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 上縁で櫛歯状区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は縦位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 b1① | |
| TP768 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.2) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 隆帯と上縁で方形区画を形成 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 縦位回転の2段L L 単節縄文を施文 | KC3 b2① | |
| TP769 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部無文 上縁文を帯下 以下に2段R 単節縄文・櫛歯状工具による条線文を縦位施文 | KC3 b2① | |
| TP770 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.2) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 隆帯帯で渦巻状のモチーフを形成 | KC3 b2② | |
| TP771 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.4) | - | 長石・石英・雲母 | 赤褐 | 普通 | 隆帯帯で渦巻状のモチーフを形成 外・内面赤彩 | KC3 b2② x17, ③ x22 | |
| TP772 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に櫛歯状工具による条線文を縦位施文 | KC3 b3②/275皿 | |
| TP773 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.0) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 地文は縦・横位回転の2段L L 単節縄文を施文 2段内から内面L 5段7・9段 | KC3 b3③ | |
| TP775 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.6) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 1段L 単節縄文を施文 | KC3 b4③ | |
| TP776 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.4) | - | 長石・石英・雲母 | 黄褐 | 普通 | 櫛歯状工具による内形刺突文を帯下 磨り消し帯で自給的なモチーフを帯下 多方向の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 b4④ | |
| TP777 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.5) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯と上縁で櫛歯状区画・渦巻状のモチーフを形成 磨り消し帯を帯下 2段R L 単節縄文を施文 | KC3 c1① | |
| TP778 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.9) | - | 長石・石英・雲母 | 明褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に隆帯と上縁で櫛歯状区画 地文は縦位回転の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 c1① | |
| TP779 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰褐色 | 普通 | 竹筴状工具による内形刺突文を施文 | KC3 c1② x20 | |
| TP780 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.9) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 隆帯帯と上縁で渦巻状のモチーフを形成 地文は多方向の2段L L 単節縄文を施文 | KC3 c1① | |
| TP781 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 上縁を伴う磨り消し帯を帯下 自給的な地文 地文は多方向の2段R L 単節縄文を施文 | KC3 c2① | |
| TP782 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (11.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 口縁部無文 以下に半環状管状工具による平行状線文を縦位施文 | KC3 c2① | |
| TP783 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 隆帯帯で渦巻状のモチーフを形成 隆帯帯は磨り消し 地文は多方向の2段L 単節縄文を施文 | KC3 c3① | |
| TP784 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.8) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細い隆帯上に刻み筋 細線刺線文・内形刺突文を施文 外・内面赤彩 | KC3 c3② x22 | |
| TP785 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 半輪軸全体5輪・縦目状刺突文を施文 | KA 2 d5⑨/90匱 | |
| TP786 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 口縁部刻み筋 上縁文を斜め格子状に施文 外・内面赤彩 | KA 2 d5⑩/327皿 | |
| TP787 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.6) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 2・3本単位の櫛歯文を渦波状に横位・重層施文 | KA 2 d5⑪/115皿, ⑫/112皿 | |
| TP788 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 外・内面赤彩 | KA 2 e3① | |
| TP789 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 櫛歯文・内形竹筴文を施文 | KA 2 e3② x3 | |
| TP790 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.7) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細線刺線文・上縁文を施文 外・内面赤彩 | KA 2 e3③ x6 | |
| TP791 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (7.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰褐色 | 普通 | 波溝部にボタン状の陥付文 内形刺突文・2本単位の櫛歯文を渦波状に縦位施文 | KA 2 e5⑫ x3, ⑬/14皿 | |
| TP793 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 筋のある貝殻の線文を施文 | KA 2 e5⑬/112皿 | |
| TP794 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.6) | - | 長石・石英・雲母 | に灰褐色 | 普通 | 口縁部刻み筋 2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文 | KA 2 e5⑭ x3 | |
| TP796 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 細線刺線文を施文 外・内面赤彩 | KA 2 e5⑮ x3 | |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|------------|----|----|-------------|-----|----|--|----------------------|------|
| Tp797 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 付加彩縄文を縦状線文に施文 | KA 2 e5③313層 | |
| Tp798 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KA 2 e5③107層 | |
| Tp799 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 短い縄文上に刻み目 短い斜行沈線文・縄文側面直紋文を施文 | KA 2 e5③363層 | |
| Tp800 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐 | 普通 | 半乾竹管状工具による3本単位の押し引き文を施文 | KA 3 b1①x1 | |
| Tp801 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 櫛歯文を格子状に施文 | KA 3 c2③132層 | |
| Tp802 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部刻み目 外・内面赤褐色文 | KA 3 c2③123層 | |
| Tp803 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 照赤文を施文 | KA 3 c2③103層 | |
| Tp804 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 口縁部刻み目 幾何学的な沈線文を施文 | KA 3 d1③x13 | |
| Tp805 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 1段のR無節縄文を施文 | KA 3 d3③123層 | |
| Tp806 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 半乾竹管状工具による基部沈線文で曲線的なモチーフを形成 | KA 3 d3③x16、 ③x12 | |
| Tp807 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 斜行沈線文・縄文側面直紋文を施文 | KA 3 d3③159層 | |
| Tp808 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細線起線文・沈線文を施文 外・内面赤褐色文 2方向からの穿孔 孔径0.6-0.9mm | KA 3 d3③92層 | |
| Tp809 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・波状に横位施文 波部間に凹眼 | KA 3 d3③123層 | |
| Tp810 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 口縁部刻み目 外・内面赤褐色文 | KA 3 d3③92層 | |
| Tp811 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 2-4本単位の櫛歯文を縦・横位施文 | KA 3 d3③144層 | |
| Tp812 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 細線起線文を施文 外・内面赤褐色文 | KA 3 d3③92層 | |
| Tp813 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細線起線文・沈線文を施文 外・内面赤褐色文 | KA 3 d3③159層 | |
| Tp814 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 口縁部刻み目 細線起線文・沈線文を施文 外・内面赤褐色文 | KA 3 d4③x5 | |
| Tp815 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 縄文側面直紋文を施文 半輪結帯体第5層、網目状照赤文を施文 | KA 3 e2③x22 | |
| Tp816 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 短い縄文上に刻み目 短い沈線文・縄文側面直紋文を施文 | KA 3 e5③x5 | |
| Tp817 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を波状線文に横位・重層施文 | KB 2 b2③x10、 ③x9 | |
| Tp819 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 褐 | 普通 | 半乾竹管状工具による斜交文を施文 地文は2段R・L半節縄文を縦状に施文 | KB 2 b3③ | |
| Tp820 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 交互斜交による連続的の字状文を施文 皮線文で真状のモチーフを抽出 地文は照赤文を施文 | KB 2 b4③ | |
| Tp821 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 口縁部刻み目 半乾竹管状工具による平行沈線文を縦位施文 | KB 2 b4③x14 | |
| Tp822 | 縄文土器 | 深鉢 | - (20.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 磨り消し帯を波状・連続状に施文 地文は縦位回転の2段R半節縄文を施文 | KB 2 b4③ | |
| Tp823 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 棒状工具による円形斜交文を縦位施文 2-4本単位の櫛歯文を横位施文 | KB 2 b4③x11 | |
| Tp824 | 縄文土器 | 深鉢 | - (2.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 刻み目を加えた平行沈線文・三角文を施文 | KB 2 b4③x13 | |
| Tp825 | 縄文土器 | 深鉢 | - (10.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に3本単位の沈線を直状・波状に施文 地文は斜交反照力 | KB 2 b5③ | |
| Tp826 | 縄文土器 | 深鉢 | - (9.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 押捺を加えた湾曲帯を斜行 半乾竹管状工具による沈線文を縦状に施文 口縁部内面に突帯を施文 | KB 2 b5③735層 | |
| Tp827 | 縄文土器 | 深鉢 | - (10.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部無文 以下に2-3本単位の沈線で湾曲状のモチーフを形成 地文は斜交反照力 | KB 2 b5③ | |
| Tp828 | 縄文土器 | 深鉢 | - (7.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・波状に横位施文 地文は2段R・L半節縄文を施文 | KB 2 b5③735層 | |
| Tp829 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.4) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 竹管状工具による円形斜交文を縦位施文 平行沈線文を斜位施文 | KB 2 b5③x21 | |
| Tp830 | 縄文土器 | 深鉢 | - (3.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 口縁部刻み目 口縁部に指輪による押捺を加えた湾曲帯を施文 以下に3本単位の櫛歯文を横位施文 | KB 2 b5③x22 | |
| Tp831 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 細線起線文・沈線文・斜交文を施文 外・内面赤褐色文 | KB 2 b5③732層 | |
| Tp832 | 縄文土器 | 深鉢 | - (5.7) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明褐 | 普通 | 短い縄文上に刻み目 短い沈線文・縦手状の縄文側面直紋文を施文 | KB 2 b5③732層 | |
| Tp833 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 2本単位の櫛歯文を直状・波状に横位・重層施文 | KB 2 b5③x25 | |
| Tp835 | 縄文土器 | 深鉢 | - (6.3) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 橙 | 普通 | 細線起線文・沈線文・斜交文を施文 外・内面赤褐色文 | KB 2 c3③x16 | |
| Tp836 | 縄文土器 | 深鉢 | - (4.8) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | に灰漬 | 普通 | 平行沈線文を施文 以下に半輪結帯体第5層、網目状照赤文を施文 波部間に凹眼 | KB 2 d3③x21 | |
| Tp837 | 縄文土器 | 深鉢 | - (12.0) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 湾曲と沈線で横円形区画 湾曲状のモチーフを形成 磨り消し帯を施文 2段R・L半節縄文を施文 | KB 2 e2③ | |
| Tp838 | 縄文土器 | 深鉢 | - (10.9) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 照赤文を施文 | KB 3 a1③ | |
| Tp839 | 縄文土器 | 深鉢 | - (8.2) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による円形斜交文 3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 | KB 3 a1③ | |
| Tp840 | 縄文土器 | 深鉢 | - (18.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明黄褐 | 普通 | 5本単位の櫛歯文を直状・連続状に横位・重層施文 | KB 3 a1③ | PL51 |
| Tp842 | 縄文土器 | 深鉢 | - (15.1) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 赤褐 | 普通 | 湾曲と沈線で横円形区画 湾曲状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を施文 2段R・L半節縄文を施文 | KB 3 a2③ | |
| Tp843 | 縄文土器 | 深鉢 | - (16.5) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 3本単位の沈線文を施文 地文は縦位回転の2段R・L半節縄文を施文 | KB 3 a3③ | |
| Tp844 | 縄文土器 | 深鉢 | - (13.6) | - | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄褐 | 普通 | 木目状照赤文を施文 | KB 3 a4③ | PL51 |

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 文様の特徴ほか | 出土位置 | 備考 |
|-------|------|----|----|--------|----|-------------|-----|----|--|--------------|----|
| TP845 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.4) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄緑 | 普通 | 約2段多層L R、2段L R単節縹文を羽状構成に施文。2方向からの穿孔。孔径0.9-1.3cm | KB3 a4① | |
| TP846 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (16.3) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明緑 | 普通 | 1、2本単位の縹文を多方向に施文。2方向からの穿孔。孔径0.7-0.8cm | KB3 a4② | |
| TP847 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黄緑 | 普通 | 沈線文を斜め格子状に施文 | KB3 a5① | |
| TP848 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (4.5) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 2本単位の縹文を螺旋状に施す。漆塗面に雉形の子午線を施す。2段L R単節縹文を施文。沈線を伴う磨り消し帯を施す。地文は縦位回転2段L R単節縹文を施文 | KB3 c18 x 24 | |
| TP849 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.3) | - | 長石・石英・雲母 | 褐灰 | 普通 | 縹文を伴う磨り消し帯を施す。地文は縦位回転2段L R単節縹文を施文 | KB3 d1① | |
| TP850 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 明赤褐 | 普通 | 竹管状工具による円形刺突文・半截竹管状工具による結節沈線文・平行沈線文を施文 | KB3 d1② x 27 | |
| TP852 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (13.3) | - | 長石・石英・雲母 | 明赤褐 | 普通 | 魂帯と沈線で雉形凹区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を施す。付加糸縹文を施文 | KB3 d3① | |
| TP853 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (14.8) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 魂帯と沈線で雉形凹区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を施す。3段L R単節縹文を施文 | KB3 d4① | |
| TP854 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.6) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 魂帯と沈線で雉形凹区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を施す。2段L R単節縹文を施文 | KB3 e1① | |
| TP855 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.4) | - | 長石・石英・雲母 | 暗灰黄 | 普通 | 縹文面直積文を施文。地文は1段L R単節縹文を施文 | KB3 e2① x 30 | |
| TP856 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.2) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 口縁部再施。半截竹管状工具による刺突文を横位施文 | KB3 e2② x 1 | |
| TP857 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (3.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 黒褐 | 普通 | 口縁部刻み目。半截竹管状工具による平行沈線文・刺突文を施文。外・内面縹文 | KB3 e2③ x 34 | |
| TP859 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (6.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施す | KB3 e3① x 4 | |
| TP860 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (8.9) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐 | 普通 | 魂帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。区画内に2段L R単節縹文を施文 | KB3 e3② | |
| TP861 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (15.7) | - | 長石・石英・雲母 | 橙 | 普通 | 沈線を伴う磨り消し帯を施す。地文は縦位回転1段L R単節縹文を施文 | KC 2 a2① | |
| TP862 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (10.5) | - | 長石・石英・雲母 | 暗赤褐 | 普通 | 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を施す。地文は2段L R単節縹文を施文 | KC 2 a3① | |
| TP863 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.9) | - | 長石・石英・雲母 | 黒褐 | 普通 | 魂帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。区画内に2段L R単節縹文を施文 | KC 2 a3② | |
| TP864 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (12.4) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 口縁部縹文。沈線で雉形凹区画を形成。区画内に縹文・横位回転の2段L R単節縹文を施文 | KC 2 a4① | |
| TP865 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (18.8) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 沈線で雉形凹区画を形成。沈線を伴う磨り消し帯を施す。地文は2段L R単節縹文を施文。沈線を伴う磨り消し帯を施す。地文は縦位回転の2段L R単節縹文を施文 | KC 2 a5① | |
| TP867 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (19.2) | - | 長石・石英・雲母 | 灰褐色 | 普通 | 口縁部縹文。沈線で雉形凹区画を形成。区画内に縹文・横位回転の2段L R単節縹文を施文 | KC 2 b5① | |
| TP868 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (9.1) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施す。付加縹文・2段L R単節縹文を羽状構成に施文。半截竹管状工具による結節沈線文を施す。2段L R単節縹文を羽状構成に施文 | 同層黄土 | |
| TP869 | 縄文土器 | 深鉢 | - | (5.9) | - | 長石・石英・雲母・燧石 | 灰黄褐 | 普通 | 半截竹管状工具による結節沈線文を施す。付加縹文・2段L R単節縹文を羽状構成に施文 | 同層黄土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ 径 | 幅 厚さ | 厚さ 厚さ | 切込み 孔径 | 重量 | 出土位置 |
|------|------------|---------|---------|----------|-----------|------|---------------|
| DP1 | 土器片鏢 | 4.1 | 3.2 | 1.3 | 3.8 | 21.2 | KA 3 e3③ x 1 |
| DP2 | 土器片円鏢 | 4.0 | 4.0 | 1.1 | - | 18.1 | KA 3 e3④ x 1 |
| DP3 | 土器片鏢 | 4.4 | 4.2 | 1.2 | 4.0 | 27.8 | KA 3 e2⑤ |
| DP4 | 土器片鏢 | 2.6 | 2.3 | 1.1 | 2.2 | 9.2 | KA 2 c3⑥ x 2 |
| DP5 | 土器片鏢 | 4.3 | 4.0 | 1.1 | 3.6 | 23.2 | KB 2 a4⑦ x 3 |
| DP6 | 土器片鏢 | 3.7 | 2.6 | 1.0 | 3.1 | 9.4 | KB 2 a4⑧①314層 |
| DP7 | 土器片鏢 炭材 | 5.5 | 3.2 | 1.5 | - | 28.5 | KB 2 a5⑨ x 3 |
| DP8 | 土器片鏢 | 3.4 | 3.2 | 1.3 | 2.9 | 14.7 | KB 2 a5⑩ x 6 |
| DP9 | 土器片鏢 | 2.5 | 2.3 | 1.1 | 2.2 | 6.8 | KB 2 b2⑪ x 3 |
| DP10 | 土器片鏢 | 4.0 | 2.6 | 1.0 | 3.7 | 13.2 | KB 2 b3⑫⑬346層 |
| DP11 | 土器片鏢 | 4.3 | 2.7 | 1.2 | 3.9 | 14.5 | KB 2 b4⑭ x 2 |
| DP12 | 土器片鏢 | 3.5 | 3.2 | 0.8 | 3.2 | 12.4 | KB 2 b4⑮ x 15 |
| DP13 | 土器片鏢 | 2.6 | 2.6 | 1.0 | 2.5 | 7.2 | KB 2 b5⑯⑰465層 |
| DP14 | 土器片鏢 | 4.1 | 3.2 | 1.0 | 3.6 | 13.9 | KB 2 c5⑱788層 |
| DP15 | 土器片鏢 | 4.0 | 2.4 | 1.3 | 3.6 | 11.7 | KB 2 c5⑲ x 2 |
| DP16 | 土器片鏢 | 3.4 | 2.3 | 1.1 | 3.2 | 11.9 | KB 2 c5⑳ x 3① |
| DP17 | 土器片鏢 | 9.0 | 6.0 | 1.2 | 8.5 | 82.7 | KB 2 d2⑳ x 6 |
| DP18 | 土器片鏢 | 6.2 | 4.1 | 1.2 | 5.8 | 32.7 | KB 2 d2㉑ x 6 |
| DP19 | 土器片鏢 | 5.0 | 4.5 | 1.2 | 4.3 | 21.1 | KB 2 d2㉒ x 6 |
| DP20 | 土器片鏢 | 4.8 | 4.1 | 1.2 | 4.3 | 31.4 | KB 2 d2㉓ x 2 |
| DP21 | 土器片鏢 | 4.1 | 3.6 | 1.1 | 3.4 | 17.8 | KB 2 d2㉔ x 5 |

| 番号 | 種別 | 長さ 径 | 幅 厚さ | 厚さ 厚さ | 切込み 孔径 | 重量 | 出土位置 |
|------|-------|---------|---------|----------|-----------|------|----------------|
| DP22 | 土器片鏢 | 3.8 | 3.2 | 0.8 | 3.4 | 12.4 | KB 2 d3⑳450層 |
| DP23 | 土器片鏢 | 2.9 | 3.3 | 1.1 | 2.4 | 11.5 | KB 2 d3㉑509層 |
| DP24 | 土器片鏢 | 3.8 | 2.5 | 1.3 | 3.5 | 13.7 | KB 2 d3㉒ |
| DP25 | 土器片鏢 | 4.7 | 3.1 | 1.2 | 4.1 | 18.5 | KB 2 d3㉓⑬433層 |
| DP26 | 土器片鏢 | 4.5 | 3.3 | 0.8 | 4.3 | 16.7 | KB 2 d4㉔ x 2 |
| DP27 | 土器片鏢 | 4.8 | 3.4 | 1.2 | 4.2 | 24.2 | KB 2 d4㉕⑱ x 13 |
| DP28 | 土器片鏢 | 2.6 | 2.5 | 1.2 | 2.4 | 8.7 | KB 2 d4㉖ x 7 |
| DP29 | 土器片鏢 | 4.0 | 4.0 | 1.0 | 3.8 | 21.7 | KB 2 d4㉗ x 4 |
| DP30 | 土器片鏢 | 5.0 | 4.4 | 1.0 | 4.4 | 21.8 | KB 2 e1㉘ x 4 |
| DP31 | 土器片鏢 | 3.3 | 2.9 | 0.9 | 3.0 | 11.5 | KB 2 e1㉙ x 6 |
| DP32 | 土器片円鏢 | 6.5 | 5.9 | 1.2 | - | 59.8 | KB 2 e2㉚ |
| DP33 | 土器片鏢 | 4.8 | 3.7 | 0.7 | 4.5 | 16.3 | KB 2 e2㉛ x 3 |
| DP34 | 土器片鏢 | 3.2 | 2.8 | 1.1 | 3.2 | 12.2 | KB 2 e2㉜ x 1 |
| DP35 | 土器片鏢 | 3.2 | 2.6 | 1.3 | 2.8 | 13.9 | KB 2 e2㉝ x 3 |
| DP36 | 土器片鏢 | 3.5 | 2.4 | 0.9 | 3.2 | 7.8 | KB 2 e2㉞ x 3 |
| DP37 | 土器片鏢 | 5.5 | 4.1 | 1.6 | 5.1 | 48.2 | KB 2 e3㉟ x 15 |
| DP38 | 土器片鏢 | 5.1 | 4.0 | 1.0 | 4.6 | 23.1 | KB 2 e3㊱ x 2 |
| DP39 | 土器片鏢 | 4.4 | 3.5 | 1.1 | 4.0 | 22.5 | KB 2 e3㊲ x 12 |
| DP40 | 土器片鏢 | 4.9 | 3.3 | 1.1 | 4.4 | 18.2 | KB 2 e3㊳ x 15 |
| DP41 | 土器片鏢 | 4.2 | 3.6 | 0.8 | 3.7 | 17.2 | KB 2 e3㊴ x 1 |
| DP42 | 土器片鏢 | 6.7 | 6.1 | 1.4 | 6.1 | 56.7 | KB 2 e3㊵ |

| 番号 | 種別 | 長さ/径 | 幅/厚さ | 厚さ/孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|------|-------|------|------|-------|----------|------|---------------|
| DP44 | 土器片鏝 | 5.9 | 4.2 | 1.3 | 5.2 | 31.9 | KB 2 e41 496層 |
| DP45 | 土器片鏝 | 3.0 | 3.2 | 1.1 | 2.5 | 11.4 | KB 2 e51 x14 |
| DP46 | 土器片鏝 | 3.2 | 2.7 | 0.9 | 2.9 | 10.5 | KB 2 e51 x4 |
| DP47 | 土器片鏝 | 5.4 | 5.2 | 1.4 | 4.8 | 26.8 | KB 2 e51 274層 |
| DP48 | 土器片鏝 | 4.4 | 3.0 | 0.7 | 3.8 | 14.9 | KB 2 e51 x15 |
| DP49 | 土器片鏝 | 4.0 | 2.4 | 0.8 | 3.6 | 10.8 | KB 2 e51 x14 |
| DP50 | 土器片鏝 | 4.2 | 2.9 | 1.2 | 3.8 | 17.2 | KB 2 e51 904層 |
| DP51 | 土器片鏝 | 3.6 | 3.1 | 0.9 | 3.3 | 13.6 | KB 2 e51 x9 |
| DP54 | 土器片円盤 | 2.4 | 2.1 | 0.9 | - | 4.2 | KB 3 a41 172層 |
| DP55 | 土器片鏝 | 3.4 | 3.4 | 0.9 | 3.1 | 11.9 | KB 3 a51 x4 |
| DP56 | 土器片鏝 | 2.3 | 2.3 | 0.9 | 2.0 | 5.6 | KB 3 b111 |
| DP57 | 土器片鏝 | 7.2 | 6.3 | 1.0 | 6.9 | 55.4 | KB 3 b21 x17 |
| DP58 | 土器片鏝 | 3.2 | 2.8 | 1.1 | 2.8 | 11.6 | KB 3 b21 x19 |
| DP59 | 土器片鏝 | 4.2 | 3.9 | 1.0 | 4.0 | 22.3 | KB 3 b41 41層 |
| DP60 | 土器片鏝 | 3.6 | 3.1 | 0.9 | 3.1 | 13.8 | KB 3 b41 x8 |
| DP61 | 土器片鏝 | 3.5 | 3.2 | 0.9 | 3.0 | 12.3 | KB 3 b41 x4 |
| DP62 | 土器片鏝 | 3.5 | 3.1 | 0.8 | 3.1 | 12.6 | KB 3 b41 7層 |
| DP63 | 土器片鏝 | 3.8 | 2.9 | 1.1 | 3.6 | 13.0 | KB 3 b41 44層 |
| DP64 | 土器片鏝 | 2.9 | 2.7 | 1.1 | 2.5 | 8.9 | KB 3 b41 x9 |
| DP65 | 土器片鏝 | 5.2 | 6.3 | 1.3 | 4.8 | 45.9 | KB 3 b51 x1 |
| DP66 | 土器片鏝 | 2.5 | 2.6 | 0.9 | 2.2 | 8.3 | KB 3 b51 x3 |
| DP67 | 土器片鏝 | 4.2 | 2.9 | 1.2 | 3.7 | 17.9 | KB 3 c11 x4 |
| DP68 | 土器片鏝 | 3.9 | 3.3 | 1.1 | 3.4 | 15.3 | KB 3 c11 x10 |
| DP69 | 土器片鏝 | 4.6 | 2.7 | 1.1 | 4.2 | 15.8 | KB 3 c11 x2 |
| DP70 | 土器片鏝 | 2.6 | 2.7 | 0.9 | 2.2 | 7.2 | KB 3 c11 x4 |
| DP71 | 土器片鏝 | 2.5 | 2.4 | 0.8 | 2.3 | 6.1 | KB 3 c11 x10 |
| DP72 | 土器片鏝 | 8.2 | 6.0 | 1.3 | 7.6 | 62.0 | KB 3 c21 x10 |
| DP73 | 土器片鏝 | 6.5 | 5.0 | 1.1 | 5.8 | 30.8 | KB 3 c21 |
| DP74 | 土器片鏝 | 4.4 | 4.0 | 0.9 | 3.8 | 17.4 | KB 3 c21 x8 |
| DP75 | 土器片鏝 | 4.5 | 3.2 | 1.4 | 4.1 | 18.9 | KB 3 c21 x6 |
| DP76 | 土器片鏝 | 2.6 | 2.7 | 0.9 | 2.2 | 9.1 | KB 3 c21 x3 |
| DP77 | 土器片鏝 | 2.5 | 2.1 | 0.9 | 2.3 | 6.7 | KB 3 c21 x2 |
| DP78 | 土器片鏝 | 4.3 | 3.5 | 1.0 | 3.8 | 16.5 | KB 3 b41 x19 |
| DP79 | 土器片鏝 | 7.7 | 4.7 | 1.3 | 7.0 | 52.8 | KB 3 c31 26層 |
| DP80 | 土器片鏝 | 3.8 | 3.3 | 1.1 | 3.5 | 18.9 | KB 3 c31 x7 |
| DP81 | 土器片鏝 | 3.8 | 3.3 | 0.9 | 3.2 | 15.1 | KB 3 c31 x20 |
| DP82 | 土器片鏝 | 4.3 | 2.9 | 0.8 | 3.9 | 10.7 | KB 3 c31 x16 |
| DP83 | 土器片鏝 | 3.4 | 2.9 | 0.9 | 3.2 | 10.2 | KB 3 c31 x9 |
| DP84 | 土器片鏝 | 4.8 | 3.8 | 1.3 | 4.5 | 23.3 | KB 3 c41 x17 |
| DP85 | 土器片鏝 | 4.2 | 3.2 | 0.9 | 3.8 | 15.8 | KB 3 c41 |
| DP86 | 土器片鏝 | 4.6 | 3.0 | 0.9 | 4.1 | 13.8 | KB 3 c41 x7 |
| DP87 | 土器片鏝 | 4.4 | 3.6 | 0.8 | 3.9 | 12.1 | KB 3 c41 x7 |
| DP88 | 土器片鏝 | 3.5 | 3.2 | 0.9 | 3.3 | 13.8 | KB 3 c41 x12 |
| DP89 | 土器片鏝 | 3.6 | 2.7 | 0.9 | 3.4 | 11.4 | KB 3 c41 x5 |
| DP90 | 土器片鏝 | 3.3 | 2.7 | 1.0 | 3.0 | 10.7 | KB 3 c41 x7 |
| DP91 | 土器片鏝 | 3.4 | 2.6 | 0.9 | 2.6 | 8.9 | KB 3 c41 x5 |
| DP92 | 土器片鏝 | 2.5 | 2.3 | 0.7 | 2.1 | 4.9 | KB 3 c41 x7 |

| 番号 | 種別 | 長さ/径 | 幅/厚さ | 厚さ/孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-------------|------|-------|----------|---------------|----------------|
| DP93 | 土器片鏝 | 3.5 | 2.9 | 1.0 | 3.1 | 12.1 | KB 3 c51 42層 |
| DP94 | 土器片鏝 | 4.5 | 3.4 | 1.0 | 4.1 | 18.8 | KB 4 b11 x1 |
| DP95 | 土器片鏝 | 3.8 | 3.6 | 1.0 | 3.4 | 16.8 | KB 3 d11 x9 |
| DP96 | 土器片鏝 | 3.2 | 2.8 | 0.8 | 2.6 | 9.1 | KB 3 d11 x9 |
| DP98 | 土器片鏝 | 2.9 | 3.4 | 1.2 | 2.7 | 14.1 | KB 3 d21 x21 |
| DP99 | 土器片鏝 | 3.3 | 2.9 | 1.2 | 2.9 | 13.2 | KB 3 d31 x15 |
| DP100 | 土器片鏝 | 4.4 | 3.2 | 1.1 | 4.0 | 15.0 | KB 3 d31 一括 |
| DP101 | 土器片鏝 | 2.8 | 2.5 | 0.8 | 2.3 | 7.1 | KB 3 d3 |
| DP102 | 土器片鏝 | 3.3 | 2.7 | 0.8 | 3.0 | 9.8 | KB 3 d3 |
| DP103 | 土器片鏝 | 3.2 | 2.6 | 0.7 | 2.8 | 7.8 | KB 3 d31 x12 |
| DP104 | 土器片円盤 | 3.7 | 3.6 | 0.9 | - | 13.0 | KB 3 d31 x10 |
| DP105 | 土器片鏝 | 4.1 | 4.4 | 0.9 | 3.3 | 16.3 | KB 3 d41 x12 |
| DP106 | 土器片鏝 | 4.3 | 4.0 | 1.2 | 3.8 | 25.0 | KB 3 d41 212層 |
| DP107 | 土器片鏝 | 4.9 | 4.1 | 1.1 | 4.1 | 19.4 | KB 3 d41 x2 |
| DP108 | 土器片鏝 | 5.3 | 3.1 | 1.1 | 4.6 | 21.4 | KB 3 d41 242層 |
| DP109 | 土器片鏝 | 4.8 | 3.3 | 1.0 | 4.2 | 15.2 | KB 3 d41 x1 |
| DP110 | 土器片鏝 | 3.9 | 3.4 | 1.0 | 3.4 | 12.0 | KB 3 d41 x3 |
| DP111 | 土器片鏝 | 3.3 | 3.1 | 1.3 | 2.7 | 15.7 | KB 3 d41 232層 |
| DP112 | 土器片円盤 | (4.7 x 2.7) | 0.9 | - | (11.9) | KB 3 e41 | |
| DP113 | 土器片鏝 | 5.2 | 6.0 | 1.3 | 4.7 | 53.5 | KC 2 a21 x10 |
| DP114 | 土器片鏝 | 4.9 | 4.3 | 1.0 | 4.6 | 25.9 | KC 2 a31 446層 |
| DP115 | 土器片鏝 | 4.5 | 3.9 | 1.0 | 3.9 | 18.1 | KC 2 a31 445層 |
| DP116 | 土器片鏝 | 4.3 | 3.6 | 1.1 | 4.0 | 19.4 | KC 2 a31 411層 |
| DP117 | 土器片鏝 | 4.2 | 2.8 | 0.9 | 3.9 | 15.3 | KC 2 a31 1003層 |
| DP118 | 土器片鏝 | 3.1 | 2.8 | 0.9 | 2.9 | 10.0 | KC 2 a31 408層 |
| DP119 | 土器片円盤 | (5.7 x 3.7) | 1.2 | - | (21.1) | KC 2 a31 410層 | |
| DP120 | 土器片円盤 | (4.8 x 2.7) | 1.5 | - | (17.7) | KC 2 a31 411層 | |
| DP122 | 土器片鏝 | 6.3 | 5.8 | 1.2 | 5.7 | 54.3 | KC 2 a51 408層 |
| DP123 | 土器片鏝 | 5.3 | 4.3 | 1.1 | 4.9 | 31.6 | KC 2 a51 479層 |
| DP124 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.6 | 1.0 | - | 7.5 | KC 2 a51 x9 |
| DP125 | 土器片鏝 | 8.5 | 5.7 | 1.1 | 7.5 | 60.3 | KC 2 b111 |
| DP126 | 土器片鏝 | 4.9 | 3.9 | 1.1 | 4.6 | 28.6 | KC 2 b111 x5 |
| DP127 | 土器片鏝 | 9.1 | 7.7 | 1.5 | 8.2 | 93.6 | KC 2 b21 |
| DP128 | 土器片鏝 | 8.0 | 4.2 | 0.9 | 7.5 | 43.2 | KC 2 b21 |
| DP129 | 土器片鏝 | 5.9 | 5.9 | 1.1 | 5.6 | 47.2 | KC 2 b31 x9 |
| DP130 | 土器片鏝 | 5.7 | 4.9 | 1.2 | 5.3 | 33.2 | KC 2 b31 x9 |
| DP131 | 土器片鏝 | 5.2 | 4.9 | 1.3 | 4.6 | 37.3 | KC 2 b31 x12 |
| DP132 | 土器片鏝 | 5.7 | 4.2 | 1.1 | 5.0 | 32.6 | KC 2 b31 x9 |
| DP133 | 土器片鏝 | 5.0 | 4.1 | 1.0 | 4.4 | 22.0 | KC 2 b31 x10 |
| DP134 | 土器片鏝 | 6.3 | 3.8 | 1.2 | 5.3 | 29.6 | KC 2 b31 x7 |
| DP135 | 土器片鏝 | 5.4 | 4.0 | 1.0 | 5.0 | 21.9 | KC 2 b31 x6 |
| DP136 | 土器片鏝 | 4.9 | 3.7 | 1.0 | 4.4 | 17.2 | KC 2 b31 x7 |
| DP137 | 土器片鏝 | 4.0 | 4.0 | 0.8 | 3.6 | 16.9 | KC 2 b31 x9 |
| DP138 | 土器片鏝 | 4.4 | 3.0 | 1.0 | 3.9 | 17.5 | KC 2 b31 x4 |
| DP139 | 土器片鏝 | 4.3 | 2.9 | 1.3 | 3.9 | 17.5 | KC 2 b31 x5 |
| DP140 | 土器片鏝 | 3.6 | 3.0 | 1.1 | 3.0 | 12.3 | KC 2 b31 x7 |
| DP141 | 土器片鏝 | 3.1 | 2.9 | 1.0 | 2.6 | 10.6 | KC 2 b31 x11 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚隔 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-----------|--------|---------|-----------|--------------|--------------|
| DP142 | 土器片円盤 | 5.0 | 5.0 | 1.7 | - | (33.8) | KC 2 b3⑦ |
| DP143 | 土器片円盤 | 4.0 | 4.1 | 1.0 | - | 22.6 | KC 2 b3⑦ x3 |
| DP144 | 土器片円盤 | 3.8 | 3.7 | 0.9 | - | 13.1 | KC 2 b3⑦ |
| DP145 | 土器片円盤 | 4.9 X 1.4 | 0.8 | - | (7.5) | KC 2 b3⑦ x12 | |
| DP146 | 土器片円盤 | 4.2 X 1.7 | 0.9 | - | (7.9) | KC 2 b3⑦ x10 | |
| DP147 | 土器片円盤 | 4.6 | 4.6 | 1.2 | 4.0 | 33.7 | KC 2 b4⑧ x18 |
| DP148 | 土器片円盤 | 3.8 | 3.6 | 1.0 | 3.3 | 19.0 | KC 2 b4⑧ x18 |
| DP149 | 土器片円盤 | 3.2 | 3.0 | 0.9 | - | 10.3 | KC 2 b4⑧ x11 |
| DP150 | 土器片円盤 | 7.6 | 6.3 | 1.3 | 7.0 | 64.5 | KC 2 b5⑨ x21 |
| DP151 | 土器片円盤 | 6.2 | 6.2 | 1.3 | 5.7 | 53.7 | KC 2 b5⑨ x19 |
| DP152 | 土器片円盤 | 7.0 | 4.9 | 0.8 | 6.1 | 39.7 | KC 2 b5⑨ x13 |
| DP153 | 土器片円盤 | 5.8 | 4.8 | 0.9 | 4.7 | 33.6 | KC 2 b5⑨ x15 |
| DP154 | 土器片円盤 | 3.7 | 2.3 | 1.0 | 3.4 | 11.4 | KC 2 b5⑨ x19 |
| DP155 | 土器片円盤 | 3.5 | 3.5 | 0.9 | - | 12.6 | KC 2 b5⑨ x15 |
| DP156 | 土器片円盤 | 3.3 | 3.3 | 1.0 | - | 14.0 | KC 2 b5⑨ x14 |
| DP157 | 土器片円盤 | 4.6 X 1.8 | 1.0 | - | (11.3) | KC 2 b5⑨ x15 | |
| DP158 | 土器片円盤 | 3.9 X 2.1 | 1.0 | - | (8.8) | KC 2 b5⑨ x15 | |
| DP159 | 土器片円盤 | 4.4 | 4.7 | 1.1 | - | 26.8 | KC 2 c2⑩ |
| DP160 | 土器片円盤 | 3.7 | 3.7 | 0.8 | - | 14.3 | KC 2 c2⑩ |
| DP161 | 土器片円盤 | 7.6 | 6.3 | 1.3 | 7.0 | 60.6 | KC 2 c4⑪ |
| DP163 | 土器片円盤 | 10.2 | 6.0 | 1.3 | 9.5 | 87.6 | KC 3 a1⑫ x10 |
| DP164 | 土器片円盤 | 9.1 | 4.9 | 1.5 | 8.5 | 63.2 | KC 3 a1⑫一拵 |
| DP165 | 土器片円盤 | 6.8 | 4.8 | 0.9 | 6.0 | 49.3 | KC 3 a1⑫ x19 |
| DP166 | 土器片円盤 | 6.6 | 5.2 | 1.4 | 5.7 | 41.5 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP167 | 土器片円盤 | 6.3 | 5.5 | 1.0 | 5.6 | 48.7 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP168 | 土器片円盤 | 6.0 | 5.3 | 1.5 | 5.5 | 33.0 | KC 3 a1⑫ x17 |
| DP169 | 土器片円盤 | 5.7 | 5.3 | 1.3 | 5.1 | 39.3 | KC 3 a1⑫ x8 |
| DP170 | 土器片円盤 | 6.2 | 4.2 | 1.5 | 5.7 | 44.5 | KC 3 a1⑫ x15 |
| DP171 | 土器片円盤 | 6.3 | 3.3 | 1.2 | 5.8 | 26.4 | KC 3 a1⑫ x17 |
| DP172 | 土器片円盤 | 5.6 | 4.1 | 1.3 | 4.9 | 34.1 | KC 3 a1⑫ |
| DP173 | 土器片円盤 | 5.1 | 4.2 | 1.2 | 4.6 | 29.9 | KC 3 a1⑫ x10 |
| DP174 | 土器片円盤 | 4.5 | 4.2 | 1.1 | 4.0 | 23.3 | KC 3 a1⑫ x16 |
| DP175 | 土器片円盤 | 4.9 | 3.9 | 1.0 | 4.2 | 19.5 | KC 3 a1⑫ x7 |
| DP176 | 土器片円盤 | 4.3 | 3.4 | 0.8 | 4.0 | 16.0 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP177 | 土器片円盤 | 4.7 | 3.8 | 1.2 | 4.4 | 19.2 | KC 3 a1⑫ x14 |
| DP178 | 土器片円盤 | 4.2 | 3.0 | 1.3 | 3.9 | 19.3 | KC 3 a1⑫ x14 |
| DP179 | 土器片円盤 | 4.5 | 3.7 | 0.9 | 3.9 | 19.3 | KC 3 a1⑫ x13 |
| DP180 | 土器片円盤 | 4.0 | 3.2 | 0.9 | 3.4 | 13.6 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP181 | 土器片円盤 | 3.8 | 3.2 | 1.0 | 3.5 | 12.0 | KC 3 a1⑫ x1 |
| DP182 | 土器片円盤 | 3.7 | 3.2 | 1.0 | 3.3 | 16.1 | KC 3 a1⑫ x1 |
| DP183 | 土器片円盤 | 3.9 | 2.9 | 0.9 | 3.5 | 12.8 | KC 3 a1⑫ x18 |
| DP184 | 土器片円盤 | 4.8 | 3.0 | 1.1 | 4.1 | 18.9 | KC 3 a1⑫一拵 |
| DP185 | 土器片円盤 | 4.1 | 2.9 | 1.3 | 3.8 | 16.8 | KC 3 a1⑫ x16 |
| DP186 | 土器片円盤 | 3.5 | 3.4 | 0.9 | 3.1 | 12.4 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP187 | 土器片円盤 | 4.4 | 2.7 | 0.9 | 3.7 | 12.5 | KC 3 a1⑫ x16 |
| DP188 | 土器片円盤 | 3.7 | 2.7 | 0.9 | 3.3 | 14.2 | KC 3 a1⑫ x1 |
| DP189 | 土器片円盤 | 3.1 | 2.6 | 1.0 | 2.8 | 9.7 | KC 3 a1⑫ x13 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚隔 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-----------|--------|---------|-----------|--------------|---------------|
| DP190 | 土器片円盤 | 3.1 | 3.0 | 0.9 | 2.8 | 11.2 | KC 3 a1⑫ x14 |
| DP191 | 土器片円盤 | 2.9 | 2.5 | 0.9 | 2.5 | 8.5 | KC 3 a1⑫ x14 |
| DP192 | 土器片円盤 | 2.8 | 2.8 | 0.9 | 2.4 | 6.5 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP193 | 土器片円盤 | 3.2 | 2.7 | 0.8 | 3.0 | 7.1 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP194 | 土器片円盤 | 2.5 | 3.4 | 0.8 | 1.9 | 8.7 | KC 3 a1⑫ x9 |
| DP195 | 土器片円盤 | 2.1 | 2.9 | 1.1 | 1.7 | 7.9 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP196 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.2 | 0.8 | 2.4 | 6.0 | KC 3 a1⑫ x12 |
| DP197 | 土器片円盤 | 2.9 | 2.1 | 0.6 | 2.4 | 4.8 | KC 3 a1⑫ x7 |
| DP198 | 土器片円盤 | 2.4 | 2.1 | 1.2 | 1.9 | 8.7 | KC 3 a1⑫ x16 |
| DP199 | 土器片円盤 | 2.9 | 1.8 | 0.8 | 2.4 | 4.6 | KC 3 a1⑫ x8 |
| DP200 | 土器片円盤 | 5.6 | 3.6 | 1.6 | 5.3 | 39.2 | KC 3 a1⑫ x20 |
| DP201 | 土器片円盤 | 4.4 | 4.4 | 0.9 | 3.8 | 20.4 | KC 3 a1⑫ x17 |
| DP202 | 土器片円盤 | 5.6 | 3.6 | 1.1 | 5.0 | 24.2 | KC 3 a1⑫ x6 |
| DP203 | 土器片円盤 | 2.3 | 2.0 | 0.8 | 2.0 | 4.4 | KC 3 a1⑫ x10 |
| DP204 | 土器片円盤 | 4.4 | 4.4 | 0.9 | - | 19.6 | KC 3 a1⑫ x11 |
| DP205 | 土器片円盤 | 3.5 | 3.5 | 0.9 | - | 12.6 | KC 3 a1⑫ x3 |
| DP206 | 土器片円盤 | 4.3 X 2.2 | 0.8 | - | (7.7) | KC 3 a1⑫ x11 | |
| DP207 | 土器片円盤 | 3.4 X 1.9 | 1.0 | - | (6.9) | KC 3 a1⑫ | |
| DP208 | 土器片円盤 | 3.1 X 1.7 | 0.6 | - | (3.5) | KC 3 a1⑫ x11 | |
| DP210 | 土器片円盤 | 8.9 | 6.8 | 1.7 | 8.0 | 73.2 | KC 3 a2⑬ 57㊦ |
| DP211 | 土器片円盤 | 5.6 | 5.9 | 1.4 | 4.9 | 47.3 | KC 3 a2⑬ 55㊦ |
| DP212 | 土器片円盤 | 8.7 | 4.1 | 1.6 | 8.3 | 63.1 | KC 3 a2⑬ 27㊦ |
| DP213 | 土器片円盤 | 6.0 | 4.2 | 1.2 | 5.4 | 36.3 | KC 3 a2⑬ 7㊦ |
| DP214 | 土器片円盤 | 6.1 | 4.3 | 0.8 | 6.0 | 26.9 | KC 3 a2⑬ 55㊦ |
| DP215 | 土器片円盤 | 5.4 | 5.4 | 1.2 | 4.8 | 32.5 | KC 3 a2⑬ 22㊦ |
| DP216 | 土器片円盤 | 5.3 | 4.2 | 1.5 | 4.5 | 48.5 | KC 3 a2⑬ |
| DP217 | 土器片円盤 | 5.6 | 3.9 | 1.3 | 5.0 | 35.4 | KC 3 a2⑬ x12 |
| DP218 | 土器片円盤 | 4.9 | 4.2 | 1.6 | 4.3 | 35.8 | KC 3 a2⑬ x1 |
| DP219 | 土器片円盤 | 4.6 | 3.5 | 1.3 | 4.3 | 23.6 | KC 3 a2⑬ x2 |
| DP220 | 土器片円盤 | 4.5 | 4.0 | 1.1 | 4.2 | 22.2 | KC 3 a2⑬ x2 |
| DP221 | 土器片円盤 | 5.3 | 2.9 | 0.9 | 4.9 | 15.9 | KC 3 a2⑬ 27㊦ |
| DP222 | 土器片円盤 | 4.4 | 3.5 | 1.0 | 3.7 | 18.2 | KC 3 a2⑬ x14 |
| DP223 | 土器片円盤 | 4.5 | 3.8 | 1.0 | 4.2 | 20.0 | KC 3 a2⑬ x17 |
| DP224 | 土器片円盤 | 4.2 | 3.2 | 0.8 | 3.7 | 15.5 | KC 3 a2⑬ 264㊦ |
| DP225 | 土器片円盤 | 4.4 | 3.7 | 1.1 | 3.6 | 18.6 | KC 3 a2⑬ 53㊦ |
| DP226 | 土器片円盤 | 4.4 | 3.4 | 1.1 | 3.8 | 18.4 | KC 3 a2⑬ x17 |
| DP227 | 土器片円盤 | 4.3 | 4.2 | 2.2 | 3.9 | 28.7 | KC 3 a2⑬ x5 |
| DP228 | 土器片円盤 | 3.8 | 3.4 | 1.2 | 3.4 | 17.3 | KC 3 a2⑬ x13 |
| DP229 | 土器片円盤 | 3.6 | 3.7 | 0.7 | 3.1 | 12.7 | KC 3 a2⑬ x6 |
| DP230 | 土器片円盤 | 3.9 | 3.2 | 0.9 | 3.3 | 14.2 | KC 3 a2⑬ 65㊦ |
| DP231 | 土器片円盤 | 3.6 | 3.4 | 1.0 | 3.4 | 13.9 | KC 3 a2⑬ x6 |
| DP232 | 土器片円盤 | 3.0 | 2.5 | 1.0 | 2.5 | 8.2 | KC 3 a2⑬ 56㊦ |
| DP233 | 土器片円盤 | 3.7 | 2.1 | 1.0 | 3.4 | 9.2 | KC 3 a2⑬ x22 |
| DP234 | 土器片円盤 | 3.3 | 2.6 | 1.1 | 2.9 | 9.8 | KC 3 a2⑬ 66㊦ |
| DP235 | 土器片円盤 | 3.0 | 2.2 | 0.9 | 2.8 | 6.6 | KC 3 a2⑬ x3 |
| DP236 | 土器片円盤 | 3.4 | 3.2 | 0.8 | 2.9 | 10.3 | KC 3 a2⑬ 27㊦ |
| DP237 | 土器片円盤 | 3.6 | 3.6 | 1.1 | - | 16.8 | KC 3 a2⑬ 263㊦ |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|------------|-----------|--------|---------|----------|------------|-------------|
| DP238 | 土器片苜盤 | 3.4 | 3.3 | 0.8 | - | 13.2 | KC3 a2①64層 |
| DP239 | 土器片苜盤 | 6.0 | 6.0 | 1.0 | - | 46.6 | KC3 a2① |
| DP240 | 土器片苜盤 | 5.4 X 2.8 | 0.8 | - | (13.3) | KC3 a2② | |
| DP241 | 土器片苜盤 | 3.9 X 1.9 | 1.0 | - | (6.8) | KC3 a2②66層 | |
| DP242 | 土器片苜盤 | 3.0 (1.6) | 0.8 | - | (4.2) | KC3 a2②65層 | |
| DP245 | 土器片鉢 | 7.6 | 5.6 | 0.9 | 6.3 | 46.0 | KC3 a3① x7 |
| DP246 | 土器片鉢 | 6.8 | 5.1 | 1.0 | 6.1 | 36.5 | KC3 a3① x15 |
| DP247 | 土器片鉢 | 5.5 | 5.6 | 1.0 | 4.5 | 40.4 | KC3 a3① x11 |
| DP248 | 土器片鉢 | 6.0 | 4.3 | 1.1 | 5.5 | 30.3 | KC3 a3① x5 |
| DP249 | 土器片鉢 | 5.4 | 4.3 | 0.9 | 4.6 | 25.2 | KC3 a3① x16 |
| DP250 | 土器片鉢 | 4.9 | 4.1 | 1.2 | 4.3 | 34.7 | KC3 a3① x7 |
| DP251 | 土器片鉢 | 4.4 | 4.1 | 1.1 | 3.9 | 28.6 | KC3 a3① x5 |
| DP252 | 土器片鉢 | 5.1 | 3.6 | 1.2 | 4.4 | 28.2 | KC3 a3① x11 |
| DP253 | 土器片鉢 | 4.8 | 3.9 | 1.1 | 4.3 | 23.7 | KC3 a3① x5 |
| DP254 | 土器片鉢 | 4.3 | 3.7 | 1.0 | 3.8 | 20.8 | KC3 a3① x10 |
| DP255 | 土器片鉢 | 4.4 | 3.7 | 0.9 | 3.9 | 19.5 | KC3 a3① x17 |
| DP256 | 土器片鉢 | 4.7 | 4.0 | 1.0 | 3.8 | 24.5 | KC3 a3① x6 |
| DP257 | 土器片鉢 | 4.9 | 3.9 | 1.0 | 4.4 | 22.7 | KC3 a3① x3 |
| DP258 | 土器片鉢 | 4.4 | 4.0 | 1.4 | 3.9 | 25.0 | KC3 a3① x2 |
| DP259 | 土器片鉢 蓋鉢 | 4.6 | 3.1 | 1.1 | - | 21.8 | KC3 a3① x7 |
| DP260 | 土器片鉢 | 4.1 | 3.2 | 0.9 | 3.5 | 15.7 | KC3 a3① |
| DP261 | 土器片鉢 | 3.7 | 3.7 | 1.1 | 3.4 | 20.1 | KC2 a5②404層 |
| DP262 | 土器片鉢 | 4.5 | 2.7 | 1.2 | 3.8 | 15.2 | KC3 a3① x8 |
| DP263 | 土器片鉢 | 3.7 | 3.0 | 1.6 | 3.4 | 17.9 | KC3 a3① x17 |
| DP264 | 土器片鉢 | 3.8 | 3.0 | 1.2 | 3.5 | 16.6 | KC3 a3① x7 |
| DP265 | 土器片鉢 | 3.4 | 3.0 | 1.1 | 2.9 | 14.3 | KC3 a3① x4 |
| DP266 | 土器片鉢 | 3.5 | 3.0 | 1.1 | 2.6 | 13.8 | KC3 a3① x18 |
| DP267 | 土器片鉢 | 3.5 | 2.8 | 1.1 | 3.2 | 13.9 | KC3 a3① x18 |
| DP268 | 土器片鉢 | 3.1 | 3.7 | 1.1 | 2.4 | 14.5 | KC3 a3① x3 |
| DP269 | 土器片鉢 | 3.6 | 3.2 | 0.8 | 3.0 | 11.3 | KC3 a3① x4 |
| DP270 | 土器片苜盤 | 6.0 | 6.1 | 1.2 | - | 46.1 | KC3 a3① x5 |
| DP271 | 土器片苜盤 | 5.0 | 5.0 | 1.0 | - | 35.9 | KC3 a3① |
| DP272 | 土器片苜盤 | 5.2 | 5.3 | 1.0 | - | 25.8 | KC3 a3①-底 |
| DP273 | 土器片苜盤 | 4.5 | 4.9 | 1.4 | - | 35.4 | KC3 a3① x4 |
| DP274 | 土器片苜盤 | 3.8 | 4.1 | 1.0 | - | 15.9 | KC3 a3① x3 |
| DP275 | 土器片苜盤 | 3.0 | 3.2 | 1.1 | - | 11.5 | KC3 a3① x11 |
| DP276 | 土器片苜盤 | 2.9 | 3.0 | 1.2 | - | 12.0 | KC3 a3① x2 |
| DP277 | 土器片苜盤 | 2.7 | 2.9 | 0.8 | - | 8.8 | KC3 a3① |
| DP278 | 土器片苜盤 | 2.6 | 2.8 | 0.9 | - | 7.1 | KC3 a3① x18 |
| DP279 | 土器片苜盤 | 7.2 X 3.6 | 1.5 | - | (42.2) | KC3 a3① x5 | |
| DP280 | 土器片苜盤 | 4.6 X 2.2 | 0.8 | - | (9.0) | KC3 a3① x6 | |
| DP281 | 土器片苜盤 | 4.6 X 2.1 | 0.8 | - | (6.5) | KC3 a3① | |
| DP282 | 土器片鉢 | 6.6 | 5.6 | 1.3 | 5.2 | 52.1 | KC3 a3① x9 |
| DP283 | 土器片鉢 | 4.4 | 3.3 | 1.0 | 3.8 | 18.2 | KC3 a3① x9 |
| DP284 | 土器片鉢 | 3.4 | 2.7 | 1.0 | 3.0 | 11.4 | KC3 a3① x9 |
| DP285 | 土器片苜盤 | 4.8 | 4.8 | 1.2 | - | 31.6 | KC3 a3① x11 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-----------|--------|---------|----------|------------|-------------|
| DP286 | 土器片鉢 | 9.2 | 9.1 | 1.4 | 7.8 | (29.3) | KC3 a4①80層 |
| DP287 | 土器片鉢 | 8.7 | 6.5 | 1.7 | 7.5 | 54.3 | KC3 a4① x1 |
| DP288 | 土器片鉢 | 6.9 | 4.7 | 1.7 | 5.7 | 58.2 | KC3 a4① x11 |
| DP289 | 土器片鉢 | 8.1 | 4.6 | 1.5 | 7.2 | 66.7 | KC3 a4①79層 |
| DP290 | 土器片鉢 | 6.9 | 4.3 | 1.4 | 6.3 | 38.1 | KC3 a4① x6 |
| DP291 | 土器片鉢 | 6.6 | 3.4 | 1.2 | 5.9 | 29.8 | KC3 a4① x6 |
| DP292 | 土器片鉢 | 5.3 | 4.9 | 1.1 | 5.0 | 25.9 | KC3 a4① x1 |
| DP293 | 土器片鉢 | 4.8 | 3.5 | 1.1 | 4.3 | 22.1 | KC3 a4①62層 |
| DP294 | 土器片鉢 | 3.9 | 4.0 | 0.8 | 3.4 | 17.2 | KC3 a4①80層 |
| DP295 | 土器片鉢 | 4.9 | 3.1 | 1.2 | 4.2 | 16.2 | KC3 a4① x4 |
| DP296 | 土器片鉢 | 5.2 | 3.6 | 1.2 | 4.9 | 24.4 | KC3 a4① x1 |
| DP297 | 土器片鉢 | 4.7 | 3.3 | 1.3 | 4.0 | 21.8 | KC3 a4①64層 |
| DP298 | 土器片鉢 | 4.3 | 4.1 | 1.1 | 3.7 | 15.3 | KC3 a4①76層 |
| DP299 | 土器片鉢 | 4.6 | 3.1 | 0.8 | 4.1 | 15.6 | KC3 a4① |
| DP300 | 土器片鉢 | 4.1 | 3.3 | 1.1 | 3.5 | 19.1 | KC3 a4① x15 |
| DP301 | 土器片鉢 | 3.7 | 3.9 | 1.2 | 3.0 | 19.2 | KC3 a4① x5 |
| DP302 | 土器片鉢 | 4.5 | 3.1 | 1.2 | 4.0 | 19.0 | KC3 a4① x3 |
| DP303 | 土器片鉢 | 3.6 | 3.7 | 0.9 | 3.2 | 17.0 | KC3 a4① x12 |
| DP304 | 土器片鉢 | 4.1 | 3.3 | 1.2 | 3.7 | 17.5 | KC3 a4①62層 |
| DP305 | 土器片鉢 | 4.6 | 2.6 | 1.0 | 4.3 | 18.1 | KC3 a4①272層 |
| DP306 | 土器片鉢 | 4.4 | 3.5 | 0.8 | 4.0 | 13.1 | KC3 a4① x1 |
| DP307 | 土器片鉢 | 4.0 | 3.5 | 1.0 | 3.5 | 15.4 | KC3 a4①73層 |
| DP308 | 土器片鉢 | 3.8 | 3.0 | 0.9 | 3.4 | 13.4 | KC3 a4①78層 |
| DP309 | 土器片鉢 | 2.9 | 3.0 | 1.1 | 2.6 | 11.7 | KC3 a4①62層 |
| DP310 | 土器片鉢 | 3.3 | 2.7 | 1.0 | 2.8 | 9.9 | KC3 a4①64層 |
| DP311 | 土器片鉢 | 3.5 | 2.6 | 0.7 | 2.9 | 8.7 | KC3 a4① x1 |
| DP312 | 土器片鉢 | 4.0 | 2.7 | 0.9 | 3.6 | 10.5 | KC3 a4① x8 |
| DP313 | 土器片鉢 | 3.4 | 2.1 | 1.0 | 3.2 | 9.8 | KC3 a4①269層 |
| DP314 | 土器片鉢 | 2.7 | 2.3 | 0.8 | 2.2 | 5.9 | KC3 a4①70層 |
| DP315 | 土器片鉢 | 2.6 | 2.4 | 0.7 | 2.2 | 5.8 | KC3 a4① x2 |
| DP316 | 土器片苜盤 | 4.9 | 5.1 | 1.2 | - | 40.8 | KC3 a4① |
| DP317 | 土器片苜盤 | 5.1 | 5.3 | 1.1 | - | 31.9 | KC3 a4① x1 |
| DP318 | 土器片苜盤 | 4.2 | 4.1 | 1.0 | - | 18.5 | KC3 a4① x4 |
| DP319 | 土器片苜盤 | 3.8 | 3.6 | 1.1 | - | 18.5 | KC3 a4① |
| DP320 | 土器片苜盤 | 3.2 | 3.4 | 1.0 | - | 13.6 | KC3 a4①64層 |
| DP321 | 土器片苜盤 | 2.6 | 2.8 | 0.9 | - | 8.1 | KC3 a4① x2 |
| DP322 | 土器片苜盤 | 3.0 | 2.8 | 0.9 | - | 9.0 | KC3 a4① x1 |
| DP323 | 土器片苜盤 | 2.8 | 3.1 | 0.8 | - | 8.6 | KC3 a4①62層 |
| DP324 | 土器片苜盤 | 2.8 | 2.4 | 0.9 | - | 6.6 | KC3 a4①80層 |
| DP325 | 土器片苜盤 | 2.3 | 2.2 | 0.7 | - | 5.1 | KC3 a4①267層 |
| DP326 | 土器片苜盤 | 2.1 | 2.0 | 0.9 | - | 4.3 | KC3 a4① x5 |
| DP327 | 土器片苜盤 | 3.8 | 3.8 | 0.8 | - | 13.2 | KC3 a4①64層 |
| DP328 | 土器片苜盤 | 4.2 | 4.3 | 1.0 | - | 15.1 | KC3 a4①77層 |
| DP329 | 土器片苜盤 | 6.2 X 3.2 | 1.0 | - | (22.6) | KC3 a4① | |
| DP330 | 土器片苜盤 | 4.3 X 2.2 | 0.6 | - | (6.3) | KC3 a4①71層 | |
| DP332 | 土器片鉢 | 3.8 | 3.7 | 0.9 | 3.2 | 19.2 | KC3 a5① x4 |
| DP333 | 土器片鉢 | 3.7 | 3.8 | 0.7 | 3.3 | 15.1 | KC3 a5① x5 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|----------|------|-------------|
| DP334 | 土器片円盤 | 4.9 | 4.8 | 1.0 | - | 21.2 | KC3 a50 |
| DP335 | 土器片円盤 | 4.2 | 4.2 | 0.9 | - | 17.0 | KC3 a50 x2 |
| DP336 | 土器片鐘 | 7.6 | 5.9 | 1.3 | 6.8 | 71.6 | KC3 b10277層 |
| DP337 | 土器片鐘 | 6.7 | 5.7 | 1.0 | 6.4 | 47.4 | KC3 b10 x10 |
| DP338 | 土器片鐘 | 7.0 | 3.7 | 1.1 | 6.7 | 31.8 | KC3 b10 x13 |
| DP339 | 土器片鐘 | 6.0 | 4.2 | 1.2 | 5.5 | 37.7 | KC3 b10 x10 |
| DP340 | 土器片鐘 | 6.0 | 3.8 | 1.4 | 5.5 | 24.6 | KC3 b10 x4 |
| DP341 | 土器片鐘 | 5.8 | 3.6 | 1.5 | 5.0 | 27.2 | KC3 b1060層 |
| DP342 | 土器片鐘 | 5.3 | 4.2 | 0.8 | 4.8 | 25.0 | KC3 b1050層 |
| DP343 | 土器片鐘 | 3.7 | 3.8 | 0.9 | 3.0 | 14.1 | KC3 b10 x5 |
| DP344 | 土器片鐘 | 4.2 | 4.0 | 0.7 | 3.7 | 12.8 | KC3 b10 x4 |
| DP345 | 土器片鐘 | 3.6 | 3.1 | 1.1 | 3.0 | 16.8 | KC3 b10 x10 |
| DP346 | 土器片鐘 | 5.9 | 2.6 | 1.1 | 5.3 | 17.9 | KC3 b10 x4 |
| DP347 | 土器片鐘 | 4.6 | 3.2 | 1.2 | 3.5 | 16.1 | KC3 b1061層 |
| DP348 | 土器片鐘 | 2.9 | 4.5 | 0.7 | 2.2 | 9.9 | KC3 b10 x9 |
| DP349 | 土器片鐘 | 4.6 | 2.8 | 0.8 | 4.0 | 14.3 | KC3 b10 x4 |
| DP350 | 土器片鐘 | 3.4 | 2.9 | 0.8 | 3.1 | 10.1 | KC3 b10 x3 |
| DP351 | 土器片円盤 | 3.8 | 4.3 | 1.1 | - | 19.0 | KC3 b10 x7 |
| DP352 | 土器片鐘 | 5.7 | 5.4 | 1.3 | 5.0 | 48.9 | KC3 b20 x13 |
| DP353 | 土器片鐘 | 7.1 | 9.3 | 1.6 | 6.8 | 46.3 | KC3 b20 x4 |
| DP354 | 土器片鐘 | 5.4 | 4.5 | 1.1 | 4.9 | 31.3 | KC3 b20 x22 |
| DP355 | 土器片鐘 | 4.7 | 4.2 | 0.9 | 4.1 | 26.5 | KC3 b20 x5 |
| DP356 | 土器片鐘 | 6.0 | 3.6 | 1.2 | 5.5 | 24.6 | KC3 b20 x19 |
| DP357 | 土器片鐘 | 5.6 | 4.0 | 1.0 | 4.8 | 22.4 | KC3 b20 x13 |
| DP358 | 土器片鐘 | 5.0 | 4.1 | 1.0 | 4.4 | 25.4 | KC3 b20 x6 |
| DP359 | 土器片鐘 | 4.7 | 5.0 | 1.1 | 4.2 | 27.2 | KC3 b20 x20 |
| DP360 | 土器片鐘 | 4.6 | 3.8 | 1.2 | 4.0 | 26.3 | KC3 b2-底 |
| DP361 | 土器片鐘 | 5.1 | 3.6 | 0.9 | 4.5 | 20.6 | KC3 b20 |
| DP362 | 土器片鐘 | 5.5 | 3.8 | 1.0 | 4.8 | 21.5 | KC3 b20 x9 |
| DP363 | 土器片鐘 | 4.8 | 3.6 | 1.2 | 4.3 | 29.7 | KC3 b20 x21 |
| DP364 | 土器片鐘 | 4.5 | 3.6 | 1.3 | 3.8 | 25.3 | KC3 b20 x12 |
| DP365 | 土器片鐘 | 4.2 | 3.7 | 0.9 | 3.6 | 17.2 | KC3 b20 x8 |
| DP366 | 土器片鐘 | 4.7 | 3.4 | 1.2 | 3.9 | 22.7 | KC3 b20 x15 |
| DP367 | 土器片鐘 | 4.2 | 3.9 | 1.1 | 3.5 | 22.2 | KC3 b20 x8 |
| DP368 | 土器片鐘 | 4.8 | 3.5 | 1.3 | 4.2 | 22.3 | KC3 b20 x12 |
| DP369 | 土器片鐘 | 5.4 | 2.8 | 1.3 | 4.9 | 21.2 | KC3 b20 x12 |
| DP370 | 土器片鐘 | 4.5 | 4.2 | 1.0 | 4.1 | 22.0 | KC3 b20 x6 |
| DP371 | 土器片鐘 | 3.8 | 3.4 | 0.8 | 3.2 | 11.2 | KC3 b20 x11 |
| DP372 | 土器片鐘 | 4.2 | 2.9 | 0.9 | 3.7 | 12.9 | KC3 b2-底 |
| DP373 | 土器片鐘 | 3.8 | 4.1 | 0.8 | 3.0 | 16.2 | KC3 b20 x7 |
| DP374 | 土器片鐘 | 4.1 | 3.9 | 1.0 | 3.4 | 14.0 | KC3 b20 x7 |
| DP375 | 土器片鐘 | 4.7 | 3.6 | 0.9 | 4.0 | 16.5 | KC3 b20 x6 |
| DP376 | 土器片鐘 | 4.0 | 2.8 | 1.1 | 3.2 | 14.1 | KC3 b20 x11 |
| DP377 | 土器片鐘 | 3.7 | 3.5 | 1.0 | 3.2 | 13.4 | KC3 b20 x8 |
| DP378 | 土器片鐘 | 4.1 | 3.3 | 1.0 | 3.7 | 14.7 | KC3 b20 x5 |
| DP379 | 土器片鐘 | 3.1 | 4.0 | 0.9 | 2.6 | 10.8 | KC3 b20 x19 |
| DP380 | 土器片鐘 | 3.4 | 3.1 | 1.1 | 2.9 | 12.2 | KC3 b20 x20 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-------------|--------|---------|----------|------|-------------|
| DP381 | 土器片鐘 | 2.6 | 2.4 | 0.9 | 2.1 | 6.1 | KC3 b20 x7 |
| DP382 | 土器片円盤 | 5.4 | 5.4 | 1.3 | - | 37.9 | KC3 b20 |
| DP383 | 土器片円盤 | 4.7 | 4.9 | 1.0 | - | 25.5 | KC3 b20 x5 |
| DP384 | 土器片円盤 | 4.1 | 4.2 | 1.0 | - | 16.6 | KC3 b20 |
| DP385 | 土器片円盤 | 3.4 | 3.0 | 1.2 | - | 13.7 | KC3 b20 x18 |
| DP386 | 土器片円盤 | 3.0 | 3.0 | 0.6 | - | 6.6 | KC3 b20 x5 |
| DP387 | 土器片円盤 | (3.6 X 2.1) | 0.9 | - | (7.1) | - | KC3 b20 |
| DP388 | 土器片鐘 | 5.5 | 3.4 | 1.3 | 4.8 | 23.7 | KC3 b20 x1 |
| DP389 | 土器片鐘 | 4.2 | 4.2 | 1.0 | 3.3 | 18.4 | KC3 b20 x1 |
| DP390 | 土器片鐘 | 7.6 | 6.6 | 1.3 | 6.4 | 72.4 | KC3 b30 x17 |
| DP391 | 土器片鐘 | 7.4 | 5.1 | 1.3 | 6.4 | 60.1 | KC3 b3060層 |
| DP392 | 土器片鐘 | 5.3 | 5.6 | 1.3 | 4.2 | 41.0 | KC3 b30285層 |
| DP393 | 土器片鐘 | 5.8 | 4.6 | 1.1 | 5.2 | 27.8 | KC3 b3073層 |
| DP394 | 土器片鐘 | 4.8 | 3.5 | 1.3 | 4.4 | 28.0 | KC3 b3062層 |
| DP395 | 土器片鐘 | 5.5 | 3.2 | 1.1 | 4.6 | 22.3 | KC3 b30 x16 |
| DP396 | 土器片円盤 | 4.1 | 4.5 | 1.0 | - | 23.4 | KC3 b30 x16 |
| DP397 | 土器片鐘 | 4.5 | 3.9 | 1.0 | 4.0 | 17.1 | KC3 b30267層 |
| DP398 | 土器片鐘 | 4.8 | 4.3 | 1.1 | 4.4 | 20.2 | KC3 b30 x3 |
| DP399 | 土器片鐘 | 4.7 | 3.5 | 1.4 | 4.2 | 25.8 | KC3 b30 x10 |
| DP400 | 土器片鐘 | 5.3 | 3.5 | 0.9 | 4.7 | 19.7 | KC3 b3069層 |
| DP401 | 土器片鐘 | 4.9 | 3.7 | 1.0 | 4.4 | 27.6 | KC3 b3060層 |
| DP402 | 土器片鐘 | 4.6 | 3.9 | 1.1 | 3.7 | 22.7 | KC3 b30281層 |
| DP403 | 土器片鐘 | 3.8 | 3.7 | 1.0 | 3.3 | 19.5 | KC3 b3073層 |
| DP404 | 土器片鐘 | 3.7 | 3.6 | 1.1 | 3.0 | 18.8 | KC3 b30 x15 |
| DP405 | 土器片鐘 | 4.5 | 2.4 | 1.2 | 4.0 | 15.2 | KC3 b3068層 |
| DP406 | 土器片鐘 | 3.9 | 3.6 | 0.9 | 3.4 | 15.6 | KC3 b30 x4 |
| DP407 | 土器片鐘 | 4.2 | 3.4 | 0.9 | 3.5 | 16.5 | KC3 b30 x7 |
| DP408 | 土器片鐘 | 3.9 | 3.7 | 1.1 | 3.4 | 15.5 | KC3 b3064層 |
| DP409 | 土器片鐘 | 4.4 | 2.8 | 1.1 | 3.8 | 13.3 | KC3 b30281層 |
| DP410 | 土器片鐘 | 3.9 | 3.6 | 0.9 | 3.6 | 11.1 | KC3 b30285層 |
| DP411 | 土器片鐘 | 4.1 | 2.5 | 0.9 | 3.6 | 12.9 | KC3 b30 x16 |
| DP412 | 土器片鐘 | 4.2 | 2.4 | 1.0 | 3.7 | 10.9 | KC3 b30 x7 |
| DP413 | 土器片鐘 | 3.2 | 2.8 | 1.1 | 2.7 | 12.2 | KC3 b30 x5 |
| DP414 | 土器片鐘 | 3.2 | 2.7 | 1.1 | 2.7 | 8.5 | KC3 b3068層 |
| DP415 | 土器片鐘 | 3.5 | 2.8 | 1.0 | 2.9 | 11.9 | KC3 b3064層 |
| DP416 | 土器片鐘 | 3.2 | 2.8 | 1.0 | 2.9 | 10.9 | KC3 b3066層 |
| DP417 | 土器片鐘 | 2.8 | 2.6 | 0.9 | 2.3 | 8.3 | KC3 b30268層 |
| DP418 | 土器片鐘 | 3.0 | 2.7 | 1.2 | 2.6 | 9.8 | KC3 b3064層 |
| DP419 | 土器片鐘 | 3.0 | 2.3 | 0.9 | 2.6 | 8.7 | KC3 b30 x7 |
| DP420 | 土器片鐘 | 2.7 | 2.2 | 0.6 | 2.2 | 5.1 | KC3 b3060層 |
| DP421 | 土器片鐘 | 2.5 | 2.6 | 0.9 | 2.3 | 7.4 | KC3 b30 x7 |
| DP422 | 土器片鐘 | 3.2 | 1.9 | 1.1 | 2.8 | 6.9 | KC3 b3066層 |
| DP423 | 土器片円盤 | 5.0 | 4.7 | 1.3 | - | 32.8 | KC3 b30275層 |
| DP424 | 土器片円盤 | 4.9 | 4.8 | 1.3 | - | 30.1 | KC3 b30288層 |
| DP425 | 土器片円盤 | 4.6 | 4.6 | 1.4 | - | 29.7 | KC3 b30275層 |
| DP426 | 土器片円盤 | 3.7 | 4.1 | 1.1 | - | 17.8 | KC3 b30 x5 |
| DP427 | 土器片円盤 | 3.2 | 3.1 | 1.0 | - | 10.9 | KC3 b30 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-------------|--------|---------|----------|--------|------------|
| DP428 | 土器片肉盤 | 3.6 | 3.6 | 0.9 | - | 14.4 | KC3b3⑩267層 |
| DP429 | 土器片肉盤 | 3.9 | 3.7 | 0.9 | - | 13.5 | KC3b3⑩x4 |
| DP430 | 土器片肉盤 | 2.6 | 2.7 | 1.0 | - | 8.2 | KC3b3⑩ |
| DP431 | 土器片肉盤 | 1.9 | 2.0 | 0.7 | - | 3.0 | KC3b3⑩60層 |
| DP432 | 土器片肉盤 | 6.3 (3.5) | 1.3 | - | (24.6) | KC3b3⑩ | |
| DP433 | 土器片肉盤 | 3.2 | 3.1 | 0.8 | - | 8.3 | KC3b3⑩68層 |
| DP434 | 土器片肉盤 | 2.8 | 2.9 | 1.0 | - | 7.1 | KC3b3⑩ |
| DP435 | 土器片踵 | 3.7 | 3.1 | 1.0 | 3.1 | 15.8 | KC3b2⑩x19 |
| DP436 | 土器片踵 | 7.7 | 6.9 | 1.1 | 6.8 | 57.0 | KC3b4⑩x15 |
| DP437 | 土器片踵 | 5.2 | 5.3 | 1.4 | 4.1 | 47.2 | KC3b4⑩ |
| DP438 | 土器片踵 | 6.1 | 4.7 | 1.0 | 5.3 | 25.0 | KC3b4⑩ |
| DP439 | 土器片踵 | 5.8 | 4.3 | 1.2 | 5.2 | 35.9 | KC3b4⑩x14 |
| DP440 | 土器片踵 | 5.8 | 3.9 | 1.1 | 4.9 | 31.6 | KC3b4⑩x1 |
| DP441 | 土器片踵 | 4.7 | 4.7 | 1.6 | 3.7 | 37.8 | KC3b4⑩ |
| DP442 | 土器片踵 | 5.5 | 4.1 | 1.2 | 4.7 | 34.7 | KC3b4⑩一拵 |
| DP443 | 土器片踵 | 5.7 | 3.4 | 1.2 | 5.1 | 21.2 | KC3b4⑩x3 |
| DP444 | 土器片踵 | 5.3 | 3.8 | 1.2 | 4.7 | 27.6 | KC3b4⑩x3 |
| DP445 | 土器片踵 | 5.5 | 3.2 | 1.2 | 5.0 | 25.7 | KC3b4⑩ |
| DP446 | 土器片踵 | 5.0 | 4.0 | 1.0 | 4.5 | 25.3 | KC3b4⑩x4 |
| DP447 | 土器片踵 | 5.2 | 3.9 | 1.1 | 4.6 | 25.3 | KC3b4⑩x10 |
| DP448 | 土器片踵 | 4.8 | 4.0 | 1.1 | 4.6 | 22.6 | KC3b4⑩x7 |
| DP449 | 土器片踵 | 4.9 | 2.9 | 1.0 | 4.2 | 16.6 | KC3b4⑩x9 |
| DP450 | 土器片踵 | 4.9 | 3.3 | 0.9 | 4.4 | 14.5 | KC3b4⑩ |
| DP451 | 土器片踵 | 4.9 | 4.2 | 1.0 | 3.0 | 19.3 | KC3b4⑩ |
| DP452 | 土器片踵 | 4.4 | 3.7 | 0.9 | 4.0 | 18.4 | KC3b4⑩x11 |
| DP453 | 土器片踵 | 4.1 | 2.9 | 1.1 | 3.5 | 14.0 | KC3b4⑩x6 |
| DP454 | 土器片踵 | 4.3 | 3.2 | 1.1 | 3.9 | 19.5 | KC3b4⑩ |
| DP455 | 土器片踵 | 5.1 | 3.3 | 0.9 | 4.4 | 15.3 | KC3b4⑩ |
| DP456 | 土器片踵 | 4.5 | 3.1 | 1.1 | 4.1 | 16.7 | KC3b4⑩ |
| DP457 | 土器片踵 | 3.9 | 2.9 | 0.9 | 3.4 | 12.3 | KC3b4⑩一拵 |
| DP458 | 土器片踵 | 3.4 | 3.0 | 0.9 | 3.0 | 10.2 | KC3b4⑩x4 |
| DP459 | 土器片踵 | 4.1 | 2.3 | 1.1 | 3.6 | 10.6 | KC3b4⑩ |
| DP460 | 土器片踵 | 3.5 | 2.4 | 0.8 | 3.1 | 8.4 | KC3b4⑩ |
| DP461 | 土器片踵 | 3.3 | 2.7 | 1.0 | 2.7 | 11.9 | KC3b4⑩x1 |
| DP462 | 土器片踵 | 3.2 | 2.3 | 1.2 | 2.9 | 9.8 | KC3b4⑩一拵 |
| DP463 | 土器片踵 | 3.1 | 2.2 | 1.3 | 2.6 | 9.2 | KC3b4⑩x8 |
| DP464 | 土器片踵 | 2.9 | 2.4 | 0.8 | 2.7 | 5.7 | KC3b4⑩x4 |
| DP465 | 土器片踵 | 2.1 | 1.7 | 0.7 | 1.8 | 3.0 | KC3b4⑩x1 |
| DP466 | 土器片肉盤 | 4.1 (2.2) | 0.9 | - | (8.6) | KC3b4⑩ | |
| DP467 | 土器片踵 | 7.0 | 6.4 | 1.3 | 6.4 | 53.3 | KC3b5⑩ |
| DP468 | 土器片踵 | 5.3 | 4.5 | 1.0 | 5.0 | 21.2 | KC3b5⑩ |
| DP469 | 土器片踵 | 4.7 | 2.7 | 1.2 | 4.2 | 19.1 | KC3b5⑩x2 |
| DP471 | 土器片踵 | 8.1 | 8.0 | 1.6 | 7.4 | 100.1 | KC3c1⑩ |
| DP472 | 土器片踵 | 8.0 | 7.4 | 1.5 | 6.4 | 112.3 | KC3c1⑩x6 |
| DP473 | 土器片踵 | 5.7 | 5.0 | 1.0 | 5.0 | 40.8 | KC3c1⑩x7 |
| DP474 | 土器片踵 | 5.6 | 4.5 | 1.1 | 4.8 | 29.2 | KC3c1⑩x13 |
| DP475 | 土器片踵 | 6.5 | 4.9 | 1.5 | 5.9 | 51.7 | KC3c1⑩x11 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-------------|--------|---------|----------|--------|------------|
| DP476 | 土器片踵 | 5.6 | 4.6 | 1.3 | 4.8 | 33.3 | KC3c1⑩x16 |
| DP477 | 土器片踵 | 5.0 | 4.3 | 1.1 | 4.3 | 24.6 | KC3c1⑩x16 |
| DP478 | 土器片踵 | 5.5 | 3.9 | 1.1 | 4.4 | 27.7 | KC3c1⑩x8 |
| DP479 | 土器片踵 | 5.1 | 3.8 | 1.0 | 4.5 | 20.3 | KC3c1⑩x8 |
| DP480 | 土器片踵 | 5.6 | 3.6 | 1.3 | 5.0 | 23.2 | KC3c1⑩x13 |
| DP481 | 土器片踵 | 4.3 | 3.7 | 0.8 | 3.9 | 15.7 | KC3c1⑩x9 |
| DP482 | 土器片踵 | 4.1 | 3.5 | 1.1 | 4.0 | 20.3 | KC3c1⑩x19 |
| DP483 | 土器片踵 | 4.4 | 3.9 | 1.0 | 4.1 | 19.0 | KC3c1⑩x22 |
| DP484 | 土器片踵 | 4.0 | 3.2 | 1.1 | 3.5 | 17.3 | KC3c1⑩x18 |
| DP485 | 土器片踵 | 3.8 | 3.6 | 1.0 | 3.1 | 17.6 | KC3c1⑩x7 |
| DP486 | 土器片踵 | 3.7 | 3.6 | 1.0 | 3.2 | 14.5 | KC3c1⑩x22 |
| DP487 | 土器片踵 | 5.8 | 2.6 | 1.1 | 5.2 | 20.6 | KC3c1⑩x19 |
| DP488 | 土器片踵 | 4.4 | 3.2 | 1.2 | 3.7 | 18.2 | KC3c1⑩x8 |
| DP489 | 土器片踵 | 3.6 | 3.3 | 0.9 | 3.2 | 14.3 | KC3c1⑩x5 |
| DP490 | 土器片踵 | 3.3 | 3.4 | 0.9 | 2.8 | 11.2 | KC3c1⑩x14 |
| DP491 | 土器片踵 | 4.1 | 2.8 | 0.9 | 3.4 | 12.4 | KC3c1⑩x21 |
| DP492 | 土器片踵 | 4.3 | 2.6 | 1.0 | 3.8 | 14.1 | KC3c1⑩x11 |
| DP493 | 土器片踵 | 3.5 | 2.8 | 1.1 | 3.3 | 12.4 | KC3c1⑩x13 |
| DP494 | 土器片踵 | 3.4 | 2.9 | 1.1 | 2.9 | 10.8 | KC3c1⑩x13 |
| DP495 | 土器片踵 | 3.7 | 2.3 | 1.1 | 3.4 | 10.0 | KC3c1⑩x16 |
| DP496 | 土器片踵 | 3.1 | 2.6 | 0.9 | 2.3 | 8.7 | KC3c1⑩x11 |
| DP497 | 土器片踵 | 3.0 | 2.6 | 1.1 | 2.7 | 8.0 | KC3c1⑩x10 |
| DP498 | 土器片踵 | 2.3 | 2.4 | 1.3 | 2.0 | 7.0 | KC3c1⑩x1 |
| DP499 | 土器片踵 | 2.5 | 2.2 | 0.9 | 2.2 | 5.9 | KC3c1⑩x9 |
| DP500 | 土器片肉盤 | 4.1 | 4.5 | 1.0 | - | 23.0 | KC3c1⑩ |
| DP501 | 土器片肉盤 | 3.8 | 4.2 | 0.6 | - | 11.6 | KC3c1⑩ |
| DP502 | 土器片肉盤 | 5.0 | 5.3 | 1.4 | - | 40.7 | KC3c1⑩ |
| DP503 | 土器片肉盤 | 4.8 | 4.7 | 0.9 | - | 21.6 | KC3c1⑩ |
| DP504 | 土器片肉盤 | 5.3 (3.0) | 0.9 | - | (14.6) | KC3c1⑩ | |
| DP505 | 土器片踵 | 7.0 | 6.7 | 1.2 | 6.1 | 67.9 | KC3c2⑩275層 |
| DP506 | 土器片踵 | 6.2 | 4.9 | 1.3 | 5.4 | 47.4 | KC3c2⑩63層 |
| DP507 | 土器片踵 | 6.7 | 6.5 | 1.2 | 6.2 | 53.4 | KC3c2⑩274層 |
| DP508 | 土器片踵 | 6.2 | 6.5 | 1.1 | 5.3 | 41.8 | KC3c2⑩274層 |
| DP509 | 土器片踵 | 6.3 | 6.8 | 1.3 | 5.3 | 51.6 | KC3c2⑩x13 |
| DP510 | 土器片踵 | 6.2 | 5.2 | 1.3 | 5.5 | 46.6 | KC3c2⑩269層 |
| DP511 | 土器片踵 | 5.4 | 5.3 | 1.3 | 4.5 | 43.0 | KC3c2⑩68層 |
| DP512 | 土器片踵 | 5.9 | 4.4 | 1.3 | 5.5 | 48.5 | KC3c2⑩x1 |
| DP513 | 土器片踵 | 5.8 | 4.4 | 0.9 | 5.2 | 29.6 | KC3c2⑩x10 |
| DP514 | 土器片踵 | 6.0 | 5.1 | 1.3 | 5.3 | 46.8 | KC3c2⑩274層 |
| DP515 | 土器片踵 | 5.4 | 4.7 | 1.2 | 4.7 | 32.8 | KC3c2⑩x13 |
| DP516 | 土器片踵 | 4.7 | 4.1 | 1.3 | 4.3 | 29.3 | KC3c2⑩274層 |
| DP517 | 土器片踵 | 5.3 | 4.2 | 1.1 | 4.8 | 25.1 | KC3c2⑩274層 |
| DP518 | 土器片踵 | 5.1 | 3.0 | 1.1 | 4.5 | 20.0 | KC3c2⑩x13 |
| DP520 | 土器片踵 | 4.8 | 4.7 | 1.1 | 4.3 | 26.2 | KC3c2⑩x13 |
| DP521 | 土器片踵 | 5.7 | 3.2 | 1.4 | 5.0 | 25.5 | KC3c2⑩267層 |
| DP522 | 土器片踵 | 4.6 | 3.3 | 1.1 | 3.9 | 22.0 | KC3c2⑩x10 |
| DP523 | 土器片踵 | 5.0 | 3.6 | 1.7 | 4.7 | 31.7 | KC3c2⑩267層 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚隔 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|-----------|------|---------------|
| DP524 | 土器片鏢 | 4.3 | 3.8 | 0.9 | 3.6 | 15.4 | KC3 c28 x14 |
| DP525 | 土器片鏢 | 4.7 | 4.0 | 1.0 | 4.1 | 20.3 | KC3 c28 x1 |
| DP526 | 土器片鏢 | 3.8 | 3.1 | 1.0 | 3.3 | 13.0 | KC3 c28 x275層 |
| DP527 | 土器片鏢 | 3.8 | 3.2 | 1.1 | 3.4 | 13.2 | KC3 c28 x62層 |
| DP528 | 土器片鏢 | 4.2 | 3.2 | 0.9 | 3.9 | 12.7 | KC3 c28 x6 |
| DP529 | 土器片鏢 | 4.0 | 3.1 | 1.3 | 3.7 | 16.5 | KC3 c28 x5 |
| DP530 | 土器片鏢 | 4.3 | 3.7 | 0.9 | 3.9 | 14.1 | KC3 c28 x274層 |
| DP531 | 土器片鏢 | 4.6 | 2.5 | 1.0 | 4.2 | 13.3 | KC3 c28 x10 |
| DP532 | 土器片鏢 | 4.2 | 2.6 | 1.1 | 3.7 | 14.0 | KC3 c28 x14 |
| DP533 | 土器片鏢 | 4.1 | 2.8 | 1.1 | 3.6 | 13.9 | KC3 c28 x268層 |
| DP534 | 土器片鏢 | 3.9 | 3.2 | 0.9 | 3.5 | 12.7 | KC3 c28 x13 |
| DP535 | 土器片鏢 | 3.6 | 3.1 | 0.8 | 3.0 | 13.3 | KC3 c28 x267層 |
| DP536 | 土器片鏢 | 3.7 | 3.0 | 0.9 | 3.0 | 11.4 | KC3 c28 x275層 |
| DP537 | 土器片鏢 | 3.1 | 3.0 | 1.0 | 2.6 | 12.0 | KC3 c28 x1 |
| DP538 | 土器片鏢 | 3.2 | 2.2 | 0.9 | 2.7 | 7.7 | KC3 c28 x275層 |
| DP539 | 土器片鏢 | 3.5 | 2.3 | 0.9 | 3.1 | 7.5 | KC3 c28 x11 |
| DP540 | 土器片鏢 | 2.4 | 1.6 | 0.9 | 2.0 | 4.3 | KC3 c28 x274層 |
| DP541 | 土器片鏢 | 3.6 | 3.1 | 0.9 | 3.3 | 12.5 | KC3 c28 x64層 |
| DP542 | 土器片円盤 | 5.3 | 5.5 | 1.4 | - | 33.6 | KC3 c28 x274層 |
| DP543 | 土器片円盤 | 4.3 | 4.7 | 1.4 | - | 35.6 | KC3 c28 x274層 |
| DP544 | 土器片円盤 | 3.3 | 3.3 | 1.1 | - | 13.1 | KC3 c28 x5 |
| DP545 | 土器片円盤 | 3.0 | 3.2 | 1.3 | - | 13.2 | KC3 c28 x274層 |
| DP546 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.9 | 0.9 | - | 7.4 | KC3 c2一括 |
| DP547 | 土器片円盤 | 3.2 | 3.2 | 0.9 | - | 8.8 | KC3 c28 |
| DP549 | 土器片鏢 | 6.4 | 4.7 | 0.9 | 5.6 | 42.1 | KC3 c38 x10 |
| DP550 | 土器片鏢 | 5.7 | 4.9 | 1.1 | 5.3 | 43.3 | KC3 c38 x20 |
| DP551 | 土器片鏢 | 5.9 | 4.9 | 1.2 | 5.4 | 36.5 | KC3 c38 x8 |
| DP552 | 土器片鏢 | 5.5 | 4.4 | 0.9 | 5.0 | 24.3 | KC3 c38 x12 |
| DP553 | 土器片鏢 | 5.0 | 4.3 | 1.3 | 4.7 | 30.1 | KC3 c38 x9 |
| DP554 | 土器片鏢 | 6.3 | 3.8 | 1.2 | 5.8 | 31.1 | KC3 c38 x11 |
| DP555 | 土器片鏢 | 5.7 | 3.3 | 1.3 | 5.1 | 25.9 | KC3 c38 |
| DP556 | 土器片鏢 | 4.7 | 4.4 | 0.9 | 4.2 | 21.7 | KC3 c38 x5 |
| DP557 | 土器片鏢 | 4.7 | 4.9 | 1.1 | 4.2 | 25.4 | KC3 c38 x12 |
| DP558 | 土器片鏢 | 4.6 | 4.3 | 1.0 | 4.1 | 19.6 | KC3 c28 x3 |
| DP559 | 土器片鏢 | 4.6 | 4.1 | 1.3 | 4.0 | 23.3 | KC3 c28 x20 |
| DP560 | 土器片鏢 | 4.4 | 3.6 | 1.1 | 3.8 | 22.6 | KC3 c28 x6 |
| DP561 | 土器片鏢 | 5.3 | 4.3 | 1.0 | 4.2 | 24.1 | KC3 c38 x17 |
| DP562 | 土器片鏢 | 4.5 | 3.7 | 1.1 | 3.7 | 21.2 | KC3 c38 x13 |
| DP563 | 土器片鏢 | 4.9 | 3.3 | 1.0 | 4.3 | 20.7 | KC3 c38 x9 |
| DP564 | 土器片鏢 | 4.8 | 3.0 | 1.3 | 4.4 | 22.6 | KC3 c38 x3 |
| DP565 | 土器片鏢 | 3.9 | 3.4 | 1.3 | 3.6 | 22.0 | KC3 c38 x3 |
| DP566 | 土器片鏢 | 4.3 | 2.7 | 1.0 | 3.9 | 15.8 | KC3 c38 x21 |
| DP567 | 土器片鏢 | 4.7 | 3.3 | 0.8 | 4.1 | 14.9 | KC3 c38 x16 |
| DP568 | 土器片鏢 | 4.2 | 3.7 | 1.0 | 3.7 | 18.2 | KC3 c38 x9 |
| DP569 | 土器片鏢 | 3.9 | 3.6 | 0.9 | 3.6 | 14.3 | KC3 c38 x11 |
| DP570 | 土器片鏢 | 4.5 | 2.8 | 1.2 | 4.0 | 16.3 | KC3 c38 x8 |
| DP571 | 土器片鏢 | 4.0 | 2.6 | 1.0 | 3.4 | 14.5 | KC3 c38 x12 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚隔 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|-----------|------|---------------|
| DP572 | 土器片鏢 | 3.5 | 3.2 | 1.0 | 3.1 | 14.2 | KC3 c38 x16 |
| DP573 | 土器片鏢 | 3.6 | 2.7 | 1.0 | 3.1 | 13.0 | KC3 c38 x11 |
| DP574 | 土器片鏢 | 4.0 | 3.2 | 1.0 | 3.6 | 13.7 | KC3 c38 x14 |
| DP575 | 土器片鏢 | 3.5 | 3.1 | 0.9 | 3.3 | 12.1 | KC3 c38 x11 |
| DP576 | 土器片鏢 | 4.5 | 3.1 | 0.9 | 3.9 | 14.0 | KC3 c38 x16 |
| DP577 | 土器片鏢 | 4.2 | 2.9 | 0.8 | 3.6 | 12.0 | KC3 c38 x3 |
| DP578 | 土器片鏢 | 3.7 | 3.3 | 0.9 | 3.2 | 13.3 | KC3 c38 x16 |
| DP579 | 土器片鏢 | 4.1 | 2.9 | 0.9 | 3.6 | 13.2 | KC3 c38 x15 |
| DP580 | 土器片鏢 | 3.5 | 2.9 | 0.9 | 3.0 | 12.2 | KC3 c38 x5 |
| DP581 | 土器片鏢 | 3.3 | 2.5 | 1.1 | 2.8 | 11.5 | KC3 c38 x14 |
| DP582 | 土器片鏢 | 3.3 | 2.7 | 1.0 | 2.9 | 12.5 | KC3 c38 x9 |
| DP583 | 土器片鏢 | 3.6 | 2.7 | 0.9 | 2.9 | 9.4 | KC3 c38 x11 |
| DP584 | 土器片鏢 | 3.5 | 1.9 | 0.9 | 3.1 | 7.2 | KC3 c38 x7 |
| DP585 | 土器片鏢 | 2.8 | 1.8 | 1.2 | 2.4 | 6.8 | KC3 c38 x1 |
| DP586 | 土器片鏢 | 2.4 | 1.9 | 0.9 | 2.1 | 4.6 | KC3 c38 x4 |
| DP587 | 土器片円盤 | 5.0 | 4.8 | 0.8 | - | 22.2 | KC3 c38 x14 |
| DP588 | 土器片円盤 | 3.7 | 3.6 | 0.8 | - | 13.2 | KC3 c38 x9 |
| DP589 | 土器片円盤 | 3.5 | 3.6 | 0.8 | - | 11.2 | KC3 c38 x11 |
| DP590 | 土器片円盤 | 3.1 | 3.3 | 1.5 | - | 15.3 | KC3 c38 x11 |
| DP591 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.6 | 0.8 | - | 7.6 | KC3 c38 x12 |
| DP592 | 土器片円盤 | 2.3 | 2.2 | 1.1 | - | 5.8 | KC3 c38 x4 |
| DP594 | 土器片円盤 | 2.6 | 2.7 | 0.7 | - | 5.2 | KC3 d18 x13 |
| DP595 | 土器片鏢 | 6.3 | 3.8 | 1.2 | 5.8 | 35.6 | KC3 d28 |
| DP596 | 土器片鏢 | 2.3 | 1.9 | 0.9 | 2.0 | 4.9 | KC3 d28 x3 |
| DP597 | 土器片鏢 | 5.8 | 4.0 | 1.2 | 5.3 | 23.6 | KB2 a28 x9 |
| DP598 | 土器片円盤 | 5.8 | 6.1 | 1.1 | - | 45.7 | KC3 a38 |
| DP599 | 土器片円盤 | 3.2 | 3.2 | 1.1 | - | 13.7 | KC3 b28 x8 |
| DP600 | 土器片円盤 | 3.0 | 2.9 | 0.8 | - | 9.2 | KC3 b28 x8 |
| DP601 | 土器片円盤 | 4.8 | 4.8 | 1.2 | - | 25.8 | KC3 b48 |
| DP603 | 土器片鏢 | 7.7 | 6.4 | 1.2 | 6.6 | 59.1 | KA3 c28 x267層 |
| DP604 | 土器片円盤 | 2.9 | 2.9 | 0.9 | - | 9.1 | KA3 c28 x267層 |
| DP605 | 土器片鏢 | 8.4 | 6.6 | 1.6 | 7.5 | 92.7 | KA3 d28 |
| DP606 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.7 | 0.9 | - | 7.7 | KA3 e48 x11 |
| DP608 | 土器片鏢 | 5.9 | 4.5 | 0.9 | 5.3 | 41.7 | KB2 b48 x5 |
| DP609 | 土器片鏢 | 4.3 | 4.2 | 1.0 | 4.0 | 21.3 | KB2 b48 x4 |
| DP610 | 土器片鏢 | 4.8 | 3.5 | 1.1 | 4.4 | 21.4 | KB2 b48 x13 |
| DP611 | 土器片鏢 | 4.8 | 3.5 | 1.2 | 4.2 | 21.4 | KB2 b48 x11 |
| DP612 | 土器片鏢 | 3.3 | 2.8 | 1.1 | 2.8 | 10.7 | KB2 b48 x10 |
| DP613 | 土器片鏢 | 4.0 | 2.6 | 0.9 | 3.6 | 11.9 | KB2 b58 x14 |
| DP614 | 土器片鏢 | 3.9 | 2.5 | 1.0 | 3.2 | 9.4 | KB2 b58 x8 |
| DP615 | 土器片鏢 | 3.9 | 2.5 | 1.1 | 3.4 | 10.5 | KB2 b58 x19 |
| DP616 | 土器片鏢 | 3.6 | 2.6 | 1.3 | 3.1 | 15.3 | KB2 b58 x202層 |
| DP617 | 土器片鏢 | 2.9 | 3.3 | 0.9 | 2.5 | 9.3 | KB2 b58 x17 |
| DP618 | 土器片鏢 | 2.7 | 3.0 | 1.1 | 2.3 | 10.5 | KB2 b58 x14 |
| DP619 | 土器片鏢 | 3.1 | 3.2 | 1.0 | 2.7 | 9.5 | KB2 b58 x11 |
| DP620 | 土器片鏢 | 2.7 | 2.6 | 1.0 | 2.3 | 9.3 | KB2 b58 x231層 |
| DP623 | 土器片鏢 | 4.7 | 3.8 | 0.9 | 3.8 | 19.5 | KB2 c28 x433層 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|------|---------|--------|---------|----------|------------------|------|
| DP624 | 土器片鏟 | 4.2 3.0 | 1.0 | 3.8 | 15.5 | KB 2 c 33 x 8 | |
| DP625 | 土器片鏟 | 4.2 3.8 | 1.2 | 3.8 | 22.3 | KB 2 c 50 x 1 | |
| DP626 | 土器片鏟 | 4.6 3.7 | 1.1 | 4.1 | 20.1 | KB 2 c 50 x 19 | |
| DP627 | 土器片鏟 | 3.3 2.3 | 1.0 | 3.0 | 8.3 | KB 2 c 50 780 層 | |
| DP628 | 土器片鏟 | 5.2 4.6 | 1.0 | 4.6 | 24.1 | KB 2 d 19 421 層 | |
| DP629 | 土器片鏟 | 3.5 3.0 | 1.0 | 3.1 | 12.3 | KB 2 d 30 575 層 | |
| DP630 | 土器片鏟 | 4.3 3.7 | 1.2 | 3.9 | 24.9 | KB 2 d 50 19 | |
| DP631 | 土器片鏟 | 3.9 3.3 | 1.2 | 3.5 | 14.2 | KB 2 d 50 7781 層 | |
| DP632 | 土器片鏟 | 3.6 3.2 | 1.1 | 3.2 | 13.0 | KB 2 d 50 476 層 | |
| DP633 | 土器片鏟 | 3.1 2.6 | 1.1 | 2.6 | 8.8 | KB 2 d 50 461 層 | |
| DP634 | 土器片鏟 | 2.7 2.3 | 1.0 | 2.4 | 7.3 | KB 2 d 50 6 | |
| DP635 | 土器片鏟 | 2.6 2.5 | 1.2 | - | 8.1 | KB 2 d 50 788 層 | |
| DP637 | 土器片鏟 | 4.6 3.9 | 1.2 | 4.0 | 23.9 | KB 2 e 10 442 層 | |
| DP638 | 土器片鏟 | 5.4 2.6 | 1.3 | 5.1 | 19.3 | KB 2 e 20 421 層 | |
| DP639 | 土器片鏟 | 4.1 3.6 | 1.3 | 3.7 | 18.0 | KB 2 e 20 445 層 | |
| DP640 | 土器片鏟 | 3.9 3.3 | 0.9 | 3.8 | 15.3 | KB 2 e 20 10 | |
| DP641 | 土器片鏟 | 3.8 3.4 | 1.0 | 3.4 | 14.3 | KB 2 e 20 7 | |
| DP642 | 土器片鏟 | 3.6 3.2 | 1.1 | 3.0 | 13.0 | KB 2 e 20 10 | |
| DP643 | 土器片鏟 | 3.8 3.5 | 0.7 | 3.3 | 11.5 | KB 2 e 20 422 層 | |
| DP644 | 土器片鏟 | 3.9 2.7 | 1.3 | 3.5 | 13.9 | KB 2 e 20 422 層 | |
| DP645 | 土器片鏟 | 7.3 5.7 | 1.5 | 6.6 | 81.9 | KB 2 e 40 471 層 | |
| DP646 | 土器片鏟 | 6.5 4.7 | 1.4 | 5.8 | 45.9 | KB 2 e 40 501 層 | |
| DP647 | 土器片鏟 | 5.3 4.4 | 1.4 | 5.0 | 39.3 | KB 2 e 40 3510 層 | |
| DP648 | 土器片鏟 | 4.5 3.5 | 0.9 | 4.2 | 17.3 | KB 2 e 40 6 | |
| DP649 | 土器片鏟 | 4.0 4.0 | 1.3 | 3.5 | 19.8 | KB 2 e 40 500 層 | |
| DP650 | 土器片鏟 | 4.6 2.7 | 1.1 | 4.0 | 14.4 | KB 2 e 40 8 | |
| DP651 | 土器片鏟 | 4.3 3.0 | 1.2 | 3.8 | 15.7 | KB 2 e 40 13 | |
| DP652 | 土器片鏟 | 3.5 3.1 | 1.2 | 3.3 | 12.6 | KB 2 e 40 498 層 | |
| DP653 | 土器片鏟 | 3.3 2.8 | 0.9 | 3.0 | 10.2 | KB 2 e 40 3512 層 | |
| DP654 | 土器片鏟 | 6.3 5.4 | 1.2 | 5.9 | 53.3 | KB 2 e 50 1048 層 | |
| DP655 | 土器片鏟 | 5.4 4.7 | 1.1 | 4.8 | 32.5 | KB 2 e 50 540 層 | |
| DP656 | 土器片鏟 | 4.5 3.3 | 1.0 | 3.9 | 15.4 | KB 2 e 50 15 | |
| DP657 | 土器片鏟 | 4.3 2.7 | 1.0 | 3.9 | 14.5 | KB 2 e 50 1048 層 | |
| DP658 | 土器片鏟 | 6.7 4.0 | 1.3 | 6.3 | 40.9 | KB 3 a 10 9 | |
| DP659 | 土器片鏟 | 3.8 2.8 | 1.1 | 3.3 | 9.4 | KB 3 a 10 11 | |
| DP660 | 土器片鏟 | 3.5 2.2 | 1.2 | 3.1 | 9.5 | KB 3 a 10 11 | |
| DP661 | 土器片鏟 | 3.8 3.8 | 0.9 | 3.2 | 13.3 | KB 3 a 10 16 | |
| DP662 | 土器片鏟 | 3.7 3.6 | 1.2 | 3.3 | 16.8 | KB 3 a 10 2 | |
| DP663 | 土器片鏟 | 5.7 4.0 | 0.8 | 4.9 | 23.1 | KB 3 b 30 10 | |
| DP664 | 土器片鏟 | 3.2 2.7 | 0.9 | 2.7 | 9.9 | KB 3 b 30 10 | |
| DP665 | 土器片鏟 | 3.2 2.1 | 0.9 | 2.8 | 7.7 | KB 3 b 30 10 | |
| DP666 | 土器片鏟 | 3.5 3.6 | 0.8 | - | 9.7 | KB 3 b 30 10 | |
| DP667 | 土器片鏟 | 2.8 2.7 | 0.6 | - | 6.4 | KB 3 b 30 10 | |
| DP668 | 土器片鏟 | 5.1 4.6 | 1.3 | 4.5 | 28.6 | KB 3 c 10 17 | |
| DP669 | 土器片鏟 | 4.6 3.8 | 1.1 | 3.9 | 27.0 | KB 3 c 30 12 | |
| DP670 | 土器片鏟 | 4.2 4.4 | 1.1 | 3.6 | 19.4 | KB 3 c 30 15 | |
| DP671 | 土器片鏟 | 4.7 2.3 | 1.2 | 4.2 | 18.7 | KB 3 c 30 7 層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|------|---------|--------|---------|----------|------------------|------|
| DP672 | 土器片鏟 | 5.2 4.3 | 0.9 | 5.0 | 26.1 | KB 3 c 40 4 | |
| DP673 | 土器片鏟 | 4.8 3.2 | 1.0 | 4.5 | 22.3 | KB 3 c 40 7 x 13 | |
| DP674 | 土器片鏟 | 6.4 5.2 | 1.5 | 5.7 | 53.9 | KB 3 d 10 2 x 4 | |
| DP675 | 土器片鏟 | 3.7 3.6 | 1.3 | 3.2 | 15.1 | KB 3 d 10 16 | |
| DP676 | 土器片鏟 | 6.3 4.3 | 1.1 | 5.6 | 35.4 | KB 3 d 20 3 | |
| DP677 | 土器片鏟 | 6.8 4.3 | 1.5 | 6.4 | 41.8 | KB 3 d 2-一括 | |
| DP678 | 土器片鏟 | 3.7 3.3 | 1.2 | 3.2 | 18.5 | KB 3 d 20 4 | |
| DP679 | 土器片鏟 | 6.5 4.4 | 1.4 | 6.1 | 39.5 | KB 3 d 30 20 | |
| DP680 | 土器片鏟 | 4.2 3.8 | 1.0 | 3.9 | 21.4 | KB 3 d 30 243 層 | |
| DP681 | 土器片鏟 | 4.3 3.5 | 0.9 | 4.0 | 11.7 | KB 3 d 30 217 層 | |
| DP682 | 土器片鏟 | 3.5 3.4 | 0.9 | 3.1 | 12.2 | KB 3 d 30 9 | |
| DP683 | 土器片鏟 | 3.0 2.3 | 1.1 | 2.7 | 9.2 | KB 3 d 3-一括 | |
| DP684 | 土器片鏟 | 6.5 4.3 | 1.8 | 6.0 | 55.3 | KB 3 d 40 248 層 | |
| DP685 | 土器片鏟 | 6.5 4.8 | 2.2 | 5.8 | 49.8 | KB 3 d 40 2 | |
| DP686 | 土器片鏟 | 4.3 3.0 | 1.1 | 3.8 | 16.4 | KB 3 d 40 248 層 | |
| DP687 | 土器片鏟 | 3.7 3.2 | 0.9 | 3.3 | 12.5 | KB 3 d 40 238 層 | |
| DP688 | 土器片鏟 | 4.3 2.9 | 1.1 | 4.0 | 17.4 | KB 3 d 40 212 層 | |
| DP689 | 土器片鏟 | 3.7 3.3 | 1.1 | 3.2 | 14.1 | KB 3 d 50 6 | |
| DP690 | 土器片鏟 | 6.3 4.7 | 1.1 | 5.7 | 39.1 | KB 3 e 10 13 | |
| DP691 | 土器片鏟 | 4.9 4.9 | 1.0 | 4.3 | 26.2 | KB 3 e 10 17 | |
| DP692 | 土器片鏟 | 5.7 3.2 | 1.4 | 5.3 | 25.9 | KB 3 e 10 28 | |
| DP693 | 土器片鏟 | 3.7 3.4 | 1.1 | 3.3 | 16.0 | KB 3 e 10 10 | |
| DP694 | 土器片鏟 | 3.7 3.2 | 1.0 | 3.3 | 15.5 | KB 3 e 10 20 | |
| DP695 | 土器片鏟 | 3.7 3.1 | 1.1 | 3.1 | 16.0 | KB 3 e 10 24 | |
| DP696 | 土器片鏟 | 3.6 3.4 | 1.1 | 3.2 | 17.1 | KB 3 e 10 15 | |
| DP697 | 土器片鏟 | 3.5 3.2 | 1.3 | 3.2 | 15.8 | KB 3 e 10 19 | |
| DP698 | 土器片鏟 | 3.4 3.0 | 0.9 | 3.1 | 9.6 | KB 3 e 10 22 | |
| DP699 | 土器片鏟 | 3.3 2.4 | 1.0 | 2.9 | 8.2 | KB 3 e 10 4 | |
| DP700 | 土器片鏟 | 3.7 2.4 | 0.9 | 3.3 | 8.9 | KB 3 e 10 28 | |
| DP701 | 土器片鏟 | 3.7 2.2 | 0.9 | 3.1 | 9.2 | KB 3 e 10 15 | |
| DP702 | 土器片鏟 | 2.9 2.5 | 0.8 | 2.7 | 8.2 | KB 3 e 10 15 | |
| DP703 | 土器片鏟 | 2.4 2.6 | 1.1 | - | 9.1 | KB 3 e 10 21 | |
| DP706 | 土器片鏟 | 8.0 5.7 | 1.4 | 7.3 | 96.3 | KB 3 e 20 1025 層 | |
| DP707 | 土器片鏟 | 9.1 4.9 | 1.5 | 8.4 | 96.3 | KB 3 e 20 22 | |
| DP708 | 土器片鏟 | 7.6 5.0 | 2.3 | 6.4 | 66.2 | KB 3 e 20 8 | |
| DP709 | 土器片鏟 | 6.0 5.2 | 1.2 | 5.6 | 44.9 | KB 3 e 20 8 | |
| DP710 | 土器片鏟 | 6.7 3.9 | 1.4 | 6.0 | 24.6 | KB 3 e 20 1026 層 | |
| DP711 | 土器片鏟 | 5.0 4.3 | 1.0 | 4.6 | 28.0 | KB 3 e 20 14 | |
| DP712 | 土器片鏟 | 4.8 3.8 | 1.4 | 4.3 | 26.9 | KB 3 e 20 217 層 | |
| DP713 | 土器片鏟 | 4.0 3.9 | 1.1 | 3.2 | 18.5 | KB 3 e 2-一括 | |
| DP714 | 土器片鏟 | 4.2 3.4 | 0.8 | 3.7 | 15.1 | KB 3 e 20 1024 層 | |
| DP715 | 土器片鏟 | 3.8 3.1 | 0.9 | 3.3 | 14.6 | KB 3 e 20 25 | |
| DP716 | 土器片鏟 | 4.5 3.1 | 0.9 | 4.0 | 15.8 | KB 3 e 2-一括 | |
| DP717 | 土器片鏟 | 4.9 2.7 | 0.9 | 4.4 | 14.4 | KB 3 e 20 12 | |
| DP718 | 土器片鏟 | 4.3 3.2 | 1.1 | 3.3 | 14.6 | KB 3 e 20 | |
| DP719 | 土器片鏟 | 4.5 3.3 | 1.1 | 4.1 | 17.1 | KB 3 e 20 255 層 | |
| DP720 | 土器片鏟 | 3.7 3.5 | 1.0 | 3.2 | 14.5 | KB 3 e 20 1023 層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|----------|------|-------------|
| DP721 | 土器片鏟 | 3.9 | 2.6 | 1.0 | 3.5 | 12.7 | KB3e2② |
| DP722 | 土器片円盤 | 5.1 | 5.2 | 1.0 | - | 32.2 | KB3e2② |
| DP723 | 土器片円盤 | 3.0 | 2.9 | 1.0 | - | 8.1 | KB3e2② |
| DP725 | 土器片鏟 | 4.0 | 2.5 | 1.2 | 3.5 | 14.2 | KA3e2② x10 |
| DP726 | 土器片鏟 | 6.9 | 5.5 | 1.2 | 6.2 | 63.7 | KB3e3② x11 |
| DP727 | 土器片鏟 | 6.7 | 5.6 | 1.0 | 6.0 | 49.1 | KB3e3② x15 |
| DP728 | 土器片鏟 | 6.8 | 5.7 | 1.3 | 5.9 | 52.3 | KB3e3② x1 |
| DP729 | 土器片鏟 | 7.2 | 4.6 | 1.0 | 6.6 | 40.0 | KB3e3② x14 |
| DP730 | 土器片鏟 | 6.4 | 4.9 | 1.2 | 5.9 | 48.7 | KB3e3②一拵 |
| DP731 | 土器片鏟 | 6.1 | 4.5 | 1.1 | 5.7 | 29.0 | KB3e3② x24 |
| DP732 | 土器片鏟 | 6.6 | 4.2 | 1.2 | 5.8 | 39.4 | KB3e3② x13 |
| DP733 | 土器片鏟 | 5.6 | 4.2 | 1.2 | 5.1 | 37.9 | KB3e3② |
| DP734 | 土器片鏟 | 6.5 | 3.2 | 1.4 | 6.2 | 28.3 | KB3e3② x8 |
| DP735 | 土器片鏟 | 5.6 | 3.7 | 1.2 | 5.2 | 22.7 | KB3e3② x16 |
| DP736 | 土器片鏟 | 5.3 | 3.6 | 1.3 | 5.1 | 30.8 | KB3e3② x8 |
| DP737 | 土器片鏟 | 4.4 | 4.5 | 1.0 | 4.0 | 19.3 | KB3e3② x11 |
| DP738 | 土器片鏟 | 4.7 | 4.3 | 1.2 | 4.3 | 27.4 | KB3e3② |
| DP739 | 土器片鏟 | 4.3 | 3.8 | 1.1 | 3.9 | 23.0 | KB3e3② |
| DP740 | 土器片鏟 | 4.2 | 3.6 | 0.9 | 3.9 | 16.7 | KB3e3② x1 |
| DP741 | 土器片鏟 | 4.0 | 3.6 | 1.1 | 3.1 | 17.3 | KB3e3② |
| DP742 | 土器片鏟 | 4.4 | 3.2 | 1.3 | 4.1 | 18.2 | KB3e3② x15 |
| DP743 | 土器片鏟 | 3.9 | 3.5 | 1.1 | 3.5 | 16.6 | KB3e3② |
| DP744 | 土器片鏟 | 4.4 | 3.5 | 1.2 | 3.9 | 19.8 | KB3e3② x2 |
| DP745 | 土器片鏟 | 3.8 | 3.4 | 1.0 | 3.5 | 16.0 | KB3e3② |
| DP746 | 土器片鏟 | 3.8 | 3.2 | 0.9 | 2.9 | 13.0 | KB3e3② |
| DP747 | 土器片鏟 | 3.4 | 3.6 | 1.0 | 2.9 | 13.6 | KB3e3② x6 |
| DP748 | 土器片鏟 | 3.8 | 2.9 | 1.1 | 3.2 | 13.6 | KB3e3② |
| DP749 | 土器片鏟 | 2.8 | 2.8 | 0.9 | 2.5 | 10.5 | KB3e3② |
| DP750 | 土器片鏟 | 2.9 | 2.7 | 0.9 | 2.6 | 8.7 | KB3e3② x20 |
| DP751 | 土器片鏟 | 3.1 | 2.7 | 1.3 | 2.6 | 11.9 | KB3e3② x4 |
| DP752 | 土器片鏟 | 3.0 | 2.2 | 1.0 | 2.5 | 7.5 | KB3e3② x4 |
| DP753 | 土器片鏟 | 2.8 | 2.0 | 1.0 | 2.4 | 6.5 | KB3e3② x7 |
| DP754 | 土器片円盤 | 5.3 | 5.2 | 1.1 | - | 41.1 | KB3e3② |
| DP755 | 土器片鏟 | 6.1 | 5.4 | 1.3 | 5.4 | 53.0 | KB3e4② x3 |
| DP756 | 土器片鏟 | 5.6 | 5.1 | 1.3 | 4.8 | 49.7 | KB3e4② 64層 |
| DP757 | 土器片鏟 | 5.8 | 5.3 | 1.3 | 5.4 | 43.7 | KB3e4② x5 |
| DP758 | 土器片鏟 | 6.5 | 4.6 | 1.2 | 5.6 | 39.0 | KB3e4② 102層 |
| DP759 | 土器片鏟 | 7.1 | 4.0 | 1.7 | 6.6 | 48.1 | KB3e4② x9 |
| DP760 | 土器片鏟 | 4.6 | 4.8 | 1.5 | 4.1 | 35.8 | KB3e4② x14 |
| DP761 | 土器片鏟 | 5.1 | 5.1 | 1.0 | 4.2 | 21.2 | KB3e4② x2 |
| DP762 | 土器片鏟 | 4.4 | 4.6 | 0.9 | 3.8 | 21.1 | KB3e4② x13 |
| DP763 | 土器片鏟 | 4.8 | 3.9 | 1.1 | 4.3 | 22.1 | KB3e4② x6 |
| DP764 | 土器片鏟 | 4.3 | 3.8 | 1.1 | 4.0 | 23.6 | KB3e4② |
| DP765 | 土器片鏟 | 4.3 | 3.3 | 0.9 | 4.0 | 16.2 | KB3e4② x10 |
| DP766 | 土器片鏟 | 3.9 | 3.4 | 0.9 | 3.6 | 15.7 | KB3e4② 238層 |
| DP767 | 土器片鏟 | 4.0 | 3.4 | 1.2 | 3.5 | 20.0 | KB3e4② x5 |
| DP768 | 土器片鏟 | 3.4 | 3.1 | 1.1 | 3.1 | 15.5 | KB3e4② x13 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込 分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|-------------|--------|---------|----------|-----------|-------------|
| DP769 | 土器片鏟 | 2.7 | 2.5 | 1.0 | 2.4 | 11.8 | KB3e4② x5 |
| DP770 | 土器片鏟 | 3.7 | 2.5 | 1.1 | 3.5 | 14.5 | KB3e4② x15 |
| DP771 | 土器片鏟 | 3.7 | 2.5 | 0.8 | 3.5 | 9.6 | KB3e4② x2 |
| DP772 | 土器片鏟 | 3.6 | 2.5 | 1.0 | 3.0 | 9.6 | KB3e4② x11 |
| DP773 | 土器片鏟 | 3.9 | 2.6 | 0.9 | 2.6 | 9.9 | KB3e4② x2 |
| DP774 | 土器片鏟 | 2.8 | 2.3 | 1.0 | 2.5 | 9.4 | KB3e4② 249層 |
| DP775 | 土器片鏟 | 3.4 | 2.0 | 1.1 | 3.0 | 8.3 | KB3e4② x9 |
| DP776 | 土器片鏟 | 2.4 | 2.1 | 1.0 | 2.1 | 6.3 | KB3e4② x11 |
| DP777 | 土器片鏟 | 5.9 | 3.5 | 1.4 | 5.4 | 32.2 | KB3e5② x1 |
| DP778 | 土器片鏟 | 5.8 | 3.8 | 1.1 | 5.5 | 25.7 | KB3e5② x6 |
| DP779 | 土器片鏟 | 5.3 | 4.7 | 1.2 | 5.0 | 41.0 | KB3e5② x2 |
| DP780 | 土器片鏟 | 4.2 | 3.3 | 0.8 | 3.2 | 11.2 | KB3e5② x4 |
| DP781 | 土器片鏟 | 3.5 | 3.2 | 1.0 | 2.9 | 13.4 | KB3e5② x5 |
| DP782 | 土器片鏟 | 3.6 | 3.1 | 1.2 | 3.1 | 14.5 | KB3e5② x5 |
| DP783 | 土器片鏟 | 3.6 | 2.8 | 1.3 | 3.2 | 18.6 | KC2a②③ x7 |
| DP784 | 土器片鏟 | 6.6 | 4.8 | 1.7 | 5.9 | 57.0 | KC2a②③ x2 |
| DP785 | 土器片鏟 | 5.7 | 5.1 | 1.3 | 5.2 | 52.3 | KC2a②③ x12 |
| DP786 | 土器片鏟 | 5.3 | 4.0 | 1.1 | 5.0 | 24.2 | KC2a②③ x10 |
| DP787 | 土器片鏟 | 4.1 | 3.5 | 1.1 | 3.5 | 18.1 | KC2a②③ x6 |
| DP788 | 土器片鏟 | 3.7 | 3.6 | 1.2 | 3.4 | 20.6 | KC2a②③ x9 |
| DP789 | 土器片鏟 | 4.7 | 3.0 | 1.5 | 4.3 | 21.7 | KC2a②③ x5 |
| DP790 | 土器片鏟 | 3.6 | 3.3 | 1.1 | 3.2 | 14.8 | KC2a②③ x2 |
| DP791 | 土器片鏟 | 3.5 | 2.8 | 1.0 | 3.0 | 11.0 | KC2a②③ x10 |
| DP792 | 土器片鏟 | 3.9 | 2.7 | 0.8 | 3.4 | 9.8 | KC2a②③ x11 |
| DP793 | 土器片円盤 | 2.5 | 2.4 | 0.7 | - | 5.1 | KC2a②③ x1 |
| DP794 | 土器片円盤 | 4.7 (2.7) | 0.8 | - | (9.6) | KC2a②③ x6 | |
| DP795 | 土器片鏟 | 7.4 | 6.3 | 1.3 | 6.9 | 59.1 | KC2a③④ 445層 |
| DP796 | 土器片鏟 | 7.5 | 6.5 | 1.2 | 7.0 | 62.5 | KC2a③④ x11 |
| DP797 | 土器片鏟 | 5.8 | 2.6 | 1.0 | 5.5 | 17.8 | KC2a③④ |
| DP798 | 土器片鏟 | 3.8 | 4.6 | 1.3 | 2.7 | 27.1 | KC2a③④ x10 |
| DP799 | 土器片鏟 | 4.2 | 3.6 | 1.2 | 3.9 | 21.2 | KC2a③④ x15 |
| DP800 | 土器片鏟 | 4.2 | 4.4 | 1.0 | 3.9 | 19.2 | KC2a③④ 512層 |
| DP801 | 土器片鏟 | 3.8 | 3.7 | 1.1 | 3.4 | 23.8 | KC2a③④ x11 |
| DP802 | 土器片鏟 | 3.7 | 3.2 | 1.4 | 3.5 | 16.3 | KC2a③④ 411層 |
| DP803 | 土器片鏟 | 3.7 | 2.4 | 1.5 | 3.4 | 15.6 | KC2a③④ x10 |
| DP804 | 土器片鏟 | 2.2 | 1.9 | 0.7 | 2.0 | 3.3 | KC2a③④ x8 |
| DP805 | 土器片円盤 | 3.5 | 3.5 | 1.0 | - | 15.5 | KC2a③④ |
| DP806 | 土器片円盤 | 2.7 | 2.4 | 0.7 | - | 6.3 | KC2a③④ 408層 |
| DP807 | 土器片鏟 | 7.3 | 4.4 | 1.7 | 6.7 | 61.7 | KC2a④⑤ x12 |
| DP808 | 土器片鏟 | 5.4 | 5.2 | 1.4 | 4.8 | 41.4 | KC2a④⑤ x14 |
| DP809 | 土器片鏟 | 5.8 | 4.3 | 0.9 | 5.1 | 28.1 | KC2a④⑤ x10 |
| DP810 | 土器片鏟 | 4.2 | 4.6 | 0.9 | 3.8 | 23.9 | KC2a④⑤ x12 |
| DP811 | 土器片鏟 | 4.6 | 3.3 | 0.9 | 4.3 | 15.4 | KC2a④⑤ x12 |
| DP812 | 土器片鏟 | 3.6 | 3.5 | 1.6 | 3.2 | 16.2 | KC2a④⑤ x14 |
| DP813 | 土器片鏟 | 4.2 | 3.1 | 1.1 | 3.8 | 13.5 | KC2a④⑤ x11 |
| DP814 | 土器片鏟 | 3.5 | 2.8 | 0.8 | 3.2 | 11.3 | KC2a④⑤ x12 |
| DP815 | 土器片鏟 | 3.0 | 2.5 | 0.9 | 2.7 | 10.2 | KC2a④⑤ x12 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込部分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|---------|--------|---------|-------|--------------|------|
| DP816 | 土器片鉢 | 3.8 2.8 | 1.1 | 3.6 | 14.0 | KC 2 a4⑩×11 | |
| DP817 | 土器片鉢 | 6.3 5.0 | 1.3 | 5.8 | 54.9 | KC 2 a5⑩×9 | |
| DP818 | 土器片鉢 | 6.4 4.9 | 1.5 | 5.9 | 41.2 | KC 2 a5⑩×16 | |
| DP819 | 土器片鉢 | 3.6 3.3 | 1.2 | 3.2 | 18.6 | KC 2 a5⑩×4 | |
| DP820 | 土器片鉢 | 3.9 3.4 | 1.0 | 3.8 | 17.3 | KC 2 a5⑩×8 | |
| DP821 | 土器片鉢 | 3.8 3.4 | 1.2 | 3.5 | 17.8 | KC 2 a5⑩42層 | |
| DP822 | 土器片鉢 | 3.2 3.3 | 1.2 | 3.0 | 17.3 | KC 2 a5⑩264層 | |
| DP823 | 土器片鉢 | 3.5 2.6 | 1.2 | 3.3 | 10.6 | KC 2 a5⑩×10 | |
| DP824 | 土器片鉢 | 2.9 3.1 | 1.6 | 2.3 | 10.8 | KC 2 a5⑩×11 | |
| DP825 | 土器片鉢 | 2.8 1.7 | 1.0 | 2.5 | 5.7 | KC 2 a5⑩42層 | |
| DP826 | 土器片鉢 | 2.2 2.6 | 1.1 | 1.5 | 5.9 | KC 2 a5⑩294層 | |
| DP827 | 土器片鉢 | 2.4 2.1 | 1.1 | 1.9 | 5.8 | KC 2 a5⑩263層 | |
| DP828 | 土器片鉢 | 2.1 1.7 | 0.8 | 2.0 | 4.1 | KC 2 a5⑩×9 | |
| DP829 | 土器片内盤 | 4.4 4.6 | 0.9 | - | 23.8 | KC 2 a5⑩ | |
| DP830 | 土器片鉢 | 6.7 4.6 | 1.5 | 5.8 | 50.0 | KC 2 b2⑩411層 | |
| DP831 | 土器片鉢 | 5.3 4.8 | 1.4 | 4.9 | 37.3 | KC 2 b2⑩×8 | |
| DP832 | 土器片鉢 | 5.5 4.8 | 1.1 | 4.1 | 31.7 | KC 2 b2⑩×6 | |
| DP833 | 土器片鉢 | 5.5 4.7 | 1.4 | 5.1 | 35.0 | KC 2 b2⑩411層 | |
| DP834 | 土器片鉢 | 5.9 4.7 | 1.2 | 4.8 | 32.8 | KC 2 b2⑩411層 | |
| DP835 | 土器片鉢 | 5.1 4.2 | 1.2 | 4.3 | 27.8 | KC 2 b2⑩×6 | |
| DP836 | 土器片鉢 | 4.4 4.0 | 1.0 | 3.7 | 20.0 | KC 2 b2⑩411層 | |
| DP837 | 土器片鉢 | 4.3 3.4 | 1.0 | 3.9 | 17.7 | KC 2 b2⑩411層 | |
| DP838 | 土器片鉢 | 4.5 3.1 | 0.9 | 3.8 | 15.7 | KC 2 b3⑩一拵 | |
| DP839 | 土器片鉢 | 3.8 3.8 | 1.2 | 3.4 | 24.9 | KC 2 b3⑩×3 | |
| DP840 | 土器片鉢 | 3.5 3.2 | 1.1 | 3.1 | 15.8 | KC 2 b3⑩×5 | |
| DP841 | 土器片鉢 | 7.7 6.8 | 1.5 | 6.9 | 72.0 | KC 2 b4⑩411層 | |
| DP842 | 土器片鉢 | 6.0 5.2 | 1.5 | 5.4 | 62.3 | KC 2 b4⑩412層 | |
| DP843 | 土器片鉢 | 7.2 4.5 | 1.4 | 6.1 | 53.0 | KC 2 b4⑩407層 | |
| DP844 | 土器片鉢 | 6.7 4.9 | 1.3 | 6.1 | 35.8 | KC 2 b4⑩407層 | |
| DP845 | 土器片鉢 | 5.7 4.7 | 0.8 | 5.1 | 33.4 | KC 2 b4⑩411層 | |
| DP846 | 土器片鉢 | 5.1 4.7 | 1.3 | 4.5 | 36.5 | KC 2 b4⑩×7 | |
| DP847 | 土器片鉢 | 4.1 4.0 | 1.1 | 3.7 | 19.0 | KC 2 b4⑩411層 | |
| DP848 | 土器片鉢 | 4.0 3.9 | 1.2 | 3.8 | 25.1 | KC 2 b4⑩×13 | |
| DP849 | 土器片鉢 | 3.6 3.7 | 1.1 | 3.1 | 16.4 | KC 2 b4⑩×10 | |
| DP850 | 土器片鉢 | 4.3 2.5 | 0.9 | 3.6 | 12.2 | KC 2 b4⑩×15 | |
| DP851 | 土器片鉢 | 3.2 2.9 | 0.9 | 2.7 | 8.0 | KC 2 b4⑩×14 | |
| DP852 | 土器片鉢 | 2.1 2.9 | 1.0 | 1.6 | 7.0 | KC 2 b4⑩411層 | |
| DP853 | 土器片鉢 | 6.4 4.9 | 1.2 | 5.7 | 30.3 | KC 2 b4⑩×14 | |
| DP854 | 土器片内盤 | 6.0 6.3 | 0.9 | - | 51.8 | KC 2 b4⑩ | |
| DP855 | 土器片内盤 | 2.5 2.5 | 0.7 | - | 5.6 | KC 2 b4⑩411層 | |
| DP856 | 土器片鉢 | 6.4 5.0 | 1.2 | 5.1 | 51.9 | KC 2 b5⑩×25 | |
| DP857 | 土器片鉢 | 4.9 3.6 | 1.5 | 4.3 | 32.4 | KC 2 b5⑩×15 | |
| DP858 | 土器片鉢 | 4.6 3.7 | 0.9 | 3.8 | 22.9 | KC 2 b5⑩548層 | |
| DP859 | 土器片鉢 | 3.7 3.8 | 0.9 | 3.1 | 19.8 | KC 2 b5⑩274層 | |
| DP860 | 土器片鉢 | 4.1 2.6 | 0.7 | 3.9 | 9.7 | KC 2 b5⑩×11 | |
| DP861 | 土器片鉢 | 3.5 2.7 | 1.0 | 3.1 | 12.0 | KC 2 b5⑩×13 | |
| DP862 | 土器片鉢 | 2.8 2.7 | 0.9 | 2.4 | 8.9 | KC 2 b5⑩×10 | |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切込部分厚 | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|---------|--------|---------|-------|--------------|------|
| DP863 | 土器片鉢 | 2.8 1.9 | 0.8 | 2.5 | 6.4 | KC 2 b5⑩294層 | |
| DP864 | 土器片鉢 | 2.7 2.6 | 0.8 | 2.4 | 6.6 | KC 2 b5⑩一拵 | |
| DP865 | 土器片内盤 | 5.7 5.8 | 1.0 | - | 44.4 | KC 2 b5⑩ | |
| DP866 | 土器片鉢 | 7.3 5.5 | 1.4 | 6.7 | 55.6 | KC 2 c2⑩×6 | |
| DP867 | 土器片鉢 | 6.9 5.2 | 1.4 | 6.0 | 46.0 | KC 2 c2⑩×8 | |
| DP868 | 土器片鉢 | 6.3 4.8 | 1.3 | 6.0 | 42.6 | KC 2 c2⑩×5 | |
| DP869 | 土器片鉢 | 4.7 4.3 | 1.5 | 3.7 | 31.2 | KC 2 c2⑩×10 | |
| DP870 | 土器片鉢 | 5.0 3.2 | 1.0 | 4.0 | 17.6 | KC 2 c2⑩×7 | |
| DP871 | 土器片鉢 | 3.7 2.8 | 1.2 | 3.0 | 13.2 | KC 2 c2⑩×6 | |
| DP872 | 土器片鉢 | 4.4 5.7 | 1.2 | 3.8 | 36.2 | KC 2 c3⑩411層 | |
| DP873 | 土器片鉢 | 4.9 5.7 | 1.0 | 4.5 | 22.8 | KC 2 c3⑩410層 | |
| DP874 | 土器片鉢 | 4.6 3.8 | 1.1 | 4.3 | 27.7 | KC 2 c3⑩×5 | |
| DP875 | 土器片鉢 | 4.8 2.6 | 1.0 | 4.3 | 17.4 | KC 2 c3⑩408層 | |
| DP876 | 土器片鉢 | 4.2 3.7 | 1.0 | 3.5 | 14.5 | KC 2 c3⑩×15 | |
| DP877 | 土器片鉢 | 8.2 4.9 | 1.7 | 7.6 | 54.0 | KC 2 c4⑩×5 | |
| DP878 | 土器片鉢 | 6.6 3.6 | 1.6 | 6.1 | 47.7 | KC 2 c4⑩×18 | |
| DP879 | 土器片鉢 | 5.8 5.0 | 1.5 | 4.7 | 34.1 | KC 2 c4⑩×12 | |
| DP880 | 土器片鉢 | 4.8 4.6 | 1.2 | 3.8 | 25.9 | KC 2 c4⑩×9 | |
| DP881 | 土器片鉢 | 4.9 3.5 | 1.2 | 4.2 | 24.0 | KC 2 c4⑩×10 | |
| DP882 | 土器片鉢 | 3.4 2.5 | 0.9 | 2.9 | 10.1 | KC 2 c4⑩×15 | |
| DP883 | 土器片鉢 | 2.8 2.7 | 0.9 | 2.4 | 9.1 | KC 2 c4⑩×4 | |
| DP884 | 土器片鉢 | 3.1 2.2 | 0.8 | 2.5 | 5.3 | KC 2 c4⑩×12 | |
| DP885 | 土器片内盤 | 3.9 3.9 | 1.0 | - | 22.0 | KC 2 c4⑩×12 | |
| DP886 | 土器片鉢 | 9.3 7.0 | 1.3 | 8.4 | 118.0 | KC 2 c5⑩543層 | |
| DP887 | 土器片鉢 | 5.8 5.3 | 1.4 | 4.9 | 43.7 | KC 2 c5⑩×24 | |
| DP888 | 土器片鉢 | 6.5 5.1 | 1.4 | 5.8 | 52.2 | KC 2 c5⑩407層 | |
| DP889 | 土器片鉢 | 5.8 5.2 | 1.1 | 5.1 | 50.3 | KC 2 c5⑩×7 | |
| DP890 | 土器片内盤 | 5.1 5.1 | 1.2 | - | 38.9 | KC 2 c5⑩405層 | |
| DP891 | 土器片鉢 | 5.9 3.9 | 1.2 | 5.4 | 33.9 | KC 2 c5⑩×24 | |
| DP892 | 土器片鉢 | 5.1 3.9 | 1.2 | 4.4 | 20.0 | KC 2 c5⑩543層 | |
| DP893 | 土器片鉢 | 4.9 4.0 | 1.1 | 4.2 | 21.5 | KC 2 c5⑩×13 | |
| DP894 | 土器片鉢 | 4.3 3.3 | 1.1 | 4.0 | 16.5 | KC 2 c5⑩ | |
| DP895 | 土器片鉢 | 3.7 3.7 | 1.0 | 3.4 | 16.9 | KC 2 c5⑩50層 | |
| DP896 | 土器片鉢 | 3.9 3.4 | 1.0 | 3.6 | 15.3 | KC 2 c5⑩ | |
| DP897 | 土器片鉢 | 4.1 3.0 | 0.9 | 3.3 | 12.6 | KC 2 c5⑩×20 | |
| DP898 | 土器片鉢 | 4.3 2.5 | 1.0 | 3.6 | 13.6 | KC 2 c5⑩544層 | |
| DP899 | 土器片鉢 | 4.3 3.3 | 0.7 | 3.6 | 11.5 | KC 2 c5⑩×20 | |
| DP900 | 土器片鉢 | 3.2 3.0 | 1.0 | 2.9 | 11.4 | KC 2 c5⑩267層 | |
| DP901 | 土器片鉢 | 3.1 2.2 | 1.2 | 2.7 | 9.6 | KC 2 c5⑩×18 | |
| DP902 | 土器片内盤 | 3.7 3.5 | 0.9 | - | 13.4 | KC 2 c5⑩543層 | |
| DP904 | 土器片鉢 | 7.1 5.0 | 1.3 | 6.6 | 51.8 | KC 3 a1一拵 | |
| DP905 | 土器片鉢 | 6.8 3.9 | 1.2 | 5.3 | 27.6 | KC 3 a1一拵 | |
| DP906 | 土器片鉢 | 5.5 5.2 | 1.1 | 4.9 | 28.4 | KC 3 a1一拵 | |
| DP907 | 土器片鉢 | 4.4 4.3 | 1.4 | 3.9 | 26.7 | KC 3 a1⑩×20 | |
| DP908 | 土器片鉢 | 4.8 2.5 | 0.9 | 4.2 | 12.4 | KC 3 a1⑩ | |
| DP909 | 土器片鉢 | 5.8 4.5 | 1.4 | 5.1 | 41.7 | KC 3 a2⑩×14 | |
| DP910 | 土器片鉢 | 5.0 4.3 | 1.0 | 4.0 | 20.8 | KC 3 a2⑩×16 | |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切り込み深さ | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|--------|------|--------------|
| DP911 | 土器片鏟 | 3.7 | 3.9 | 0.9 | 3.2 | 15.0 | KC3 a2⑤×20 |
| DP912 | 土器片鏟 | 2.4 | 3.6 | 1.0 | 1.8 | 10.1 | KC3 a2⑤×14 |
| DP913 | 土器片鏟 | 2.9 | 2.5 | 1.1 | 2.6 | 8.4 | KC3 a2③×19 |
| DP914 | 土器片鏟 | 4.6 | 4.7 | 1.3 | - | 39.8 | KC3 a2⑦×18 |
| DP915 | 土器片鏟 | 3.6 | 3.3 | 1.1 | 3.0 | 13.7 | KC3 a1①-a5 |
| DP916 | 土器片鏟 | 3.6 | 2.3 | 1.1 | 3.3 | 9.3 | KC3 a1①-a5 |
| DP917 | 土器片内盤 | 3.5 | 3.5 | 0.8 | - | 15.1 | KB2 b5③ |
| DP918 | 土器片内盤 | 5.1 | 4.8 | 1.2 | - | 33.3 | KB3 e5① |
| DP919 | 土器片鏟 | 8.3 | 5.2 | 1.3 | 7.6 | 56.2 | KC3 b1⑤×15 |
| DP920 | 土器片鏟 | 6.2 | 3.8 | 1.3 | 5.7 | 36.9 | KC3 b3③×1 |
| DP921 | 土器片鏟 | 4.9 | 3.6 | 1.2 | 3.9 | 19.1 | KC3 b3③×12 |
| DP922 | 土器片鏟 | 6.9 | 5.0 | 1.7 | 6.1 | 66.6 | KC3 b4③×6 |
| DP923 | 土器片鏟 | 6.7 | 4.5 | 1.0 | 5.7 | 35.6 | KC3 b4⑧×13 |
| DP924 | 土器片鏟 | 3.2 | 3.0 | 0.9 | 2.5 | 11.0 | KC3 c1⑧×18 |
| DP925 | 土器片鏟 | 2.7 | 2.0 | 0.9 | 2.4 | 5.5 | KC3 c1⑩×20 |
| DP926 | 土器片鏟 | 5.7 | 3.7 | 1.1 | 5.1 | 25.3 | KC3 c2⑤×10 |
| DP927 | 土器片鏟 | 5.3 | 3.9 | 1.0 | 4.8 | 30.0 | KC3 c2⑥×13 |
| DP928 | 土器片鏟 | 4.7 | 3.3 | 1.1 | 4.2 | 16.6 | KC3 c2⑧/24層 |
| DP929 | 土器片鏟 | 4.0 | 3.2 | 1.3 | 3.3 | 20.3 | KC3 c2⑩/267層 |
| DP930 | 土器片鏟 | 3.9 | 2.6 | 1.1 | 3.2 | 13.8 | KC3 c2一拵 |
| DP931 | 土器片鏟 | 3.0 | 2.4 | 0.8 | 2.7 | 8.5 | KC2 c3⑤/267層 |
| DP932 | 土器片鏟 | 3.5 | 2.3 | 1.0 | 3.2 | 9.3 | KC3 c2①×1 |
| DP933 | 土器片鏟 | 2.3 | 2.5 | 0.9 | 2.1 | 6.9 | KC3 c2⑤×12 |
| DP934 | 土器片鏟 | 2.8 | 2.9 | 1.1 | 2.5 | 10.0 | KC3 c3⑦×14 |
| DP935 | 土器片鏟 | 6.0 | 4.3 | 1.1 | 5.7 | 37.3 | 中央ベルト一拵 |
| DP936 | 土器片鏟 | 6.2 | 6.0 | 1.3 | 4.7 | 57.8 | 貝層表土 |
| DP937 | 土器片鏟 | 7.3 | 4.7 | 1.6 | 6.8 | 48.5 | 貝層表土 |
| DP938 | 土器片鏟 | 6.2 | 4.1 | 1.1 | 5.9 | 33.1 | 貝層表土 |
| DP939 | 土器片鏟 | 5.4 | 4.4 | 1.2 | 5.0 | 27.5 | 貝層表土 |
| DP940 | 土器片鏟 | 4.8 | 4.5 | 1.1 | 4.4 | 28.7 | 貝層表土 |
| DP941 | 土器片鏟 | 4.7 | 4.6 | 0.8 | 4.2 | 24.8 | 貝層表土 |

| 番号 | 種別 | 長さ / 径 | 幅 / 厚さ | 厚さ / 孔径 | 切り込み深さ | 重量 | 出土位置 |
|-------|-------|--------|--------|---------|--------|------|-----------|
| DP942 | 土器片鏟 | 5.4 | 3.8 | 1.2 | 5.0 | 29.9 | 貝層表土 |
| DP943 | 土器片鏟 | 4.4 | 4.6 | 1.2 | 3.4 | 28.5 | 貝層表土 |
| DP944 | 土器片鏟 | 5.0 | 4.1 | 1.1 | 4.5 | 26.5 | 貝層表土 |
| DP945 | 土器片鏟 | 4.5 | 4.0 | 1.1 | 3.7 | 23.4 | 貝層表土 |
| DP946 | 土器片鏟 | 4.5 | 4.1 | 0.7 | 4.0 | 17.9 | 貝層表土 |
| DP947 | 土器片鏟 | 4.1 | 4.3 | 1.4 | 3.6 | 30.6 | 貝層表土 |
| DP948 | 土器片鏟 | 4.7 | 4.4 | 0.8 | 4.1 | 20.8 | 貝層表土 |
| DP949 | 土器片鏟 | 4.2 | 4.2 | 1.1 | 3.3 | 23.4 | 貝層表土 |
| DP950 | 土器片鏟 | 4.5 | 3.7 | 0.9 | 3.6 | 15.9 | 貝層表土 |
| DP951 | 土器片鏟 | 4.4 | 3.2 | 1.0 | 3.7 | 17.8 | 貝層表土 |
| DP952 | 土器片鏟 | 4.6 | 3.9 | 1.2 | 4.1 | 19.4 | 貝層表土 |
| DP953 | 土器片鏟 | 4.5 | 3.8 | 1.0 | 3.8 | 19.3 | 貝層表土 |
| DP954 | 土器片鏟 | 4.2 | 3.3 | 1.2 | 3.7 | 21.2 | 貝層表土 |
| DP955 | 土器片鏟 | 4.0 | 3.7 | 0.9 | 3.1 | 7.8 | 貝層表土 |
| DP956 | 土器片鏟 | 3.5 | 3.5 | 1.1 | 3.0 | 17.8 | 貝層表土 |
| DP957 | 土器片鏟 | 3.6 | 3.6 | 1.2 | 3.3 | 18.2 | 貝層表土 |
| DP958 | 土器片鏟 | 3.8 | 2.7 | 1.0 | 3.4 | 13.9 | 貝層表土 |
| DP959 | 土器片鏟 | 4.4 | 2.8 | 1.0 | 4.0 | 13.2 | 貝層表土 |
| DP960 | 土器片鏟 | 4.0 | 3.5 | 0.9 | 3.6 | 14.3 | 貝層表土 |
| DP961 | 土器片鏟 | 3.4 | 3.2 | 0.9 | 2.9 | 13.0 | 貝層表土 |
| DP962 | 土器片鏟 | 4.1 | 2.7 | 0.9 | 3.5 | 11.6 | 貝層表土 |
| DP963 | 土器片鏟 | 3.5 | 2.8 | 1.1 | 3.2 | 12.2 | 貝層表土 |
| DP964 | 土器片鏟 | 3.3 | 2.6 | 1.3 | 2.9 | 12.2 | 貝層表土 |
| DP965 | 土器片鏟 | 3.7 | 3.0 | 1.1 | 3.2 | 11.3 | 貝層表土 |
| DP966 | 土器片鏟 | 3.4 | 2.7 | 1.0 | 2.6 | 13.5 | 貝層表土 |
| DP967 | 土器片鏟 | 3.5 | 2.3 | 1.0 | 2.5 | 9.2 | 貝層表土 |
| DP968 | 土器片鏟 | 2.6 | 2.5 | 0.8 | 2.4 | 5.7 | 貝層表土 |
| DP969 | 土器片鏟 | 2.2 | 2.0 | 0.7 | 1.8 | 3.2 | 貝層表土 |
| DP970 | 土器片内盤 | 3.9 | 4.0 | 1.2 | - | 18.1 | 貝層表土 |
| DP971 | 土器片鏟 | 7.1 | 5.7 | 1.4 | 5.6 | 50.7 | KC2 b3③×6 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 / 胎土 | 特 徴 | 出土位置 | 備考 |
|-------|--------------|-------------|-------|--------|--------|-----------------|---|-------------|------|
| DP43 | 耳栓 | (2.3)×(2.6) | (2.7) | (11.7) | | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 両面凹状・側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 一部欠損 | KB2 e4④ | |
| DP52 | 耳栓 | (2.2)×(1.9) | (1.9) | (8.7) | | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 両面凹状・側面溝状にくぼむ 丁寧なナデ調整 一部欠損 | KB2 a5⑥ | |
| DP53 | スプーン 向土製型 | 4.9 | 3.7 | 2.4 | 12.4 | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 粘土紐で環状の把手をつける 指頭によるナデ調整 | KB2 e2⑥ | PL55 |
| DP97 | 耳栓 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 12.7 | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 片面に棒状工具による沈線文で3方向の環状のモチーフを形成 側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 | KB3 d1⑥ | PL55 |
| DP121 | 環状土製品 | 3.9×1.6 | 1.3 | (4.5) | | 粘土 | 表面丁寧なナデ調整 大半を欠損 | KC2 a5⑤×18 | |
| DP162 | 大珠形 土製型 | 4.4 | 2.7 | 2.1 | 21.9 | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 中央部に2方向からの穿孔 孔径0.4-0.7cm 丁寧な指頭によるナデ調整 半分欠損 | KC2 c4④×17 | PL55 |
| DP209 | 不明土製品 | 4.0 | 2.5 | 1.7 | 8.8 | 粘土 | 指頭痕明瞭 | KC3 a1⑥×6 | |
| DP243 | 環状土製品 | (2.9)×(1.3) | 0.6 | (2.2) | | 粘土 | 表面丁寧な研磨調整 大半を欠損 | KC3 a2⑤/54層 | |
| DP244 | 耳栓 | (1.4)×(1.8) | (1.4) | (2.0) | | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 両面凹状・側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 大半を欠損 | KC3 a2⑥×1 | |
| DP331 | 不明土製品 | (2.5)×(2.1) | 1.5 | (6.9) | | 粘土 | 小形の把手状 両面に管孔 指頭によるナデ調整 大半を欠損 土質の把手の可能性あり | KC3 a4⑧/80層 | |
| DP470 | 耳栓 | 1.7 | 1.3 | 1.1 | 2.4 | 粘土 / 白色粒子 | 円柱状 指頭によるナデ調整 | KC3 c1⑥ | |
| DP548 | 不明土製品 | (5.1)×(3.8) | (2.9) | (23.1) | | 粘土 / 長石 | 粘土紐で環状のモチーフを形成 大半を欠損 土質の把手の一部の可能性あり | KC3 c2①/62層 | |
| DP593 | 耳飾り | (3.5) | 3.9 | 1.8 | (11.5) | 粘土 / 白色粒子 | 環状 両面丁寧なナデ調整 側面指頭痕明瞭 大半を欠損 | KC3 c3③×8 | |
| DP607 | 不明土製品 | 6.6 | 3.7 | 3.7 | 55.0 | 粘土 / 長石 | 指頭痕明瞭 | KB2 b3⑤ | |
| DP621 | 耳栓 | (1.9) | 1.6 | 1.7 | (4.0) | 粘土 / 白色粒子 | 円柱状 中央部に穿孔 孔径1.0-1.0-2cm 指頭によるナデ調整 一部を欠損 | KB2 b5⑤×35 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 / 胎土 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-------|----------------|-------|-------|-------|--------|-----------------|---|---------------|------|
| DP622 | 不明土製品 | 5.2 X | 3.1 X | 2.5 | (30.4) | 粘土 / 長石 | 指頭痕明確 | KB 2 b5⑤ x 11 | |
| DP636 | 不明土製品 | 2.3 X | 5.9 X | 1.6 | (14.2) | 粘土 / 長石 | 魚の尾鰭状のモチーフを形成 大半を欠損 | KB 2 d5① x 33 | |
| DP704 | 漆土製品 | 5.0 X | 2.5 | 1.6 | (14.7) | 粘土 / 白色粒子 | 環状丁寧なナデ調整 片面及び側面に列点文を施文 大半を欠損 | KB 3 e1⑨ x 24 | |
| DP705 | 不明土製品 | 5.4 | 4.9 | 3.7 | 51.4 | 粘土 / 長石 | 指頭痕明確 | KB 3 f1⑩ x 26 | |
| DP724 | 耳栓 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 13.4 | 粘土 / 白色粒子 | 両面皿状・側面溝状にくぼむ 丁寧な指頭によるナデ調整 | KB 3 e2⑩ | PL55 |
| DP903 | 壺餅り | 4.0 X | 4.0 | 1.0 | (15.5) | 粘土 / 白色粒子・黄褐色粒子 | 上縁部に2方向からの穿孔 孔径0.3cm 沈線文で溝線状の凸溝 列点文を充填 ナデ調整 下半部欠損 | KC 2 c5① x 20 | |
| DP972 | 耳栓 | 2.1 X | 2.9 | (1.6) | (6.2) | 粘土 / 白色粒子 | 両面皿状・側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 大半を欠損 | KC 2 a3①445層 | |
| DP973 | 土製 土製 土製 | 4.3 X | 2.9 | 1.3 | (12.6) | 粘土 / 白色粒子・赤色粒子 | 環状 表面丁寧なナデ調整 縫穴状の切り込み 半分欠損 | 貝屋敷土 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|------|---------|-------|------|---------|---------|----------------------------------|--|------|
| Q 1 | 模形石器 | 4.2 | 3.6 | 1.2 | 17.7 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KA 2 e3① x 3 | |
| Q 2 | 打製石斧 | 8.8 | 7.9 | 3.2 | 288.2 | 緑色片岩 | 磨製石斧転用 剥離調整による再加工 部分的に敲打痕 | KA 3 e2①② | PL53 |
| Q 3 | 打製石斧 | 8.3 | 5.3 | 1.7 | 102.6 | ホルンフェルス | 片側からの剥離により刃部を形成 | KA 3 b2① x 2 | PL53 |
| Q 4 | 磨製石斧 | 6.2 | 4.1 | 1.5 | 50.6 | ホルンフェルス | 片側からの剥離により刃部を形成後研磨調整 | KA 2 e4 一括 | PL53 |
| Q 5 | 浮子 | 4.8 | 4.4 | 4.9 | 18.0 | 軽石 | 円柱状に敲打・研磨調整 基底部を作出 | KA 2 e4② | PL54 |
| Q 7 | 敲打 | 8.9 | 5.7 | 4.9 | (299.4) | 石英斑岩 | 片面中央部及び側縁部に凸痕状の敲打痕 | KA 3 c1③ x 6 | PL53 |
| Q 8 | 模形石器 | 4.2 | 3.1 | 1.1 | 21.7 | チャート | 上下方向からの剥離痕 両面に礫面を残す | KA 3 c1④ x 10 | |
| Q 9 | 軽石製品 | 2.9 | 2.1 | 0.8 | 0.5 | 軽石 | 全面研磨 | KA 3 c2⑦ x 8 | |
| Q10 | 模形石器 | 3.4 | 2.8 | 0.8 | 7.1 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KA 3 c3① x 3 | |
| Q11 | 磨石 | 6.3 | 4.6 | 1.5 | 46.2 | 安山岩 | 全面研磨 | KA 3 c4① x 1 | |
| Q12 | 模形石器 | 3.5 | 2.2 | 1.4 | 11.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KA 3 c4② x 7 | PL53 |
| Q13 | 尖頭器 | 4.4 | 3.0 | 0.7 | 8.9 | チャート | 両面調整 尖頭状に加工 | KA 2 e5①90層 | PL53 |
| Q14 | 凹石 | 15.8 | 14.6 | 10.3 | 2527.3 | 泥岩 | 表面に複数の断面V字状の凹み | KA 2 e5② | |
| Q15 | 敲打 | 4.8 | 4.5 | 2.1 | 62.5 | ホルンフェルス | 側縁部に敲打痕 | KA 2 b4④ x 1 | |
| Q16 | 石器 | 2.1 | 1.5 | 0.4 | 0.6 | チャート | 凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を残す | KA 2 c5② | PL53 |
| Q17 | 軽石製品 | 5.7 | 5.3 | 3.3 | 21.1 | 軽石 | 瘤み状の突起を有する | KA 3 d4① x 4 | |
| Q18 | 破石 | (10.7 X | 6.8 X | 2.5) | (198.0) | 凝灰岩 | 片面及び側面に種状の凹み | KA 3 e1② | PL54 |
| Q19 | 敲打 | (4.9) | 7.9 | 4.3 | (271.8) | 安山岩 | 両面に凸痕状の敲打痕 | KA 3 e1③ x 18 | |
| Q20 | 磨製石斧 | (6.9 X | 5.7 X | 2.9) | (134.5) | 砂岩 | 刃部及び基部欠損 敲打・研磨調整 | KA 3 e1④ | |
| Q21 | 敲打 | 7.5 | 4.8 | 2.3 | 150.8 | 砂岩 | 両面及び側縁部に凸痕状の敲打痕 | KA 3 e1⑤ x 18 | |
| Q22 | 敲打 | (4.4 X | 6.0 X | 4.5) | (12.2) | 砂岩 | 磨製石斧転用 下縁部に凸痕状の敲打痕 | KA 3 e1⑥ | |
| Q24 | 軽石製品 | 6.8 | 6.0 | 1.9 | 25.3 | 軽石 | 全面研磨 楕円形 扁平 | KA 3 e4① | |
| Q25 | 磨製石斧 | (11.1) | 5.7 | 3.6 | (387.1) | 輝石安山岩 | 研磨調整 刃部欠損 | KA 3 e2② | |
| Q26 | 研磨器 | 6.9 | 5.1 | 3.6 | 42.7 | 軽石 | 複数の溝状の凹み | KA 3 e5⑦ x 1 | |
| Q27 | 敲打 | 10.9 | 6.0 | 6.2 | 525.0 | 砂岩 | 側縁部を中心に凸痕状の敲打痕 | KB 2 a2①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ | |
| Q28 | 軽石製品 | 5.7 X | 5.1 X | 1.7) | (8.0) | 軽石 | 研磨 扁平 | KB 2 a2② | |
| Q29 | 研磨器 | 7.3 | 5.9 | 5.3 | 165 | 軽石 | 複数の溝状の凹み | KB 2 a3③ | |
| Q30 | 軽石製品 | 8.2 | 5.4 | 2.3 | 18.6 | 軽石 | 全面研磨 楕円形 扁平 | KB 2 a3④ | |
| Q31 | 模形石器 | 3.1 | 3.4 | 1.1 | 14.2 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 a3⑤ x 7 | |
| Q32 | 打製石斧 | 7.6 | 6.2 | 1.7 | 102.1 | ホルンフェルス | 背面に大きく礫面を残す 背面側からの急角度の剥離調整を全面に残す | KB 2 a4③ x 16 | |
| Q33 | 模形石器 | 3.4 | 2.1 | 1.1 | 6.2 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 b3③313層 | |
| Q34 | 模形石器 | 2.9 | 2.6 | 1.1 | 7.2 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 b5③ x 25 | |
| Q35 | 模形石器 | 5.2 | 5.0 | 2.2 | 51.1 | チャート | 上下方向からの剥離痕 縦断面不整形 | KB 2 c1③ x 1 | |
| Q36 | 模形石器 | 4.1 | 3.4 | 1.5 | 14.8 | 流紋岩 | 上下方向からの剥離痕 縦断面不整形 | KB 2 c3③ | |
| Q37 | 磨石 | 13.3 | 11.5 | 5.5 | 1117.5 | 安山岩 | 全面研磨 片面に凸痕状の凹み | KB 2 c3④ | PL54 |
| Q38 | 敲打 | 8.1 | 6.8 | 2.9 | 241.0 | 砂岩 | 側縁部を中心に凸痕状の敲打痕 | KB 2 c3⑤ | PL54 |
| Q39 | 削器 | 2.6 | 2.3 | 0.9 | 4.5 | 黒曜石 | 両面調整 側縁を弧状に整形 | KB 2 c4④ | PL53 |
| Q40 | 模形石器 | 4.6 | 3.1 | 1.4 | 22.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 縦断面不整形 背面に礫面を残す | KB 2 c5③ x 25 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-------|------|------|-----|--------|---------|--|----------------|------|
| Q41 | 楔形石器 | 3.8 | 2.8 | 1.1 | 9.4 | 安山岩 | 上下・左右方向からの剝離痕 両面に礫面を残す | KB 2 c5③x24 | |
| Q42 | 楔形石器 | 2.0 | 1.4 | 0.9 | 2.3 | 黒曜石 | 上下方向からの剝離痕 縦断面不整形状 | KB 2 c5④ | |
| Q43 | 磨石 | 9.4 | 8.0 | 5.2 | 543.1 | 安山岩 | 全面研磨痕 片面中央部に歯痕状の凹み | KB 2 c5⑤ | |
| Q44 | 楔形石器 | 2.7 | 2.6 | 1.2 | 9.8 | チャート | 上下方向からの剝離痕 縦断面不整形状 礫面を残す | KB 2 d2③x8 | PL53 |
| Q45 | 石皿 | 17.8 | 11.5 | 8.2 | 1245.6 | 安山岩 | 皿状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み | KB 2 d2③ | PL54 |
| Q46 | 磨石 | 6.6 | 6.3 | 2.7 | 146.9 | 安山岩 | 研磨痕 片面中央部に歯痕状の凹み | KB 2 d2④ | |
| Q47 | 敲石 | 12.2 | 7.3 | 7.2 | 844.6 | 花崗岩 | 片方の端部に敲打痕 部分的に歯痕状の凹み | KB 2 d2⑤ | |
| Q48 | 敲石 | 9.6 | 4.7 | 4.2 | 280.2 | 砂岩 | 両端部に敲打痕 | KB 2 d2⑥ | |
| Q49 | 敲石 | 7.1 | 7.1 | 2.2 | 102.4 | 安山岩 | 側縁部を中心に歯痕状の敲打痕 | KB 2 d2⑥ | |
| Q50 | 凹石 | 13.0 | 6.7 | 5.6 | 688.2 | 砂岩 | 片面中央部に2か所の断面V字状の凹み | KB 2 d2⑦ | |
| Q51 | 敲石 | 6.2 | 4.5 | 4.2 | 179.9 | 石英閃岩 | 片方の端部に敲打痕 | KB 2 d2⑧ | |
| Q52 | 石鏝 | 3.2 | 2.3 | 0.9 | 5.7 | 流紋岩 | 未製品 凹基 両面調整 | KB 2 d3①(575層) | |
| Q53 | 打製石片 | 13.4 | 8.2 | 2.8 | 418.5 | ホルンフェルス | 磨製石片転用 刃部剝離調整による再加工 基部に歯痕状の敲打痕 | KB 2 e2⑩ | |
| Q54 | 楔形石器 | 3.9 | 4.6 | 1.1 | 21.1 | チャート | 上下方向からの剝離痕 背面に礫面を残す | KB 2 e3③x24 | |
| Q55 | 削器 | 2.5 | 1.7 | 0.9 | 3.6 | チャート | 両面調整 側縁を弧状に整形 | KB 2 e3③x19 | |
| Q56 | 有茎尖頭器 | 3.7 | 1.2 | 0.5 | 1.7 | 安山岩 | 凸基 両面調整 両面中央に稜 断面整形 | KB 2 d2⑦ | |
| Q57 | 磨製石片 | 6.5 | 3.4 | 2.4 | 53.7 | 緑色片岩 | 剝離・敲打調整後研磨調整 刃部欠損 | KB 2 e2⑪ | |
| Q58 | 打製石片 | 9.7 | 7.5 | 2.4 | 185.6 | 安山岩 | 分節削 両面調整 右側の側縁部に折り調整を施す 素材は扁平な厚 両面に礫面を残す | KB 2 e4④ | PL53 |
| Q59 | 磨石 | 8.1 | 6.5 | 3.1 | 216.7 | ホルンフェルス | 側縁部を中心に研磨痕 | KB 2 e5③(901層) | |
| Q60 | 磨石 | 8.6 | 6.2 | 4.2 | 51.7 | 輝石 | 全面研磨痕 | KB 2 e5④ | |
| Q61 | 浮子 | 4.7 | 5.8 | 1.8 | 6.6 | 輝石 | 研磨痕 扁平 上部1か所に穿孔 孔径0.6cm | KB 2 e5⑤x11 | |
| Q62 | 剥片 | 3.2 | 3.2 | 1.2 | 9.6 | チャート | 両面に2次加工を有する | KB 3 a1② | |
| Q63 | 輝石製品 | 3.7 | 3.2 | 1.2 | 3.1 | 輝石 | 全面研磨痕 | KB 3 a1②x18 | |
| Q64 | 石鏝 | 1.8 | 1.4 | 0.3 | 0.5 | チャート | 凹基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KB 3 b1⑨ | PL53 |
| Q65 | 石皿 | 11.9 | 9.5 | 4.1 | 326.3 | 安山岩 | 突壇状に加工 磨面は平坦 | KB 3 b1⑨ | PL54 |
| Q66 | 楔形石器 | 2.6 | 3.3 | 1.1 | 7.4 | チャート | 上下方向からの剝離痕 背面に礫面を残す | KB 3 b2①x20 | |
| Q67 | 敲石 | 10.4 | 9.2 | 5.0 | 555.8 | 緑色凝灰岩 | 片面及び側縁部に歯痕状の敲打痕 | KB 3 b2② | |
| Q68 | 輝石製品 | 3.5 | 3.3 | 1.3 | 2.3 | 輝石 | 全面研磨痕 | KB 3 b2③(234層) | |
| Q69 | 剥片 | 4.7 | 3.4 | 1.5 | 20.0 | 安山岩 | 縦長剥片 背面に礫片を残す | KB 3 b2④ | |
| Q70 | 楔形石器 | 3.4 | 2.6 | 0.9 | 8.1 | 安山岩 | 上下・左右方向からの剝離痕 縦断面不整形状 | KB 3 b2⑤ | |
| Q71 | 楔形石器 | 4.5 | 1.8 | 1.3 | 7.2 | 頁岩 | 上下方向からの剝離痕 | KB 3 b3② | |
| Q72 | 石鏝 | 5.0 | 2.4 | 1.2 | 10.8 | 瑪瑙 | 両面調整 握み部を作出 連続する周辺調整を施す | KB 3 b3③x17 | |
| Q73 | 敲石 | 6.0 | 4.4 | 2.2 | 97.0 | 緑色片岩 | 磨製石片転用 下部歯痕状の敲打痕 | KB 3 b3④ | |
| Q74 | 磨石 | 5.8 | 6.3 | 4.7 | 147.0 | 安山岩 | 全面研磨痕 両面に皿状の凹み | KB 3 b4④ | |
| Q75 | 石鏝 | 2.1 | 1.6 | 0.5 | 1.8 | チャート | 平基 両面調整 連続する周辺調整を施す | KB 3 b5⑤x10 | |
| Q76 | 楔形石器 | 2.8 | 3.0 | 0.8 | 7.9 | チャート | 上下方向からの剝離痕 礫面を残す | KB 3 b5①x8 | |
| Q77 | 磨石 | 4.0 | 8.0 | 2.8 | 144.8 | 砂岩 | 研磨痕 大半を欠損 | KB 3 b5② | |
| Q78 | 石鏝 | 2.2 | 1.0 | 0.3 | 0.8 | チャート | 凹基 両面調整 大半を欠損 | KB 3 c1⑥ | |
| Q79 | 楔形石器 | 5.3 | 2.5 | 2.1 | 32.0 | チャート | 上下方向からの剝離痕 礫面を残す | KB 3 c1⑦ | |
| Q80 | 石鏝 | 2.7 | 2.2 | 0.9 | 4.7 | チャート | 凸基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KB 3 c2⑦ | |
| Q81 | 楔形石器 | 3.1 | 2.1 | 1.1 | 7.3 | チャート | 上下方向からの剝離痕 | KB 3 c2⑦x7 | |
| Q82 | 磨製石片 | 12.6 | 4.6 | 2.7 | 242.7 | 緑色片岩 | 敲打調整後研磨調整 | KB 3 c2⑧ | PL54 |
| Q83 | 石皿 | 7.9 | 11.1 | 5.2 | 564.1 | 安山岩 | 皿状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み 大半を欠損 | KB 3 c2⑧x6 | |
| Q84 | 敲石 | 8.4 | 4.6 | 4.4 | 206.8 | 砂岩 | 片方の端部に敲打痕 | KB 3 c2⑨x26 | |
| Q85 | 敲石 | 6.2 | 5.8 | 2.9 | 148.8 | 石英閃輝岩 | 側縁部に歯痕状の敲打痕 | KB 3 c2⑩ | |
| Q86 | 石棒 | 10.8 | 7.6 | 4.9 | 609.9 | 緑泥片岩 | 敲打・研磨調整 大半を欠損 | KB 3 c2⑩x3 | |
| Q87 | 磨製石片 | 7.1 | 2.8 | 1.1 | 30.1 | 粘板岩 | 研磨調整 片刃状 大半を欠損 | KB 3 c3⑩ | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|------|-----|-----|---------|---------|----------------------------------|--|------|
| Q88 | 敲石 | 3.7 | 6.0 | 4.8 | (127.7) | 花崗岩 | 側縁部に歯痕状の敲打痕 | KB3 c3②7層 | |
| Q89 | 石錘 | 2.2 | 1.3 | 0.4 | (1.2) | チャート | 凹面 凹面調整 縁がい連続する周辺調整を施す 凹面部分欠損 | KB3 c4①x1 | |
| Q90 | 軽石製品 | 10.8 | 7.3 | 5.7 | 146.9 | 軽石 | 研磨痕 | KB3 c4① | |
| Q91 | 楔形石器 | 6.3 | 3.7 | 2.2 | 84.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 稜面を残す | KB3 c5① 43層 | |
| Q92 | 楔形石器 | 2.2 | 1.5 | 0.8 | 2.8 | チャート | 上下方向からの剥離痕 稜断面不整形 | KB4 c1①x1 | |
| Q93 | 敲石 | 7.1 | 5.4 | 2.6 | 130.5 | 砂岩 | 全面敲打痕 | KB3 d1①②x5 | |
| Q94 | 磨製石斧 | 5.4 | 5.8 | 3.0 | (120.6) | ホルンフェルス | 研磨調整 刃部以外欠損 | KB3 d2① | |
| Q95 | 磨石 | 6.2 | 6.5 | 3.9 | (180.3) | 安山岩 | 研磨痕 両面に血状の凹み 側縁部に歯痕状の凹み | KB3 d2② | |
| Q96 | 打製石斧 | 4.6 | 3.6 | 1.2 | (24.9) | 安山岩 | 凹面調整 背面に稜面を残す 基部欠損 | KB3 d2③x1 | |
| Q97 | 磨石 | 6.9 | 7.2 | 4.7 | (248.1) | 安山岩 | 研磨痕 両面に歯痕状の凹み | KB3 d3 一括 | |
| Q98 | 楔形石器 | 3.8 | 2.3 | 0.9 | 6.6 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に稜面を残す | KB3 d4① | |
| Q99 | 磨石 | 6.9 | 7.6 | 3.7 | (283.3) | 砂岩 | 研磨痕 両面中央部に血状の凹み | KB3 d4② | |
| Q100 | 軽石製品 | 9.1 | 6.0 | 2.3 | (24.4) | 軽石 | 研磨痕 楕円形 扁平 凹面部分欠損 | KB3 d4⑤ | PL54 |
| Q101 | 敲石 | 10.3 | 7.1 | 2.2 | 258.6 | 石英閃緑岩 | 片面及び側縁部に歯痕状の敲打痕 | KB3 e1① | |
| Q102 | 打製石斧 | 8.1 | 8.1 | 3.7 | (341.2) | 安山岩 | 凹面調整 両面に稜痕と稜面を残す 基部欠損 | KB3 e4① | |
| Q103 | 磨石 | 6.2 | 9.8 | 4.6 | (278.4) | 砂岩 | 研磨痕 側縁部に歯痕状の凹み | KB3 e2② | |
| Q104 | 敲石 | 7.3 | 9.2 | 5.2 | (459.2) | 砂岩 | 両面及び側縁部に歯痕状の敲打痕 | KC2 a2①②x10 | |
| Q105 | 楔形石器 | 2.9 | 3.2 | 0.7 | 6.4 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に稜面を残す | KC2 a5①②x19 | |
| Q106 | 剥片 | 2.2 | 2.0 | 0.5 | 1.9 | 黒曜石 | 微細剥離痕を有する | KC2 a5②③x2 | |
| Q107 | 削器 | 5.3 | 4.2 | 1.3 | 34.0 | 安山岩 | 凹面調整 刃部は稜面側からの急角度の調整を施す | KC2 a5③ | |
| Q108 | 敲石 | 8.5 | 2.8 | 2.3 | 91.8 | ホルンフェルス | 上部歯痕状の凹み 下部剥離痕 | KC2 a5④⑤x17 | |
| Q109 | 軽石製品 | 3.6 | 2.5 | 2.0 | 1.4 | 軽石 | 全面研磨痕 | KC2 a5⑥⑦x20 | |
| Q110 | 磨石 | 10.4 | 6.9 | 2.8 | (244.2) | 砂岩 | 両面研磨痕・中央部血状の凹み 側縁部歯痕状の凹み・剥離痕 | KC2 b2② | |
| Q111 | 打製石斧 | 8.3 | 5.5 | 2.0 | (130.8) | ホルンフェルス | 刃部及び側縁上部に連続する剥離痕 大きく稜面を残す 基部欠損 | KC2 b3③④x14 | |
| Q112 | 磨石 | 9.0 | 7.6 | 5.0 | (470.7) | 花崗岩 | 研磨痕・歯痕状の凹み | KC2 b3⑤ | |
| Q113 | 軽石製品 | 4.7 | 4.4 | 2.5 | 7.3 | 軽石 | 全面研磨痕 | KC2 b4①②x17 | |
| Q114 | 敲石 | 6.2 | 5.9 | 3.9 | 181.6 | 石英斑岩 | 両面及び側縁部に歯痕状の敲打痕 | KC2 b5 一括 | |
| Q115 | 敲石 | 7.0 | 4.3 | 3.7 | 163.7 | チャート | 両端部に歯痕状の敲打痕 | KC2 b5 一括 | |
| Q116 | 敲石 | 6.1 | 6.6 | 4.3 | (243.7) | 石英斑岩 | 端部に歯痕状の敲打痕 | KC2 b5② | |
| Q117 | 石錘 | 4.2 | 1.2 | 0.6 | 2.1 | チャート | 凹面調整 連続する剥離調整で尖頭状に加工 先端部断面整形 | KC2 c2① | PL53 |
| Q118 | 石皿 | 8.3 | 9.4 | 6.2 | (450.5) | 安山岩 | 血状の凹み 裏面に複数の新面V字状の凹み 大半を欠損 | KC2 c2② | |
| Q119 | 剥片 | 1.7 | 3.6 | 0.8 | 4.3 | 黒曜石 | 打面調整剥片 | KC3 a1① | |
| Q120 | 石皿 | 12.6 | 9.4 | 4.6 | (552.4) | 安山岩 | 両面研磨痕・断面V字状の凹み 大半を欠損 | KC3 a1② | |
| Q121 | 磨石 | 6.3 | 7.6 | 5.3 | (361.9) | 安山岩 | 研磨痕 片面中央部に血状の凹み 側縁部に歯痕状の凹み 下半部欠損 | KC3 a1③x12 | |
| Q122 | 敲石 | 7.6 | 5.4 | 3.0 | 172.8 | 石英斑岩 | 片面中央部及び側縁部に歯痕状の敲打痕 | KC3 a1④⑤x17 | |
| Q123 | 敲石 | 8.7 | 6.0 | 4.0 | 266.2 | 石英斑岩 | 側縁部歯痕状の敲打痕 | KC3 a1⑥ | |
| Q124 | 楔形石器 | 3.8 | 2.5 | 0.6 | 4.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 | KC3 a2①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ | |
| Q125 | 磨製石斧 | 4.6 | 3.2 | 1.0 | (24.9) | ホルンフェルス | 刃部及び側縁部に研磨調整 1側縁のみ急角度の調整を施す 基部欠損 | KC3 a2⑰ | PL53 |
| Q126 | 敲石 | 9.6 | 3.8 | 4.8 | 196.6 | ホルンフェルス | 端部及び側縁部中心に歯痕状の敲打痕 | KC3 a2⑱ | |
| Q127 | 敲石 | 9.1 | 5.6 | 2.1 | (154.7) | 石英斑岩 | 端部及び側縁部歯痕状の敲打痕 | KC3 a2⑳ | |
| Q128 | 打製石斧 | 5.2 | 3.3 | 2.1 | (44.6) | 砂岩 | 磨製石斧転用 刃部欠損 両面に剥離調整 側縁部剥離調整後敲打痕 | KC3 a3① | |
| Q129 | 敲石 | 4.9 | 4.9 | 2.5 | 74.5 | 安山岩 | 両面中央部及び側縁部歯痕状の敲打痕 | KC3 a3② | |
| Q130 | 楔形石器 | 4.9 | 2.9 | 2.6 | 41.6 | チャート | 上下方向からの剥離痕 稜面を残す | KC3 a4①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ | |
| Q131 | 楔形石器 | 3.2 | 2.7 | 1.2 | 13.6 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に稜面を残す | KC3 a4①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ | |
| Q132 | 石核 | 2.0 | 3.5 | 2.8 | 18.7 | チャート | 薄剥離面打面 | KC3 a4⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿ | |
| Q133 | 磨石 | 10.1 | 7.2 | 5.0 | (382.1) | 安山岩 | 全面研磨痕・歯痕状の凹み 大半を欠損 | KC3 a4⑰⑱x2 | |
| Q134 | 敲石 | 9.4 | 7.3 | 4.8 | 452.6 | 流紋岩 | 下部平坦部 縁ならぬ周辺調整 | KC3 a4⑳ | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|--------|------|-----|-----|---------|---------|-------------------------------------|--------------|------|
| Q135 | 楔形石器 | 2.0 | 2.1 | 0.9 | 2.8 | チャート | 上下方向からの剥離痕 | KC3 a5⑩×5 | |
| Q136 | 削器 | 2.9 | 3.5 | 0.7 | 6.9 | チャート | 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KC3 a5⑩×8 | |
| Q137 | 楔形石器 | 2.9 | 3.0 | 1.2 | 10.7 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 b1⑦×5 | |
| Q138 | 楔形石器 | 3.2 | 2.8 | 1.1 | 8.5 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 b1⑩×26 | |
| Q139 | 磨石 | 6.2 | 7.3 | 3.8 | (248.3) | 安山岩 | 研磨痕・歯痕状の凹み 大半を欠損 | KC3 b1⑩ | |
| Q140 | 敲石 | 4.6 | 4.4 | 3.8 | 64.3 | 安山岩 | 端部歯痕状の敲打痕 | KC3 b1⑩ | |
| Q141 | 敲石 | 8.4 | 6.8 | 3.8 | (269.1) | 砂岩 | 両面中央部及び側縁部歯痕状の敲打痕 | KC3 b1⑩×17 | |
| Q142 | 石核 | 5.3 | 3.3 | 1.7 | 33.4 | チャート | 扁平な楕円礫を素材 小形の不整形剥片を剥離 | KC3 b2⑦×22 | |
| Q143 | 石核 | 3.8 | 3.1 | 1.6 | 23.8 | チャート | 扁平な楕円礫を素材 小形の不整形剥片を剥離 | KC3 b2⑩×25 | |
| Q144 | 楔形石器 | 2.5 | 1.5 | 1.4 | 4.9 | 黒曜石 | 上下方向からの剥離痕 縦断面不整形 | KC3 b3③60層 | |
| Q145 | 石鏢 | 1.8 | 1.5 | 0.3 | 0.6 | チャート | 凹基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KC3 b3⑩ | |
| Q146 | 凹石 | 5.9 | 6.1 | 4.5 | (141.7) | 安山岩 | 両面中央部に血状の凹み 一部欠損 | KC3 b3⑩ | |
| Q147 | 楔形石器 | 4.8 | 4.3 | 1.5 | 28.3 | 頁岩 | 上下方向からの剥離痕 腹面側の側縁部に微細剥離痕 | KC3 b4⑤×3 | |
| Q148 | 打製石片 | 11.9 | 5.9 | 3.6 | 332.6 | ホルンフェルス | 扁平な楕円礫を2つに分割 腹面側に平坦な周辺調整を施す | KC3 b4⑩ | |
| Q149 | 敲石 | 7.8 | 5.0 | 3.8 | 264.3 | 砂岩 | 両端部及び側縁部歯痕状の敲打痕 | KC3 b4⑩ | |
| Q150 | 楔形石器 | 3.4 | 4.7 | 1.3 | 24.1 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 c1⑩×20 | PL53 |
| Q151 | 楔形石器 | 3.8 | 2.2 | 1.2 | 12.6 | チャート | 上下方向からの剥離痕 礫面を残す | KC3 c1⑩×23 | PL54 |
| Q152 | 楔形石器 | 2.4 | 1.9 | 0.5 | 2.8 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 c1⑩ | |
| Q153 | 楔形石器 | 4.2 | 3.3 | 1.4 | 19.4 | チャート | 上下方向からの剥離痕 縦断面不整形 | KC3 c1⑩×8 | |
| Q154 | 削器 | 3.6 | 2.6 | 0.6 | 6.5 | チャート | 扁平な縦長剥片を素材 両面に縁がい連続する周辺調整を施す | KC3 c1⑩ | |
| Q155 | 磨製石片 | 5.0 | 3.2 | 1.3 | 34.9 | 砂岩 | 全面研磨痕 基部欠損後再加工 | KC3 c1⑩×20 | PL54 |
| Q156 | 楔形石器 | 3.8 | 2.8 | 1.0 | 9.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 c2⑩274層 | |
| Q157 | 楔形石器 | 2.1 | 1.9 | 0.5 | 1.8 | チャート | 上下方向からの剥離痕 | KC3 c3⑩ | |
| Q158 | 楔形石器 | 4.5 | 2.8 | 0.9 | 14.2 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KC3 c3⑩×10 | |
| Q159 | 石核 | 2.1 | 3.5 | 1.7 | 11.6 | 黒曜石 | 種別不明な面 小形の不整形剥片を剥離 | KC3 c3⑩ | |
| Q160 | 磨製石片 | 8.0 | 4.1 | 2.2 | (118.9) | 凝灰岩 | 研磨痕 刃部欠損 | KC3 c3⑩ | |
| Q161 | 軽石製品 | 5.2 | 3.7 | 1.3 | 3.9 | 軽石 | 全面研磨痕 穿孔2か所 孔径0.3-0.4cm | KC3 c3⑩×14 | |
| Q162 | 石鏢 | 2.3 | 1.9 | 0.4 | 1.1 | 頁岩 | 凹基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KC3 c3⑩ | PL53 |
| Q163 | 石鏢 | 3.6 | 1.5 | 0.6 | 2.5 | チャート | 扁平な縦長剥片を素材 両面に縁がい連続する周辺調整を施す 先端部尖頭状 | KC3 a2⑩ | PL53 |
| Q164 | 磨製石片 | 8.0 | 5.2 | 2.9 | (227.1) | 凝灰安山岩 | 研磨痕 基部歯痕状の敲打痕 刃部欠損 | KC3 a3⑩ | |
| Q165 | 磨石 | 3.7 | 3.9 | 3.9 | 79.5 | 石英閃緑岩 | 全面研磨痕 球状 | KC3 b2⑩×5 | |
| Q166 | 石刃 | 5.4 | 1.9 | 0.7 | (5.1) | 珪質頁岩 | 縦長剥片の両側縁に微細剥離痕 先端部欠損 | KC3 b3⑩ | |
| Q167 | 石鏢 | 3.2 | 1.6 | 0.6 | (1.7) | チャート | 凹基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す | KC3 b3⑩ | PL53 |
| Q168 | 磨製石片 | 4.0 | 2.2 | 1.0 | 14.4 | 鮫紋岩 | 全面研磨痕 刃部直状 穿孔痕 | KC3 b3⑩ | PL53 |
| Q169 | 石鏢 | 1.9 | 1.2 | 0.3 | (0.6) | 黒曜石 | 凹基 両面調整 縁がい連続する周辺調整を施す 大半を欠損 | KC3 b5⑩ | |
| Q170 | ナイフ形石器 | 2.8 | 1.4 | 0.4 | (0.9) | 頁岩 | 2側縁にプランティングを施す 先端部欠損 | KC3 c2⑩ | |
| Q171 | 敲石 | 5.0 | 3.7 | 2.6 | 63.3 | 砂岩 | 側縁部歯痕状の敲打痕 | KA 2 e5⑩360層 | |
| Q172 | 楔形石器 | 2.7 | 3.5 | 1.0 | 10.3 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KA 3 e4⑩×9 | |
| Q173 | 打製石片 | 7.6 | 3.6 | 1.3 | 42.0 | 頁岩 | 扁平な長楕円礫を素材 刃部のみ剥離調整 | KA 3 e4⑩177層 | PL53 |
| Q174 | 磨石 | 7.5 | 8.1 | 3.4 | 312.0 | チャート | 全面研磨痕 | KA 3 e5⑩ | |
| Q175 | 磨石 | 5.8 | 8.7 | 2.5 | (145.6) | 安山岩 | 研磨痕 両面中央部に血状の凹み | KB 2 a5⑩ | PL54 |
| Q176 | 楔形石器 | 3.3 | 4.1 | 1.0 | 12.9 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 b3⑩×9 | |
| Q177 | 楔形石器 | 2.7 | 2.7 | 0.7 | 4.7 | チャート | 上下方向からの剥離痕 礫面を残す | KB 2 b5⑩×20 | |
| Q178 | 打製石片 | 6.8 | 4.3 | 1.3 | 53.2 | ホルンフェルス | 扁平な楕円礫を素材 刃部及び1側縁のみ剥離調整 | KB 2 b5⑩752層 | PL53 |
| Q179 | 敲石 | 10.5 | 7.0 | 4.1 | 441.8 | 石英珩岩 | 両端部を中心に歯痕状の敲打痕 | KB 2 b5⑩736層 | |
| Q180 | 敲石 | 8.9 | 7.8 | 3.9 | 257.8 | 石英珩岩 | 両端部を中心に歯痕状の敲打痕・剥離痕 | KB 2 c2⑩450層 | |
| Q181 | 楔形石器 | 4.8 | 2.4 | 1.4 | 17.7 | 石英 | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 c4⑩×2 | |
| Q182 | 楔形石器 | 4.0 | 3.4 | 1.2 | 16.8 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 c4⑩423層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 材質 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|------|------|---------|---------|-----------|---------|----------------------------------|--------------|------|
| Q183 | 打製石斧 | 6.7 | 6.0 | 3.4 | 132.1 | 砂岩 | 刃部及び隆面側に連続する剥離調整を施す 背面に礫面を残す | KB 2 c5⑦ | |
| Q184 | 楔形石器 | 3.5 | 4.0 | 1.3 | 20.0 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 c5⑧x2 | |
| Q185 | 磨製石斧 | 5.2 | 3.1 | 1.4 | 38.4 | ホルンフェルス | 全面研磨痕 刃部形状 基部剥離痕 | KB 2 d5⑦ | PL53 |
| Q186 | 楔形石器 | 2.9 | 2.9 | 0.7 | 7.5 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 2 e5⑩268層 | PL53 |
| Q187 | 磨製石斧 | 5.6 | 3.3 | 1.2 | 39.5 | 緑色凝灰岩 | 全面研磨痕 刃部形状 基部剥離痕 | KB 3 a1①x2 | PL53 |
| Q188 | 打欠石鏃 | 5.7 | 4.1 | 0.7 | 21.8 | 安山岩 | 扁平な横溝を素材 短径方向に挟り調整を施す | KB 3 a1 一括 | PL54 |
| Q189 | 尖頭器 | 3.1 | 2.2 | (0.7) | (4.1) | チャート | 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す | KB 3 a2③ | |
| Q190 | 石匙 | 5.2 | 3.2 | 1.5 | 15.7 | チャート | 厚みのある削片を素材 両面調整 撥状 | KB 3 a5⑤ | PL53 |
| Q191 | 尖頭器 | 3.4 | 2.1 | (1.1) | (7.3) | チャート | 両面調整 基部欠損 | KB 3 b3⑨x10 | |
| Q192 | 磨石 | 6.0 | 7.6 | 3.5 | (151.3) | 安山岩 | 研磨痕 両面中央部に血状の凹み 下半部欠損 | KB 3 d5⑬x5 | |
| Q193 | 石鏃 | 3.3 | 2.0 | 0.8 | 3.9 | チャート | 両面調整 連続する剥離調整で尖頭状に加工 先端部断面異常形 | KB 3 e3⑦x1 | PL53 |
| Q194 | 磨製石斧 | 6.8 | 3.8 | 1.5 | (64.5) | 緑色片岩 | 研磨痕 側縁部剥離・敲打痕 刃部欠損 | KB 3 e3⑧x11 | |
| Q195 | 楔形石器 | 3.4 | 2.8 | 1.0 | 8.4 | チャート | 上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 3 e4 一括 | |
| Q196 | 磨石 | 8.7 | 10.0 | 3.8 | (413.4) | 安山岩 | 研磨痕 両面中央部に血状の凹み 上半部欠損 | KB 3 e5⑮ | PL54 |
| Q197 | 石皿 | 10.6 | 11.8 | 6.2 | (511.9) | 安山岩 | 血状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み 大半を欠損 | KC 2 a3⑤ | PL54 |
| Q198 | 磨製石斧 | 2.8 | 2.0 | 1.3 | (14.7) | 蛇紋岩 | 研磨痕 刃部欠損 | KC 2 a4②x8 | |
| Q199 | 磨石 | 5.6 | 8.0 | 3.6 | (14.8) | 砂岩 | 研磨痕 両面中央部に血状の凹み 下半部欠損 | KC 2 a4① | |
| Q200 | 楔形石器 | 2.7 | 4.2 | 1.1 | 14.5 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | KB 3 a5⑦x24 | PL53 |
| Q201 | 敲打石 | 6.5 | 3.9 | 2.1 | 88.3 | 緑色凝灰岩 | 磨製石斧軌用 1歯縁中央部に歯痕状の敲打痕 | KC 2 b4⑤x11 | |
| Q202 | 敲打石 | 10.5 | 5.5 | 4.6 | 356.1 | ホルンフェルス | 歯縁部を中心に歯痕状の敲打痕 | KC 2 b4⑥x15 | |
| Q203 | 敲打石 | 6.3 | 7.6 | 6.4 | (346.5) | 安山岩 | 片面に歯痕状の敲打痕 下半部欠損 | KC 2 c5③x9 | |
| Q204 | 尖頭器 | 3.4 | 1.8 | 0.7 | 3.1 | チャート | 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す | KC 3 a1⑦x21 | |
| Q205 | 石核 | 1.6 | 2.4 | 1.5 | 4.7 | 黒曜石 | 薄剥離面打面 | 貝層表土 | |
| Q206 | 敲打石 | 11.0 | 3.9 | 2.2 | 119.5 | ホルンフェルス | 打製石斧軌用 下端部敲打痕 歯痕状の敲打痕 基部両面剥離調整 | 貝層表土 | |
| Q207 | 磨製石斧 | 8.5 | 3.4 | 1.7 | 61.7 | 緑色凝灰岩 | 刃部片面剥離調整後研磨調整 基部剥離痕 | KB 3 a1⑥ | |
| Q208 | 重磨り | 4.6 | 3.5 | 1.2 | 16.4 | 泥岩 | 扁平な横溝を素材 中央部1方向からの穿孔 孔径0.7-1.1㎝ | KB 3 a5④ | |
| Q209 | 打製石斧 | 9.5 | 5.8 | 3.5 | 265.0 | 砂岩 | 両面調整 礫面に弱い歯痕状の敲打痕 | KB 3 e2③ | |
| Q210 | 石鏃 | 2.0 | (1.2) | 0.3 | (0.6) | チャート | 凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す 一部欠損 | KC 3 a2⑤x1 | |
| Q211 | 楔形石器 | 2.6 | 2.3 | 0.6 | 3.4 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | 貝層表土 | PL54 |
| Q212 | 楔形石器 | 3.1 | 3.0 | 0.9 | 9.7 | チャート | 上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す | 貝層表土 | PL53 |
| Q213 | 尖頭器 | 2.8 | 1.8 | 0.8 | 4.3 | チャート | 両面調整 細かい連続する基部調整を施す | 貝層表土 | PL53 |
| Q214 | 磨製石斧 | 5.2 | 2.6 | 1.4 | 31.5 | 緑色凝灰岩 | 全面研磨痕 刃部直状 | 貝層表土 | PL53 |
| Q215 | 打製石斧 | 8.6 | 5.4 | 1.6 | 67.8 | 緑泥片岩 | 石皿片軌用 楔形 | 貝層表土 | PL53 |
| Q216 | 磨製石斧 | 4.6 | 3.1 | 1.2 | 17.6 | 頁岩 | 両面剥離調整後部分的に研磨調整 刃部形状 | 貝層表土 | PL53 |
| Q217 | 磨製石斧 | 2.0 | 0.9 | 1.1 | (2.6) | 研磨痕 | 1歯面に磨り切り痕を残す 刃部欠損 | 貝層表土 | |
| Q218 | 磨製石斧 | 5.1 | 4.9 | 2.1 | (64.0) | 緑色凝灰岩 | 研磨痕 欠損後剥離調整 大半を欠損 | 貝層表土 | |
| Q219 | 打製石斧 | 7.4 | 6.4 | 3.0 | (141.9) | 多孔質安山岩 | 歯縁中央部に挟り調整 刃部欠損 | 貝層表土 | |
| Q220 | 打製石斧 | 6.1 | 6.9 | 2.1 | (106.7) | 安山岩 | 扁平な横溝を素材 両面調整 歯縁中央部に弱い挟り調整 礫面を残す | 貝層表土 | |
| Q221 | 石鏃 | 1.7 | 1.9 | 0.5 | 1.1 | 頁岩 | 凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す | KB 2 a5① | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|----|-----------|------|------|-----|---------|---------|---------------------------------------|------------|------|
| B1 | 頸形角器 | 4.9 | 1.9 | 2.1 | (8.1) | 鹿角 | 先端部を根詰め状の二層に加工 二層下部に突帯を添らす 中央部下溝からの穿孔 | KA 2 d5① | PL58 |
| B2 | 切斷面を有する鹿角 | 9.4 | 4.8 | 4.4 | 79.8 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KA 2 d5② | |
| B3 | 刺突具 | 6.8 | 1.4 | 0.7 | (4.3) | 鹿角 | 片側に逆刺 反対側に刺み 基部欠損 | KA 2 e3⑦ | PL59 |
| B4 | 切斷面を有する鹿角 | 21.3 | 10.9 | 7.0 | 253.9 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KA 3 e2③ | PL58 |
| B5 | 刺突具 | 6.1 | 0.7 | 0.5 | (1.9) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 b1⑨x7 | |
| B6 | 刺突具 | 6.2 | 0.9 | 0.6 | (1.3) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 b2⑨x1 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-----------|----------|---------|---------|---------|-----------|---|--------------|---------|
| B7 | 剃突具 | (5.4) | 1.3 | 0.7 | (2.9) | 鹿角 | 片側に返刺 先端部欠損 | KA 2 e4⑬x7 | PL59 |
| B8 | 剃突具 | 3.8 | 0.6 | 0.3 | 0.4 | 鹿角 | 片側に5か所の返刺 | KA 3 c2⑬ | PL59 |
| B9 | 重飾り | 5.8 | 1.8 | 1.2 | 9.8 | ツキノワグマ・犬歯 | 基部側1か所に穿孔孔 孔径0.5cm | KA 2 e5⑬ | PL58 |
| B10 | 重飾り | (2.8) | 1.2 | 1.3 | (1.7) | アオザメ・歯 | 基部側左右2か所に穿孔孔 孔径(0.4) cm | KA 2 e5⑬ | PL58 |
| B11 | 剃突具 | 3.8 | 0.7 | 0.6 | 1.7 | イノシシ・蹄骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 2 e5⑬312層 | |
| B12 | 切斷歯を有する鹿角 | 8.6 | 5.8 | 5.0 | 88.6 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KA 3 d1⑬ | |
| B13 | 切斷歯を有する鹿角 | 23.0 | 10.3 | 4.0 | 71.9 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KA 2 e5⑬ | PL58 |
| B14 | 切斷歯を有する鹿角 | 13.9 | 11.0 | 5.3 | 97.8 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 鹿角先端部摩滅 | KA 3 d2⑬x3 | (4.7) |
| B15 | 剃突具 | (11.0) | (1.1) | 0.6 | (4.7) | イノシシ・蹄骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 d2⑬x2 | |
| B16 | 剃突具 | (3.2) | (0.8) | (0.6) | (1.2) | イノシシ・蹄骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 d2⑬x2 | |
| B17 | 重飾り素材 | 2.7 | 1.1 | 0.9 | 1.0 | アオザメ・歯 | 未製品 | KA 2 c4⑬ | PL58 |
| B18 | 剃突具 | (4.8) | 1.1 | 0.7 | (2.4) | 鹿角 | 片側に2か所の返刺 先端部欠損 | KA 2 c5⑬ | PL59 |
| B19 | 剃突具 | (4.5) | 1.2 | 0.7 | (2.0) | 鹿角 | 片側に返刺 両端部欠損 | KA 2 c5⑬ | |
| B20 | 剃突具 | 9.2 | 1.1 | 0.5 | (2.9) | イノシシ・蹄骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 2 c5⑬ | |
| B21 | 剃突具 | (2.9) | (0.7) | 0.5 | (1.0) | 骨 | 先端部欠損 基部丁寧に研磨 表面磨痕 | KA 3 d4⑬x7 | |
| B22 | 剃突具 | 4.5 | 1.2 | 0.7 | 1.9 | 鹿角 | 片側に1か所返刺 | KA 2 d3⑬ | PL59 |
| B23 | 剃突具 | (2.3) | (0.6) | 0.5 | (0.6) | 骨 | 先端部欠損 基部丁寧に研磨 表面磨痕 | KA 3 e3⑬ | |
| B25 | 切斷歯を有する鹿角 | 10.1 | 5.9 | 5.0 | 106.2 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KA 3 e3⑬ | |
| B27 | 札状加工品 | (2.7) | (0.7) | (0.3) | (0.6) | 骨 | 片面に複数の円形の穿孔孔 隣に穿孔孔1か所 孔径0.3cm | KA 4 e1⑬x2 | PL58 |
| B28 | 切斷歯を有する鹿角 | 15.5 | 7.6 | 6.1 | 168.6 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 2 c2⑬ | |
| B29 | へら状加工品 | 8.2 | 3.1 | 1.9 | 9.2 | シカ・脛骨 | 先端部U字状 扁平 | KB 2 c2⑬x8 | |
| B30 | 切斷歯を有する鹿角 | 49.6 | 17.4 | - | 596.6 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 2 c3⑬ | PL58 |
| B31 | 剃突具 | 7.6 | 0.8 | 0.6 | 2.7 | イノシシ・蹄骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 c3⑬x17 | |
| B32 | 剃突具 | (3.1) | (0.9) | (0.8) | (1.3) | 鹿角 | 未製品の可能性あり | KB 2 c3⑬x22 | |
| B33 | 切斷歯を有する鹿角 | 20.2 | 14.4 | 5.2 | 176.3 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 2 e1⑬ | |
| B34 | 切斷歯を有する鹿角 | 12.3 | 7.0 | 5.4 | 125.0 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 2 e2⑬ | |
| B35 | 剃突具 | 4.2 | 1.1 | 0.5 | 1.8 | イノシシ・蹄骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KB 2 e4⑬512層 | PL59 |
| B36 | へら状加工品 | (6.7) | (3.2) | (1.1) | 10.2 | シカ・脛骨 | 上半部欠損 扁平 | KB 2 e4⑬ | |
| B37 | 重飾り | 5.5 | 2.0 | 0.5 | 2.0 | イノシシ・犬歯 | 穿孔孔1か所 穿孔孔1か所 孔径0.3cm | KB 2 a2⑬ | PL58 |
| B38 | 剃突具 | (7.8) | 0.7 | 0.4 | (1.7) | イノシシ・蹄骨 | 下端部欠損 表面磨痕 | KB 2 c2⑬ | PL58 |
| B39 | 裝飾品素材 | - | - | 0.7 | 0.7 | サメ・椎骨 | 径1.4cm 未製品 | KB 2 c⑬ | |
| B40 | 裝飾品素材 | - | - | 0.7 | 0.7 | サメ・椎骨 | 径1.4cm 未製品 | KB 2 c⑬ | |
| B41 | 裝飾品素材 | - | - | 0.7 | 0.7 | サメ・椎骨 | 径1.3cm 未製品 | KB 2 c⑬ | |
| B43 | 剃突具 | (7.0) | 1.4 | 0.8 | (4.5) | シカ角 | 片側に返刺 反対側の先端部付近に弱い返刺 基部欠損 | KB 2 d3⑬503層 | PL59 |
| B44 | 剃突具 | (8.3) | 1.0 | 0.9 | (4.0) | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KB 2 d4⑬ | PL59 |
| B45 | 重飾り | 4.3 | 1.5 | 0.9 | 4.3 | オオカミ・犬歯 | 基部側1か所に穿孔孔 孔径0.3～0.7cm 内側の中央部に研磨による溝状の凹み2か所 | KB 2 d5⑬ | PL58 |
| B46 | 剃突具 | (3.4) | 1.0 | 0.6 | (1.4) | 鹿角 | 片側に返刺 基部欠損 | KB 2 e4⑬ | |
| B47 | 重飾り素材 | 2.9 | 1.5 | 0.9 | 1.4 | アオザメ・歯 | 未製品 | KB 2 e5⑬274層 | |
| B48 | 針 | (3.0) | 0.55 | 0.42 | (0.6) | 鹿角 | 断面円形 4列以上の溝を巡らす 両端部欠損 表面磨痕 | KB 3 a3⑬x22 | PL58 |
| B49 | 切斷歯を有する鹿角 | 11.0 | 7.0 | 4.8 | 70.5 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 3 a5⑬ | |
| B50 | 剃突具 | (3.2) | 0.9 | 0.7 | (0.7) | 鹿角 | 片側に返刺 両端部欠損 | KB 3 b2⑬x23 | |
| B51 | 裝飾品素材 | - | - | 0.7 | 0.3 | サメ・椎骨 | 径1.2cm 未製品 | KB 3 b2⑬ | |
| B52 | 切斷歯を有する鹿角 | 12.8 | 6.5 | 6.4 | 158.5 | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KB 3 b2⑬ | |
| B53 | 剃突具 | 6.1 | 0.8 | 0.5 | 2.3 | イノシシ・蹄骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KB 3 b2⑬ | PL59 |
| B54 | 重飾り | 2.5 | 1.4 | 0.9 | 0.9 | アオザメ・歯 | 基部側左右2か所に穿孔孔 孔径(0.3) cm | KB 3 b2⑬ | PL58 |
| B55 | 重飾り | 2.8 | 0.9 | 0.6 | 1.5 | バンドワイルカ・歯 | 中央部に研磨による溝を巡らす | KB 3 b2⑬234層 | PL58 |
| B56 | 剃突具 | (2.7) | 1.3 | 0.6 | (1.5) | 鹿角 | 両側に返刺 両端部欠損 | KB 3 b3⑬ | PL59 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|-------------------------|--------------|------|
| B58 | 剃突具 | (5.5) | 1.4 | 0.9 | (4.2) | 鹿角 | 片側に返刺 両端部欠損 | KB 3 c2②x24 | PL59 |
| B59 | 剃突具 | (2.4) | 0.9 | 0.6 | (0.7) | 鹿角 | 片側に返刺 基部欠損 | KB 3 c2③x26 | |
| B60 | 剃突具力 | 4.7 | 1.0 | 0.65 | 1.7 | 鹿角 | 未製品 表面に附痕 | KB 3 c3③x10 | |
| B61 | 重飾り | (2.9) | (1.5) | (0.5) | (1.8) | イノシシ・犬歯 | 表面研磨 穿孔部1か所 刻み3か所 | KB 3 c4①x7 | |
| B62 | 切断痕を有する鹿角 | 5.6 | 5.2 | 5.0 | 65.3 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 | KC 3 b2② | |
| B63 | 剃突具 | (5.2) | (0.9) | (0.7) | (1.9) | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 基部欠損 | KC 3 c1②x19 | PL59 |
| B64 | 切断痕を有する鹿角 | (5.0) | (1.1) | (0.9) | (2.7) | ガンカモ・骨 | 上端部切断痕 下端部欠損 表面磨痕 | KC 3 b3③x8 | |
| B65 | 切断痕を有する鹿角 | 9.6 | 5.2 | 4.5 | 62.3 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 | KA 2 c5②97層 | |
| B66 | 切断痕を有する鹿角 | 6.4 | 1.2 | 1.2 | 7.5 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 表面磨痕 | KA 2 d5②115層 | |
| B67 | 重飾り | 3.1 | 0.7 | 0.6 | 1.2 | バンドウイルカ・歯 | 基部側1か所に穿孔 孔径0.3-0.4cm | KA 3 d1x5 | PL58 |
| B68 | 剃突具 | 6.3 | 0.9 | 0.5 | 1.6 | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KA 3 e2②x22 | PL59 |
| B69 | 切断痕を有する鹿角 | 7.1 | 4.0 | 2.8 | 25.2 | シカ・楕骨 | 複数の摺り切り痕 | KB 2 a4②x6 | |
| B70 | 的り針 | (5.0) | (1.0) | 0.4 | (1.1) | 鹿角 | 基部裏状の塊り込み 表面研磨 針先端部欠損 | KB 2 b2②x5 | |
| B71 | 切断痕を有する鹿角 | 4.8 | 1.7 | 1.3 | 8.1 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 | KB 2 b3③x10 | PL60 |
| B72 | 切断痕を有する鹿角 | 7.3 | 6.2 | 6.4 | 105.5 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 | KB 2 b4② | |
| B73 | 加工痕を有する骨 | (5.1) | (1.1) | (0.4) | (1.7) | 骨 | 表面研磨・刻み痕 両端部欠損 | KB 2 b5③ | |
| B74 | 切断痕を有する鹿角 | 11.5 | 5.6 | 3.0 | 31.2 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 鹿角先端部摩滅 | KB 2 c4③423層 | |
| B75 | 剃突具 | (3.7) | (0.8) | (0.4) | (0.6) | エイ尾骨 | 片側に返刺 両端部欠損 | KB 2 d4①x26 | PL60 |
| B76 | 剃突具 | (7.4) | 0.8 | 0.7 | (4.0) | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KB 3 a2③234層 | PL59 |
| B77 | 切断痕を有する鹿角 | 15.9 | 7.9 | 5.1 | 112.8 | 鹿角 | 複数の摺り切り痕 | KB 3 a4①171層 | PL59 |
| B78 | 剃突具 | (6.9) | (1.1) | (0.4) | (2.5) | イノシシ・豚骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KB 3 c3③ | |
| B79 | 重飾り | 2.8 | 1.7 | 1.0 | 1.1 | アオザメ・歯 | 基部側左右2か所に穿孔 孔径0.2-0.3cm | KA 2 e5③104層 | PL59 |
| B80 | 重飾り | 3.1 | 1.1 | 0.7 | 1.7 | バンドウイルカ・歯 | 基部側1か所穿孔 孔径0.3-0.5 | KB 2 b4③ | PL58 |
| B81 | 器状加工品 | (4.6) | (1.7) | 0.6 | (2.7) | イノシシ・豚骨力 | 柄付調整で維状の先端部を作出 | KB 3 e3③x6 | PL58 |
| B82 | 剃突具 | 5.1 | 0.7 | 0.4 | 1.5 | エイ尾骨 | 基部磨痕 両端部欠損 | KC 2 a3③ | PL60 |
| B83 | 剃突具 | (3.6) | (1.0) | (0.5) | (1.5) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KC 2 a4③x10 | PL59 |
| B84 | 剃突具 | (4.3) | (1.3) | (0.7) | (2.2) | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 | KC 2 c4③x12 | |
| B85 | 重飾り | 2.3 | 0.8 | 0.4 | 0.4 | キツネ・犬歯 | 基部側1か所穿孔 孔径0.2-0.3cm | KC 3 a2③266層 | |
| B86 | 剃突具 | (4.6) | 1.1 | 0.7 | (2.8) | 鹿角 | 両側に返刺 基部欠損 | 貝屋敷土 | PL58 |
| B87 | 剃突具 | (2.8) | (1.0) | (0.6) | (0.9) | 鹿角 | 片側に返刺 基部欠損 | KB 2 d5③788層 | |
| B88 | 剃突具 | (2.4) | (0.8) | (0.5) | (0.8) | 鹿角 | 片側に返刺 両端部欠損 | KA 3 c2③x1 | |
| B89 | 針 | (3.7) | (0.5) | (0.4) | (0.7) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 2 d3②x4 | |
| B90 | 針 | (2.4) | (0.7) | (0.6) | (0.7) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 d3②x9 | |
| B91 | 針 | (2.7) | (0.7) | (0.5) | (0.8) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 c3③x3 | |
| B92 | 針 | (2.9) | 0.7 | 0.4 | (0.5) | 骨 | 先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.3)cm | KA 3 e1③x4 | PL58 |
| B93 | 剃突具 | 7.3 | 1.4 | 0.9 | (3.0) | 鹿角 | 片側に返刺 基部欠損 | KA 3 e1③x12 | |
| B94 | 剃突具 | (4.1) | (0.7) | (0.4) | (0.6) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 d2③x11 | |
| B95 | 剃突具 | (2.9) | (0.6) | (0.3) | (0.5) | 鹿角 | 基部欠損 | KA 2 c4③x3 | |
| B96 | 剃突具 | (1.8) | (0.6) | (0.4) | (0.4) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 e1 一括 | |
| B97 | 針 | (2.6) | (0.6) | (0.3) | (0.3) | 骨 | 先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.4)cm | KA 3 e1③x12 | PL58 |
| B98 | 剃突具 | (5.6) | (0.7) | (0.5) | (0.5) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 e3③x15 | |
| B99 | 剃突具 | (2.7) | (0.7) | (0.7) | (1.2) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KA 3 e3③x5 | |
| B100 | 重飾り | (2.9) | 0.9 | 0.8 | (1.1) | バンドウイルカ・歯 | 先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.3)cm | KA 3 e5①x5 | PL58 |
| B101 | 重飾り | (3.9) | 0.9 | 0.6 | (1.9) | イノシシ・犬歯 | 先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.4)cm | KB 2 a3③x13 | PL58 |
| B102 | 剃突具 | (6.0) | (0.9) | (0.5) | (2.4) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 a2③319層 | |
| B103 | 剃突具 | (5.6) | (0.9) | (0.5) | (1.5) | イノシシ・豚骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 a2③319層 | |
| B104 | 剃突具 | (3.2) | (0.7) | (0.7) | (0.8) | 骨 | 先端部欠損 表面磨痕 | KB 2 b5③x24 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|----------|-----------------|---------|----|----|-----------|-------------------------|--------------|------|
| B105 | 針 | 3.3 X 0.7 X 0.7 | (1.4) | | | 鹿角 | 大半を欠損 穿孔痕 | KB 3 a2③144層 | PL58 |
| B106 | 刺突具 | 3.2 X 0.8 X 0.4 | (0.7) | | | エイ尾骨 | 基部摩擦 両端部欠損 | KB 2 d2④x5 | PL59 |
| B107 | 切断痕を有する骨 | 5.4 4.7 2.7 | 21.1 | | | シカ・犴骨 | 複数の擦り切り痕 | KB 2 d2⑤ | PL60 |
| B108 | 刺突具 | 4.1 X 1.0 X 0.6 | (2.0) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 2 d4③x21 | |
| B109 | 籠状加工品 | 6.2 1.6 0.5 | 3.3 | | | 骨 | 鏽状の先端部を作出 | KB 2 d4④x25 | PL60 |
| B110 | 重飾り | 2.1 X 0.9 X 0.9 | (0.9) | | | バンドワイルカ・鹿 | 基部側1か所穿孔 孔径(0.3)cm | KB 2 e2③x2 | |
| B111 | 針 | 3.0 X 0.4 X 0.4 | (0.4) | | | 骨 | 先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.3)cm | KB 2 e3①x20 | PL58 |
| B112 | 切断痕を有する骨 | 2.5 1.9 0.5 | 1.6 | | | 骨 | 複数の擦り切り痕 | KB 2 e3②x23 | |
| B113 | 刺突具 | 4.9 X 1.4 X 0.7 | (3.7) | | | 鹿角 | 片側に返刺 両端部欠損 | KB 2 e3③x18 | |
| B114 | 刺突具 | 5.0 X 0.9 X 0.6 | (1.6) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 | KB 3 a2③234層 | |
| B115 | ヘラ状加工品 | 2.4 X 1.0 X 0.3 | (0.7) | | | 骨 | 大半を欠損 表面摩擦 | KB 3 c1③x17 | |
| B116 | 針 | 2.3 X 0.4 X 0.4 | (0.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 3 c2⑥x24 | |
| B117 | 刺突具 | 3.7 X 0.7 X 0.6 | (1.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 3 c2⑦x22 | |
| B118 | 重飾り | 3.3 X 1.0 X 0.9 | (1.7) | | | バンドワイルカ・鹿 | 基部側1か所穿孔 孔径(0.5)cm | KB 3 c2⑧x24 | PL58 |
| B119 | 刺突具 | 3.1 X 1.1 X 0.5 | (1.1) | | | イノシシ・鹿骨 | 先端部欠損 表面摩擦 | KB 3 b1①x22 | |
| B120 | 刺突具 | 2.0 X 1.3 X 1.2 | (0.9) | | | 鹿角 | 両側に返刺 両端部欠損 | KB 3 b2②x27 | |
| B121 | 刺突具 | 2.4 X 1.0 X 0.5 | (0.5) | | | 鹿角 | 両側に返刺 基部欠損 | KB 3 b2③x26 | |
| B122 | 切断痕を有する骨 | 5.1 3.8 2.2 | 11.9 | | | シカ・犴骨 | 複数の擦り切り痕 | KB 3 b2④x28 | |
| B123 | 刺突具 | 4.4 X 0.8 X 0.4 | (1.1) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 | KB 3 b4⑤x20 | |
| B124 | ヘラ状加工品 | 1.1 X 1.7 X 0.2 | (0.5) | | | 骨 | 扁平 擦り切りにより鏽部を作出 | KB 3 c1③x1 | |
| B125 | 刺突具 | 2.6 X 0.6 X 0.4 | (0.6) | | | 骨 | 先端部欠損 表面摩擦 | KB 2 b5⑤x22 | |
| B126 | 針 | 2.2 X 0.5 X 0.4 | (0.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 3 b3③x12 | |
| B127 | 重飾り | 5.4 X 1.2 X 0.4 | (1.3) | | | イノシシ・犬歯 | 基部欠損 表面摩擦 | KC 3 a4⑨78層 | |
| B128 | 針 | 1.7 X 0.5 X 0.4 | (0.3) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KC 3 a1③x24 | |
| B129 | 刺突具 | 4.7 X 0.9 X 0.7 | (2.1) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 2 e5③327層 | |
| B130 | ヘラ状加工品 | 4.0 1.5 0.4 | 0.9 | | | 骨 | 研磨調整 先端部U字状 | KA 2 e5④112層 | PL58 |
| B131 | 刺突具 | 2.9 X 0.8 X 0.5 | (1.1) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 2 e5⑤x8 | |
| B132 | 刺突具 | 4.4 X 1.0 X 0.5 | (1.9) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 2 e5⑥363層 | |
| B133 | ヘラ状加工品 | 4.7 X 1.7 X 0.8 | (4.7) | | | 骨 | 先端部欠損 基部側に穿孔痕 孔径(0.3)cm | KB 2 a5①907層 | |
| B134 | 針 | 2.4 X 0.5 X 0.4 | (0.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 2 b4③x22 | |
| B135 | 重飾り | 10.3 4.0 3.1 | 29.5 | | | イノシシ・鹿骨 | 基部側1か所穿孔 孔径0.3cm | KA 3 d1①x2 | PL60 |
| B136 | 刺突具 | 3.8 X 0.9 X 0.5 | (1.2) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 3 d1②x6 | |
| B137 | 刺突具 | 5.2 0.8 0.4 | (1.1) | | | イノシシ・鹿骨 | 基部欠損 表面摩擦 | KA 3 d2①x11 | PL59 |
| B138 | 刺突具 | 2.6 X 0.8 X 0.5 | (0.7) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 3 d3①x22 | |
| B139 | 刺突具 | 2.5 X 0.8 X 0.6 | (0.7) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KA 3 d3②168層 | |
| B140 | 籠状加工品 | 4.9 X 1.7 X 1.4 | (2.1) | | | ハクチョウ・骨 | 大半を欠損 表面摩擦 | KB 3 e4③x11 | |
| B141 | 刺突具 | 3.1 X 1.0 X 0.7 | (1.3) | | | 鹿角 | 片側に返刺 先端部欠損 | KB 3 d3④x15 | |
| B142 | 切断痕を有する骨 | 2.9 1.9 1.1 | 1.0 | | | カモ・上腕骨 | 擦り切り痕 | KC 3 b1⑨x27 | PL60 |
| B143 | 刺突具 | 6.7 1.0 0.7 | (3.2) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 両端部欠損 | KC 3 b1⑩ | PL59 |
| B144 | 刺突具 | 4.0 1.0 0.5 | 1.7 | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 | KC 3 b1⑪ | PL59 |
| B145 | 刺突具 | 5.5 1.0 0.5 | 2.3 | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 | KC 3 b2③x20 | PL59 |
| B146 | 刺突具 | 3.5 X 0.9 X 0.5 | (1.1) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面摩擦 基部欠損 | KC 3 b3③x11 | |
| B147 | 切断痕を有する骨 | 6.8 1.6 1.1 | 4.2 | | | イノシシ・中手骨 | 複数の擦り切り痕 | KC 3 c1③x15 | |
| B148 | 刺突具 | 1.8 X 0.9 X 0.6 | (0.6) | | | 骨 | 表面摩擦 両端部欠損 | KC 3 d2② | |
| B149 | 刺突具 | 6.0 X 0.9 X 0.5 | (1.7) | | | イノシシ・鹿骨 | 先端部欠損 表面摩擦 | KC 3 b2④x13 | |
| B150 | 刺突具 | 5.5 X 0.9 X 0.6 | (2.0) | | | イノシシ・鹿骨 | 両端部欠損 表面摩擦 | KB 2 d3⑤x10 | |
| B151 | 線刻を有する骨 | 8.6 4.7 2.8 | 24.1 | | | イノシシ・肩甲骨 | 鏽痕状の線刻 | KB 2 d3⑥x23 | PL60 |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|------|-----------------------|-----------------|----------|----|----|-----------|-----------------------------|----------------|------|
| B152 | 針 | 2.9 X 0.5 X 0.4 | (0.5) | | | 骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 d51430層 | |
| B153 | 刺突具 | 4.6 X 1.0 X 0.8 | (2.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 d510732層 | |
| B154 | 刺突具 | 6.3 X 1.1 X 0.8 | (2.5) | | | 鹿角 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 e41455a層 | |
| B155 | 切断面を有する鹿角 研磨痕を有する骨 | 10.4 2.6 2.0 | 18.6 | | | 鹿角 | 磨り切り痕 | KB 2 e417 x 23 | PL60 |
| B156 | 刺突具 | 4.0 X 1.7 X 0.6 | (2.6) | | | 骨 | 研磨痕 | KB 2 e41512層 | |
| B157 | 刺突具 | 4.4 X 0.9 X 0.4 | (1.3) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 両端部欠損 | KA 3 d1③ x 12 | PL59 |
| B158 | 針 | 4.6 X 1.0 X 0.4 | (1.6) | | | 骨 | 両端部欠損 上端部穿孔 孔径 (0.4) cm | KA 2 d41③ x 7 | PL58 |
| B159 | 刺突具 | 3.8 X 1.0 X 0.5 | (1.9) | | | シカ・中手骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 2 e2③ x 13 | |
| B160 | 研磨痕を有する骨 | 3.1 X 2.3 X 0.5 | (2.6) | | | 骨 | 研磨痕 | KB 2 e2③ x 13 | |
| B161 | 刺突具 | 3.7) 0.8 0.3 | (0.7) | | | エイ尾骨 | 基部磨痕 両端部欠損 | KB 2 c2③ x 9 | |
| B162 | 切断面を有する鹿角 | 3.2 1.6 1.1 | 3.1 | | | 鹿角 | 磨り切り痕 | KB 2 c41454層 | |
| B163 | 磨状加工品 | 6.8) 1.8 0.6 | (3.3) | | | 骨 | 先端部を鐘状に加工 先端部欠損 | KB 3 a3③ x 9 | |
| B164 | 刺突具 | 2.5 X 0.8 X 0.6 | (0.9) | | | 鹿角 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 3 a415173層 | |
| B165 | 切断面を有する鹿角 研磨痕を有する骨 | 3.8 4.3 2.5 | 10.6 | | | シカ・橈骨 | 複数の磨り切り痕 | KB 3 a4③ | |
| B166 | 研磨痕を有する骨 | 7.7 2.1 0.9 | 5.5 | | | イノシシ・犬歯 | 研磨痕 | KC 3 c2③269層 | |
| B167 | 刺突具 | 3.4 X 0.6 X 0.3 | (0.5) | | | エイ尾骨 | 基部磨痕 両端部欠損 | KC 3 c3③ x 13 | |
| B168 | 刺突具 | 3.8 X 1.6 X 0.9 | (2.6) | | | 鹿角 | 片側に歪斜 反対側の先端部付近に歪斜1か所 両端部欠損 | KB 3 a2③165層 | |
| B169 | 研磨痕を有する骨 | 3.0 X 1.2 X 0.3 | (1.4) | | | イノシシ・犬歯 | 研磨痕 | KC 2 a5③529層 | PL58 |
| B170 | 研磨痕を有する骨 | 4.6 1.3 0.8 | 3.0 | | | 骨 | 研磨痕 | KC 2 c5③ x 24 | |
| B171 | 刺突具 | 4.4 X 0.8 X 0.6 | (1.0) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 両端部欠損 | KA 3 e2③143層 | PL59 |
| B172 | ヘラ状加工品 | 7.2 X 1.3 X 0.7 | (3.5) | | | 骨 | 研磨調整 先端部リ字状 基部欠損 | KA 3 d3③123層 | PL60 |
| B173 | 針 | 2.8 X 0.5 X 0.5 | (0.7) | | | 骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 3 a2③ x 18 | |
| B174 | 磨飾り | 4.7 X 1.8 X 0.5 | (2.8) | | | イノシシ・犬歯 | 大半を欠損 穿孔 孔径 (0.3) cm | KB 3 c3③7層 | |
| B175 | 刺突具 | 3.2) 0.8 0.5 | (1.0) | | | 骨 | 尖頭状に研磨 表面磨痕 基部欠損 | KB 3 e3③ x 22 | PL59 |
| B176 | 刺突具 | 3.3 X 1.2 X 0.7 | (1.7) | | | イノシシ・肋骨 | 先端部欠損 表面磨痕 | KC 3 b1③59層 | |
| B177 | 刺突具 | 4.3 X 1.3 X 0.6 | (2.4) | | | 骨 | 両端部欠損 表面磨痕 | KB 3 e3③ x 9 | |
| B178 | 磨製刃器 | 4.0 1.9 0.8 | 4.7 | | | 骨 | 研磨調整 刃部両刃状 | KC 2 a5③294層 | PL58 |
| B179 | 切断面を有する鹿角 | 5.3 4.8 1.8 | 12.4 | | | 鹿角 | 複数の磨り切り痕 | KC 2 b5③ | |
| B180 | 環状磨 鐘状角製品 | 8.2 X 1.8 X 1.8 | (12.0) | | | 鹿角 | 先端部は丸みを持つ 厚減 基部欠損 表面磨痕 | KC 2 b5③ | |
| B181 | 磨飾り | 2.7 0.9 0.7 | 1.4 | | | バンドワイルカ・骨 | 基部磨1か所穿孔 孔径 (0.2~0.5) cm | KB 3 e1③ x 32 | PL58 |
| B182 | 磨飾り素材 | 2.7 0.8 0.8 | 1.8 | | | バンドワイルカ・骨 | 表面厚減 | KB 3 e2③1032層 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|-----|-------|---------------|---------------|-----|----|--------|----------------------|---------------|------|
| S1 | 貝製品 | 3.5 0.7 | - | 1.2 | | ツノガイ | ツノガイの両端を切断後研磨 | KA 3 c1③ x 1 | |
| S2 | 貝輪素材 | 5.5 8.9 0.5 | 43.9 | | | サルボウ | 未製品 殻頂部付近を欠く | KA 2 c5③ | PL57 |
| S3 | 貝輪 | 6.0 X 6.5 | 0.3 (9.8) | | | サルボウ | 環状に磨飾部を加工 磨飾部表面研磨 | KA 3 d4③ | |
| S4 | 貝刃 | 5.0 6.2 1.8 | 12.2 | | | ハマグリ | 磨飾りに連続する割離痕 | KA 3 e3③ | PL57 |
| S5 | 貝刃 | 5.1 5.3 1.4 | 9.2 | | | カガミガイ | 磨飾りに連続する割離痕 | KA 3 e3③ | PL57 |
| S6 | 貝製品素材 | 4.8 7.7 2.2 | 27.3 | | | ナミガイ | 化石 性格不明 貝器の一種 | KB 2 d2③ | |
| S8 | 貝輪 | 6.8 X 8.6 | 0.4 (36.9) | | | サルボウ | 環状に磨飾部を加工 大形のサルボウを素材 | KC 3 b5③ x 2 | |
| S9 | 貝器 | 9.3) 16.5 | 3.0 (178.3) | | | ミルウイガイ | 化石 表面に酸化した鉄分と砂の付着 | KB 3 c1③227層 | |
| S10 | 貝器 | 11.9 15.8 3.8 | 158.0 | | | ミルウイガイ | 化石 表面に細かい磨痕 | KC 3 b2③ | |
| S11 | 貝輪 | 4.8 X 6.5 | 0.5 (12.1) | | | サルボウ | 環状に磨飾部を加工 磨飾部表面研磨 | KB 2 b2③ | |
| S12 | 貝輪 | 6.8 9.7 0.5 | 41.2 | | | アカガイ | 環状に磨飾部を加工 | KB 2 b4⑤ | PL57 |
| S13 | 貝輪素材 | 8.15 9.3 2.8 | 77.4 | | | ペンケイガイ | 加工痕なし | KB 2 c5③ | |
| S14 | 貝輪 | 7.0 X 3.7 | 0.4 (9.9) | | | サルボウ | 環状に磨飾部を加工 | KC 2 a2③ x 11 | |
| S15 | 貝輪 | 5.3 X 7.2 | 0.4 (16.7) | | | サルボウ | 環状に磨飾部を加工 | KC 2 c5③ x 15 | |

| 番号 | 種別 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重量 | 素材 | 特徴 | 出土位置 | 備考 | |
|-----|------|-----|-----|-----|--------|-------|--------------|-------|-------------|------|
| S16 | 刃が加工 | 4.1 | 1.3 | 0.3 | (3.4) | ホンダワラ | 縦方向に折り切る | 切断面平滑 | KB 2 e5① | PL57 |
| S17 | 貝刃 | 5.2 | 6.7 | 1.7 | 14.7 | ハマグリ | 磨縁に連続する割縁痕 | | 貝原表土 | PL57 |
| S18 | 貝輪 | 5.6 | 7.1 | 0.4 | (20.8) | サルボウ | 未製品 磨縁部付近を欠く | | KA 3 e4③ x2 | |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|-------|---------|-----|-------|----------|
| BH1 | 人骨 | 頭蓋骨 | 350.2 | KC 3 c1① |
| BH3 | 人骨 | 歯 | 64.3 | KC 2 c5④ |
| BH4 | 人骨 | 上腕骨 | 38.5 | KC 3 b1⑥ |
| BH5 | 人骨 | 上腕骨 | 48.3 | KC 3 c1① |
| BH6 | 人骨 | 指骨 | 5.4 | KB 3 c2② |
| BH7 | 人骨 | 大腿骨 | 146.4 | KC 3 c1① |
| BH10 | 人骨 | 大腿骨 | 85.5 | KB 3 e2③ |
| BH11 | 人骨 | 脛骨 | 29.9 | KC 2 b3③ |
| BH12 | 人骨 | 大腿骨 | 24.2 | KC 2 b3③ |
| BB1 | 鳥骨/カモ | 上腕骨 | 1.3 | KA 2 d3⑨ |
| BB24 | 鳥骨/カモ | 上腕骨 | 4.2 | KC 3 a1⑤ |
| BA5 | 獣骨/シカ | 尺骨 | 29.5 | KA 2 b5⑤ |
| BA10 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 64.4 | KA 2 c3⑧ |
| BA13 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 18.8 | KA 2 c4⑧ |
| BA16 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 33.7 | KA 2 c4⑧ |
| BA18 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 32.4 | KA 2 c4⑤ |
| BA20 | 獣骨/シカ | 鳩骨 | 35.5 | KA 2 c4⑤ |
| BA21 | 獣骨/シカ | 鳩骨 | 6.3 | KA 2 c4③ |
| BA22 | 獣骨/シカ | 踵骨 | 17.5 | KA 2 c4⑤ |
| BA35 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 42.2 | KA 2 c4⑤ |
| BA47 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 33.9 | KA 2 d5① |
| BA48 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 28.0 | KA 2 d5① |
| BA52 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 38.3 | KA 2 d5① |
| BA55 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 48.5 | KA 2 d5① |
| BA58 | 獣骨/シカ | 鳩骨 | 21.9 | KA 2 e2⑤ |
| BA59 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 28.8 | KA 2 e2⑤ |
| BA64 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 23.7 | KA 2 e3③ |
| BA71 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 36.5 | KA 2 e4③ |
| BA74 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 30.3 | KA 2 e4④ |
| BA75 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 30.7 | KA 2 e4③ |
| BA76 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 27.3 | KA 2 e4③ |
| BA77 | 獣骨/シカ | 尺骨 | 24.2 | KA 2 e4③ |
| BA79 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 20.1 | KA 2 e4⑤ |
| BA80 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 32.6 | KA 2 e4⑤ |
| BA81 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 42.9 | KA 2 e4⑤ |
| BA82 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 18.2 | KA 2 e4⑤ |
| BA84 | 獣骨/シカ | 尺骨 | 10.1 | KA 2 e4⑤ |
| BA86 | 獣骨/シカ | 踵骨 | 8.4 | KA 2 e4⑤ |
| BA106 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 13.5 | KA 2 e5② |
| BA126 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 39.7 | KB 2 a3② |
| BA129 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 28.8 | KB 2 a3② |
| BA131 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 24.5 | KB 2 a3② |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|-------|---------|------|-------|----------|
| BA132 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 11.4 | KB 2 a3② |
| BA135 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 28.2 | KB 2 a3② |
| BA137 | 獣骨/シカ | 距骨 | 13.9 | KB 2 a3② |
| BA138 | 獣骨/シカ | 距骨 | 15.0 | KB 2 a3② |
| BA140 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 54.6 | KB 2 a4③ |
| BA151 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 16.0 | KB 2 a4③ |
| BA160 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 58.0 | KB 2 a5② |
| BA163 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 30.8 | KB 2 a5② |
| BA166 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 29.2 | KB 2 a5② |
| BA167 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 38.7 | KB 2 a5② |
| BA169 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 10.8 | KB 2 a5② |
| BA170 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 21.2 | KB 2 a5② |
| BA172 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 18.6 | KB 2 a5② |
| BA173 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 37.4 | KB 2 a5② |
| BA174 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 23.2 | KB 2 a5② |
| BA177 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 19.9 | KB 2 a5② |
| BA182 | 獣骨/シカ | 角 | 73.5 | KB 2 b1① |
| BA210 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 18.5 | KB 2 b5③ |
| BA231 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 49.9 | KB 2 c3⑧ |
| BA234 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 19.0 | KB 2 c3⑧ |
| BA251 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 27.9 | KB 2 c5① |
| BA257 | 獣骨/シカ | 距骨 | 26.1 | KB 2 d1⑧ |
| BA258 | 獣骨/シカ | 距骨 | 12.1 | KB 2 d1⑧ |
| BA259 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 52.9 | KB 2 d2⑧ |
| BA260 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 19.2 | KB 2 d2⑧ |
| BA261 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 13.9 | KB 2 d2⑧ |
| BA263 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 37.0 | KB 2 d2⑧ |
| BA264 | 獣骨/イノシシ | 大腿骨 | 20.8 | KB 2 d2⑧ |
| BA266 | 獣骨/シカ | 鳩骨 | 11.7 | KB 2 d2⑧ |
| BA270 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 15.2 | KB 2 d2⑧ |
| BA271 | 獣骨/シカ | 第2頰椎 | 29.0 | KB 2 d2⑧ |
| BA279 | 獣骨/シカ | 鳩骨 | 26.7 | KA 2 d3⑧ |
| BA289 | 獣骨/シカ | 踵骨 | 33.4 | KB 2 d4③ |
| BA293 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 49.4 | KB 2 d4③ |
| BA295 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 25.8 | KB 2 e4③ |
| BA300 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 21.7 | KB 2 d4③ |
| BA304 | 獣骨/シカ | 距骨 | 20.7 | KB 2 d5② |
| BA308 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 16.3 | KB 2 e1② |
| BA318 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 49.1 | KB 2 e3② |
| BA334 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 28.3 | KC 2 b1⑧ |
| BA339 | 獣骨/シカ | 第2頰椎 | 37.3 | KC 2 b3⑧ |
| BA349 | 獣骨/イノシシ | 寛骨 | 49.9 | KC 2 c5① |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|--------|---------|-----|-------|----------|
| BA359 | 獣骨/シカ | 楯骨 | 19.8 | KA 3 b1⑩ |
| BA372 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 32.6 | KA 3 c2⑩ |
| BA384 | 獣骨/シカ | 角 | 107.7 | KA 3 d1⑩ |
| BA405 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 19.9 | KA 3 d3⑩ |
| BA407 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 35.4 | KA 3 d3⑩ |
| BA409 | 獣骨/シカ | 踵骨 | 30.4 | KA 3 d3⑩ |
| BA411 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 51.1 | KA 3 d3② |
| BA414 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 55.8 | KA 3 d3⑩ |
| BA415 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 41.9 | KA 3 d3⑩ |
| BA423 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 20.6 | KA 3 e1⑩ |
| BA424 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 39.9 | KA 3 e1⑩ |
| BA425 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 52.1 | KA 3 e1② |
| BA431 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 43.1 | KA 3 e1⑩ |
| BA434a | 獣骨/シカ | 楯骨 | 1.6 | KA 3 e1⑩ |
| BA434b | 獣骨/シカ | 楯骨 | 0.8 | KA 3 e1⑩ |
| BA436 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 27.7 | KA 3 e1⑩ |
| BA440 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 35.6 | KA 3 e2⑩ |
| BA441 | 獣骨/イノシシ | 大腿骨 | 47.8 | KA 3 e2⑩ |
| BA443 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 41.8 | KA 3 e2⑩ |
| BA446 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 36.6 | KA 3 e3⑩ |
| BA447 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 17.0 | KA 3 e3⑩ |
| BA452 | 獣骨/イノシシ | 上腕骨 | 13.7 | KA 3 e3⑩ |
| BA453 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 15.5 | KA 3 e3⑩ |
| BA454 | 獣骨/シカ | 頸椎 | 28.8 | KA 3 e3⑩ |
| BA458 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 15.0 | KA 3 e5⑩ |
| BA459 | 獣骨/シカ | 角 | 77.0 | KA 3 e5⑩ |
| BA469 | 獣骨/シカ | 距骨 | 18.6 | KC 2 a2⑩ |
| BA471 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 39.4 | KB 3 a3⑩ |
| BA480 | 獣骨/イノシシ | 踵骨 | 19.3 | KB 3 a4⑩ |
| BA483 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 25.3 | KB 3 a5⑩ |
| BA491 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 41.8 | KB 3 a5⑩ |
| BA496 | 獣骨/シカ | 肋骨 | 36.8 | KB 3 a5⑩ |
| BA497 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 14.7 | KB 3 a5⑩ |
| BA500 | 獣骨/シカ | 楯骨 | 16.2 | KB 3 b1⑩ |
| BA501 | 獣骨/イノシシ | 大腿骨 | 29.3 | KB 3 b1⑩ |
| BA505a | 獣骨/シカ | 距骨 | 18.0 | KC 3 b2⑩ |
| BA511 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 36.7 | KB 3 c1⑩ |
| BA515 | 獣骨/シカ | 距骨 | 19.9 | KB 3 c2⑩ |
| BA520 | 獣骨/シカ | 肩甲骨 | 20.0 | KB 3 e1⑩ |
| BA521 | 獣骨/シカ | 距骨 | 23.5 | KB 3 e1⑩ |
| BA526 | 獣骨/シカ | 角 | 25.8 | KC 2 a5⑩ |
| BA530 | 獣骨/シカ | 上腕骨 | 32.3 | KC 3 a1⑩ |
| BA536 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 28.9 | KA 3 e3⑩ |
| BA537 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 68.3 | KC 3 b1⑩ |
| BA538 | 獣骨/シカ | 脛骨 | 14.3 | KC 3 b2⑩ |
| BA546 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 33.3 | KC 3 b3⑩ |
| BA549 | 獣骨/シカ | 距骨 | 13.3 | KC 3 c1⑩ |
| BA552 | 獣骨/シカ | 角 | 146.8 | KC 3 c1⑩ |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|-------|---------|------|-------|----------|
| BA553 | 獣骨/シカ | 角 | 40.5 | KC 3 c1⑩ |
| BA557 | 獣骨/シカ | 尺骨 | 17.6 | KC 3 c2⑩ |
| BA558 | 獣骨/シカ | 踵骨 | 17.7 | KC 3 c2⑩ |
| BA560 | 獣骨/シカ | 距骨 | 8.1 | KC 3 c3⑩ |
| BA561 | 獣骨/シカ | 距骨 | 8.9 | KC 3 c3⑩ |
| BA562 | 獣骨/シカ | 中足骨 | 3.6 | KC 3 c3⑩ |
| BA563 | 獣骨/シカ | 膝蓋骨 | 6.1 | KC 3 c3⑩ |
| BA564 | 獣骨/シカ | 歯 | 9.3 | KC 3 d2⑩ |
| BA566 | 獣骨/シカ | 角 | 100.7 | KB 3 c1⑩ |
| BA567 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 33.2 | KB 3 c1⑩ |
| BA585 | 獣骨/イノシシ | 肋骨 | 9.2 | KA 2 c4⑩ |
| BA587 | 獣骨/シカ | 寛骨 | 7.5 | KA 2 c4⑩ |
| BA593 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 53.5 | KA 2 d5⑩ |
| BA596 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 29.5 | KA 2 e4⑩ |
| BA598 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 29.1 | KA 2 e4⑩ |
| BA610 | 獣骨/イノシシ | 上腕骨 | 48.8 | KA 2 e5⑩ |
| BA611 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 54.3 | KA 2 e5⑩ |
| BA616 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 43.3 | KB 2 a2⑩ |
| BA618 | 獣骨/イノシシ | 大腿骨 | 26.1 | KB 2 a3⑩ |
| BA629 | 獣骨/シカ | 大腿骨 | 33.1 | KB 2 a5⑩ |
| BA636 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 27.5 | KB 2 b3⑩ |
| BA639 | 獣骨/イノシシ | 距骨 | 28.8 | KB 2 b4⑩ |
| BA644 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 41.6 | KB 2 b5⑩ |
| BA669 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 12.0 | KB 2 d2⑩ |
| BA673 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 109.2 | KB 2 d3⑩ |
| BA679 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 42.2 | KB 2 d4⑩ |
| BA680 | 獣骨/イノシシ | 尺骨 | 15.6 | KB 2 d4⑩ |
| BA683 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 26.8 | KB 2 e1⑩ |
| BA685 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 42.3 | KB 2 e2⑩ |
| BA699 | 獣骨/イノシシ | 歯 | 8.1 | KC 2 b3⑩ |
| BA709 | 獣骨/イノシシ | 寛骨 | 62.7 | KC 2 b5⑩ |
| BA713 | 獣骨/イノシシ | 第1頷椎 | 32.7 | KC 2 c5⑩ |
| BA715 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 35.9 | KC 2 c5⑩ |
| BA716 | 獣骨/イノシシ | 歯 | 22.2 | KB 2 b5⑩ |
| BA719 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 36.4 | KC 2 c5⑩ |
| BA720 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 33.8 | KC 2 c5⑩ |
| BA724 | 獣骨/イノシシ | 楯骨 | 8.9 | KA 3 b1⑩ |
| BA725 | 獣骨/イノシシ | 踵骨 | 17.8 | KA 3 b1⑩ |
| BA727 | 獣骨/イノシシ | 尺骨 | 28.6 | KA 3 c1⑩ |
| BA747 | 獣骨/イノシシ | 上腕骨 | 66.4 | KA 3 d3⑩ |
| BA749 | 獣骨/イノシシ | 膝蓋骨 | 11.4 | KA 3 d3⑩ |
| BA750 | 獣骨/イノシシ | 第1頷椎 | 22.1 | KA 3 d3⑩ |
| BA755 | 獣骨/イノシシ | 肩甲骨 | 94.9 | KA 3 e1⑩ |
| BA764 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 41.6 | KA 3 e3⑩ |
| BA769 | 獣骨/イノシシ | 第1頷椎 | 33.7 | KA 3 e3⑩ |
| BA770 | 獣骨/イノシシ | 距骨 | 28.2 | KA 3 e3⑩ |
| BA771 | 獣骨/イノシシ | 距骨 | 14.9 | KA 3 e3⑩ |
| BA772 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 22.8 | KA 3 e3⑩ |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|-------|---------|--------|-------|----------|
| BA781 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 59.5 | KB 3 a1① |
| BA786 | 獣骨/イノシシ | 胸甲骨 | 22.4 | KB 3 a2① |
| BA787 | 獣骨/イノシシ | 上腕骨 | 32.1 | KB 3 a2② |
| BA794 | 獣骨/イノシシ | 建骨 | 18.7 | KB 3 a4② |
| BA795 | 獣骨/イノシシ | 胸甲骨 | 25.2 | KB 3 a4③ |
| BA798 | 獣骨/イノシシ | 尺骨 | 22.0 | KB 3 a4④ |
| BA801 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 11.5 | KB 3 a4⑤ |
| BA802 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 11.3 | KB 3 a4⑥ |
| BA804 | 獣骨/イノシシ | 胸甲骨 | 19.5 | KB 3 a5① |
| BA805 | 獣骨/イノシシ | 胸甲骨 | 32.6 | KB 3 a5② |
| BA806 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 29.7 | KB 3 b1① |
| BA823 | 獣骨/イノシシ | 尺骨 | 20.3 | KB 3 e2② |
| BA828 | 獣骨/イノシシ | 中手骨 | 13.7 | KB 2 c5② |
| BA830 | 獣骨/イノシシ | 寛骨 | 40.2 | KB 3 e3② |
| BA831 | 獣骨/イノシシ | 胸甲骨 | 30.3 | KB 3 e3③ |
| BA832 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 37.4 | KB 3 e3④ |
| BA834 | 獣骨/イノシシ | 第2頰椎 | 10.6 | KB 3 e3⑤ |
| BA835 | 獣骨/イノシシ | 中手・中足骨 | 4.9 | KC 3 a5① |
| BA836 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 4.2 | KC 3 a1② |
| BA837 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 63.2 | KC 3 a2① |
| BA840 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 33.0 | KC 3 a2② |
| BA842 | 獣骨/イノシシ | 歯 | 11.1 | KC 3 a2③ |
| BA847 | 獣骨/イノシシ | 上腕骨 | 16.8 | KC 3 a3① |
| BA848 | 獣骨/イノシシ | 寛骨 | 8.7 | KC 3 a3② |
| BA850 | 獣骨/イノシシ | 大腿骨 | 48.2 | KC 3 a4① |
| BA851 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 27.1 | KA 3 e3③ |
| BA874 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 39.9 | KC 3 c1① |
| BA875 | 獣骨/イノシシ | 尺骨 | 35.4 | KC 3 c1② |
| BA876 | 獣骨/イノシシ | 上顎骨 | 11.6 | KC 3 c1③ |
| BA877 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 13.0 | KC 3 c1④ |
| BA878 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 27.7 | KC 3 c1⑤ |
| BA879 | 獣骨/イノシシ | 脛骨 | 10.9 | KC 3 c1⑥ |
| BA881 | 獣骨/イノシシ | 下顎骨 | 80.1 | KC 3 c1⑦ |
| BA888 | 獣骨/イノシシ | 踵骨 | 31.4 | KC 3 c2① |
| BA889 | 獣骨/シカ | 上顎骨 | 10.4 | KC 3 d2② |
| BA891 | 獣骨/イヌ | 大腿骨 | 13.5 | KA 2 e3② |
| BA892 | 獣骨/イヌ | 下顎骨 | 6.9 | KA 2 e3③ |
| BA900 | 獣骨/タヌキ | 下顎骨 | 7.3 | KB 2 b5② |
| BA902 | 獣骨/タヌキ | 下顎骨 | 3.4 | KB 2 c5② |
| BA912 | 獣骨/イヌ | 歯 | 2.6 | KB 3 b2① |
| BA920 | 獣骨/タヌキ | 尺骨 | 3.5 | KC 3 c1① |
| BA923 | 獣骨/イヌ | 下顎骨 | 29.9 | KA 2 e3④ |
| BA926 | 獣骨/イヌ | 下顎骨 | 27.1 | KB 2 a4④ |
| BA928 | 獣骨/イヌ | 下顎骨 | 27.5 | KB 2 a4⑤ |
| BA933 | 獣骨/イヌ | 脛骨 | 9.6 | KA 2 e3⑤ |
| BA934 | 獣骨/イヌ | 第2頰椎 | 9.6 | KA 2 e3⑥ |
| BA936 | 獣骨/イヌ | 大腿骨 | 12.6 | KB 2 b4② |
| BA939 | 獣骨/イヌ | 上腕骨 | 7.2 | KB 2 e3③ |

| 番号 | 種別 | 部位 | 重量(g) | 出土位置 |
|--------|---------|-----|-------|----------|
| BA942 | 獣骨/イヌ | 歯 | 3.0 | KC 3 b2② |
| BA945 | 獣骨/ウサギ | 下顎骨 | 2.8 | KC 3 b3③ |
| BA948 | 海獣骨/イルカ | 椎骨 | 29.3 | KA 3 e2② |
| BA957 | 獣骨 | - | 3.0 | KA 2 c4① |
| BA959 | 獣骨 | - | 46.6 | KA 2 c5① |
| BA962 | 獣骨 | 脛骨 | 13.1 | KA 2 c5② |
| BA987 | 獣骨 | - | 14.1 | KA 2 e2② |
| BA991 | 獣骨 | - | 3.3 | KA 2 e3② |
| BA992 | 獣骨 | 椎骨 | 7.3 | KA 2 e3③ |
| BA995 | 獣骨 | 歯 | 1.8 | KA 2 e3④ |
| BA996 | 獣骨 | 下顎骨 | 7.5 | KA 2 e3⑤ |
| BA1000 | 獣骨 | - | 2.4 | KA 2 e4② |
| BA1014 | 獣骨 | 上腕骨 | 16.6 | KB 2 a3② |
| BA1043 | 獣骨 | - | 0.8 | KB 2 b4② |
| BA1044 | 獣骨 | - | 36.7 | KB 2 b5① |
| BA1054 | 獣骨 | - | 41.2 | KB 2 c2① |
| BA1067 | 獣骨 | 歯 | 1.6 | KB 2 d1② |
| BA1069 | 獣骨 | 椎骨 | 31.0 | KB 2 d2① |
| BA1074 | 獣骨 | 歯 | 3.4 | KB 2 d4① |
| BA1092 | 獣骨 | - | 29.9 | KB 2 e3① |
| BA1093 | 獣骨 | - | 12.3 | KB 2 e3② |
| BA1099 | 獣骨/シカ | 胸甲骨 | 40.0 | KB 2 e4④ |
| BA1110 | 獣骨 | - | 0.1 | KC 2 b1② |
| BA1153 | 獣骨 | 横骨 | 0.3 | KA 3 c1① |
| BA1159 | 獣骨 | - | 38.2 | KA 3 d2② |
| BA1177 | 獣骨 | 距骨 | 23.4 | KA 3 e1② |
| BA1188 | 獣骨 | 胸甲骨 | 12.5 | KA 3 e1③ |
| BA1211 | 獣骨/シカ | 角 | 5.2 | KA 3 e3② |
| BA1229 | 獣骨 | - | 25.7 | KB 3 b1① |
| BA1256 | 獣骨 | 胸甲骨 | 30.2 | KB 3 c5① |
| BA1266 | 獣骨 | - | 4.1 | KB 3 e1② |
| BA1276 | 獣骨 | - | 18.4 | KC 3 a1② |
| BA1286 | 獣骨 | - | 3.6 | KB 3 c3② |
| BA1287 | 獣骨 | 下顎骨 | 24.6 | KC 3 a3② |
| BA1288 | 獣骨 | 寛骨 | 8.3 | KC 3 a3③ |
| BA1295 | 獣骨 | - | 3.1 | KC 3 a3④ |
| BA1296 | 獣骨 | - | 1.5 | KC 3 a3⑤ |
| BA1300 | 獣骨 | - | 7.4 | KC 3 a4② |
| BA1303 | 獣骨 | - | 31.8 | KC 3 b1② |
| BA1328 | 獣骨 | 指骨 | 4.4 | KC 3 b4② |
| BA1329 | 獣骨 | - | 9.1 | KC 3 c1① |
| BA1331 | 獣骨 | 下顎骨 | 9.4 | KC 3 c1② |
| BA1335 | 獣骨 | - | 13.9 | KC 3 c1③ |
| BA1337 | 獣骨 | 椎骨 | 22.6 | KC 3 c2② |
| BA1344 | 獣骨 | 下顎骨 | 3.7 | KC 2 b3② |

(6) 土坑墓

ア 第1号土坑墓(第324図)

位置 調査区北西部のE 4 g6区で、標高24.1mの斜面部に位置している。

確認状況 斜面貝層の地区設定ではKA 2 b5区に位置し、前期中葉の混貝土層及び黒褐色土を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.23m、短径1.01mの楕円形で、長径方向はN-85°-Wである。深さは55cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 3層に分かれ、埋め戻されている。

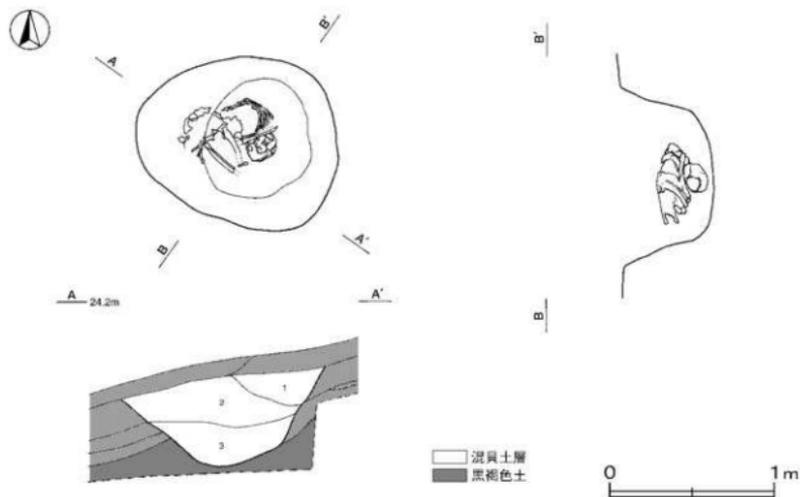
土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・灰・2-5cm大のハマグリ・2-3cm大のハイガイ少量 | 3 黒色土 | ロームブロック・炭化物・灰・2-4cm大のハマグリ少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・灰・2-6cm大のハマグリ少量 | | |

人骨出土状況 埋葬姿勢は横臥屈葬で、左側を下にして、頭を南東方向に向け、下肢を極度に屈曲させている。胴体の方向は斜面部の傾斜に対してはほぼ直交し、頭を下にした斜位の状態で出土している。

遺物出土状況 縄文土器の細片3点が、覆土中から出土している。

所見 貝層断面の観察から、掘り込み面より上層に中期後葉の混貝土層が堆積していることや、覆土から出土した土器片の様相などから、時期は前期中葉から中期前半である。なお、台地部を含めて前期後半から中期前半に属する土器の出土量は極めて少ないことを考慮すると、前期中葉の可能性が最も高いと考えられる。



第324図 第1号土坑墓・出土遺物実測図

イ 第1号土坑墓の人骨について(第324図)

第1号土坑墓の人骨は、遺存状況が良好で、ほぼ全身骨格が遺存していたが、非常に脆弱な状態であった。現地における人骨の取り上げでは、出土状況や埋葬姿勢などの詳細な観察が困難であることから、ウレタン・フォームを用いて、遺構全体を地面から切り離し、美浦村文化財センター(陸平研究所)に搬出した。その後、人骨の出土状況の観察や骨の部位の特定、骨のクリーニング・保存処理、人骨の鑑定については、古人骨に詳しい谷畑美帆氏に委託した。谷畑氏の鑑定によると、性別は男性、年齢は壮年後半、骨病変は、クリブラ・オルビタリア、変形性脊椎症、骨膜炎、骨関節症(足根骨)が確認された。また、吉田邦夫氏の放射性炭素年代測定によると、「5610±60BP(TKa-14475)」の年代が得られた。土坑墓の時期が、前期中葉の黒浜式(古段階)期併行である可能性が高いことから、妥当な年代と考えられる。なお、鑑定結果の詳細については、下巻「付章」を参照されたい。



写真⑥ 第1号土坑墓出土人骨の取り上げ

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

大谷貝塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書2

上巻

平成24(2009)年3月18日印刷

平成24(2009)年3月23日発行

発行 財団法人茨城県教育財団
〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-225-6587

印刷 (有)川田プリント
〒310-0041 水戸市上水戸4丁目6-53
TEL 029-253-5551